

2004(平成16)年度

授業計画

経済学部

駒澤大学

授 業 計 画

目 次

経済学科フレックス A・商学科

I	全学共通科目	
1	宗教教育科目	11
2	教養教育科目	25
3	外国語科目	101
4	保健体育科目	233
II	専門教育科目	279
III	他学部履修科目	437
IV	「日本語」・「日本事情」科目	467

経済学科フレックス B

I	全学共通科目	
1	宗教教育科目	485
2	教養教育科目	493
3	外国語科目	527
4	保健体育科目	559
II	専門教育科目	575
III	他学部履修科目	653

経済学科フレックス A・商学科	全学共通科目	宗教教育
	全学共通科目	教養教育
	全学共通科目	外国語
	全学共通科目	保健体育
経済学科フレックス B	専門教育科目	「日本語」
	他学部履修科目	「日本事情」
	全学共通科目	宗教教育
	全学共通科目	教養教育
経済学科フレックス B	全学共通科目	外国語
	全学共通科目	保健体育
	専門教育科目	他学部履修科目
	他学部履修科目	他学部履修科目

経済学科フレックスA

商 学 科

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間 (経A)	〈岡 部 和 雄〉	11
仏教と人間 (経A)	〈金 沢 篤 篤〉	11
仏教と人間 (経A・商)	〈飯 塚 大 展〉	12
仏教と人間 (経A)	〈永 井 政 之〉	12
仏教と人間 (商)	〈石 井 修 道〉	13
仏教と人間 (商)	〈片 山 一 良〉	13
仏教と人間 [再クラス]	〈池 田 魯 参〉	14
仏教と人間 [再クラス]	〈晴 山 俊 英〉	14
仏教と人間 [再クラス]	〈福 田 孝 雄〉	14
仏教と人間 [再クラス]	〈吉 津 宜 英〉	15
文化と宗教	〈長谷部 八 朗〉	15
社会と宗教	〈池 上 良 正〉	16
自然と宗教	〈小 川 順 敬〉	16
坐禅	〈佐藤 秀孝・熊本 英人〉	17

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	<small>おか</small> 岡 <small>べ</small> 部 <small>かず</small> 和 <small>お</small> 雄	経A1必	4

講義のねらい

仏教の全体像をなるべくわかりやすく講義する。現代において仏教を学ぶことの意義をたえず念頭におきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のはじめに提示する。

成績評価の方法

年度末の試験による。

教 科 書

特定のものを用いない。

参 考 書 等

必要があれば講義の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	<small>かな</small> 金 <small>ざわ</small> 沢 <small>あつし</small> 篤	経A1必	4

講義のねらい

ほぼ2,500年前に遥か遠隔の地インドで成立をみた仏教の基本と、それが持つ多様な側面を易しく概説する。人間にとっての大事な資源たる仏教にともかくも関心を持つことから始めた。

講義の内容・授業スケジュール

仏教の成立と展開を歴史的なパースペクティブの下に捕えた後に、順次、仏教の諸相について概説する。

履修上の留意点

仏教への関心を読書週問を培う形で醸成すると共に、読み書き等の日本語力を高めてほしい。

成績評価の方法

成績評価は、夏・冬の年2回実施するレポート課題と年度末の定期試験によって行うが、出席状況に基づく平常点を考慮する場合もある。

教 科 書

渡辺照宏著『仏教（第二版）』（岩波新書）740円

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	飯塚大展 <small>いいづかひろのぶ</small>	経A・商1必	4

講義のねらい	日本における仏教者の所説と実践とを通して、その歴史的意義を考察する。
講義の内容・授業スケジュール	日本仏教史の前提として、釈尊の生涯とその教え、仏教の伝播（東アジアにおける仏教の伝播）、仏教公伝、聖徳太子の仏教信仰、東大寺大仏建立の歴史的意義、僧尼令と大乘菩薩僧（行基を中心に）、前期は上記のテーマで講義する。後期は、中世における仏教の正統と異端、近世幕藩体制下における仏教教団（イエの仏教）、上記のテーマで講義を行う。
履修上の留意点	毎時間出席をとる。
成績評価の方法	前・後期2回ずつの小テストと期末レポート試験によって厳正に評価する。
教科書	特に使用しない。但し随時プリントを配布し、補足説明を行う。
参考書等	講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	永井政之 <small>ながいまさし</small>	経A1必	4

講義のねらい	<p>入学式ではじめて知った方もあろうが、駒澤大学は日本仏教の宗派の一つである曹洞宗が設立の母体になっている。したがって4年間の大学での生活の中では、さまざまな機会に「宗教的」なものに触れるであろう。</p> <p>ところで学生諸君は、「宗教」とか、「仏教」という言葉を聞いたとたん、「辛気くさいもの」「前近代的なもの」「怪しげなもの」などの、漠然とした感想を持たれるものと想像する。実際、ここ1年間の、宗教、特に「仏教」をとりまくさまざまな事件——オウム真理教にせよ宗教法人法の改正にせよ——は、興味の対象とはなっても、そのイメージを好転させる方向にはないようである。現代人の多くが、宗教に関心を失った原因の過半は、既成の教団にその責任があるように私は考えている。したがって若者が宗教に無関心であったり、あるいは過度の期待を抱くことを批判することはできない。</p> <p>ただ今から2,500年前にジャカによって総称された「仏教」は、けっして「おどろおどろしい」ものではないし、前近代的なものでもない。きわめて理性的な教えといってもよいであろう。そんなオーソドックスな「仏教」そして「禪」の立場を考えてみたい。</p> <p>なお「宗教教育科目」という名称ではあるが、「個人の信仰」の領域にまで踏み込んで信仰を強制するものではない。</p>
--------	--

講義の内容・授業スケジュール	広い意味での「宗教」を考えることから、「仏教」はなにをめざしているか、「禪」の立場はいかなるものかを、歴史に生きた人々を具体的に挙げつつ見ていきたい。
成績評価の方法	授業には必ず出席すること（出席をとります）。初めの授業で課題図書を出すので、年末にはレポートを提出すること。期末には試験を行い、それらを総合的に評価して成績とする。
教科書	必要に応じてプリントを配布したり、参考文献を指示する。課題図書は購入すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	いし い しゅう どう 石井修道	商1必	4

講義のねらい

「仏教と人間」は、本学の宗教教育科目である。宗教、特に仏教は何を説き、その教えが一人一人とどうかかわるかを学びたい。

仏教の教えを基本に、道元禅師の教えとそれらがどのように関連をもつのか。また、道元禅師は、中国の禅者をどのように取り上げ、自己の主張にどのように継承されているかを具体的に明らかにして行きたい。

特に道元禅師の説かれる「坐禅」は、如何なる特色があるか、それがわれわれの生き方に何を教えているかを述べたい。

講義の内容・授業スケジュール

①宗教と自己との関係。②釈尊の伝記と教え（七回）。③中国禅者の個性と特色（六回）。④日中交流と仏教（三回）。⑤道元の伝記と思想（五回）。⑥坐禅。⑦曹洞宗（二回）。

履修上の留意点

「仏道をならうとは、自己をならうなり」（道元）をいかに主体的に考えるかを常に心がけて欲しい。

成績評価の方法

レポート（夏休み後に提出）20点と学年末試験80点満点で評価し、出席数も考慮する。

教科書

鎌田茂雄『仏陀の観たもの』（講談社学術文庫）273円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	かた やま いち ろう 片山一良	商1必	4

講義のねらい

人間にとって宗教とは何かを考える。宗教としての仏教とは何かを考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は宗教一般について、すなわち宗教と呪術、神話と儀礼、民族宗教と世界宗教などについて講じる。後期は仏教の基本的な教えについて、すなわち縁起と四諦、智慧と慈悲、戒と禅などについて講じる。いずれも現代の我々にある身近な問題の中で取り上げ、考えたい。

履修上の留意点

「人間学」として把握し、学ぶことが望ましい。

成績評価の方法

レポート（夏期）および年度末テストによる。

教科書

とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	いけ だ ちか 池田 魯 参	経A・商2・3・4年	4

- 講義のねらい** 一年間の講義を通じて、世界の諸宗教と比較して仏教にはどのような特色があるのか考えてみたい。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期では、世界の代表的な諸宗教が成立する歴史的文化的背景を明らかにし諸宗教の特質を意義づけ、その上で仏教成立の史的意義を明らかにし、釈尊（ブツダ）の人間観はどういうものであったのか考えてみたい。
後期では、釈尊滅後の教団史的展開の諸問題を、インド・チベットを始め中国・朝鮮・日本などの東アジア諸地域における仏教の伝播と変容の歴史的意義を明らかにし、仏教信仰に生きた人々の人生観はどういうものであったのか、具体的に考えてみたい。
- 履修上の留意点** 日頃から宗教の問題に関心を持って、宗教に関して見識のある教養人を目指して学んで欲しい。虚心に見聞し自分の頭で考える習慣を身につけて欲しい。
- 成績評価の方法** 夏休みの課題レポートと学年末試験（論文形式）を中心に評価する。
- 教科書** 適宜、講義資料をコピーして、課題毎に参考書等を紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	はれ やま しゅん えい 晴山 俊英	経A・商2・3・4年	4

- 講義のねらい** 仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依るうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。
- 講義の内容・授業スケジュール** 釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。
- 履修上の留意点** 仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。
- 成績評価の方法** 期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。
- 参考書等** 授業において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	かく だ たか お 福 田 孝 雄	経A・商2・3・4年	4

- 講義のねらい** 無数に存在する世界の諸宗教の中で、仏教とは一体どういう宗教であり、その特徴、特質は何であり、いかなる可能性をもっているのか。それらを学んでいく上でまず、一般的宗教現象を一通り学び、宗教の共通の要素や性格を知っておくことも必要であるから、宗教学的基礎を学ぶことから始め、最終的に、仏教の基本的特色や特質を概観していくことにしたい。
- 講義の内容・授業スケジュール** 宗教学的の基礎的な構造としての宗教現象、宗教経験、宗教儀礼などを概説し、最終的に仏教思想の基本構造、仏教各団、経典の組織などについて学んでいくことにする。
- 成績評価の方法** 出席点及びレポートなどにより総合的に評価する。
- 参考書等** 講義の進行に従って、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	よしづ よしひで 吉津 宜英	経A・商2・3・4年	4

講義のねらい

まず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」という位に広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な方にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また、政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。質問は大歓迎です。講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。厳しく注意します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願ひし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化と宗教	ほせべ はちろう 長谷部 八朗	経A・商選	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

未定である。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会と宗教	いげ がみ よし まさ 池上良正	経A・商選	4

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える手がかりを探してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論などの検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解、近代日本の社会変動と民衆宗教の展開、といった問題を考える。近年の精神世界ブームや新宗教の動向などにも触れる予定。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然と宗教	お がわ とし ゆき 小川順敬	経A・商選	4

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとどなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと思います。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
坐 (前期)(後期) 禅	佐藤 秀孝・熊本 英人 <small>さとう しゅうこう くまもと えいじん</small>	経A・商選	2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの周りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を抛り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはごこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

講義の内容・授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得)

4～13 「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教科書

適宜、プリントにて配布します。

参考書等

『坐禅-講本-』(更生社) 2,226円

2. 教 養 教 育 科 目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P. 493)

教養教育

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

文学〔日本文学「古典」〕	〈平野由紀子〉	25
文学〔日本のことば〕	〈保明陽子〉	25
歴史学〔東アジア考古学〕	〈千葉基次〉	26
芸術学(1)〔日本美術〕	〈北野良枝〉	26
芸術学(2)〔西洋美術〕	〈矢野陽子〉	27
芸術学(3)〔音楽〕	〈赤羽由規子〉	27
哲学〔西洋思想の源流〕	〈滝沢正之〉	28
哲学〔西洋思想の源流〕	〈中村友太郎〉	28
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈鈴木聡〉	29
論理学〔知の技法〕	〈箭野浩司〉	29
論理学〔知の技法〕	〈伊古田理〉	30
科学史〔科学と技術〕	〈小宮山隆〉	30
倫理学(1)〔人間観〕	〈古田知章〉	31
倫理学(2)〔応用倫理学〕	〈黒崎剛〉	32
倫理学(3)〔価値観〕	〈滝沢正之〉	32
倫理学(4)〔応用倫理学〕	〈箭野浩司〉	33
倫理学(5)〔制度とモラル〕	〈滝口清栄〉	33
倫理学(6)〔東洋倫理〕	〈末木恭彦〉	34
宗教学(1)〔比較宗教文化〕	〈池上良正〉	34
宗教学(2)〔聖と俗〕	〈田中かの子〉	35
宗教学(3)〔思想と儀礼〕	〈小川順敬〉	35
宗教学(4)〔組織と運動〕	〈洗建〕	36
人文地理学(1)〔風土と文化〕	〈竹林和彦〕	36
人文地理学(2)〔風土と文化〕	〈高橋健太郎〕	37
人文地理学(3)〔空間と行動〕	〈山口太郎〕	38
人文地理学(4)〔空間と行動〕	〈伊藤修一〕	39
教育の思想	〈伊藤茂樹〕	39
教育の思想	〈萩原建次郎〕	40
教育の思想	〈坂本信昭〕	41
教育と社会	〈伊藤茂樹〕	41
教育と社会	〈萩原建次郎〕	42
教育と社会	〈坂本信昭〕	43
発達と学習の心理学	〈大浜幾久子〕	43
発達と学習の心理学	〈川田三夫〕	44
発達と学習の心理学	〈山本政人〕	45
カリキュラムと学習	〈大浜幾久子〕	45
カリキュラムと学習	〈川田三夫〕	46
カリキュラムと学習	〈夏堀睦〕	47

(2) 社会分野

社会学〔現代社会を考える〕	〈呉炳三〕	48
統計学〔社会現象の統計的決定〕	〈新行内康慈〕	49
文化人類学〔文化と人間〕	〈藤崎康彦〕	50
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈和知恵一〕	51

法学・憲法〔法と国家〕〈新田浩司〉	52
法学・憲法〔法と権利〕—夏季集中—〈藤本茂〉	53
政治学〔国際社会と日本〕〈内海麻利〉	54
経済学〔現代社会と市場経済〕〈島中貴〉	54
社会科学論〔社会認識の思想〕〈大石雄爾〉	55
教育学〔アス・エデュケーション〕〈柳堀素雅子〉	56
教育心理〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕〈野中弘敏〉	57

(3) 自然分野

生物学〔生態と進化〕〈清水善和〉	58
地球科学〔自然景観の成り立ち〕〈市川清士〉	59
自然環境論〔生命と環境〕〈中村敏枝〉	59
自然環境論〔自然史と環境〕〈藤井享〉	60
自然環境論〔環境と保全〕—夏季集中—〈山縣毅〉	61
自然誌〔現代の自然像〕〈清水善和・篠原正雄 持丸真里・山縣毅〉	62
数学(1)〔微積分学入門〕〈小沢誠〉	63
数学(2)〔線型代数学入門〕〈小沢誠〉	63
数学(3)〔現代数学入門〕〈福田賢一〉	64
情報数学〔情報と論理〕〈上原隆平〉	64
物理学〔光と物質〕〈篠原正雄〉	65
化学〔衣食住の化学〕〈持丸真里〉	66
宇宙科学〔星と銀河〕〈篠原正雄〉	66
コンピュータ基礎(1)(4)(6)(9)〔コンピュータの実際〕〈小沢誠〉	67
コンピュータ基礎(2)(7)〔コンピュータの実際〕〈山本博信〉	68
コンピュータ基礎(3)(8)〔コンピュータの実際〕〈小川健次郎〉	69
コンピュータ基礎(5)〔コンピュータの実際〕〈澤口隆〉	70
コンピュータ基礎(10)(23)(24)〔コンピュータの実際〕〈上原隆平〉	71
コンピュータ基礎(11)(15)〔コンピュータの実際〕—夏季集中— 〈元木光雄〉	72
コンピュータ基礎(12)〔コンピュータの実際〕—夏季集中— 〈小沢誠〉	73
コンピュータ基礎(13)(17)〔コンピュータの実際〕—夏季集中— 〈山本博信〉	74
コンピュータ基礎(14)(18)〔コンピュータの実際〕—夏季集中— 〈長坂浩史〉	75
コンピュータ基礎(19)(21)〔コンピュータの実際〕—夏季集中— 〈澤口隆〉	76
コンピュータ基礎(16)(20)(22)〔コンピュータの実際〕—夏季集中— 〈小川健次郎〉	77
コンピュータ応用(1)(2)〔コンピュータの原理〕〈上原隆平〉	78
人類学(1)(2)〔人類の進化〕〈遠藤萬里〉	78
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕〈横山剛〉	79
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕〈山岸直基〉	79
心理学〔心を科学する〕—夏季集中—〈堀内正彦〉	80

(4) 総合分野

総合Ⅰ(1)〔仏教と自然〕	〈四津谷 孝道〉	81
総合Ⅰ(2)〔仏教と社会〕	〈熊本 英人〉	81
総合Ⅱ	〈休講〉		
総合Ⅲ(1)〔人権と社会問題〕	〈ピアス, D. M.〉	82
総合Ⅲ(2)〔欧米の教育と日本の教育〕	〈岡崎 寿一郎〉	83
総合Ⅲ(3)〔中国語圏文化の諸相〕	〈岩崎 皇〉	83
総合Ⅳ(1)〔現代アメリカ事情〕	〈林 明人〉	83
総合Ⅳ(2)〔米国シアトルNPOの経営研究〕	〈西村 祐子〉	84
総合Ⅳ(3)〔ポスト・モダンの世界〕	〈丸小 哲雄〉	85
総合Ⅴ	〈休講〉		
総合Ⅵ(1)〔民族とは何か〕	〈大野 祐二〉	86
総合Ⅵ(2)〔イスラム〕	〈吉田 京子〉	86
総合Ⅵ(3)〔フェミニズム・ジェンダー〕	〈早川 紀代〉	87
総合Ⅶ(1)〔トラブルと法的解決〕	〈藤本 茂他〉	88
総合Ⅶ(2)〔都市論〕	〈早川 純貴他〉	89
総合Ⅷ	〈休講〉		

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 〔日本文学「古典」〕	ひらの 野 由紀子	経A・商・経B選	4

講義のねらい

現在、日本は国際社会において重要な役割を担っているが、真の国際人であるためには自国の文化や歴史を知ることが重要である。そこで、日本文学の原点とも言える万葉集の歌をよむことによって、その歴史的背景を知ると共に、古代人の生き方や考え方を理解する。

万葉前期は大化の改新から壬申の乱を経て、律令国家体制の確立された時代であり、歌は歴史と密接に関わりながら存在した。額田王や柿本人麻呂などが活躍し、古代の歌謡からみずみずしい万葉の和歌が生まれ出た。前期万葉をよむことは、古代史を読むことでもある。

万葉後期は歌の舞台が都を遠く離れた北九州や北陸、関東などに及び、大伴旅人や山上憶良、万葉集の最終編者と考えられる大伴家持など官人たちのほか、防人や名もない庶民の歌が多く収録されている。それらの歌を通して、当時の社会や人々の考え方を学んでみたい。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 前期万葉の歌をよむ。(1・2)歌謡から和歌へ (3・4)前期万葉の時代 (5～7) 斉明・天智朝—額田王を中心に (8・9)天武朝と天津皇子・大伯皇女 (10～12)持統朝—柿本人麻呂を中心に (13)持統朝—高市黒人・万葉前期のまとめ
(後期) 後期万葉の歌をよむ。(14)万葉第三期について (15・16)大伴旅人 (17・18)山上憶良 (19)山部赤人 (20)高橋虫麻呂 (21)万葉第四期について (22～24)大伴家持 (25)防人歌・東歌 (26)万葉後期のまとめ

成績評価の方法

年度末の定期試験により評価する。出席・授業態度等も考慮する。なお、出席は授業内容に関するコメントの提出によりとる。

教科書

小野寛『新選万葉集抄』(笠間書院)

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 〔日本のことば〕	ほ 明 陽 子	経A・商・経B選	4

講義のねらい

明治時代の作品を読むことで、その時代の雰囲気を実際に感じる。高校の教科書にある森鷗外『舞姫』がかつて読みにくかったように、今となっては一人でスラスラとは読めなくなってしまっている明治20年代から30年代の作品を、そこに書かれている一字一句の「ことば」の背景に立ち戻り、そこから推測できる「ことば」の意味を吟味しながら読むことで、実はその作品に含まれていた明治の社会や文化をもじっくり体験する。

講義の内容・授業スケジュール

「写実」というテーマにかかわる作品を読む。小説にかぎらず評論なども含む。文学作品は、「ことば」によって何かを写し表現しているものであるが、「写実」の定義は個々の作家によって異なる。したがって、この講義では、明治の「ことば」にふれながら、明治の人々の「ことば」に対する概念を探る。具体的な作品については、最初の講義において明らかにする。

履修上の留意点

この講義では、みなさんと共に年間を通して、文学作品について本格的に読むことになる。授業に出席することで新しい読み方を体験し、その成果を表現することが要求される。

成績評価の方法

毎回の授業を通して話題になるテーマについて、その都度みなさんが考察してきたことが、不定期に課されるレポート提出という形でとわれ、その提出状況と内容が成績に反映される。

教科書

適宜講義で指示する。

参考書等

適宜講義で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史学 〔東アジア考古学〕	千葉基次	経A・商・経B選	4

講義のねらい

長城地帯から極東アジア地域で民族・特定文物・組織その他から、一つのキーワードを選び出し、授業の主題とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業題目の研究史から始め、個々の研究内容を解説し、最後に今後の課題を示す。

履修上の留意点

板書事項もあり、薄くて充分なので専用のノートを用意することが望ましい。

成績評価の方法

毎時出席を確認し、平常授業を評価の基とする。レポートについては出欠状況を見て決める。

教科書

特になし。

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸術学 (1) 〔日本美術〕	北野良枝	経A・商選	4

講義のねらい

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を解説するにあたっては、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 室町から桃山時代の絵画
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識
 (3) ~ (7) 室町時代の水墨画 (8) ~ (10) 阿弥派、土佐派、狩野派
 (11) ~ (12) 狩野永徳と桃山画壇
 (後期) 江戸時代の絵画
 (13) 江戸時代の狩野派 (14) ~ (17) 琳派
 (18) ~ (19) 浮世絵 (20) 南蘋派
 (21) 文人画 (22) 秋田蘭画と司馬江漢
 (23) 伊藤若冲と曾我蕭白 (24) 江戸から明治へ

履修上の留意点

ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (2) 〔西洋美術〕	矢野陽子	経A・商選	4

講義のねらい

ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちとは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ15世紀から18世紀までの美術、つまりイタリア・ルネサンス期からフランス革命期頃までの美術を対象とします。まず美術作品に表現された内容を理解し、その表現様式の特徴を考えながら、美術の主要な流れを把握することを目的とします。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 15・16世紀の美術
イタリア初期ルネサンス／15世紀の北方美術／イタリア盛期ルネサンス／北方ルネサンス／マニエリスム
(後期) 17・18世紀の美術
バロック美術（イタリア、ネーデルラント、スペイン、フランス）／ロココ美術／新古典主義美術

履修上の留意点

初回にガイダンスを行うので必ず出席してください。スライドで作品を見ながら時代順に講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席することが望まれます。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験とを合わせて評価します。

教科書

高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』（美術出版社）1,900円

参考書等

参考文献は授業中適宜紹介します。

その他

授業では毎回スライドを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (3) 〔音楽〕	赤羽由規子	経A・商選	4

講義の内容・授業スケジュール

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。
後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書

印牧由規子著『現代からの音楽史』（公論社）2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔西洋思想の源流〕	たまき ざわ まさ ゆき 滝 沢 正 之	経A・商・経B選	4

講義のねらい	西洋古代中世哲学史を概説する。 古い哲学者では2500年前にまでさかのぼることになる。しかし、哲学というものは不思議なもので、古い人より新しい人のほうがより正しいことを言っているのかというと、そうでもない。科学とは事情が違うわけだ。古代や中世の哲学者たちは、現代でも十分に現役で通用する面白い考えを示してくれている。 古代中世哲学の時代を超えた洞察を紹介していきたい。
講義の内容・授業スケジュール	西洋古代中世哲学史から、主要な哲学者を何人か取り上げ、解説する。古代哲学、そのなかでも、プラトンとアリストテレスが中心となる予定。
成績評価の方法	基本的に中間および期末試験により評価する。
教科書	久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）
参考書等	講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔西洋思想の源流〕	なか むら ともたろう 中 村 友太郎	経A・商・経B選	4

講義のねらい	古代ギリシアに起源をもつ西洋思想の展開をその端緒から歴史的に辿ることを通じて、「哲学的に考えること」の基本姿勢を、理解しつつ習得することを目標とします。究極的には、現代世界に生きる者として知的探究することがねらいですが、まずは源流に触れて古典的な思考法を身につける努力から始めましょう。
講義の内容・授業スケジュール	〔前期〕古代ギリシアの思想家たちにおける自然観と人間観の形成過程を中心に。 〔後期〕中世キリスト教哲学および近代思想の形成期における哲学思索を中心に。なお、講義の内容も展開も参加者の対応次第で変わることがあります。
履修上の留意点	「哲学」（フィロソフィア）の名に値する知的探求は、みずから問いかけ思考しつづけることが基本ですから、受身的なだけの講義参加は無意味です。熱意をもって取りくむ覚悟が必要です。
成績評価の方法	毎回のリアクション・ペーパーに反映される授業への積極性や夏休みの課題を含みレポート提出と年度末の定期試験により総合的に成績評価します。それゆえ、継続的な意識をもった授業参加が不可欠です。
教科書	『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円。ほかに資料等のコピーを適宜配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	すずき 木 聡	経A・商・経B選	4

講義のねらい

論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。我々は、日常生活において様々な文を用いて様々なタイプの推論を行う。多種多様な姿を持つ文にも、実は或る一定の構造が存在する。その構造を見極めることが論理学の課題である。また多種多様に見える推論にも、実は或る一定のタイプが存在する。この推論のタイプについての研究が論理学の主要課題である。論理学の習得は、正しい推論結果を導出するために、すべての学問において重要なことである。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は次のものを予定している。

1. 文論理
 - (a) 文論理の意味論 (b) 文論理の統語論
2. 第一階量化論理
 - (a) 第一階量化論理の意味論 (b) 第一階量化論理の統語論
3. メタ論理
 - (a) 健全性定理の意義 (b) 完全性定理の意義

履修上の留意点

毎回の出席が要求される。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教科書

配布プリント

参考書等

本講義は、講義→小テスト（チュートリアル）→前回の講義の復習→小テストの解説→……という形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	やの ひろし 野 浩 司	経A・商選	4

講義のねらい

ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのスキルアップを目的とします。日本の教育制度はこの四つの能力を育成しませんが、民主主義社会の一員として、ビジネスパーソンとして、国際社会の一員として、これからの時代を生き延びてゆくためには武器となるスキルです。(ただし、この授業は伝える内容は育成しません。内容は自分で育成してください。この授業が育成するのはメッセージを伝達する形式に関わる部分のみです) 初めての参加者は、人に何かを伝えようとする前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるかもしれませんが、それを乗り越えることも目的の一つとします。

講義の内容・授業スケジュール

まずディベートから始めて、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのどれか、あるいはすべてに挑戦してもらいます。オプションとして、司会術、情報分析、ビジネス戦略、ユーザー・クレーム、ビジネス・マナーを検討します。

履修上の留意点

単位よりも能力が欲しいことを参加条件とします。参加人数を減らすために、四回休んだら単位は出ません。単位のいらない人の参加は歓迎します。この授業は今年で三年目となり、すでに単位を取っているのにスキルアップのために参加し続けている人がいます。そんな熱心な人たちのために今年は、有段者の黒帯、あるいはトーナメントの勝利者に与えられるトロフィーに相当するものを認定する制度をつくりたいと思います。それについてもプレゼン・バトルで決定しますので、アイデアを練っておいてください。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度などで評価します。

教科書

プリントを配布します。

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	いこた まさる 伊古田 理	経A・商選	4

講義のねらい	本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際のノウハウの習得を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。
履修上の留意点	以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。
成績評価の方法	随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。
教科書	本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんでものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。 教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版） 副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）
参考書等	そのつど指示する。
その他	上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつめてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学史 〔科学と技術〕	こみやま たかし 小宮山 隆	経A・商選	4

講義のねらい	近代科学の成立およびその展開に深いかわりをもつ「技術」のいくつかを軸に、科学と技術および社会との関連を視野に入れ、歴史を概観する。科学と技術はしばしば車の両輪にたとえられるが、新しく登場した技術が科学の進展を促すばかりでなく、阻害するケースもあり、そうした個々の事例をふまえて今日の科学技術文明を考える手がかりとしたい。 後期には、IT、バイオ、ナノテクノロジー等、現代技術の動向についても紹介する。
履修上の留意点	自然科学的な知識は特に前提としないが、それだけに講義に対する積極的な取り組みが受講の要件となる。
成績評価の方法	出席状況、レポートおよび定期試験の結果を合算して評価する。 なお、試験については、「覚える」ことを強いる必要はないと思われるので、原則として、教科書・ノート等の参照を可とする。
教科書	開講時に指示する。
参考書等	講義の際に随時、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (1) 〔人間観〕	<small>ふる</small> 古 <small>た</small> 田 <small>とも</small> 知 <small>あき</small> 章	経A・商・経B選	4

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

- 〔前期〕人間観の形成の歴史
1. 人間と倫理 一人間であるために
 2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
 3. 中世キリスト教思想における人間観
 4. 人間観の転換 ―ルネサンス・宗教改革―
- 〔後期〕新しい時代の人間観
1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
 2. 自己の内面性と他者の問題
 3. 人格 ―ロックを手がかりに―
 4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (2) 〔応用倫理学〕	黒崎 剛 <small>くろ さき つよし</small>	経A・商・経B選	4

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のもののみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理——講義の課題概説
 2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
 3. 人工妊娠中絶
 4. 安楽死と尊厳死
 5. 脳死と臓器移植
 6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
 7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (3) 〔価値観〕	滝沢 正之 <small>たき さわ まさ ゆき</small>	経A・商・経B選	4

講義のねらい

倫理学の主要な潮流を概説する。
我々は日常、道徳的な善悪について語る。たとえば、親は子供に「それは悪いことだからしてはいけません」と言うだろう。しかし、少し反省してみると、道徳的な善悪というものはそれほど自明ではない。
そもそも、何が善いことで何が悪いことなのだろうか。たとえば、人は殺してはいけない、とよく言うが、世の中には死刑もあるし戦争もある。
また、少し前までは、性別や人種で差別することが当然のように行われていた。それが悪いことではない、と思われていたのだ。善悪は時代や場所によって変わってしまう、ただの決まりごとなのだろうか。
このように、道徳的な善悪の本性とは、実のところ、よくわからないものなのだ。そこで、道徳についての哲学的考察、すなわち倫理学が登場することになる。

講義の内容・授業スケジュール

倫理学の主要な潮流を互いに対決させつつ紹介する。具体的には、カントの義務論、功利主義、ニーチェの道徳批判、徳論の四つとなる予定。

成績評価の方法

基本的に中間試験および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (4) 〔応用倫理学〕	矢野 浩 司	経A・商・経B選	4

講義のねらい

例えば、自動車でスーパーマーケットに行き、パックされた牛肉を買って、ポリエチレン製の袋に入れてもらって、家に持って帰って食べる場合、人はさまざまな選択を行っています。多くの人は選択を行っているという意識を持っていません。それはシステムや文明によるマインドコントロールを受けている状態であり、考えて行動する力を奪われている状態であるとも言えます。この授業の目的は、そのような問題の存在に気づき、自分にインストールされた行動様式の外にいったん出ることによって、考えること、意見を持つこと、判断を下すことをシミュレートすることです。応用倫理学とは、論理の応用ではなく、問題に参加することで生き方を模索する学問です。

講義の内容・授業スケジュール

毎回異なる問題を扱います：安楽死、遺伝子操作、劣化ウラン弾、地雷、パレスチナ問題、アメリカとイラク、代理母、中絶、女性器切除、AIDS、18トリソミー、IT犯罪、IT汚染、天皇制、南京虐殺、教科書問題、自衛隊、自動車、食料、難民、刑務所、死刑、売買春、おたく、わいせつ、引きこもり、化粧、ファッション、美容整形、殺人、地域通貨、資本主義、徴兵制、温暖化、煙草、アイドル、アメリカ映画、内部告発、メディア倫理、ビジネス倫理など。

履修上の留意点

本年度は、授業終了後に希望者のみでグループ・ディスカッションを行います。この部分に関しては単位は出ませんが、意見を深めたい者、ディスカッション能力を高めたい者は参加してください。参加希望者がいない場合は行いません。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、リアクションペーパーとディスカッション能力で評価します。

教科書

プリントを使用します。

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (5) 〔制度とモラル〕	滝口 清 栄	経A・商・経B選	4

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代によりあるいは地域により違いが見られるが、そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代にあっても人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえなくなっている。歴史的視野をもち以上の思想的営みをふりかえっておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代からいくつかの思想をピックアップし、まず人間観の特徴をつかみ、そして人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐり、思案のあとを検討する。制度はもちろんそれを担うことのできる人間を必要とする。そこにはモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布する。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト（10月上旬を予定）と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (6) 〔東洋倫理〕	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	経A・商・経B選	4

講義のねらい

漢文古典はすべて「倫理」学と言っても過言ではない。それらを産み出した人々の主要な関心は、人と人の中で如何に生きるかにあった。従って、漢文古典を考えれば、自ずと倫理学となる。又、漢文古典が示す人の生き方は、東アジアの人々に等しく人生の指針であった。先人の積みあげた歴史の上に我々はいる。漢文古典の世界を知ることは、決して他人事ではなく、我々の心の奥底を知ることである。これを知ることは、我々の未来の生き方を開くことにもなる。この様な重要な意味を担う我々先人達の人生の思想を問い直し、そこから未来の手掛りを掴む—ここにこの講義の目標はある。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、東洋古典の智慧がどれだけ現代の問題を考えるのに役立つか検討を試みたい。環境倫理—環境問題にいかに対処してゆくかという問題を取り上げ、この問題に東洋の智慧がどのように光を投げかけるかを見てみたい。教科書は、この様な問題意識に基づいて開かれたシンポジウムの報告論文集である。講義は、教科書に収められた論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進めながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとること。

成績評価の方法

基本は年二回以上の試験あるいはレポートにより判断する。それに、出席状況・受講への積極性（質問の有無—質問は原則書面で提出して貰う）などを加味して最終的な成績をつける。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学 (1) 〔比較宗教文化〕	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	経A・商・経B選	4

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

大きなテーマとして、次の三つを考えている。①「宗教」概念の成立とその意義。②人類史と宗教。③現代社会に生きる「宗教」。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (2) 〔聖と俗〕	田 中 かの子 <small>た なか こ</small>	経A・商・経B選	4

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあって「聖と俗」という対立概念をみるのは、人間に固有の宗教的価値観がはたらいっているからにはかならない。「聖」と「俗」にいかなる内容を盛るかは、神の啓示や仏の理法、あるいは大自然の威力など、信仰対象の特質によって多様化する。それはあたかも諸宗教間の相違を生むものであるかのように見える。しかし「聖と俗」の観念が生活のなかで活かされると、それは、無力にして至らぬ自己を「不浄から清浄」「苦しみから救い」「罪から改悛」へのプロセスに向かわせるという、どの宗教にとっても重要な、ひいては日々新たに生まれかわろうと欲する人間に共通の問題となる。本講では、現代に生きる諸宗教の信奉者たちと「聖なるもの」との関わりを実際の見聞にもとづいて解説し、各宗教の特殊性よりは普遍性について講じてゆく。それにより、本来は聖俗不分の如実なる世界に立ち返り、日常の大切さ、いのちの尊さに思い到ることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、Ⅰ. 宗教学の基本的立場、Ⅱ. 原始時代の宗教、Ⅲ. 一宗教の諸相、多宗教の比較、Ⅳ. 諸宗教の構成要素一覧、Ⅴ. 聖なる母性の比較美術、Ⅵ. 仏陀とキリスト、後期は、Ⅶ. プロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化について解説する。

履修上の留意点

講義を聴き、板書を写すにとどまらず、その過程で考えたことをノートに取り、独創性や文章力を養うのに役立てよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート、出席状況。

教科書

田中かの子著『比較宗教学—「いのち」の探求—』（北樹出版）2004年

その他

講義担当者の現地調査によるスライドと録音テープを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (3) 〔思想と儀礼〕	小 川 順 敬 <small>お がわ とし ゆき</small>	経A・商・経B選	4

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその思想について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の思想を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずで。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (4) 〔組織と運動〕	あらい 洗 けん 建	経A・商・経B選	4

講義のねらい

宗教学は、宗教現象の実証的研究を通じて宗教の客観的理解を目指す学問である。宗教現象は、文化、社会、個人の人格などの各次元にわたって展開するが、この講義では宗教の社会的展開を中心に考察する。宗教は個人の内面において、単なる知識としてではなく、情意的にも真実として把握された世界認識である。しかし、それはまったく個人的な信念にとどまるものではなく、多くの人々に共有された文化として存在する。そして宗教を共有する人々は、集団を作り、共に礼拝その他の宗教的実践をするのが一般的である。そこに社会現象としての宗教の問題が生じる。社会現象としての宗教には、どのような集団が形成されるのかという、集団内部の組織の問題と、宗教集団の活動が、外部の一般社会とどのような関係を生じるのかという宗教運動の問題とがある。これらの問題を事実在即して考察し、宗教現象の理解を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の宗教伝統を形成する神道、仏教、儒教など、なかでもその基層をなしている神道的なるものが、わが国の社会や文化の形成に、いかに関わっているのかを考察したい。

履修上の留意点

受講者の人数にもよるが、事実を覚えることより、問題を理解し共に考えることを目指したいと思っているので、とにかく出席して受講して貰いたい。原則として出席をとる。

成績評価の方法

定期試験と、出席点を総合評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人 文 地 理 学 (1) 〔風土と文化〕	たけ ぼやし かず ひこ 竹 林 和 彦	経A・商選	4

講義のねらい

人文地理学の基本的概念や思考対象について、具体的な事例を取り上げながら検討してゆく。特に本講義のサブテーマである「風土と文化」について、文化地理学的アプローチを紹介しながら検討していく。講義でアジアを主に取り上げていくが、適宜ヨーロッパ・アメリカ等の地域と比較検討する。講義は、スライドやOHP等を使用し、事例として取り上げる地域を具体的にイメージできるように進める。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. ガイダンス | 10. 文化景観 |
| 2. 人文地理学の学問的性格 | 11. 文化伝播 |
| 3. 人文地理学の基本概念 | 12. 東南アジアの風土と文化 |
| 4. 人文地理学の思考対象とその方法 | 13. 東アジアの風土と文化 |
| 5. 人文地理学と地誌学 | 14. 市場の風景 |
| 6. 地理学にとって文化とは何か？ | 15. 都市での居住（都市の文化） |
| 7. 地域とは（地域の概念） | 16. 都市と農村 |
| 8. 文化地域 | 17. まとめ |
| 9. 文化生態～主に人間と自然環境のかかわり～ | |

履修上の留意点

授業には必ず地図帳（中学・高校で使用したものでもよい）を持参すること。

成績評価の方法

定期試験80%、平常点20%

教科書

特に指定しない。必要に応じて講義中に指示する。

参考書等

特になし。必要に応じて講義中にプリントにて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (2) 〔風土と文化〕	たが はし けんたろう 高 橋 健太郎	経A・商選	4

講義のねらい

人々の世界観や価値観、生活様式といった文化的側面と、地域社会の特徴や変容とを関連づけて考えるという、人文地理学の基本概念について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活、または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかに関与しているかということについて検討する。具体的には、講義内容として以下の項目を予定している。◇人文地理学の位置づけ、◇文化伝播、◇文化生態、◇文化景観、◇文化変容、◇大衆文化、◇基層文化、◇居住、◇観光開発、◇地図、◇地名、◇空間認知、◇地域イメージ。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に、教場にてレポートを作成し提出してもらう。

成績評価の方法

教場レポートの内容 (30%) と定期試験の結果 (70%) で採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

高校で使用した地図帳を持参のこと。その他、参考書については、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (3) 〔空間と行動〕	やまぐち たろう 山口 太郎	経A・商選	4

講義のねらい

都市を歩くことによって都市を体験し、都市への批判的なまなざしを養うことを目的とする。本講義は、受講生の都市でのフィールドワークに対し、地理学的な切り口を提示していく。前期はまち歩きをするための準備という位置付けで、東京に関する地理的知識と先達の都市観察・記述を紹介する。渋谷、原宿、新宿、田園調布など、東京のさまざまな場所を事例に進めていく。後期は都市に関する諸理論・さまざまなテーマ別に、都市を批判的に見つめるまなざしを養う。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期)
- I 東京の自然史
 - II 東京の歴史社会地理
江戸から東京へ、モダニズム・大衆文化、高度経済成長、都市論ブーム、バブルの時代、郊外居住、都心回帰
 - III 先達による都市観察・記述
小田内通敏、今和次郎、陣内秀信、正井泰夫、路上観察学会、江波戸昭、川本三郎、泉麻人、石井實、奥田道大、ライフヒストリー
- (後期)
- IV 都市の中の差異
都市計画、時間地理学、認知地図
 - V 都市民の憂鬱
選好地図、まなざしの権力性、都市と故郷、都市の集団の風景
 - VI 商品としての都市
場所のイメージ、ディズニーランド化、創られた伝統、住民参加のまちづくり

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

夏休みのレポートと後期試験で評価する。平常点も若干評価の対象とする。

教科書

前期に以下のテキストを使用する。
正井泰夫監修2003『図説歴史で読み解く東京の地理』（青春出版社）1,000円

参考書等

講義中に随時紹介していくが、さしあたり以下の文献を挙げておく。
エドワード、レルフ著（高野・神谷・岩瀬訳）『都市景観の20世紀』（筑摩書房）
田島則行・久野紀光・納村信之編『都市／建築フィールドワークメソッド』（INAX 出版）
若林幹夫『都市への／からの視線』（青弓社）

その他

講義は受講生のまち歩きを楽しくし、批判的なまなざしを身につけるための一助の場と位置付けたい。そのため、この1年間自発的にまち歩きをして欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (4) 〔空間と行動〕	伊藤 修一 <small>いとう しゅういち</small>	経A・商選	4

講義のねらい

日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動しています。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくありません。特に、都市には多様な人々が活動しており、そこには都市のもつ特徴が大きく反映されていることは明らかです。ここでの目的は、次のような講義を通じて、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することです。前期には、都市がどのように形成されて今日のように分布することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説します。後期には、都市の形成や変化に不可欠な人口動態と移動の傾向を把握し、都市に関する既存の実証研究を紹介し、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきの理解をねらいます。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕イントロダクション (1)、地図 (2)、都市の分布と立地 (3~7)、地域の結びつき (8・9)、都市の内部構造 (10)
〔後期〕人口変動と分布・人口移動 (1・2)、都市の居住構造の形成過程とその変化-郊外化・再都市化 (3~8)、都市と余暇活動 (9)、都市空間における知覚と認知 (10)

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがありますので、高校数学や統計学などの知識を持っているとより理解が深まるでしょう。

成績評価の方法

原則として学年末の試験結果から評価しますが、出席状況も考慮する予定です。

教科書

講義では資料を随時配布します。

参考書等

坂本英夫・浜谷正人編『最近の地理学』(大明堂) 1985
富田和暁・藤井 正編『図説 大都市圏』(古今書院) 2001
なお、高校などで利用した地図帳を準備することが望ましいです。

その他

プロジェクターを用いて講義を行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	伊藤 茂樹 <small>いとう しげき</small>	経A・経B 2選	2

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
・近代社会と教育
・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	はぎわら けんじろう 萩原 建次郎	経A・商・経B2選	2

講義のねらい

この授業を通し、「私」とのかかわりにおいて「学ぶこと」「生きること」をとらえ直す機会をもちたい。そのために自らの学校教育体験を、人間形成の大きな流れ、ライフサイクルという視座から問い直すこと。そこから、自らの学校教育体験に依拠しながら暗黙のうちに意味付けてしまっている「教育」や「学習」について相対化する視点と感性を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①学習体験をふりかえるー「学び」のマップづくり
- ②人間形成のプロセスをふりかえる1ー私のライフライン
- ③人間形成のプロセスをふりかえる2ー「学び」の自分史
- ④人間形成のプロセスを考えるーライフサイクル論の検討
- ⑤人間形成に関わる「重要な他者」を考えるー子育てエージェントの歴史と現状
- ⑥あらためて私・学校・教育・学習を考える

履修上の留意点

この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習である。よって授業への積極的な参加姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法

小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。

教科書

とくに使用しない。

参考書等

そのつど紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	さか もとのぶ あき 坂 本 信 昭	商・経B 2選	2

講義のねらい

民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。

20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

講義の内容・授業スケジュール

- ・教育の理想と目的
- ・わが国の教育目的の変遷
- ・現代・社会の変化と教育目的
- ・その他（大村はま、林竹二などから学ぶものは何か）

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教科書

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円

参考書等

デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円
林竹二・灰谷健次郎『教えることと学ぶこと』（小学館）460円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	いとう しげき 伊 藤 茂 樹	経A・経B 2選	2

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。

- ・現代の教育問題
- ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	はぎわら けんじろう 萩原 建次郎	経A・商・経B2選	2

講義のねらい

80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはそこにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。

この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを目指した具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。

この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者(子ども・友人・親・先生など)とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に応用していける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①「居場所」をめぐる言説の登場
- ②「居場所」の意味を読み解く
- ③子ども・若者の自己形成空間の変容
- ④子ども・若者の居場所空間をデザインする
- ⑤「居場所」に関わる指導者論
- ⑥「居場所」と子どもの参加論

履修上の留意点

授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法

小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。

教科書

田中治彦編著『子ども・若者の「居場所」の構想-「教育」から「関わり場」へ-』(学陽書房) 3,000円

参考書等

久田邦明編著『子ども・若者の居場所』(萌文社)
ロジャー・ハート著『子どもの参画』(萌文社)

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	坂本信昭	商・経B2選	2

講義のねらい

人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなると、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。

講義の内容・
授業スケジュール

講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。

- ・学校教育のあゆみ
- ・学校の社会的機能
- ・学校教育の現実と課題
- ・その他（教師論集）

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教科書

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円

参考書等

デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	大浜幾久子	経A・商・経B2選	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	かわだみつお 川田三夫	経A・商・経B2選	2

講義のねらい

- 1) 子供の成長・発達の概要を理解する。
- 2) 学習心理学の基本的な事項を理解する。
- 3) 発達に影響を与える広義の環境の問題について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達や学習をめぐる現状と問題点
- 2) 発達や学習の理論、乳児期・幼児期の発達の特徴と留意点
- 3) 児童期の発達の特徴と留意点
- 4) 青年期の発達の特徴と留意点
- 5) 青年後期・成人期の発達の特徴と留意点
- 6) 人格の発達と問題点
- 7) 社会性の発達と問題点
- 8) 情緒や性意識の発達と問題点
- 9) 交友・対人関係の発達と問題点
- 10) 若者文化や社会風俗の歴史的変遷と現状の問題点
- 11) 青少年の非行等の問題行動
- 12) 人格障害、情緒障害、神経症的な問題行動等
- 13) 学校生活をめぐる諸問題
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようにさせている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験（論述、レポート）を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教科書

『よくわかる発達と学習』（福林書店）2,400円

参考書等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
- 3) この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	やまもとまさと 山本政人	経A・商・経B2選	2

講義のねらい

児童・生徒の発達と学習のメカニズム、およびそれらへの援助、指導のあり方について、教育心理学の見地から概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①発達とは何か
- ②発達の要因
- ③発達理論
- ④人格発達
- ⑤認知発達
- ⑥学習理論
- ⑦学習の要因
- ⑧発達と学習
- ⑨発達と教育
- ⑩発達・学習と臨床

履修上の留意点

不定期に小レポートを課すことがある。

成績評価の方法

学期末試験の成績に小レポートの成績を加味して行う。

その他

講義形式で行う。教科書は指定しない。参考書は授業で紹介する。授業で資料を配布することがある。
この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	おおはまきくこ 大浜幾久子	経A・商・経B2選	2

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行の新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』文部科学省
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。
この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	かわだみつお 川田三夫	経A・商・経B 2選	2

講義のねらい

- 1) 教授-学習過程に関わる基本的な事項を学習する。
- 2) 教育目標、教育課程を中心に学習活動の効果的な展開について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達と学習（教育）をめぐる現状と問題点
- 2) 発達と学習
- 3) 学習理論の基本と応用
- 4) 教育学・教育心理学の基本と応用
- 5) 教育理論や方法の歴史の変遷、現状と課題
- 6) 教育目標
- 7) 教育課程（学校教育の基本について）
- 8) 教授-学習過程（学習指導、学級集団、生徒指導）
- 9) 教育評価の歴史の変遷、現状と課題
- 10) 学習指導要領（改訂の歴史、『学校教育法』、『学校教育法施行規則』等）
- 11) 総合的学習、職業教育、生涯学習、障害児教育
- 12) 学校、教師、生徒の諸問題（授業時間、教科書、教科書検定、等）
- 13) その他（教員養成、教員採用の問題、教育制度・教育行政等の問題、等）
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようにさせている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験（論述、レポート）を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教科書

『よくわかる発達と学習』（福林書店）2,400円

参考書等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	なつ ぼり ちか 夏 堀 睦	経A・商・経B2選	2

講義のねらい

今日、教育実践のなかで相対評価から絶対評価への移行や総合学習の導入に伴い、教育評価の問題が重要となってきています。教育心理学の領域では、これまでにさまざまなテスト開発や教育実践の分析を通じて、教育評価の問題にアプローチがなされてきました。

この講義では、過去の教育評価の知見を紹介するとともに、児童期の発達的特徴と重ね合わせながら、子どもの教育評価の問題を考えていきます。そして、児童への評価の方法とともに、授業分析および授業評価の方法、教師の自己評価の問題も取りあげます。具体的には、まず児童期の発達的特徴をさまざまな発達理論から概観します。第二に、形成的評価、到達度評価等これまでの教育評価の方法と問題点、また評価の心理的影響についての知見を紹介します。第三に、授業分析と授業評価に関する方法論と教師の自己評価について、さまざまな研究から得られた知見を紹介します。最後に、最近創造活動に関わる分野で注目されているポートフォリオ評価の内容と実践例について検討します。

講義の内容・
授業スケジュール

①児童期の発達の特徴と評価内容 ②児童と学校文化 ③評価の心理的影響 ④教育評価の方法論 ⑤ポートフォリオ評価の内容 ⑥ポートフォリオ評価に基づく実践

履修上の留意点

実践案を考えてもらう課題を出します。書籍、雑誌、テレビ等で具体的な教育実践が紹介されていると思いますので、積極的に実践例を収集しておいてください。

成績評価の方法

出席点、レポートによる総合評価。

教科書

特に指定しません。

参考書等

梶田 毅一『教育評価【第2版補訂版】』（有斐閣双書）
B.D.シャクリー/N.パーバー/R.アンブローズ/S.ハンズフォード著 田中耕治監訳
『ポートフォリオをデザインする—教育評価への新しい挑戦—』（ミネルヴァ書房）

その他

パワーポイントを使い、講義形式で行います。
この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕	お 呉 <small>びょん さん</small> 炳 三	経A・商・経B選	4

講義のねらい

社会学は個人、集団、社会を対象とし、その分野は、「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「文化」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家族生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
- (2) 経済のグローバルイゼーションにともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
- (3) 社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」「性」「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー（社会的な性）」の問題を考える。
- (4) 若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のよように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

前・後期末に筆記試験を行う。詳細は開講時に説明する。

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社）2,500円

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	しんぎょうち こうじ 新行内 康 慈	経A・商・経B選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1)統計学の概要 (2)度数分布表とヒストグラム (3)基本統計量
 (4)確率の定義 (5)場合の数 (6)和事象・積事象の確率
 (7)演習 (8)確率変数と確率分布 (9)平均・分散と期待値
 (10)確率変数と標準化 (11)正規分布表問題 (12)演習 (13)まとめ
 (後期) (14)母集団と標本 (15)点推定と区間推定
 (16・17)正規母集団の区間推定 (18)仮説検定
 (19・20)正規母集団の検定 (21)推定・検定の応用 (22)演習
 (23)散布図と相関係数 (24)回帰分析 (25)回帰分析の応用
 (26)まとめ

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

適時指定します。

その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化人類学 〔文化と人間〕	ふじ さき やす ひこ 藤 崎 康 彦	経A・商・経B選	4

講義のねらい

文化人類学の基本的な考え方や知識を身につけることを目的とする。文化とは分類であること、文化とはコミュニケーションであることを基本的な視点として設定し、現象を整理してゆく。他者への関心から始まった文化人類学は自己の認識に役に立って、初めて意味がある。現代に生きるわれわれの人間観、文化観を各自がもてるように努力したい。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業内容を大きく前期と後期に分ける。前期は親族や婚姻などの社会構造、後期は妖術や呪術などの信念体系を考える。

前期

1回 導入、2回 親族と人の分類、3回 キンドレッド、4回5回 単系出自集団、6回 婚姻とその多様性、7回 婚姻連帯理論、8回 インセストタブーとエディプスコンプレックス、9回 擬制的親子関係、10回 性と年齢に基づく集団、11回 文化とジェンダー、12まとめ、13予備

後期

1回 導入、2回 文化とコミュニケーション、3回4回5回 妖術、6回7回8回 呪術、9回10回11回 シャーマニズム、12まとめ、13予備

履修上の留意点

静粛に、礼儀正しく授業を受けていただきたい。授業中携帯電話などの電子音が鳴った場合、その場で授業をうち切る。また、参考文献は紹介するので自主的な学修に役立てていただきたい。

成績評価の方法

前期、後期末の授業時試験（もしくは定期試験）と、授業時のミニテスト、ミニレポート、出席点などの総合評価

教科書

未定

参考書等

トピックごとの参考文献は、授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	わちけいいち 和知恵一	経A・商・経B選	4

講義のねらい

現代社会は、高密度に人が集合し、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法によって、取り囲まれている。たとえば、電車やバスに乗ること、コンビニで文具を買うこと、アパートを借りることなど、すべて、法的な側面を持っている。自分は法と無縁であると思っている人は、そのことを知らずにいるだけなのである。講座名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルに（法と社会生活）とあるように、本講義においては、「良き社会人として生活していくために、社会にある『法』とは何であるかの理解をすること、またその『法』を社会生活の上で活かしていく能力を身につけること」を主眼とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義形式で進める。が、講義はどうしても一方通行になりがちなので、授業中に多数の質問を行い、挙手により解答してもらう。つまり、全員が参加する授業を目指す。授業中では、「三茶の駅頭で『うまい儲け話がある』とさそわれ、出資金の手付として1万円を払ってしまった。後で冷静に考えると失敗したと思う。この契約の効力はどうか、どうしたら『手付け金』を返してもらえるか」など、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。さらに、たとえば「今朝の新聞に、官僚が『収賄罪』で逮捕された記事が掲載されていたが、どんな罪なのか、また逮捕に際し憲法上の問題があるとあったが、どんな点で、なにが問題なのか」など、より up to date な話題を提供したい。

講義は、おおよそ以下のスケジュールで進める。憲法については、特別にテーマを定めることをせず、関連するテーマが出てきたときに、随時、該当条文に当たり、年間を通してほぼすべての条文に触れられるよう配慮する。

- (1) 法学
 1. 法学を学ぶにあたって
 2. 法とは何か
 3. 法の体系と分類
 4. 法の目的
 5. 法と裁判
 6. 裁判の基準（法源）
 7. 法の解釈
 8. 法と道徳をめぐる問題
- (2) 社会生活と法
 9. 犯罪と刑罰
 10. 財産生活と法（人・物・契約など）
 11. 家族生活と法（婚姻・親子・相続など）
 12. アクシデントと法（交通事故・医療事故・欠陥商品など）
 13. 企業と法（就職と労働契約・会社・手形小切手など）

履修上の留意点

楽しい授業・わかる授業・全員参加型の授業を行う必要からも私語はいっさい認めない。また出席は重視する。原則的に、欠席・遅刻・早退を認めない。教科書・特に六法は毎回準備すること。できるだけ板書したいと思うが、その単なる写し作業で終わらないでほしい。つまり、授業の中で十分考察し、理解することを要求する。したがって単に教場にいるだけでは出席とは認めない。真剣に授業を受けようという意識のある者だけに履修してほしい。

成績評価の方法

出席を重視し、きちんと出席したものに、期末試験の受験資格を与える。その試験の得点に平常点を加味して評価する。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法（新版）』（八千代出版）
塩野宏等編『ポケット六法（平成16年版）』（有斐閣）
※すでに持っている六法があれば、それで構わない。

参考書等

大久保治男監修『トピックスくらしの法』（芦書房）
その他授業の中で、随時紹介する。

その他

最初の講義日に受講票を提出してもらう。特別の事情のない限り、初回から出席のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と国家〕	新田 浩司 <small>にっ た こう し</small>	経A・商・経B選	4

講義のねらい

法は社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものといえる。我々の生活にとって法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、とりもなおさず我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

ここでは、我々が国民として住民として生活する上で必要な法というものの考え方、及び国家の根本法である憲法について、現実には発生する様々な問題にも言及しつつ講義を進める。

講義の内容・
授業スケジュール

- | | | | |
|------|---------------|-------|-----------|
| 第1回目 | ガイダンス | 第9回目 | 精神的自由権① |
| 第2回目 | 法学の基礎知識① | 第10回目 | 精神的自由権② |
| 第3回目 | 法学の基礎知識② | 第11回目 | 経済的自由権 |
| 第4回目 | 法学の基礎知識③ | 第12回目 | 社会権 |
| 第5回目 | 憲法の基礎知識 | 第13回目 | 参政権、国家請求権 |
| 第6回目 | 日本国憲法の制定過程 | 第14回目 | 統治機構① |
| 第7回目 | 日本国憲法の基本原理 | 第15回目 | 統治機構② |
| 第8回目 | 国家の安全保障（戦争放棄） | | |

履修上の留意点

社会で起こる様々な問題は、憲法をはじめとする法律問題でもあり、この講義を履修して法的思考を養ってもらいたい。

成績評価の方法

夏期レポート及び学年末試験の成績により評価する。
なお、授業の出席状況も参考とする。

教科書

佐伯宣親・酒井憲郎・高乗正臣編『現代法学と憲法』（成文堂）2,500円＋税
※小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕 (夏季集中)	藤本 茂 <small>ふじもと しげる</small>	経A・商・経B選	4

講義のねらい

本講義は、法についての基礎的事項の学習や新聞などによる身近な法的問題の解説を通して、以下のことを学んでもらうことを目的としている。

- ・高校までの学習法とは違う、法学の学び方にもふれてもらう。
- ・法学や法を学ぶうえで必要な基礎知識を身につけてもらう。
- ・我々と法との関わりを現代的問題を手がかりに学んでもらう。

講義の内容・授業スケジュール

できるだけ具体的な問題・事例にふれながら、法に触れて感じてもらうことにつとめたいと思う。教科書を順次説明するという形式はとらない。もっぱら、プリントを配布するなどして授業を進める。

出席することが重要になる。

- 講義スケジュールについては、
- ・法的思考を形成する基本的な諸概念
 - ・現代法にいたる法の発展（西欧近代法の形成をふくむ）の概観
 - ・近現代法の原理の概観。特に憲法の諸原理
 - ・基本的人権
 - ・現代社会問題に対する法的視角からの検討 などなど

なお、これは予定であり、講義開始時にあらためて伝える。また受講者の反応に応じて、変更することがある。

履修上の留意点

講義中、質問は歓迎。私語はNO、携帯電話はOFF、内職はNO、用なく席を立つのはNOなど、授業でのマナー厳守のこと。

成績評価の方法

記述式試験。また、出席を重視する。レポート等を実施することもある。これらを総合して評価する。

教科書

伊藤正巳・加藤一郎編『新版現代法学入門』（有斐閣双書）。学習の道しるべとして大いに活用してもらいたい。また、講義で言及できない部分を教科書の記述に委ねることがある。そうした場合は口頭、板書で触れなかったことがらでも試験の範囲となりうると考えて欲しい。

参考書等

参考書として、たとえば、道垣内正人『自分で考えるちょっと違った法学入門』（有斐閣）、渡辺洋三『法とは何か』（岩波新書）。その他授業で、読んでほしい文献を紹介する。

その他

六法は、毎回は使わないが、持参して授業に臨んでほしい。

授業日程

前半	1	2	3	4	5	後半	1	2	3	4	5
8月2日 月	○	○	○	○	○	8月20日 金					
8月3日 火	○	○	○	○	○	8月23日 月					
8月4日 水	○	○	○	○	○	8月24日 火					
8月5日 木	○	○	○	○	○	8月25日 水					
8月6日 金	○	○	○	○	○	8月26日 木					
8月9日 月	○	○	○	○	○	8月27日 金					

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔国際社会と日本〕	うち内 海 麻 利	経A・商・経B選	4

講義のねらい	本講義は、人間集団における秩序の形成と解体をめぐって、人が他者に対して、また他者と共に行う営み、あるいは権力・支配・自治・政策にかかわる現象であるとされる政治を、その現象が色濃く反映される都市計画やまちづくりという側面から見ることで学生諸君の興味と理解を深めることを目的としている。主たる視点は、国際的な都市比較による政治と都市計画の関係、また、市民によるまちづくりに見る政治のあり方などである。具体的には、都市形成過程、土地利用と都市整備、環境保全と景観創造、都市再生、協議型まちづくり等、都市計画やまちづくりにおける多様な事例を用いて政治を考えてみる。
講義の内容・授業スケジュール	授業では、各回毎にテーマを設定して講義を行うが、詳しいスケジュールについては、第1回目の授業の際に配付する。
履修上の留意点	都市計画やまちづくりに関する新聞、報道などニュースを日常的に見ていることが望ましい。
成績評価の方法	授業への出席、レポート、学期末試験の成績などを中心に評価する。
教科書	『政策過程論』（学陽書房）2004年 価格未定
参考書等	授業中に随時提示し、さらに詳細な考察を望む学生にはテーマに沿う参考書を推薦する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 〔現代社会と市場経済〕	はたなか たかし 晶 中 貴	経A・商・経B選	4

講義のねらい	諸々の経済現象をよりよく理解するための理論（ミクロ経済学・マクロ経済学）について概説する。経済についての体系的な理解を得ることがこの講義の目標である。
講義の内容・授業スケジュール	授業は基本的に教科書に沿って行う。スケジュールは以下の通り。 (前期) (1)ガイダンス (2・3)第1章(自動車産業と経済学) (4・5)第2章(経済学的な考え方) (6・7)第3章(取引と貿易) (8~10)第4章(需要・供給と価格) (11・12)第5章(需要・供給分析の応用) (13)前期末試験 (後期) (14~16)第6章(時間とリスク) (17~19)第7章(公共部門) (20・21)第8章(マクロ経済学と完全雇用) (22)第9章(経済成長) (23~25)第10章(失業と総需要) (26)第11章(インフレーション)
履修上の留意点	抽象的な理論の内容は、一度説明を聞いただけではなかなか頭に入らない。経済理論を理解し、現実経済を見る目を養うためには、1年を通して、根気よく予習・復習を行いながら、自分の頭でものを考え続けることが肝要である。
成績評価の方法	基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていなければ、単位を与えることはできないので注意すること。追・再試験は実施する。
教科書	ジョゼフ・E・スティグリッツ著、藪下史郎他訳『スティグリッツ 入門経済学』第2版(東洋経済新報社) 3,300円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おお いし ゆう じ 大 石 雄 爾	経A・商・経B選	4

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出せていません。近年、危機に見まわれたアジア諸国の人々も、貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きな姿勢を示しているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように扱えばよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械制大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきたのです。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および思想をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホブズとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的な諸問題についても時折とり上げ、解説してみるつもりです。

履修上の留意点

講義を聴きながらノートをとるという作業を1年間続けることによって、皆さんの理解力、書写能力も飛躍的に高まります。講義には、毎回欠かさず出席することを望みます。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。再試験は実施しません。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
 平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
 城塚登編著『社会思想史の構図』（八千代出版）
 大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育学 〔デス・エデュケーション〕	やなぎ 柳 ぼり 堀 すが こ 素雅子	経A・商選	4

講義のねらい

死の問題をさまざまな視点から考えていく。病気による死、殺人による死、事故による死、戦争による死、自殺死など死の原因はさまざまである。いずれにしても「人間の死」には変わらないが、死んでいく本人、そして遺族をはじめとする周囲の人々に与える影響は異なってくる。

現在のところ「デス・エデュケーション」あるいは「死生学」という形で、これらを総合的に取り扱っている文献はほとんど見あたらないが、講義の中ではこれらの死を総合的に取り扱う予定である。あらゆる分野、多くのパースペクティブを必要とする内容なので、読書力、思考力、創造力、分析力などを働かせて、真剣に取り組んでもらいたい。人間の死を考えるには、それだけの人格を備えている必要があります。

講義の内容・授業スケジュール

- ①先端医療と死の問題—生命倫理の視点から取り扱う。医療の進歩と患者の人権。
 - ②戦争と死の問題—平和とは何か。核と人類。ヒロシマ、ナガサキ、沖縄、アウシュヴィッツ
 - ③環境倫理と死の問題—水俣病と公害問題。レイチェル・カーソンの警告。環境ホルモン。遺伝子組み換え食品の問題等。
 - ④自殺と死の問題—自殺者の心理と自殺防止の問題。遺族の気持ちとグリーフケア
 - ⑤犯罪事件と死の問題—犯罪者の分析。犯罪被害者および遺族のケア、犯罪防止の問題。
- ①～⑤のテーマをすべて取り扱うとは限らないが、講義のはじめに参加者と協議の上決めていく。

履修上の留意点

授業中に何回もレポートを提出してもらうので、講義に出席する意欲のない人は履修しないほしい。

成績評価の方法

レポートの提出状況と出席状況など総合的に評価する。

参考書等

講義中にその都度お知らせします。

その他

ビデオ、OHPも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育心理 〔大学生の心理・教育臨床心理学の立場から〕	野中弘敏 <small>の なか ひろ とし</small>	経A・商選	4

講義のねらい

「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことです。そして様々ないきさつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。

「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はきわめて多岐にわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話しできればと思います。

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下のトピックをとりあげる予定です。

- ・「心理的異常」の考え方をめぐって
- ・人間の心理－社会的発達
- ・人格の構造と機能
- ・心理臨床的アセスメント（心理検査など）
- ・心理療法の基本的考え方
- ・さまざまな心理臨床現場での実際

成績評価の方法

夏休み（前）のレポートと年度末の試験（持込不可）とを併せて考慮します。

参考書等

一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 (生態と進化)	し 清 み 水 よ し 善 か ず 和	経A・商・経B選	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を背負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この多様、複雑な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発 (4) 大量絶滅
 - (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計
 - (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比
 - (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 個体群生態学－産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K戦略 (3) 食う・食われる関係
 - (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論批判
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸
 - (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環
 - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯 (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
 - (1) 里山の生物 (2) 都市と生物 (3) 帰化種の侵入

成績評価の方法

レポート、試験、出席を勘案して評価する。

教 科 書

受講者には清水が執筆したweb版教科書(無料ダウンロード可)を紹介する。

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 〔自然景観の成り立ち〕	市川清士 <small>いちかわ きよし</small>	経A・商・経B選	4

講義のねらい

地球が誕生して46億年といわれています。この間、地球はたえず表情を変化させつづけてきました。では、私たちの生活している周辺の自然景観、たとえば山や川、平野や海洋などはいつどのようにしてできたのでしょうか？ 本講義では、この問いに答えるために地形、気候、水文などの地球表面の現象を対象として、その成り立ちについて探っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、大陸の成り立ちや造山運動（プレートテクトニクス）、氷河期（気候変動）などの大きなスケールの変動について探っていきます。
後期では、前期の内容をふまえて、南関東を中心とした「身近な自然景観」の成り立ちについてより具体的に探っていきたいと思います。

履修上の留意点

高校で使用した地図帳を用意すること（できれば最新のものが望ましい）。

成績評価の方法

授業への積極性・レポート・学年末の試験を総合して評価を行います。

教科書

『地表環境の地学 ―地形と土壌―』（東海大学出版会）2,500円

参考書等

参考書はその都度紹介します。

その他

一般的な講義を主とし、スライド・OHP・ビデオによる説明を入れて皆さんが興味を持てるような講義を行おうと考えています。
また、駒沢公園など近くに行き実際に野外観察もする予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔生命と環境〕	中村敏枝 <small>なかむら としえ</small>	経A・商・経B選	4

講義のねらい

はるかな昔、火を手に入れることによって、他の生物と一線を画する存在となったヒトは、その後限りなく神に近づこうとしている。農業の開始、自然の改変、科学技術を駆使しての合成物質の創製、そして原子核エネルギーを操り、試験管の中で生命を誕生させ、ついには遺伝子を組み換えて新生物まで創りだす。生命観や倫理観がゆらいだとしても、それは当然の結果といえよう。科学技術は、どこに私たちを連れていくのだろうか。現状を正しく把握して、今後私たちはどこに向かうべきなのかを、個々人の問題として考えよう。

講義の内容・授業スケジュール

- （前期）森林と野生生物の現状
 （1-6）森林-熱帯雨林・タイガ・酸性雨
 （7-12）野生生物-ジュゴン・タンチョウ・アホウドリ
- （後期）食をめぐる問題
 （13-18）農業-有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物
 （19-22）畜産業-肉食とは何か・狂牛病・クローン動物
 （23-25）漁業-海外依存度・環境ホルモン汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

赤堀他著『生物学-地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円
 その他については授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔自然史と環境〕	ふじ 藤井 すすむ 享	経A・商・経B選	4

講義のねらい

最新の地質時代を第四紀というが、この時代は約170万年前にはじまり寒冷な氷期と比較的温暖な間氷期を繰り返した時代である。この170万年間には少なくとも6回の氷期が確認されているが、このうち最終の氷期を「ヴェルム氷期」と呼ぶ。ヴェルム氷期は約72,000年前にはじまり約1万年前までの62,000年間継続したとみられる。つまり、長く続いた氷河時代の、最後の氷期が終わったのはごく最近のことなのである。私たちは今、最終氷期のあとの、東の間の温暖期に生きているのである。

ヴェルム氷期の中でも、約2万年前から約18,000年前は特に寒かった時代であり、現在の氷河分布面積の約3倍にあたるおよそ4,900万 km²もの氷河が陸地を覆っていたとみられる。北半球についてみると、それらの大部分は北緯40°以北に分布していた。

では、その頃の日本列島はどのような自然環境下にあったのであろうか。本講義は最終氷期以後の気候や植生、地形など気候変動に伴う自然環境の変化について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は最終氷期（ヴェルム氷期）と現在、後氷期（最温暖期）と現在の各気候、海面変化、植生、地形等の自然環境を比較しながら進めたいと思う。その内容とスケジュールは下記のとおりである。

- ① 第四紀の編年と氷期・間氷期
- ② ケッペンの気候分類と寒冷高緯度地域の気候
- ③ 日本列島周辺の気候帯と植生分布
- ④ 植生の垂直分布と森林限界
- ⑤ 周氷河気候と自然環境
- ⑥ 最終氷期の気候と植生変化
- ⑦ 日本海の高環境
- ⑧ 海面変動と陸橋の形成
- ⑨ サハリンの植生史
- ⑩ 後氷期の自然と環境

スケジュールは前期：①～④、後期：⑤～⑩を予定

履修上の留意点

この講義は、最終氷期から後氷期に至る気候や地形、植生等の自然変遷史を考察するものである。したがって、ヴェルム氷期以後の自然史を扱うので、留意してほしい。講義の中で地図を多用するので、講義ノートとともに地図帳を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論〔環境と保全〕 (夏季集中)	やまがた たけし 山 縣 毅	経A・商・経B選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

レポートと出席状況で評価します。

教科書

特に定めなし。

参考書等

講義の中で紹介します。

その他

OHP、スライド等を使用します。

授業日程

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月	○	○	○	○	○		8月20日 金						
8月3日 火	○	○	○	○	○		8月23日 月						
8月4日 水	○	○	○	○	○		8月24日 火						
8月5日 木	○	○	○	○	○		8月25日 水						
8月6日 金	○	○	○	○	○		8月26日 木						
8月7日 土	○	○	○	○	○		8月27日 金	△	△	△	△	△	

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然誌 〔現代の自然像〕	清水善和・篠原正雄 持丸真里・山縣毅	経A・商選	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？ 大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのないものであることを語っている。一方で、今世紀の科学技術の発展は、このかけがえのない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする4人の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員4人により、1人6回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

- 第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄
- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
 - (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
 - (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
 - (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
 - (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）
- 第2講 地球の地殻変動と災害 山縣 毅
- (1) 地球のシステム（地球内部・表層での現象）
 - (2) 地震のメカニズムと災害
 - (3) 火山活動のメカニズムと災害
- 第3講 生命の起源と進化 清水善和
- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
 - (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
 - (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
 - (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）
- 第4講 産業の発達と環境の変化 持丸真里
- (1) 人口増加とエネルギー消費の歴史
 - (2) エネルギー消費と「豊かさ」
 - (3) 化石燃料の化学
 - (4) 大気環境の変化（古典的大気汚染からグローバルな環境問題へ）
 - (5) 未来へ向けて－石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、4回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (1) 〔微積分学入門〕	小沢 誠	経A・商選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、関数の極限と導関数・いろいろな関数の導関数・関数の変動・いろいろな応用を、後期に、定積分と不定積分・積分の計算・面積・曲線の長さ・体積・いろいろな応用を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

『新訂 微積分I』(大日本図書) 1,524円

参考書等

適宜紹介する。

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (2) 〔線形代数学入門〕	小沢 誠	経A・商選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、平面のベクトル・空間のベクトル・行列・連立1次方程式と行列を、後期に、行列式の定義と性質・行列式の応用・線形変換・固有値とその応用を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

『新訂 線形代数』(大日本図書) 1,619円

参考書等

適宜紹介する。

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (3) 〔現代数学入門〕	福田賢一 <small>ふく だ けん いち</small>	経A・商選	4

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計る。情報基礎数理、経済数理に力点を置き、実践な応用力の養成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期： 論理の基礎、論理と言語、情報理論と数理、論理回路、線型代数とその応用、
後期： 線型計画法、確率現象と社会現象、微積分とその応用、数値解析とその応用

履修上の留意点

予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、数学は系統性の強い分野であるから、基本的な定義、性質を明確にする必要がある。

成績評価の方法

前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

参考書等

必要となり次第指示する。

その他

教材、資料等は数時間に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に行うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	上原隆平 <small>うえ はら りゅう へい</small>	経A・商・経B選	4

講義のねらい

形式言語理論、中でも特にオートマトン理論を学ぶ。オートマトンとは「状態を持った機械」をモデル化したもので、情報科学分野で正規表現、正規言語などと呼ばれるものと同等である。情報科学や言語理論における基礎的分野である。

講義の内容・授業スケジュール

まず始めに基礎的な数学を学ぶ。次に形式言語理論の初歩的な知識を学び、形式的な記述に慣れる。そしてオートマトン理論に的を絞り、現実の問題がどのようにオートマトンとしてモデル化されるかを学ぶ。そしてオートマトンで表現できるものと、情報科学分野で正規表現、正規言語などと呼ばれるものが同等であることを学ぶ。本授業の中では実際のプログラミングは行なわない。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

J. ホップクロフト、R. モトワニ、J. ウルマン共著、野崎昭弘、高橋正子、町田元、山崎秀記 共訳『オートマトン 言語理論 計算論 I [第2版]』(サイエンス社) 2,800円 (2003年発売の [第2版] であることに注意)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
物 理 学 〔光と物質〕	しの ばら まさ お 篠 原 正 雄	経 A・商選	4

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取ります。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきました。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げます。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及びます。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことです。数式は物理学に不可欠な言葉ですが、数式により表現された物理的な意味の方が大切です。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識はいりません。

講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義します。

波としての光

光線 影 鏡 屈折 蜃気楼 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気学 電波望遠鏡 電子レンジ

色即是波長？ 虹の七色 vs 三原色 茶色い光の波長？ X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

学年末に実施する簡単な期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となります。しかし、期末試験の比重は10%程度です。数回のテストを含む平常点を中心に評価します。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円
その他、講義の中で適宜紹介します。

その他

理解を深めるためにはほぼ毎回問題を考えてもらいます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
化学 〔衣食住の化学〕	もち丸真里 持丸真里	経A・商選	4

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。講義では、はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について解説する。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 有機化学・生化学の導入 (2・3) 物質の成り立ち (4) 水の性質 (5~7) 有機化学の基礎 (8・9) 合成繊維 (10) 染料 (11・12) 合成洗剤と水質汚濁 (13) 前期まとめ
後期 (14・15) タンパク質 (16・17) 遺伝子 (18) 遺伝子情報の社会への影響 (19・20) 遺伝子組み換え食品 (21) 食品の安全性 (22) 住環境の化学物質汚染 (23) まとめ

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めていく。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宇宙科学 〔星と銀河〕	しのはらまさお 篠原正雄	経A・商選	4

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介します。観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展しています。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされました。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めます。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげます。
太陽： 構造 エネルギー源
恒星： 研究の手法 恒星の分類 恒星の進化 太陽系の起源
後期は銀河をとりあげます。
銀河系： 星団 星雲 恒星の運動 星生成領域
銀河： 銀河の距離 分類 銀河団 宇宙の大規模構造
宇宙： 宇宙膨張 ビッグ・バン

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (1)(4)(6)(9) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	お 小 沢 誠 お ざわ まこと	経A・商選	2

講義のねらい

HTML (Hypertext Markup Language) 及び CSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学ぶ。HTML では基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。

成績評価の方法

レポートで評価する。HTML・CSS・内容の3点を重視する。

教科書

HTML4.01 Specification (<http://www.w3.org/TR/html4/>), Cascading Style Sheets, level2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参考書等

The World Wide Web Consortium (<http://www.w3.org/>)

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (2)(7) [コンピュータの実際] (前期)(後期)	やま もと ひる のぶ 山 本 博 信	経 A・商選	2

講義のねらい

この授業では、コンピュータの基本的な操作方法だけではなく、インターネットやワープロソフト、その他のアプリケーションの利用法を理解し、レポートや論文の作成、および、データ処理などの基礎を学習することを目的とします。そのため、パソコンの操作だけでなく、練習問題や演習問題などを含みます。

前期では、特にキータッチの基本、ワープロソフトによる文書作成・編集・印刷、電子メールや WWW ブラウザの基本を取り上げます。これらのアプリケーションソフトを活用しながら、基本ソフトを操作すれば、Windows デスクトップを作業場とみなすことができるようになります。後期には特に文書によるコミュニケーションおよび表計算ソフトを学びます。

講義の内容・授業スケジュール

- (1・2) 基本ソフトの基礎
- (3・4) キータッチの基本
- (5) ActiveMail を用いたメールの操作、パスワードの変更、日本語入力・メールの送受信
- (6~7) ワープロソフトと日本語変換 (8~10) ワープロソフトによる文書作成・保存・印刷
- (11~12) WWW ブラウザを用いたホームページの閲覧、レポート作成
- (13) 総合演習

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとして。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポート、授業の最終回で行う実技試験によって行います。

教科書

未定

参考書等

参考書は必要に応じて紹介します。

その他

実習が多いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (3)(8) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	小川 健次郎 <small>おがわ けんじろう</small>	経A・商選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(5) 〔コンピュータの実際〕 (前期)	さわ ぐち たかし 澤 口 隆	経 A・商選	2

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。
 本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、
 CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を使い、アプリケーションは Adobe Photoshop および Adobe Illustrator を使用する予定。
 その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。
 Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

初心者を対象とするので予備知識は必要としない。最低限、Windows の基本操作はマスターしているほうが望ましい。授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教 科 書

使用しない。適宜資料を配付する。

参 考 書 等

同上

そ の 他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (10)(23)(24) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	うえ ほら りゅう へい 上 原 隆 平	経A・商選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやったらいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

成績評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

村井純著『インターネット』(岩波新書416) 630円および村井純著『インターネットⅡ』(岩波新書571) 640円

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (11)(15) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	もと き みつ お 元 木 光 雄	経A・商選	2

講義のねらい

コンピュータの原理とインターネットの原理や原則を学ぶ。特に、インターネットで実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの動作原理、特にOSの役割やファイルシステムについて学ぶ。また、多数のコンピュータがネットワークで相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上でどのようなサービスが利用できるのか、実際のサービスを利用しながら理解する。具体的には、インターネット上のサービスとして、電子メール、WWWなどのサービスをとりあげ、実習の形で利用する。このようなサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄も、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となるので、必ず事前に総合情報センターで利用申請をして電子メールのアドレスを取得しておくこと。取得していない場合、単位取得に支障がある可能性がある。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う予定である。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程
コンピュータ基礎(11)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月2日	月	○	○	○				8月20日	金						
8月3日	火	○	○	○				8月23日	月						
8月4日	水	○	○	○				8月24日	火						
8月5日	木	○	○	○				8月25日	水						
8月6日	金	○	○	○				8月26日	木						
8月9日	月							8月27日	金						

コンピュータ基礎(15)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月2日	月							8月20日	金						
8月3日	火				○	○	○	8月23日	月						
8月4日	水				○	○	○	8月24日	火						
8月5日	木				○	○	○	8月25日	水						
8月6日	金				○	○	○	8月26日	木						
8月9日	月				○	○	○	8月27日	金						

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(12) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	お <small>さわ</small> 沢 <small>まこと</small> 誠	経A・商選	2

講義のねらい HTML (Hypertext Markup Language) 及び CSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学ぶ。HTML では基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点 毎回出席すること。

成績評価の方法 レポートで評価する。HTML・CSS・内容の三点を重視する。

教科書 HTML4.01 Specification (<http://www.w3.org/TR/html4/>)、Cascading Style Sheets, level 2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参考書等 The World Wide Web Consortium (<http://www.w3.org/>)

その他 実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(12)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月2日	月	○	○	○				8月20日	金						
8月3日	火	○	○	○				8月23日	月						
8月4日	水	○	○	○				8月24日	火						
8月5日	木	○	○	○				8月25日	水						
8月6日	金	○	○	○				8月26日	木						
8月9日	月	△	△	△				8月27日	金						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (13)(17) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	やま もと ひろ のぶ 山本博信	経A・商選	2

講義のねらい

コンピュータを道具として、書き方、描き方を実習を通じて技術として把握します。コンピュータは、文字や画像をデジタル化して処理します。コンピュータによる情報処理によって、表現がどのように把握されるかについて理解します。言語のレベルにありながら画像に属するものとしての技法についてパソコンを道具として身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

パソコンなどの情報機器やいろいろなソフトウェアが、企業をはじめ一般社会でも急速に普及しています。日常生活でも、パソコンなどに接する機会が増えてきました。パソコンの高性能化やLANの普及によって、ユーザは自分たちで情報を収集して発信することができるようになりました。パソコンでどのようにして画像などを作成してWebページを作成するかについて理解します。すなわち、アプリケーションソフトの活用を、縦軸を現場(業務)ごとの特質とし、横軸をファイル形式などの基礎をみながら行います。表現能力はパソコンを活用する上でとても大事なものです。ここでは特に描き方(ビジュアル表現)についてペイント系グラフィックソフトやドロー系グラフィックソフトなどを活用しながら理解します。

- (1) コンピュータによる情報処理について
- (2) 表計算ソフトの基礎、応用
 - ・計算の自動化・運用とセキュリティ・マクロの作成など
- (3) グラフィックデータの作成
- (4) 画像効果の作成
 - ・トリミング・切抜き・明るさや色の調整など
- (5) 最適化処理
- (6) HTML ファイルの作成
- (7) ブラウザによる確認

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習は必ず解いているものとします。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

評価は、授業期間中に適宜行う演習や最終日に実施する確認試験によって行います。

教科書

未定

参考書等

参考書は必要に応じて紹介します。

その他

実習の閉める割合が高いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので受講生数を制限することもあります。

授業日程
コンピュータ基礎(13)

前半						後半							
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月2日	月	○	○	○			8月20日	金					
8月3日	火	△	△	△			8月23日	月					
8月4日	水	○	○	○			8月24日	火					
8月5日	木	○	○	○			8月25日	水					
8月6日	金	○	○	○			8月26日	木					
8月9日	月	○	○	○			8月27日	金					

△は予備日
コンピュータ基礎(17)

前半						後半							
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月2日	月						8月20日	金	○	○	○		
8月3日	火						8月23日	月	○	○	○		
8月4日	水						8月24日	火	△	△	△		
8月5日	木						8月25日	水	○	○	○		
8月6日	金						8月26日	木	○	○	○		
8月9日	月						8月27日	金	○	○	○		

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (14)(18) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	なが さか ひろ ふみ 長 坂 浩 史	経A・商選	2

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握と一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、Web ページ作成の基本を学び、それによってインターネットを利用した情報収集・発信の実習をする。

講義の内容・
授業スケジュール

情報教育センターのパソコン (OS は Windows) を使用し、実習を行う。ワープロソフトによる文章加工、Excel による表計算・データ処理、インターネット上のサービス利用 (電子メール、WWW) 等を通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をしてもらう。この資料は Web ページの体裁で作成してもらうので、HTML の入門等、Web ページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。
予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。
また授業開始前に情報センターの利用登録をしておくこと。(課題は基本的にファイルの形で提出してもらうが、各自バックアップ用の領域を持ってほしい。そうでなければ、初日・2 日目はフロッピーディスクを持参すること。)

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評定はつかないと思っていよい。

教科書

使用しない。適宜、簡単な資料を配布する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(14)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月	○	○	○				8月20日 金						
8月3日 火	○	○	○				8月23日 月						
8月4日 水	△	△	△				8月24日 火						
8月5日 木	○	○	○				8月25日 水						
8月6日 金	○	○	○				8月26日 木						
8月9日 月	○	○	○				8月27日 金						

△は予備日

コンピュータ基礎(18)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月				○	○	○	8月20日 金						
8月3日 火				○	○	○	8月23日 月						
8月4日 水				△	△	△	8月24日 火						
8月5日 木				○	○	○	8月25日 水						
8月6日 金				○	○	○	8月26日 木						
8月9日 月				○	○	○	8月27日 金						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (19)(21) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	さわぐち たかし 澤 口 隆	経A・商選	2

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用したCADイメージ、映画などで用いられるリアルなCG映像や、インターネットブラウザ上でのFLASHアニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSはWindowsを使い、アプリケーションはAdobe PhotoshopおよびAdobe Illustratorを使用する予定。その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。Webサイトを構築する上でのデザイン手法やHTML(HyperText Markup Language)などについても触れる。

履修上の留意点

初心者を対象とするので予備知識は必要としない。最低限、Windowsの基本操作はマスターしているほうが望ましい。授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

授業日程
コンピュータ基礎(19)

前半							後半						
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月2日	月						8月20日	金	○	○	○		
8月3日	火						8月23日	月	○	○	○		
8月4日	水						8月24日	火	○	○	○		
8月5日	木						8月25日	水	○	○	○		
8月6日	金						8月26日	木	○	○	○		
8月9日	月						8月27日	金	△	△	△		

△は予備日
コンピュータ基礎(21)

前半							後半							
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6	
8月2日	月						8月20日	金				○	○	○
8月3日	火						8月23日	月				○	○	○
8月4日	水						8月24日	火				○	○	○
8月5日	木						8月25日	水				○	○	○
8月6日	金						8月26日	木				○	○	○
8月9日	月						8月27日	金				△	△	△

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (16)(20)(22) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	小 川 健次郎 <small>お がわ けんじろう</small>	経A・商選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をしておくこと。

なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教 科 書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する予定である。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(16)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月	○	○	○				8月20日 金						
8月3日 火	○	○	○				8月23日 月						
8月4日 水	○	○	○				8月24日 火						
8月5日 木	○	○	○				8月25日 水						
8月6日 金	○	○	○				8月26日 木						
8月9日 月	△	△	△				8月27日 金						

△は予備日

コンピュータ基礎(20)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月				○	○	○	8月20日 金						
8月3日 火				○	○	○	8月23日 月						
8月4日 水				○	○	○	8月24日 火						
8月5日 木				○	○	○	8月25日 水						
8月6日 金				○	○	○	8月26日 木						
8月9日 月				△	△	△	8月27日 金						

△は予備日

コンピュータ基礎(22)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月							8月20日 金	○	○	○			
8月3日 火							8月23日 月	○	○	○			
8月4日 水							8月24日 火	○	○	○			
8月5日 木							8月25日 水	○	○	○			
8月6日 金							8月26日 木	○	○	○			
8月9日 月							8月27日 金	△	△	△			

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ応用(1)(2) 〔コンピュータの原理〕	うえはらりゅうへい 上原隆平	経A・商選	4

講義のねらい

コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また「効率のよいプログラム」とは何かを知る。

講義の内容・授業スケジュール

まずはじめに、コンピュータの動作原理を簡単に学ぶ。そしてコンピュータとは、単純な動作をたくさん積み重ねること、さまざまな処理を行うことができる機械であることを知る。実際にまとまった処理を行う場合には、こうした単純な動作を、目的に応じて組み合わせることが必要になる。これをプログラミングとよぶ。いくつかの問題に対して、プログラムを作成する。同じ問題に対していくつかの解決方法があることを知り、これらの解決方法の「比較」を通じて「効率のよいプログラム」とは何かを学ぶ。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は仮定しない。しかし授業に必要な資料はWWWを通じて配布するので、必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWWの利用など）はマスターしていること。またプログラムの比較の部分で、数学に関する知識（関数logなど）が多少必要となる。講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

山崎秀記『Delphiによるプログラミング入門』（培風館）2,000円

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人類学(1)(2) 〔人類の進化〕	えんどうばんり 遠藤萬里	経A・商・経B選	4

講義のねらい

人類を理解し、その進化を知るには骨やその化石のことを聞くだけではほとんど意味をなさない。生物としてのヒトが自然界でどういう位置にあり、どのように分類され、身体の構造や機能がどうなっているかをきちんと考えることが重要である。進化史は年々書き替えられているが、このような基礎が不十分なためもある。しっかりと基礎知識を持つように期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ヒトが生物のなかでどのような位置にあり、動物としてどこに分類されるか、現在のようなヒトの特異性とは何か、身体のさまざまな構造・機能がどのような特徴があるのか、文化も含めてどのように進化してきたと現在考えられているのか等について進めて行く。毎年新しい知識が加わるので注意。

履修上の留意点

できるだけ出席すること。内容の進行に応じて時々小テストを行なう。これは理解度を知るためでもある。なお、体育系運動部の学生であまり出席できない学生には、この講義の一部についてのレポートを提出してもらい採点したいので、学年度初めに申出ること。

成績評価の方法

成績は年度末試験と小テストで行なう。また上記の学生はレポートで加点する。

教科書

遠藤萬里編『人類生物学入門』（てらぺいあ）

参考書等

進化については 遠藤萬里『人類学百話一話』（てらぺいあ）2,000円、アンドリュース・ストリンガーイラスト・ガイド『私たちヒトの進化』（てらぺいあ）2,400円 他の分野については難しすぎるか、古すぎるので紹介しない。

その他

スライドを多く使い、身近な例を引き合いに出して楽しく進めたい。質問は歓迎する。これまでの人体や人類進化の通俗的常識は通用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔ヒューマン・ウォッチング〕	横山 剛	経A・商・経B選	4

講義のねらい

心理学の主要な領域・対象・方法について、基礎的な知識を解説し、人間の行動・心の動きの理解を深めるよう考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

前半は、感覚知覚、学習、記憶、行動などを取り上げていく。そして後半は、感情とイメージ、パーソナリティ、成長と発達、心の健康などを取り上げていきたい(詳細な講義スケジュール・成績評価の方法については、最初の授業時に提示する)。

履修上の留意点

授業中、感じたこと・体験したことを書いてもらうことも予定しています。“素人考え”でよいですから、積極的に参加してください。コミットしていくことで、自分の心の動きを察知できるということもありますから。履修しようとする方は第一回より必ず出席し、教科書を持参してください。

成績評価の方法

平常点+筆記試験

教科書

山内宏太郎ほか『はじめての心理学』(北樹出版)

参考書等

霜山徳爾編『臨床心理学』(学術図書出版)

その他

他、プリント資料、VTR、スライドも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔ヒューマン・ウォッチング〕	山岸 直基	経A・商・経B選	4

講義の内容・
授業スケジュール

心理学は人間のするあらゆることについて科学的・実証的に研究する学問です。なぜ多くの大学生は試験の直前にしか勉強しないのでしょうか。なぜ徹夜でプレステをするのでしょうか。この講義では人間のするさまざまなことについての一般的な原理を講義するとともに、日常生活の中のさまざまな行動がその原理とどのように関係しているのか、また日常の問題を解決しようとするときその原理をどのように応用することができるかについて講義します。授業スケジュールについては第1回目の授業時にお知らせする予定です。

履修上の留意点

出席はとりませんが、単位を取得するためには毎回の授業に積極的に参加する必要があります。そうすれば講義内容を理解することができます。しかし、単に出席するだけで講義の内容を理解していない場合には単位を修得できません。履修する学生はその点に注意してください。

成績評価の方法

授業内容の理解度を把握するための数回の小テストと年度末のテストによって評価します。全体の評価に対する小テストの割合は高くなります。詳しくは第1回目の授業時にお知らせします。

参考書等

授業時にいくつか紹介します。

その他

基本的には講義形式の授業を行います。第1回目の授業時に配るレスポンスカードを使って随時質問に答えてもらいます。これは授業内容をよりよく理解するためのものです。積極的に参加してください。また、適宜 OHP やビデオを使用する予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 [心を科学する](夏季集中)	ほりうちまさひこ 堀内正彦	経A・商・経B選	4

講義のねらい 人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。

講義の内容・授業スケジュール 心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点 この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- ① 私語は厳禁である。
- ② 講義中に分からないことがあった場合には、講義をさえぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- ③ 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法 試験の結果を重視する。

教科書 特に指定しない。

参考書等 講義の中で紹介する。

その他 授業日程

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月	○	○	○	○	○		8月20日 金						
8月3日 火	○	○	○	○	○		8月23日 月						
8月4日 水	○	○	○	○	○		8月24日 火						
8月5日 木	○	○	○	○	○		8月25日 水						
8月6日 金	○	○	○	○	○		8月26日 木						
8月9日 月	○	○	○	○	○		8月27日 金	△	△				

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 I (1) 〔仏教と自然〕	よつや こう どう 四津谷 孝 道	経 A・商選	4

講義のねらい

「エコロジー」というものが、大きな社会的な且つ学問的な課題になって久しいが、仏教学の分野においても「エコロジー」との関連ですでに多くの研究が蓄積されつつある。本講座では、それらの研究を参照しながら、いくつかの具体的テーマに焦点をしばって、仏教と自然に関する検討を進めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、本講座において扱うところの「仏教」並びに「自然」というものについて明確な説明を加える。

それを前提にして、「仏教と菜食主義」というテーマを、インド思想全体の関連の中で検討する。もう一つのテーマは「仏教と医学」である。このテーマの下に、特にインド・チベットの伝統医学の中にその自然観・人間観を探ってみる。

履修上の留意点

外国語の文献を扱うことが多いので、受講生は英語、ドイツ語、フランス語のある程度の語学力を有することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

特になし。必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

参考書等

特になし。必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 I (2) 〔仏教と社会〕	くま もと せい じん 熊 本 英 人	経 A・商選	4

講義のねらい

日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。

講義の内容・授業スケジュール

社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。

仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。生死、人権、女性、家族、平和といったキーワードから、仏教の立場、仏教への期待、社会の現実などをみていくことで、現代への問題提起を行いたい。

成績評価の方法

適宜レポートを課す。年度末の筆記試験と合わせて評価する。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (1) [人権と社会問題]	ピアス, D. M.	経 A・商選	4

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad. Students will get a partial experience of what it is like to take a university-level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will not study English; they will study something *in* English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

講義の内容・
授業スケジュール

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse *intelligently*, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are most important; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

GRADING, AGAIN: Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for intellectual English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

Textbook and materials: We will probably use *Social Practices*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おか さき としちろう 岡 崎 寿一郎	経A・商選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのパカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (3) 〔中国語圏文化の諸相〕	いづみ さき ひろし 岩 崎 皇	経A・商選	4

講義のねらい

同じ漢字文化圏の国として、中国の、漢字に関する言語政策を紹介します。

講義の内容・授業スケジュール

文字改革と80年以降の情報化社会に対応する政策を中心に解説します。

成績評価の方法

出席及び授業態度で判断します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (1) 〔現代アメリカ事情〕	はやし あき と 林 明 人	経A・商選	4

講義の内容・授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教科書

プリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 IV (2) 〔米国シアトルNPOの経営研究〕	にしむら ゆうこ 西村祐子	経A・商選	4

講義のねらい

アメリカのNPO, NGO(非営利組織)は日本に比べ、非常にアクティブであるといわれるが、なかでもまちづくり(コミュニティビルディング)において市民と自治体の協同がとりわけて盛んでユニークな発展を続けているワシントン州、シアトル市の事例をとりあげてみる。さらに日本におけるまちづくりのありかたとの比較を行う。

講義の内容・授業スケジュール

授業は通年で以下のようなテーマを中心におこなわれる。

アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い
 コミュニティ・ビルディングとまちづくり
 シアトルのまちづくり
 シアトル・アジア系住民のまちづくり
 自治体とNPOの協同について
 日本のまちづくりとシアトル

成績評価の方法

平常点(出席率、レポート内容)重視。

教科書

教場にて指定。

参考書等

教場にて指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (3) 〔ポスト・モダンの世界〕	丸小哲雄	経A・商選	4

講義のねらい

本講義の狙いは、受講生の既成概念に対して挑発することで、既視感に対して違和感を抱くように講義します。それを念頭において、近代化の啓蒙思想を批判し、それを乗り越えるための主体性としての自己組織の確立を目指すことにあります。ポストモダン概念を整理し、そのような学際的な知の最前線として、固有なものに会うための批判の方法によって権力の座(特権化された場所)を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史の思想を批判すること(帝国主義と植民地化に対する批判)にあります。そのために「大きな物語」の終息後に、どのようにして世界を再構築していくかが現代的な問題となります。本講義においては、基本的に、近代の思想を担った思想家たちをモデルにして、その論理的枠組み、哲学・宗教の思想的な特徴、経済・政治におけるメカニズムと思想史的な特徴などのさまざまなキーワードを手がかりにして、近代思想の根拠を跡づけて、ポストモダンの現象と批判的立場を明確化していきます。前期では、近代建築史、広告批評史、エロスの解放問題、ファッション・モードの変遷、映画の変遷過程の特徴、文学と文学理論の特徴、近代を乗り越える根拠を原理的に見出すように講義していきます。従って、受講生がどのようにして主体性を形成するかが受講生の課題となります。

講義の内容・授業スケジュール

講義に際して、関連文献リストを配布し、事前に読むテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読んで、前期と後期にレポートを作成します。講義の骨子は以下の通りです。

1. 「モダン」の定義とポストモダンの特質について
2. 近代言語観の変遷について
3. 現代という時代の捉え方；「今ここ」における自己言及のパラドックスについて
4. 近代における人間観、宇宙観、社会観の変遷について
5. 西洋の理性批判(啓蒙思想批判)について
 - 1) ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス、ショーペンハウエル、
 - 2) ニーチェとハイデガー 3) マック・ヴェーバー 4) ミュセル・フーコー
6. トランスモダン
横断的近代：アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対するナショナル意識とリージョナル意識との対抗性について
7. レビュー：冷戦後における自己組織と反省の人間の特質について

成績評価の方法

出席、前期・後期の読書レポート(リストから選択)、ターム・ペーパー作成などの総合評価。

教科書

- ・読書リスト配布
- ・プリント配布

参考書等

リーディング・リスト配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (1) 〔民族とは何か〕	おおの ゆうじ 大野 祐二	経 A・商選	4

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論(文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など)についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験(またはレポート)、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』(筑摩書房)
吉野耕作者『文化ナショナリズムの社会学』(名古屋大学出版会)
李孝徳著『表象空間の近代』(新曜社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (2) 〔イスラム〕	よしだ きょうこ 吉田 京子	経 A・商選	4

講義のねらい

現在、最も注目される思想、文化体系としてのイスラームに関する日本人の知識不足を補うための授業。国際社会の一員として最低限知っておくべき教養としての範囲のイスラームに関する知識を習得することが本講義の最大の目的である。多様な「イスラーム」認識の方法論の中から、イスラームの宗教的側面、信仰の概略、思想の根本を理解するため宗教学的のアプローチを中心に講義を行う。従って、国際関係論的、政治学的、社会学的、文化人類学的視座に基づくイスラーム概説とは異なる点に注意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期を通じ、イスラームの信仰の核である、クルアーン、預言者ムハンマド、イスラーム法学、イスラーム神学、歴史的分派、スーフイズム等々の思想トピックごとに概論的授業を行う。

履修上の留意点

宗教学的、思想的側面からのイスラーム論なので、社会学的、歴史学的、政治学的、国際関係論的アプローチの前段階の内容となる。そのため、そのような意味でのイスラーム論を期待する学生には不適當である場合もある。

成績評価の方法

年間を通じ、出席率、提出物、後期末の試験により成績を決定する。

教科書

特になし

参考書等

授業中紹介

その他

数回のビデオ上映を予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (3) 〔フェミニズム・ジェンダー〕	はやかわのりよ 早川紀代	経A・商選	4

講義のねらい

この世の中はあたり前のことだけれども、男性と女性、女性と男性の両性から成りたっている。この両性の関係はどんな風に私たちの社会の中で構成されているだろうか。それをつぎの分野でみなさんとともに考えます。私たちはどんな両性関係を望んでいるのか。私たちが理想とする両性関係を創造するには、どんなことが必要か、みなさんと考えます。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- a. ジェンダーってなに？
フェミニズムやジェンダーという考え方が誕生した歴史背景と私たちがもっているジェンダー観を考えます。
- b. セクシュアリティとジェンダー
性同一性障害、ドメスティックバイオレンス、ホモセクシュアルとヘテロセクシュアル、生殖技術の発展と人間の歴史などを考えます。

後期

- c. 家族の過去、現在、未来
日本の家族の歴史をふり返りながら、みなさんが生まれ、現在にいたるまでの間に、どんな風に家族の機能や形、人間関係、家族観が変わったか、今後の家族のあり方をさぐります。
- d. 労働とジェンダー
2003年10月の新卒の就職率は60パーセント。企業の雇用戦略が変貌する過程で男女の配置はどうなっているのか。男女がともに家族と労働の生活をおくるには何が必要か、考えます。

成績評価の方法

前期 夏休みに課題のレポートをまとめ提出する。
後期 論述式試験。

そ の 他

随時、感想文などを提出してもらおう。なるべくみなさんの間で意志交換できるようにする。資料を随時配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅶ(1) 〔トラブルと法的解決〕	<small>ふじもと</small> 藤本 茂・ <small>あらかき</small> 荒木 正孝 <small>たけなか</small> 竹中 智香・ <small>はらたけいちろう</small> 原田啓一郎 <small>ひかさ</small> 日笠 完治・ <small>やまぐち</small> 山口 邦夫	経A・商選	4

講義のねらい

日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。

法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。

担当教員の順番や講義内容は、「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。

- 1 日笠 完治 トラブルを憲法的観点から考える
- 2 山口 邦夫 刑事事件と法定手続
- 3 竹中 智香 変化する市民生活と民法
- 4 荒木 正孝 現代社会と商法
- 5 藤本 茂 現代雇用社会と労働法
- 6 原田啓一郎 大学生活と社会保障の法的トラブル

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。
私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。

追・再試験は、講義の形態上、行わない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。
六法は毎回忘れずに、持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅶ 〔都市論〕 (2)	早川純貴・浦田早苗 坂井文・品田知美 保坂尚郎	経A・商選	4

講義のねらい

いま大都市は多くの問題を抱えている。過密化と空洞化、住宅難、犯罪、失業と貧困、ホームレス、ゴミ問題、再開発、あるいは国際化と多文化主義。しかしこれらは独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学や経済学、あるいは社会学や建築学の観点から概観し、都市の将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義は5名の講師により、各々4～6回ずつ行う。その順序/時期と講義内容は以下の通り。

早川純貴『都市論』のガイダンス (1回/4月)

品田知美「都市の変容と生活様式」(6回/4・5月)——都市には、多くの人々が集う場として独特の生活様式が見いだせる。本講義では、日本の大都市の変容過程を、主に2つの視点から振り返る。①環境：都市のかたちは、エネルギーや資源の消費とどう関係するのか。②家族：都市はいつも新しい家族のかたちを生み出す。異質な人々にとって、都市とはどういう場であるのか。2つの視点を、生活様式というキーワードで結びながら、近未来の都市のゆくえを考えたい。

保坂尚郎「都市と労働」(6回/6・7月)——労働による肉体的負担は、労働時間に通勤時間、乗り物の混雑なども加わり、都市部ほどその負担が大きい。また都市では居住環境の制約から核家族が多く、両親が就労しながら子育てする場合、保育施設の整備が不可欠であるが、現実には絶対数が不足している。この講義では、裁量労働制、時差通勤、SOHOワークなどの新たな働き方と、駅周辺保育施設の整備などを組み合わせ、快適・効率的で、子育てと両立できる都市労働のあり方を考える。

坂井文「都市オープンスペースの公共性」(4回/9月・10月)——公共性の概念は、時代・文化とともに変容していく。本講座は、都市施設の一要素である都市オープンスペース整備の政策に注目しながら、その公共性のあり方について考察することを目的とする。具体的には、ロンドンと東京の歴史的な都市オープンスペースの概念の形成について考察したうえで、現在の政策について検証する。

早川純貴「『まちづくり』と住民参加」(4回/10・11月)——いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取り組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」(4回/11・12月)——イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、住居などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。もちろん学生諸君が「都市」に居住しているかどうかは問わない。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判定し、それらを早川が総合して評価する。

教養教育

3. 外国語科目

外國語

3 . 外国語科目

〔 英 語 〕

英語 I A (經 A)	〈三 芳 康 義〉	101
英語 I A (經 A)	〈横 森 正 彦〉	101
英語 I A (經 A)	〈丸 小 哲 雄〉	102
英語 I A (經 A)	〈三 輪 久 惠〉	102
英語 I A (經 A)	〈池 上 賀 英子〉	102
英語 I A (經 A)	〈岩 屋 玉 江〉	103
英語 I A (經 A)	〈石 原 孝 哉〉	103
英語 I A (商)	〈相 馬 美 明〉	103
英語 I A (商)	〈牧 野 輝 良〉	104
英語 I A (商)	〈水 崎 野 里子〉	104
英語 I A (商)	〈岸 本 茂 和〉	104
英語 I A (商)	〈丹 治 弘 昌〉	105
英語 I A (商)	〈川 崎 笑 佳〉	105
英語 I A (經 A・商)	〈桧 山 晋〉	105
英語 I B (經 A)	〈増 田 惠 子〉	106
英語 I B (經 A)	〈大 庭 直 樹〉	106
英語 I B (經 A)	〈伊 良 部 祥 子〉	107
英語 I B (經 A)	〈山 田 照 子〉	107
英語 I B (經 A)	〈大 庭 直 樹〉	107
英語 I B (商)	〈石 原 孝 哉〉	108
英語 I B (商)	〈増 田 惠 子〉	108
英語 I B (商)	〈伊 良 部 祥 子〉	108
英語 I B (商)	〈山 田 照 子〉	109
英語 I B (商)	〈濱 口 真 木〉	109
英語 I B (經 A・商)	〈石 原 孝 哉〉	109
英語 II A (經 A)	〈前期：町田 尚子、後期：甲斐 捷子〉	110
英語 II A (經 A)	〈伊勢村 定 雄〉	111
英語 II A (經 A)	〈伊 藤 幸 一〉	111
英語 II A (經 A)	〈萩 原 輝〉	112
英語 II A (經 A)	〈濱 口 真 木〉	112
英語 II A (經 A)	〈三 幣 友 行〉	112
英語 II A (經 A)	〈鈴 木 美 貴子〉	113
英語 II A (經 A)	〈足 田 和 人〉	113
英語 II A (商)	〈伊勢村 定 雄〉	114
英語 II A (商)	〈岩 山 義 春〉	114
英語 II A (商)	〈牧 野 輝 良〉	115
英語 II A (商)	〈安 齋 薰〉	115
英語 II A (商)	〈杉 村 初 枝〉	115
英語 II A (商)	〈熊 沢 和 明〉	116
英語 II A (商)	〈西 田 義 和〉	116
英語 II B (經 A)	〈吉 川 直 澄〉	117
英語 II B (經 A)	〈山 口 晃〉	117
英語 II B (經 A)	〈小 山 太 一〉	118
英語 II B (經 A)	〈渡 部 孝 治〉	118
英語 II B (經 A)	〈市 川 仁〉	118

英語ⅡB (経 A)	〈児 林 英 子〉	119
英語ⅡB (経 A)	〈井 出 功 一〉	119
英語ⅡB (経 A)	〈植 村 恵 子〉	120
英語ⅡB (商)	〈手 島 敬 子〉	120
英語ⅡB (商)	〈佐 藤 孝 一〉	121
英語ⅡB (商)	〈小布施 圭佐三〉	121
英語ⅡB (商)	〈高 柳 文 江〉	122
英語ⅡB (商)	〈岩 原 康 夫〉	122
英語ⅡB (商)	〈本 間 俊 一〉	122
英 会 話	I 〈ウエルズ, J. K.〉	123
英 会 話	I 〈ソルタ, P. N. F.〉	123
英 会 話	I 〈ジトウィッツ, P. D.〉	124
英 会 話	I 〈ピアス, D. M.〉	124
英 会 話	I 〈プラスキー, J. C.〉	125
英 会 話	I 〈ラージ, R.〉	125
英 会 話	I 〈レイン, R. V.〉	126
英 語 L L	I 〈甲 斐 捷 子〉	127
英 語 L L	I 〈加 藤 佐和子〉	127
英 語 L L	I 〈久 保 ひさ子〉	128
英 語 L L	I 〈中 林 正 身〉	128
英 語 L L	I 〈西 村 祐 子〉	129
英 語 L L	I 〈埴 美智子〉	129
英 語 L L	I 〈ヘラー, P. S.〉	130

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA (経A・商)	〈河 上 和 史〉	131
ドイツ語ⅠB (経A・商)	〈柴 野 博 子〉	131
ドイツ語ⅡA (経A)	〈百 濟 勇〉	131
ドイツ語ⅡA (商)	〈柴 野 博 子〉	132
ドイツ語ⅡB (経A)	〈飯 塚 公 夫〉	132
ドイツ語ⅡB (商)	〈織 田 繁 美〉	132

〔フランス語〕

フランス語ⅠA (経A・商)	〈桑 田 禮 彰〉	133
フランス語ⅠB (経A・商)	〈菅 原 猛〉	133
フランス語ⅡA (経A)	〈小 玉 齊 夫〉	134
フランス語ⅡA (経A)	〈前 田 祝 一〉	134
フランス語ⅡA (商)	〈遠 山 博 雄〉	135
フランス語ⅡB (経A)	〈菅 谷 暁〉	135
フランス語ⅡB (商)	〈畑 中 千 晶〉	135

〔中国語〕

中国語ⅠA・ⅠB (経A・商)	〈宮本厚子・三田村圭子〉	137
中国語ⅠA・ⅠB (経A・商)	〈村松哲文・陳 洲拳〉	137
中国語ⅠA・ⅠB (経A・商)	〈岩 崎 皇〉	138
中国語ⅠA・ⅠB (経A・商)	〈松 本 丁 俊〉	138
中国語ⅡA (経A)	〈釜 屋 修〉	138
中国語ⅡA (経A・商)	〈岩 崎 皇〉	139
中国語ⅡA (経A)	〈李 雲〉	139

中国語Ⅱ A	(経A)	〈松本 丁俊〉	139
中国語Ⅱ A	(商)	〈松本 丁俊〉	140
中国語Ⅱ A	(商)	〈福地 桂子〉	140
中国語Ⅱ A	(商)	〈弘兼 加奈子〉	140
中国語Ⅱ B	(経A)	〈岩崎 皇〉	141
中国語Ⅱ B	(経A)	〈平石 淑子〉	141
中国語Ⅱ B	(経A)	〈弘兼 加奈子〉	141
中国語Ⅱ B	(商)	〈根岸 政子〉	142
中国語Ⅱ B	(商)	〈櫻庭 和典〉	142
中国語Ⅱ B	(商)	〈松本 丁俊〉	142

〔スペイン語〕

スペイン語Ⅰ A	(経A・商)	〈荻野 雅司〉	143
スペイン語Ⅰ B	(経A・商)	〈上野 勝広〉	143
スペイン語Ⅱ A	(経A)	〈大岩 功〉	144
スペイン語Ⅱ A	(経A)	〈福本 久美子〉	144
スペイン語Ⅱ A	(商)	〈真下 祐一〉	145
スペイン語Ⅱ B	(経A)	〈宮地 達郎〉	145
スペイン語Ⅱ B	(商)	〈福本 久美子〉	146

〔ロシア語〕

ロシア語Ⅰ A・Ⅰ B	(経A・商)	〈クロチコフ, Y.・木村 英明〉	148
ロシア語Ⅱ A	(経A・商)	〈杉山 秀子・木村 英明〉	148
ロシア語Ⅱ B	(経A・商)	〈木村 英明・佐野 朝子〉	149

《再履修クラス》

〔英 語〕

英語 I A	〔再クラス〕	〈西村 祐子〉	150
英語 I A	〔再クラス〕	〈岩井 洋美〉	150
英語 I A	〔再クラス〕	〈林 孝憲〉	150
英語 I A	〔再クラス〕	〈牧野 輝良〉	151
英語 I A	〔再クラス〕	〈朝川 真紀〉	151
英語 I A	〔再クラス〕	〈佐藤 アヤ子〉	151
英語 I A	〔再クラス〕	〈吉江 正雄〉	152
英語 I A	〔再クラス〕	〈塙 美智子〉	152
英語 I A	〔再クラス〕	〈塚本 利男〉	153
英語 I A	〔再クラス〕	〈川島 弘之〉	153
英語 I A	〔再クラス〕	〈尾上 典子〉	154
英語 I A	〔再クラス〕	〈外池 一子〉	154
英語 I A	〔再クラス〕	〈高柳 文江〉	154
英語 I A	〔再クラス〕	〈熊沢 和明〉	155
英語 I A	〔再クラス〕	〈岩原 康夫〉	155
英語 I A	〔再クラス〕	〈西原 克政〉	155
英語 I B	〔再クラス〕	〈手島 敬子〉	156
英語 I B	〔再クラス〕	〈林 孝憲〉	156
英語 I B	〔再クラス〕	〈木村 克彦〉	156
英語 I B	〔再クラス〕	〈武藤 久緒〉	157
英語 I B	〔再クラス〕	〈江田 幸子〉	157
英語 I B	〔再クラス〕	〈甲斐 捷子〉	158
英語 I B	〔再クラス〕	〈石原 孝哉〉	158
英語 I B	〔再クラス〕	〈真砂 久晃〉	158
英語 I B	〔再クラス〕	〈高柳 文江〉	159
英語 I B	〔再クラス〕	〈熊沢 和明〉	159
英語 I B	〔再クラス〕	〈町田 成男〉	159
英語 I B	〔再クラス〕	〈飯沼 好永〉	160
英語 II A	〔再クラス〕	〈佐藤 明子〉	160
英語 II A	〔再クラス〕	〈宇都宮 秀和〉	160
英語 II A	〔再クラス〕	〈岡崎 寿一郎〉	161
英語 II A	〔再クラス〕	〈佐藤 江里子〉	161
英語 II A	〔再クラス〕	〈岡崎 寿一郎〉	161
英語 II A	〔再クラス〕	〈井伊 順彦〉	162
英語 II A	〔再クラス〕	〈川崎 浩太郎〉	162
英語 II A	〔再クラス〕	〈矢島 直子〉	162
英語 II A	〔再クラス〕	〈相馬 美明〉	163
英語 II A	〔再クラス〕	〈河内 賢隆〉	163
英語 II A	〔再クラス〕	〈古富 猛〉	163
英語 II A	〔再クラス〕	〈三浦 眞理〉	164
英語 II A	〔再クラス〕	〈山岸 二郎〉	164
英語 II B	〔再クラス〕	〈佐藤 江里子〉	164
英語 II B	〔再クラス〕	〈伊藤 美代子〉	165
英語 II B	〔再クラス〕	〈川手 浩一〉	165
英語 II B	〔再クラス〕	〈川手 浩一〉	165
英語 II B	〔再クラス〕	〈長谷川 公一〉	166

英語ⅡB〔再クラス〕	〈澤田真弓〉	166
英語ⅡB〔再クラス〕	〈落合和昭〉	166
英語ⅡB〔再クラス〕	〈前田脩〉	167
英語ⅡB〔再クラス〕	〈河内賢隆〉	167
英語ⅡB〔再クラス〕	〈本間俊一〉	167
英語ⅡB〔再クラス〕	〈笹倉貞夫〉	168
英語ⅡB〔再クラス〕	〈笹倉貞夫〉	168

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈柴野博子〉	168
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈志真斗美恵〉	169
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈本橋右京〉	169
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈杉本正俊〉	169
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈飯塚公夫〉	170
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈野島利彰〉	170
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈井村行子〉	170
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈本橋右京〉	171
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈松岡晋〉	171
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈織田繁美〉	171
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈栗原万修〉	172
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈百済勇〉	172
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈柴野博子〉	172
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈織田繁美〉	173

〔フランス語〕

フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈竹田正純〉	173
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈芦原脊〉	173
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈小玉齊夫〉	174
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈遠山博雄〉	174
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈谷川かおる〉	174
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈菅谷暁〉	175
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈今関ア ン〉	175
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈小玉齊夫〉	175
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈長谷川光明〉	176
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈畑中千晶〉	176
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈沼倉広子〉	176
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈長谷川光明〉	177
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈前田祝一〉	177
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈沼倉広子〉	177
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈谷川かおる〉	178

〔中国語〕

中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈江林英基〉	178
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈戸張嘉勝〉	178
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈杉山静〉	179
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐藤普美子〉	179
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈塩旗伸一郎〉	180
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈根岸政子〉	180
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈櫻庭和典〉	181

中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈曹 泰 和〉	181
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈村 松 哲 文〉	181
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈三田村 圭 子〉	182
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈小 川 隆〉	182
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈胡 玉 華〉	182
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈弘 兼 加奈子〉	183
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈蘭 明〉	183
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈平 石 淑 子〉	183
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈岩 崎 皇〉	184
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈大久保 明 男〉	184
中国語ⅡB〔再クラス〕	〈李 雲〉	184
中国語ⅡB〔再クラス〕	〈李 雲〉	185
中国語ⅡB〔再クラス〕	〈蘭 明〉	185

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈真 下 祐 一〉	186
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈大 岩 功〉	186
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈上 野 勝 広〉	187
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈亀 山 晃 一〉	187
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈宮 地 達 郎〉	188
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈荻 野 恵〉	188
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈ナバロ, ホワン J.〉	188
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐 藤 麻里乃〉	189
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈福 本 久美子〉	189
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈大 岩 功〉	190
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈亀 山 晃 一〉	190

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈廣 田 英 靖〉	191
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐 野 朝 子〉	191
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈木 村 英 明〉	192
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈安 徳 ニーナ〉	192
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈高 木 美菜子〉	192
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈クロチコフ, Y.〉	193
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈安 徳 ニーナ〉	193

《 選 択 科 目 》

英 文 講 読	〈林 明 人〉	194
英 文 講 読	〈矢 島 直 子〉	194
英 文 講 読	〈牧 野 輝 良〉	194
時 事 英 語 研 究	〈竹 村 恵 都 子〉	195
時 事 英 語 研 究	〈林 明 人〉	195
時 事 英 語 研 究	〈岸 本 茂 和〉	195
時 事 英 語 研 究	〈丹 治 弘 昌〉	196
時 事 英 語 研 究	〈矢 島 直 子〉	196
マルチ・メディア	〈落 合 和 昭〉	197
マルチ・メディア	〈大 庭 直 樹〉	198
マルチ・メディア	〈西 村 祐 子〉	198
英 会 話 II	〈ジトウィッツ, P. D.〉	199
英 会 話 II	〈プラスキー, J. C.〉	199
英 会 話 II - 夏季 集中 -	〈ピアス, D. M.〉	200
英 会 話 III	〈ウエルズ, J. K.〉	201
英 会 話 III	〈ラージ, R.〉	202
英 会 話 III - 夏季 集中 -	〈レーン, C. M.〉	203
英 語 L L II	〈太 田 雅 子〉	204
英 語 L L II	〈外 池 一 子〉	204
英 語 L L II	〈西 村 祐 子〉	205
英 語 L L III	〈久 保 ひ さ 子〉	206
英 語 L L III	〈西 村 祐 子〉	206
英 語 L L III	〈レーン, C. M.〉	207
ドイツ語外国書講読	〈柴 野 博 子〉	208
時 事 ド イ ツ 語	〈野 島 利 彰〉	208
上 級 ド イ ツ 語	〈栗 原 万 修〉	208
ド イ ツ 語 L L I	〈小林ゲアリンデ〉	209
ド イ ツ 語 L L II	〈小林ゲアリンデ〉	209
ド イ ツ 語 I A (選)	〈五十嵐 信 子〉	210
ド イ ツ 語 I B (選)	〈野 島 利 彰〉	210
ド イ ツ 語 II (選)	〈松 岡 晋〉	211
フランス語外国書講読	〈小 玉 齊 夫〉	211
時 事 フ ラ ン ス 語	〈大 野 英 士〉	212
上 級 フ ラ ン ス 語	〈小 玉 齊 夫〉	212
フ ラ ン ス 語 L L I	〈ラリア・三倉, M.〉	213
フ ラ ン ス 語 L L II	〈ラリア・三倉, M.〉	213
フ ラ ン ス 語 I A (選)	〈井 田 清 子〉	213
フ ラ ン ス 語 I A (選)	〈伊 藤 な お〉	214
フ ラ ン ス 語 I B (選)	〈大 野 英 士〉	214
フ ラ ン ス 語 I B (選)	〈菅 原 猛〉	215
フ ラ ン ス 語 II (選)	〈桑 田 禮 彰〉	215
中国語外国書講読	〈佐 藤 普 美 子〉	215
時 事 中 国 語	〈塩 旗 伸 一 郎〉	216
上 級 中 国 語	〈釜 屋 修〉	216
中 国 語 L L I	〈佐 藤 普 美 子〉	217
中 国 語 L L II	〈小 川 隆〉	217
中 国 語 I A (選)	〈釜 屋 修〉	217

中国語 I A (選)	〈宮本厚子〉	218
中国語 I B (選)	〈蘭明〉	218
中国語 II (選)	〈松本丁俊〉	218
スペイン語外国書講読	〈真下祐一〉	219
時事スペイン語	〈真下祐一〉	219
上級スペイン語	〈上野勝広〉	220
スペイン語 L L I	〈ナバロ, ホワン J.〉	220
スペイン語 L L II	〈ナバロ, ホワン J.〉	220
スペイン語 I A (選)	〈宮地達郎〉	221
スペイン語 I B (選)	〈亀山晃一〉	221
スペイン語 II (選)	〈荻野雅司〉	222
ロシア語外国書講読	〈廣田英靖〉	222
時事ロシア語	〈木村英明〉	222
上級ロシア語	〈クロチコフ, Y.〉	223
ロシア語 L L I	〈安德ニーナ〉	223
ロシア語 L L II	〈安德ニーナ〉	223
ロシア語 I A (選)	〈クロチコフ, Y.〉	224
ロシア語 I B (選)	〈木村英明〉	224
ロシア語 II (選)	〈佐野朝子〉	225
朝鮮語 I A (選)	〈宋美玲〉	225
朝鮮語 I B (選)	〈宋美玲〉	226
朝鮮語 II (選)	〈宋美玲〉	226

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	みよし やすよし 三 芳 康 義	経 A 1 年	2

講義のねらい

この科目の目的は、TOEICのような学外の英語検定試験に出題される文法事項を確認しながら、実用英語の総合的な運用能力の向上を目指します。授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法

授業中の口頭発表、出席率、前・後期小テスト（4回～6回）などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教 科 書

島本たい子、宮野智靖/Jodi Flowers 著『TOEIC テスト基礎文法トレーニング』（マクミラン ランゲージハウス）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	よこもり まさひこ 横 森 正 彦	経 A 1 年	2

講義のねらい

日米の文化の差異について会話からはじまり、文法事項を復習。Exercise で英語力を養成。センテンス・レベルの作文能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに従って、前半 Letters から Vacation、後半 Drinking から Loan Words まで。

履修上の留意点

予習をしてくること。なお「ビジネスマンのための職場の英語表現」（授業内でプリントにして学生にわたす）を小テスト形式で行う。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、小テスト、前期・後期テストの総合的評価とする。

教 科 書

『異文化の理解に向けて』（旺史社）1,360円＋税

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	丸小哲雄	経A1年	2

- 講義のねらい

国際化とは、無意識的な自国の文化を意識化し、自国語を膨らましつつ越えてゆき、自らの問題意識を拡大し高めて、他国を捉えて理解してゆくことです。インターナショナルの前提として、ナショナルなものがなければ、それは国際化とは言わない。このことを前提に語彙、熟語、文法、誤文訂正に力点を置き、グローバル・スタンダードの土俵に上がるための言語的技術と同様に、英語コミュニケーションの包括的な能力の向上を目指します。
- 講義の内容・授業スケジュール

リスニング・タイムを総理解として、コミュニケーション能力のために実践的 TOEIC を利用して、そこから応用できるように習熟していきます。
- 成績評価の方法

出席、平常テスト、レポート作成課題(開講時に指示)、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。
- 教科書

 - ・テキスト：Log On TOEIC 600 英宝社
 - ・リスニング・サブテキスト：Short Listening 成美堂
- 参考書等

 - ・参考書は随時指示し、日常言語プリントや時事英語ニュースのコピーも適宜配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	三輪久恵	経A1年	2

- 講義のねらい

海外へ出た時に独力でコミュニケーションをとることが出来る英語能力を養う。対処の仕方等を通して日本とは異なる文化・物の考え方も学ぶ。
- 講義の内容・授業スケジュール

旅行中に出あう様々な場面で役立つ英語表現の習得をめざす。Dialog の Listening を中心に、練習問題形式で語彙・英語表現の習得を主眼とし、合わせて文化的・民族的背景等をも学習する。
- 履修上の留意点

予習をして授業に臨んで下さい。辞書は、中辞典程度のもの必携。
- 成績評価の方法

単元が終る毎に30分程度のクイズ・小テストを実施。必然的に、出席及び平常点重視となります。
- 教科書

Joseph S. Cravotta 他著 *Trouble-Free Travel* (都文堂) 1,800円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	池上賀英子	経A1年	2

- 講義のねらい

入学時の英語力を基礎として英語の運用能力を養う。
- 講義の内容・授業スケジュール

ヒヤリング、スピーキング、ライティングの、より高度な運用能力練習をする。ビデオ(VHS、DVD)等も使用する。
- 履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。
- 成績評価の方法

発表を中心とする平常点と定期試験の成績を総合し評価する。
- 教科書

プリント教材を適宜配布、使用する。教科書は未定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A	岩屋玉江 <small>いわや たまえ</small>	経A1年	2

講義のねらい

これまでに培ってきた基礎知識の拡充および英語表現力の向上を目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は予習復習を前提とした発表形式でおこないます。

履修上の留意点

テキスト中のエッセイやダイアログには、日常生活で使える表現が多くあるので覚えるよう
ところがけて下さい。辞書を毎回持参して下さい。

成績評価の方法

評価は前期・後期試験、小テスト、出席および演習への参加状況を総合しておこないます。

教 科 書

Let's Write and Communicate (金星堂) 1,850円 ISBN4-7647-3714-0

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A	石原孝哉 <small>いしはら こうさい</small>	経A1年	2

講義のねらい

英語の総合力アップを目指します。

履修上の留意点

必ず予習して授業に出席すること。

成績評価の方法

中間、期末試験のほか、レポート、出席を重視します。

教 科 書

Looking Backward, Major Events of the 20 th Century (南雲堂) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A	相馬美明 <small>そうま よしあき</small>	商1年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、様々な英語の運用能力（発話・読解・聴解）を身につける。プリントを用いた文法問題、及び教科書による読解問題を通じ、精読・多読の両面から英語の基本的な運用能力を身につける。また、様々な検定対策も対応すべく、TOEICのリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法

全授業日数の3分の2以上の出席を基本とし、前・後期に行う試験、及び授業で行う小テスト、また授業態度等を総合的に評価する。

教 科 書

Hiroko Nishida・William Gudykunst, *American Communication Patterns* (金星堂) 1,200円
Mitsuho Sugawara, *10 - Minute Listening (Introductory)* (桐原書店) 780円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	まさの 牧野 輝よし	商1年	2

講義のねらい	英文を理解するのに必要な英文の構造、語句等を年間を通じ、しっかりと学習すること。
講義の内容・授業スケジュール	テキストをよく読み、あわせてよりよく英文を理解するために、ドリルとして英文法の問題を課する。
履修上の留意点	指名された学生は答えられるように予習して出席すること。
成績評価の方法	授業中の発表、提出物、3～5課毎の小テスト、期末テスト及び2/3以上の出席等を総合して評価する。
教科書	『基本英文法』(成美堂) 1,600円 ISBN4-7919-4907-2 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	みずさきの 水崎のりこ 野里子	商1年	2

講義のねらい	ヒアリング、スピーキングの練習をする。英語を聞き取れ、話せるようになって欲しい。
講義の内容・授業スケジュール	指定のテキストを使用し、ネイティブ・スピーカーの吹き込んだテープを活用しながら、授業を進めて行く。テキストは前期で終了し、後期は新たな教材を使用する予定。また、年間を通じて、副教材を使用する。
履修上の留意点	授業態度を平常点として加味する。特に出席には、学生は留意して欲しい。
成績評価の方法	前期後期二度の平常試験に平常点(出席率)を考慮し、総合評価する。
教科書	Hiromi Nema 他著『なれよう、英語の音とリズム』(英宝社) 1,400円 水崎野里子訳『現代アメリカアジア系詩集』(土曜美術社) 1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	まし 岸本 しげかず 茂和	商1年	2

講義のねらい	英文を読みときながら、文法上の問題点を復習しかつ学習してゆく。
講義の内容・授業スケジュール	一年間でテキストのすべてを仕上げることを最人の目標におこう。
履修上の留意点	授業には英和辞典をかならずもってくること。
成績評価の方法	試験は前期・後期の2回。全授業日数の3分の1以上欠席の場合は「不可」とする。
教科書	『エンジョイ・イングリッシュー基礎文法と4技能演習』(朝日出版社) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	丹治 弘昌 <small>たんじ ひろまさ</small>	商1年	2

- 講義のねらい 教場にて説明いたします。
- 講義の内容・授業スケジュール 教場にて説明いたします。
- 履修上の留意点 実際の会話より表現のパターンを選び出し、その応用表現を学習します。そしてときに応じて文法事項について説明します。
- 成績評価の方法 成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行います。
- 教科書 プリントを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	川崎 笑佳 <small>かわさき えみか</small>	商1年	2

- 講義のねらい 入学時の英語知識を基盤として、意志伝達能力の向上を目指す。授業では、テキスト、又は必要に応じてその他の教材を用いて指導を行い、基本的な表現から、より効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。
- 履修上の留意点 毎回授業中に英作文を書いて提出してもらうので、辞書持参が望ましい。
- 成績評価の方法 3分の2以上の出席および英作文、発表、授業態度、テストの結果をもとに総合的に評価する。
- 教科書 *Thoughts into Writing* 〈パラグラフ・ライティング入門〉(成美堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔基礎英語特別クラス〕	桧山 晋 <small>ひやま すすむ</small>	経A・商1年	2

- 講義のねらい 英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。
- 講義の内容・授業スケジュール (前期) 基礎を固める。(後期) 応用力を伸ばす。
- 履修上の留意点 授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等の問合せには一切応じないので自己管理すること。携帯を授業中に鳴らした者は退室してもらい欠席扱いとする。毎回小テストを行い、小テスト解答終了時以降の入室は欠席扱い。
- 成績評価の方法 小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に「不可」。
- 教科書 第一回目の授業で指示。

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	増田 恵子 <small>ます だ けい こ</small>	経A1年	2

講義のねらい 「速読」や「精読」などの英文の読み方を体得し、臨機応変に運用する能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール 授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となる。

履修上の留意点 積極的に授業へ参加することが望ましい。

成績評価の方法 出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。

教科書 *The Professor* (大阪教育出版) 1,500円 ISBN4-271-11293-3

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	大庭 直樹 <small>おお ば なお き</small>	経A1年	2

講義のねらい このクラスは英文を多読するクラスである。多くの英文を読んで、内容を要約する力を養うことに力点をおく。

講義の内容・授業スケジュール このクラスは、読む内容の分野は限定せず、いろいろな分野の読み物をプリントで配布する。プリントは、年間30枚以上になり、教室で扱わないものは内容を要約して提出してもらう。教室での発表に加えて、提出課題もかなりの数になる。

履修上の留意点 予習に全力を注ぐこと。

成績評価の方法 成績は、3分の2以上の出席と、発表に重点をおく。課題の提出、ミニクイズも頻繁に行う。そして前期と後期にそれぞれ定期試験を行う。

教科書 テキスト：プリント（教場で配布する）

その他 火曜日・2時限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	伊 良 部 祥 子 <small>いろうぶ あきこ</small>	経 A 1 年	2

講義のねらい

アメリカの映画紹介のテレビ番組を収録したビデオ教材を使い、リスニング能力を高めるとともに読解力も養う。

講義の内容・授業スケジュール

ビデオを見た後に内容に関する質問、重要構文の説明等を行う。また、英語での感想文も課題として出す予定である。

履修上の留意点

ビデオの内容をよく理解するためには、あらかじめ、テキストの解説文を読んでおくこと、つまり、予習が必要である。演習科目なので出席を最重視する。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、授業時の発表、課題の提出、出席状況で総合評価する。

教 科 書

Hollywood Dialogs (朝日出版社) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	山 田 照 子 <small>やま だ てる こ</small>	経 A 1 年	2

講義のねらい

リーディングの力を伸ばしつつ、アメリカがどのように世界状況と深いかわりを持っているかを、基本的に立ち返って考えます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に読んで行きますが、他の資料も使用します。

履修上の留意点

発表形式ですから、予習が必要です。

成績評価の方法

授業中における発表、前期後期の試験等、出席率によって総合評価します。

教 科 書

W. Balsamo 他著『*A Changing America in a New World—アメリカの背景を読む—*』(金星堂) 1,600円 ISBN4-7647-3786-8 C1082

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	大 庭 直 樹 <small>おお ば なお ぎ</small>	経 A 1 年	2

講義のねらい

このクラスは講読のクラスなので、年間を通して、多読と精読を平行しておこなっていく。

講義の内容・授業スケジュール

このクラスでは、キリスト教をテーマにして文献を読み込んでいく。テキストには、新約聖書物語を選び、それを精読していく。テキスト以外に、プリントとして、キリスト教の成立と歴史についての文献、キリスト教とヨーロッパ文明の関わりを講じたものなどを配布する。

履修上の留意点

予習を十分に行うこと

成績評価の方法

成績は、3分の2以上の出席と、発表に重点をおく。課題の提出、ミニクイズも頻繁に行う。そして前期と後期にそれぞれ定期試験を行う。

教 科 書

『新約聖書物語』(成美堂)
プリントは教場で配布する

そ の 他

火曜日・1時限

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I B	いし ほん こう さい 石 原 孝 哉	商1年	2

講義のねらい	世界で話される多くの英語に接しながら、読解力のアップを目指します。
履修上の留意点	必ず予習して出席すること。
成績評価の方法	中間、期末試験のほか、レポート、出席を重視します。
教科書	<i>The Whole Story</i> (南雲堂フェニックス) 1,600円 配布プリント
その他	火曜日・3時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I B	ます だ けい こ 増 田 恵 子	商1年	2

講義のねらい	「速読」や「精読」などの英文の読み方を体得し、臨機応変に運用する能力を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となる。
履修上の留意点	積極的に授業へ参加することが望ましい。
成績評価の方法	出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。
教科書	<i>Short Stories by Women Writers</i> (開文社) 1,100円 ISBN4-87571-209-X

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I B	いら ぶ あき こ 伊 良 部 祥 子	商1年	2

講義のねらい	アメリカの州や都市を紹介したビデオ教材を使い、リスニング能力を高めるとともに読解力も養う。
講義の内容・授業スケジュール	ビデオを見た後に内容に関する質問、重要構文の説明等を行う。毎回、単語および重要構文のテストを行う。
履修上の留意点	ビデオの内容をよく理解するためには、あらかじめ、テキストの解説文を読んでおくこと、つまり、予習が必要である。演習科目なので出席を最重視する。
成績評価の方法	前・後期の定期試験、授業時の発表、課題の提出、出席状況で総合評価する。
教科書	<i>American Voyager</i> (朝日出版社) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	やま だ てる こ 山 田 照 子	商1年	2

講義のねらい

リーディングの基礎的なスキルを身につけることがねらいです。平易な英文で書かれた興味深い内容のテキストを使用します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に読んでゆきますが、他の資料も使用します。

履修上の留意点

発表形式ですから、予習が必要です。

成績評価の方法

授業中における発表、前期後期の試験、出席率等によって総合評価します。

教 科 書

N. Anderson 他著『Basic Skills for Reading (リーディングスキルの基礎演習)』(成美堂) 1,700円 ISBN4-7919-0055-3 C1082

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	はま ぐち まさ き 濱 口 真 木	商1年	2

講義のねらい

英語の基本的な文法、構文を重点的に確認しながら、英文読解力や語彙力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に進めていき、多くの表現を身につける。

履修上の留意点

予習をして授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点50%、前期・後期の試験50%による総合評価とします。

教 科 書

『LOOKING BACKWARD - Major Events of the 20 th Century (事件でたどる20世紀)』(南雲堂) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔基礎英語特別クラス〕	いし ほん こう さい 石 原 孝 哉	経A・商1年	2

講義のねらい

日常会話を中心に、基礎力アップを目指します。

履修上の留意点

必ず予習して授業に出席すること。

成績評価の方法

中間試験、期末試験のほか、レポート、出席率などを含めて総合的に評価します。

教 科 書

First Step Abroad (金星堂) 2,000円

そ の 他

火曜日・4時限

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	前期：町田 尚子 後期：甲斐 捷子	経 A 2 年	2

講義のねらい

前期：ウェブサイト上の英語電子新聞・雑誌から経済に関する記事を取り上げ、文脈からの内容把握を徹底し、文字情報をすばやく正確に理解する力を培います。

講義の内容・授業スケジュール

前期：PC 教場が使用できるときは、ウェブサイトのニュース報道を文字のみならず音声でも理解する試みに当てます。7月第1週に中間試験を行い、第2週に前期の成果をお知らせする予定です。

履修上の留意点

前期：予習を前提とし、課題を担当発表する積極的な参加を高く評価し、大学の PC 講習を必ず受講し、KOMAnet の ID・Password を取得しておくこと。

後期：1単元終るごとに小テストを必ず行います。これは詳細な復習のためのテストで本試験と同じような傾向のものです。このテストで70%以上得点できるよう、復習に重点を置いて勉強して下さい。

成績評価の方法

一応の日安として、平常評価としての出席10%、前期（中間）試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が1/3を超えた場合、及び前後期定期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教 科 書

前期：ハンドアウト・プリント、後期：教場で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	伊勢村 定雄 <small>いせむら きたお</small>	経A2年	2

講義のねらい

音読とダイアローグの暗唱により、英語の発音と表現を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

4月 ガイダンス
 〈本文音読・訳読→ダイアローグの音読・訳読→練習→ダイアローグのテスト〉のサイクルで授業は展開。以下月ごとのテスト予定。
 5月 オーラルテスト (1回)
 6月 オーラルテスト (2回)
 〃 (3回)
 7月 オーラルテスト (4回)
 9月 後期ガイダンス及び授業
 10月 オーラルテスト (5回)
 〃 (6回)
 11月 オーラルテスト (7回)
 〃 (8回)
 12月 オーラルテスト (9回)
 都合9回のテストを実施予定。

外国語

履修上の留意点

予習は必ずして出席のこと！ 辞書持参。

成績評価の方法

主にオーラルテストによる。他出席状況及びその態度。

教科書

伊勢村定雄・David W, Chapman『オーラルコミュニケーション英語演習』（北星堂書店）
1,900円

参考書等

なし

その他

上記「講義の内容・授業スケジュール」を参照。演習形式。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	伊藤 幸一 <small>いとう こういち</small>	経A2年	2

講義の内容・授業スケジュール

使用テキストの日本語タイトル通りの「英語で学ぶやさしい経済」を、やさしい英語で、その『はしがき』通り「日米の文化の違いも学んで」行く。

履修上の留意点

毎回、着席順に当てるので予習して出席されたい。また、復習の為に3回(5月末、夏休み、大学祭後)宿題レポートを課し、「まとめ」として最終授業時にテストの予定。

成績評価の方法

以上の3点、予習・復習・まとめの成果による。詳細は最初の授業時に説明する。

教科書

Wise Choices, *Everyday Economics for Everyone* (金星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	萩原輝	経A2年	2

講義のねらい

自由英作文を作る能力の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、“Happiness” “Money” “Work” について、後期は “Love and Hate” “Humor and Laughter” について学ぶ。

履修上の留意点

教科書、英和、和英辞典を毎時間持参すること。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、授業態度、試験の結果・等の総合評価。

教科書

Jim Knudsen 著『名句で英語を学ぶ』（南雲堂）1,957円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	濱口真木	経A2年	2

講義のねらい

バラエティに富んだテキストを活用して、言葉の4技能のうち、おもに「書く」力と「聞く」力をのばすことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、かなりの時間はテープを聞いて問題に答える（口答もしくは筆記で）ことに費やされる。英語の音声の特徴を体得してもらいたい。英作文も数題おこなう。

履修上の留意点

毎回、全体の半数近い諸君が指名され、なんらかのかたちで答えることになる。積極的な参加を期待する。

成績評価の方法

数回の小テスト、質疑応答の出来、出席数を柱とするが、詳細は教室で。

教科書

Mark Ferris 他著『Just the Way You Are—異文化・理解と誤解—』（三修社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	三幣友行	経A2年	2

講義のねらい

英語ⅠAで学んだ英語を基礎として、英語による意志伝達能力のさらなる向上を目指す。

履修上の留意点

予習を前提として授業をすすめる。

成績評価の方法

出席、発表、授業態度などの平常点と定期試験を総合的に評価する。出席が全授業の2/3に満たない場合は単位を認めない。

教科書

未定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	鈴 木 美 貴 子 <small>すず き み 貴 こ</small>	経 A 2 年	2

講義のねらい

米国留学をテーマとしたテキストを用い、日常生活における英語表現力の向上を目指す

講義の内容・
授業スケジュール

テキストに従い演習する。出会った英語表現は確実に覚え、英作文にはじっくり取り組んでいただきたい。また随時、こちらが用意するテープで簡単なリスニングをしたり、自由英作文を提出したりしていただく。

履修上の留意点

常に辞書（英和・和英）持参

成績評価の方法

出席状況、前・後期試験、提出物により総合的に評価する

教 科 書

浅間正通 編著『米国留学プラクティカル・ライティング Writing Towards America』
(英宝社) 1400円 ISBN 4-269-31076-6 C1082

外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	足 田 和 人 <small>あし た かず ひと</small>	経 A 2 年	2

講義のねらい

英作文および英会話の運用能力向上をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

演習形式で授業を行う。

成績評価の方法

毎時間小テストを行い平常点とし、前後期試験の点数を評価して加える。

教 科 書

WHAT'S UP ? 2002 - 3Elementary (桐原書店)

参 考 書 等

必要に応じて配布・紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	伊勢村 定雄 <small>いせむら まだ お</small>	商2年	2

講義のねらい	音読とダイアローグの暗唱により、英読の発音と表現を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	4月 ガイダンス (本文音読・訳読→ダイアローグの音読・訳読→練習→ダイアローグのテスト)のサイクルで授業は展開。以下月ごとのテスト予定。 5月 オーラルテスト(1回) 6月 オーラルテスト(2回) 〃 (3回) 7月 オーラルテスト(4回) 9月 後期ガイダンス及び授業 10月 オーラルテスト(5回) 〃 (6回) 11月 オーラルテスト(7回) 〃 (8回) 12月 オーラルテスト(9回) 都合9回のオーラルテストを予定。
履修上の留意点	予習は必ずして出席のこと！辞書持参。
成績評価の方法	主にオーラルテストの結果による。他出席状況及びその態度。
教科書	伊勢村定雄・David W. Chapmon『オーラルコミュニケーション英語演習』(北星堂書店) 1,900円
その他	上記「講義の内容・授業スケジュール」を参照。演習形式。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	岩山 義春 <small>いわ やま よし はる</small>	商2年	2

講義のねらい	この授業では、パラグラフを作成するための基本的なルールを学び、自分の考えを短いエッセイの形にできるようになることを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	英文を書く上での基本的な事項(punctuation marks, dangling modifiers, wordiness等)をしっかりと学びます。前・後期を通じて、エッセイ(A4で2枚)を4回提出することが課せられる。
成績評価の方法	前・後期末試験を全評価の40%とし、エッセイ(4回)とclass activitiesを全評価の60%とする。全授業回数数の1/3以上を欠席した学生はこの授業をパスできないものとする。
教科書	プリントを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A	まさの 牧野 てるよし 輝良	商2年	2

講義のねらい	より高度な英文を身につけること。
講義の内容・授業スケジュール	各課毎に英文を詳細に読み、英文中の重要な構文、語句の用い方を覚え、英作文に応用する。
履修上の留意点	英文を和訳出来るようによく自習しておくこと。
成績評価の方法	毎時間の課題提出、3課毎の小テスト、期末テスト等を総合して評価する。単位認定には原則的に2/3以上の出席が必要である。
教科書	『ケンブリッジ プラクティカル・リーディング』（朝日出版社）1,262円 ISBN4-255-15214-4 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A	あんざい かおる 安齊 薫	商2年	2

講義のねらい	「日本文化」をテーマにして英文解釈、英作文、基本表現の習得を目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	発表形式を取り入れながら毎回テキストを進めていきます。
履修上の留意点	予習をしてきて下さい。
成績評価の方法	出席状況、前期後期試験、レポートから総合的に評価します。
教科書	『LET'S WRITE ABOUT JAPAN 日本文化を英語で表現』（成美堂）1,600円 ISBN4-7919-5033-X

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A	すぎむら はつえ 杉村 初枝	商2年	2

講義のねらい	英文を書く上で必要な文型・文法を学び、英語らしい表現の習得を目指します。センテンスからパラグラフライティングのレベルに達する事を目的とし、テーマに沿った文章構成の基礎を学びます。
講義の内容・授業スケジュール	授業は、テキストに沿った演習を中心に進めます。随時、レポートの提出を課します。
履修上の留意点	出席回数が、全授業回数の3分の2に満たない場合は、成績評価の対象となりません。
成績評価の方法	授業時における発表、レポート、前後期に行う試験により評価します。詳しい評価の基準は、開講時に指示しますが、規定の枚数のレポートを必ず提出してください。
教科書	開講時に指示します。
参考書等	英和辞典、和英辞典はプログレッシブ以上のものを用意してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	くまざわかずあき 熊 沢 和 明	商2年	2

講義のねらい

口語英作文のテキストを使い、英語運用能力の向上をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に学習しながらプリントの副教材も併用します。

履修上の留意点

ペアワークやプレゼンテーションなどの活動も取り入れる予定なので予習してくること。

成績評価の方法

出席と日常の発表などの平常点重視。前期、後期のテストの他に、単語テスト、レポート提出などを求めます。パソコンや携帯電話などのメールによる提出も検討中です。

教科書

開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	にしだよしかず 西 田 義 和	商2年	2

講義のねらい

英語学習の基本的な方法は、英文を正しく読み、訳し、内容を理解することである。この授業ではこうした観点から全部（前期・後期）で18章からなっている英語の構造を用いて英文和訳、和文英訳等を行うことにより学習の徹底をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

前期・後期を通じて毎時間多くの学生にやってもらい、その後説明を補足し、また予習の結果生じた疑問に答えていきたい。

履修上の留意点

予習や復習は必ずしてください。また、辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、発表の内容、テスト等を総合して評価を行う。なお、単位取得は、三分の二以上の出席を前提とする。

教科書

四月の開講時に指示する。

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading：I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	吉 川 直 澄 <small>きつ かわ なお ずみ</small>	経 A 2 年	2

講義のねらい

I B を基礎として、専門書を読むための訓練となりうる論説文（比較的短いコラム）、つまり著者がある見解を論理的に述べ、読者を説得しようとする知的な文章を正確に読む。その経験を積むことにより、論理的思考力と精神的耐久力を養う。

履修上の留意点

全授業数の3分の1以上欠席した学生には原則的に単位を認定しない。遅刻や欠席をせず意欲をもって授業に参加する姿勢を求める。なお、欠席と遅刻の回数についての問い合わせには一切応じない。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、授業内提出物、宿題、前期後期試験を総合して評価する。

教 科 書

安西徹雄『英文読解術』（ちくま新書）680円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	山 口 晃 <small>やま ぐち あきら</small>	経 A 2 年	2

講義のねらい

英文をしっかり読み、深く理解する。

講義の内容・授業スケジュール

環境、生活に関する教材を使いながら、日本語と英語の相違に気づくようになってもらう。

履修上の留意点

辞書は毎回必ず持ってきてもらう。遅刻のないように。

成績評価の方法

前期、後期のテスト。他にレポートの提出。それに平常点を加えて、評価。

教 科 書

授業中にプリントを配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	小山太一	経A2年	2

講義のねらい

現代社会における問題を討論するディスカッション形式の英語を題材に、英語における理解力・表現力の基礎を身につけることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、1トピックについて問題を解き、教科書に掲載されているディスカッションを演じてもらいます。

履修上の留意点

全回数の3分の2以上の出席、および予習は必須です。授業にはテキストと辞書を持参してください。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、期末試験の結果と合わせて総合的に評価します。

教科書

『*Writing: For and Against*』（マクミラン・ランゲージハウス）1,554円（税抜き）
ISBN4-89585-068-4

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	渡部孝治	経A2年	2

講義のねらい

英語の運用能力の向上を目指す。読解、作文を中心に行うが、リスニングにも力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュールについては開講時に指示する。

履修上の留意点

会話にも活かせる基本的な表現を学び、さらに応用表現も学ぶ。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行います。

教科書

テキストについては、開講時に指示する。

参考書等

参考書についても開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	市川仁	経A2年	2

講義のねらい

英語IBを基礎にして、さらに英文の内容を正確に把握する力を養うことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

演習科目ですので、予習を前提として授業を行ないます。必ず予習をした上で出席してください。

成績評価の方法

成績評価は、年間授業回数の3分の2以上の出席を条件とした上で、授業中の発表、試験などを総合して行ないます。

教科書

テリー・オブライエン他著『イギリスを探る』（南雲堂）1,890円
ISBN4-523-17452-0 C0082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	児林英子 <small>こばやし ひでこ</small>	経A 2年	2

講義のねらい

英語のための英語を学習するだけでなく、英語を通して幅広い知識、例えば英語が話される国々の生活、歴史、文化、地理などを学べるよう心がけます。
 そのためには、やはり正しく英語を学ぶ必要がありますから、もう一度初心にかえって発音記号、筆記体等細い点に注意して新学期をはじめます。

成績評価の方法

各学期二度のテストと出席率、授業態度等総合して行います。
 各学期共、三分の二以上出席することが必要です。勿論、下調べをした上で。

教科書

最初の授業の時伝えます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	井出功一 <small>いで こういち</small>	経A 2年	2

講義のねらい

テキストは、私たちの身のまわりの経済生活の知恵を、平易な英語で綴った『くらしの経済学』である。「お金の役割」、「収入と支出」、「国の経済は誰が動かすか」など私たちのくらしがテーマになっている。

講義の内容・授業スケジュール

経済学は私たちの日常生活そのものなので、そこに出てくる英文を十分聞いたり、読んだりして、英語を正しく捉える力を養う。内容は、「国の経済は家の経済と同じ」、「お金とは何か」など。

履修上の留意点

全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要。

成績評価の方法

前後期テスト、平常テスト、レポート、出席による総合評価。

教科書

George Soule 『*Economics for Living* (くらしの経済学)』(南雲堂) 1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	うえむら けいこ 植村恵子	経A2年	2

講義のねらい	新聞・放送の英語ニュースの基本用語と語学的特質を知った上で、政治・経済・外交・軍事・環境保護からスポーツに至るまで多方面の英語ニュースを読んでいきたい。これにより新聞英語ニュースや放送英語ニュースの内容が理解できるようになることを最終目標とした。 (そのためにも今、日本や世界で何が起きているのか、新聞・ニュースをよく読み、聞いてほしい。)
講義の内容・授業スケジュール	使用するテキストは各課6ページから成り、まずは関連記事類出用語を学び、次に2ページに渡るNewsを読んで内容を把握し、そしてExercises 1の問題を解きながら読み、最後にExercises 2でディクテーション(聞いて書き取る)を行なう、という作業を前期・後期を通じて進めていきたい。
履修上の留意点	授業には必ず予習をして臨み、テキストを忘れた場合はコピーを準備しておくこと。
成績評価の方法	出席状況(実授業回数の少なくとも2/3以上の出席が原則)、平常点(授業態度、予習や発表の内容、復習の意味での授業後の小テスト)及び前期・後期試験による。
教科書	藤井・内野『時事英語の総合演習—2004年度版—』(朝日出版社) 1,500円 ISBN4-255-15393-0
参考書等	『リーガーズ英和辞典』(研究社) 7,600円 『現代用語の基礎知識』(自由国民社) 2,450円 『イミダス』(集英社) 2,500円 『知恵蔵』(朝日新聞社) 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	てじま けいこ 手島敬子	商2年	2

講義のねらい	本科目は「英文読解力向上」をテーマに、できる限り多くの英文を読むことで英文になれ、読解力および読解速度を引き上げることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	なるべく辞書に頼らず短時間に効率良くテキストを読む練習、さらに一定の時間内にテキストの趣旨・要点を正確にとらえる練習を行っていきます。
履修上の留意点	英和辞典を必ず持参。
成績評価の方法	中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的にを行います。
教科書	『People Are Funny—思わず笑えるお国気質のまるかじり—』 (マクミラン ランゲージハウス) 1,800円 ISBN4-89585-406-X

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	佐藤孝一	商2年	2

講義のねらい

授業では、基本的に英文を正しく読めて、正しく理解できたかをチェックしていきます。授業中に英語を学習していくのは困難であると思います。予習・復習を通して段々に英語力を高めていく意欲や動機付けを自覚し、実行してもらいたいを思っています。

講義の内容・授業スケジュール

テキストはアメリカの文化や社会など多種多様な内容を学んでいきます。異文化理解に関してアメリカの文化が学生に身近に感じられると思っています。全体で100章ありますので、毎時間5章を消化するのをノルマにします。発表者は事前に内容をテープに吹き込んでください。希望者には、テキストのテープをコピーします。授業以外でも自主的にテープを用いた学習を強く望みます。リーディングの他に、リスニング能力の向上を計りTOEIC教材を用いる予定です。毎時間5人の人に発表をしてもらいますが、事前に割り振りします。

成績評価の方法

基本的に前期・後期の試験と発表点、レポート等で総合的に評価します。出席点はありません。

教科書

- (1) M.ドライバー著 *It's as American as hot dogs, apple pie, and Chevrolet (World Communication)* 1,700円
- (2) TOEIC テキストに関しては未定。授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	小布施圭佐三	商2年	2

講義のねらい

この授業の目的は、パラグラフ・リーディング、リスニング、及び表現力を養成することにあります。教科書の題材は、英国の歴史が中心になっています。魅力ある内容になっているので興味をもって飽きずに読めるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

- 《前期》
Chapter 1(The Celts)～Chapter10(Elizabethan England)
- 《後期》
Chapter11(Shakespeare)～Chapter20(Margaret Thatcher)

履修上の留意点

授業形態は演習形式で行います。

成績評価の方法

出席点/授業の貢献度/レポート/定期試験(前・後期)などを加味して総合評価します。

教科書

和久豊/ Bill Benfield, *Britain: Historical Tales* (三修社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	高柳文江 <small>たかやなぎふみえ</small>	商2年	2

講義のねらい

英文の逐一の翻訳ではなく、英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

世界の中で現在生じている様々な問題について書かれた簡潔な文章を基にまずその Listening と Comprehension を行います。その後、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題を行い、更なる理解を深めます。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には2/3以上の出席が要求されます。座席指定。

成績評価の方法

試験（前期試験・後期試験）60%、日常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み方等）40%

教科書

『World Today—文化の諸相』（鳳書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	岩原康夫 <small>いわはらやすお</small>	商2年	2

講義のねらい

アメリカの歴史を英語で学びながら、国際的な視野を醸成し、英語特有の論理と表現に注意を払った読解力の養成を目標としたい。

講義の内容・授業スケジュール

クラスは基本的にテキストに沿って読み進む。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。

教科書

Eric Homberger. *The United States: an Illustrated History* (英宝社) 1,900円
ISBN4-269-12078-9

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	本間俊一 <small>ほんまとしかず</small>	商2年	2

講義の内容・授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常的な生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

『ライフスタイルとニュービジネス』（成美堂）1,600円

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度。I A の振り替え選択科目です。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ウェルズ, J. K.	経A・商1年	2

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I !!

Come to my class and learn to speak English by question and answer in pairwork. Learn proper pronunciation and challenge yourself. The 1st semester will be question and answer, while the 2nd semester will be role playing activities.

成績評価の方法

However, attendance is very important ! Small tests and quizzes will also be given. LET'S HAVE FUN

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ソルタ, P. N. F.	経A・商1年	2

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. The course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・授業スケジュール

A textbook with 15 units and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where the instructor will speak only English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will be given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used.

教 科 書

Communicate: book 1a / David Paul / Macmillan Language House, ¥1,230
ISBN0-435-26119-3

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	ジトウィッツ, P. D.	経A・商1年	2

講義のねらい

To help students English in a variety of social use and business situations. To increase students' working vocabulary and to improve pronunciation.

講義の内容・授業スケジュール

Students will intensively practice English through intensive pair work and assigned dialogues.

成績評価の方法

Students are expected to attend at least 80% of all classes and to positively participate in classes.

教科書

Teamwork by Richard Carrington, Macmillan Language House, 1994.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	ピアス, D. M.	経A・商1年	2

講義のねらい

Please join this class together with your friends! During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL®, EIKEN, and TOEIC®. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade is how good your employment will be after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for employment; you will be able to get better employment if you improve your English this year. You are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing the piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A" because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	プラスキー, J. C.	経A・商1年	2

- 講義のねらい

The goal of this course is for students to begin to express themselves at a basic level of proficiency about themselves and other topics about which they are familiar.
- 講義の内容・授業スケジュール

This class will primarily consist of student discussions. Topics will focus on the students, school, family and friends. These activities will be supplemented with grammar, pronunciation, intonation, stress and rhythm exercises as well as listening practice.
- 履修上の留意点

Students will be required to complete homework assignments before each class.
- 成績評価の方法

Students will be evaluated on the basis of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%) given during the last class meeting.
- 教科書

None.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	ラージ, R.	経A・商1年	2

- 講義のねらい

The goal of this class is to give students simple fluency and confidence in English conversation by developing listening skills, asking questions and communicating information about themselves, their families, interests, homes and neighborhoods. Special attention is given to pronunciation. Students are given basic exposure to the differences in English spoken in the U.S. and U.K.
- 講義の内容・授業スケジュール

Vocabulary building and conversations in Present Simple and Present Continuous tense (some introductory use of future and past tense) about the following subjects: Personal information and meeting people; home and classroom objects, places around town and everyday activities; nationalities, professions and describing people and things; describing the weather; talking about family members, activities and events; asking directions, describing locations, describing and asking questions about neighborhoods and apartments; clothes, colors, going shopping; likes and dislikes, feelings; numbers; speaking about days of the week, months, years.

The class meets once a week for 90 minutes. After roll call, students follow modeled exercises in the text. Additional vocabulary is introduced and practiced. Once the model is established, pair-work, group-work and conversations around and beyond the model are practiced. To enhance listening skills "conversations on tape" are played. Students listen to and answer relevant questions. Homework consists of memorizing the new vocabulary and models, and completing grammar exercises in the Workbook. Extra materials including vocabulary, grammar exercises and conversation games are used in addition to the text.
- 履修上の留意点

Students must be punctual. They must bring their Textbooks and Workbooks for every class. They should be ready for unannounced quizzes and tests.
- 成績評価の方法

There is no final exam. Students will be marked for (i) Speeches (on predetermined topics) and answering questions on the speech (ii) 3 or 4 written tests over the year (iii) effort and class participation (hard work and improvement over the year). Students absent for more than 2/3 of the year will fail the course.
- 教科書

I) *Side by Side* (Third Edition) Book 2 *Student's book* by Steven J. Molinsky & Bill Bliss. Published by Pearson Longman. ISBN # 0-13-183935-7
 II) *Side by Side* (Third Edition) Book 2 *Activity Workbook* by Steven J. Molinsky & Bill Bliss. Published by Pearson Longman. ISBN # 0-13-026750-3

科目名	担当者名	配当学科	単位
英 会 話 I	レイン, R.V.	経A・商1年	2

講義のねらい

This course will help the student to : 1) use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2) improve their presentation-skills.

講義の内容・
授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities (done in pairs) to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving presentations in both small groups and in front of the class. Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home.

履修上の留意点

Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes (approximately eight times), the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will be given a grade for both group and class presentations.

教科書

Steven Molinsky and Bill Bliss, *Side by Side, 3rd Edition, LEVEL 3* (Pearson Education) 2001

英 語 L L I

〈英語 LL I の授業内容と履修上の留意点〉

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階PC教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度を達成目標とする初級レベルです。I Aの振り替え選択科目なので、各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	か い かつ こ 甲 斐 捷 子	経A・商1年	2

講義の内容・授業スケジュール

テキストは日本人の留学生がアメリカの家庭、教育現場を通して、アメリカ社会に馴染んでゆく過程を写したビデオ教材です。様々な意思伝達の現場をビデオで見ながら、コミュニケーションのための英語運用能力を高めることを目的とします。徹底的に「聞き」、「話す」、授業の中で、基本的な発音の矯正も身につくまで、しっかり行います。「旅行編」、「留学編」、全20課を前後期で終了する予定です。

履修上の留意点

授業としては週一回ですが、演習科目の成否は学習量で決まりますから、少なくとも週2回はLL自習室で復習して下さい。また一單元終了時には小テストを行います。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が三分の一を超えた場合、および前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教 科 書

Viva! San Francisco (マクミラン・ランゲージハウス) 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	か どう まわ こ 加 藤 佐和子	経A・商1年	2

講義のねらい

発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEIC®スコア500を目標にする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストを1Lesson進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。TOEIC®受験のための学習も行う。

履修上の留意点

各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。

成績評価の方法

毎回の小テスト・授業参加度50%
まとめテスト50%

教 科 書

『English20』（英進社）
『10分間 TOEIC リスニング演習』（桐原書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	久保 ひさ子	経A・商1年	2

講義のねらい

海外旅行の場面別に、一回で通じる短い英会話文を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

旅行英会話の短文を、ラボを使用して、聞き取り、書き取り、反復練習、録音、再生する。応用できるようにするため、さらに暗記する。小テストあり。

履修上の留意点

LL 授業は、ラボを用いた実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習点と小テスト合計点

教科書

マイケル・ブラウン『旅行でしゃべる英会話』(南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	中林 正身	経A・商1年	2

講義のねらい

英語の発音、アクセント、イントネーション等の理解と習得。ぼくたちが母語である日本語を習得してきたのと同じように、このクラスでは音声技能(リスニングとスピーキング)の習得に眼目を置く。英語の母音や子音の正しい発音を身につけて、英語の基本的な音を正しく発音できるようになり、また正しく聞き分けることができるようになってもらうことがこのクラスの第一のねらいである。第二のねらいは、多量の英語を聞き取り、リスニング能力を増強させることである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、英語の特徴を掴みながら、とくにフレーズ、文章などのリスニングを重点的にやってもらう。この作業のなかで学生諸君他人には、日本語のアクセントはピッチ・アクセントであるのに対して、英語のアクセントはストレス・アクセントであるとか、日本語が各音節をほぼ等しい時間で発音することによってリズムをつくる言語であるのに対して、英語はほぼ等しい間隔でストレスを置くことによってリズムをつくる言語であるというようなことを実体験とおして知ってもらう。後期には、とにかく多種多様の英語をドンドン聞いて、英語の音に慣れてもらう。

履修上の留意点

上述したような能力をつけるためには、週に一回の授業では当然不十分である。従って諸君には何らかの課題を毎週課し、翌週の授業までの一週間に家などでその課題のためにそれ相応の時間を割いてもらうことになることを覚悟してもらいたい。そして、その結果を確認するためのテストを毎週行なうつもりである。授業時間外での復習は必須である。

成績評価の方法

出席状況と授業への参加態度と毎回の確認テストを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指示する。

参考書等

最初の授業時に指示する。

その他

家庭やLL 自習室を利用したの予習復習は、毎週課せられることを認識して履修してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 L L I	にしむら ゆうこ 西村 祐子	経A・商1年	2

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は日本語でおこなうが、すべて英語での授業となる LLII に進むための橋渡しとして、後期にはペアワークが多く取り入れられ、毎回かなりの量の英語を実際に話すことをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：英語のビデオを見、ストーリーのまとめ方を学習。基本的な会話表現を学ぶ。
9-12月：ペアワークを多く取り入れ、ビデオの中で行われる会話を再現しながらスキットを独自につくっていく訓練をする。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点（出席率、発表など）重視。

教科書

教場で指定。

参考書等

教場で指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 L L I	はなわ みちこ 埴 美智子	経A・商1年	2

講義のねらい

LL教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。

履修上の留意点

表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。

成績評価の方法

日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『Talk of the Town—Adaptive language skills— 生きた英語から学ぶ会話ストラテジー』（マクミラン・ランゲージハウス）1,600円

参考書等

その都度黒板に板書し、案内する。

その他

いろいろなテーマが出てくるので、英語文化についても知識を増やしていく努力をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	ヘラー, P.S.	経A・商1年	2

講義のねらい

発音を改善し会話が出来る様にしていく。

講義の内容・
授業スケジュール

教材を使いリスニング練習、口頭練習を通し、発音、イントネーション、リズム、ストレスを改善していく。

履修上の留意点

教室内では英語で話すこと。宿題をしてくること。

成績評価の方法

出席率、宿題、リスニングテスト、スピーキングテスト、授業に参加しているかどうかを総合して評価。

教 科 書

IMPACT LISTENING 1 ISBN962-00-5133-5
CLEAR SPEECH FROM THE START ISBN0-521-63737-6

【ドイツ語】

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	<small>かわ かつ ひと</small> 河上 和史	経A・商1年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

近代化の歩み、敗戦とその後の経済的繁栄など、ドイツは日本と多くの共通点を持つ国です。しかしその一方、ドイツは日本と対照的な面も多く持っています。今、我々と我々の国が直面している様々な問題を考えようとするとき、「ドイツ」はいろいろなヒントを与えてくれるはずです。知っているようで意外に知らない「ドイツ」、そして「ヨーロッパ」とあらためて出会うために、これから一年間「もう一つの外国語」を学びます。授業は単に「文法」の習得だけでなく、「話す」練習にかなり時間を使い、またビデオなどによって多角的で楽しいものにするつもりです。

成績評価の方法

授業と試験を総合して判断する。

教科書

「独和辞典」は必ず必要ですが、最初の授業でいくつか紹介しますので、あわてて買う必要はありません。教科書は「プリント」を使います。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	<small>しば の ひろ こ</small> 柴野 博子	経A・商1年	2

講義のねらい

ドイツ語を学びながら、できるだけドイツの文化にも触れるような授業にしたいと思っています。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。できるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

小塩 節『ドイツ ころの旅』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 II A	<small>もも ずみ いさむ</small> 百済 勇	経A2年	2

講義のねらい

自分が客員研究員をしている「ベルリン・ドイツ経済研究所」(DIW)のドイツ人大學院生は勿論のこと、フランス、ロシアなどの学生・院生は、明白な問題意識をもって勉強をしていると同時に、それに必要な外国語学修得が前提となっていることだ。そうした学習方法を学ぶ必要がある。

講義の内容・ 授業スケジュール

諸君が、ヨーロッパの人文科学、社会科学を履修対象とする場合には、ヨーロッパで一番語られているドイツ語が必要だ。その修得には、まず徹底して声をだして読むことだ。毎時間、一人一人数回当ての口答対話を行う。

履修上の留意点

ドイツ人が英国訪問をした際の「ドイツ人の為の英語会話」をテキストを使うので、毎回の授業出席が前提になる。そしてこうした学習方法は、結果として英会話も力がつくだろう。

成績評価の方法

これらを総合して年度末の成績として評価する。前期、後期の定期試験は行わない。時にはドイツの新聞の文化・政治・経済・記事などのコピーも使用する。熱心な学生の受講を希望する。

教科書

日本で作成した教科書は使わず、その都度、既に指摘したプリントを配布する。その際に初年度で使用したドイツ辞書、ドイツ語教科書を持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA	柴野博子	商2年	2

- 講義の内容・授業スケジュール** この授業は、初級文法で習った事柄を復習しながら、ある程度まとまった、やさしい文章を読んでゆきます。また、時々ビデオを使って、バイエルンの美しい町と芸術を紹介します。
- 履修上の留意点** ドイツ語の勉強には、一步一步つみ重ねてゆくことが非常に大切です。できるだけ休まずに出席して下さい。
- 成績評価の方法** 試験は年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。
- 教科書** 黒崎 勇『バイエルンの町と芸術』（朝日出版社）1,942円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	飯塚公夫	経A2年	2

- 講義のねらい** 一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。
- 講義の内容・授業スケジュール** 最初は一年の文法の復習と未修部分の文法説明及び練習問題。さらにそれらに関わる簡単な文章の読解。その後はこちらの用意したプリント（おそらく短編の物語）を読む。
- 履修上の留意点** 辞書を毎回持ってくる（完全に予習をしている人は持ってこなくてもよろしい）。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。
- 成績評価の方法** 前期後期各一回の筆記試験及び平常点（＝発表点）
- 教科書** 木村クリスタ他著『初級総仕上げ 2度目のドイツ語』（白水社 2,000円）

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	織田繁美	商2年	2

- 講義のねらい** ドイツ語の基礎文法が履修されていることが望ましい。日常生活の様々な場面に遭遇した場合を扱った会話や記事、それに必要な常識的な知識をカセットやプリントを教材として勉強する。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期は比較的やさしい文を取り上げ、カセットで美しいドイツ語を聞くことに心掛け、日常の様々な状況をどんな風に表現しているかを感じ取るようにする。後期は会話を通じて日常の更に広い分野に切り込んでいくと同時に、文章を読み取る訓練もしていく。
- 履修上の留意点** 平常点を重視するため、やむを得ない事情でもない限り、授業を休まない、遅刻をしないこと。辞書を必ず持参すること。
- 教科書** プリントを使用する

〔フランス語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A	<small>くわ</small> 桑 <small>た</small> 田 <small>のり</small> 禮 <small>あき</small> 彰	経A・商1年	2

講義のねらい

フランス語の基礎の習得。

講義の内容・ 授業スケジュール

まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教 科 書

『ゼフィール——フランス語文法の基礎』（早美出版社）2,000円

参 考 書 等

そのつど授業で指示します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B	<small>すが</small> 菅 <small>わら</small> 原 <small>たけし</small> 猛	経A・商1年	2

講義のねらい

英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・ 授業スケジュール

IAを補完するかたちで授業を進め、1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点

教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法

平常の授業、平常試験と学年末試験をプラスし、総合的な評価を出す。

教 科 書

天羽均・佐々木康之他著『初級フランス語文法』（朝日出版社）2,200円
ISBN4-255-35161-9 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	小玉 齊夫 <small>こだま なり かつ</small>	経A2年	2

講義のねらい

中級程度のフランス語で書かれた、フランス語の新聞記事を、読んでいきます。自分自身の、日本あるいはフランス文化に対する思いを確定していく、そのきっかけになれば、という意図で、授業をすすめていくつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

初めは、文法的な事項の再確認を重視して、ゆっくりと読んでいきますが、後期からは、フランス語長文読解・把握の練習として、いささか速度を早めた読み方も試みてみます。可能であれば、フランス語の作文も、宿題として、書いてもらいます。

履修上の留意点

仏和辞典を駆使して、フランス語としての言葉のつながり方を理解するつもりで、授業に出ること。生活に必要な単語を、フランス語として、覚えること。特別の事情がないかぎり、毎回、授業に出ること。

成績評価の方法

宿題などの提出状態、前期・後期の試験によって、総合的に評価します。

教科書

滝川 等著 『やさしく読めるフランス語新聞 (2004年度版)』 (第三書房) 1,700円
ISBN4-8086-2674-8 C1085

参考書等

『現代和仏小辞典』 (白水社) が、フランス語の単語を使えるようになるためには、便利です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	前田 祝一 <small>まえだ のり かつ</small>	経A2年	2

講義のねらい

レベルを中級フランス語に設定します。したがって、一年生で学んだフランス語の後半部分を学習し直し、さらに豊かなフランス語の世界への参入を試みます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って進め、細かいニュアンスの把握にも挑戦しましょう。

履修上の留意点

初級フランス語ⅠA・ⅠBの単位の未修者は、自分で参考書などで勉強する覚悟でいて下さい。

成績評価の方法

基本的には前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、授業中の課題や出席の状況にも配慮します。

教科書

ジャン・ド・ブリュノフ作、安東次男編『仔象のババール』 (第三書房) 1,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA	遠山博雄 <small>とお やま ひろお</small>	商2年	2

講義のねらい

辞書を使ってやさしいフランス語の文章を読み、発音すること。あわせて口語的な表現を覚えること。

講義の内容・授業スケジュール

1年次でやり残した文法事項の説明をまずすませ、その他の文法事項は復習したり、追加しながら、辞書を片手に熟読していきます。後期は短い読み物に挑戦します。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席すること。

成績評価の方法

2回の筆記試験を行いません。リスニングも含まれます。

教科書

浜名エレヌ著『ア・ラ・カルト』（駿河台出版社）2,625円
ISBN4-411-01336-3 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡB	菅谷 暁 <small>すが や さとる</small>	経A2年	2

講義のねらい

教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。フランス語を読む力を養うとともに、フランス文化についての理解を深めます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験によります。

教科書

ボームルー著『セレクション・時事フランス語』（朝日出版社）1,800円

その他

毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正確に発音し、訳せるようにしておいてください。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡB	畑中千晶 <small>はた なか ちあき</small>	商2年	2

講義のねらい

リスニング力を強化しながら、フランス語でコミュニケーションする能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。

履修上の留意点

自宅学習とクラスでの活動を連動させることで、力が伸びていきます。宿題には必ず取り組むようにしてください。

成績評価の方法

前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題、小テストなど）20%、夏期休暇の課題10%、出席10%

教科書

中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門』（白水社）1,800円

中国語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・句型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA-ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA-ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るといったことは絶対に不可能である。

中国語ⅡA

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1~2篇の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・句型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならばほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA-ⅠBに準ずる。

【辞書について】

- ・松岡榮志ほか『クラウン中日辞典』（三省堂） 4,000円
- ・上野恵司『基礎中国語辞典』（NHK出版） 3,500円
- ・武信 彰『プログレッシブ中国語辞典』（小学館） 3,500円
- ・相原 茂『講談社中日辞典〔第2版〕』（講談社） 6,500円

ここに挙げた以外にも、同規模あるいはさらに小型の、また中日・日中を1冊で間に合わせるような辞書が幾つか出版されているが、内容が粗雑であったり、古かったり、学習に必要な配慮を欠いていたりで、薦められない。なお、日中辞典は必携ではないが、以下のものが手元があれば重宝するであろう。

- ・北京・对外経済貿易大学『日中辞典〔第2版〕』（小学館） 7,000円 2002年
- ・倉石武四郎、折敷瀬興『岩波 日中辞典〔第2版〕』（岩波書店） 5,000円 2001年

○3年次以降も継続して学習する場合は、以下のうち、実際に手に取ってみて気に入ったものを選ぶとよい。かなり値が張るものが多いが、じっくりと親しみ使い込むほどに、大枚を叩いた以上の恩恵が身にしみるのもこれらの書である。

- ・相原 茂『講談社中日辞典〔第2版〕』（講談社） 6,500円
- ・伊地智善継『白水社中国語辞典』（白水社） 7,800円
- ・商務印書館・小学館『中日辞典』（小学館） 6,800円
- ・愛知大学『中日辞典〔増訂第2版〕』（大修館書店） 8,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	宮本厚子 <small>みやもとあつこ</small>	経A・商1年	2
中国語 I B	三田村圭子 <small>みたむらけいこ</small>		

履修上の留意点 必ず予習をし単語等を調べてから授業に臨むこと。

成績評価の方法 年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点（小テストを含む）で評価する。

教科書 『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

その他 詳細は開講時に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	村松哲文 <small>むらまつてつぶん</small>	経A・商1年	2
中国語 I B	陳洲挙 <small>ちんしゅうきょ</small>		

講義のねらい 中国語で簡単な日常会話ができ、平易な文章が読めるようになることを目標に、基本的な短文の暗記と徹底した発音訓練をする。

講義の内容・授業スケジュール はじめは発音をマスターするために、中国語の発音表記(ピンイン)を反復練習し、その後、文法事項を確認しながら多くの文章を読みこなしてゆく。

履修上の留意点 授業は真剣勝負の時間である。特に語学は積み重ねが大切なので、真摯な態度で授業に臨むこと。

成績評価の方法 前期・後期の試験、授業中の小テスト、出席率などを総合評価する。

教科書 陳洲挙・劉光赤・水野麗子編著『耳留学中国語』（陸美出版）2,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I A	岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>	経A・商1年	2
中 国 語 I B	岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>		

外国語

講義のねらい

中国語という言語を体験してもらうことが目標です。とりわけ発音が重要ですから、繰り返し練習します。

講義の内容・授業スケジュール

ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、クラブ活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

授業態度及び試験で判断します。

教科書

遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』(朝日出版社) 2,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I A	松本 俊 <small>まつもと としゆ</small>	経A・商1年	2
中 国 語 I B	松本 俊 <small>まつもと としゆ</small>		

講義のねらい

発音篇でしっかり発音を身につける。本篇に入れば、会話で話す力を学習出来る様にする。毎課に表現のポイントは文法の基礎になる例文を憶えて、最終的に「書く」・「聞く」の力を修得することがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

日本人が中国人の家庭を訪問する設定で、挨拶から始まり、子供とのやり取り、バスでの北海公園見物、食卓での会話等、登場人物に親しみながら発音を学び、文法構造を飲み込める様な授業である。

履修上の留意点

ストーリーのある会話の連続であるため、毎時限しっかり憶えて、休まず頑張る事。

成績評価の方法

前期と後期にテスト、その結果を重点とし、授業中の発音と練習及び出席点を加味する。

教科書

植田渥雄『八木さんの中国家庭訪問』(金星堂) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 II A	釜屋 修 <small>かまや おさむ</small>	経A 2年	2

講義のねらい

中国語Iで身につけた力をさらに発展向上させ、基礎能力をいっそう固める。またIの復習の場とする。

講義の内容・授業スケジュール

週一回、会話文と閲読文を交互に学んでいくが、一人ひとり朗読、翻訳を担当する。

履修上の留意点

出席し積極的、自主的に授業に参加すること。予習、課題の提出を義務づける。

成績評価の方法

出席状況、授業への参加態度、平常点、期末テスト等を総合的に評価して判断する。

教科書

小川郁夫『中国を知るための中国語中級テキスト』(白帝社) 1,700円

参考書等

開講時に指示する。辞書を必要とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>	経A・商2年	2

- 講義のねらい** 中国語の文章を読むための文法知識の獲得及び語彙量を増やすことが目標です。
- 講義の内容・授業スケジュール** 授業は、始めに本文を各自訳してもらった後、解説をするという形になります。単語のプリントを配布しますが、まず自分で訳さなければなりません。その際、疑問点は自由に質問して構いません。
- 履修上の留意点** 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、クラブ活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。
- 成績評価の方法** 試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。
- 教科書** 原田松三郎『エペンディのとんち話』(金星堂) 1,850円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	李 雲 <small>り うん</small>	経A2年	2

- 講義のねらい** 講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。
- 講義の内容・授業スケジュール** 下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進捗で授業を進めていく。
- 履修上の留意点** 授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。
- 成績評価の方法** 出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。
- 教科書** 武信彰等『教養初級中国語』(郁文堂) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	松本 丁俊 <small>まつもと あつとし</small>	経A2年	2

- 講義の内容・授業スケジュール** 中国の故事や民話、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、優しい文章から順に学習。長文学習は、単に読解力の向上にとどまらず、中国人の生活、風俗習慣、ものの見方、考え方なども垣間みることが出来る。巻末に練習があり、短文を作る様に工夫されている。
- 成績評価の方法** 前期と後期のテストを重点とし、普段の授業中に、あてられた訳が出来ているか、練習をしているか、さらに出席状況も加味して、総合的に採点する。
- 教科書** 陳榮生・頼石傳・蔡柱国『現代中文読本』(神保出版) 1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	まつもとあつとし 松本 丁俊	商2年	2

講義のねらい

初級中国語から一段あげた中級中国語のレベルに到達する事。

講義の内容・授業スケジュール

単なる中国紹介ではなく、1人の女性の体験を通して中国にふれる。

1. 「重点」には、対話形式の例文
2. 「比較」には、類義語、類義表現
3. 「詞句」には、常用される多義語、関連表現
4. 「練習」には、ピンインの漢字変換、穴埋め、並べ替え、作文

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、通常授業中に発音のチェック、練習などと小テスト、さらに出席点を加味する。

教科書

荒川清秀・周閔『中国見たり聞いたり15章』(光生館) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	ふくちけいこ 福地 桂子	商2年	2

講義のねらい

自分で辞書をひいて、簡単な文章が読めることを目指す。
文法は中国語Ⅰで学んだ基礎を定着させ、さらに接続詞を使った複文表現を学ぶ。
中国語Ⅰに引き続き、正確な発音の練習に力を入れる。
中国の社会文化に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

中国の最新事情を紹介した文章を読む。
文法事項を体系的に把握する。
下記の教科書を用い、だいたい3週間に2課の進捗で進めていく。

履修上の留意点

必ず予習してくる事。授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

期末テスト(前後期各1回)、小テスト、授業での発表内容(予習してあるかどうかを重視)を総合して評価する。

教科書

王曙光『中文大世界』(白帝社) 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	ひろかねかなこ 弘 兼 加奈子	商2年	2

講義の内容・授業スケジュール

めざましい発展をとげている現在の中国を「住宅の話」「結婚の話」等の十二の項目に分けて授業を行なう。
翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

三瀧正道・楊光俊 新訂版『現代中国 走馬看花』(朝日出版社) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>	経A2年	2

講義のねらい

中国語の音声に慣れることが目標です。また、そのための道具としてピンインを使えるよう練習します。

講義の内容・授業スケジュール

ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、クラブ活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

授業態度及び試験で判断します。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語2』(朝日出版社) 2,700円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	平石 淑子 <small>ひら いし よしこ</small>	経A2年	2

講義のねらい

初級で習得した事柄を実際にコミュニケーションの手段として活用できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

中国語の正しい発音の習得に力を入れ、あわせて中国語の表現方法(語順)を学ぶ。一週間に一課進むことを目標とし、随時小テストなどを実施する。

履修上の留意点

①四分の三以上の出席を求める。②必ず予習をしてくること。③指定された宿題は必ずやってくること。

成績評価の方法

平常点(小テストを含む)、及び期末試験による。

教科書

塚本慶一監修 劉穎著『2年生のコミュニケーション中国語』(白水社) 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	弘兼 加奈子 <small>ひろ かね かなこ</small>	経A2年	2

講義の内容・授業スケジュール

一年次で学んだことを定着させ、さらに発展させることを目標とする。課文は比較的長い会話体の本文、文法、練習から構成されている。実践的な中国語を学んでほしい。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

荒川清秀『美香 in China』(同学社) 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡB	根 岸 政 子 <small>ね ぎし まさ こ</small>	商2年	2

講義のねらい

1年次に習得した基本文法を復習しながら、身近な会話をもとにして「読む」「聞く」「話す」を中心とした中国語の習得をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

会話を中心としたテキストを使用し、3回で2課のペースで進めていく。

履修上の留意点

平常の反復練習が上達への鍵であるから、大きな声を出して何回も読むこと。必ず予習を行うこと。

成績評価の方法

前期後期の試験、小テスト、出席状況、授業への参加度などで評価する。

教科書

陳浩・梁月軍『中国語会話…ステップアップ(改訂版)』(郁文堂)2,300円(CD付)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡB	櫻 庭 和 典 <small>さくら ば かず のり</small>	商2年	2

講義のねらい

中国語は、特に発音(四声)が明瞭でないと、意味が通じないため、一年次で学んだことを復習しながらより正しい発音(四声)の習得と、実生活で使える会話の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

発音(四声)・ピンイン表記(中国式ローマ字)の習得、中国語文の反復・応用練習・暗誦を中心に授業をおこない、さらに、各課ごとに内容について、中国語で質問し中国語で答える練習をする。

履修上の留意点

必ず予習を行うこと。
授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

平常評価(授業態度・出席日数)、小テスト、学期末テスト(前期、後期各一回)を行うが、特に平常評価に重きをおく。出席日数の足りない場合は、受験資格を失うため注意すること。欠席・遅刻は日数により減点する。

教科書

櫻庭和典・服部元彦・堀誠共著『音で学ぶ中国語』(晃洋書房)1,700円

参考書等

必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡB	松 本 丁 俊 <small>まつ ちと あつ とし</small>	商2年	2

講義の内容・授業スケジュール

中国の文化、歴史、風俗習慣、社会生活と歌等が理解できる様な内容、「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」中国語の力になる様な授業を行う。

成績評価の方法

前・後期テストを重点とし、授業中に発音、訳し方又は練習用の小テスト、さらに出席点も加味する。

教科書

平井和子・于小薇『中国語の魅力』(好文出版)2,000円

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	おぎのまさし 荻野雅司	経A・商1年	2

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようになります。

さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行いますが、総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

教科書

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』（芸林書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B	うえのかつひろ 上野勝広	経A・商1年	2

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音・文法・語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～6課まで、後期は7課～12課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。

また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

小池和良・上野勝広『太郎と学ぶスペイン語』（朝日出版社）2,100円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	おお いわ いさお 大 岩 功	経A2年	2

講義のねらい

スペイン語Iで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

寿里順平他著『スペイン語－基礎と演習－』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	ふく もと くみこ 福 本 久美子	経A2年	2

講義のねらい

接続法・命令法を中心に基礎文法を全て終える。また合わせて会話表現も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

始業時に「授業方針」のプリントを配布する。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教科書

教室にて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	真下祐一	商2年	2

講義のねらい

一年次に学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1~4) 復習 直説法現在不規則動詞・目的格人称代名詞・現在完了 (5・6) 再帰動詞 GUSTAR (7・8) 直説法点過去 (9・10) 直説法線過去 (11・12) 直説法過去完了 比較 (13) 試験
後期 (14・15) 直説法未来・未来完了 (16・17) 過去未来 関係代名詞 (18・19) 接続法現在・1 (20・21) 接続法現在・2 (22・23) 接続法過去 (24・25) 命令 (26) 試験

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書

西川 喬 『スペイン語の基礎』(第三書房)

参考書等

西和辞典を一冊、『改訂版現代スペイン語辞典』(白水社) など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	宮地達郎	経A2年	2

講義のねらい

スペイン、中南米の国語スペイン語は国連の公用語6ヶ国語の一つでもあり、米国ではヒスパニックの人口比率が黒人を抜き最大となっている。米国におけるスペイン語の必要性は現在でも大きく、さらに増大することは必至である。従って、国際社会におけるスペイン語の重要性を認識させ興味を持続させることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

文法中心の前年度の簡単な復習を行い、日常生活に関連したいろいろなケースでの会話を履修することを目的とする。ケースの内容は例えば、自己紹介、デパートでの買い物、交通機関で、病気のとき、旅行、レストランで、郵便局でなどである。

履修上の留意点

使用する教科書以外に必ず前年に使用した教科書を持参すること。文法復習に必要。

成績評価の方法

出席率、授業中の態度、テストの3点を総合して評価する。

教科書

財団法人海外技術者研修協会編集『新日本語の基礎Ⅰ分冊スペイン語訳』(スリーエーネットワーク)

参考書等

推薦辞書：『現代スペイン語辞典(西和および和西)』(白水社)
『スペイン語ミニ辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	福本久美子 <small>ふくもとくみこ</small>	商2年	2

外国語

講義のねらい

接続法・命令法を中心に基礎文法を全て終える。また合わせて会話表現も学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

始業時に「授業方針」のプリントを配布する。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教科書

教室にて指示する。

ロシア語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

II A・II B：一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞、などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A	クロチコフ, Y.	経A・商1年	2
ロシア語 I B	木村英明		

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

講義の内容・授業スケジュール

2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。前期は、イントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 II A	杉山秀子	経A 2年	2
	木村英明	商 2年	

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

1年次に使用した教科書と文法表。

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 II B	木 村 英 明 <small>きむらのひであき</small>	経 A 2 年	2
	佐 野 朝 子 <small>さのあさこ</small>	商 2 年	

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。
さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- ・日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- ・やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- ・かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- ・中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教 科 書

1年で使用した教科書および1年のときに渡した文法表。

そ の 他

プリント配布。

《再履修クラス》

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	<small>にしむら ゆうこ</small> 西 村 祐 子	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

英語による電子メールの書き方を修得しながら「苦手な英語」から「使える英語」を習得することをめざす。基本的なタッチタイピングから指導し、インターネットをつかって英語で海外の各地の情報を得たり電子メールでといあわせたりしてみる。

講義の内容・授業スケジュール

前期：自己紹介の仕方、確認、問い合わせ、お礼の英文メールなど基本的な英語表現を学ぶ。
後期：より複雑な内容のメールの書き方を学ぶ。

履修上の留意点

学生への要望：大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくこと。タッチタイピング修得用にフロッピーディスクを用いるので、はじめの授業から、かならず一枚持参のこと。

成績評価の方法

成績評価：平常点重視。定期試験はおこなわない。

教 科 書

Subject: E-mail: writing effective messages (南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	<small>いわい ひろみ</small> 岩 井 洋 美	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

基礎的な文法を再確認し、英語で表現できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

テキストで語彙や文法を確認後、英作文などの問題に取り組む。

履修上の留意点

取り組み姿勢を重視するので、遅刻と欠席は評価に大きく響く。

成績評価の方法

出席と授業態度を重視。そのほか、小テストと前、後期試験で評価。

教 科 書

『会話作文のための復習英文法』(朝日出版社) 1,800円 ISBN4-255-15389-2

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	<small>はやし たかのり</small> 林 孝 憲	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

日常生活に必要な英作文(手紙なども含む)を短文から学んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを用いて授業内で作文を行なう。必要に応じてプリントも使用する。

履修上の留意点

各自の必要に応じて、高校で使用した「英文法」の教科書などを持参するとよい。

成績評価の方法

出席、発表、前後期の試験の結果で総合的に評価する。

教 科 書

『自然な日本語から自然な英語へ』(成美堂) 1,500円 ISBN4-7919-5028-3

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	まきの 輝 良	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

英文を理解するのに必要な英文の構造・語句等を年間を通じ、しっかりと学習すること。

講義の内容・
授業スケジュール

英文をよりよく理解するために英語の例文をよく読み、訳読を参考に自分で和訳し、英語と日本語の表現の違いを知ること。

成績評価の方法

授業中の課題の提出、3～5課毎の小テスト、期末テスト及び2/3以上の出席を総合して評価する。

教科書

『大学英文法 A to Z』（金星堂）1,300円 ISBN4-7647-3697-7 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	あさかわ まき 紀	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

日常生活におけるコミュニケーションに必要な基本的英語表現力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

大学で英語を学ぶために必要な最低限の文法事項を確認しながら、あらゆる場面での会話表現を学び、聞く力、話す力、書く力を伸ばし定着させていくための演習を繰り返す。

履修上の留意点

予習は毎回行うこと。辞書は必ず持参すること。遅刻した者は授業開始30分まで入室を認めるが、遅刻3回で1回欠席とする。全授業数の3分の2以上出席していない者は不合格とする。

成績評価の方法

平常点、小テスト、定期試験の総合評価。

教科書

浅川和也著『リスニングマスターコース英語で聴く世界事情』（金星堂）1,900円 ISBN4-7647-3782-5 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	さとう アヤ子	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

英語でのE-mailの書き方を学習します。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回様々な話題の通信文を練習し、大切な表現を暗記します。

履修上の留意点

毎週、前週に学んだ表現の暗誦テストをします。

成績評価の方法

毎回の暗写テスト、前期・後期の試験結果、平常点を総合的に評価します。

教科書

松居 司、Philip Hinder 著『はじめてのEメール英作文』（南雲堂） ISBN4-523-17321-4 C0082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	よし え まさ お 吉 江 正 雄	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

英文を正しく読み、発音し、その上で英文を正しく理解することを目標とする。しかし、そこには当然、構文の理解、文法的な正しい解釈も伴わなければならない。これらのことを総合的に学びながら、文明の黎明期、言語の発達段階等についても学ぶことになる。

講義の内容・授業スケジュール

一講時に進む範囲は大体決まってくるので、その範囲の読みと、解釈を中心に据え、後に文法・構文の説明を加える。小説家による美しい文章に触れ、美しい英文の書き方に繋げたい。

履修上の留意点

大体決まってくる一講時に進む範囲の予習をしてくることを望む。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均点をベースに、授業参加の積極度、発表回数等を鑑みて評価を出す。ただし、授業総数の三分之一を超える欠席のある学生の評価は出ないから注意すること。

教科書

A Short History of the World (こびあん書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	はなわ みちこ 埴 美智子	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。

履修上の留意点

辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。

成績評価の方法

日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『*Effective reading & listening—Learning About Different Cultures—* 読解・聴解のための効果的学習ブック』(松柏社) 1,800円

参考書等

その都度黒板に板書し案内する。

その他

大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える様に毎日の生活の中で英語のことばについても関心を持っているようにする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	塚本利男	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

語彙力の増強を図りながら、基本的な文法知識を復習・強化して英語の運用の能力を向上させる。

講義の内容・
授業スケジュール

各章が、読み物、文法事項の解説と英作文から構成されていますので、1回の授業で1章を読み終えるようにします。毎回、授業の最後に、予習をかねる意味で作文の問題を提出する。テキストの問題以外にも100語～200語程度で自分の考えや意見を短文にまとめて、提出してもらう事もあります。

履修上の留意点

授業の予習をして下さい。

成績評価の方法

授業における発表・小テストと前・後期の定期試験に基づく。特に、平常授業を重視しますので、全授業数の3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教科書

『エンジョイ・イングリッシュ』（朝日出版）1,700円＋税 ISBN4-255-15390-6 C1082

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	川島弘之	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

英語を楽しんでもらうことを目指す。学生が強い関心と興味を抱いているロック音楽を教材として使う。学生にもロック音楽等のリクエスト曲を出してもらう。現代の若者にとって、ロック音楽の歌詞はかつての英詩にとって代るものであり、現代詩の一翼をになっている。その歌詞の中には「生きがい」や「Love」についての深い考え方や感性がこめられているので味わってもらいたい。

ロック音楽を通して、人間の心が揺さぶられ、英語音声の感性が磨かれ、人間と社会、人間と自然、人間と人間を見る眼が深まることを望む。

履修上の留意点

他の学生の発表に関心、興味、理解を抱くよう努力することを望む。

成績評価の方法

他の学生の発表に関心をもつこと、日常の発表、レポート、前後期の定期試験等、総合的に評価します。前期のテストは英語の歌を歌うことで行うこともできる。授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

『ロックの心』（大修館書店）1,339円 ISBN4-469-24066-4
その他 DVD の映像を使用する。

参考書等

『ロックで読むアメリカ』（近代文芸社）
『ロックの意味』（草思社）
『ロック・ミュージックとアメリカ』（シンコーミュージック）
『ロック音楽と現代社会』（マクミラン・ランゲージハウス）

その他

DVD の映像を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	おのりのこ 尾上典子	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

日本と西洋の文化を比較したテキストを使用して、言語理解に必要な文化的・社会的背景知識を習得させるとともに、実践的な英語運用能力の向上をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを翻訳させながら、同時に欧米と日本の文化を正しく理解するのに役立つ様々な資料を配布し、読解・聴解・作文などの英語運用能力の向上を目標とする。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の出席率が2/3に満たない者および授業態度の著しく悪い者は落第させる。

成績評価の方法

評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験・小テストなどによって総合的に判断する。

教科書

飛岡 健・David Burleigh 共著 *Japanese and Westerners* 『日本人と欧米人』（マクミラン・ランゲージハウス）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	とのかずこ 外池一子	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

日常生活の様々な場面をテーマにした会話の聞き取りを中心にリスニング力の向上と共に、それを基にスピーキングの力をつけることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

授業はテキストに沿って進めます。

履修上の留意点

予習は当然ですが、復習をきちんとすること。各レッスンのポイントとなる表現は必ず覚えること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	たかやなぎふみえ 高柳文江	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

この授業においては、現代社会が抱えている様々な問題について書かれた簡潔な文章を基に、まずその Listening と Comprehension を行います。その後、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法を理解し、それを基に、writing, speaking 両面から文章を作る事を学びます。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には2/3以上の出席が要求されます。座席指定。

成績評価の方法

試験（前期試験・後期試験）60%、日常点（出席、提出物、授業への取り組み方等）40%

教科書

第一回の授業にて発表します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	くま ざわ かず あき 熊 沢 和 明	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

基礎的な国語英語の教材を使い、日常基本表現からダイアログに至る会話表現の理解と運用能力の向上をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に学習しながら、プリントの副教材も使用します。

履修上の留意点

ペアワークやプレゼンテーションなどの活動もします。予習が必要です。

成績評価の方法

前期・後期の試験をしますが、出席点と日常の発表点を重視します。単語小テスト、レポート課題など、様々な活動を総合評価します。

教科書

開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	いわ はら やす おお 岩 原 康 夫	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。

教科書

Cultivating Writing Skills (朝日出版) 2,000円 ISBN4-255-15280-2

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	にし はら かつ まさ 西 原 克 政	経A・商2・3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール

英語を話すときに役立つ表現力を中心にした作文の演習用のテキストを用いる。外国人が英語を学習する際に役立つと考えられている Basic English (850語で大体日常生活の必要な表現がすべてできるという考え方) を基本にしている。英語が書けるということは、英語が話せるということと直結しているため、その基礎を自分のものとして、会話に応用していただきたいと思います。

履修上の留意点

受講者には第一回目の授業で、成績評価方法も含めて説明するので、必ず出席のこと。

成績評価の方法

出席が授業回数の3分の2以上であること。日常のプレゼンテーションをその都度評価する。前期・後期試験は行わない。

教科書

『英語表現トレーニング』(北星堂書店)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	てしま けいこ 手島 敬子	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい	本科目は発音・リズム等の音声面の指導に留意しながら、標準的な英語で書かれた文章を読む力を養うことを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストは比較的平易な英語で書かれたものを使用し、短時間に効率良く、また適切に内容を読み取る練習を行っていきます。
履修上の留意点	英和辞典を必ず持参。
成績評価の方法	中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的に行います。
教科書	『Reading Culture and Comprehension (2) 基礎英文講読法 (2)』 (マクミラン ランゲージハウス) 1,800円 ISBN4-89585-451-5

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	はやし たかのり 林 孝憲	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい	現代の我々の日常生活におけるエコロジーと経済に関する中級レベルの読解を行なう。またテーマ別のリスニングも行なう。
講義の内容・授業スケジュール	読解とリスニングを平行して行なう。
履修上の留意点	単語調べ等、予習が必要。
成績評価の方法	出席、発表、前後期の試験の結果で総合的に評価する。
教科書	『エコロジーとビジネス』(南雲堂) 1,900円 ISBN4-523-17430-X 『5分間ヒアリング』(南雲堂) 700円 ISBN4-523-17151-3

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	きむら かつひこ 木村 克彦	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい	やや平易な英文を精読することにより、徐々に実際の運用面も補っていきたい。テキストには各課ごとに練習問題があるが、これらを、本文を再読せずに解ければ、最も望ましいであろう。また、適宜、「エコノミスト誌」や「フォーチュン誌」の記事も訳読してゆきたい。
成績評価の方法	基本的には、前・後期の定期試験に因るが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。
教科書	Developing Reading Skills (朝日出版社) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	武藤 久緒	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

英語学力の基礎となるのは読解力です。標準的で平明な英語を正しく理解できるよう、必要文法事項を説明しながら精読します。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
1. Too Many People? or Too Few?
 2. A Relative Problem
 3. Terrorists or Freedom Fighters?
 4. Fighting in the Name of God.
 5. Judging People the Wrong Way.
 6. The Emptiness Inside
 7. An All-American Planet
 8. The Enemy of Everybody
- 後期
9. A Big, Mean Teacher
 10. The Battle of the Sexes
 11. Trying to Cure the World
 12. When Conservation Isn't Enough
 13. The Fight for Rights
 14. The Issue You Seldom See
 15. Problems that Know No Borders

外国語

履修上の留意点

毎回、受講者に順次、訳読をしてもらいます。積極的に学習にとりくむよう努めて下さい。

成績評価の方法

成績評価は前・後期の期末テスト、授業中の発表、出席状況などを考慮して行います。

教科書

Peter Weld *The World Ahead* (金星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	江田 幸子	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

英語の基本的な構文の読み取り方を重点的にチェックしながら一ページ程度の英文を精読します。トピックの違う内容を15編読みます。今年度はハリウッド映画の内容を要約した英文を読みます。時折ビデオを観て話される英語を聞いてみます。各々に面白い映画が扱われているので、楽しく英文を読めたら、と思っています。
英語は一見平易ですが読解力をつけるのに勉強になる構文や表現法が使われていて、楽しく読みながら読解力をつけるのには適しているでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

クラスでは授業中が自宅学習のようにして英語学習を進めて行きますので必ずテキスト、辞書、ノートを持参して下さい。解らないところは授業中に辞書をひいて、皆で学習して解るようにしていきます。

成績評価の方法

再履修クラスは出席を特に重視します。ほとんど毎回、辞書を使いながら小テストをして平常評価点とします。前期・後期の期末テストよりこの平常点を重視して評価点を出していきます。10回行う小テストの内、上位5回分の成績の平均点を最終評価点とします。欠席回数が多い人は平均点が当然悪くなりますので注意して下さい。出席者には最低50点を出しますが欠席者は0点になります。

教科書

John S. Lander, *Hollywood Dialogs* (ASAHI PRESS) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	か 斐 かつ こ 甲 斐 捷 子	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

今年のI B再クラスは、やさしい英語で書かれた面白い小説を読みます。ただし、言葉の解釈は英語で行い、語彙を増やしながら、口語英語の運用能力も高めるような授業内容となります。

講義の内容・授業スケジュール

テキスト一冊終了後時間が余れば、著者のインタビュー記事を読みます。これはハンドアウトとして配布します。

履修上の留意点

一単元終わるごとに小テストを行います。これは詳細な復習のためのテストで、本試験と同様の内容のものです。このテストで70%以上得点できるよう、復習に重点を置いて学習して下さい。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しない場合、欠席が三分の一を超えた場合、および前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教科書

The Summer after the War and A Family Supper (鶴見書店) 900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	いし ばら こう さい 石 原 孝 哉	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

このクラスでは国際共通語としての英語にスポットを当てます。具体的にはアメリカ、イギリスばかりでなく、オーストラリア、インド、ドミニカ、ナイジェリアなど世界各地で使われている英語を、短編を教材にして学びます。教科書は全て英語、練習問題も英語なので英英辞典があると便利です。

成績評価の方法

成績は中間試験、期末試験のほかレポート等から総合的に評価し、出席を重視します。レポートはe-mailで提出することも可能で、提出先は教場で指示します。

教科書

Longman *The Whole Story* (南雲堂フェニックス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	まな じ ひさ あき 真 砂 久 晃	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

英文読解の基礎力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2
前期、後期共、成績は (100点満点) = 出席点 (20~30%) + テスト (70~80%) となる。

教科書

THE BEATLES (南雲堂フェニックス) 980円 + 税

参考書等

THE BEATLESのCD、DVDなど。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	高柳文江 <small>たかやなぎふみえ</small>	経A・商2・3・4年	2

- 講義のねらい 英文の逐一の翻訳ではなく英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。
- 講義の内容・授業スケジュール 世界の中で現在生じている様々な問題について書かれた簡潔な文章を基にまずそのListeningとComprehensionを行います。その後、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題を行い、更なる理解を深めます。
- 履修上の留意点 授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には2/3以上の出席が要求されます。座席指定。
- 成績評価の方法 試験（前期試験、後期試験）60%、日常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み方等）40%。
- 教科書 『World Today—文化の諸相』（鳳書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	熊沢和明 <small>くまざわかずあき</small>	経A・商2・3・4年	2

- 講義のねらい 総合教材のテキストを使い、主に読解の能力を向上させるのをめざす。
- 講義の内容・授業スケジュール テキストを中心に学習しながらプリントの副教材を使用します。
- 履修上の留意点 ペアワークやプレゼンテーションなどの活動もします。予習してくる事。
- 成績評価の方法 前期、後期の試験をします。出席と日常の発表なども重視。単語小テストなどもやります。総合評価です。
- 教科書 開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	町田成男 <small>まちだしげお</small>	経A・商2・3・4年	2

- 講義のねらい 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と速読の基礎を身につける。また、リスニングでは聞きながら文章の大意を把握する。
- 講義の内容・授業スケジュール 原則としてテキストにしたがって読みすすめる。
- 履修上の留意点 テキストと辞書は忘れずに持参すること。
- 成績評価の方法 出席+発表+試験の総合評価とする。
- 教科書 検討中のため、第一回の授業時に、オリエンテーションの中で発表する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	飯沼 好永 <small>いぬま よしなが</small>	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい	様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて習得することに努める。
履修上の留意点	リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加してください。特に英語に対して苦手意識のある人は、予習に力を入れてください。
成績評価の方法	出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）
教科書	<i>Reading Landmarks of the world</i> （三修社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A 〔再クラス〕	佐藤 明子 <small>さとう あきこ</small>	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい	リーディング・リスニング問題を中心に英語の運用能力を高めることを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストは、内容読解やリスニングの問題も入った総合テキストです。1回の授業で、1章程度進む予定です。
履修上の留意点	授業ではなるべく多くの学生を指名します。毎回予習を十分にしてくることを望みます。
成績評価の方法	前期・後期試験、平常点、出席状況を総合的に評価します。（ただし出席が3分の1に満たない場合は「不合格」とします）
教科書	『 <i>Real Life in Britain</i> （イギリスを感じてみよう）』（三修社）1,850円（税別） ISBN4-384-33246-7 C1082
参考書等	必ず辞書を持ってきて下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A 〔再クラス〕	宇都宮 秀和 <small>うつのみや ひでかず</small>	経A・商3・4年	2

講義のねらい	再履修のクラスを数年受けもって受ける印象は、a)出席数が不足している、b)理解していない部分を、理解するまで十分に掘り下げないで、あいまいな理解でやり過ごして来た、以上の2点である。
講義の内容・授業スケジュール	以上のことを考慮して、解らない部分を中心に授業をすすめていきたい。
履修上の留意点	進み方は、遅くてもよいから基本的なことをしっかりと理解しながらすすむ。
成績評価の方法	毎回、毎回、小テストを行い、それらを積み重ねた平常点。
教科書	プリント使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おが ぎき としいちろう 岡 崎 寿一郎	経A・商3・4年	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価とします。

教科書

村田薫『英語で学ぶ知の原点』（鶴見書店）1,500円

その他

月曜日・5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	さ とう えりこ 佐 藤 江里子	経A・商3・4年	2

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に参加すること。

成績評価の方法

出席、発表、小テスト、授業態度などの平常点と、前期後期試験による総合評価。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おが ぎき としいちろう 岡 崎 寿一郎	経A・商3・4年	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価とします。

教科書

岡崎寿一郎『禅と日本文化』（太陽社）1,470円

その他

火曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	井伊順彦	経A・商3・4年	2

- 講義のねらい** 日米の文化の差異について会話からはじまり、文法事項を復習。Exercise で英語力を養成。センテンス・レベルの作文能力を養う。
- 講義の内容・授業スケジュール** テキストに従って、前半 Letter から Vacation, 後半 Drinking から Loan Words まで。
- 履修上の留意点** 授業の予習復習をすること。
- 成績評価の方法** 日常の発表を重視し、小テスト、前・後期のテストによる総合的評価とする。
- 教科書** 『異文化の理解に向けて』（旺史社）1,360円（本体）＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	川崎浩太郎	経A・商3・4年	2

- 講義のねらい** IAを基礎としてさらに高度な意思伝達能力の向上を目的とする。最終的には数パラグラフからなるエッセイで自分の意見を具体的かつ論理的に表現できるようになることをめざす。
- 講義の内容・授業スケジュール** テキストをもとに、パラグラフを書く手順、パラグラフの基本構成、論理展開等を学習する。それを踏まえた上で、教科書の Unit ごとに適切な課題を出すので、それにしながらエッセイライティングをおこなってもらおう。また、口語表現の学習のため、TOEIC®のリスニングなどもおこなう。
- 履修上の留意点** 毎時間必ず辞書を持ってくること。
- 成績評価の方法** 出席点、発表点40%、授業中のレポート60%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。
- 教科書** 『Skills for Better Writing—構造で書く英文エッセイ』（南雲堂）1,800円（税別）ISBN4-523-17448-2

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	矢島直子	経A・商3・4年	2

- 講義のねらい** 英語のリスニングに慣れることを目標にします。
- 講義の内容・授業スケジュール** 教科書とCDを使って、英語を聞き取る練習をします。
- 履修上の留意点** 授業では、学生にどんどんあててやってもらいますから、予習をしてくること。二回目から教科書を使いますから、それまでに教科書を手に入れること。
- 成績評価の方法** 平常点を考慮に入れ、前期末・後期末試験とともに総合的な評価をします。
- 教科書** James Bean 『Listen to this! Intermediate リスニングスキルの総合演習 中級』（成美堂）2,400円 ISBN4-7919-4579-4

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	相馬 美明 <small>そう ま よし あき</small>	経A・商3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

I Aの英語を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。また、様々な検定試験などにも対応すべく、TOEIC[®]、TOEFL[®]のリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法

出席に関しては、基本的に全出席を期待し、前期・後期に行う試験、および授業で課すレポート、また授業態度等を総合的に評価する。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	河内 賢隆 <small>かわ うち けん りゅう</small>	経A・商3・4年	2

講義のねらい

ここで扱われている題材は、さまざまなメディアから取った最新のものです。それを表現している語法も新しく、いわば生きた英語です。テープを多用しながら授業をすすめますので、耳の訓練も目指しています。

履修上の留意点

再履修クラスなので、出席と発表は重視します。

成績評価の方法

出席点+発表点=50点、残りの50点を二回のテストで評価します。とにかく真面目な授業態度で学習して下さい。

教科書

『メディア英語で読む現代社会2004』(金星堂) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	古 富 猛 <small>こ とみ たけし</small>	経A・商3・4年	2

講義のねらい

講座上の点で、英語を使える様な素養を身につけるべく方向付けて欲しい。情報伝達の発展した今日、その渦の中で冷静さを失うわけにはゆかないので、国際化の中、外国語習得は重要ではないかと思われる。

講義の内容・
授業スケジュール

日本人の資質にそった習得法を私なりに実践している。そのやり方は最近、活躍している著名人のものと極めて酷似しており、自信を深めているので、講義中に話をしたい。テキストにも重点を置き、一年間、多読を目指したい。

履修上の留意点

最近とみに言われているが、学生諸君の学力低下の傾向は事実であると自らも、教壇で実感している。語学の習得は、本来地道な努力の積み重ねが、基本であることを認識してもらい、もう一度復習をしてもらいたい。

成績評価の方法

成績はあくまでもテキストによる予習発表を平常点とし、出席と前後期のペーパー・テストによって判断する。

教科書

テキストは教場にて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	三浦眞理	経A・商3・4年	2

- 講義のねらい 英文法の基礎事項を学習し、日本人には分かりにくい点や、まちがいがやすい点を中心に学習し、文法的に誤りのない文が書けるように、豊かに表現できるようになることを目標とします。
- 講義の内容・授業スケジュール 教科書にそって基礎的な英文構造、成句、熟語をできるだけ多く学習し、それを基礎にして英作文を色々工夫しながら作成してみたいと思います。そして、実際に活用できるように学習していこうと思います。
- 履修上の留意点 予習しておくこと。授業には必ず辞書を携帯すること。
- 成績評価の方法 テストは学習した章を中心に分割して授業時間中に行い、後期最後に総まとめ試験を実施します（授業時間中の小テスト重視）。評価は、3分の2以上の出席（厳守）、小テスト、授業中の発表（50～60%）及び後期試験の結果を入れて総合的に評価します。
- 教科書 *Essential English Grammar for Writing*（弓プレス）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	山岸二郎	経A・商3・4年	2

- 講義のねらい 英文構造の理解に努めつつ、いろいろな英文表現力の向上を計る。
- 講義の内容・授業スケジュール 「文法事項」に目を通してから「練習問題」「発展問題」更に「復習問題」へと学習をすすめる。
- 履修上の留意点 必ず予習をしておくこと。
- 成績評価の方法 平常の学習を重視する。前期後期のテスト、小テスト等総合して評価する。
- 教科書 『語順が身につく英作文』（朝日出版社）1,800円 ISBN4-255-15360-4C1082

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	佐藤江里子	経A・商3・4年	2

- 履修上の留意点 必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。
- 成績評価の方法 出席、発表、小テスト、授業態度などの平常点と、前期後期試験による総合評価。
- 教科書 未定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB 〔再クラス〕	伊藤美代子	経A・商3・4年	2

講義のねらい

IBを基礎として、より高度で実社会に直結した生の英文の理解をめざす。
また、リーディングだけでなく、スピーキング、ヒヤリング、ライティングも行い、総合的な英語力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール

原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明は日本語で行う。

履修上の留意点

予習が絶対条件である。また、半期に、4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法

各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点、提出物により計算する。

教科書

1. Naoko Ogawa, Yumiko Yoshida, Mariko Miyajima 『パラグラフ中心の英語基礎演習』（金星堂）1,950円
2. 伊藤美代子（編著）『さらばジャパニーズイングリッシュ』（北樹出版）1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB 〔再クラス〕	川手浩一	経A・商3・4年	2

講義のねらい

外国語としての広い見識と深い考えを養うようにする。

講義の内容・授業スケジュール

外国語としての英語を学ぶ目的はその国の文化を知ることである。

履修上の留意点

授業は前後、関連しているので予習復習をして問題点をさぐり出すようにする。

成績評価の方法

日常の出席を重視し、前期後期のテストをふくめて総合評価です。

教科書

『Looking at America 素顔のアメリカ』（誠美堂）1,600円

その他

月曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB 〔再クラス〕	川手浩一	経A・商3・4年	2

講義のねらい

外国語としての広い見識と深い考えを養うようにする。

講義の内容・授業スケジュール

外国語としての英語を学ぶ目的は、言葉を学習してその国の文化を知ることである。テキストを読みながらその内容について理解する。

履修上の留意点

授業は前後、関連しているので予習復習をして問題点をさぐり出すようにする。

成績評価の方法

日常の出席を重視し、前期後期のテストをふくめて総合評価です。

教科書

『Skills for Better Reading 構造で読む英文エッセイ』（南雲堂）1,900円

その他

月曜日・5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	はせがわ こういち 長谷川 公 一	経A・商3・4年	2

- 講義のねらい マザー・テレサの生涯は、貧困にあえぐインド・カルカッタの人びとのハンセン氏病治療と救済のために、自分のエネルギーの全てを投入した人間愛に貫かれていた。彼女自身はユーゴ生まれだが、彼女の活動は国籍、宗教、人種の相違を越えた高い次元で、世界中の人びとに静かな感動を与えたのである。このテキストは、カトリック尼僧として、カルカッタで精力的に貧者の救済に当たったマザー・テレサの活動のドキュメントである。
- 成績評価の方法 出席率プラス前後期2回のテストによって採点する。
- 教科書 『マザー・テレサ』（桐原書店）388円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	さわだ まゆみ 澤 田 真 弓	経A・商3・4年	2

- 講義のねらい 簡単な英語表現を学び、リスニングやライティングの能力を総合的に伸ばすことを目標とします。
- 講義の内容・授業スケジュール 毎時間さまざまな英語表現を学び、暗記してもらいます。
- 履修上の留意点 積極的に授業に参加することが望ましい。単語の意味調べは必ずやっておくこと。
- 成績評価の方法 出席回数、発表や提出物、前期後期試験の結果を総合的に判断して評価します。
- 教科書 教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	おちあいかずあき 落 合 和 昭	経A・商3・4年	2

- 講義のねらい このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC[®]、TOEFL[®]、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。
- 講義の内容・授業スケジュール 一回の講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階は、ヒヤリングや書き取りのなかで使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第四段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう。
- 履修上の留意点 授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。
- 成績評価の方法 前・後期定期試験が全評価の40%、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約20回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業中に、最低一回は当てらつてもりである。出席率が3分の2を越えなければ、成績は「不可」とする。
- 教科書 『日常会話英作文』（成美堂）ISBN4-7919-5035-6 C1082
Oxford Idioms Dictionary for Learners of English（オックスフォード大学出版局）2,200円 ISBN0-19-431545-2

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	まえだ おさむ 前田 脩	経A・商3・4年	2

講義のねらい

英文を丁寧に読むことで、異なる文化の思考過程の順路をたどってみます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめながら、テキストにあった英文ニュースをコピーして使用します。

履修上の留意点

授業は予習し、積極的に参加してほしい。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期、後期の試験の結果を総合的に評価します。

教科書

『サバイバル・イングリッシュ(1)』(朝日出版) 1,359円 ISBN4-255-15168-7 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	かわうち けんりゅう 河内 賢隆	経A・商3・4年	2

講義のねらい

テキストのタイトルからわかる様に、人間性と文化がどのように係ってきたかを歴史的に扱ったものです。これは、文明が行きづまった現代、我々が根本的に問い直さなければならない問題です。

講義の内容・授業スケジュール

また内容と共に英文も精読し、語法的な面にも注意を向けたいと思います。

履修上の留意点

3、4年の再履クラスなので真面目な授業態度を求めます。

成績評価の方法

評価は、出席点+発表点=50点、残りの50点を二回の試験でだします。

教科書

『知の進化論--人間性と文化の起源』(金星堂) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	ほんま としかず 本間 俊一	経A・商3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

Checknote For Business Trends (金星堂) 1,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB 〔再クラス〕	笹倉貞夫	経A・商3・4年	2

講義のねらい

近年ますます国際化していく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

平易な現代アメリカ英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学ぶ。テープ教材併用

履修上の留意点

予習・出席重視

成績評価の方法

前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教科書

Malvina Vogel『珍しい事実・記録のビッグブック *The Big Book of Amazing Facts*』（太陽社）

その他

土曜日・3時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB 〔再クラス〕	笹倉貞夫	経A・商3・4年	2

講義のねらい

近年ますます国際化していく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

平易な現代アメリカ英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学ぶ。テープ教材併用

履修上の留意点

予習・出席重視

成績評価の方法

前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教科書

Pearl Buck『聖書物語 *The Bible Story*』（太陽社）

その他

土曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅠA 〔再クラス〕	柴野博子	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

この授業は、初級文法の最も基本的な事柄のみを重点的に教え、ドイツ語の大枠がつかめるようにすることを目標にしています。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、特に初級では、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席することを希望します。

成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

大岩信太郎『ドイツ文法のかなめ（新装版）』（三修社）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	志 真 斗美恵	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

ABCの発音からはじめて、ドイツ語の初級文法の基礎を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にしたがって、文法事項を説明した後、その内容を理解するための練習問題を課し、提出していただきます。(毎回実施)

履修上の留意点

さまざまな理由で再履修になった方たちが受講していると思います。授業に参加していれば理解できる内容です。休まず出席してください。

成績評価の方法

平常点(練習問題の提出、小テスト。重視)と前・後期試験で総合的に評価します。

教科書

西本美彦・西本アンゲリカ著『エクセ12——ドイツ文法』(朝日出版社) 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	本 橋 右 京	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章にできるだけ多く触れることで、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・授業スケジュール

文法を初めから復習し、ドイツ語の仕組みを把握します。これをドリル式練習問題で確実なものとしましょう。必要に応じて補助練習プリントを配布します。

履修上の留意点

予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

諏訪田 清 『新訂・ドイツ文法18歩』(同学社) 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	杉 本 正 俊	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

ヨーロッパ文化の重要な一翼を担い、現代日本とも深いかわりを持つドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイスの一部など)の言語、ドイツ語を、発音、文法、語彙、文など様々な角度から学び、ドイツ語への入門を果たしてもらう。授業の性質上、文法に重要な力点を置いた授業を行う。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に従った授業を行う。

履修上の留意点

予習より、授業中の集中力に重点を置いて要領良く学んで下さい。教師のことばにしっかり耳を傾け、よく理解する事が重要です。こちらも必要事項は学生が理解しているかどうかを確認しながら繰返し説明するつもりです。

成績評価の方法

前後2回の期末テストも重要だが、授業にきちんと参加しているかどうかを非常に重視します。当てられた問いには必ず自分なりによく考えて答えを出して下さい。その際に、結果的に正しい答えを出したかどうかより、自分なりに考えて答えを出せたのかどうか、という点をより重視します。

教科書

藤代幸一・保阪靖一『ワンポイント・ドイツ文法』(郁文堂) 1,800円 ISBN4-261-01185-9

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	飯塚 公夫 <small>いづか きみお</small>	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

正規の授業と同じで、ドイツ語の基本を振り出しからやっていきますが、発音と内容の読み取りを重視します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書通りに、文法説明・発音練習・文章の読解といった手順でやっていきます。

履修上の留意点

出席しただけでは単位になりません。日常から頭をきりっとして生きている必要があります。あとはまじめであれば十分です。(授業中にものを飲んだり、ヘッドフォンを頭につけたまま、あとから教室に入ってくる神経には、ドイツ語のみならず、まともな知識は入っていないでしょう。)

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験と平常点 (=発表点)。

教科書

大久保進他著『ポータルサイト：ドイツ語』(朝日出版社) 2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	野島 利彰 <small>のじま としあき</small>	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

文法をある程度踏まえながら、耳からドイツ語を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

付属のCDを自宅で聞いてあることを前提として授業を進めます。教室では音読と練習問題に答えてもらうことを主眼にします。3課に1回程度ヒアリングテストを行います。

履修上の留意点

練習問題がたくさんあります。よく予習をして答えられるようにしておいてください。

成績評価の方法

予習をしてあるか否か、2回の期末試験、ヒアリングテストなどを総合的に判断して成績を評価します。

教科書

荻野・ラープ著『ベルリン・キャンパスライフ』(朝日出版) 2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	井村 行子 <small>いむら ゆきこ</small>	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎を復習します。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項を確認しながら、簡単なテキストを読んできていきます。

履修上の留意点

なにはともあれ出席を心がけてください。

成績評価の方法

学期末に試験を行います。場合によっては授業内に小テストを行うかもしれません。

教科書

教科書販売時までに決定して、書店の方に連絡しておきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	もと はし う きょう 本 橋 右 京	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがった、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・授業スケジュール

文法を初めから復習します。文法によってドイツ語の仕組みを把握し、これをやさしいテキストで確認します。さらに多くの練習問題で理解を確実なものとし、できればユーモアに富む読書で、学ぶ楽しさを味わえればと願っています。

履修上の留意点

予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

春日正男 『トア！トア！トア！－サッカーで学ぶドイツ語』（郁文堂）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 II A 〔再クラス〕	まつ おか すずむ 松 岡 晋	経A・商3・4年	2

講義のねらい

下に掲げた教科書を用いてドイツ語の現代文を読みます。ドイツ語の新聞、雑誌等を読むための基礎訓練になれば、と思っております。

講義の内容・授業スケジュール

教科書は、各課とも、現代ドイツの生活や社会に関する2～3ページのドイツ語の文章、関連する文法事項の説明および練習問題からなっています。ドイツ語の文章には注解も付いており、比較的容易に読みこなせるはず。合計10章からなっていますので、各章を2～3回分の授業で終えることを一応の目安とします。

履修上の留意点

多少は予習をお願いいたします。また、毎回、独和辞典を持参してください。ドイツ語に限らず、外国語のテキストを読むには、最初のうちは時間と忍耐力が必要です。すぐに諦めないで、粘り強く続けてください。再履修となった理由のほとんどは、途中で勉強を諦め、出席しなかったことです。今年はそのようなことのないように切に願います。

成績評価の方法

成績評価は最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点（出席率、授業に取り組む姿勢、分担箇所の和訳をきちんと準備したかどうかなど）によっておこないます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熱意なども重視します。

教科書

石井寿子ほか『時事ドイツ語 '03トピックス』（朝日出版社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 II A 〔再クラス〕	お だ しげ み 織 田 繁 美	経A・商3・4年	2

講義のねらい

この授業は、ドイツ社会の身近な話題、様々なジャンルの分野を扱った文章に触れながら、初級文法を見ていこうというものです。

講義の内容・授業スケジュール

授業初めの30分、40分は授業で扱う分野の説明に当てるので、遅刻しないように留意して下さい。

履修上の留意点

一回一回の積み重ねがドイツ語の力になっていくので、授業を休まないようにして下さい。辞書を必ず持参のこと。

成績評価の方法

前期末、後期末のテストの外に、平常点が重視される。

教科書

プリントを授業の都度渡す。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II A 〔再クラス〕	くり はら かず のぶ 栗 原 万 修	経A・商3・4年	2

講義のねらい

再履修クラスなので、できるだけやさしく、わかりやすい授業にしたいと思います。ただし語学は継続的にやらないと習得できませんから出席を重視します。休まないように。

成績評価の方法

成績評価は、平常の小テストや宿題を中心に、授業中の学習意欲等も含め総合的に判断します。

教 科 書

テキストは特定せず、受講者の学力に合わせ、最適と思われる教材をその都度教場で配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II B 〔再クラス〕	もも ずみ いまむ 百 濟 勇	経A・商3・4年	2

講義のねらい

自分が客員研究員をしている「ベルリン・ドイツ経済研究所」(DIW)のドイツ人の経済専攻院生は勿論のこと、フランス、ロシアなどの学生・院生は、明白な問題意識をもって勉強をしていると同時に、それに必要な外国語学修得が前提となっていることだ。そうした学習方法を学ぶ必要がある。

講義の内容・
授業スケジュール

受講生は人文科学・社会科学を学ぶ3年、4年である。それ故に諸君が、ヨーロッパ経済を学習対象とする場合には、ドイツ語の履修が不可欠だ。その修得には、まず徹底して声をだして読むことだ。毎時間、一人一人回数当ての徹底した口答対話を行う。

履修上の留意点

ドイツ人が英国訪問をした際の「ドイツ人の為の英語会話」をテキストを使うので、毎回の授業出席が前提になる。そしてこうした学習方法は、結果として英会話も力がつくだろう。時には、ドイツの新聞の文化・社会・政治・経済記事なども、テキストとして使用する。熱心な学生の受講を希望する。

成績評価の方法

前期、後期の定期試験は行わないが、それを総合して年度末の成績として評価する。

教 科 書

日本で作成した教科書は使わず、その都度、既に指摘したプリントを配布する。その際に初年度で使用したドイツ辞書、ドイツ語教科書を持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II B 〔再クラス〕	しば の ひろ こ 柴 野 博 子	経A・商3・4年	2

講義のねらい

この授業は、初級文法で習った事柄を復習しながら、ある程度まとまった、やさしい文章を読んで行きます。テキストは、はじめてドイツに留学した日本の大学生の(異文化との出会い)を扱ったものです。

履修上の留意点

ドイツ語の学習には、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教 科 書

岩崎英二郎・山路朝彦・Wolf Gewehr『留学生のみたドイツ』(朝日出版社) 1,748円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	おだしげみ 織田 繁美	経A・商3・4年	2

講義のねらい

このクラスは、日常のやさしい会話を通じて、聞き取りに習熟することを目指す。そのために、常識的な知識の取得と、会話ではどのような表現がなされるかというようなことを勉強する。

講義の内容・
授業スケジュール

時には短い記事のようなものを読み、読解力を養うことも進めていきたい。授業には全精力を注ぐ位に気持ちを集中して臨んで下さい。

履修上の留意点

一回一回の授業では、大して沢山の勉強をしていないかに見えますが、それを積み重ねると、ドイツ語の大きな力になります。授業に休まないように、遅刻しないようにして下さい。

成績評価の方法

平常点に大きなウエイトが置かれます。

教科書

プリントを用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅠA 〔再クラス〕	たけだまさずみ 竹田 正純	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の音を大切にしながら、基礎的な文法事項の修得を目指す。

履修上の留意点

文法事項などの小テスト、発音テストを毎授業おこなうので休まないこと。

成績評価の方法

上記テストのほか、前後期2度の試験をもとに評価する。

教科書

竹内信夫・工藤 進『フランス文法カレントパーフェクト』（白水社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅠA 〔再クラス〕	あしほらけん 芦原 眷	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教科書

野村二郎著『キャロット』（白水社）1,325円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	こ ^{だま} なり ^お 小 玉 齊 夫	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいきます。各課終了時に、まとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。

履修上の留意点

特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。

成績評価の方法

上記の小テストならびに前期・後期の試験によって、判定します。

教 科 書

小畑・寺家村 著 『快速フランス語』（駿河台出版社）1,600円
ISBN4-411-00752-5 C1085

参 考 書 等

辞書については、初めの授業時に、説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	と ^お や ^ま ひ ^ろ 遠 山 博 雄	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

基礎的な文法事項をきちんと身につけること。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに詳しい説明をし、その後で練習問題をやります。単純な事項から複雑な事項に順を追って進んでいきます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして説明を聞きもらさないこと。

成績評価の方法

2回ないし3回の筆記試験、動詞活用の小試験を行ないます。

教 科 書

佐藤久美子他著『フロレゾン』（白水社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	た ^に か ^わ 谷 川 かおる	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。

講義の内容・
授業スケジュール

文法の基礎を学んだ後に、なるべく数多くの練習問題を行い、基礎力を養います。毎回、小テストを行い、重要な項目を暗記します。

履修上の留意点

出席重視。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法

前期・後期試験、および小テストなど。

教 科 書

明石伸子著『パリで会いましょう』（白水社）2,200円

参 考 書 等

授業中に紹介する。

そ の 他

全員参加の演習方式ですので、積極的に参加してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B 〔再クラス〕	すが や 谷 さとる 菅 谷 暁	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。

履修上の留意点

休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教科書

藤田著『彼女は食いしん坊!』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B 〔再クラス〕	いま げま 今 関 ア ン	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

一年時に習得できなかった箇所を確実にものにし、フランス語検定5級程度の力を付ける。

講義の内容・授業スケジュール

テープの聞き取り、単語調べ、その場での会話訓練および訳読、練習問題など。

履修上の留意点

2/3の出席は最低条件である。なお教科書・辞書も携行せず、漫然と椅子に座っていて出席点を貰おうなどと考えるのは言語道断である。予習し、積極的に授業に参加し、課題の提出を持って初めて出席と見なす。就職活動・疾病などでやむを得ず欠席する場合は、出席に相当する課題を出す。

成績評価の方法

2/3以上の出席（25%）＋夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』白水社の実力テスト（25%）＋前・後期定期試験（50%）

教科書

清岡智比古著『ボンボン・ショコラ』（白水社）2,100円

参考書等

仏和辞典、『ふらんす夏休み学習号』（白水社）（7月中に大学内紀伊國屋書店で購入）
清岡智比古著『フラ語入門、わかりやすさにもホドがある』（白水社）1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B 〔再クラス〕	こ だま なり お 夫 小 玉 齊 夫	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

音としてのフランス語の習得を中心に、可能であれば、会話の基礎をつくりあげたい、と思います。

講義の内容・授業スケジュール

一時間に一課という進度で、そのつど、確実に、表現のかたちを確かめていく予定です。前期に、まとめとしての試験、後期に全体の試験を行い、また、随時、知識確認のための書き取りを行います。

履修上の留意点

必ず毎回出席すること。文法事項よりも、フランス語表現のかたちを覚えること。授業ごとに必ず自分が発声するつもりで来ること。

成績評価の方法

前述の諸試験で総合的に判定します。

教科書

藤田 著『彼女は食いしん坊!』（朝日出版社）2,500円
ISBN4-255-35151-1 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	はせがわ みつあき 長谷川 光明	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい 初級文法を復習しながら、フランス語の表現能力を徐々に高めていくことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期二回と後期二回の計四回行います。

履修上の留意点 基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。

成績評価の方法 前期二回、後期二回の試験と平常点。

教科書 岩間直文『話したくなるフランス語 全面改訂版』（朝日出版社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 II A 〔再クラス〕	はた なかちあき 畑 中 千 晶	経A・商3・4年	2

講義のねらい 初級文法を復習しつつ、会話、和文仏訳の力を伸ばす。また、フランス文化について書かれた文章を読みながら読解力を高める。その際、音読できるようになることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。

履修上の留意点 自宅学習とクラスでの活動を連動させることで、力が伸びていきます。宿題には必ず取り組むようにしてください（CDを活用します）。

成績評価の方法 前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題、小テストなど）20%、夏期休暇の課題10%、出席10%。

教科書 澤田直之、リリアンス・ラタンジオ、黒川学著『アミカルマン—フランス語・フランス文化への誘い—（改訂版、CD付）』（駿河台出版社）2004年 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 II A 〔再クラス〕	ぬま くらひろこ 沼 倉 広 子	経A・商3・4年	2

講義のねらい 辞書を使いこなして、文章を読む力をつける。

講義の内容・授業スケジュール 文化、地理などを題材にフランスの現在を知る。

履修上の留意点 文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。

成績評価の方法 前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。

教科書 野村二郎著『フランス、言葉と歴史の旅』（第三書房）2,400円
ISBN 4-8086-2099-5 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	はせがわ みつあき 長谷川 光明	経A・商3・4年	2

講義のねらい

ビデオ教材を用いながら、フランス語初級文法を復習していきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのため、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は毎回持参してください。

成績評価の方法

前期後期試験および平常点。

教科書

中山真彦他『ボンジュール・パリ』（白水社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	まえだ のりかず 前 田 祝 一	経A・商3・4年	2

講義のねらい

中級フランス語の最初の段階に、レベルを設定します。

講義の内容・授業スケジュール

比較的やさしい文章を少しずつ読んでゆき、音としてのフランス語に慣れ親しみ、同時にフランス人の感性や知性のあり方にも触れましょう。

履修上の留意点

初級フランス語の単位未修者や自信のない人は、自分で参考書を買って求めて勉強するつもりでいること。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、出席や日頃の課題なども考慮します。

教科書

野内良三『フランス・ユーモア集』（第三書房）900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	ぬま くらひろこ 沼 倉 広 子	経A・商3・4年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして読解力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

歴史、文学、文化、経済など多岐にわたる内容のテキストを使用する。

履修上の留意点

文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。

教科書

瀧川好庸（他）著『やさしく読めるフランス語新聞』（第三書房）1,700円
ISBN4-8086-2674-8 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	たに かわ 谷 川 かおる	経A・商3・4年	2

講義のねらい

フランス語の文法を学び直しながら、実際のテキストに慣れ、辞書があれば読めるようになることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主に文法の復習。後期には、いろいろなテキストの読解に挑戦します。

履修上の留意点

出席重視。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法

前期・後期試験、および小テストなど。

教科書

未定。

参考書等

授業中に紹介する。

その他

演習方式ですので、なるべく積極的に参加してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	こう りん ひで もと 江 林 英 基	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全20課、各課の本文のあとに基礎文法の解説と会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

成績評価の方法

小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。

教科書

上野恵司『標準中国語（基礎編）』（白帝社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	と ぼり よし かつ 戸 張 嘉 勝	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の発音と基礎的な文法（文型）・会話を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①中国語と日本語との異同を簡単に解説し、学習上の注意事項と学習要領を認識する。
- ②発音と声調の反復練習によって正確な発音を覚える。特に日本語にない発音や発音上の約束事を徹底して練習する。
- ③基礎的な文法（文型）や実用会話は教科書の展開に沿って行なう。

成績評価の方法

前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書

劉郷英・嘉瀬達男・豊後宏記著『中国語精選サラダ（単語と基本文型）』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	すぎやま やすし 杉 山 静	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

本講義は初級中国語の修得を目的とする。中国語の基礎的なものの履修を通じて、基本的な中国語の学力、読む、聞く等の力の育成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

最初の2～3週間は、中国語の最も重要且つ基本的な拼音・発音の知識について集中講義を行う。

発音の力を付けてから、教科書内の基礎句型、更に常用語彙等を重点的に授業を進めながら、簡単な文法の知識も講義に含まれる。

履修上の留意点

中国語の発音を学ぶには必ず“漢語拼音方案”という北京語の音声のローマ字綴りのシステムの勉強に力を注ぐべきである。それに漢字の簡体字や発音、意味等に留意し、日本の漢字と比較して見ること。

成績評価の方法

出席率を高く評価するが、授業に臨む態度も評価のポイントとなる。
年間約3回の筆記試験；前期末、中間試験と年末のテストを予定している。外に発音テストを1回行う。

教科書

渡辺晴夫・徐祖瓊著『はじめて習う中国語』（白水社）2,100円

参考書等

辞書を用意する必要がある。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	さとう ふみこ 佐藤 普美子	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の基礎になる発音、語彙、基本文法をしっかりと身につける。中国式ローマ字表記（ピンイン）を正確に読み、書けるようにする。

履修上の留意点

授業時は、耳、口はもちろん、手もフルに活用して言葉の整理定着をはかるので、気力及び体力がないと継続受講は難しくなるだろう。覚悟が必要。私語厳禁。

成績評価の方法

学期末テストも行うが、小テスト、平常点（出席、授業時の意欲）を重視する。

教科書

戸沼市子他『緑日はとてもにぎやか』（郁文堂）2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	しお なた しんいちろう 塩 旗 伸一郎	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

とにかくピンインを声に出して読めるようになる。そして中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や文化的表現、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解し、私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことが目的。

講義の内容・授業スケジュール

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の約半分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを行う。

履修上の留意点

携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験＋小テスト＋平常点－欠席点。
欠席は前期・後期それぞれ3回目から10点づつ減点。遅刻は2回で欠席1回に相当。

教科書

戸沼市子他『縁日はとてものにぎやか』（郁文堂）2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	お ぎし まさこ 根 岸 政 子	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の発音と基本文法を習得する。

履修上の留意点

最初の3、4回は中国語の発音を中心に進めるので、必ず出席すること。やさしい教科書なので、3回に2課のペースで進む。学習したことが力になっているかを確認するために随時小テストを行う。
第1時限の授業であるが、遅刻をせずに、きちんと4分の3以上出席すること。

成績評価の方法

前期後期のテスト、小テスト、出席状況などで評価する。

教科書

徐祖瓊著『はじめて習う中国語』（白水社）2,100円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	さくらば かずのり 櫻庭和典	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

日常生活でよく使う表現を選び、実生活に役立つ基礎的な中国語会話の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

始めは、発音（四声）・ピンイン表記（中国式ローマ字）の習得に重きをおき、初歩的な語法にはいり、平易な文型を通して表現力を高める。中国語文の反復・応用練習・暗誦により基礎語学の向上を計る。

履修上の留意点

授業の開始までに、教科書を必ず購入すること。

成績評価の方法

平常評価（授業態度・出席日数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）出席日数の足りない場合受験資格を失うため注意すること。欠席・遅刻は日数により減点する。

教科書

小川郁夫著『中国語初級対話64』（白帝社）1,550円

参考書等

辞書は当分必要ないが、必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。携帯電話の電源は必ず切っておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	そう たい わ 曹泰和	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。

履修上の留意点

元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

教科書

相原茂・陳淑梅・飯田敦子『恋する莎莎』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	むら まつ てつ ぶみ 村松哲文	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

中国語で簡単な日常会話ができ、平易な文章が読めるようになることを目標に、基本的な短文の暗記と徹底した発音訓練をする。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは発音をマスターするために、中国語の発音表記（ピンイン）を反復練習し、その後、文法事項を確認しながら多くの文章を読みこなしてゆく。

履修上の留意点

授業は真剣勝負の時間である。特に語学は積み重ねが大切なので、真摯な態度で授業に臨むこと。

成績評価の方法

前期・後期の試験、授業中の小テスト、出席率などを総合評価する。

教科書

陳洲挙・劉光赤・水野麗子編著『耳留学中国語』（陸美出版）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	三田村 圭子 <small>みたむら けいこ</small>	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の発音と文法の基礎を短い文例を学びながら、習得する。

講義の内容・授業スケジュール

最初の2ヵ月は、「ピンイン」の表記と、発音を中心に進める。その後は、配布するプリントと練習問題で文法の基礎を固める。

履修上の留意点

前回の失敗を繰り返さないこと。宿題は毎回提出すること。

成績評価の方法

前期・後期テストと2回の中間テストを行う。また、5題ほどの小テストを6回行い、出席等と合わせて評価する。

教科書

讚井唯允『着実にまなぶ中国語 入門編』（朝日出版社）2,300円

参考書等

第1回の授業時に。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	小川 隆 <small>おがわ たかし</small>	経A・商2・3・4年	2

履修上の留意点

発音と文法の基礎をゼロから学び直す。1年生のとき、なぜ失敗したか、自分でその原因をしっかりと反省して授業にのぞむこと。やり直しだからといってしよげる必要はないが、同じ失敗はくり返さないでほしい。授業ではまったくの基礎からていねいに学び直すので、やり直しの良い機会だと考えて、前向きに取り組んでもらいたい。

成績評価の方法

年間4～5回のテストと平常点。出席は最重視。必ず第1回の授業から出席すること。当たり前だが、遅刻・私語は厳禁。とくに卒業年次生は必ず初回に指示を受けること。

教科書

楊凱榮・張麗群『中国語への船出』（朝日出版社）2,200円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	胡 玉華 <small>こ ぎよく か</small>	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

- (a) 中国語の発音の方法、中国式ローマ字の発音表記（ピンイン）を理解しながら、繰り返し聞き発音し、中国語の発音の仕方を修得する。
- (b) 音声を通して、基礎的な単語や単語の結び付き方、配列順序、基本的な文句や表記を学ぶ。
- (c) 簡単な文章や会話を「聞き」・「話す」基礎力を養成する。
- (d) コトバだけではなく、コトバの勉強を通して中国或いは中国文化への理解を高める。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、発音の修得が中心となり、ピンイン表記の通りに正確な発音ができるようにする。後半は、発音を復習しながら、本文を通して簡単な日常会話をできるようにする。後期は、本文の学習によって、初級レベルに相当する語彙、文法を修得し、聞き、話し、読み、書く能力を総合的に身につけることを目標とする。

成績評価の方法

平常の学習態度、成果を重視し、各期末のテストとあわせて評価する。より楽しい授業を目指すため、授業の出席率と授業中の積極性を高く評価したい。

教科書

渡辺晴夫・徐祖瓊著『はじめて習う中国語』（白水社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	ひろ かね かなこ 弘 兼 加奈子	経A・商2・3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行なう。学生の理解度をみながら、ゆっくりと進めていく予定である。

履修上の留意点

中国語が苦手な学生も、とにかく欠席せず積極的に授業に参加してほしい。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

八木章好・鄭麗媚『はじめての中国語 ふうとんほあ』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	らん めい 蘭 明	経A・商2・3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の1ヵ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語 北京篇1』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II A 〔再クラス〕	ひら いし よしこ 平 石 淑 子	経A・商3・4年	2

講義のねらい

中国語の基礎を確認しながら、やや長い文章に慣れると同時に、それを通して現代の中国に対する知識を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

現代の中国事情に関する知識を深められるようなテキストを選び、発表形式で講読を進める。

履修上の留意点

①四分の三以上の出席を求める。②必ず予習・復習をすること。③授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

小テスト、レポートなどを含む平常点、及び期末試験による。

教科書

磯部祐子・郭明輝著『中国語で中国を読む』（白帝社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	いわさき ひろし 岩崎 皇	経A・商3・4年	2

講義のねらい

中国語の文章を読むための文法知識の獲得及び語彙量を増やすことが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、始めに本文を各自訳してもらった後、解説をするという形になります。単語のプリントを配布しますが、まず自分で訳さなければなりません。その際、疑問点は自由に質問して構いません。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、クラブ活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。

教科書

原田松三郎『エペンディのとんち話』(金星堂) 1,850円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	おおくぼ あき お 大久保 明 男	経A・商3・4年	2

講義のねらい

中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書

伊景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』(白水社) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ B 〔再クラス〕	り うん 李 雲	経A・商3・4年	2

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

本門史『中国語ポイント42』(白水社) 2,100円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。
水曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	李雲	経A・商3・4年	2

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

渡辺晴夫『はじめて習う中国語』（白水社）2,100円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。
水曜日・5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	蘭明	経A・商3・4年	2

講義のねらい

基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。

履修上の留意点

授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。

教科書

董燕・遠藤光暎『話す中国語 北京篇2』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	ま し も ゆ う い ち 真 下 祐 一	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

世界中で用いられているスペイン語の初歩を学びます。読み書きの練習を通し文法や語彙に関する知識を少しずつ蓄えていながら、正確な発音で生き生きとした表現ができるよう、また話し相手の言うことが確実に理解できるよう、総合的なスペイン語能力の開発を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) アルファベット・文字と発音 (2) 人称代名詞 動詞 SER (3) 冠詞 形容詞 (4) 動詞 ESTAR・1 (5) 動詞 ESTAR・2 (6) 時間・曜日・日付 (7) 規則動詞 (8) 動詞 IR (9) Yoの活用が不規則な動詞 (10) 天候の表現 (11) 目的語 人称代名詞 (12) 現在分詞 時の経過の表現 (13) 試験
後期 (14) 語根母音変化動詞 (15) その他の不規則動詞 (16) 動詞 GUSTAR (17) 比較 (18) 再帰動詞 (19) 不定主語文 (20) 命令 1 (21) 命令 2 (22) 過去未来形 (23) 現在完了 (24) 感嘆文 (25) 試験

履修上の留意点

初級の授業ゆえ根気よく勉強を続ける必要があります。学習の動機を保てるよう常日頃スペイン語圏のニュースに注意しててください。また、大きな声ではっきりと話す習慣が身につくよう積極的な姿勢で授業にのぞんでください。毎回かならずあります。練習用プリントも随時配布するのでファイルを用意しておくこと。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書

上野勝広 『新世紀のスペイン語』(同学社)

参考書等

西和辞典を一冊。『改訂版現代スペイン語辞典』(白水社)など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	お お い わ い さ お 大 岩 功	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説を演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。予習して損をすることは絶対にありません。なお、授業には辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法

数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教科書

寿里順平他著 『スペイン語－基礎と演習－』(教材マルコ社)
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書
有本紀明編『西和辞典』(白水社) 4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社) 4,000円
カルロス・ルピオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』(研究社) 4,860円
桑名一博編『西和中辞典』(小学館) 6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A・I B [再クラス]	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音、文法、語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～6課まで、後期は7課～12課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましよう。
また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

小池和良・上野勝広『太郎と学ぶスペイン語』（朝日出版社）2,100円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A・I B [再クラス]	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	みやちたつろう 宮地達郎	経A・商2・3・4年	2

- 講義のねらい** スペイン、中南米の国語スペイン語は国連の公用語6ヶ国語の一つでもあり、米国ではヒスパニックの人口比率が黒人を抜き最大となっている。米国におけるスペイン語の必要性は現在でも大きく、さらに増大することは必至である。従って、国際社会におけるスペイン語の重要性を認識させ興味を持続させることを目的とする。
- 講義の内容・授業スケジュール** 基礎文法の徹底が目的。前期は英語との違い、特に性数一致、動詞の変化（現在形）に重点を置く。後期は過去形、未来形、できれば接続法まで入ることが目的。
- 履修上の留意点** 欠席が多い場合、前回の授業内容が分からなければ、その回の授業についていけなくなる。スペイン語は他の外国語より易しいという先入観を持ったり、英語が苦手だからという簡単な理由で受講しても単位取得は簡単ではないことを認識して受講してほしい。
- 成績評価の方法** 出席率、授業中の態度、テストの3点を総合して評価する。
- 教科書** 宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）
- 参考書等** 推薦辞書：『現代スペイン語辞典（西とおよび和西）』（白水社）
『スペイン語ミニ辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	おぎのめぐみ 萩野恵	経A・商2・3・4年	2

- 講義のねらい** スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて読解力を培う。
- 成績評価の方法** 成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。
- 教科書** 萩野・浜岡『イベリア文化への誘い』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	ナバロ, ホワンJ.	経A・商2・3・4年	2

- 講義のねらい** よく用いられる規則動詞、不規則動詞の活用、定冠詞、不定冠詞、主格および目的格人称代名詞といったスペイン語の基礎を学びます。授業中にプリントを配布します。各課短い読解が最初にあり、次に文法のまとめと練習、最後に会話の練習です。
- 成績評価の方法** 各回におわりに小テストを行います。その結果の集計により評価します。特別試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	さ とう まりの 佐 藤 麻里乃	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書にそって解説を行い、関連する練習問題を解いて提出後、答え合せをする。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点

教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。授業時の提出物により評価するので、欠席をしないこと。

成績評価の方法

提出物の出来具合により評価する。

教 科 書

未定
辞書『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）

参 考 書 等

宮本博司『超入門スペイン語』（大学書林）

外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	ふく もと くみこ 福 本 久美子	経A・商3・4年	2

講義のねらい

基礎文法を一通り終えることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

始業時に、「授業方針」のプリントを配布する。

履修上の留意点

初心に戻り、やる気を持って授業を受けていただきたい。始業時は必ず出席して欲しい。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教 科 書

西川喬著『やさしく くわしいスペイン語の基礎』（第三書房）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	経A・商3・4年	2

講義のねらい

スペイン語Iで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

寿里順平他著『スペイン語-基礎と演習-』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	経A・商3・4年	2

講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つ型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディ・ランゲージを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしくないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音、イントネーションに力点をおき、後期はやさしい短文の聞きとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	さ の あま こ 佐 野 朝 子	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	木村英明 <small>きむら ひてあき</small>	経A・商2・3・4年	2

- 講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。
- 履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。
- 成績評価の方法

平常点を重視します。
- 教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	安徳ニーナ <small>あん とく にーな</small>	経A・商2・3・4年	2

- 講義のねらい

基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。
- 講義の内容・授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。
- 履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。
- 成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
- 教科書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）
- 参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	高木美菜子 <small>たかぎ みなこ</small>	経A・商3・4年	2

- 講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
- 成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。
- 教科書

プリント配布。
- 参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	経A・商3・4年	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

プリント配布。学生の学力に応じて教科書を選びます。

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	安徳 ニーナ <small>あん とく</small>	経A・商3・4年	2

講義のねらい

一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

《選択科目》

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	はやし 林 明人	経A・商選	4

講義の内容・授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようにできれば幸いです。

成績評価の方法

試験、発表、レポート、出席の総合評価。

教科書

教員が作成したものを用います。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	や 矢 しま 島 なお 直 子	経A・商選	4

講義のねらい

イギリス現代戯曲を読んで、現代の英語に慣れるとともに、想像力を働かせて読むことを学びます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストとして使う戯曲を、きちんと読んでいきます。

履修上の留意点

ほぼ毎回あたりますから、必ず辞書をよく引いて予習をしてくることを。教科書の手配は、出席する学生数を確認してからなので、初回の授業から出席してください。教科書が書店に入るまで、プリントで授業を行ないます。

成績評価の方法

平常点を考慮に入れ、前期末・後期末試験とともに総合的に評価します。

教科書

Anthony Neilson, *The Lying Kind*, Methuen, £7-99, ISBN0-413-77314-0

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	まきの 牧 野 輝 良	経A・商選	4

講義のねらい

英語の長文の内容理解に努める。

講義の内容・授業スケジュール

英文の構造をしっかりと学習し、毎時間3頁読み進めることを目安とする。

履修上の留意点

テキストの文章がかなり長いから、履修者は指名されたら内容の発表、和訳が出来るようによく自習しておくこと。

成績評価の方法

授業中の発表、和訳、期末テストを総合的に評価するが、英語の理解力に力点をおく。

教科書

『真の国際化とは』(成美堂) 980円 ISBN4-7919-1236-5 C1382

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	たけむら えつこ 竹村 恵都子	経A・商選	4

- 講義のねらい 今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。
- 成績評価の方法 評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。
- 教科書 未定

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	はやし あきと 林 明 人	経A・商選	4

- 講義のねらい CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。
尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回日の授業で抽選となります。
- 成績評価の方法 試験、レポート、出席の総合評価です。
- 教科書 教員が作成したものを用います。
- 参考書等 Sanseido's Dictionary of News English（三省堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	きし むと しげ かず 岸 本 茂 和	経A・商選	4

- 講義のねらい racism（人種差別主義）、sexism（性差別主義）、ethnicity（少数民族）などを鍵のことばとして、現代アメリカを読みときつつ、“September11, 2001”——2001年9月11日の、あの悲劇の日までいたる。
- 講義の内容・授業スケジュール 「研究」と銘打っているが、いわゆる講義ではなくふつうの英語の授業だ。
- 履修上の留意点 授業にはかならず英和辞書をもってくること。テキストの英語はそうとう密度が高いのでその点を留意しておくこと。
- 成績評価の方法 試験は、前期・後期の2回。出席はとる。欠席が授業日数の3分の1をこえたばあいは「不可」とする。
- 教科書 『現代アメリカの〈美德〉』（朝日出版社）1,400円
- その他 受講者は70人を上限とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	丹治弘昌 <small>たん し ひろ まさ</small>	経A・商選	4

講義のねらい

時事英語の講座を担当してまず痛切に感ずるのは、学生の修得している語彙と実際に新聞、雑誌あるいは放送においてニュースに使われる英単語の間にはかなりの差があることである。これは習得語彙の量的な不足もさることながら、質的な面での個々の単語の意味を包括的にとらえていないことからきていることと思われる。一つの単語について一つの語義をもって事足りると思ひ込んでいたり、また頻度数の低い意味にこだわって、ニュース全体の意味を取り違えたりすることが良く見受けられる。そこで時事英語の単語を段階的に、同時にジャンル（分野）ごとに分けて、かなり整理してみることにした。時事英語というと、むやみに英単語を暗記し、語彙数をふやさなければならないと思われがちだが、むしろ基礎的な語彙の活用や応用に習熟し、簡単なコメントを表現できることから始めて、段階的に語彙修得を重ねていって、質と量の両面から時事英語の学習をすすめることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行います。

教科書

『よくわかるニュース英語』（朝日出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	矢島直子 <small>や しま なお こ</small>	経A・商選	4

講義のねらい

時事英語の読み方を学び、慣れることを目標にします。

講義の内容・授業スケジュール

教科書で時事英語を読み、記事の内容・構成を学びます。慣れてきたら、時に、英字新聞の記事も使います。

履修上の留意点

学生にどんどんあててやってもらいますから、必ず予習をしてください。学生にあててやってもらいために、一クラスの人数を60名までとしますから、初回の授業に必ず出席してください。できれば初回から教科書を持ってください。

成績評価の方法

平常点を考慮に入れ、前期末・後期末試験とともに総合的に評価します。

教科書

馬場彰、佐藤和哉『Current English（『時事英語2004/2005年版』）』（成美堂）1,800円
ISBN4-7919-4826-2

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	おろ あい かず あき 落 合 和 昭	経A・商選	2

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」ともなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC[®]、TOEFL[®]、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。始めて口語英語を学ぶ学生には、かなりつらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講するように心がけてもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は40名しか入れないLL教場を使用するので、40名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験が全評価の40%とする。その内訳は前期試験が10%（現代口語英語の和訳と会話英作文）、後期試験は30%（ヒヤリングが10%、会話英作文が20%）である。課題、小テスト、授業中の発表は60%とする。課題は、一回の量はそれほど多くはないが、年に20回程度（ちなみに、去年の場合は、約15回だった）、小テストは5～10分程度のものを10回程度（去年は8回）、授業中の発表、一回の授業に、全員が最低一回は当てるように努める（去年の場合は、一人約20回）。出席率が3分の2を超えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『句動詞の実用総合演習』（マクミラン）
- 2) 『スモーク』（松柏社）1,750円 ISBN4-88198-457-8C3082
- 3) 『Oxford Phrasal Verbs Dictionary for Learners of English』（オックスフォード大学出版局）2,200円 ISBN0-19-431543-6

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	おおば なおき 大庭直樹	経A・商選	2

講義のねらい	<p>このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。</p> <p>第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいく、ことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。</p> <p>第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。</p> <p>第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。</p> <p>第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。</p>
--------	--

履修上の留意点	<p>受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。</p>
---------	---

成績評価の方法	<p>試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。</p>
---------	---

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	にしむら ゆうこ 西村祐子	経A・商選	2

講義のねらい	<p>インターネットやオーディオ・ビデオ機器を使用して、英語とコンピュータ操作の初歩を身につけるクラス。</p>
--------	--

講義の内容・授業スケジュール	<p>4-7月：インターネットによる英語サイトを利用した読解・作文。</p> <p>9-12月：英語によるプレゼンテーションをまとめたビデオをコンピュータで製作。</p>
----------------	---

履修上の留意点	<p>あくまでも英語のクラスなので、コンピュータソフトについて詳しく学ぶよりも英語習得をめざす学生の履修を進める。</p>
---------	---

成績評価の方法	<p>平常点（出席点、提出物など）で評価。定期試験は行わない。</p>
---------	-------------------------------------

教科書	<p>教場にて指定。</p>
-----	----------------

参考書等	<p>特になし。</p>
------	--------------

英 会 話 Ⅱ

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅱ	ジトウィッツ, P. D.	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

To build upon the skills mastered in English 1 by giving students intensive practice in listening, reading, writing and speaking.
 To help students learn techniques for increasing their vocabulary and their reading skills.
 To help prepare students who are interested in advanced English study for my advanced or study abroad.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will participate in debates, prepare speeches and practice scenes from plays and films.

成績評価の方法

Students are expected to attend at least 80% of all classes and to positively participate in class.

教 科 書

The Spirit of Broadway, The Spirit of America—An Introduction to the Broadway Musical by Philip Zitowitz, Eihosha, 2000.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅱ	プラスキー, J. C.	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

The goal of this course is for students to begin to express themselves beyond the basic level of proficiency about themselves and other topics about which they are familiar.

講義の内容・
授業スケジュール

This class will primarily consist of student discussions about themselves, school, family and friends. Emphasis will be placed on the exchange of information and the negotiation of meaning. These activities will be supplemented with grammar, pronunciation, intonation, stress and rhythm exercises as well as listening practice.

履修上の留意点

Students will be required to complete homework assignments before each class.

成績評価の方法

Students will be evaluated on the basis of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%) given during the last class meeting.

教 科 書

None.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 (夏季集中) II	ピアス, D.M.	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

This is a special intensive class for English conversation that advances students to a high level of speaking ability within a short period of time. It provides continuous conversational practice in quotidian conversational situations. It supplies special vocabulary and speech patterns for every sort of circumstance such as travel, banking, telephone, business exchange, etc. To the purpose of high scores in the important examinations intensive weekly review will be made of the major language aspects tested in TOEFL®, EIKEN, and TOEIC®. English composition and listening comprehension will be practiced by means of having students correct and improve materials they themselves have produced. The core of class activity will consist in accelerated practice in conversation. The method of the course is to render students active throughout the ninety minute period. Students will have opportunity to carry on intelligent dialogues about interesting topics at a level above ordinary conversation. The advanced conversation practice is especially good for students who need to show their English speaking ability when searching for employment. Short lectures will be given on sociological contrasts between Japan and America, following which students will develop personal reactions to the ideas conveyed in those topics.

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received.
EXAMINATIONS: Apart from the two final - semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: Your final grade is the quality of the employment that you can final after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will be able to get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high - quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!
Your academic grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

We will probably use *Social Practices*, publisher Themis Research Group, by Adam Pelagius, 2003, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English - Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

授業日程

前半		1	2	3	4	5	後半		1	2	3	4	5
8月2日	月	○	○	○	○	○	8月20日	金					
8月3日	火	○	○	○	○	○	8月23日	月					
8月4日	水	○	○	○	○	○	8月24日	火					
8月5日	木	○	○	○	○	○	8月25日	水					
8月6日	金	○	○	○	○	○	8月26日	木					
8月9日	月	○	○	○	○	○	8月27日	金					

英 会 話 Ⅲ

〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFL[®]のスコアー500点以上、TOEIC[®]のスコアー900点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウェルズ, J. K.	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

Welcome to my class! This is not a class to be shy. It is a chance to speak openly.
Students must have taken English conv. II to be a member of the class. A short interview will be given the first day of class. If you speak well already, please join the class and get better attendance is important!
I'm waiting to meet you and to improve your English. . .

成績評価の方法

However, attendance is very important! Small tests and quizzes will also be given.
LET'S HAVE FUN

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ラーズ, R.	経A・商2・3・4選	2

外
国
語

講義のねらい

The goal of this class is to give students fluency and confidence in English conversation by developing listening skills, and by discussing simple to moderately abstract / complex subjects. Students read stories and articles and extrapolate content verbally through questions and answers. Special attention is given to improvement in pronunciation and grammar.

講義の内容・
授業スケジュール

Conversations using present, past and future tense: talking about oneself, other people, families, one's likes and dislikes, professions and neighbors; forms of communication and communities around the world, cultural patterns and traits, travel; human interests and hobbies, habits, possessions; going shopping, shopping districts and specialties, currencies and numbers; crime; asking and giving directions; feelings and needs, etc. Some introductory explanation of word roots, English slang and commonly used phrases.

The class meets once a week for 90 minutes. After roll call, students follow the text that has a number of stories or essays with questions and answers and grammar exercises. Additional vocabulary is introduced and explained. After modeling a few examples, the text is discussed through pair-work and group-work. To enhance listening skills 'conversations on tape' are played. Students listen and answer relevant questions. Homework consists of revising, memorizing new vocabulary, written assignments and completing exercises in the Workbook. Extra materials including vocabulary and conversation games, and grammar exercises are used in addition to the text.

履修上の留意点

Students must be punctual. They must bring their Textbooks and Workbooks for every class. They should be ready for unannounced quizzes and tests.

成績評価の方法

There is no final exam. Students will be marked for (i) Speeches (on predetermined topics) and answering questions on the speech (ii) written tests and papers (iii) effort and class participation (hard work and improvement over the year). Students absent for more than 2/3 of the year will fail the course.

教 科 書

I) *New Headway English Course Pre-Intermediate Student's Book* by John and Liz Soars. Published by Oxford University Press. ISBN#0-19-436670-7

II) *New Headway English Course Pre-Intermediate Workbook* by John and Liz Soars. Published by Oxford University Press. ISBN#0-19-436672-3

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 会 話 Ⅲ (夏季集中)	レーン, C. M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The main aim of this class is to help students take control of their own learning and to help them gain confidence speaking English in front of groups of people. This will be achieved through presentations and small group discussions. The course will also concentrate on cultural and/or controversial issues and will teach the students to view value systems, which are different from their own.

講義の内容・授業スケジュール

Each week one student will be in charge of the content of the class. This means that they will at the beginning of the class they will give a presentation on their chosen subject. Then they will provide a discussion sheet related to their topic, which will be discussed either as a class activity or else in small groups. Students will be required to give two such presentations during the academic year.

The teacher will prepare some discussion subjects as well. How many will depend on how many students decide to enrol in the class. Also, the teacher will choose the material to be discussed only after consultation with the students as a whole. This is because it is felt that students tend to contribute much more when they are actually interested in the topic up for discussion.

履修上の留意点

1. The presentations and discussion sheets must be shown to the teacher at least one week before the student's presentation, so that the teacher can help the student with corrections and ideas.
2. Students must be able to communicate, or at least be willing to try to participate, within group discussions. Failure to do so will result in the student failing the course.

成績評価の方法

There is no exam for this course. However, students will be graded by the quality of their presentations and by the amount of their week-to-week participation.
 20% two take home essays (10% each essay)
 40% two presentations, with discussion sheet (20% each presentation)
 40% participation within the class (20% each semester)

教 科 書

There is no required textbook for this course. However students will be required to have a good dictionary and to buy a binder to keep the handouts and presentation copies in.

授業日程

前半	1	2	3	4	5	後半	1	2	3	4	5
8月2日 月	○	○	○	○	○	8月20日 金					
8月3日 火	○	○	○	○	○	8月23日 月					
8月4日 水	○	○	○	○	○	8月24日 火					
8月5日 木	○	○	○	○	○	8月25日 水					
8月6日 金	○	○	○	○	○	8月26日 木					
8月9日 月	○	○	○	○	○	8月27日 金					

英 語 L L II

〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	おお たい まさこ 太 田 雅 子	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

90分の授業の前半は、テキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は、映画の中の英語をききとれるように練習を重ねる。又、その中の表現を応用して、英語での自己表現力を養成する。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他履修上の注意点は、第一回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書

Listening Theory and Practice（開文社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	との いけ かず こ 外 池 一 子	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

最初はVOA、その後CNN・BBCなどの最新のニュースを教材にリスニング力の向上を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストに沿って進み、授業の進度に合わせて最新のニュースを取り入れて行きます。

履修上の留意点

英語ニュースの聞き取りにはニュースに関する背景知識が欠かせません。毎日新聞を読むこと。予習は当然ですが、復習をきちんとすること。カセットテープを必ず持参すること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教 科 書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	にしむら ゆうこ 西村 祐子	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルIを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルIIではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得していく。授業はすべて英語でおこない、質問もすべて英語でおこなう。学生同士の英語での話し合いなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC®700-750程度。LLIにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。
9-12月：LLIIIへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点を置いた授業となる。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを取得しておいてほしい。
テープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など）

教科書

テキスト：*Headway pre-intermediate* (Oxford Univ. Press.)
使用ビデオ：*Headway elementary*、および *pre-intermediate*、その他。（いずれも本学LL事務室に備え付けのものなので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。）

参考書等

使用ビデオ：*Headway (elementary)*、および (*pre-intermediate*)、その他。（いずれも本学LL事務室に備え付けのものなので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。）

その他

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを取得しておいてほしい。
電子メールアドレスは商業プロバイダーのものを持ちてきつくないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。

英 語 L L III

〈英語 LL IIIの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LL IIを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFL®のスコアー500点以上、TOEIC®のスコアー900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	久 保 ひさ子	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

英文のレクチュアが、聞き取れ、ディベートできる程度をめざしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを、聞き取り、書き取り、反復練習、録音、再生する。ビデオやスピーチや、ディスカッションを含む。

履修上の留意点

LL授業は、ラボによる実習の、授業のため、欠席しないようにお願いします。

成績評価の方法

試験と授業実習点

教 科 書

World Times of Japan, "Michigan Action English Step 6"

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	西 村 祐 子	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめたLLIのレベルに対して、レベルIIでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざした。このレベルIIIはそれより一層高度な会話表現力を習得することをめざす。LLII同様、授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、教員との応答によって授業がすすめられる。LLレベルIIを終了し、英検一級程度（TOEIC®800以上の学生を対象とする。このレベルに達していない学生はレベルIIを受講することをすすめる。

講義の内容・
授業スケジュール

4-7月：アメリカの大学教養レベルの社会科学系ビデオを素材として用いて英語でのサマリーの仕方を中心とする授業。
9-12月：英語での発表とエッセイ・ライティングを中心とした授業。

履修上の留意点

学生への要望：学生は課題提出用に全員電子メールアドレスを取得しておいてほしい。レベルIIIは例年高度なクラスなので途中で落伍しないためにも履修を決める場合にLLIIの内容とよく比較して決定してほしい。

成績評価の方法

平常点重視（出席率、プレゼンテーションなど）。定期試験はおこなわない。

教 科 書

教場で指示（主にプリントを使用）。

参 考 書 等

使用カセットテープ：Open University Program シリーズ（LL 事務室備え付け）。
使用ビデオ：Mapping the Landscape（ジェムコ出版、LL 事務室備え付け）その他社会科学系教育ビデオを適宜使用。

そ の 他

学生への要望：聞き取り練習用にテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもつてくること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L Ⅲ	レーン, C. M.	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

The main aim of this class is to help students gain confidence in speaking and listening to English. This will be achieved using a special interactive listening video course. The course will concentrate on cultural and news items. It will teach students to be able to understand and view American Television without subtitles.

The problem with most listening courses is that many English as a second language tapes or videos slow down the speech to help students understand every word.

However, when the students go out into the 'real world' they suddenly find that they are consequently unable to understand anything. This course, therefore, teaches students, not only to listen, but also to watch and guess from context. This is because about 40% of what people generally say is actually conveyed through body language, gestures or can be guessed due to the context of the situation.

This course will also teach basic conversational structures helping students to gain confidence speaking and having fun expressing their ideas.

講義の内容・授業スケジュール

Each week students will watch one ABC news story and through the use of specially designed vocabulary and listening exercises will by the end of the lesson be also to completely understand the related news story.

The teacher will also sometimes prepare other listening exercises, using real material, such as, music or popular TV dramas.

Students will also have time to practice speaking and to try to express their ideas using all the facilities of the new language laboratory.

履修上の留意点

1. To really improve their listening students must be prepared to attend every class and actively participate within the classroom setting.
2. Since the lesson is only once a week, students must also 'take control' of their own learning and must be prepared to study other listening activities outside of the classroom. They should ideally get into the habit of listening to some form of English everyday. Only then will students see a marked improvement in their listening skills.

成績評価の方法

- 20% attendance
- 40% exams
- 40% participation within the class

教 科 書

There is no textbook as photocopies will be provided. However, students need to buy a folder to keep all the copies together.

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語外国書講読	柴野博子 <small>しばのひろこ</small>	経A・商3・4選	4

- 講義のねらい** 異文化を理解し、またそれを介して自国の文化を反省することは、国際化の進展する今日、非常に大切なことです。そこでこの授業では、日本とドイツの間の異文化理解の問題を扱ったいくつかの文章を読んでいきます。それによって、ドイツ語の文章に慣れると同時に、日独の文化の相違についても、理解を深めることができればと思っています。
年2回の試験と平常点で行います。
- 成績評価の方法**
- 教科書** 教科書は使用しません。教材はコピーしてお渡します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事ドイツ語	野島利彰 <small>のしまとしあき</small>	経A・商3・4選	4

- 講義のねらい** 今年度はドイツやオーストリアが抱えている様々な社会問題を取り上げます。失業、世代間の紛争、麻薬などあまり明るい話題はありませんが、日本でも同じように問題となっている、あるいはこれから問題となるであろうことです。ドイツやオーストリアがそれらの問題をどのように解決しようとするのか、その努力を学びます。
- 講義の内容・授業スケジュール** フランクフルター・アルゲマイネ新聞を中心とし、ドイツ・オーストリアの有力紙からの記事を読みます。
- 履修上の留意点** 予習しやすいよう、授業終了の少し前に次回分の時事用語および文法事項の説明をします。訳読は希望者に任せます。
- 成績評価の方法** 成績評価は授業に対する貢献度によります。
- 教科書** 教材には記事のコピーを配布します。
- 参考書等** 初級用の辞書では載っていない単語が多いと思います。出来る限り前もって説明しますが、余裕のある人はより高度の辞書を持つことを望みます。
- その他** テーマとは別に記事にはこれまで高校や大学で学んできたさまざまな事柄が登場します。いわば皆さんはこれまで得た知識全体で記事を読むことになります。新聞記事のみならずさまざまなテーマを日本語でよく読んでいることが、ドイツの記事を理解する早道です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級ドイツ語	栗原万修 <small>くりはらかずのぶ</small>	経A・商3・4選	2

- 講義のねらい** 上級ドイツ語クラスは、3、4年生を対象にしたクラスです。1、2年次で習得した語学力をのばし、さらに内容を文法的にも正確に読みとり、より高度なドイツ語が身につくようにするのがねらいです。継続的に1年間つづければ、かなり力がつくはずですので、欠席しないでつづけてください。1年間が終わって、受講してよかったと思えるような内容にしたいと思っています。
- 成績評価の方法** 成績評価は、試験ではなく、平常の勉学経過を中心に総合的に判断します。
- 教科書** テキストは特定せず、受講者の語学力に合わせ、また受講者の希望も聞きながら、最適と思われるものをその都度、コピーして配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 L L I	<small>こばやし</small> 小林ゲアリンデ	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオ、カセットを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 L L II	<small>こばやし</small> 小林ゲアリンデ	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることが目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

Themen I neu

その他

ビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A (選)	い が ら し のぶ 五十嵐 信 子	経 A・商選	2

講義のねらい

1年間でドイツ語の基礎的な力をつけることを目指します。発音からはじまり、動詞、冠詞、名詞、形容詞、前置詞…とすすんで一通りの文法を学び、1年の最後には、辞書を引きながらやさしいドイツ語の文章を読むことができるようになるでしょう。ドイツ語を身につけることは、ドイツ語圏への鍵を手に入れることになるのです。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ドイツ人の発音のテープを聞き、それを声に出して発音することで、ドイツ語を聞き取り、また正しく発音することを学びます。
- 2) ドイツ語の文法をしっかりと理解し、くりかえし練習して身につけます。
- 3) 同時に良いドイツ語の例文に多く触れて、楽しくそのルールを感得します。
- 4) やさしいドイツ語会話を学びます。

履修上の留意点

新しい言葉を学ぶことは、本来楽しいことです。それは新しい世界への発見の旅だからです。しかし言語はどの部分も不可欠な建造物のようなものです。それゆえこの時間は、休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の試験および時間内の小テストを行ない、これに出席、授業への参加態度などを加味して評価します。

教科書

橋本政義・橋本淑恵著『楽しく身につくドイツ文法』(白水社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B (選)	の じま とし あき 野 島 利 彰	経 A・商選	2

講義のねらい

CDつき教科書を使い、音からドイツ語を学びます。ドイツ語は発音と文字とが一致しており、また難しい音も少ないので、練習すればすぐ上手に発音できるようになります。

講義の内容・授業スケジュール

教場ではCDを聞きません。授業でテキストの音読を指名します。自宅で十分CDを聞き、音読練習もしておいてください。

履修上の留意点

教科書には多数の練習問題があります。答えられるよう予習をしてください。

成績評価の方法

3課ごとに1回ヒアリングテストを行います。このテストと定期試験(筆記試験)の成績が評価の大きな基準になります。

教科書

三室・シュレヒト著『ドイツ語・プラクティッシュ<グリーン>』(三修社) 2,500円

参考書等

ドイツ語の辞書は最初は引きにくいのですが、すぐに慣れます。二年次でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書を買わず、しっかりした辞書にしてください。

その他

ラジオやテレビのドイツ語講座も役に立ちます。ぜひ視聴してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 Ⅱ (選)	まつ 松 岡 晋	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

初等文法の知識を基礎にして、より多くのドイツ語の文章を読んでみようというのがこの授業のねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は下に掲げる教科書に即して行われます。各課は読章（1～2ページからなるドイツ語の文章）、文法説明および練習問題からなっています。文法説明は最小限度にとどめ、ドイツ文の読解に専念します。独和辞典を毎回、必ず持参してください。なお教科書が早く終わった場合には、他の教材（短い新聞記事など）をコピーで配布して読む予定であります。

履修上の留意点

ドイツ語の文章に慣れてもらい、今後、新聞・雑誌等のより難しい文章を読むための基礎を築きたいと考えております。さほど難しい教科書をゆっくり進めますので、定期的な出席と最低限度の予習をお願いします。

成績評価の方法

成績評価は、最低限二回以上行われる筆記試験および平常点（出席率、担当箇所の和訳をきちんと行ったかどうか等々）によって行います。

教 科 書

諏訪功ほか著『文法読本——ヨーロッパとは何か（新訂版）』（郁文堂）2,000円

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語外国書講読	こ 小 玉 齊 夫	経A・商3・4選	4

講義のねらい

国際的な医療援助団体の活動をとおして、フランス語の読解力を高めるのが目的です。同時に、その前提となる国際協調・連帯の実相を知ることも。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、文法の復習も含めて、ゆっくり読んでいきます。後期は、他の資料にも依拠しながら、速読の練習もしたいと思っています。

履修上の留意点

かならず、授業には出席して、フランス語の文の仕組みを把握する意欲を高めていくこと。

成績評価の方法

前期・後期の試験、ふだんの課題のこなしかた、等によって評価します。

教 科 書

ブローマン著、桜井編 『ボランティアとその体験から—国境なき医師団の挑戦』（朝日出版社）1,800円 ISBN4-255-35157-0 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事フランス語	大野英士 <small>おおの ひでし</small>	経A・商3・4選	4

講義のねらい

『ル・モンド』『ル・ヌーヴェル・オブセルヴァトゥール』など、フランスを代表する新聞、雑誌から抜粋した記事を読むことで、文法力・語彙力をアップすると共に、フランスの現代社会の諸相を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

教室でプリントを配布し、ポイントや難解な表現についてあらかじめ説明しますので、出席者は十分予習してきてください。それをもとに出席者にあてて、順番に訳してもらいます。内容について互いに議論したり、適宜、関連した話題に関するテレビ・ニュースなども活用したいと思います。

履修上の留意点

分からないことは遠慮なく質問してください。何度でも丁寧に説明します。一方的に教師の説明を聞くのではなく、学生の主体的・積極的な授業への参加を期待します。

成績評価の方法

出席、平常点、前期末のテスト、定期試験の総合点で評価します。

教科書

教室でプリントを配布します。

参考書等

『ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級フランス語	小玉齊夫 <small>こたま なりお</small>	経A・商3・4選	2

講義のねらい

「上級フランス語」クラスでは、フランス語検定試験に合格することをめざして、文法事項の再確認とともに、聞きとり、作文、ならびに会話についての実力を養うことを目指しています。さしあたっては4級および3級に受かるように、1、2年次の知識を復習し、視聴覚教材も用いて、可能なかぎり、総合的なフランス語能力を身につけるよう、勉強していく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書を用いますが、他に、こちらで準備するプリント教材あるいはビデオ教材なども、使っていく予定です。前期は、主として、これまでの復習に、後期は、その展開という風に、段階を追って進んでいくつもりです。

履修上の留意点

出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのようにしたいと思いますので、「遊び心」も持って参加して下さい。フランス語の聞き取りは、「ある日、突然に」、それまで理解できなかった表現も、分かってくるものです。初めの「難しさ」にめげずに、突然訪れて来る「その日」をめざして、地道に練習を続けていく心構えがたいせつです。

成績評価の方法

随時提出する宿題や、年末の試験で評価しますが、仏検に合格することも目標なので、従って評価に含まれることにもなります。

教科書

石野、松山 等著 『フランス語21』（白水社）2,400円
ISBN4-560-06026-6 C3085

参考書等

『現代和仏小辞典』（白水社）。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L I	ラリア・三倉 ^{みくら} 、M.	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 『P.P.P (ペーパーペーパー) *Présenter Pratiquer Produire*』(第三書房) 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L II	ラリア・三倉 ^{みくら} 、M.	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

MONNERIE 著 *BIENVENUE EN FRANCE TOME 1* (Didier HATIER)
プリント資料を学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A (選)	井田 ^{いだ} 清 ^{きよ} 子 ^こ	経A・商選	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を中心に基本的知識をマスターできるように学習します。文法事項のみにかたよらず、パリの生活情景を主題とした読本としても楽しめます。文章体と会話体とを同時に身につけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

パリを中心とした生活が身近に感じられるよう、文章と会話を生きたフランス語として習得します。

履修上の留意点

辞書をひく手間を惜しまず、自分で面白さを味わってください。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。

教科書

山崎庸一郎他『パリのどこかで』(第三書房) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A (選)	伊藤 ^{いとう} なお	経A・商選	2

講義のねらい

一年間かけてフランス語文法の基礎を習得し、実際に運用できるようになるための基礎固めをします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、簡単な対話文をもとに基本単語と平易な日常表現によってフランス語の基礎を習得するよう組み立てられています。テキストにそって各文法事項を理解したうえで、聴き取り問題も含めた練習問題に取り組みます。発音練習と音読には力を注ぎます。テキストに付属する現地ロケによるビデオも覗いてみましょう。

履修上の留意点

選択科目ではありますが、できるだけ毎回出席し、授業には積極的に参加してください。

成績評価の方法

平常点、前・後期試験によって判定します。

教科書

藤田祐二『彼女は食いしん坊!』(朝日出版社) 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B (選)	大野 ^{おおの} 英 ^{ひで} 士 ^し	経A・商選	2

講義のねらい

フランス語を全く知らない初心者を対象に、フランス語の基礎的な文法知識を学習しつつ、特に、話す、聞く、読む、書く能力を無理なく、バランスよくつけてもらうことを目標として授業を行います。

講義の内容・授業スケジュール

『新エスカルゴ』は、各課ごとにそれぞれ「挨拶する」「自己紹介する」「家族・年齢を言う」などと、日常生活のなかで遭遇する実践的な課題を設定し、それを言うために必要な文法事項や、関連表現を学ばせるというきわめて合理的な構成になっています。1年で1冊を終わらせます。習った知識を確認するため『練習問題ABC』を適宜併用します。

履修上の留意点

授業中は、恥ずかしがらないで、大きな声で積極的に授業に参加してください。その上で、教科書に出てくる会話は暗記するぐらい声を出して、何度も読んでください。「練習」はできれば予習の段階で、あらかじめ準備してきてください。

成績評価の方法

授業中の小テスト、前期末のテスト、定期試験の三つの総合点で評価します。

教科書

藤田裕二著『新・えすかるご 1』(朝日出版社) 2,500円
加賀山孝子他『フランス語練習問題ABC』(早美出版社) 2,000円

参考書等

『フランス語動詞活用表』(駿河台出版社) 800円

その他

辞書等は、授業の開始時に簡単なガイダンスを行います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B (選)	菅原 猛	経 A・商選	2

講義のねらい

英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・授業スケジュール

I A を補完するかたちで授業を進め、1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点

教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法

平常の授業、平常試験と学年末試験をプラスし、総合的な評価を出す。

教科書

澤田直之・黒川学他著『アミカルマン—フランス語・フランス文化への誘い—』（駿河台出版社）2,500円 ISBN4-411-01093-3 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 II (選)	桑田 禮彰	経 A・商 2・3・4 選	2

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

長谷川公昭他著『時事フランス語（2004年度版）』（朝日出版社）

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語外国書講読	佐藤 普美子	経 A・商 3・4 選	4

講義のねらい

《声に出して読みたい》中国語で書かれた文学作品（主として詩歌、エッセイ、短篇小説）を読んでいます。

講義の内容・授業スケジュール

一つの作品を読み終えた後、必ずその文章（の一節）を暗誦してもらいます。

履修上の留意点

予習は不可欠です。

成績評価の方法

出席、予習の有無、暗誦テストによって総合的に評価します。

教科書

開講時、プリントを配布します。

参考書等

辞書は必ず用意して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事中国語	しお ばた しんいちろう 塩 旗 伸一郎	経A・商3・4選	4

- 講義のねらい

インターネットで中国の各サイトを訪れ、速読と精読の2種のアプローチにより、様々な文体を読み解く力を養う。併せて中国語入力や検索の体験学習も行う。
- 講義の内容・授業スケジュール

見出しとリード中心の速読は、ピンインのルビを振るソフトの導入により、その場で声に出して読むことができる。精読は、じっくりと文の構造を捕える練習を積む。
- 履修上の留意点

精読教材は予習が不可欠。
教材等、授業に関する情報は下記 URL に掲示するので常時チェックすること。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~siop/jiji.html>
- 成績評価の方法

平常点。
- 教科書

ネット上で採取し、上記 URL に掲示。
- 参考書等

辞書は『中日辞典』（小学館）、『中日大辞典』（大修館書店）、『講談社中日辞典』、『白水社中国語辞典』を推奨する。これらより薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安あがりな辞書は、役に立たない。
- その他

PC教場使用を要望しているが、教場変更の可能性もあるので、掲示に注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級中国語	かま や おさむ 釜 屋 修	経A・商3・4選	2

- 講義のねらい

比較的長い文章の解釈、実的な会話能力の向上をめざす。新聞文体、短篇小説、随筆等多様な文体に挑戦してもらう。
- 講義の内容・授業スケジュール

参加者が自らの関心の所在に沿って担当分野を選択し、朗読、翻訳を行う。教材を通して現代中国のさまざまな状況を理解し、討論する。
- 履修上の留意点

出席し、予習をきちんと行い、問題点の整理を行うこと。
- 成績評価の方法

平常点、授業態度を中心に判定。
- 教科書

プリントを配布する。
- 参考書等

中辞典以上の辞典を必要とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 L L I	佐藤 普美子	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

初級用のテープ教材を用い、会話と聴き取りの基礎訓練を行う。すでにIA-IBの単位を取得しているか、それと同程度の学習経験のある人を対象とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では基礎的な文法・文型の徹底的な習得を目指す。耳と口の反復練習を大量に行い、中国語の基礎を、文字でなく音で身につけてほしい。

履修上の留意点

予習は必要ないが、復習と自習は不可欠。また教科書付録のCDを活用して、毎日、中国語を口にし耳にしてほしい。

成績評価の方法

平常点（出席及び授業への参加意欲）を重視。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語 北京篇3』（朝日出版社）2,500円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 L L II	小川 隆	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

最初に発音の復習を行い、その後テープを使って、中級でいどの会話と聴き取りの練習をする。週1回、年20数回の授業では、練習量が絶対的に不足なので、授業のほかに毎日の音読と暗誦を課す。それさえ怠らないなら、現在の基礎学力に自信がない人でも、充分について行けると思う。

履修上の留意点

短期・長期の留学をめざす人は、ぜひこの科目をとるようにして下さい（個別に学習の相談に応じます）。

成績評価の方法

出席および毎回の暗誦の成果をもとに平常点評価。

教科書

楊凱榮『表現する中国語』（白帝社）2,400円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A (選)	釜屋 修	経A・商選	2

講義のねらい

中国語発音の基礎、語法のしくみについての基本理解の獲得を中心とする。ピンインの習得と正確な発音の学習に重点をおく。

講義の内容・授業スケジュール

週一回の授業なので学習量の不足が心配となる。課題の消化、テキストについているCDを活用した家庭学習が望まれる。

履修上の留意点

IB(選)とあわせて受講できるが、この科目のみを履修する人は、学習機会が週一回となるので欠席は大敵である。

成績評価の方法

出席状況、平常の学習の積極性、平常点と期末テストの成績等を総合的に判定する。

教科書

守屋宏則『フォーアップ初級中国語』（同学社）2,500円

参考書等

開講後指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (選)	宮本厚子 <small>みやもとあつこ</small>	経A・商選	2

講義の内容・
授業スケジュール

発音を学んだ後、会話文を通して、基本的な文法を学び、語彙を増やしてゆく。

履修上の留意点

毎回暗誦あるいは聞き取り（小テスト）を行うので十分に復習をして授業に臨むことが求められる。

成績評価の方法

年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点（暗誦・小テストを含む）で評価する。

教科書

『〈新版〉中国語はじめの一步』（白水社）2,200円。

その他

詳細は開講時に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I B (選)	蘭 明 <small>らんめい</small>	経A・商選	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一か月（4回に分け）において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語 北京篇1』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II (選)	松本丁俊 <small>まつもとあつとし</small>	経A・商2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

外国人である日本人が中国人に接したとき言うべき言葉、言うべき表現など実用面の中国語。中国語を学んでもない田中さん夫婦の北京旅行という設定で、挨拶から始まり、買物、食事といった日常生活に限られた会話を学ぶ。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、普段授業中の発音、練習問題、さらには出席点も加味する。

教科書

王元武・鶴島俊一郎『北京旅行』（白帝社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語外国書講読	ま しも ゆう いち 真 下 祐 一	経A・商3・4選	4

講義のねらい 新聞記事から文学作品まで様々な分野のスペイン語テキストの読解力を養います。精密な読解力は個性ある表現力の基礎ともなります。思考力を鍛え、感覚を研ぎ澄まし、感情を豊かにするための場として講読を役立ててください。今年はイスパノアメリカ文化史をテーマにします。

講義の内容・授業スケジュール
 前期 (1~3) 先住民文化 (4~6) アメリカの発見 (7~9) 植民地時代 (10~13) 独立期
 後期 (14~16) 独立後 (17~19) 近代化時代1 (20~22) 近代化時代2 (23~26) 現代

履修上の留意点 現代のスペイン語文に親しんでもらうため、できるだけ多量のテキストを読んでもらいます。予習復習は欠かせません。また個々の受講者の興味、関心、専攻と結びつけてテキストに関するコメントを求めます。動機を明確にしておきましょう。

成績評価の方法 毎回の積極的な授業参加と各回の達成度チェックによって評価します。

教科書 初回の授業でテキストと入手方法を伝えます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事スペイン語	ま しも ゆう いち 真 下 祐 一	経A・商3・4選	4

講義のねらい 新聞記事や雑誌のコラムを読みながら、スペイン語の報道言語、論説文に親しみます。日本で発行されているスペイン語新聞やインターネットを通して、日本の出来事がどのように伝えられているかにも注意しましょう。予習してきた文書を読むほか、その場での速読も課します。

講義の内容・授業スケジュール
 前期 1~3) 新聞記事のスペイン語 (スペイン) 4~6) 新聞記事のスペイン語 (メキシコ) 7~9) 新聞記事のスペイン語 (アルゼンチン) 10~13) 新聞記事のスペイン語 (その他の地域)
 後期 14~16) 雑誌コラム (国際情勢) 17~19) 雑誌コラム (文化) 20~22) 雑誌コラム (その他) 23~26) スペイン語で見た日本

履修上の留意点 予習・復習は欠かせません。スペイン語圏に真面目に関心のある学生の受講を期待します。

成績評価の方法 毎回の授業参加と、各回の達成度チェックによります。

教科書 随時プリントを配布します。インターネットも活用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級スペイン語	上野勝広	経A・商3・4選	2

講義のねらい

このクラスでは、スペイン語検定試験（3級・4級）に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。

講義の内容・授業スケジュール

作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。

履修上の留意点

「継続こそ力なり」です。休まずさぼらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。

成績評価の方法

年間4回の試験の結果（60%）と平常点（40%）を総合して評価します。

教科書

小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』（第三書房）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語LLI	ナバロ, ホワン J.	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語LLII	ナバロ, ホワン J.	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A (選)	みやち たつ ろう 宮 地 達 郎	経 A・商選	2

講義のねらい	スペイン、中南米の国語スペイン語は国連の公用語 6ヶ国語の一つでもあり、米国ではヒスパニックの人口比率が黒人を抜き最大となっている。米国におけるスペイン語の必要性は現在でも大きく、さらに増大することは必至である。従って、国際社会におけるスペイン語の重要性を認識させ興味を持続させることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	基礎文法の徹底が目的。前期は英語との違い、特に性数一致、動詞の変化（現在形）に重点を置く。後期は過去形、未来形、できれば接続法まで入ることが目的。
履修上の留意点	欠席が多い場合、前回の授業内容が分からなければ、その回の授業についていけなくなる。スペイン語は他の外国語より易しいという先入観を持ったり、英語が苦手だからという簡単な理由で受講しても単位取得は簡単ではないことを認識して受講してほしい。
成績評価の方法	出席率、授業中の態度、テストの3点を総合して評価する。
教科書	宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）
参考書等	推薦辞書：『現代スペイン語辞典（西とおよび和西）』（白水社） 『スペイン語ミニ辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B (選)	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	経 A・商選	2

講義のねらい	初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。
履修上の留意点	決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。
成績評価の方法	数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。
教科書	開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語Ⅱ(選)	おき かの まき じ 荻野 雅 司	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人とされるヒスパニック圏の人々を行う communication の術を身に付けることを狙います。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』(芸林書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語外国書講読	ひろ た ひで やす 廣田 英 靖	経A・商3・4選	4

講義のねらい

1~2年で得たロシア語の基礎力のうえにさらに読解や表現力の応用を身につけることを目標とします。最新ロシア情勢をふまえた読みもの、クロコディール、ノーヴォエ・プレーミヤ等を取りあげて様々なスタイルのロシア語文に馴れるようにします。ロシア語の文章を眼で追うだけでなく、その中に書かれている内容を正しく伝達することも重要です。このためには正しいイントネーション、発音、表現が必要なのは言うまでもありません。

授業では簡単な読みものを読むだけではなく、普通に話しているロシア人の声もきき、発話の練習もしてもらいます。

成績評価の方法

出席を重視し、平常点で評価します。

教科書

プリント配布

参考書等

『露和辞典』

その他

状況に応じて、総合情報センターの教場新システムを利用し、インターネットによるロシアのメディアをリアルタイムに解説、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事ロシア語	き むら ひで あき 木村 英 明	経A・商3・4選	4

講義のねらい

1991年のソ連邦崩壊以降、長く政治的、経済的に迷走を続けてきたロシア社会だが、この数年はプーチン政権下で一定の安定を取り戻しつつある。豊かな天然資源、人的資源に恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘めている潜在力は看過できない。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。テキストは適宜プリントの形で配布する。

履修上の留意点

各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会えるよう、アクティブな授業参加を望む。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級ロシア語	クロチコフ, Y.	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

会話練習。
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。
講読した内容について自由会話を行う。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

教場にて指示します。プリント配布。
学生の要望も考慮してテキストを選びます。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 L L I	^{あん} ^{とく} 安 徳 ニーナ	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語 I、II で学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。
日常の話題等についても自由に会話が出来ようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S, KHAVRONINA 著 *RUSSIAN AS SPEAK IT* (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 L L II	^{あん} ^{とく} 安 徳 ニーナ	経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい

日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)

その他

講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I A (選)	クロチコフ, Y.	経A・商選	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディ・ランゲージを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音やアクセントに重点をおき、後期は短文の読みや文法をくり返し学びます。

成績評価の方法

テストは行わず、平常点で評価。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円、プリント配布。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I B (選)	木村英明	経A・商選	2

講義のねらい

日本の隣国ロシアはソ連崩壊後の長い混迷から抜け出し、21世紀の経済的、文化的飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの習慣や文化にも触れていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語Ⅱ(選)	佐野朝子 <small>さのあさこ</small>	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語Ⅰで学んだことを基に、ロシア文学を理解できることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話を主体的に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で時々行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

S.KHAVRONINA 著 RUSSIAN AS WE SPEAK IT (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
朝鮮語ⅠA(選)	宋美玲 <small>ソンミリン</small>	経A・商選	2

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語(会話編1)』(白帝社)1,890円

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社)1,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮語 I B (選)	宋 美 玲 <small>そん み りょん</small>	経A・商選	2

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを旨とする。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語（会話編1）』（白帝社）1,890円

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮語 II (選)	宋 美 玲 <small>そん み りょん</small>	経A・商2・3・4選	2

講義のねらい

初級における基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。また、韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試み、資料の読解及びビデオの鑑賞を通して、実践的な習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

初級のテキストをもって、基本的な文法及び表現に基づいた文型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって読解の能力を強化していく。

履修上の留意点

テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

- 1) 野間秀樹著『至福の朝鮮語』（朝日出版社）2,900円
- 2) 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

その他

書き取りと聞き取りの練習のため、ノートを必ず持参すること。
『暮らしの単語集 韓国語』で単語のテストを行う。

4. 保健体育科目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを楽しむ能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4. 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (ジョギング)	〈内山雅博・佐藤政之〉	233
健康・スポーツ実習 (卓球)	〈内山雅博・牧野 茂〉	234
健康・スポーツ実習 (テニス)	〈江口 淳一〉	235
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈川村正義・牧野 茂〉	236
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	〈佐藤政之・館岡儀秋・三幣晴三〉	237
健康・スポーツ実習 (空手道)	〈高橋 俊介〉	238
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	〈館岡 儀秋〉	239
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	〈光 永 吉輝〉	240
健康・スポーツ実習 (体操&ウォーク)	〈三幣 晴三〉	241
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	〈田中佳孝・長濱友雄〉	242
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	〈鈴木 淳平〉	243
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(簡化太極拳)	〈大石 武士〉	243
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(サッカー)	〈秋田 浩一〉	244
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(卓球)	〈川村正義・山口良博〉	245
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(バドミントン)	〈牧野 茂〉	246
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(ソフトボール)	〈村松 誠・高橋俊介〉	247
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(室内球技)	〈鈴木 淳平〉	248
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(トレーニング)	〈山口 良博〉	249
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／基礎(簡化太極拳)	〈大石 武士〉	250
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／基礎(バドミントン)	〈長濱友雄〉	251
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／基礎(室内球技)	〈鈴木 淳平〉	251
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／基礎(卓球)	〈牧野 茂〉	252
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／基礎(バスケットボール)	〈牧野 茂〉	253
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／応用(簡化太極拳)	〈大石 武士〉	254
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／応用(ニュースポーツ)	〈大石 武士〉	255
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／応用(バドミントン)	〈長濱友雄〉	256
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／応用(室内球技)	〈鈴木 淳平〉	256
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／応用(バドミントン)	〈鈴木 淳平〉	257
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／応用(卓球)	〈牧野 茂〉	258

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

	1 時限 (経済-1)		2 時限 (商)		3 時限 (経済-2)	
火曜日	※佐藤	ジョギング	※三幣	体操&ウォーク	※牧野	室内球技
	光永	トレーニング	高橋	空手道	館岡	ゴルフ
	三幣	ゴルフ	牧野	卓球	高橋	空手道
	川村	室内球技	川村	室内球技	光永	トレーニング
	館岡	ソフトボール	佐藤	ゴルフ	三幣	体操&ウォーク
	江口	テニス	江口	テニス	江口	テニス
	内山	卓球	内山	ジョギング	内山	卓球
		館岡	ソフトボール			

保健体育

※は、科目の担当者

「生涯スポーツ実習 I ~ IV」開講種目一覧

(於：本校体育館)

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		
1 時限											
2 時限	長	前期・基礎	大	前期・応用	野	牧	前期・応用	野	前期・応用	野	
		バドミントン		ニュースポーツ※			卓球		バスケットボール		
	濱	後期・基礎	石	後期・応用		後期・応用	後期・応用	後期・応用	卓球		バスケットボール
		バドミントン		ニュースポーツ※		卓球	バスケットボール				
3 時限	長	前期・応用	大	前期・基礎	鈴	牧	前期・基礎	野	前期・基礎	野	
		バドミントン		簡化太極拳※			室内球技		卓球		バスケットボール
	濱	後期・応用	石	後期・基礎	後期・応用	後期・基礎	後期・基礎	卓球	バスケットボール		
		バドミントン		簡化太極拳※	室内球技	卓球	バスケットボール				
4 時限	大	前期・応用	石	木	鈴	野	前期・基礎	木	前期・応用	野	
		簡化太極拳※					室内球技		バドミントン		
	後期・応用	後期・基礎					後期・応用				
	簡化太極拳※	室内球技					バドミントン				

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

保健体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	うちやま ままひろ さとう まさゆき 内山 雅博・佐藤 政之	経A・商1必	2

講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目標とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩）
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：ジョギング（時間走、距離走、初歩のインターバルランニング）
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：12分間走
- 9 時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、
野外走、クロスカントリー）
- 10時限目：〃
- 11時限目：〃
- 12時限目：〃
- 13時限目：〃
- 14時限目：12分間走
- 15時限目：まとめ

保
健
体
育

履修上の留意点

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

出席を最重視するが、12分間走に於ける走行距離を得点に加えて評価する。

そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	うちやま まさひろ まきの しげる 内山 雅博・牧野 茂	経A・商1必	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 12 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 13 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 14 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (テニス)	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	経A・商1必	2

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目指す。さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り社会性を養うと共に、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ミニラリー
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本記述
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本記述
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	かわむら まさよし まきの しげる 川村 正義・牧野 茂	経A・商1必	2

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート2対1、ゲーム (1次リーグ)
- 4 時限目：ハーフコート3対2、ゲーム (1次リーグ)
- 5 時限目：ハーフコート4対3、ゲーム (1・2次リーグ)
- 6 時限目：ハーフコート3対3、ゲーム (2次リーグ)
- 7 時限目：ゲーム (2次リーグ)
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：ゲーム (トーナメント)
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットイング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	佐藤 政之・舘岡 儀秋 三裕 晴三	経A・商1必	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時 限 目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時 限 目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時 限 目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時 限 目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時 限 目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時 限 目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時 限 目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時 限 目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時 限 目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12 時 限 目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時 限 目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時 限 目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時 限 目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たか はし しゅん すけ 高 橋 俊 介	経A・商1必	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	たて おが よし あき 館 岡 儀 秋	経A・商1必	2

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1~2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：基本練習(キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他)
- 2 時限目： 〃
- 3 時限目：試合 (勝ち点制)
- 4 時限目： 〃
- 5 時限目： 〃
- 6 時限目： 〃
- 7 時限目： 〃
- 8 時限目：審判の仕方 (球審、1・3塁審)
- 9 時限目： 〃
- 10時限目：試合 (勝ち点制)
- 11時限目： 〃
- 12時限目： 〃
- 13時限目： 〃
- 14時限目： 〃
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与
 服装：ユニフォームの着用の必要はないが、実技のできる服装とする。
 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可とする。

成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

そ の 他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	みつなが よし てる 光 永 吉 輝	経A1必	2

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・
授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3 時限目：シ
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5 時限目：トレーニング
- 6 時限目：トレーニング
- 7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 9 時限目：トレーニング
- 10 時限目：トレーニング
- 11 時限目：トレーニング
- 12 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 13 時限目：トレーニング
- 14 時限目：トレーニング
- 15 時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (体操&ウォーク)	みぬさほるみ 三幣晴三	経A・商1必	2

講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。「Walk」は戸外で新鮮な空気に触れて実施し、それによって自分の感性を豊かにする。健康体操・ストレッチは体のバランスをチェックし矯正する。器械運動は、マットや鉄棒、さらにトランポリンなどの種目を中心にしてやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：同
- 4 時限目：器械運動（マット・トランポリン）
- 5 時限目：同
- 6 時限目：Walk
- 7 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 8 時限目：同
- 9 時限目：器械運動（男子：あん馬、つり輪、平行棒、跳馬）
（女子：平均台、段違い平行棒、跳馬）
- 10時限目：同
- 11時限目：Walk
- 12時限目：健康体操とストレッチ体操
- 13時限目：自主練習
- 14時限目：同
- 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階の体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守ること。Walkはグランドや戸外で実施する。

成績評価の方法

健康体操・器械運動・Walkは、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70点、実技点30点の割合で評価する。器械運動ではやさしい技から難しい技まで約40～50の課題を設定してあるので、受講生はその中から自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

そ の 他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (室内球技)	たなか よしたか ながはま ともお 田中 佳孝・長濱 友雄	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なう球技（卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール）の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球（ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム）
- 3 時限目：〃（サービスとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム）
- 4 時限目：〃（シングルスゲーム）
- 5 時限目：〃（シングルスゲーム）
- 6 時限目：〃（ダブルスゲームの進め方、ゲーム）
- 7 時限目：〃（ダブルスゲーム）
- 8 時限目：〃（まとめと評価）
- 9 時限目：バドミントン（ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム）
- 10 時限目：〃（ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス）
- 11 時限目：〃（ルール解説、シングルスゲーム）
- 12 時限目：〃（ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム）
- 13 時限目：〃（ダブルスゲーム）
- 14 時限目：〃（ダブルスゲーム）
- 15 時限目：〃（まとめと評価）

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール（パスとサーブの技術、ミニゲーム）
- 3 時限目：〃（アタックとブロッキングの技術、ルール解説）
- 4 時限目：〃（フォーメーション、ゲーム）
- 5 時限目：〃（ゲーム）
- 6 時限目：〃（ゲーム）
- 7 時限目：〃（ゲーム）
- 8 時限目：〃（まとめと評価）
- 9 時限目：バスケットボール（パス、ドリブル、ショットの基本技術）
- 10 時限目：〃（レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説）
- 11 時限目：〃（ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム）
- 12 時限目：〃（ゲーム）
- 13 時限目：〃（ゲーム）
- 14 時限目：〃（ゲーム）
- 15 時限目：〃（まとめと評価）

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	すずき じゅん べい 鈴 木 淳 平	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。
スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出席率の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

保健体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(簡化太極拳)	おお یش たけ し 大 石 武 士	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション	16時限目：太極拳動作について説明
2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動	17時限目：総合
3時限目：第一組 起勢・左右野馬分負・白鶴亮翅	18時限目：総合
4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肘	19時限目：総合
5時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾	20時限目：総合
6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭	21時限目：総合
7時限目：第五組 高探馬・右攔脚・双峰貫耳・轉身左攔脚	22時限目：総合
8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立	23時限目：総合
9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂	24時限目：総合
10時限目：第八組 轉身搬擋捶・如封似閉・十字手・收勢	25時限目：総合
11時限目：総合	26時限目：総合
12時限目：総合	27時限目：総合
13時限目：総合	28時限目：総合
14時限目：総合	29時限目：総合
15時限目：テスト	30時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習[再クラス] 集中授業コース(サッカー)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることで数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことの理解度を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

1日目午前：基本技術練習(キック、トラップ、ヘディング、ドリブル) チーム分け
1日目午後：
2日目午前：パス練習、ゲーム
2日目午後：ロングキック、ゲーム
3日目午前：ドリブル、ゲーム
3日目午後：シュート、ゲーム
4日目午前：ルールの解説、ゲーム
4日目午後：ゲーム(リーグ戦)
5日目午前：
5日目午後：

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること(6本ポイントのスパイクは不可)。靴下は厚手ものがよい。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)
(後期) 12月21日(火)～25日(土)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：午前10:00～12:00
午後13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(卓球)	かわむら まさよし やまくち よしひろ 川村 正義・山口 良博	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール(シングルス、ダブルス)を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 日目午前：オリエンテーション、ラケットティング、フォアハンドの基本形。
- 1 日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 2 日目午前：バックハンドショットの打ち方、バックハンドゲーム
- 2 日目午後：カットの打ち方と返球の方法、シングルスゲーム
- 3 日目午前：シングルスゲーム、ダブルスゲームのやり方
- 3 日目午後：ダブルスゲームの練習
- 4 日目午前：ダブルスゲーム
- 4 日目午後：ダブルスゲーム
- 5 日目午前：トーナメント形式の試合
- 5 日目午後：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)
(後期) 12月21日(火)～25日(土)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(バドミントン)	まきの 牧 野 茂	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットティング、ストロークの基本技術（回内、回外）
1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
①（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム
2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
②（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス
2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
①（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
②（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム
3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
③（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム
4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
5日目午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

履修上の留意点

- (1) 服装は、一般的な運動服とする。
- (2) 体育館シューズを用意すること。
- (3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)
(後期) 12月21日(火)～25日(土)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(ソフトボール)	むらまつ 村松 まこと 誠・高橋 たかはし しゅんすけ 俊介	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）
午後：同上
第2日目 午前：ゲーム
午後：〃
第3日目 午前：〃
午後：審判法・ゲーム
第4日目 午前：〃
午後：〃
第5日目 午前：〃
午後：〃

保健
体育

履修上の留意点

一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)
(後期) 12月21日(火)～25日(土)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(室内球技)	オズ 鈴木 じゅん べい 鈴 木 淳 平	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる基礎的な技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・バドミントンを行なう。チームスポーツ、個人スポーツに必要とされる要素(体力的・技術的)を意識してゲームを多く消化していく。
スケジュール(どの種目をどの程度やるか等)は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア(上下)、スポーツシューズ(室内用として履き分ける)の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)
(後期) 12月21日(火)～25日(土)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(トレーニング)	やまぐちよしひろ 山 口 良 博	経A・商2・3・4年	2

講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)
(後期) 12月21日(火)～25日(土)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：午前 10:00～12:00
午後 13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (簡化太極拳)	おお いし たけ し 大 石 武 士	経A・商1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経A・商2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経A・商3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経A・商4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛練するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右擱脚・双峰貫耳・轉身左擱脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬壺捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バドミントン)	なが はま とも お 雄 長 濱 友 雄	経A・商1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経A・商2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経A・商3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経A・商4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
 2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
- また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
- (1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
 - (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
 - 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
 - 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
 - 4 時限目：反面での簡易ゲーム
 - 5 時限目：〃
 - 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
 - 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
 - 8 時限目：
 - 10 時限目：
 - 11 時限目：
 - 15 時限目：
- 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 総合練習・ゲーム（ダブルス）

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (室内球技)	すす き じゅん べい 鈴 木 淳 平	経A・商1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経A・商2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経A・商3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経A・商4選	

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	まきの野 牧 野 しげる 茂	経A・商1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ		経A・商2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ		経A・商3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		経A・商4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り込むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 - (1) フォアバンド、バックハンドとも使うことが出来る。
 - (2) スマッシュを打つことが出来る。
 - (3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ラケットの持ち方、サーブ
- 3 時限目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
- 4 時限目：サーブ、フォアハンドドライブ
- 5 時限目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
- 6 時限目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
- 7 時限目：シングルスゲームの練習
- 8 時限目：
- 9 時限目：
- 10 時限目：総合練習、シングルスゲーム練習
- 11 時限目：
- 12 時限目：
- 13 時限目：総合練習、ダブルスゲーム
- 14 時限目：
- 15 時限目：

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	まきの野 しげる茂	経A・商1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		経A・商2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		経A・商3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (バスケットボール)		経A・商4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生業にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2マン・パス
- 3 時限目：フルコート2マン・パス①、ハーフコート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：フルコート2マン・パス②、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- 5 時限目：フルコート3マン・パス、シューティング・ドリル、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：2マン・ファースト・ブレイク①、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：2マン・ファースト・ブレイク②、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE③ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 13時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (簡化太極拳)	おお いし たけ し 大 石 武 士	経A・商1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経A・商2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経A・商3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経A・商4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分負・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右攏脚・双峰貫耳・軋身左攏脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 軋身搬蓄捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いし たけ し 大 石 武 士	経A・商1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		経A・商2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		経A・商3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (ニュースポーツ)		経A・商4選	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 9 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 10 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 11 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 12 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

保
健
体
育

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バドミントン)	ながはま ともお 雄 長 濱 友 雄	経A・商1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経A・商2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経A・商3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経A・商4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度をを養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4 時限目：総合練習
- 5 時限目：総合練習
- 6 時限目：
 - 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時限目：
 - 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 11時限目：
 - 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目：

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (室内球技)	すずき じゅん べい 鈴 木 淳 平	経A・商1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経A・商2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経A・商3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経A・商4選	

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。
スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	すず 木 じゅん べい 鈴 木 淳 平	経A・商1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		経A・商2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		経A・商3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (バドミントン)		経A・商4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。
また、技術課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことができる。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目：〃
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目：
 - } 総合練習・シングルスゲーム
- 11 時間目：
- 12 時間目：
 - } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15 時間目：

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	まさの 牧 野 しげる 茂	経A・商1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		経A・商2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		経A・商3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (卓 球)		経A・商4選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3時限目：サーブ、ラリー
- 4時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 8時限目： }
- 9時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13時限目： }
- 14時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バスケットボール)	まきの 牧野 しのぶ	経A・商1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経A・商2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経A・商3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経A・商4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3 時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4 時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE③ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：モーション・オフENSE①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：モーション・オフENSE②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：モーション・オフENSE③ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎/応用) テニス集中	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	経A・商選	1

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標としている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

(基礎)…初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用)…エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：ラケットティング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術
1日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ
2日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
2日目午後：ラリーの応用とミニゲーム
3日目午前：半面でのシングルスゲーム (ゲームを楽しむ)
3日目午後：〃 〃 (戦術と応用)
4日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
4日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ
5日目午前：トーナメント形式の試合
5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況 (出欠は午前午後之二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：7月18日 (日)～22日 (木)
7月18日更衣の上、午前10時にテニスコート集合
- (2) 実施時間：午前10：00～12：00
午後13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届 (事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限 (前期)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) テニス集中	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	経 A ・ 商 選	1

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド、グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニス兼打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通した人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・ 授業スケジュール

1日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認

1日目午後：ラリーの応用練習

2日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ

2日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指す。

3日目午前：ダブルスのルールとポジショニング

3日目午後：ダブルス (平行陣への移行)

4日目午前：ダブルス・ゲーム (メンタル面を考慮した)

4日目午後：シングルス・ゲーム (メンタル面を考慮した)

5日目午前：団体戦形式の試合

5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況 (欠けは午前午後の二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日 (火) ～25日 (土)
12月21日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届 (事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限 (後期)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) ゴルフ集中	み ぬさ はる み 三 幣 晴 三	経A・商選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講者同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目 実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義：スイングの基本
- 2日目 実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）
講義：マナーとエチケット
- 3日目 実技：打撃練習（7L、5L、1W・パッティング練習）
講義：ゴルフルール
- 4日目 実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目 実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
 - ① 一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
 - ② グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

そ の 他

- (1) 実施期間：12月21日（火）～25日（土）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎グラウンド集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、2,000円程度必要である。
- (5) 定 員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時間で提出すること。
特・4時間（後期）

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) ゴルフ	もり もと まちる 森 本 葵 他	経A・商・経B選	2

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月10日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月17日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 7月23日(金) 13:00~16:00 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月6日(月) 実技:12:50~17:20 打撃練習
講義:10:40~12:10 17:30~18:00《ゴルフスイングの基本》
※注意:1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月7日(火) 実技:13:30~16:30 打撃練習
講義:19:00~21:00《ゴルフのマナーやエチケット》
 - 3日目 9月8日(水) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義:19:00~21:00《ゴルフのルール・ラウンドについて》
 - 4日目 9月9日(木) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義:19:00~21:00《ラウンドの反省と総括》
 - 5日目 9月10日(金) 実技:9:00~12:00 ラウンド

履修上の留意点

- 生涯スポーツ演習 シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。
- 1) 実習日程:9月6日(月)~9月10日(金)の3泊5日(現地集合解散)
 - 2) 場 所:①宿 泊 ホテル安比グランド 電話0195-73-6400 FAX0195-73-5025
岩手県岩手郡松尾村安比高原
②練習場 玉山ゴルフクラブ 電話019-683-3100 FAX019-683-3100
③コース 安比高原ゴルフクラブ 電話0195-73-5311 FAX0195-73-5044
 - 3) 定 員:40名
 - 4) 集合解散:現地(ホテル安比グランド)
※希望者多数であれば、格安なバスの利用も可能です。詳細については、オリエンテーションにおいて説明します。
 - 5) 受講料:39,500円(左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間:5月24日(月)~6月5日(土)
 - 6) 服装・用具
 - ① 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - ② ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - ③ グローブは、必ず各自で用意すること。
 ※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。成績は、講義・実技の出席状況、講義・実技テスト、実習参加態度等、総合的に評価される。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) スキー・スノーボード	すずき じゅん べい 鈴木 淳平 他	経A・商・経B選	2

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月10日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月17日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 12月20日(月) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目 2月14日(月)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 2月15日(火)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 2月16日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 2月17日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 2月18日(金)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習 シーズン後期・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成17年2月14日(月)~2月18日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話 (0195) 73-5019
- 3) 定 員：スキー 30名
スノーボード 20名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：5月24日(月)~6月5日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1~3年生の追試験と重なっているのに特に注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1(後期)	かわむらまさよし 川村正義	経A・商1選	2

講義のねらい

「健康は人間が自分に贈れる最大のプレゼントである」ことを忘れず、生涯にわたり健康的でより豊かな生活の実現に必要な身体にかかわる教養を高めることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目 講義のねらいと内容説明
- 2時限目 からだの組織と機能について
- 3時限目 〃
- 4時限目 身体活動量と健康について
- 5時限目 ・スポーツマンは長生きか
- 6時限目 ・寝て暮らしたらどうなるか
- 7時限目 ・女性はなぜ長生きか
- 8時限目 健康づくりの運動と栄養
- 9時限目 ・有酸素運動と健康づくり
- 10時限目 ・筋力トレーニングの必要性
- 11時限目 ・脂肪と運動
- 12時限目 生活習慣病について
- 13時限目 健康に関する時事問題
- 14時限目 まとめ・「健康寿命をのばし自分の意志で自由に行動できる長生きほど幸せな生涯はない」
- 15時限目 筆記試験

成績評価の方法

出席状況と筆記試験で評価する。

教科書

特に指定しない。資料を配布。

参考書等

- 『健康と運動の科学』(大修館書店)
- 『運動・健康とからだの秘密』(近代科学社)
- 『スポーツと寿命』(朝倉書店)

その他

講義形式を基本とするが、運動生理の医学ビデオも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ論1(後期)	たかほし しゅん すけ 高橋俊介	経A・商1選	2

講義のねらい

健康スポーツ論学習の内容は健康で楽しい社会生活を送るためにもスポーツを行なうことは心身をリフレッシュさせ、体力の維持、健康の増進には欠かすことのできないことですが、体育とは何か、体育とは何をめざして行うのか、また現在のスポーツがどのような変革の道を進んで今日に至ったのか、その歴史を知ることによって体育の意義を知り、健康を考えることに役立つものである。

- I 1時限目：運動はなぜ必要か
- 2時限目：人類が生命を維持するのに必要な労働本能から生まれた運動
- 3時限目：一人の人間の健康が、国家、社会、団体に与える問題と運動
- 4時限目：体育によってどのような教育が考えられるか
- 5時限目：学校体育による教育
- 6時限目：社会体育による教育
- 7時限目：生涯体育による教育
- 8時限目：現在行なわれている運動がどのような経緯で生まれてきたか
- 9時限目：実用の面から生まれてきた運動
- 10時限目：健康の面から生まれてきた運動
- 11時限目：ホモルーデンスの面から生まれてきた運動
- II “レポート提出” 授業時間内に課題に対する独自の见解をレポートする。
- 12時限目：(例) スポーツの文化性、芸術性について
- 13時限目：(例) スポーツマン精神について
- 14時限目：(例) 大衆スポーツ論
- 15時限目：(例) スポーツと政治

成績評価の方法

出席を重視し、特にペーパーテストは行なわないが、レポート提出によって試験に代え評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	おおいし たけし 大石 武士	経A・商選	2

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E 処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

保健
体育

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参 考 書 等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カヅサ出版）1,700円
- 2 『最新図解救命救急－応急手当の手引き－』（小学館）700円

そ の 他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	むら まつ まこと 村 松 誠	経A・商選	2

講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代と言われる。健康に関する情報は、テレビに、雑誌にと、世に溢れている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、健康とは何であるかという、しっかりした健康観をもつことは、間違った選択をしないためにも大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中でもっとも健康な時期と言われるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この学生時代より多くは始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯に渡っての健康を考えて行く。

保健体育

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10 時限目：飲酒と健康
- 11 時限目：ストレスと健康
- 12 時限目：食べ物と健康
- 13 時限目：運動と健康
- 14 時限目：環境と健康
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

数回の小テストを行なう予定。

成績評価の方法

定期試験とその他を加味して評価する。

教 科 書

教科書は特に指定しないが、保健体育部編『保健体育概論』を参考図書とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	まきの 牧野 茂	経A・商選	2

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か① 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か②
- 4 時限目：健康とは何か③
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進① 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進② 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10時限目：日常生活と健康① 運動・栄養・休養①
- 11時限目：日常生活と健康② ♪・♪・♪ ②
- 12時限目：日常生活と健康③ 嗜好品と健康
- 13時限目：感染症について① インフルエンザ、結核
- 14時限目：感染症について② 性行為感染症
- 15時限目：筆記試験

成績評価の方法

筆記試験において、60点以上を合格とする。

教 科 書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参 考 書 等

『保健体育概論』（カツサ出版部）1,700円
他は、講義のなかで紹介する。

保健
体育

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

経 済 学 科 フ レ ッ ク ス A
商 学 科

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P.575)

科
專
門
教
育
目

Ⅱ. 専門教育科目

※印の科目については、経済学科フレックスBの頁を参照してください。

経済学概説《経A》〈森岡仁〉	279
経済学概説《経A》〈中濟光昭〉	279
経済学概説《経A》〈安元稔〉	280
経済理論ⅠA・資本の原理《経A》〈阿部弘〉	281
経済理論ⅠA・資本の原理《経A》〈大石雄爾〉	282
経済理論ⅠA・資本の原理《商》〈休講〉	
流通論基礎〈岩下弘〉	283
〔平成15年度以前入学生：商学総論〕	
経営学基礎〈百田義治〉	284
〔平成15以前入学生：経営学総論〕	
会計学基礎〈小栗崇資〉	285
〔平成15以前入学生：会計学総論〕	
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学〈島中貴〉	285
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学〈小野哲司〉	286
経済理論Ⅱ・マクロ経済学〈荒木勝啓〉	286
経済理論Ⅱ・マクロ経済学〈浅野克巳〉	287
経済学史〈福原好喜〉	288
経済史〈安元稔〉	289
経済政策〈飯田泰之〉	290
財政学〈半谷俊彦〉	291
金融論〈代田純〉	292
社会政策〈光岡博美〉	293
日本経済論〈小林正人〉	294
国際経済論〈徳永俊明〉	295
基礎ゼミ〈堀龍二、小西宏美、佐藤和子〉	296
経済学基礎〈森田成也〉	297
〔平成15以前入学生：経済学概説〕	
簿記論〈福島隆〉	298
簿記論〈渡邊智〉	299
簿記論〈石川祐二〉	299
企業論基礎〈劉永鶴〉	300
ファイナンス基礎〈須藤時仁〉	300
情報入門Ⅰ〈中濟光昭〉	301
情報入門Ⅱ〈中濟光昭〉	302
キャリア・デザイン〈前期：竹下睿驥、後期：徳永俊明〉	303
経済理論ⅠB・経済システムの原理〈有井行夫〉	304
経済数学〈池田宏〉	304
価格理論〈荒木勝啓〉	305
国民所得論〈吉野紀〉	306
計量経済学〈休講〉	
統計原論〈吉野紀〉	307
景気循環論〈野村信廣〉	308
現代資本主義論〈長島誠一〉	309
社会思想史〈休講〉	
日本経済史〈橋野知子〉	310

専科
教育
目

西洋経済史	〈友松憲彦〉	311
農業政策	〈溝手芳計〉	312
工業政策	〈奥山雅之〉	313
経済地理	〈兼子純〉	314
中小企業論	〈吉田敬一〉	315
公共経済学	〈鈴木伸枝〉	316
財政政策	〈休講〉	
地方財政論	〈篠原章〉	317
国際金融論	〈休講〉	
人口論	〈森岡仁〉	318
教育経済論	〈谷敷正光〉	319
労働経済論	〈休講〉	
環境経済論	〈山口由二〉	320
アジア経済論	〈鄭章淵〉	321
中国経済論	〈小杉修二〉	322
アメリカ経済論	〈瀬戸岡紘〉	322
ヨーロッパ経済論	〈休講〉	
EU統合論	〈休講〉	
現代西欧経済論	〈休講〉	
ロシア・東欧経済論	〈山縣弘志〉	323
※貿易実務	〈荒畑治雄〉	(598)
※通関実務	〈荒畑治雄〉	(599)
会計学総論《経A》	〈寺坪修〉	324
情報・経済ネットワーク論	〈中濟光昭〉	325
プログラミング論	〈濱本和彦〉	326
基礎情報処理Ⅰ	〈岩瀬弘和〉	327
基礎情報処理Ⅱ	〈岩瀬弘和〉	328
応用情報処理Ⅰ	〈岩瀬弘和〉	329
応用情報処理Ⅱ	〈岩瀬弘和〉	329
憲法	〈内田真利子〉	330
民法一	〈竹中智香〉	331
民法二	〈織田晃子〉	332
商法一	〈川口幸美〉	333
商法二	〈川口幸美〉	333
経済法	〈若林亜里砂〉	334
労働法	〈藤本茂〉	335
行政法	〈小林弘人〉	336
国際法	〈齋藤洋〉	337
※税法Ⅰ	〈奥村正郎〉	(609)
※税法Ⅱ	〈奥村正郎〉	(609)
原書講読Ⅰ・Ⅱ〔英語〕	〈岩波文孝〉	338
原書講読Ⅰ・Ⅱ〔英語〕	〈鈴木伸枝〉	338
原書講読Ⅰ・Ⅱ〔英語〕	〈溝手芳計〉	339
原書講読Ⅰ・Ⅱ〔独語〕	〈福原好喜〉	339
原書講読Ⅰ・Ⅱ〔中国語〕	〈小杉修二〉	340
原書講読Ⅰ・Ⅱ〔ロシア語〕	〈山縣弘志〉	340
原書講読Ⅰ・Ⅱ〔朝鮮語〕	〈鄭章淵〉	340
現代経済事情Ⅰ〔女性とビジネス〕	〈奥谷京子〉	341
現代経済事情Ⅱ〔日本の中小企業とアジア経済〕	〈高田好章〉	342

現代経済事情Ⅲ	〈 休 講 〉	
現代経済事情Ⅳ〔情報通信最前線〕	〈西岡洋子〉	342
※現代経済事情Ⅲ〔福祉ビジネス〕	〈田村一〉	(612)
現代産業事情Ⅰ	〈 休 講 〉	
現代産業事情Ⅱ	〈 休 講 〉	
※現代産業事情Ⅰ	〈阿部弘〉	(614)
※会計資格特別演習	〈鈴木勝浩〉	(615)
※情報資格特別演習Ⅰ	〈永井勇〉	(616)
※情報資格特別演習Ⅱ	〈井川俊実〉	(617)
※教員試験特別演習	〈谷敷正光〉	(618)
演習Ⅰ	〈浅野克巳〉	343
演習Ⅰ	〈阿部弘〉	343
演習Ⅰ	〈荒木勝啓〉	344
演習Ⅰ	〈有井行夫〉	344
演習Ⅰ	〈飯田泰之〉	345
演習Ⅰ	〈石川純治〉	345
演習Ⅰ	〈石川祐二〉	346
演習Ⅰ	〈岩下弘〉	346
演習Ⅰ	〈岩波文孝〉	347
演習Ⅰ	〈大石雄爾〉	347
演習Ⅰ	〈大吹勝男〉	348
演習Ⅰ	〈小栗崇資〉	348
演習Ⅰ	〈小杉修二〉	349
演習Ⅰ	〈小林正人〉	349
演習Ⅰ	〈齊藤正〉	350
演習Ⅰ	〈清水卓〉	351
演習Ⅰ	〈代田純〉	351
演習Ⅰ	〈鈴木伸枝〉	352
演習Ⅰ	〈瀬戸岡紘〉	353
演習Ⅰ	〈曾我信孝〉	353
演習Ⅰ	〈鄭章淵〉	354
演習Ⅰ	〈徳永俊明〉	355
演習Ⅰ	〈友松憲彦〉	355
演習Ⅰ	〈中濟光昭〉	356
演習Ⅰ	〈橋野知子〉	356
演習Ⅰ	〈百田義治〉	357
演習Ⅰ	〈福原好喜〉	358
演習Ⅰ	〈古沢紘造〉	359
演習Ⅰ	〈堀龍二〉	359
演習Ⅰ	〈溝手芳計〉	360
演習Ⅰ	〈光岡博美〉	360
演習Ⅰ	〈森岡仁〉	361
演習Ⅰ	〈森田佳宏〉	361
演習Ⅰ	〈谷敷正光〉	362
演習Ⅰ	〈安元稔〉	362
演習Ⅰ	〈山縣弘志〉	363
演習Ⅰ	〈吉田敬一〉	363
演習Ⅰ	〈吉野紀〉	364
流通経済論	〈大吹勝男〉	365

科
專
門
教
育
目
録

商マ	業一	政ケ	策テ	〈岩下弘〉	366
マ	ケ	イ	グ	〈曾我信孝〉	367
商		ン	学	〈石崎悦史〉	368
交			論	〈休講〉	
商			史	〈幸野保典〉	369
消	費	経	論	〈休講〉	
口	ジ	テ	ス	〈石坂正男〉	370
経	営	管	理	〈國島弘行〉	371
勞	務	管	理	論	堀龍二
経	営	管	略	論	〈休講〉
企	業	統	治	論	〈岩波文孝〉
現	代	企	業	論	〈桜井徹〉
財	務	管	理	論	白坂亨
経	営	学	史	論	小阪隆秀
非	営	利	組	織	論
経	営	情	報	シ	ス
経	営	情	報	シ	ス
財	務	会	計	論	小栗崇資
会	計	監	査	論	森田崇佳
会	計	情	報	論	石川純治
管	理	会	計	論	石川祐二
原	価	会	計	論	鈴木勝浩
税	務	会	計	論	柳裕治
経	営	分	析	論	〈休講〉
上	級	簿	記	論	福島隆
コ	ン	ピ	ユ	ー	タ
コ	ン	ピ	ユ	ー	タ
貿		易	論	古沢紘造	387
銀		行	論	〈休講〉	
銀	行	シ	ス	テ	ム
現	代	銀	行	事	情
証	券	市	場	論	〈休講〉
保	険	論	論	〈休講〉	
ビ	ジ	ネ	ス	事	例
ビ	ジ	ネ	ス	英	会
ビ	ジ	ネ	ス	英	会
演		習	習	Ⅱ	浅野克巳
演		習	習	Ⅱ	阿部弘
演		習	習	Ⅱ	荒木勝啓
演		習	習	Ⅱ	有井行夫
演		習	習	Ⅱ	飯田泰之
演		習	習	Ⅱ	石川純治
演		習	習	Ⅱ	石川祐二
演		習	習	Ⅱ	岩下弘
演		習	習	Ⅱ	岩波文孝
演		習	習	Ⅱ	大石雄爾
演		習	習	Ⅱ	大吹勝男
演		習	習	Ⅱ	小栗崇資
演		習	習	Ⅱ	小杉修二

演習	Ⅱ	〈小 林 正 人〉	398
演習	Ⅱ	〈齊 藤 正 人〉	399
演習	Ⅱ	〈清 水 卓 〉	399
演習	Ⅱ	〈代 田 純 〉	400
演習	Ⅱ	〈鈴 木 伸 枝 〉	400
演習	Ⅱ	〈瀬 戸 岡 絃 〉	401
演習	Ⅱ	〈曾 我 信 孝 〉	401
演習	Ⅱ	〈鄭 章 淵 〉	402
演習	Ⅱ	〈德 永 俊 明 〉	403
演習	Ⅱ	〈友 松 憲 彦 〉	403
演習	Ⅱ	〈中 濟 光 昭 〉	404
演習	Ⅱ	〈橋 野 知 子 〉	404
演習	Ⅱ	〈百 田 義 治 〉	405
演習	Ⅱ	〈福 原 好 喜 〉	405
演習	Ⅱ	〈古 原 沢 絃 造 〉	405
演習	Ⅱ	〈堀 龍 二 〉	406
演習	Ⅱ	〈溝 手 芳 計 〉	406
演習	Ⅱ	〈光 岡 博 美 〉	407
演習	Ⅱ	〈明 瀬 政 治 〉	407
演習	Ⅱ	〈森 岡 仁 〉	408
演習	Ⅱ	〈森 田 佳 宏 〉	408
演習	Ⅱ	〈谷 敷 正 光 〉	409
演習	Ⅱ	〈安 元 稔 〉	409
演習	Ⅱ	〈山 縣 弘 志 〉	410
演習	Ⅱ	〈吉 田 敬 一 〉	410
演習	Ⅱ	〈吉 野 紀 〉	411
ビジネスインターンシップ	Ⅱ	〈小 栗 資 崇 吉 田 敬 一 〉	411
インターンシップ	Ⅱ	〈浅 野 克 巳 〉	412
インターンシップ	Ⅱ	〈阿 部 弘 〉	412
インターンシップ	Ⅱ	〈瀬 戸 岡 絃 〉	413
インターンシップ	Ⅱ	〈德 永 俊 明 〉	413
インターンシップ	Ⅱ	〈友 松 憲 彦 〉	414
現代産業事情	Ⅲ	〈代 田 純 〉	414
演習	Ⅲ	〈浅 野 克 巳 〉	415
演習	Ⅲ	〈阿 部 弘 〉	415
演習	Ⅲ	〈荒 木 勝 啓 〉	416
演習	Ⅲ	〈飯 田 泰 之 〉	416
演習	Ⅲ	〈石 川 純 治 〉	417
演習	Ⅲ	〈石 川 祐 二 〉	417
演習	Ⅲ	〈岩 下 弘 〉	418
演習	Ⅲ	〈岩 波 文 孝 〉	418
演習	Ⅲ	〈大 石 雄 爾 〉	419
演習	Ⅲ	〈大 吹 勝 男 〉	419
演習	Ⅲ	〈小 栗 崇 資 〉	419
演習	Ⅲ	〈小 杉 修 二 〉	420
演習	Ⅲ	〈小 林 正 人 〉	420
演習	Ⅲ	〈齊 藤 正 人 〉	421
演習	Ⅲ	〈清 水 卓 〉	421
演習	Ⅲ	〈代 田 純 〉	421

演	習	Ⅲ	〈鈴木伸枝〉	422
演	習	Ⅲ	〈瀨戸岡絃〉	422
演	習	Ⅲ	〈曾我信孝〉	423
演	習	Ⅲ	〈鄭章淵〉	423
演	習	Ⅲ	〈德永俊明〉	424
演	習	Ⅲ	〈友松憲彦〉	424
演	習	Ⅲ	〈中濟光昭〉	425
演	習	Ⅲ	〈橋野知子〉	425
演	習	Ⅲ	〈百田義治〉	426
演	習	Ⅲ	〈福原好喜〉	426
演	習	Ⅲ	〈古原沢絃造〉	426
演	習	Ⅲ	〈堀龍二〉	427
演	習	Ⅲ	〈松尾孝一〉	427
演	習	Ⅲ	〈溝手芳計〉	428
演	習	Ⅲ	〈光岡博美〉	428
演	習	Ⅲ	〈明瀬岡政治〉	429
演	習	Ⅲ	〈森岡仁〉	429
演	習	Ⅲ	〈森田佳宏〉	430
演	習	Ⅲ	〈谷敷元光〉	430
演	習	Ⅲ	〈安元稔志〉	431
演	習	Ⅲ	〈山縣弘志〉	431
演	習	Ⅲ	〈吉田敬一〉	431
演	習	Ⅲ	〈吉野紀〉	432

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学概説	もり森 おか岡 じん仁	経A1必	4

講義のねらい

この授業では私たちが日常的に行なっている経済活動と経済学がどのように関係しているかを考える。したがってその範囲は広範なものになるが、内容は分かりやすく、身近で関心深い課題を取り上げる。

講義の内容・授業スケジュール

I. 社会科学としての経済学、II. 経済学者の学説と社会観、III. 経済分析の基礎理論、IV. 現代社会の経済問題

履修上の留意点

欠席せず、積極的な発言を希望する。

成績評価の方法

学年末試験。

教科書

兼清弘之『経済学の考え方』（文化書房博文社）1,980円 ISBN4-8301-0685-9

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学概説	なか中 ずみ済 みつ光 あき昭	経A1必	4

講義のねらい

本講義には次の2つの目的を設定しています。
 1. 「科学する」ことの練習
 2. 経済学の概観を理解する

講義の内容・授業スケジュール

まず、レポートなど大学で勉強する上で必要な技術を学びます。
 次に、市場とは何か、国際経済、環境経済、公共経済などのトピックスについて、アウトラインを説明します。
 講義では、技術や知識がしっかり身に付く様、小テストを頻繁に行います。

履修上の留意点

1. 毎回講義に出て、しっかりノートを取る。
 2. 卒業年次生であっても成績評価の方法は変わらないので留意すること。
 3. 再試験は行いません。

成績評価の方法

定期試験とレポート、小テストによります。

教科書

ノートをきちんととってください。

参考書等

必要に応じて紹介します。

科 専
門 教
育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 概 説	やすもと 安 元 稔	経 A 1 必	4

講義のねらい

この講義では、経済学的なものの方とは何かを経済学の基本的な概念を説明し、現代社会の経済問題について、新聞・雑誌・著書からの抜粋を解説しながら勉強します。現在私たちが生きている社会は、資本主義社会・工業化社会・市場経済社会などと呼ばれていますが、これらは必ずしも同じものではありません。その違いを理解するためには、現代社会の仕組み、成り立ち、歴史的な発展を知る必要があります。講義は以下の順序で進めます。

講義の内容・授業スケジュール

- 第 I 編 社会科学としての経済学
- 第 1 章 社会生活の経済的側面
- 第 2 章 経済学は何を研究する科学か
- 第 3 章 経済学の理論と政索
- 第 II 編 経済学的发展
- 第 4 章 アダム・スミスの自由主義経済学
- 第 5 章 ロバート・マルサスの人口論
- 第 6 章 ロバート・オーエンの空想的社会主義
- 第 7 章 カール・マルクスの資本主義批判
- 第 8 章 ジョン・メイナード・ケインズの経済学
- 第 III 編 経済分析の基礎理論
- 第 9 章 経済分析の視点
- 第 10 章 国民所得
- 第 11 章 価格と市場メカニズム
- 第 12 章 消費者の行動
- 第 13 章 生産者の行動と独占
- 第 14 章 雇用と失業
- 第 IV 編 現代社会の経済問題
- 第 15 章 資本主義と社会主義
- 第 16 章 資本主義の変容
- 第 17 章 福祉国家の理想と現実
- 第 18 章 高齢化社会の到来
- 第 19 章 女性の職業活動とライフスタイル
- 第 20 章 労働の倫理と主体性

履修上の留意点

配布する資料をよく読んで、まとめてもらいます。必修科目ですから、毎回出席し、指定された文献は必ず読むこと、これらを守ってください。

成績評価の方法

課題について書いてもらうレポート・期末試験の成績で評価します。

教科書

兼清弘行『経済学の考え方』(文化書房博文社) 1,922円 ISBN4-8301-0685-9

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済理論ⅠA・資本の原理	あ べ ひろし 阿 部 弘	経A1・2・3・4必	4

講義のねらい

「経済理論」という科目は「経済学の体系」を示すものです。この講義は、経済学部で設置している「経済理論」のⅠAであり、主としてマルクスの『資本論』を土台として講義・演習をおこないます。

一般に知られているように、『資本論』はその副題を「経済学批判」としていて、階級社会における、「体制的な経済学」に対する批判を展開しています。この講義では、現在の「経済」が抱えている問題は何か、その基本的な枠組について、『資本論』が19世紀半ば（1867年）に批判したその内容と現在の問題とを比較しながら、「経済学」はどうあるべきかを、受講生の皆さんと共に考えていこうと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- I 「富」とは何か
 - 1 「富」とは何か
 - (1) 「富」は人間にとって外部に存在する
 - (2) 「富」の人間からの乖離
 - (3) 「富」に支配された人間
 - 2 「経済学の方法」
 - (1) 「国富」
 - (2) 私的所有
 - (3) 価値
 - 3 人間社会と交換価値
 - (1) 商品
 - (2) 貨幣
 - (3) 商品カテゴリーと人間社会
- II 資本
 - 1 資本の生産
 - (1) 資本と商品
 - (2) 資本の本質
 - (3) 階級の生産
 - 2 資本の運動法則
 - (1) 資本の運動範式
 - (2) 資本の生産と再生産
 - (3) 階級社会の拡大再生産
 - 3 資本の蓄積と階級の生産
 - (1) 資本の蓄積
 - (2) 資本関係と人間労働
 - (3) 資本蓄積の本質
- III 資本主義生産様式と人間社会—まとめ

成績評価の方法

- 1 レポートによる評価
 - (1) 年間4回のレポート作成を通じて「成績評価」を行います。
 - (2) レポートは、第1回目：5月
第2回目：7月
第3回目：10～11月
第4回目：12月

このばあい、第1回目は講師が受講生全体に共通のテーマを提起します。そして2回目以後は受講生の皆さん各自が作成したレポートからのテーマをもそれぞれ設定します。

- 2 その他：「定期試験」、それに付随する「追試」、そして「再試」は行いません。

教科書

教科書・参考書等については講義の中で指定しますが、講義の性格上、マルクスの『資本論』は必読文献です。ですから、基本として次の文献を指定しておきます。

マルクス：『資本論』（大月書店）（国民文庫）1-9分冊。

池上惇：『文化経済学のすすめ』（丸善ライブラリー）

その他

講師との連絡方法

受講生と講師が連絡できるように、次に講師の住所等を掲載しておきます。

阿部弘：〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204 TEL03-3976-7984

研究室：第2研究館5F No.2538、TEL03-3418-9360

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済理論 I A・資本の原理	おお いし ゆう じ 大 石 雄 爾	経 A 1・2・3・4 必	4

講義のねらい

現在私たちが生活している社会は、資本主義社会と呼ばれています。それは、利潤追求を目的とする資本が支配的な力となり、生産や分配のあり方を規定している社会です。現代社会は、ますます複雑になってきていますが、それだけに、まず資本主義経済の仕組みや一般的な経済法則を学ぶことが、この社会で生活する私たちにとって不可欠なこととなります。この「経済理論 I A」では、科学的な方法に基づいて打ち立てられたマルクス経済学の理論を中心に講義します。

この講義では、できる限り理論と現実の経済問題との関連にも触れたいと考えています。受講生は、新聞・テレビなどの報道に注意し、世界や日本で生じている政治・経済の現実を知るよう心がけていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は、次のようなテーマの流れに沿って進める予定です。

1. 経済学とはどういう学問か
2. 商品の2要因と商品生産社会
3. 貨幣の本質と諸機能
4. 資本の一般的定式
5. 資本の生産過程
6. 賃金とは何か
7. 資本の蓄積過程
8. 資本の循環と回転
9. 社会的総資本の再生産と流通
10. 利潤と利潤率
11. 平均利潤率と生産価格
12. 資本主義経済の長期的傾向

履修上の留意点

経済理論は体系的なまとまりをもっているため、1年間を通して出席し、ノートをよくとることが必要です。

成績評価の方法

授業時間中に、何回か小レポートを書いていただく。
成績評価は、後期に実施される定期試験の点数を基礎に、小レポートの点数を勘案して行ないます。
再試験は実施しません。

教科書

金子ハルオ編著『資本主義の原理と歴史』（青木書店）2,000円

参考書等

大石雄爾著『商品の価値と価格』（創風社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
流 通 論 基 礎	いわ した ひろし 岩 下 弘	16入学生/商1選必	4
		経A1・2・3・4選	
商 学 総 論		11~15入学生/商1・2・3・4選必	
		10以前入学生/商1・2・3・4必	

講義のねらい

商学関係専門科目の理解に役立つよう基礎的な理論、問題等について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

最初の講義時に配布、説明する。

履修上の留意点

講義に出席する事、新聞を毎日読む事、インターネット等を利用して流通関係の情報を収集する事、質問する事。

成績評価の方法

出席、レポート、試験により評価する。

教 科 書

最初の講義時に指定する。

参 考 書 等

必要に応じて指示する。

そ の 他

講義。

科 専 門 教 育
目 録

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営学基礎	ひゃく た よし はる 百 田 義 治	16入学生/商1選必	4
		経A1・2・3・4選	
経営学総論		11~15入学生/商1・2・3・4選必	
		10以前入学生/商1・2・3・4必	

講義のねらい

この講義では、大学に入学して初めて経営学を学ぶ学生を対象に、できるだけやさしくその体系と内容を解説することを目的としています。

20世紀の科学として生成・発展した経営学は、21世紀を迎えて、ますます進展するグローバル化と情報技術革新のなかで、大きく変容しています。この講義では、できるだけこのような新しい経営現象を素材として、経営学の考え方や分析の仕方を理解できるようにします。もちろん、これまでの経営学の理論や企業経営の歴史的発展を学ばなければ、新しい経営現象を深く理解することはできません。楽しく講義しますが、学生諸君も積極的に取り組む姿勢を大切にしてください。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経営学（マネジメント）とは何か？
- II. 経営学100年の歴史から学ぶ（1）—効率性追求の歴史的発展—
1. 科学的管理法 2. フォード・システム 3. トヨタ・システム
- III. 経営学100年の歴史から学ぶ（2）—人間性追求の歴史的発展—
1. 人間関係論 2. 行動科学的管理論 3. 人的資源管理論
- IV. 経営組織における官僚制と民主制
- V. 経営環境と経営戦略
- VI. 企業の社会性と組織間関係
- VII. 国際経営の進展と経営組織
- VIII. 企業倫理と組織文化
- IX. 21世紀のビジネス・モデル

履修上の留意点

新聞を読み、テレビのニュース・報道特集などをみて、企業の経営・管理問題に関心を持って授業に参加して欲しい。現代の企業経営を巡る話題に関連づけて講義を進めます。

成績評価の方法

学年末試験およびレポートによって評価します。授業スケジュールにある項目ごとの小レポートも成績評価に加えます。

教科書

稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』ミネルヴァ書房、近刊。

参考書等

新書・文庫を中心に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計学基礎	おぐり たか し 小 栗 崇 資	16入学生/商1選必	4
会計学総論		11~15入学生/商1・2・3・4選必	
		10以前入学生/商1・2・3・4必	

講義のねらい

「会計学基礎」は会計学を初めて学習する皆さんを想定した会計学入門のための講義です。会計学の基礎知識を身につけることをめざして、興味深いケーススタディをまじえてわかりやすく講義します。また2年生以降の会計専門科目をどう学ぶべきかのガイダンスも行い、会計の高度な学習に向けた基本能力を養成します。

講義の内容・授業スケジュール

次のテーマに沿って講義を進めます。

1. 会計とは何か
2. 簿記・会計の仕組み
3. 会計理論と会計制度
4. 財務諸表の仕組み
5. 貸借対照表の内容
6. 損益計算書の内容
7. キャッシュフロー計算書の内容
8. 連結財務諸表の内容
9. 会計監査の基礎
10. 経営分析の基礎

科
専
門
教
育

履修上の留意点

会計学は専門知識や技術を1つ1つ理解して身につけていく学習方法が重要です。教科書中心に進めますが、副教材としてプリントも配布して使います。必ず出席してください。

成績評価の方法

中間試験および学年末試験により評価します。また時々、小テストやレポートも課して、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので注意してください。

教科書

永野則雄『ケースブック会計学入門』（新世社）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学	はたけ なか たかし 島 中 貴	経A1・2・3・4選必 商2・3・4選	4

講義のねらい

ミクロ経済学の基礎的な内容（家計が行っている経済活動、企業が行っている経済活動、市場メカニズムが果たしている基本的な役割、市場メカニズムがうまく機能しないケース）を一通り講義する。初歩的な数学（関数、微分）も併せて一から講義する。

この講義の目標とするところは、以下の2点である。

- (i) 経済のありさまを自分なりに把握するための技術を身につける。
- (ii) 論理的な思考ができるようになる。

講義の内容・授業スケジュール

授業は基本的に教科書に沿って行う。数学については、適宜プリントを配布する。

- (前期) (1) ガイダンス (2~4) 序章 (需要と供給) (5~7) 第1章 (消費の決定) (8・9) 第2章 (労働供給と貯蓄) (10~12) 第4章 (企業と費用) (13) 前期末試験
(後期) (14~16) 第5章 (生産の決定) (17~19) 第6章 (競争均衡) (20~22) 第7章 (独占と不完全市場) (23・24) 第11章 (生産物市場と不完全情報) (25・26) 第14章 (外部性と環境)

履修上の留意点

(1)で挙げた目標を達成するためにはまず、教科書に書かれている内容を正確に理解し、ミクロ経済学の理論体系をしっかりと頭に入れる必要がある。抽象的な理論の内容は、一度説明を聞いていただいただけではなかなか頭に入らない。根気よく予習・復習を行い、1年を通して頭を働かせ続けることが肝要である。

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていなければ、単位を与えることはできないので注意すること。追・再試験は実施する。

教科書

ジョセフ・E・スティグリッツ著、藪下史郎他訳『スティグリッツ ミクロ経済学』第2版 (東洋経済新報社) 4,400円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学	小野哲司	経A1・2・3・4選必 商2・3・4選	4

講義のねらい

この授業ではミクロ経済学の初歩的な講義を行う。学科、学年とも様々な人が受講する授業なので、経済学の知識がゼロでも理解できるように、最も基本的なところから話を進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

経済分析の基本である需要曲線と供給曲線の性質およびその変化、需要と供給の均衡についてまず理解してもらう。その後消費者余剰分析、独占均衡との比較、外部性の考慮など、均衡分析の応用を講義する。以下のような内容を予定している。

- 消費と需要
 - 消費者行動と需要
 - 需要曲線の性質
 - 需要曲線の移動
- 生産と供給
 - 企業行動と費用
 - 費用と供給曲線
 - 供給曲線の移動
- 需要と供給の均衡
 - 競争と市場の均衡
 - 経済状況の変化と価格の変化
- 生産の社会的利益
 - 消費者余剰
 - 生産者余剰
- 独占
 - 競争と独占の比較
 - 寡占とゲーム理論
 - 競争促進政策
- 外部性
 - 私的費用と社会的費用
 - 外部不経済と課税・補助金
- 無差別曲線分析
 - 無差別曲線
 - 需要曲線の導出
 - 労働供給分析などへの応用

成績評価の方法

基本的に試験による。中間試験および学年末試験の2回実施する。

教科書

授業中にプリントを配布するので、いまのところ教科書使用の予定はない。

参考書等

授業の中で言及する。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済理論Ⅱ・マクロ経済学	荒木勝啓	経A1・2・3・4選必	4

講義のねらい

乗数理論の完全理解、貨幣の役割と信用創造理論、IS-LM-BP 曲線による国際経済と国内経済の関係の理解、経済成長と技術進歩の理解という5つのメインテーマを中心にマクロ経済理論を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

授業の内容は次の通り。

- 国民経済の成立
- 所得の循環図式
- 国民所得の概念
- 国民所得の決定
- 政府・輸出入の導入
- 乗数理論
- ビルト=イン=スタビライザー
- 貨幣とは何か
- 信用通貨の成立
- 信用創造理論
- 貨幣数量説と古典派学説
- 流動性選好説
- LM 曲線
- 投資関数
- IS 曲線
- IS=LM 曲線による均衡実質国民所得の決定
- マンデル=フレミングの定理
- IS=LM=BP 曲線による国際経済と国内経済の関係の理解
- コブ=ダグラス生産関数に基づく経済成長率の算出
- ハロッド=ドーマーモデル
- 新古典派成長理論
- 期待理論その1
- 期待理論その2

成績評価の方法

再試験実施。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』(成蹊堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済理論Ⅱ・マクロ経済学	あさの かつみ 浅野 克巳	経A1・2・3・4選必 商2・3・4選	4

講義のねらい

現代経済学は「マクロ理論」と「ミクロ理論」からなる。「マクロ」とは大きいという意味を持ち、「ミクロ」は小さいという意味を持つ。このコースでは経済全体の動きを分析する「マクロ理論」の基礎を勉強する。具体的に言うと、景気の良し悪しは何によって決まるか？物価の変動はどのような要因によるものか。現在わが国の失業率は上昇傾向にあるというが、その要因は何か？さらに政府の経済活動についてどのように考えるべきか。また輸出・輸入、経常収支といった外国との経済関係をどのように捉えたらよいか。マクロ理論はこれらの疑問に答えるきわめて日常的で身近な分野であるといえる。しっかり勉強すれば、面白くてためになる「一粒で二度おいしい」基礎コースだ。なお、上に述べたように「ミクロ理論」とはペアであるから、必ず両コースを履修することが現代経済学を体系的に勉強するためには不可欠である。

講義の内容・授業スケジュール

年間のスケジュールは以下のとおりであるが、理解しにくいトピックスには十分時間をかけ説明するが、テキストなどで「読めばわかる」箇所は簡単に済ませ時間の節約を心がけたい。

1. マクロ経済活動とマクロ経済学の考え方
2. 国民経済計算と国民所得の考え方
3. GDP とは何か、それはどのようにして決まるのか
4. 独立支出の変化と GDP の関係
5. 消費と投資
6. IS-LM モデルと財政金融政策
7. インフレとデフレについて
8. 国際貿易
9. 政府の経済的役割
10. 総需要と総供給
11. 貨幣とマクロ経済
12. 貨幣政策と金融政策
13. 為替市場と金融政策
14. 経済成長と景気循環

専
門
教
育
目
録

履修上の留意点

現代経済学を勉強する上で不可欠なことは、実際の経済問題に強い関心を持つことだ。これらはさまざまなメディアをとおしてあふれるほど提供されている。とくに『日本経済新聞』やその他の新聞には毎日必ず目をとおすこと。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけスクラップブック等に整理しておくことよ。これは授業だけでなく、将来の就職活動に際しても役立ちおすめ。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的コースで使う数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要に応じて授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れろ！」のつもりで反復練習に限る。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを使ってシミュレーションしてみることも、面白く経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席し、ノートをしっかりととり、予習復習を実行すれば100点取るのも夢じゃない。なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケイタイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は直ちに退席してもらおう！

成績評価の方法

定期試験とレポートの成績を総合評価する。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）1995年。

参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）2004年。これは公務員試験の問題集だけど他の国家試験の受験対策にも十分通用する。できる限り問題練習をすることも理解を確実にする近道だ。自分で復習をかねて解いてみることをとくにお勧めする。

その他

毎回の授業の内容や主なトピックスをKOMSYに掲載するし、経済学部浅野ゼミのHPにも練習問題やその模範解答を載せるから、必要に応じて参考にしてください。また授業中わからないこと、その他問題点などあったら、いつでも質問相談に応じます。オフィスアワーを設けていますのでご利用ください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 史	ふく はら よし のが 福 原 好 喜	経A1・2・3・4選必 商2・3・4選	4

講義のねらい

学問としての経済学の成立は、近代ブルジョア社会の生誕と軌を一にしている。例えばイギリスの重商主義、フランスの重農主義、ドイツの歴史学派、そして又イギリスの古典学派などの経済諸理論は、一方では世界資本主義の発展段階に、そして他方ではその国民経済の編成過程によって色濃く規定されている。経済学の歴史を単に経済学者による経済理論の受容、継承の歴史としてではなく、近代ブルジョア社会の成立、並びにその変容の過程の中で捉えようと思う。近代における経済学の成立・体系化の歩みを、近代資本主義の成立並びに確立過程の中に位置づけるというのが私の基本的視角である。講義は重商主義段階からマルクス経済学の成立までを包括する。経済学の歴史とはまさしく近代ブルジョア社会の自己認識の歴史に他ならない。かかる観点から、学生諸君に経済学及び経済学史に対する心底からの興味を喚起できればと思っている。授業ははじめに近代ヨーロッパの生成史を英、仏、独について概括し、後半で各国経済学の成立史を講義する。

履修上の留意点

出席点を40点つけるので不真面目な人はとらないでほしい。大人数の授業となるので、私語居眠りは厳禁、ひどい場合は退場願う。授業は学生の興味ある具体的な話から始める。

成績評価の方法

出席もせず単位がほしいなどという不届きな学生がいるので出席を頻繁にとる。テストも厳格につけるつもりなので、それでもという熱意のある学生のみとってほしい。前期レポート、後期試験。再試実施。

そ の 他

一部で横道の話の方が面白いという風評があるが、学生の次元で経済学の話をしよという意図であって、本人には少し不本意な評価である。授業には全力投球する。PHS 禁止。

履修者多数で授業の混乱が予想される場合、履修者を、教室定員（300名）に制限する。第1回目の授業は必ず出席のこと。今年度どうしてもとりたい人は最初の時間に申し出ること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済史	やすもと 安元 稔	経A1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

この講義の目的は、社会科学的なものの見方ある程度身につけた諸君に、『経済史』という学問領域の特色を知ってもらうことです。経済学と歴史学双方の学問的特色をもった『経済史』とは、人間のどのような営みを対象にするのか。どのような切り口で対象に接近するのか。今、『経済史』では何が問題になっているのか。先ず、こうした点を簡単に説明します。

次に、外国の経済史を勉強する意味について考えてみます。特にわれわれが生活しているアジア社会の歴史的な発展とヨーロッパのそれとは、どこが、どのように違うのか。環境・政治的要因・技術のあり方は、どのように経済発展の道筋を決定するのか。幾つかの考え方を紹介しながら、広い視野からこの点を捉え直してみたいと思います。

講義の後半では、ヨーロッパの中世以降における経済発展を取りあげます。中世に生きる人々は、物質的な欲求の充足をどのような形で行ってきたのか。そのためにどのような制度・慣習・技術を自らのものとしてきたのかを考えてみます。およそ1000年から1500年のヨーロッパは、農業中心の社会でした。農業生産はどのような形で組織され、その生産性はどの程度のものであったのか。中世社会における都市の機能は、どのようなものであったのか。中世社会が崩壊し、近代の誕生を告げた1500年～1750年におけるヨーロッパの社会経済システムは、中世のそれとどのように違っていたのか。こうした点を具体的にみていきます。

最後に、現代社会の根幹を形造った産業革命＝工業化とは何であったのかを説明します。工業化の波は、次々にヨーロッパ諸国、さらにアジア・その他の地域に拡大して行きました。国際経済の生成と発展の時期、19世紀末期から20世紀初頭の世界経済のメカニズムを具体的に説明して行くつもりです。

科専門教育

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-------------------|--|
| 第1編 『経済史』とは何か | |
| Ⅰ 『経済史』の対象と課題 | 1. 「経済的営為」の特色
2. 『経済史』の課題 |
| Ⅱ 資源配分の方法 | 1. 市場経済と非市場経済（慣習・指令経済）
2. J・R・ヒックスの『経済史の理論』 |
| 第2編 外国経済史を学ぶ意味 | |
| Ⅰ ヨーロッパとアジア | 1. 比較史の視点 |
| Ⅱ 環境・政治支配の型と経済発展 | 2. E.L. ジョーンズの『ヨーロッパの奇跡』 |
| 第3編 ヨーロッパ経済の歴史的発展 | |
| Ⅰ 中世の経済と社会 | 1. 農業生産と土地領主制
2. 中世都市と商業組織
3. 中世社会の変容 |
| Ⅱ 近代の幕開け | 1. 農業革命・価格革命
2. 「長期の18世紀」の人口
3. プロト工業化 |
| Ⅲ 最初の工業国家 | 1. 産業革命をどう捉えるべきか
2. 人口の動向と農業革命
3. 18・19世紀イギリスの経済変動
4. 都市化と工業化 |
| Ⅳ 工業化の伝播と拡大 | 1. ヨーロッパ大陸諸国の工業化
2. イギリス経済の退潮 |
| Ⅴ 国際経済の生成と発展 | 1. 国際経済の構造
2. ヨーロッパとアジア |

履修上の留意点

この講義は、ヨーロッパを中心に、経済発展を歴史的に概観し、経済史的なものの見方を身につけることを主な目的にしています。聞き慣れない用語・概念や事実が多くでてきますので、億劫がらずに調べ、理解して行くことが必要です。受講者は、授業スケジュール・講義資料（講義中に配布します）をいつも持参して下さい。

成績評価の方法

前期試験を行わない代わりに、夏休みに参考書 E.L. ジョーンズ『経済成長の世界史』（仮題）を読み、レポート（200字詰め原稿用紙20枚以上＝40点配点）を提出してもらい、後期試験（60点配点）と総合して成績を評価します。追再試験を実施します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

E・L・ジョーンズ『経済成長の世界史』（仮題）（名古屋大学出版会）

そ の 他

授業の方法は、講義方式です。但し、OHP・ビデオ・資料を使って説明します。追再試験実施。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 政 策	飯 田 泰 之 <small>いい だ やす ゆき</small>	経A1・2・3・4選必 商2・3・4選	4

講義のねらい

経済に関する諸問題についてその政策的な対応のあり方を論じる。複雑な現状を理解し、対応策を探るためにも問題を整理し、論理的に把握することが必要である。経済問題に関してその導きの糸となるものこそが経済理論に他ならない。本講では基本的なミクロ経済学・マクロ経済学の知識を援用し「経済学的に妥当な政策」を論じることを中心的な課題とする。講義全体に必要となる基本ツールの学習後、(1)理論的な枠組みを解説し、(2)それを用いて政策的課題を論じ、(3)現実の事例・データで確認するというプロセスを繰り返すことで講義を進めていく。

講義の内容・
授業スケジュール

- イントロダクション
0. 経済学の基本思考
 - ・インセンティブ問題
 - ・機会費用の概念と分業
 - ・裁定取引
 1. データを用いた議論
 - ・経済データの特性と注意点
 - ・統計、実証分析の基礎知識
 2. 需給均衡分析
 - ・需要曲線と供給曲線
 - ・均衡の望ましい性質
 - ・最適課税論
 3. 市場の失敗
 - ・外部性と交渉による解決法
 - ・公共財問題とその最適供給
 4. 情報の経済学
 - ・情報の非対称性
 - ・フィナンシャルアクセラレーター
 - ・不良債権問題は重要か？
 5. 価格硬直性
 - ・財、労働、資金市場の硬直性
 - ・価格硬直性とインフレーション
 6. 法と経済学（時間に余裕があれば）
 - ・犯罪抑制への厳罰化効果
 - ・量刑段階主義の必要性
 7. GDP 統計
 - ・国民経済計算
 - ・3面等価定理とISバランス
 8. マクロ経済学の基礎知識
 - ・マクロの需要と供給
 - ・供給能力と実質需要制約
 9. 金融市場と金融政策
 - ・マネー関連統計と信用創造過程
 - ・金融政策の手法と実際
 10. 国際収支統計
 - ・国際収支統計と為替相場制度
 - ・投機アタックと通貨危機
 11. 日本経済の現状
 - ・80年代バブルの生成と崩壊
 - ・財政金融の不況レジーム
 12. デフレ危機とその対策
 - ・デフレ危機とはなにか
 - ・需要創出型構造改革論
 - ・リフレ政策の根拠と方法
 13. おわりに

専 科
門 教 育 目

履修上の留意点

出席は問わないかわりに講義中の私語等には厳しく対応する。

成績評価の方法

2回のレポート提出と後期試験。再試験は行わない。

教 科 書

飯田泰之『経済学思考の技術』（ダイヤモンド社）2003年

参 考 書 等

その他の参考文献に関しては講義の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財政学	はんやとしひこ 半谷俊彦	経A1・2・3・4選必	4
		商2・3・4選	

講義のねらい

政府（国や地方自治体）の経済的役割は市場経済を補完することであり、これには①資源の効率的配分、②富と所得の再分配、③経済の安定化がある。この授業では、こうした目的を達成するためには、政府がどのように制度を持ち、どのように行動すべきであるのかを、主にお金の集め方と使い方という観点から学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は政府が持つ経済手段（財政制度）を学ぶ。

1. 予算制度（政府によるお金の管理）
2. 政府支出（政府によるお金の使い方）
3. 租税制度（政府によるお金の集め方）
4. 財政調整（国と地方自治体の間の任務と財源の分け方）

後期は政府の経済活動（財政政策）を学ぶ。

1. 資源の効率的配分（政府による財・サービスの供給）
2. 富と所得の再分配（所得格差の縮小）
3. 経済の安定化（景気変動の抑制、経済成長の促進）

履修上の留意点

財政学は、政府の活動を通じて私たち国民の生活を向上させるにはどうすべきかを考える学問である。授業では原理・原則を中心に学習を進めるが、そうした理論は実際の政治状況との関連の中で始めて意味を持つ。日頃から新聞に目を通し、現在は何が問題となっているかを知っておくことが望まれる。

成績評価の方法

原則として前期末および学年末の試験により評価するが、出席状況も加味する。

教科書

里中恆志・八巻節夫編著『新財政学〔改訂版〕』（文眞堂）2002年

科専門
教育
目録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
金 融 論	代 田 純 <small>しる た じゅん</small>	経A1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

4～5月においては、金融入門として、金融論の基礎について説明する。金融とは何か？についてまず解説する。資金の貸借関係としての金融について説明し、部門間のマネーフローについて説明する。また、金融の区分について解説し、間接金融、直接金融についても説明する。

6～7月においては、まず小切手と手形について説明する。ついで、金利形成の仕組み、短期金融市場と長期資本市場の役割、中央銀行の金融政策について解説する。

9～10月においては、金融の証券化、換言すれば間接金融から直接金融へのシフトが進んでいることを明らかにする。80年代以降の株式発行増加、90年代に入ってから社債発行増加によって、企業金融は証券形態での資金調達を増加させた。90年代後半からは、海外に居住する外国人投資家による日本株投資も増加している。

11～12月においては、日本の証券市場の構造変化について説明する。外国人投資家による日本株投資が増加する一方、株式相互持ち合いが崩壊している。また日本においても日本版401Kなど年金基金が株主として成長しつつある。株式保有構造の変化に伴い、日本型経営にも変化が生じていることを明らかにする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 金融入門 部門間資金フロー 金融についての諸学説
- 2 小切手と手形、金融市場、中央銀行
- 3 金融の証券化 間接金融から直接金融へ
- 4 証券市場の構造変化

履修上の留意点

出席は問わないが、私語は禁止します。2回生以上の履修が望ましい。

成績評価の方法

定期試験による。再試験は実施しない。但し、レポート提出者には加点する。

教 科 書

前期はテキストの指定はしない。
後期は代田 純『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済新報社）2001年を使用する。

そ の 他

授業は原則としてOHP、もしくはパワーポイントを使用する。環境問題的理由から板書は必要最小限にとどめる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 政 策	みつ おか はく み 光 岡 博 美	経A1・2・3・4選必	4
		商2・3・4選	

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々々の社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。但し、受講者が多い場合は実施できない場合もある。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 論	こ ばやし まさ と 小 林 正 人	経A1・2・3・4選必 商2・3・4選	4

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は、高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」（とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高）をのりこえてきた。しかし今日の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむには、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について調べる必要がある。講義ではここに力を注ぐ予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 戦後日本経済の展開過程
景気の現状と雇用情勢
戦後改革
日本の高度経済成長：歴史とその原因
産業政策の役割
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
2. イノベーションと産業発展
産業構造の理論と歴史
主要産業の歴史：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
日本型経営システムの意義。欧米諸国との比較
製品の安全性とPL法
3. 日本の経済発展の総括と展望
平成不況の意義
情報通信革命（インターネット）

履修上の留意点

講義資料は一度しか配布しないので確実に収集し、保管する。講義資料なしで定期試験を受けることはむずかしい。講義ではOHPなどをひんばんに使うので、見やすい位置に着席すること。板書はあまりせず、プレゼンテーション中心の講義である。講義の節目に小テストを実施することもある。

成績評価の方法

学期末テストと小テストの総合評価による。試験は論述式である。再試験は実施しない。

教 科 書

なし

参 考 書 等

適時指定する。

そ の 他

成績質疑応答では講義資料を持参しなければならない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経済論	徳永俊明	経A1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていたことが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

科 専
目 門
教 教
育 育

講義の内容・授業スケジュール

〈講義のテーマ（予定）〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日＝第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱の一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済
貿易・国際通貨制度・資本輸出——〔援助〕と多国籍企業・〈南北問題〉と新国際経済秩序
- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績評価の方法

成績は世界経済の基本事項、世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニ・レポート（3回予定）および学年末レポートで評価します。（レポート評価のため追・再試験は行いません。）

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎ゼミ (前期)	堀龍二・小西宏美 佐藤和子	16入学生/商1選	2

講義のねらい

基礎ゼミは、勉学意欲に燃えて入学してきた新入生の皆さんに、これからの学習の道案内をするとともに、学習のための基礎知識とスキル（学習技術）を身に付けてもらおうというねらいで設けられた科目です。新聞を広げてみると、私たちの暮らす社会には実に様々な問題があることがわかります。社会科学、とくに経済学や商学や経営学を勉強するということは、新聞に載っている様々な問題がなぜ生まれてくるのか、それをどうやって解決したらいいのかについて事実を正確に認識して考えることです。そのためには、まず基礎知識を身に付けてもらいたいのです。その中で、どのような問題であろうと興味が湧いてくればしめたものです。

興味が芽生えた問題をさらに追求しようとするときにも、基本として「聴く、読む、調べる、整理する、書く」といった学習技術が大いに役に立ちます。たとえば、講義で聴いたことをノートにとるだけでもそれなりのコツが必要です。ノートはとったけれども、後で見直してみたら何のこともやらさっぱり、というのでは役立ちません。基礎ゼミでは、具体的な問題を皆さんに紹介して興味を喚起しながら、同時にそれを題材にして、学習のための知識と技術を演習形式で身に付けてもらうようにしています。

講義の内容・授業スケジュール

内容は、大別して(1)基礎知識の習得（5回程度）、(2)学習技術の習得（5回程度）、(3)それらの活用としてレポートの作成とプレゼンテーション（4回程度）、の3つを柱としている。

本ゼミは商学科の新入生を対象としているので、ここでの基礎知識とは商学科における基礎科目全般に渡って必要とされるような基本的・常識的レベルの知識をさしている。たとえば、高校時代の政治・経済のテキストに登場するような知識である。

学習技術の内容は、主に、ノートのとり方、本の読み方、要約の仕方、情報収集・整理の仕方、レポートの書き方などである。これらを具体的な問題を題材にしながら実習する。

最後に、それぞれの興味ある問題に関してレポートを作成し、それをプレゼンテーションしてもらう。

履修上の留意点

基礎ゼミが「全員履修」となっているのは、この科目が重要であることを示している。理由もなく欠席しないように望む。

成績評価の方法

出席、努力度、レポート、平常点で評価する。

教科書

担当者がそれぞれ決定する。

参考書等

担当者が適宜紹介する。

その他

基礎ゼミで知識と学習技術を習得し、社会問題への興味を養い、大学での4年間の勉学に大いに役立ててほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学基礎	もり 森 たい 田 せい 成 や	16入学生/商1選	4
経済学概説		15以前入学生/商1必	

講義のねらい

経済学は、人々の生活や仕事にとって最も重要な領域を科学的に解明しようとするものです。経済学はけっして、難しいカタカナ言葉や数式が飛び交う世界だけではありません。労働と生活に密着し、人々がよりよい、より人間らしい生活と労働を展望し、実現していくために必要不可欠なものです。しかしながら、この学問は同時に、自然科学などと違って、経済を論じるその人の立場によって大きく左右されるものでもあります。普通の生活者や働く人々の視線で経済を見ていくことを学びます。

講義ではまず、前期で、基本的な経済学の基礎理論を学び、資本主義経済の基礎的な運動法則を学びます（多少、後期にくい込む可能性あり）。後期では、それをふまえて実際に日本のいくつかの経済現象を具体的に理論に照らし合わせて検討し、どこまでが一般理論で説明ができ、どこからが特殊な日本的な条件によって説明されるべきなのかを学んでいきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 基礎的な経済理論を学ぶ

(1)はじめに (2,3)商品・貨幣 (4,5,6)資本と剰余価値 (7)賃金 (8,9)資本の蓄積 (10,11)利潤と利潤率 (12,13)利子生み資本と株式資本 (14,15)独占資本、国家、外国貿易 (16)世界市場と帝国主義 (17)19世紀資本主義と20世紀資本主義

(後期) 日本経済の基本構造を学ぶ

(18,19)戦前の日本と戦後日本経済の出発 (20,21)現在の日本の基本形を作り出した高度経済成長 (22,23)企業社会の形成と日本的働き方の確立 (24)低成長期以降の企業社会の肥大化 (25)企業社会と女性 (26)クルマ社会日本 (27,28)経済大国日本とバブル経済 (29,30)長期不況と構造改革下の日本経済 (31)日本経済の未来

科 専
門 教
育 目

履修上の留意点

ノートがんばってとってください。試験にも役立ちます。

成績評価の方法

学年末の試験が中心です。

教科書

教科書はとくにありません。

参考書等

松石勝彦『現代経済学入門』（青木書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿 記 論	ふくしま たかし 福 島 隆	16入学生/商1選	4
		15以前入学生/商1・2・3・4選	
		経A1・2・3・4選	

講義のねらい

本講義では、複式簿記について学習します。簿記とは、企業活動を貨幣額で記録し、測定し、その結果を報告するための技術です。今日では企業活動を行ったり、実際のビジネスを理解したりするには、簿記の知識が必要不可欠です。また簿記は、会計諸学(会計学、財務会計論、経営分析論、管理会計論、原価計算論等)の基礎であるため、これらの学習をするには簿記の知識が必要になります。本講義では、簿記の初心者を対象として、日商簿記3級のレベルを目安に、なるべく具体的に分かりやすく講義したいと考えています。その際、簿記の技術だけを講義するのではなく、理論や実際の企業活動との係り合いについても説明する予定です。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義では、テキストに沿って、次のようなスケジュールを予定しています。なお、ワークブックは課題とし、ある程度の区切りがついたところで確認テストを行う予定です。

(前期)

- (1)ガイダンス(簿記の意義) (2)簿記の基礎概念 (3)勘定と仕訳 (4)帳簿の記入 (5・6)決算① (7・8)現金預金 (9・10)商品売買 (11・12)売掛金と買掛金 (13)その他の債権と債務

(後期)

- (14・15)手形 (16)有価証券 (17)固定資産 (18・19)収益と費用 (20)資本金と引出金・税金 (21)帳簿と伝票 (22・23)決算② (24・25)財務諸表の作成 (26)財務諸表の読み方

履修上の留意点

簿記は積み重ねが重要であるので、毎回出席して、復習に時間を当てることを希望します。また、受講生は毎回必ず電卓を持参して下さい。

成績評価の方法

評価は概ね、平常点(出席、課題、確認テスト)30%、定期試験70%を目安に、総合的に評価します。

教 科 書

『新検定簿記講義3級商業簿記』(中央経済社) 680円
『新検定簿記ワークブック3級商業簿記』(中央経済社) 680円
この他に必要に応じてプリントを随時配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記論	わた なべ まとし 渡 邊 智	16入学生/商1選	4
		15以前入学生/商1・2・3・4選必	
		経A1・2・3・4選	

講義のねらい

企業は日頃様々な取引を行っていますが、そうした取引のうち必要なものについては会計的に処理され、帳簿に記入されてゆきます。企業は、このような帳簿の記録をもとにして、損益計算書や貸借対照表をはじめとする財務諸表を作成しているのです。簿記とは、企業による記帳の方法を研究し、具体的な方法について学ぶものです。この講義は、簿記に関する基本的な知識を身に付け、自ら簡単な記帳を行うことができるようにすることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) ガイダンス (2) 簿記の歴史 (3) 複式簿記の基礎 (4～6) 記帳
(7～9) 決算 (10～12) 商品 (13) まとめ
(後期) (14～15) 現金預金 (16～18) 債権債務 (19～20) 手形
(21) 有価証券・固定資産 (22) 引当金・資本 (23～25) 決算
(26) まとめ

履修上の留意点

簿記は日頃の地道な学習を必要とします。自分で考え、計算し、根気強く練習を繰り返して下さい。
予習・復習を欠かさず行って下さい。
遅刻・欠席および早退は極力避けて下さい。

成績評価の方法

出席状況、学習意欲、提出物および試験の結果などから総合的に判断して評価します。

教科書

必要な資料があれば配布します。教科書は開講時に指示します。

参考書等

参考書等は開講時に紹介します。

その他

授業の方法は講義形式です。

科 専
門 教
育

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記論	いし かわ ゆう じ 石 川 祐 二	16入学生/商1選	4
		15以前入学生/商1・2・3・4選必	
		経A1・2・3・4選	

講義のねらい

企業の活動が良好な状態にあるのかどうか、それを判断する上で、会計情報は一つの有効な手段である。しかし、会計情報は、それについての独特な「文法」を持っている。その文法に当たるのが「複式簿記」である。本講義では、その複式簿記の仕組みを理解し、会計情報が意味するところを読み取るための基礎の習得を目的とする。

また、簿記は、その他の会計関連科目を理解する上で、極めて重要な基礎科目である。したがって、その他の会計関連科目の履修と内容のスムーズな理解に資するよう、講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール

基本的には、日商簿記検定3級レベルの内容を取り扱う。具体的には、簿記一巡の手続き、各種の基礎的取引、決算整理について説明する。また、問題練習を重ね、技術の獲得を目指す。

履修上の留意点

簿記は、基礎からの積み重ねと反復練習が必要となる。したがって、毎回出席するように努めてほしい。また、電卓を利用する機会が多いため、必ず持参すること。

成績評価の方法

前期末試験、および後期末試験を基礎として、小テスト・出席を加味して総合評価する。再試験は実施しない。

教科書

プリントを配布する。一年間の講義を通じて蓄積されたプリントが、学生個人々の成果を反映したテキストとなる。

参考書等

講義において適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
企業論基礎	劉永鶴	商1選	4
		経A・経B1・2・3・4選	

講義のねらい

本講義は、企業の法律形態、企業の統治構造ならびに企業成長に対する理論的究明を中心内容とする。なかには、企業形態と企業成長との関係に対する分析や、企業統治構造の国際比較研究などを重点的に取り入れる。これらを通して、現代社会における企業、とくに巨大な株式会社の全体講図ならびに最新動向をより広い角度からアプローチし、企業理論の最先端を追っていく。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、企業論の研究対象、主な企業形態とそれぞれの特徴について講義する。章別構成は以下の通り。

- I 企業論の研究対象
- II 企業の種類と企業形態
- III 企業形態の発展過程
- IV 単独出資者の企業：個人企業
- V 少数出資者の企業：合名会社と合資会社
- VI 有限会社

後期には、株式会社の特徴と会社機関、企業の統治構造、公企業、企業成長のメカニズムと主要方法などを講義する。章別構成は以下の通り。

- VII 多数出資者の企業：株式会社
- VIII 株式会社の支配とコーポレート・ガバナンス
- IX 公企業
- X 企業成長

履修上の留意点

予習はもちろんのこと、各章ごとに「演習問題」を出すので、それを中心に復習することも望まれる。

成績評価の方法

前期と後期に分けて2回の筆記テストを行い、その成績に、普段の講義への出席状況を加味して評価する。

教科書

増地昭男・佐々木弘編著『最新・現代企業論』（八千代出版）2001年
作新学院大学経営学研究グループ（代表：中村瑞穂）『経営学－企業と経営の理論』（白桃書房）2003年

科目名	担当者名	配当学科	単位
ファイナンス基礎	須藤時仁	商1選	4
		経A・経B1・2・3・4選	

講義のねらい

この講座では、企業ファイナンスの基礎を、市場の性格とメカニズムを知ることによって理解することを目的としています。企業が資金を調達する場合、大別して銀行からの融資と、株式市場および債券市場を通じて調達する方法とがあります。前者を間接金融、後者を直接金融と言います。わが国では間接金融による資金調達が中心と言われてきましたが、80年代からは株式市場を通じて、90年代からは債券市場を通じた資金調達が増えてきています。

前期は、間接金融と直接金融との相違および両者の関係を理解することを主目的とします。後期は、資金調達を行なう中心的な市場である株式市場と債券市場の性格とメカニズムについて詳細に考察します。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1-4) 金融制度と金融機関 (5-7) 金融システムの形成とその変遷 (9-13) 金融機関の資金調整 (短期金融市場での資金調達)
- (後期) (14-18) 債券市場を用いた資金調達 (19-23) 株式市場を用いた資金調達 (24-26) まとめと今後の展望

成績評価の方法

基本的に学年末の定期試験で行います。(夏休みに提出自由形式でレポートを課すことを求めています、その場合には提出者についてレポートの成績を加味します)

教科書

日本証券経済研究所編『詳説 現代日本の証券市場 2004年版』（日本証券経済研究所）

参考書等

講義の中で適宜指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報入門Ⅰ (前期)	ながすみみつあき 中 濟 光 昭	16入学生/商1選	2

講義のねらい

コンピュータを活用して情報収集やレポート作成、プレゼンテーションを行うことは、大学で学ぶ上で欠かせない要素となってきた。さらにこうした能力は社会においても必須である。一方、大学までの教育におけるコンピュータリテラシー教育は、必ずしも十分ではない。よって、大学の導入教育としてコンピュータリテラシーを強化することが求められている。

本講義では、商学を学ぶ上で必要な「ツールとしてのパソコンの扱い方・ソフトウェアの使い方」を予備知識のない前提で行う。コンピュータの扱いに慣れることとインターネット（電子メールやWWW）を利用できるようになること、さらにはWordによる文書の作成技法を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 教場の使い方、コンピュータの起動・終了方法、受講上の注意など
- 2) Windowsの基本的な使い方、各種アクセサリの使い方
- 3) インターネットとネチケット、インターネット用語の説明、ブラウザの使い方
- 4) 検索エンジン・掲示板の利用法
- 5) タッチタイピング習得
- 6) 日本語入力MS-IMEの使い方
- 7) エクスプローラの使い方、フォルダ・ファイルのコピー・移動
- 8) ネットワークコンピュータ利用法、FDの使い方
- 9) 電子メールの使い方（その1）電子メールの作法、署名挿入法
- 10) Wordの使い方（その1）文字の入力と編集
- 11) Wordの使い方（その2）ビジネス文書の作成
- 12) Wordの使い方（その3）表の作成、図の作成、図の挿入
- 13) 電子メールの使い方（その2）添付ファイルの利用
- 14) まとめ

科 専
門 教
育 目 録

履修上の留意点

- 1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、研修会社より派遣された講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
- 2) コンピュータ使用経験のない初心者を対象とした講義を行うが、経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定である。
- 3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。

成績評価の方法

試験の他、毎回の講義終了時に課す課題および出席状況により評価する。実習を前提とするため、追/再試験は行いません。

教科書

『情報活用の基礎』2,300円
情報入門Ⅱ（後期）でも使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 入 門 Ⅱ (後期)	なか すみ みつ あき 中 濟 光 昭	16入学生/商1選	2

講義のねらい

本講義は「情報入門」の履修者を対象とした講義に位置づけられる。コンピュータの基本的操作を習得していることを前提として、表計算ソフト(Excel)によるデータ処理法、Power Pointによるプレゼンテーション技法を習得することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 表計算 (その1) Excelの基本操作
- 2) 表計算 (その2) データ集計、関数の利用
- 3) 表計算 (その3) グラフの作成
- 4) 表計算 (その4) 絶対参照・相対参照とその混合
- 5) 表計算 (その5) LOOKUP関数の利用
- 6) 表計算 (その6) 総合演習
- 7) プレゼンテーション (その1) Power Pointの基本操作、スライドの作成
- 8) プレゼンテーション (その2) オブジェクトの作成、図の挿入、アニメーション機能
- 9) プレゼンテーション (その3) グループ毎で発表資料の作成
- 10) プレゼンテーション (その4) グループ毎の発表
- 11) まとめ

専
門
教
育
目

履修上の留意点

- 1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、研修会社より派遣された講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
- 2) 「情報入門Ⅰ」の履修者を前提に講義を進めるためコンピュータの基本的操作について習得しておく必要がある。
- 3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
- 4) 4月の履修登録時、当科目も履修届に記入して登録すること。

成績評価の方法

試験の他、毎回の講義終了時における課題および出席状況により評価する。実習を前提とするため、追/再試験は行いません。

教 科 書

『Power Point』1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
キャリア・デザイン	前期：竹下睿 ^{なげしたえい} 駿 後期：徳永俊 ^{とくながとしあき} 明	経A・商・経B1・2選	4

講義のねらい

【前期】講義「キャリア・デザイン」——「キャリア」とは、組織の一員として自分の能力を発揮し、自分自身の人生を生きていくことを意味します。自分らしい生き方を実現するためには、どのような知識・技能を身につければよいか考え、実践することが「キャリア・デザイン」（人生設計）です。21世紀の生涯学習社会において個人が自立するためには、職業人として、家族やコミュニティの一員として、遊びや学びの主体として、自分の能力を生かし、「キャリア・アップ」や「キャリア・チェンジ」を行うことが重要になります。

この講義では、個性的創造的キャリア形成のために自ら考え、判断し、意思決定をしていくうえで必要な基礎能力を身につけてもらいたいと思います。

【後期】ゲスト講師による「キャリア・デザイン（人生設計）論」——後期は、広く各分野で生きる人々をゲスト講師として迎え、さまざまな「キャリア」=それぞれの方の労働・生活・人生の喜怒哀楽の実際を紹介・評価してもらいます。各講師の個性あふれる「人生」の姿はきっと大きなヒントになるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

- 【前期】
1. 21世紀はどんな時代・社会になるのか？——生涯学習社会と「キャリア・デザイン」
 2. ライフサイクルと職業生活——就職と就労の意味について
 3. 企業による雇用システムの変化と「就職戦線超氷河期」への対応——学業と就職準備活動の両立
 4. 「キャリア・デザイン」と大学の役割——学問を学び、多様な人びとと交流することの意義
 5. 大学生活をどのように過ごすか？——進路選択（職探し）は自分探しである。
- 【後期】各ゲストの講義は1回づつです。

科 専 門 教 育 目

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

前期・後期各50点満点とし、合算して100点満点とします。

【前期】記述形式の試験を行います。出席点と試験の結果を総合して評価します。

【後期】毎回の出席と期末のレポートによる評価を予定していますが、履修人数や講義の展開の状況などによって変更されることもあります。

教科書

【前期】教科書は使用しません。講義のつど参考書を紹介します。

【後期】教科書・参考書とも、特にありません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済理論ⅠB・経済システムの原理	あり い ゆき お 有 井 行 夫	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

今日の経済システムは、かぎりない利潤追求を活動動機とする企業による商品生産、すなわち資本の運動にもとづいて実現されています。理論経済学ⅠAは、資本のシステムの基礎的諸条件をあきらかにしました。資本のシステムは、それ自身、人間の生命のように生きたシステムです。人間が生命を実現するのに頭脳や神経組織、消化諸器官、運動諸器官など、身体の諸器官を展開しておこなうのと同様に、資本のシステムは資本の自己増殖運動という独特の生命原理を実現するのに、自己の独特の身体諸器官、すなわち社会的諸姿態を発達させています。価格や商業、利子、土地所有、国家、市場などは、歴史的に資本のシステムに先行して形成された社会的諸形態ですが、今日では、資本のシステムという社会的有機的身体の独特の自己諸器官になっています。理論経済学ⅠBは、このような観点から、経済システムの諸姿態をとらえかえます。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1-4)第1章=理論経済学Ⅰの3つの精神(理論経済学ⅠAの復習)。(5-7)第2章=価格と利潤。(8-10)第3章=商業資本と商業利潤。(11-13)第4章=利子生み資本と信用制度。
(後期) (14-17)第5章=土地所有と地代。(18-22)第6章=資本の国家。(23-25)第7章=世界市場と恐慌。(26)まとめ

履修上の留意点

この科目は、経済理論ⅠAの発展科目です。原則として、講義は、経済理論ⅠAないし経済原論Ⅰの既修者を想定しておこないます。

成績評価の方法

成績評価は、授業で強調したポイントのみから出題して実力試験によっておこないます。なお、この科目は、卒業年次生について、「再試験」を実施しません。

教科書

大谷 楨之介著『社会経済学』(桜井書店) 3,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済数学	いけ だ ひろし 池 田 宏	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

経済学に必要な道具としての数学、およびその道具として使う数学を修得するために必要な数学的基礎の理解を目的とする。経済学で使う道具としての数学で基礎となるのは線形代数と微分積分である。本講義ではこの2分野のなかで経済学で使う事柄のうちの基本的方法の修得を目差す。

講義の内容・授業スケジュール

(前期:線形代数) (1)ガイダンス (2・3)ベクトルと行列の定義と計算 (4-6)1次変換と固有値、固有ベクトル (7・8)行列式の定義と計算 (9・10)連立1次方程式(掃き出し法) (11・12)線形計画法 (13)試験
(後期:微分積分) (1・2)微分の基礎 (3・4)接線、増減、極値 (5・6・7)基本関数の微分と積分 (8・9)高次導関数 (10-12)多変数関数と偏微分(ラグランジュの乗数法) (13)試験

履修上の留意点

高校2年までに学習した程度の微分の基礎知識が必要である。また復習として各自で演習問題を解くことが望ましい。

成績評価の方法

前後期に各一回行う試験(70%)と平常点(30%)

教科書

田代嘉宏『数学概論 線形代数/微分積分』(裳華房) 2,060円

科目名	担当者名	配当学科	単位
価格理論	あらかき よしひろ 荒木 勝 啓	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

授業のあらまし：価格理論の目的は、経済の中でマイクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することにある。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノ・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されることになる。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやマイクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出される as if パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる「経済」現象は生じないのである。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなると水に価値が発生し、それにとまなう経済現蔭が生じ仕めるのである。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| (1) 価格理論で学ぶこと | (14) MR 曲線 |
| (2) 多変数関数と曲面 | (15) 独占均衡 |
| (3) 微分、偏微分、全微分 | (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失 |
| (4) 対数関数の微分と成長理論 | (17) 消費曲線と供給曲線 |
| (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数 | (18) 生産関数から短期費用関数の導出 |
| (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル | (19) 生産関数から長期費用関数の導出 |
| (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解 | (20) クールノ・ナッシュ均衡 |
| (8) ラグランジュ乗数法 | (21) クールノ・ナッシュ均衡解の練習問題 |
| (9) 加重限界効用均等の法則 | (22) 等利潤曲線 |
| (10) 練習問題 | (23) シュタッケルベルク均衡解 |
| (11) 代替効果と所得効果の計算 | (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題 |
| (12) 需要曲線と需要の価格弾力性 | (25) ゼロサムゲームの解法 |
| (13) パレート最適、ボックスダイアグラム | |

成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。再試験実施。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国民所得論	よしの 吉野 紀	経A・経B1・2・3・4選	4
		商2・3・4選	

講義のねらい

為替レートや株価はなぜ減値したり、高騰するのか。失業率はなぜ上昇するのか。物価の変動はどのような影響を我々の生活に及ぼすのか。これらはいずれもマクロ経済学の主要な課題である。

失業率5.4%といえは実数にして300万人余の労働力人口が失業していることを意味する。特定の個人が終業しているか失業しているかは、その個人のスキル（能力）などによるところが大きく、国民経済全体の失業率とは直接の関係はない。しかし、後者は国民経済全体の景況状態の良い指標ともなる。

この授業では相対的な国民経済の動きを説明することが主題となる。個々人の日常的な経済活動の意志決定は受動的に大きな影響を受けるが、能動的に影響を及ぼすことを直感的にも経験的にも把握することは難しい。したがって、マクロ経済の仕組みを理解するには豊かな想像力と鋭い推理力が求められる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解すること、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成13年日本経済の循環図」（配布資料）
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷巖 「入門マクロ経済学」（日本評論社）第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第9章
4. 「金融政策、財政政策」……………4回
前講までの内容が理解できれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP出版）第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

教科書

R.J.ゴードン『現代マクロエコノミクス（上）』（第6版）（多賀出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計原論	よし 吉野 おきむ 紀	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

現代の統計学の基本は推測統計学にあるという認識に立って講義を進めてゆく。それでは、推測統計学の基本とは何であろうか。サムエル・バトラーは「人生とは、不十分な証拠から十分な結論を引き出す芸術である」と言っているが、この文言の「人生」を「統計学」に置き換えるならば、相当の部分を言い当てていることになろう。「相当の」であって「完全に」ではない理由は、元来、人生には偶然性や不確実性がつきものであるとあって、偶然が支配しているとしか思えないデータから何がしかの決定や判断を下すためには、すべての経験に裏打ちされた人間性・人格を総動員して粗なデータをインテリジェンス（情報）へと昇華させなければならず、その過程こそ人生そのものであるからである。

統計学の扱う世界は不確実性が支配する世界であり、人間はこの偶然性に長い間悩まされてきた。「偶然とは、おそらく、神が自分の名をサインしなくなかったときの、神の仮名であろう」（アナトール・フランス）。端的に言えば、統計学の住む世界では、どのような結論が下されようとも、そこには確実に誤りが何パーセントかの確率で含まれるのである。この世界の住人たることに何がしかの面白味を感得してもらえればと期待する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1. 記述統計——標本データの整理——
度数分布表
統計値（平均値、中央値、最頻値）
散らばりを表す統計値（分散、標準偏差） | 5. 仮説検定
検定とは何か
平均値の検定 |
| 2. 確率変数と確率分布
2項分布
ポアソン分布
正規分布 | 6. 回帰分析Ⅰ
単純回帰モデル
最小2乗法
回帰と相関 |
| 3. 標本抽出と標本分布
ランダム・サンプリング
中心極限定理
t分布 | 7. 回帰分析Ⅱ
回帰における統計的推測
多変量回帰（重回帰） |
| 4. 統計的推定
推定とは何か
平均値の区間推定 | |

履修上の留意点

授業は1-201教場を使って、あらかじめサーバーに保存してあるデータを各自のパソコンで開き、加工する方法で進行させる。したがって、机上のパソコンにアクセスするためのパスワード、KOMAnetのユーザIDを得ておくことが望ましい（総合情報センターで割当てられる）。

数学上の知識は特に必要としない。

成績評価の方法

再試験は実施。

教科書

鳥居泰彦『はじめての統計学』（日本経済新聞社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
景 気 循 環 論	の 野 むら のが ひろ 村 信 廣	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

景気(循環)への関心が極めて高い。それは(1)景気循環が多くの人の生活に影響する(2)景気循環の姿がその時々で変化する(3)景気循環が経済・政治の諸問題に影響する一などのためである。講義では(1)景気循環を把握する方法(2)景気循環を引き起こす原因とメカニズム(3)景気循環を応用しての景気の現状把握や将来予測などを学ぶ。学生達が一般の景気判断に対する理解・評価能力を習得し、自分自身で景気判断や予測が出来るようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 景気の見方
- (2) 景気の実況認識
- (3) 景気循環と景気指標
- (4) 景気循環を引き起こす要因とメカニズム
- (5) 景気循環の歴史
- (6) 景気循環の理論
- (7) グローバリゼーションと景気循環
- (8) 財政・金融政策と景気循環
- (9) 景気予測の方法と実践

専
門
教
育
目

履修上の留意点

日々の経済動向に興味を持つ。

成績評価の方法

レポート(前期)、定期試験(後期)、出席状況を加味して評価する。

教 科 書

景気循環学会・金森久雄『ゼミナール・景気循環入門』(東洋経済新報社)

参 考 書 等

適宜参考資料を配布する。

そ の 他

講義中心だが、質問や討議を歓迎する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 資 本 主 義 論	ながしませいいち 長 島 誠 一	経A・経B1・2・3・4選	4
		商2・3・4選	

講義のねらい

第2次大戦以後の資本主義を国家独占資本主義と規定し、その概念・構造・循環・発展について、戦後の日本資本主義を説明しながら考察する。人間の解放（自立した個の連帯）視点から企業と市場の社会（資本主義社会）を批判的に解明する。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に沿って以下の順序で講義する。

- (a) 戦後復興
- (b) 戦後資本主義と日本の資本体制
- (c) 戦後日本資本主義の社会体制
- (d) 戦後日本資本主義の循環と発展
- (e) 高度成長期の景気循環
- (f) スタグフレーション下の景気循環
- (g) バブルの形成と景気循環
- (h) バブル崩壊後の景気循環
- (i) 日本資本主義の構造変化と構造危機
- (j) 日本社会の構造改革
- (k) 21世紀の社会主義像

履修上の留意点

教室になるべく出ること。教科書を用意すること。歴史としての現代に関心を持ってほしい。

成績評価の方法

前期（夏休み中）に臨時試験。後期に定期（教場）試験。成績は前・後期の総合判断による。

教 科 書

長島誠一著『戦後の日本資本主義』（桜井書店）2001年、本体3,000円

科 専
門 門
教 教
育 育
目 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 史	はし の とも こ 橋 野 知 子	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、19-20世紀の日本における経済社会の変化を国際的な経済環境のなかに位置づけながら考察していきます。特に近年の数量経済史や経済発展論における研究蓄積を紹介しつつ、また西欧やアジアとの比較を念頭において講義する予定です。

学生諸君には、日本経済における現代的課題や戦後経済史の重要な問題が、この講義で考察する歴史的背景のなかで生まれてきたことを理解して欲しいと思っています。知ること、そして変化の原因を考えることこそが重要なのです。

講義の内容・授業スケジュール

19-20世紀の日本経済を、歴史的な流れをとらえつつ、重要なトピックスを中心に講義します。講義形式で進めますが、映像の利用による説明も随時取り入れる予定です。講義は、以下の項目順に進める予定です。

1. ガイダンス日本経済史をみる眼
2. 近代経済成長への胎動
幕藩制政治経済システムの特徴／国内市場の変質／開国と幕藩体制の解体
3. 資本主義経済の成立
諸改革から地租改正へ／地租改正の歴史的意義／殖産興業政策の展開／資本家・労働者の出現／貿易構造と諸産業
4. 産業革命の展開
企業勃興期／産業基盤や制度の整備／諸産業・貿易の発展からの接近／欧米・アジア・日本の貿易からみた世界経済の再編過程／資本主義の確立と諸問題
5. 両大戦期の日本経済
「大正新時代ノ天佑」としての第一次大戦／国際経済環境の変化と日本／大戦後の経済と社会／恐慌の時代／高橋財政
6. 戦時から戦後へ
戦時経済／戦後改革と経済復興
7. 現代経済の形成過程
高度経済成長／高度成長の終焉／バブルの時代／平成不況／ここからどこへ

履修上の留意点

他の受講生の迷惑となる行為は慎んで下さい。

成績評価の方法

前期末・学年末試験により評価します。再試験はございませんのでご注意を。

教科書

特に指定しません。毎回資料（レジュメ）を配付します。

参考書等

講義の中で毎回紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋経済史	ともまつ よしひこ 友松 憲彦	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は15・6世紀以降の近代ヨーロッパと北アメリカの経済発展の歴史について説明しますが、中心になるのは工業化（産業革命）の問題です。

現在、世界経済の3極を成すのは、EUとして政治経済的統合を進める「ヨーロッパ」、アメリカ合衆国を核とする「北アメリカ」、そして近年成長めざましい日本を中心とする「東アジア」です。これらの地域は、いずれも工業化に成功したか、あるいは成功しつつあるという共通の歴史的経験をもっています。

工業化とはなにか、それはどのようにしておこり、経済や社会をいかに変化させたのか。この講義では世界最初の工業化に成功したヨーロッパ（とりわけイギリス）の事例を中心に説明します。さらに、ヨーロッパの工業化は他の地域にいかなる影響を与え、世界経済をどう変容させたのか、工業化がもたらした光だけでなく影にも注目します。

近代の西洋資本主義の歴史をたどることによって、現在の世界経済の成立過程と、それが抱える諸問題を理解するうえでの手がかりを得ることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|---|--|
| 1. 講義のねらい | 5. 後発国の工業化 - 世界資本主義の形成 -
(1) イギリス経済と世界経済
(2) 後発国の産業革命 |
| 2. 前近代の経済 - 封建制の構造 -
(1) 農村と農業
(2) 都市と商工業 | 6. 近代の経済 - 資本主義の変質 -
(1) 「大不況」と経済構造変化
(2) 国際経済
(3) 帝国主義と植民地 |
| 3. 産業革命への道 - 資本主義の成長 -
(1) 「封建制の危機」と資本主義の誕生
(2) 農村工業の成長
(3) 海外市場の発達
(4) 国内市場の発達 | 7. 現代の経済 |
| 4. イギリス産業革命（工業化）- 資本主義の確立 -
(1) 産業革命の原因
(2) 産業革命の過程
(3) 産業革命の結果
(4) 経済・社会問題の改革 | |

科 専
門 教
育 目

成績評価の方法

期末試験、授業中の小レポートに出席状態を加味する。再試験は実施。

教科書

とくに指定しませんが毎回資料を配布します。

参考書等

岡田泰男編著『西洋経済史』（八千代出版）1996年
長岡・太田・宮本編著『世界経済史入門』（ミネルヴァ書房）1992年
石坂・船山・宮野・諸田著『新版西洋経済史』（有斐閣）1994年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
農 業 政 策	マダテヨシカズ 溝手芳計	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは (1～2回)
2. 食料問題と食料政策 (3～7回)
3. 農家所得問題と農産物価格政策・直接支払い (8～12回)
4. 農業構造問題と構造政策 (13～18回)
5. 戦後における日本と世界の農業政策 (19～25回)

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。再試験は行いません。

教科書

田代洋一『新版農業問題入門』(大月書店)

参考書等

F. マグドフ他編 (中野一新監訳) 『利潤への渴望』第5章 (大月書店)
梶井功『新基本法と日本農業』(家の光協会)。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
工 業 政 策	おく やま まさ ゆき 奥 山 雅 之	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

現在、わが国の工業は、長引く不況や生産の海外化等の影響で厳しい状況にあります。しかし、将来においても「ものづくり」は、日本にとって重要であることに変わりありません。この講義では、わが国における工業の特徴を確認しながら、それに対する政策の課題と方向性について考察します。

前期では、わが国の工業の役割と状況変化を中心に、日本社会を支える「ものづくり」について様々な観点からみていきます。後期では、環境調和、産学連携、知的財産、企業再生など、「ものづくり」をめぐる今日的な題材を取り上げて検討を加えます。

講義の内容・授業スケジュール

前期(1～3)わが国の工業の役割と特徴 (4～6)戦後における工業の発展と工業政策
 (7～9)工場立地の変化と工業集積の効果 (10～13)生産の海外化と空洞化問題
 後期(14～16)工業の業種別課題 (自動車産業、繊維産業ほか)
 (17・18)「ソフトなものづくり」産業 (ソフトウェア産業、アニメーション産業ほか)
 (19)産学連携 (20)知的財産の創造・保護・活用
 (21・22)工業の環境調和 (23・24)資金調達の多様化と企業再生
 (25)規制緩和と構造改革特区 (26)まとめ

履修上の留意点

1年間の講義を通して「ものづくり」を中心とした産業課題に対する問題意識や提言力を身につけてもらうのが目標です。H頃から新聞の経済・産業関連記事に接することが望まれます。

成績評価の方法

成績は学年末試験とレポート提出で評価します。試験およびレポートの内容については、講義に積極的に参加していた人が有利になるように配慮します。

教科書

教科書は特に指定しません。配布する資料によって講義を行います。

参考書等

加藤秀雄『地域中小企業と産業集積』（新評論）

科 専
目 門
教 教
育 育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 地 理	かねこ じゅん 兼 子 純	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

人間の諸活動により形成される様々な経済現象を、空間的な視点から検討することを目的とします。「立地」「分布」「移動」をキーワードとして、前期の講義では、経済地理学の基本的な概念を、私たちの生活する「地域」と結びつけて習得します。後期には、特に「立地」に関わる理論体系を学び、経済的事象の場所による差異と、その発生要因を具体的に理解する力を養います。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1)経済地理学とは (2)地域の概念 (3・4)立地と分布 (5・6)産業構造の転換と地域構造の変容 (7)農業の経済地理 (8・9)工業の経済地理 (10~12)商業・サービス業の経済地理 (13)まとめ
- (後期) (14)経済地理学の理論と応用 (15)立地論①農業立地論 (16)立地論②工業立地論 (17)立地論③中心地理論 (18)交通理論 (19)消費者行動モデル (20~22)流通業の地理学 (23)地域格差の問題 (24)都市の構造 (25)都市システムの問題 (26)まとめ

専
門
教
育
目

履修上の留意点

可能な限り身近なトピックスを取り上げる予定なので、新聞やニュースで取り上げられている事象に関心を持つことを望みます。地名など暗記を要求する講義ではありません。事象を空間的に見るための道具である「地図」の技術や見方の習得をしますが、現段階で不得手であっても全く問題ははありません。

成績評価の方法

出席状況と定期試験の結果を総合的に判断します。出席(意見・感想)用紙の提出によって、評価補助に使用する予定です。

教 科 書

毎時間資料を配付し、それに基づき講義を進めます。地図帳(高等学校、中学校で使用したもので可)を持参すれば、講義への理解がより深まります。

参 考 書 等

山本健児『経済地理学入門－地域の経済発展』(大明堂)1994年
松原 宏『立地論入門』(古今書院)2002年

そ の 他

講義形式で行います。不定期に簡単な実習を実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中小企業論	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、戦後日本の経済発展において中小企業が果たしてきた重要な役割を自動車工業を事例として明らかにすること、これまでの中小企業政策の特徴を学ぶこと、最後に下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

前期の講義概要：Ⅰ中小企業の基礎理論、Ⅰ-1独占段階固有の中小企業問題、Ⅰ-2中小企業の法的規定、Ⅰ-3中小企業の経営類型、Ⅰ-4中小企業の企業形態、Ⅰ-5日本型下請構造の特質、Ⅱ日本型下請システムの形成過程、Ⅱ-1日本経済復活期の生産分業構造、Ⅱ-2高度経済成長期の下請管理の合理化、Ⅱ-3自動車工業の急成長と日本型下請構造の確立、Ⅱ-4自動車大国への飛躍と下請構造の成熟、Ⅱ-5グローバル化と下請構造の大転換
後期の講義概要：Ⅲ戦後日本の中小企業政策、Ⅲ-1復興期の中小企業政策、Ⅲ-2高度成長と中小企業近代化政策、Ⅲ-3中小企業政策の大転換、Ⅲ-4不公正取引と下請問題、Ⅲ-5中小企業の金融問題

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は学年末試験（自筆ノートのみ持込可）を基準とし、夏季休暇中のレポート（任意）を加味して行なう。また再・追試験は実施します。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。毎年刊行される『中小企業白書』を読んでおくことが望ましい。

科 専
門 教
育 目 録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 共 経 済 学	すずきのばえ 鈴 木 伸 枝	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

社会福祉や環境政策はなぜ必要か。どのような政策が望ましいのか。理想をすべて満たすような政策はあるのか。ないとすれば、どのような政策なら実現可能なのか。そして実施された政策はどんな効果をもたらすのか。公共経済学では、こうした問題を経済学的手法を用いて考えます。

この講義では、まずは最低限の基礎的な理論を学びます。そして次に、環境問題や年金などの現実の諸問題に関連付けながら、より高度な理論を紹介していきます。この講義をしっかりと理解すれば、講義時間内で扱いきれない多くの政策についても習得した理論を応用して自分で考えたり、専門書を読んでさらに知識を深めることができます。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-----------------|---|
| 1. ガイダンス | 7. 外部性 |
| 2. 政府の役割 | 8. 公共財 |
| 3. 日本の政府 | 9. 環境問題 |
| 4. 数学 | 10. 医療 |
| 5. ミクロ経済学 | 11. 年金 |
| 6. 競争均衡の効率性・公平性 | 12. 時間に余裕があれば、寡占・独占、所得再分配政策、課税の理論、政治過程・政府の失敗、分権化・民営化、地方財政、政策の動的整合性の中から、多数決で1~2つ選んでとりあげます。 |

専 門 教 育 目

履修上の留意点

より理解を深めたい学生は、『財政学』『価格理論』『経済政策』『経済数学』等と併せて履修すると効果的でしょう。

成績評価の方法

出席点・前期末のレポート・後期末の試験で評価します。(再試験あり)

教科書

特に指定しません。講義ノートは <http://hakuba.int.komazawa-u.ac.jp/~nsuzuki/pub/>にて公開します。

参考書等

適宜紹介します。

その他

授業情報ページ：<http://hakuba.int.komazawa-u.ac.jp/~nsuzuki/pub/>

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方財政論	篠原章	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

地方財政の枠組みを理解するとともに、地方財政の基本問題を分析するための基礎的な手法を学ぶことを主眼とする。時事問題なども、折に触れて取り上げる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通じて以下の項目を講義する予定である。

[基礎編] (主として前期)

1. 地方財政論を学ぶということ
2. 地方公共支出の役割
3. 地方公共支出の現状
4. 地方公共支出と公共財供給
5. 租税体系と地方税
6. 地方税制度の歴史と現状
7. 負担と受益
8. 地方債の基礎知識

[応用編] (主として後期)

1. 分権と集権
2. 地方財政調整の実態
3. ケーススタディ：沖縄問題と地方分権
4. 地方財政と地域開発
5. 地方財政制度の国際比較
6. ケーススタディ：高齢化と地方財政
7. ケーススタディ：「東京」の社会経済学

履修上の留意点

初学者を対象としたコースだが、財政学の知識があれば、より深く理解することができる。したがって財政学の履修経験があるか、財政学を履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

学期末の筆記試験と授業時の課題（レポート）等によって総合評価する。再試験実施。

教科書

片桐昭泰・兼村高文・星野泉共編著『地方財政論』（税務経理協会刊）2,800円（本体価格）

参考書等

参考書・参考文献・資料等は随時指示する。

その他

テキスト・参考書以外に、新聞等の時事的な資料やビデオ資料等もしばしば利用する予定である。質問等については電子メール（akirashinohara@ma2.justnet.ne.jp）でも受けつける。また、篠原ホームページ（<http://www.daito.ac.jp/~akirashi/>）にも講義関連の情報を掲示するので活用してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人 口 論	もり 森 おが 岡 じん 仁	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというのではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求するものである。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能なかぎり将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のため、あるいは資源・環境の観点からも緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみえてくると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

履修上の留意点

履修に当たった条件というものはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況。
再試験を実施する。

教科書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年

参考書等

大淵寛『少子化時代の日本経済』（日本放送出版協会）1997年
阿藤誠『現代人口学』（日本評論社）2000年

その他

授業の方法：講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育経済論	谷 敷 正 光	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を説明するとともに、2000年に向けて一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の経済と教育の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

専
門
教
育

講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育

- (1) 日本の産業化とリテラシー・識字率
- (2) 日本の経済成長と教育
- (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
- (4) レーガン大統領の経済と教育1 「危機に立つ国家」(一部ビデオ)
- (5) レーガン大統領の経済と教育2 「国家は応える」(一部ビデオ)
- (6) ブッシュ大統領の経済と教育1 「全米教育サミット」(一部ビデオ)
- (7) ブッシュ大統領の経済と教育2 「2000年のアメリカ」(一部ビデオ)
- (8) クリントン大統領の経済と教育「アメリカ教育法」(一部ビデオ)
- (9) サッチャー首相の経済と教育「教育改革法」(一部ビデオ)
- (10) ブレア首相の経済と教育「福祉のニューディールとオプティミズム」(一部ビデオ)

2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策

- (11) 学制時代における経済と教育1 富国強兵・殖産興業 (映画)
- (12) 学制時代における経済と教育2 学制公布と「行政管理学校」
- (13) 教育令時代における経済と教育1 工場底下と産業の勃興 (一部ビデオ)
- (14) 教育令時代における経済と教育2 教育令公布と実業補習学校・徒弟学校
- (15) 学校令時代における経済と教育1 産業革命と紡績業の発展 (一部ビデオ)
- (16) 学校令時代における経済と教育2 学校令公布と実業教育・「機業地学校」
- (17) 実業学校令時代における経済と教育1 重工業の発展と資本主義の確立 (一部ビデオ)
- (18) 実業学校令時代における経済と教育2 実業学校令公布と「委託教育」「工場内学校」

3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策

- (19) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法 (一部ビデオ)
- (20) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (21) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (22) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (23) 高度成長終焉後の経済発展と教育

履修上の留意点

- ① 年間5～6回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のためにビデオ・映画・OHPを使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- ① 授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ② 再試験を実施する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間40～50枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。
小林泰宏『アメリカで進む教育改革』(朝日新聞社)

森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』(岩波新書)
 G・メイナード『サッチャーの経済革命』(日本経済新聞社)
 舟場正富『ブレアのイギリス』(PHP 新書)
 ブライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』(エイデル)
 A・グリーン、J・ハリスン『英国病』(新評論社)
 揖西光速『日本資本主義発達史-産業資本の成立と発展-』(有斐閣)
 猪木武徳『学校と工場』(読売新聞社)
 三好信浩『日本の女性と産業教育-近代産業社会における女性の役割-』(東信堂)
 天野郁夫『教育と近代化』(玉川大学出版部)
 沼口博『学校教育と経済発展』(学文社)
 その他は講義の中で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
環 境 経 済 論	やまぐちゆうじ 山 口 由 二	経A・経B1・2・3・4選	4
		商2・3・4選	

専
門
教
育
目

講義のねらい

産業革命以降、人類は無限とも思える生産力を得て、それまでとは比べものにならない急速な経済発展・成長を成し遂げてきた。この大量生産、大量消費を美德とする社会における経済成長は、すべての人々に文化的で豊かな生活を与えるものとして、これまで、声高に異議を唱える者はほとんどいなかった。しかし、21世紀が間近にせまる現在、様々な矛盾が露呈してきている。そのもっとも大きな問題が、環境問題である。

現在の環境問題は、かつての水俣病に代表される公害問題のように加害者と被害者が明確に分離されるものばかりではなく、地球温暖化のように、ほとんどすべて人々が加害者であると同時に被害者となりうる問題や、熱帯雨林の破壊や、酸性雨問題のように、貧しさゆえに引き起こされ、そのことが南北問題にまで発展しているより複雑な問題もある。

本講義では、経済成長と環境の相互関係を歴史的視点と理論的視点の両視座から論じると共に、様々な事例を提示して経済成長の意味や、経済成長と環境破壊とのトレードオフの関係について論じる。この講義を通して、受講者の方々に環境経済学への問題意識を喚起したい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では、おもに、資源・環境問題、及び環境経済学を理論的に論じる。その上で、後期では、地球温暖化問題、国有林や東京湾の漁業のコスト・ベネフィット分析、捕鯨問題、自動車の社会的費用、ダイオキシンの問題、農業の環境問題など様々な事例を取り扱う。

履修上の留意点

本講義は、近経の基礎的知識を必要とするが、講義過程でその都度、簡単に復習を行いたい。環境経済学は、まだ確固とした学問体系が出来上がっておらず、発展的余地があり今後ますます重要となる研究分野である。この講義で積極的な質問や議論ができることを希望する。

成績評価の方法

前期はレポート、後期はテストを行う。
 また、適宜に簡単なレポートを提出していただき、これも考慮する。再試験を実施する。

教 科 書

未定、最初の授業時に指定する。

参 考 書 等

- ・K. W. カップ著 篠原泰三訳『私的企業と社会的費用』(岩波書店)
 環境経済学の古典的名著。生産過程で第三者や社会が受ける、公害、環境汚染による損失を社会的費用として、大気汚染、水質汚染、動植物の絶滅、人災、エネルギーの枯渇、森林の濫伐等について理論と実際の両面で分析を試みている。1905年に原著は刊行されている。
- ・宇沢弘文著『自動車の社会的費用』(岩波書店)
 若い人ならば皆大好きで、現代社会においてこれなしには成り立たないと思われる自動車の外部不経済性を徹底的に追求した名著。私が自動車の免許を取らないのもこの本を読んだため？。宇沢氏は日本の近経の一人者で、ノーベル賞をもらってもまさか文化勲章はもらわないと思っていましたが…。ちょっと古い本だがおすすめ。
- ・宮本憲一著『環境経済学』(岩波書店) 3,600円ぐらい
 筆者は公共経済学者、政治経済学者の立場から長年様々な公害問題に立ち向かってこられた。環境経済学を「容器の経済学」と称し、環境をあらゆる経済活動の“容器”としてとらえている。やはり、読んでおいてほしい本。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アジア経済論	ちよん 鄭 ちやん よん 章 淵	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界経済の動向にも注意を払いたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 経済発展の前史
 - (1) 植民地経済の概要
 - (2) 戦後経済発展の初期条件
2. アジア NIEs の経済発展
 - (1) アジア NIEs の範疇と経済発展の特徴
※NIEs の用語説明、経済開発戦略の特徴、産業的特徴
 - (2) 開発独裁体制の成立
※韓国の事例、その他の開発独裁
 - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN 諸国の経済発展
 - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
 - (2) ASEAN の歴史
 - (3) 日本企業の進出状況

〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
 - (1) アジア NIEs 論
 - (2) 東アジア経済発展論
6. アジアにおける地域経済協力
 - (1) APEC の発展過程
 - (2) ASEAN の自由化過程
 - (3) その他の中小規模経済圏
7. アジア経済の現状
 - (1) アジア通貨危機の発生とその影響
 - (2) その他の諸問題…環境問題 etc.
 - (3) 日本とアジアとの関係の展望

科 専
門 教
育 目 録

成績評価の方法

前期および夏期の2回のレポートと学年末の定期試験で総合的に評価する。試験の際に自筆のノートを参照にしますので、講義中ノートをよくとってもらいたい。再試験を実施する。

教科書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国経済論	小 ^{すぎ} 杉 ^{しゅう} 修 ^じ 二	経A・経B1・2・3・4選	4
		商2・3・4選	

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着眼して、中ソ同盟下の大國志向としての「ソ連モデル」(1949-57)、独自の超大國を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」(1958-78)について学ぶ。

ソ連モデル期に中国は途上國の特徴=機械の生産能力の欠如を克服し、国民生活を改善した。

毛沢東モデル期に兵器の一定の自給と核ミサイルの保有に至った。この時期、国民生活は改善されず、臨戦体勢づくりのため経済効率低下し行きつまった。

後期はこの状況を打開した「鄧小平モデル」(1978-)を学ぶ。独自の超大國志向は維持しながらも平和共存政策への転換の下、開放政策による外資の呼びこみ、沿海部重点開発、軽工業優先開発、「独立した工業体系」づくりからの脱却、生産請負等の農業改革、市場経済への移行によって高度成長を達成、また、国民生活を改善し、「世界の生産現場」になった。後期には中国のかかげていた社会主義、「中国脅威論」等の問題をも考えてみたい。

履修上の留意点

言うまでもないが、私語、飲食、携帯電話は禁止(授業に集中できない人は出席不可)。

成績評価の方法

前期レポート、後期試験。

教科書

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済建設』(龍溪書舎) 4,000円

参考書等

平田幹郎『中国データブック2000-2001』(古今書院) 3,800円

その他

授業方法 講義+ビデオ映像の活用

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経済論	瀬 ^せ 戸 ^と 岡 ^{おか}	経A・経B1・2・3・4選	4
		商2・3・4選	

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。
 ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティ、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEC、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験も実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ『資本主義とアメリカの政治理念』(瀬戸岡訳 青木書店) 1994年
 瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』(桜井書店) 2003年
 をおすすめします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア・東欧経済論	やま ぐな びろ し 山 縣 弘 志	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることができないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からベレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ベレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。再試験実施。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計学総論	寺坪修 <small>てら つば おさむ</small>	経A1・2・3・4選	4

講義のねらい

経済学専攻の学生にとっても、会計学の知識は不可欠といえます。国民経済単位（マクロ）および個別経済単位（ミクロ）の運動（活動）を計数でとらえる会計のうち、営利企業を対象とする会社会計を取り上げます。前期は会計の知識体系および複式簿記の基本原則を身につけるようにします。後期は財務諸表の作成と分析を学習したうえで、管理会計の基本知識を身につけるようにします。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期) ①会計・知の体系 ②会計帳簿の作成（複式簿記原理）
(後期) ③財務諸表の作成 ④財務諸表の分析 ⑤会計による経営の管理

履修上の留意点

会計は積み重ねの学習によって理解が深まります。極力、休まずに受講して下さい。

成績評価の方法

学年末試験と随時行う課題の提出により総合的に評価します。

教科書

寺坪修『会社会計論〈改訂版〉』（創成社）2004年4月刊行予定 価格未定

参考書等

参考書等は指定しませんが、適宜、プリントを配付します。

その他

講義は教科書中心に行いますので、毎回教科書を持参して下さい。また、電卓を使用することがあります。

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報・経済ネットワーク論	なか すみ みつ あき 中 濟 光 昭	経A・経B1・2・3・4選	4
		商2・3・4選	

講義のねらい

この講義では、情報が経済学でどのように扱われているかについて議論します。具体的には「経済学と情報」「デジタルエコノミーとはなにか」「ITによって何が変わるのか」「情報ネットワーク経済の基盤となる情報システムとは」「電子商取引とは」について理解し、事例を通じてインターネット上の電子商取引、オンラインバンキング、オンライントレーディングなどについて理解を深めていきます。講義では、コンピュータを操作して情報システムについて実習し、またメールなどを活用し教員と皆さんが双方向に意見を交換するようにしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 教場のパソコンの使い方、受講上の注意など
- 2) グループウェアで共同作業を行なう
- 3) インターネットで株取引シミュレーションをやってみる
- 4) 経営情報システムの実例 (SAP R/3)
- 5) 情報経済システム論 - 情報とは、カジノテーブルと収獲増の法則、情報の非対称性、デジタルエコノミーとは
- 6) 情報システム概論 - コンピュータのコスト構造、組織変革論、技術概論
- 7) 電子商取引概論 - 電子商取引のインパクト、電子決済概論、法制度
- 8) インターネットビジネス概況 - マイクロソフトにみる情報ビジネス戦略、インターネットビジネスを覆う危機
- 9) 事例研究 (amazon.com, yahoo.com などについてビジネスモデルを調査・分析する)

科 専
門 門
教 教
育 育

履修上の留意点

ワープロ、表計算、メール、ホームページ検索などの基本的操作ができる前提で講義を行います。課題提出や講義中の議論には、パソコンやインターネットを活用します。パソコン初心者には、まず基礎情報処理Ⅰ・Ⅱやコンピュータ基礎を履修することをお勧めします。

成績評価の方法

講義時の課題と夏季・冬季休業時に課すレポートによります。実習を含むため、追・再試験は行いません。卒業年次生においても期限までにレポートを提出しないものは、単位を認めません。

教 科 書

初回の講義で指示

参 考 書 等

初回の講義で指示

そ の 他

- ・本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがあります。初回の講義に「必ず」出席すること。卒業年次生についても例外は認めません（事前に相談すること）。
- ・KOMAnetに登録している前提で講義を行なうので、KOMAnet未登録者は4月初旬に4号館1F自習室に行き、登録手続きを行なうこと（登録なしに受講することは講義内容上困難）。
- ・講義に関する質問などは、事前予約の上、第二研究館4F 2437研究室 (tel: 03-3418-9352) に来室するか、nakasumi@komazawa-u.ac.jp にメールすること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
プログラミング論	はま もと がず ひこ 濱 本 和 彦	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

現在の社会においてコンピュータはあらゆる分野で使用されており、その重要性は非常に高い。それに伴いソフトウェアの機能強化が必要とされており、ソフトウェアの開発におけるプログラミング技術の重要性はますます高くなっている。またコンピュータの使用環境もスタンダードアローンからインターネットなどのネットワーク上での利用へと変化し、それに伴って供給されるソフトウェアを記述するプログラミング言語も変化している。

本講義ではまず、ソフトウェア開発におけるプログラミング技術の位置づけを明らかにするために、ソフトウェア工学の基礎について講義する。次にプログラミング技法とプログラミング言語について講義する。プログラミング言語としてはC言語とJavaを扱い、実際にソフトウェアを作成しながら包括的なプログラミング技術、ソフトウェア開発について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、ソフトウェア工学の基礎とプログラミング技法（構造化やオブジェクト指向）について講義する。次に、プログラミング言語について実際に演習（ソフトウェア作成）を交えながら講義する。言語としてはC言語とJavaを扱う。前期にC言語、後期にJavaを扱う予定である。C言語は基本情報技術者試験レベルを目標として、各種データ構造からポインタ、関数、構造体、ファイル操作まで講義する。Javaでは、主に、インターネットのWWW上でプログラムを発信するためのJavaアプレットについて講義する。いずれも実際に演習を行い、「アルゴリズムの作成」、「流れ図の作成」、「コーディング」、「コンパイル」、「実行」、「デバッグ」、というソフトウェア開発の流れを学習する。

履修上の留意点

できるだけコンピュータの初心者に対しても理解しやすいように講義を行うが、各自の予習復習が理解のためには必要である。なお、メールによる出席調査、課題提出を行うため、履修予定学生は大学のメールアドレスの取得手続きを行っておくこと。なお、最初の数回の講義においてプログラミングの実習のためのコンピュータの操作方法について説明するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

講義中に出す課題、長期休暇中に課すレポート、および中間試験、期末試験により評価する。なお、再試験を実施する。

教 科 書

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

参 考 書 等

講義中に指定する。

そ の 他

講義は実際にコンピュータの画面をプロジェクタで見せながら行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎情報処理 I (前期)	いわ せ ひろ かず 岩 瀬 弘 和	経A・1・2・3・4選 商2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、経済学を学ぶ上で必要な「ツールとしてのパソコンの扱い方・ソフトウェアの使い方」を予備知識のない段階から始める。コンピュータの扱いに慣れることとインターネット（電子メールやwww）を利用できるようになること、さらにはWordによる文書の作成技法を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 教場の使い方, コンピュータの起動・終了方法, 受講上の注意など
- 2) Windows の基本的な使い方, 各種アクセサリの使い方
- 3) インターネットとネチケット, インターネット用語の説明, ブラウザの使い方
- 4) 検索エンジン・掲示板の利用法
- 5) ブラインドタッチ習得
- 6) 日本語入力 MS-IME の使い方
- 7) エクスプローラの使い方, フォルダ・ファイルのコピー・移動
- 8) ネットワークコンピュータ利用法, FD の使い方
- 9) 電子メールの使い方 (その1) 電子メールの作法, 署名挿入法
- 10) Word の使い方 (その1) 文字の入力と編集
- 11) Word の使い方 (その2) ビジネス文書の作成
- 12) Word の使い方 (その3) 表の作成
- 13) Word の使い方 (その4) 図の作成, 図の挿入
- 14) 電子メールの使い方 (その2) 添付ファイルの利用
- 15) まとめ

科 専
門 教
目 育

履修上の留意点

コンピュータ使用経験のない初心者を対象とした講義を行うが、実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。

成績評価の方法

毎回の講義終了時に課す課題および出席状況により評価する。

教 科 書

初回の講義で指示する。

参 考 書 等

- 『Windows による情報処理入門 (改訂版)』(実況出版) 2002年 2,600円
- 『超図解 Windows 2000 Professional 総合編』(エクスメディア) 2003年 1,680円
- 『超図解 WORD 2002 for Windows 基礎編』(エクスメディア) 2001年 950円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎情報処理Ⅱ(後期)	いわ せ ひろ かづ 岩 瀬 弘 和	経A・1・2・3・4選 商2・3・4選	2

講義のねらい

本講義は、「基礎情報処理Ⅰ」の履修者を対象とした講義に位置づけられる。コンピュータの基本的操作を習得していることを前提として、表計算ソフト(Excel)によるデータ処理技法、PowerPointによるプレゼンテーション技法、さらにはHTMLによるWebページ作成技法を習得することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 表計算(その1) Excelの基本操作
- 2) 表計算(その2) データ集計、関数の利用
- 3) 表計算(その3) グラフの作成
- 4) 表計算(その4) 絶対参照・相対参照とその混合
- 5) 表計算(その5) LOOKUP関数の利用
- 6) 表計算(その6) 総合演習
- 7) プレゼンテーション(その1) PowerPointの基本操作、スライドの作成
- 8) プレゼンテーション(その2) オブジェクトの作成、図の挿入、アニメーション機能
- 9) プレゼンテーション(その3) グループ毎で発表資料の作成
- 10) プレゼンテーション(その4) グループ毎の発表
- 11) Webページ(その1) ホームページ的设计、タグの使用法
- 12) Webページ(その2) 表の作成、画像の表示、リンク機能
- 13) Webページ(その3) ホームページ作成
- 14) Webページ(その4) ホームページの公開
- 15) まとめ

履修上の留意点

「基礎情報処理Ⅰ」の履修者を前提に講義を進めるため、コンピュータの基本的操作に関しては習得しておく必要がある。実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。前期に開講される「基礎情報処理Ⅰ」の第一回目の授業に出席し、担当教員より受講許可書を得た上で、履修届に記入して登録してください。

成績評価の方法

毎回の講義終了時における課題および出席状況により評価する。

教 科 書

初回の講義で指示する。

参 考 書 等

- 『Windowsによる情報処理入門(改訂版)』(実況出版)2002年 2,600円
『超図解 EXCEL 2002 for Windows 基礎編』(エクスメディア)2001年 950円
『超図解 PowerPoint 2002 for Windows』(エクスメディア)2001年 1,380円

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用情報処理Ⅰ(前期)	いわ せ ひろ かず 岩 瀬 弘 和	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、経済分析を行う際のバックグラウンドを養い、実践的経済分析手法について学習する。すなわち、経済学において必要不可欠である経済データ処理技能を習得することを目的とする。そのため、計量経済学および経済統計を、実際の経済分析の中でいかに活用するかを、実践的にコンピュータを操作しながら学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・インターネットによる経済統計資料収集・Excelによる基本的なデータ分析
- ・Excelにおけるデータベース機能の活用
- ・ピボットテーブルの活用
- ・データ分析機能の活用(シナリオ、ゴールシーク、ソルバー)
- ・Excelによる回帰分析
- ・時系列データ分析(季節調整やトレンドの計測、自己回帰モデルによる予測など)

履修上の留意点

コンピュータの基本的操作を習得しており、Excelの使用経験を有していることが望ましい。実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。

成績評価の方法

毎回の講義終了時に課す課題および出席状況により評価する。

教科書

初回の講義で指示する。

参考書等

『実践ワークショップ Excel 徹底活用統計データ分析』(秀和システム) 2003年 2,500円
『インターネット時代の数量経済分析法－基礎からニューフロンティアまで－』(多賀出版) 1999年 2,800円

科 専
門 教
育

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用情報処理Ⅱ(後期)	いわ せ ひろ かず 岩 瀬 弘 和	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	2

講義のねらい

高度情報化社会といわれる現代社会において、コンピュータグラフィックス(CG)は様々なところで利用されており、今後、インターネットにおける技術向上やコンピュータの家庭内への普及とともに、CGを作成したり鑑賞したりする機会が急速に増大するものと予想される。

この講義では、CGの概要から始まり、CG作成のための基本的な理論を学習していく。その際、既存のCG作成ソフトを使用しながらその技術を習得するとともに、CG理論の理解を深めていく。さらに、現在CGが応用されている分野を知り、今後どのようにCGが活用され、発展していくのかについて議論する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・コンピュータグラフィックスとその展開
 - ・2次元CGの作成と変換理論の習得
 - ・3次元図形の表示技術(投影方法と透視変換、陰線処理と陰面処理など)
 - ・自由曲線の種類とその理論(ベジエ曲線、Bスプライン曲線など)
 - ・自由曲面の種類とその理論(ベジエ曲面、Bスプライン曲面など)
 - ・3次元モデリングの実際、コンピュータアニメーションなど
- 上記の理論を学習するとともに、Photoshop、VRMLなどの使用方法についても習得する。

履修上の留意点

パソコン使用経験者が望ましい。前期に開講される「応用情報処理Ⅰ」の第一回目の授業に出席し、担当教員より受講許可書を得た上で、履修届に記入して登録してください。

成績評価の方法

出席状況及び提出課題にて評価する。

教科書

配布資料

参考書等

田中成典・小林孝史(編)『VRMLの達人』(森北出版) 1,900円
黒瀬能幸(著)『3次元図形処理工学』(共立出版) 2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
憲法	うちだまりこ 内田真利子	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

市民と公権力との関係、個人と集団との関係、少数者と多数者との関係において、憲法の存在意義を再確認すること。受講者が、自分自身に関わる問題として憲法に興味を持つためのきっかけにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

政治の動向、社会的事件、受講者にとっての身近な関心事などを題材に選び、「憲法」の視点から問題点の整理および検討を行う。具体的なテーマは、現実社会の変化に応じて、また受講者からの要望に応じて、適宜選択していく。網らする領域は幅広い、というよりほとんど制限がないと言ってもよい。あくまでも一例を以下に挙げる。環境、平和、象徴（日の丸・君が代・天皇制）、家族と法、子どもの人権、職場における人権、医療と人権、性愛の自由、外国人の人権、宗教と人権、犯罪と法、報道と人権、表現の自由、性差別……。

履修上の留意点

授業に毎週出席できることが履修の最低条件。また、単に教室に来るだけではなく、主体的に授業に参加できる人にものみ受講してほしい。

成績評価の方法

通常授業時間中に年数回、テストを行う。このテストのほか、授業中の発言、授業後の質問、自主提出レポート等についても成績評価の対象とする。

教科書

授業で指示する。ここでは、参考のため、昨年度のテキストを紹介しておく。川人博編著「テキストブック現代の人権 [第二版]」（日本評論社）

参考書等

六法（出版社、サイズは問わない）、少なくとも日本国憲法の全条文。

その他

追試は行わない。やむをえない理由によりテストを欠席した場合、レポート提出をもってテスト受験に替えることを認める。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
民法一部	たけなかちか 竹中智香	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

民法典のうち、民法典全体に適用される一般規定である第1編「総則」と、特定の物を直接支配する権利に関する第2編「物権」を取り上げます。とくに民法典の導入部である「総則」は、民法の勉強を放棄したくなるほど抽象性が高い規定が多いことから、具体的な事案を提示しながら説明をし、学生諸君の理解を図ります。指定した教科書に沿って、前期では第1編「総則」を概説し、後期では第2編「物権」の説明に入ります。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|--|--|
| <p>[前期]</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 導入 (2) 民法における個人 (3) 権利能力 (4) 意思能力と行為能力 ～成年後見制度 (5) 所有権の概念 (6) 所有権の効力 (7) 契約とその効力 (8) 契約にもとづく不動産の物権変動 [1] (9) 契約にもとづく不動産の物権変動 [2] (10) 契約にもとづく動産の物権変動 [1] (11) 契約にもとづく動産の物権変動 [2] | <p>[後期]</p> <ul style="list-style-type: none"> (1～2) 法人 (3) 抵当権 (4) 先取特権、留置権 (5) 質権 (6) 譲渡担保 (7) 代理制度 (8) 無権代理 (9) 表見代理 (10) 法律行為 (11) 消滅時効 (12) 取得時効 |
|--|--|

科専門教育
目

履修上の留意点

民法典の中でも非常に抽象度が高い分野ですから、講義の前の予習は必ず必要となります。また、講義後に復習することで、理解の定着を図ってください。

成績評価の方法

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

教科書

山野日章夫『民法 総則・物権』（有斐閣）1,700円

参考書等

六法
『法律学小辞典』（有斐閣）4,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法 二 部	お だ て る こ 織 田 晃 子	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

民法二部の講義は債権総論と債権各論を対象とする。条文で言うと、399条～724条であり大変広範囲である。一年間でこれらすべてを網羅することは到底無理である。よって、まず日常の普通の取引、例えば、だれでも思い浮かべるであろう不動産の売買をとりあげ、売買の交渉から契約の成立、その履行にいたるまでの財産法上の問題をとりあげ、次に売買契約が履行されなかった場合の法的処理、すなわち債務不履行による損害賠償や解除に進む。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 売買の交渉から契約の成立、その履行
 - ① 契約の成立
 - ② 契約の履行過程
 - ③ 契約の履行終了
 - ④ 登記の移転
 - ⑤ 債権譲渡
- 2 契約不履行の場合の法的処理
 - ① 債務不履行
 - ② 契約の解除
 - ③ 他人の物の売買
 - ④ 瑕疵担保責任
 - ⑤ 債権者代位権
 - ⑥ 詐害行為取消権
- 3 その他
第三者による債権侵害、多数当事者の債権関係等。

専 科
専 門
教 育
目

履修上の留意点

六法は必ず持参すること

成績評価の方法

期末試験の成績による。再試験実施。

教 科 書

『民法（4）債権総論』（第4版増補版）（有斐閣双書）

参 考 書 等

『コンパクト六法』（岩波）

科目名	担当者名	配当学科	単位
商法一部	かわぐちゆきみ 川口幸美	経A・経B1・2・3・4選	4
		商2・3・4選	

講義のねらい

商法は企業の組織や活動および利害関係者を規制する法である。本講義では、このうち株式会社を中心に取り上げ、その構造につき基礎的な理解を得ることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|---------------|-------------------------------|
| 1 総論 | 4 機関 |
| ①会社の目的と権利能力 | ①株主総会 |
| ②法人格否認の法理 | ②取締役・取締役会 |
| 2 設立 | ③監査役・監査役会 |
| ①会社の設立と発起人の権限 | ④委員会等設置会社 |
| 3 株式 | ⑤その他 |
| ①株式の種類と転換 | 5 計算 |
| ②株式の権利とその流通 | 6 資金調達（新株発行と社債） |
| ③株式の消却・併合・分割 | 7 企業の再編（営業譲渡、合併、分割、株式交換・株式移転） |

履修上の留意点

教科書と六法（平成16年度版）を持参。

成績評価の方法

期末試験の成績による。再試験実施。

教科書

柿田秀樹『会社法（第4版補正版）』（弘文堂）

参考書等

適宜指示する。

科
専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
商法二部	かわぐちゆきみ 川口幸美	経A・経B1・2・3・4選	4
		商2・3・4選	

講義のねらい

手形法は、紙に一定の権利を結びつける仕組みと根拠を定めた法であり、数ある法律の中でも極めて論理的な構造をもっている。本講では手形や小切手の振出から支払に至るまでの仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

最初の数回の講義で、手形の種類、意義、機能、性質について説明する。その後、約束手形を中心に振出から裏書、支払いについて説明する。最後の数回は、小切手について取り扱う。

履修上の留意点

教科書と最新の六法（平成16年度版）を持参すること。

成績評価の方法

期末試験の評価による。再試験実施。

教科書

川村正幸『手形小切手法（第2版）（新法学ライブラリ）』（新世社）

参考書等

適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 法	わかばやしありさ 若林亜理砂	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解ができるように進める予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

その他

授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
労働法	ふじ 藤 もと 本 しげる 茂	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

今日、雇用社会は、雇用調整・リストラや能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。現在は、変動期にあるといえましょう。

労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この変動期において、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、解雇法制や男女雇用平等などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。

講義の内容・授業スケジュール

下記事項について、基礎的な知識を学びつつ、現代的課題に言及します。

詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的な考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

科 専
門 教
育 目

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo。そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、レポートなどとともに、総合的に評価します。追・再試験は実施します。

教科書

道しるべとして、浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子ほか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊を購入して自宅学習に使ってください。受講者は必ず、1冊は用意してください。

参考書等

概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。

六法は最新のもの（法律改正があるので特に注意）。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を挙げながら授業を進めます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
行政 法	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、行政法総論の基礎的概念について、具体的事例をとりあげながら、わかりやすく解説します。
行政法に関する知識は市民生活を営んでいくためには、常識として具えておく必要があると思います。

また、各種の公務員試験の受験を考えている人は、受講されるのが望ましいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

これについては、主たる項目を列記しておきます。

- ①行政とは ②行政法とは ③行政主体 ④行政の態様 ⑤行政立法 ⑥行政行為 ⑦約款
⑧取消と撤回 ⑨行政手続 ⑩即時強制 ⑪行政強制 ⑫行政契約 ⑬行政指導 ⑭行政計画
⑮行政上の制裁 ⑯損失補償 ⑰損害賠償 ⑱不服申立 ⑲行政訴訟

履修上の留意点

あたり前のことですが、教場内では他人に迷惑をかけるような言動はしないこと。

成績評価の方法

平常点および期末テストなど総合的な観点から評価します。

教科書

桜井昭平編著『現代行政法』（八千代出版）

参考書等

講義初日に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際法	齋藤洋	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	4

講義のねらい

国際社会で日々生起している諸現象・諸事件を法学の視点から捉えられるようにするために、その基礎となる知識や原則・ルール の習得をめざす。本講義は各法制度を法の発展過程の中で理解しようとする傾向をもつ。それは、担当者が現在という時間に区切って現行法制度を理解しようとするのではなく、過去から将来に続く一連の法発展過程の一時期の状態という視点で、現行法制度、特に国際法学を研究していることから生ずる傾向である。したがって講義内容も、狭大な法解釈・判例研究ではなく、当該法制度あるいは判例が人類社会もしくは国際社会の発展の中で如何なる意味を有するのか、それが社会にどのような影響を与えるのか、といったことを中心として、現行法制度の基本ルールを説明することになる。

講義の内容・授業スケジュール

前期：戦争観念と国家主権観念、国家と国際法（承認論、責任論、承継論、対外機関、条約法など）、
地的管轄権（1）（主として海洋法）
後期：地的管轄権（2）（主として航空法・宇宙法）、人的管轄権（国籍、外国人問題、犯罪人引渡、難民など）、
国際機関（法主体性論、国連、その他）、紛争解決（平和的解決手段、WTOの紛争処理、国際裁判など）

履修上の留意点

国際法は我々の日常生活に最も縁遠い法制度である。したがって、法学、憲法や民法、国際関係論、外交史などを履修した上で、3年次以上になってからの受講が望ましい。換言すればそれだけの予備知識がないと、1年生、2年生の履修は可能であるが、理解に困難を感じると思われる。
また受講生は、毎日必ず新聞を読むこと。自ら図書館で判例を調べるくらいの気持ちが必要である。

成績評価の方法

学年末の定期試験の成績で評価する。夏期休暇中の課題は原則として課さない。

教科書

齋藤洋『国際法講義ノート・資料2004』（虹有社）予価2,000円＋税

参考書等

授業中、適宜指示する。

その他

受講にあたって、私語を慎み、一所懸命ノートをとること。このノートが定期試験に威力を発揮するはずである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 書 講 読 I [英語]	いわ なみ ふみ たか 岩 波 文 孝	経A・経B1・2・3・4選	4
原 書 講 読 II [英語]		商2・3・4選	
		経A・商・経B2・3・4選	

講義のねらい

本講義は、企業経営や経営学に関する英語文献を講読し、英文で書かれた経営学の専門書の読解力をつけることを目的としています。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、アメリカ企業の Annual Report や NYSE の報告書を読み、経営学の専門用語に慣れるとともに、コーポレート・ガバナンスが問題とされる社会経済的背景の理解を深めていき、つぎに経営学の専門文献を講読していきます。なお、授業の進め方については、輪読形式による授業を行います。

履修上の留意点

受講者は事前に授業範囲の予習を行った上で、受講してもらいたい。

成績評価の方法

平常点により評価します。出席状況、予習状況、分担報告による総合評価を行います。再試験なし。

教 科 書

開講時にプリントを配布します。

参 考 書 等

随時指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 書 講 読 I [英語]	すず き のぶ え 鈴 木 伸 枝	経A・経B1・2・3・4選	4
原 書 講 読 II [英語]		商2・3・4選	
		経A・商・経B2・3・4選	

講義のねらい

ノーベル経済学賞の受賞講演録を輪読します。経済学用語を習い、経済学の専門書や学術論文を英語で読む力を養うとともに、これまで経済学者たちがどのような問題に着目し研究してきたかを垣間見て刺激を受ける機会にもなるでしょう。

必修科目の英語や時事英語を学んだだけでは、英語で書かれた経済学の文献を読みこなすことはできません。卒業論文を書くときに英語の本も参考にしたい、あるいは大学院進学を考えているといった学生には、この講義は大きな助けになるはずです。もちろん、こうした特定の目的がない学生も、読解力の向上や音読の上達を見込めます。

成績評価の方法

出席状況・予習状況・分担状況の平常点により評価します。(再試験なし)

教 科 書

ノーベル経済学賞(<http://www.nobel.se/economics/>)の受賞講演録から何点か選びます。具体的にどれを読むかは、初回の授業で話し合ってから決めます。

そ の 他

授業情報ページ：<http://hakuba.int.komazawa-u.ac.jp/~nsuzuki/gensho/>

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読Ⅰ〔英語〕	みぞ て よし かず 溝 手 芳 計	経A・経B1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ〔英語〕		商2・3・4選	
		経A・商・経B2・3・4選	

講義のねらい

英語の経済学文献を原書で読むことにより、(1)経済学の基本文献にふれ、著者の考え方をしっかり学ぶとともに、(2)経済・経済学に関する専門用語や言い回しの読解力を高めようと思います。大切なことは、著者が何を考えているのかをしっかりと読みとることです。英語の語学力は問いませんが、学習意欲のある学生の受講を希望します。

講義の内容・授業スケジュール

21世紀の世界全体の食料需給予測については悲観説と楽観説が併存していますが、途上国における慢性的栄養不足問題が容易に解決されないことは間違いないようです。その背景には、途上国における人口急増に食料生産が追いつかないといった事態にとどまらず、先進国と途上国との国際関係上の問題が横たわっています。スーザン・ジョージは、この点に焦点を合わせて途上国の貧困問題を分析した先駆者です。講義では、スーザン・ジョージの代表作で20世紀の古典ともいべき『How the Other Half Dies: The Real Reasons for World Hunger』（邦題『なぜ世界の半分が飢えるのか—食糧危機の構造』）をとりあげます。

履修上の留意点

授業は、輪読形式です。受講に当たっては、必ず事前に予習してください。

成績評価の方法

出席、予習、分担報告等、平常点により評価します。再試験はおこないません。

教科書

随時、コピーを配布します。

参考書等

スーザン・ジョージ（小南祐一郎・谷口真里子訳）『なぜ世界の半分が飢えるのか—食糧危機の構造』（朝日選書）、朝日新聞社

科専門
教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読Ⅰ〔独語〕	ふく はら よし のが 福 原 好 喜	経A・経B1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ〔独語〕		商2・3・4選	
		経A・商・経B2・3・4選	

講義のねらい

カール・マルクス『資本論』（ドイツ語）を講読する。在職中に第三巻の終りまで行くのが私の夢である。今年度は恐らく価値形態論を読むことになろう。講義は訳のみでなく、内容の詳しい説明検討を行う。授業は少人数なのでゼミのような雰囲気である。学生諸君から希望があれば、夏休みなど泊まり込みで勉強することもある。受講者は、第二外国語としてドイツ語をとった人、あるいは独学でもドイツ語の素養のある人が望ましい。（夏休みには私のところにドイツ人の家族が泊りに来るので彼らと交歓の機会が持てたらと思っている。）

一昨年は男子1名、女子2名、昨年は男子1名の受講者であったが、本年はもう少し多くの受講生が来てくれればと思っている。ドイツ語及びドイツ文化の好きな人は来てほしい。ドイツ、オーストリア及び日本でオペラの監督として活躍中の高嶋勲氏はこの独書講読より育って行った。

履修上の留意点

授業は固苦しい話ばかりでなく、ドイツ人の酒の飲み方や夫婦のあり方などよもやま話も含めて、ユツクリとしたものになりたいと思っている。

成績評価の方法

平常点と試験により評価します。再試験なし。

その他

よく出来た時は、コーヒーもでる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読Ⅰ〔中国語〕	小杉修二	経A・経B1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ〔中国語〕		商2・3・4選	
		経A・商・経B2・3・4選	

講義のねらい

現在の中国の諸政策のバックボーンをなしている鄧小平の考えを知るために、その著作を中国語で読む。参加者は中国語履修者であること。中国語を母国語とする者は日本語への厳密な翻訳能力習得を目標とする意欲のある者に限る。

成績評価の方法

前期末・後期末に試験を行います。再試験なし。

教科書

プリントして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読Ⅰ〔ロシア語〕	山縣弘志	経A・経B1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ〔ロシア語〕		商2・3・4選	
		経A・商・経B2・3・4選	

講義のねらい

ソ連邦解体以後、あらゆる教科書が使いものにならない状態となっているが、解体以前から、社会科学分野で批判的な読み方を要求しないものはなかったと言ってよい。従って主体的な読み方はいつでも必要であったし、今後も必要である。

成績評価の方法

平常のパフォーマンスを評価する。再試験なし。

教科書

Книга первая. М. Города Подмоскoвья в трех книгах.、1979

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読Ⅰ〔朝鮮語〕	鄭章淵	経A・経B1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ〔朝鮮語〕		商2・3・4選	
		経A・商・経B2・3・4選	

講義のねらい

韓国の経済発展に関する朝鮮語文献を講読して、韓国経済について理解を深めてもらうことを目的とする。受講生には予め朝鮮語に対する基礎的な理解力が求められるが、講義では、受講生の習熟度に合わせてできるだけ平易な解説に努めるつもりである。朝鮮語に自信のない諸君も奮って参加してほしい。

成績評価の方法

出席率、レポート回数などを加味して、総合的に評価する。再試験なし。

教科書

初回講義時にプリントを配布する。
また、辞書や文法書などについても当日紹介する予定である。

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代経済事情Ⅰ(前期) 〔女性とビジネス〕	おく なたに きょう こと 奥 谷 京 子	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	2

講義のねらい

既存の大企業も倒産する現在、顧客のニーズを汲み取り、時代の変化に対応した事業こそ、生き残っています。その1つが女性起業家のビジネスでしょう。本科目では女性起業家の実践例を参考にしながら、地域の社会的な課題とその解決方法を考察すると共に、実践へのステップになることを期待します。グループワークやディスカッションも行い、「考えること」に重点を置きます。

講義の内容・授業スケジュール

(1・2)働き方・生き方、起業の意味を考える (3・4)女性起業家の事例を聞く
(5)頑張っている若者起業家を紹介 (6～9)グループワークと発表
(10～12)開業するのに必要な知識を得る (13)まとめ

履修上の留意点

将来自分で独立開業してみたい、前向きに将来のことを考えたいという受講生を強く希望します。きっと女性起業家の体験談は参考になるでしょう。また、グループワークでは積極的に意見を言い合い、受講生同士の交流も深めていただきたいです。講義を聴く形式だけではないことは予めお伝えしておきます。

成績評価の方法

学期末にこの講義を受けてのテストを行います。また、毎回講義を聴いてのミニレポートを提出し、出席の確認とします。評価は、講義中の参加度合い、そしてミニレポートや期末試験の内容で「自分の考えをしっかりと述べているか」を重視します。

教科書

特になし。

参考書等

奥谷京子『ひろうもらうつくる お金をかけない起業法』(アドア出版) 1,680円
片岡 勝『儲けはあとからついてくる』(日本経済新聞社) 1,470円
片岡 勝『資金0でも独立開業できる本』(ダイヤモンド社) 1,575円

その他

大学に入ってから何をやってきたかが、卒業後、社会人になったときに大きく影響します。この講義を受ける・受けないに関わらず、是非在学中にいろんな経験を通して、個性に磨きをかけて下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代経済事情Ⅱ(前期) 〔日本の中小企業とアジア経済〕	たか だ よし あき 高 田 好 章	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	2

講義のねらい 日本経済の国際化は、アジア、特に東アジア地域を中心に、輸出入から技術移転・直接投資さらに海外進出にすすみ、その波は中小企業をも巻き込んでいます。それは、資本のあり方だけでなく、技術のあり方、経営のあり方、労働のあり方、生活のあり方を大きく変貌させてきています。そのような視点から、中小企業とアジアを一緒に考えましょう。

講義の内容・授業スケジュール 以下のテーマを軸に、時事的問題に関連させながら講義いたします。◇日本経済の国際化と海外展開 ◇海外進出と地場産業、産業空洞化 ◇グローバル化と東アジア地域 ◇東南アジアの中小企業の視点から ◇技術移転と経済の自立化 ◇海外展開と労働問題 ◇東アジア広域化と地域の不均等発展 ◇経済の国際化と国際分業 ◇国際的ネットワークと中小企業の経営戦略 ◇日本における競争と共生、アジアとの共存

履修上の留意点 授業中の質問は大歓迎。専門用語、時事用語等、わからない言葉はその場で解決しましょう。複雑な問題は講義後も考えて、次回に質問するか、メールで問い合わせてください。

成績評価の方法 成績評価はレポートによりますので、追試験・再試験は行いません。受講中に提出されたレポート・感想文・質問文等は評価に加味します。

教科書 教科書は特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。出来れば、以下を読んでください。
鈴木茂・大西広・井内尚樹編『中小企業とアジア』(昭和堂) 3,000円

参考書等 参考文献等は講義の中で、随時紹介いたします。

その他 図や表などの具体的な資料を紹介しながら、講義をすすめます。また、受講生からの講義テーマに関するレポート、感想文、質問文(以上メールでも可)は大いに歓迎します。時にはそれらを取り上げながら、双方向の授業を念願しています。E-mail: ytakada@komazawa.com

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代経済事情Ⅳ(後期) 〔情報通信最前線〕	にし おが よう こ 西 岡 洋 子	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	2

講義のねらい デジタル技術の発達とともに、情報通信産業は大きく変貌を遂げています。情報通信メディアは固定電話、携帯電話、放送、インターネットなど多岐にわたっていますが、その特性により、提供されるサービス、ビジネス展開、社会的意味、また、それに対する政策も異なります。本講義では、情報通信産業を概観するとともに、個別のメディアごとにその市場がどのような特徴を持っているか、また、どのような方向に向かおうとしているかを理解することを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

- (1・2) 情報通信産業の構造、情報通信産業の特徴
- (3・4) 携帯電話の発達
- (5・6) インターネットの登場とブロードバンド・サービス
- (7・8) IP電話、通信市場の構造変化
- (9・10) 放送のデジタル化 I・II
- (11) 日本の情報通信産業政策
- (12) 海外の放送通信産業動向
- (13) まとめ

成績評価の方法 学期末の筆記試験を基本として評価を行います。なお、授業の出欠状況も参考とします。

教科書 『情報通信白書』(総務省)
(<http://www.johotsusintokei.soumu.go.jp/whitepaper/ja/cover/index.htm>)

参考書等 ㈱情報通信総合研究所編『情報通信ハンドブック2004年版』(NTT出版)
㈱情報通信総合研究所編『情報通信アウトック2004』(㈱情報通信総合研究所)ほか、適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	あまの かつみ 浅野 克巳	経A・商2選	4

講義のねらい

演習Iでは『日本経済と産業』をテーマとして以下の内容を検討しよう。
 現在、日本の実質GDPは520兆円である。もし90年代の停滞がなければGDPは一体どれだけになっているのだろうか。「失われた10年」の原因を解明するために、日本経済システムの特徴、あるいは日本企業システム、メインバンク・システムの機能、あるいはコーポレート・ガバナンスの仕組み、さらに企業行動の特徴、あるいは産業組織の実態などを近年著しい発展を遂げている「産業組織の経済理論」を参照しながら、さまざまな統計資料を使ってできる限り現実に則し勉強し、日本経済の再生に向けて21世紀の新たなビジョンを描いてみよう。

履修上の留意点

演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習をしておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションも行うので「情報センター」を利用して活用できるようにしておくこと。

成績評価の方法

出席率、授業態度、レポートの内容等を総合して評価する。

教科書

長岡・平尾『産業組織の経済学』（日本評論社）1998年
 ポール・ミルグロム＝ジョン・ロバーツ『組織の経済学』（NTT出版）1997年
 小田切宏之『企業経済学』（東洋経済新報社）2000年

参考書等

内閣府『経済財政白書』。その他の資料については授業の中で指示する。

その他

卒業研究 有

専
門
教
育
目
録

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	あべ ひろし 阿部 弘	経A・商2選	4

講義のねらい

演習（ゼミナール）の内容：テーマは「市民と経済学」である。
 現在のわたしたちの社会は「市民社会」といわれている。そしてこの社会は「資本主義」をその根幹にもっているものでもある。そこで、この「資本主義」にのっとった「市民社会」はどのようなものなのか、「資本」という「利潤」追求を本質に持つ体制と、「市民」という「自由・平等・博愛」を基盤に持つ人間の在り方との関連・比較を通じて、この問題にアプローチしてみようと思う。特に現在はこの問題がある特定の国のレベルを越えてグローバルな次元で展開していることを考えるとき、わたしたちはこれらの問題に接近していくためには広い視野をもって臨まなくてはならない。そこで、今年度は次の文献を読んでいくことにする：池上惇『文化経済学のすすめ』（1991年）

講義の内容・授業スケジュール

この「演習I」は2年次生が対象であるので、出発点として世界史的観点を身につけることを課題とする。その上で、参加者各人の固有のテーマを設定し、12月には各自の研究の発表を行うと共に論文として提出し、ゼミナールの機関誌『アルファ』に掲載するものとする。
 ゼミナールの行事は「阿部ゼミ」全体で企画・施行するが、そのようなものとしては次のものがある：
 * 春と夏の合宿／* 10月のゼミナール対抗ソフトボール大会
 * 論文発表大会／* その他

成績評価の方法

ゼミナールであるから参加者各自の自立した研究発表が評価の基準になるが、ゼミナールでの議論はもちろん、論文発表大会に参加しないものも単位が取得できない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	あら き よし ひろ 荒 木 勝 啓	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

経済変動や数理ファイナンスなどのモデルをコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。

講義の内容・授業スケジュール

モデルをマルチメディア・プレゼンテーション可能にするため、全員に最低 DTP (デスクトップアプリケーション) の方法を習得させる。すなわち①編集方法 (Page Maker, Quark Express) ②グラフィックス (Illustrator) ③レタッチ・修正 (Photoshop) を習得させる。ゼミ生は課題として、2 年次後期から DTP 検定 2 種試験にチャレンジする。時間があれば LATEX による組版の初歩も行う。演習 II からは Extd を使いシミュレーションモデル構築を行なう。

成績評価の方法

検定試験への挑戦と出席点。

教 科 書

指定なし。ただし必要な場合指示する。

そ の 他

Macintosh 教場を使う。

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	あ り い ゆ き お 有 井 行 夫	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

現代社会は、企業中心社会です。受験競争や消費競争、夫 or 妻の争奪競争からマイホーム獲得競争にいたるまで、競争社会の中心に実は企業への就職競争が位置しています。企業の内部もサラリーマンの出世競争・生き残り競争です。そして、最後に生き残って経営者に成り上がったサラリーマンにしても、企業自身の業績責任に不断に脅迫されて過労死寸前です。企業自身が、好況のときも不況のときも生き残り競争のただ中にあるのです。企業は、利潤のための利潤、生産のための生産をどこまでも続けていかなければなりません。日本型企业社会に構造変革を迫っている今日のグローバリゼーションも、この傾向をさらに強めるものにほかなりません。サラリーマンからも、経営者からも、株主からも独立して、自己拡大の衝動に駆りたてられて走り続ける企業。国民の豊かさに無縁の「利潤のための利潤」。地球環境や資源の制約にも無関心の「生産のための生産」。——これが現代社会の最大の謎であり、21世紀前半に解決しなければならない現代社会最大の課題のありかです。

講義の内容・授業スケジュール

前期 有井のプリント、新聞の読み方、川人博『過労死社会と日本』
夏合宿 野村正実『雇用不安』
後期 有井のプリント、新聞の読み方 (ファイルの作成)、奥村宏『法人資本主義』

履修上の留意点

最大のテキストは現代社会そのものです。新聞を読みこなす力を養います。併せて日本語を読む力、書く力、話す力を鍛えます。

成績評価の方法

ゼミへの積極的参加50%、 各種レポートの評価50%

教 科 書

川人博『過労死社会と日本』(岩波新書)、野村正実『雇用不安』(岩波新書)。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	い だ や す ゆ き 飯 田 泰 之	経A・商2選	4

講義のねらい

演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する（つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」）際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標とした。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- ・経済学以外の本を使ってのレジュメ作成・発表演習
 - ・Word,Excelの基本操作に関する講義
 - ・経済の基本書を使ってそれまでのゼミの内容を生かした発表

夏期合宿

- ・ディベート大会

後期

- ・ネットを利用した情報収集の講習と統計の基礎知識
- ・金融政策・産業政策・産業組織・金融工学のいずれかの本を輪読

履修上の留意点

「経済原論Ⅱ ミクロ経済学・マクロ経済学」「経済政策」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書

教科書は開講時に協議する。

参考書等

テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

その他

経済学やパソコンの利用など基本知識のレベルには受講生ごとにばらつきがあると思うが、皆の希望を聞いた上で補充したいと思う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	い し か わ し ゅ ん し 石 川 純 治	経A・商2選	4

講義のねらい

企業会計の制度と理論を学習します。「制度」の基礎にある土台としての「理論」の両者の関係において学習することが基礎にある視点です。社会・経済における「生きた会計」を学習するために、「時事会計」を重視します。したがって、会計の基礎にある社会経済問題への関心が大切で、それとの関連で会計を学習します。会計をとおして世の中の問題に発言できる洞察力を得られればと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

まず財務会計の基本テキストを学習し、その後、中級・上級のテキストへとレベルアップします。中級・上級では財務諸表論、米国会計基準・国際会計基準が学習内容となります。さらに、それらをより高い次元から見通す力を養うため、「時事会計」では新聞・雑誌・小論文の学習を行います。

成績評価の方法

出席・合宿・レポートなどゼミ活動の総合評価。

教科書

財務会計の標準的テキスト（その都度指示します）。

参考書等

「常識「日本の論点」」（文藝春秋）。その他、必要に応じて指示します。

その他

国家試験に挑戦する意欲ある学生、世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生が歓迎されます。私のプロフィールについては、駒澤大学のHPのトップページ「教員の紹介」から見る事ができますので参考にしてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	石川 祐二 <small>いし かわ ゆう じ</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

企業においては、会計情報が様々な目的を持って利用されている。その情報を生み出すための仕組みは、どのような構造をもっているのでしょうか。その構造を探り、それが社会の多様な関係の中で果たす役割を研究する。そのことによって、社会現象を分析する視点の獲得を目指す。

特に、演習Iでは、そのような分析視点を確立するために、基本的なスキルと知識を身につけることが目標となる。

講義の内容・授業スケジュール

演習Iでは、会計に関する基礎知識を身につけることを目的としている。特に、会計に関わる現象を捉える上で不可欠な、基礎的な用語・概念を中心に取り扱う。基本的には、テキストを中心に、報告とディスカッションを行いたい。また、計算方法などの技術的な側面の学習に関してもフォローしていく。

履修上の留意点

積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってもらいたい。また、4年次には「卒業研究」を開設する予定である。

成績評価の方法

特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。

教科書

初回の演習時に指示する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

合宿その他のイベント等については、話し合いで決定する。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	岩下 弘 <small>いわ した ひろし</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

3年間のゼミのテーマは流通・流通政策の国際比較である。2年次には日本における流通問題を研究対象にし、3年次では国内の流通政策、4年次では流通政策の国際比較を対象とする。

日本における流通問題としては、大きな問題としてコンビニの光と影、小売商店数の減少、大手小売企業の資本蓄積構造、商店街の空洞化、中心市街地の活性化、海外大手小売企業の日本市場参入、などがある。

たとえば、「ヤオハン」は何故海外に進出し、倒産したのか。「そごう」は何故巨艦主義をとり、その結果何故倒産したのか。「ダイエー」は何故経営の危機に直面しているのか。コンビニは繁栄しているとはどういう意味なのか。商店街がシャッター通りになっているのは何故か。

このように、われわれの生活の周囲で流通をめぐるいろいろな問題が発生している。2年次では、まずこのような現象の事実を知り、その原因を調べる。

小売業の持つ市民生活にとっての意味を探る。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読あるいは報告。

履修上の留意点

ゼミは参加することに意味がある、ということを忘れないこと。

成績評価の方法

ゼミ、合宿、コンパ等への出席およびレポートの提出回数により評価。

教科書

必要に応じて指定。

参考書等

その都度指示。

その他

卒業研究 有

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	岩波文孝 <small>いわ なみ ふみ たか</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

近年の急速なIT革新の進展や企業活動のグローバル化にともなって、事業の再構築がグローバルに展開されており、企業をめぐるビジネス環境は複雑・多様化しています。ここでは、コーポレート・ガバナンスと経営システムをテーマとして、企業経営の仕組みを理解していくとともに、企業経営に関する興味・関心を深め、公正・効率的な経営システムの追究を目指していきます。

講義の内容・授業スケジュール

輪読形式により報告担当者・グループによるレジュメ報告を中心に討論を行います。合宿では、現代の企業経営が抱える諸問題について、討議していきます。

履修上の留意点

ゼミナールは、受講生の主体的な学びの姿勢にもとづいて運営されます。ここでは専門の学習へ向けて、自らの課題を発見し、積極的な学習スタイルが求められます。受講の際には企業経営に関する興味・関心を持ちゼミナールに参加してもらいたい。

成績評価の方法

ゼミへの出席、発表内容、積極的な討議への参加などの平常点による総合評価を行います。

教科書

開講時に指定します。

参考書等

必要に応じて指定します。

その他

演習 III 履修時には「卒業研究」を併設します。

科
専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	大石雄爾 <small>おお いし ゆう じ</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

21世紀を迎えた現在、日本経済は今なお90年代から続いた不況を脱け出していない。この深刻で長びく不況は、バブル経済がなぜ生じ、そしてなぜはじけたのか、というナゾを解くことなしには理解できない。このゼミでは、バブル経済とその後の不況局面を研究することをとおして、日本経済の特質と今後のあり方について考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

この演習では、森岡孝二他『日本経済の選択』をテキストとして、バブル経済の発生とその崩壊の理由をはじめ、日本経済がかかえる根本問題について学んでいく。また、地球環境の保護、高齢化社会のあり方、日本が多くの国に行なっている開発援助など、特に今日重要となっている問題についても立ち入って学習する。

平常の演習では、主としてテキストを中心に報告と討論を行ないつつ内容の理解につとめ、合宿において現代の興味ある経済問題について検討していく。

成績評価の方法

原則として平常点であるが、その中には提出を求めた感想文などの評価も含まれる。

教科書

森岡孝二『日本経済の選択』桜井書店

参考書等

大西広他『政治経済学』大月書店

その他

「卒業研究」を併設する。
コース制との関連：いずれのコースを履修してもよい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	おおぶきかつお 大吹勝男	経A・商2選	4

講義のねらい

現代企業の物流管理、マーケティング戦略における物流、ロジスティクス・マネジメント、そしてサプライチェーン・マネジメントと物流、等々うんざりするほどカタカナの用語がでてきましたが、諸君は、どれだけ知っていますか？

ゼミの仲間と一緒に勉強し、考えていきましょう。そして卒業時には、単なる知識の習得だけでなく、それを生かすことのできる科学的な思考能力を身につけた人間になっていることを期待します。また、つぎの詩に共感できる学生を歓迎します。

私が両手をひろげても／お空はちっとも飛べないが／飛べる小鳥は私のやうに／地面を速く走れない。

私がかからだをゆすっても／きれいな音はでないけど／あの鳴る鈴は私のやうに／たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、／みんなちがって、みんないい。

(金子みすゞ作)

成績評価の方法

平常点によるが、ときには感想文の提出がある。あとは諸君の勉強次第です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	おぐりたかし 小栗崇資	経A・商2選	4

講義のねらい

日本の企業会計制度は今、大きな転換期にさしかかっている。グローバル化の影響による会計制度の大改革は会計ビッグバンと呼ばれるが、計算構造の面でもディスクロージャーの面でもこれまでの財務会計の枠組みや原理・方法は大きく変容しつつある。会計の学習者にとっては、従来のような勉強だけでは変化についていくことができないので大変やっかいであるが、発想を変えれば、現代経済のなかでの会計の役割や仕組みを研究するチャンスである。演習では「日本の会計制度と会計ビッグバン」をテーマに学習を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習 I では、まず企業会計の基礎を理解することに重点を置き、企業会計の従来の考え方と新しい考え方を比較しながら、現代の財務会計の原理や方法を学習する予定である。財務会計の理論を中心にディスカッションを重視してすすめるが、一方で、会計は基礎からの技術的積み上げが重要なので、簿記・会計の初心者にはまず、日商簿記検定2級、3級を取得できるように指導したい。

履修上の留意点

演習では討論を重視しているので、積極的に参加すること。夏季合宿やコンパ、企業見学などもゼミの大切なイベントとして取り組みたいので、企画力のある意欲的な学生の参加を希望したい。なお、「卒業研究」も開講する予定である。

成績評価の方法

総合的に判断する。①出席状況、②分担報告、③レポート。

教科書

演習の中で指示。

参考書等

演習の中で指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	こ 小 杉 修 二 <small>すぎ しゅう じ</small>	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

本ゼミは地球温暖化問題とその解決策を考える。
1万年前に農業が発明されて、文明が始まったと言われる。この間、地球の気候は15℃プラス・マイナス1℃の間という、極めて安定した状態の間にあった。森林伐採や化石燃料の使用によって、21世紀末までに最大5.8℃の昇温がおけると予測されているが、これは文明の崩壊の可能性をはらんでいると言える。さまざまな異常気象、熱帯の伝染病や害虫の北上、巨大台風、海面上昇、国土の浸食、農業の崩壊等その影響するところは非常に大きい。これらがその他の様々な環境問題と合わせて我々を襲うだろう。

我々の文化や経済学というのは豊かさが切望された貧しい時代にできたものである。そして、経済成長はたしかに我々の生活を豊かで便利なものにした。

しかし、どんな経済活動も自然の生命維持システムという土台を離れては存立が不可能であることが今明らかになりつつある。こうした課題の前では、今までの常識、文明、経済学も全面的見直しが必要になるだろう。

この先40~50年は生きるであろう諸君にとってこれらをどうするかは避けて通れない深刻な問題であろう。

成績評価の方法

出席率70%以上を中心にする。

そ の 他

ビデオを使った授業で理解を深める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	こ 小 林 正 人 <small>こばやし まさと</small>	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

この2年生の演習では、いま注目されている産業界の一つについて調査し、経済分析のおもしろさを味わうことにしたい。そのために、書籍、新聞、雑誌などの文献資料を集めて読む、報告書を作って発表する、討論やグループ作業に参加するなどの知的作業に取り組みます。また、インターネットによる情報検索、ワープロによる報告書作成にも慣れ、さらに自分のホームページを開設します。下記のウェブサイトの「ゼミのひろば」にこれまでのゼミの活動が掲載されています。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>

講義の内容・
授業スケジュール

今年度のテーマは「IT（情報技術）経済の歴史と現状」です。IT 経済とは、IT 産業（コンピューター、情報機器、半導体、ソフトウェア、情報サービス、電気通信など）や、インターネット・ビジネス、電子商取引などを中心とする経済分野のことです。

前期は、一定の文献についてみんなで議論したり、インターネットによる文献検索やワープロによる報告書作成に取り組みます。後期は、一定の文献にもとづいてグループごとの発表や討論に取り組みます。また各ゼミ生がホームページを開設し情報を発信します。

履修上の留意点

ゼミ生の自発的な発言、調査、発表が基本です。また、ゼミの円滑な運営のためのルールに従うこと。駒沢大学総合情報センターのメールアカウント（KOMAnet のユーザー ID とパスワード）をいつでも使えるようにしておくこと。

成績評価の方法

ふだんの発表や発言を基本にして評価します。各期末にレポートを求めることもあります。

参 考 書 等

授業中にゼミ生と相談して決めます。「テキストの候補」を、上記のウェブサイトの「ゼミのひろば」に掲載します。

そ の 他

「卒業研究」（卒業論文のみ）を演習Ⅲで併設

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	さいとう 藤 正 齋 藤 正	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

「金融大改革と銀行業」をテーマとし、金融の仕組みがどのように変化しているのか、それにもなって銀行業務がどのように変化しているのかを学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

IT（情報通信技術）の発展が金融業務を大きく変え、ヘッジファンド、デリバティブなどの聞き慣れない用語を新聞紙上で目にすることが多くなりました。いまや金融業務は「資金の貸借」という意味だけではとらえきれない一大変革の時代にあり、銀行業務も大手銀行を中心に、「預貸業務」中心の伝統的銀行業務からデリバティブや M&A（合併）の仲介へと大きく変貌を遂げています。

演習 I では、金融業務の大変革をもたらしている「グローバル競争」のあり方を眺めながら、「預貸業務」中心の伝統的銀行業務が現代経済において、どのような意味で重要であるのかを考えます。

履修上の留意点

ゼミナールは少人数であり、討論を通じて具体的な問題についての理解を深めたり、議論の仕方を学ぶところに意義がありますので、積極的な諸君の参加を求めます。

成績評価の方法

年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

教科書

建部正義『はじめて学ぶ金融論』大月書店

参考書等

日本銀行『わが国の金融制度』
日本経済新聞社『経済新語辞典』（毎年、新版が発行されています）

その他

「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	清水卓 <small>しみず たかし</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

当ゼミは、ヨーロッパ経済を中心としたゼミです。とはいっても、ヨーロッパは大きくて懐の深い社会ですから、ゼミ参加者の問題関心も毎年実に様々で、欧州憲法、中東欧諸国の加盟、欧州連合（EU）の統一通貨ユーロ、北欧諸国の福祉社会など興味の対象はつきません。ですから、3年間をかけて、現代の経済社会を見る目を、基礎から徐々にレベルアップしていけるように運営しています。卒業時点で自分の得意分野でしっかり自己表現できるようになることを目指します。

担当教員は、様々な最新情報や、資料の所在、文献の紹介などをしますが、ゼミの中心は参加者学生の自由な話し合いです。参加者の色々な個性が触れ合って、学びの楽しさを実感できる場にしたいと思います。

今後数年でEUに参加してくる中・東欧諸国、構成メンバー国数の増加に対応してのEU自体の機構改革、EU憲法制定への動きなど、現在のヨーロッパの様々な動きの意味について考えていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール

演習Iでは、ヨーロッパ経済とEUについての基礎的文献・資料をじっくりと学びます。自分なりの考えを分かりやすく他のメンバーに伝えられるようになるために、要旨を発表する形式で行います。見学（昨年は裁判所、TBS）などの行事をしたり、春と夏には、楽しい合宿をやりま

科
専
門
教
育
目

履修上の留意点

「よく学びよく遊べ」をモットーにしたいと思っています。何事につけ前向きに取り組もうとする姿勢がほしいですね。

それと、昨年から、基礎的学力を充実させるため、ゼミ生には漢字検定の資格、英検、TO-FLE[®]、TOEIC[®]の資格に挑戦するように呼びかけています。

成績評価の方法

平常授業や合宿への参加や、研究発表への取組を評価して成績を決めます。

教科書

田中、長部、久保、岩田『現代ヨーロッパ経済』（有斐閣）2,500円

参考書等

授業で紹介する。

その他

「卒業研究」併設。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	代田純 <small>しろ た じゅん</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

このゼミ（代田ゼミ）では、金融をゼミのテーマにします。金融は不良債権問題に示されるように、今や経済の最重要領域である、と言っても過言ではありません。ゼミでは、この金融について、基礎から現状まで学びます。

講義の内容・授業スケジュール

まず2回生では、基礎をしっかりと学ぶことが大事です。このために、4～7月ではマクロ経済と金融の関連がわかるような、新書程度を取り上げて勉強しましょう。9～12月に、すこし基礎から現状へとレベルアップしましょう。

夏合宿は9月中旬を予定しています。

履修上の留意点

金融の基礎がわからない人でも歓迎します。ただし出席が前提です。

成績評価の方法

まず出席が重視され、ゼミでの発表や発言などから平常点で評価する。

教科書

ゼミ生と話し合って決めるが、昨年は『日本経済入門』（日経文庫）。

参考書等

『金融入門』（日経文庫ベーシック）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	すずき のぶ 枝 鈴 木 伸 枝	経A・商2選	4

講義のねらい

公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックについて「どういう問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。

講義の内容・授業スケジュール

二年生のうちは、公共経済学の理論の基礎となるミクロ経済学もしくはゲーム理論のテキストの輪読を中心にします。毎回、輪読の報告担当者にはレジュメを用意してもらいます。また、学年末には自分でトピックを選んでレポートを提出してもらいます。コンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。

履修上の留意点

ゼミは勉強の場だけでなく、人前で自分の意見を言えるよう訓練したり、同じゼミの仲間と協力して何かを達成することを通じて人間的に成長する場でもあります。引っ込み思案にならず、常に積極的な態度で参加してください。

成績評価の方法

出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。

教科書

受講者と相談して決定します。

その他

ゼミ中は禁煙とします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	瀬戸岡 紘 <small>せとおか ひろし</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応した経済、社会、経営などにかんする学習と研究の基礎的能力をやしなうとともに、そうして習得したものを話す力、書く力を高めることによって、実際にうまく表現できるようにすること。何を学習・研究の対象としてとりあげるかは、受講者の希望によります。かなり幅広くみとめているのが当ゼミの特徴です。「グローバル化」に対応するたてまえから、留学生を積極的に受け入れ、現在アメリカ人、中国人、モンゴル人、オーストラリア人などをふくめて多彩な顔ぶれでゼミをやっています。「デジタル化」に対応するたてまえから、パソコンを全員がゼミ開講後半年以内にひととおり使いこなせるように徹底的に講習します。

講義の内容・授業スケジュール

「基礎はしっかり、研究は自由に」のスローガンのもと、活気あるゼミ活動をしています。秘訣は、アメリカの大学（なかでも名門シカゴ大学）の演習の方式を採用しているからです。受講者の学習に有益な材料をふんだんに提供し、ゼミ生はそれらを活用し、相互に実践をとおして体得します。前半期は、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートのしかた、レジュメ、小論、論文の書きかた、本のさがしかた、読みかた、資料のあつかいかたの習得が主になります。後半期は、グローバル化時代の特質と諸問題にかんする書物の輪読と討論が中心になります。ゼミで身につけた能力を上級のゼミ生とともに活用してみる場としてサブゼミ活動が、また、他大学の学生との交流をとおして学ぶ場として日本学生経済ゼミナールへの参加が、さらに、海外（とりわけアメリカ）の学生との交流と討論をとおして楽しく学ぶ場としてインターネットによる交流と遠隔授業がおこなわれます。そのほか、工場見学など多彩なイベントが用意されています。

専門教育 科目

成績評価の方法

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は当人のやる気です。

教科書

随時、有益な文献を紹介します。

その他

このゼミは、2003年には『世界週報』で全国に紹介され、1994年にはCNNテレビで世界120カ国に紹介されました。海外の大学への留学、日本の代表的な大学院への進学、第一志望の企業への就職の実現にむけ、早い段階から対応し、これまでに多くの実績をつんでいます。このゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問いあわせたりすることのほか、下記のホームページにアクセスしてください。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~setooka/>

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	曽我 信孝 <small>そが のぶ たか</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

マーケティングの概念を明確にし、マーケティングで展開される諸政策を学習する過程で、問題の発見の方法、分析の方法、討論の方法などを学習する。

講義の内容・授業スケジュール

マーケティング、流通関連の教科書を指定し、章単位程度に分割し、受講生に発表してもらう。残り時間を討論にあてる。11月末に他学年との合同ディベート大会を開催する。ディベート大会の課題発表（10月上旬）後は、グループ研究が中心になる。

成績評価の方法

出席状況（合宿参加も含む）、発表要旨（レジュメ）、ゼミ行事への取り組みなどで総合評価する。

教科書

春合宿時に決定する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

「卒業研究」を併設する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	ちよん 鄭 ちゃん 章 よん 淵	経A・商2選	4

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことです。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジアNIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）、ASEAN3（タイ、マレーシア、インドネシア）、中国、その他と続く発展の様は、しばしば「雁行形態の発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく現状において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

東アジア経済に関する基礎知識を身につけるため、次の文献を輪読してもらいます。具体的には、予め報告分担を決め、報告者は各自が作成したレジュメに基づいて報告してもらいます。

大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円＋税

また、夏期休暇にゼミ合宿を予定しています。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。

成績評価の方法

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。

そ の 他

4年次に「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	徳永俊明 <small>とくながとしあき</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国（発展途上諸国：第3世界）の国際関係と其中の人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済の中での人間と人間の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさと貧困、そして彼らのたたかひについての検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさと貧困を考えるのです。

春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは？ 自由とは？ 愛するとは？ 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりがみんなの意見を参考にして考えを深めます。

ゼミ最大のイベントは、これも全学年そろっての東南アジアへの研修旅行（自由参加）。これまでフィリピン・ベトナム・インドなど11か国へ行きました。いわゆる「観光旅行」ではなく、人々と交流し、人々の生活とその向上への努力や文化などを見聞することで、アジアの人々を知り、私たち自身の生活と考え方を再検討します。この旅で、私たちの頭のなかの〈世界〉は一挙に広がり、深くなります。

第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点

何よりも〈考える〉努力が大切です。〈考える〉努力を惜しまない諸君を求めます。

成績評価の方法

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

参考書等

討論のための資料・〈考える〉ための材料は、学生諸君と相談しながら用意してすすめます。

その他

〈考える〉努力の成果を「卒業研究」としてまとめます。

科専門教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	松憲彦 <small>ともまつよしひこ</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

この演習は経済史の入門を課題としています。現在経済はどのように生まれ、いかなる特徴や問題を持ち、今後どの方向に変化していくのか、経済史はこうした問題を人類の過去の経済活動の軌跡を研究することによって明らかにする学問です。経済史という学問の課題と方法の理解につとめます。

講義の内容・授業スケジュール

資本主義といわれる近代社会の経済システムが歴史的にどのように誕生し発展してきたかを学びます。それを前提として今年度は「流通の歴史」をテーマに研究します。わたしたちの生活はさまざまな財やサービスを生産し、それを消費することによって成り立っています。この生産と消費を結びつける行為が流通（商品の購入と販売）であり、流通業がそれを担っています。歴史的にみると小売業は、マーケット、フェア、行商人から固定店舗に移行し、さらに近代にはデパート、チェーン・ストア、コンビニなどの新しい業態を生みだしました。「流通の歴史」を近代資本主義の発達と関連させながら研究します。

また、この演習では現代の経済問題にも注意を払い、経済新聞の講読もおこないます。これらの勉強を通じて、文献や資料を探し、レポートを書き、研究結果を発表し、議論をする、といった学問研究の技術を習得することに努めます。

履修上の留意点

「経済史」「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。

成績評価の方法

(1)年度末のレポート(2)平常点(レジュメ、報告、討論の状態)(3)出席で評価。

その他

卒業研究を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	中 濟 光 昭 <small>なが すみ みつ あき</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

経済を情報の観点から研究していきます。具体的なテーマとしては、インターネットマーケティング、ネットワークを活用した流通システム、サプライチェーンマネジメント、デジタル情報の著作権問題、電子決済があります。コンピュータに興味のある学生は、システム設計実習やホームページデザイン実習などをテーマとしています。このゼミでは、パソコンを活用した情報リテラシー向上のための演習を行います。また、課外活動も重視しています。合宿、学外の研究発表、展示会見学、インターンシップ参加など、様々な活動を通じて、社会人として必要なことを学びます。この演習の成果は、情報産業を始めとする様々な業種への就職に結びつきます。

講義の内容・授業スケジュール

担当者のシステムエンジニア時代の経験を活かした指導を行います。
 ・テーマの決め方、資料の探し方、レポートの書き方（アウトライン、レジュメ作成）
 ・レポート実習、発表の仕方
 ・各自設定したテーマについてレジュメ作成、発表

履修上の留意点

・合宿、課外イベント、サブゼミは、原則として出席していただきます。資格取得の自主ゼミも皆さんの希望によって実施しています。積極的なゼミ活動を期待しています。
 ・メールを読む、ワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。今、ワープロが出来なくても、身につけたいという意欲のある人は歓迎します。

成績評価の方法

出席と課題提出、夏季合宿、学年末に行う発表とレポート、ゼミ運営上の雑務、イベントへの参加、資格取得を総合評価します。

教科書

別途指示

参考書等

別途指示

その他

ゼミはパソコン教場を使用しますので、本ゼミを受講したい人は、総合情報センターへ利用登録を行う必要があります。演習Ⅲでは、卒業研究（論文及び作品）を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	橋 野 知 子 <small>はし の とも こ</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

〈近代日本経済史の研究〉過去における選択が現代の経済社会にどのような影響を与えているのでしょうか？このゼミナールでは日頃我々が抱く疑問を解く鍵を経済史の中から発見する方法や考え方を学び、そのおもしろさを味わうことを目標とします。また、歴史を視るには、私たち自身が現代をどのように認識するかという、同時代人としての視点が不可欠です。よって、歴史だけではなく現代日本の経済問題も同時に考察していくこととします。なお、卒業研究を併設します。

講義の内容・授業スケジュール

日本経済史の諸分野を分析する基礎を養うと同時に「社会科学とは何か」という問題を考えたいと思います。その過程で論文の読み方、発表・報告の仕方、議論の進め方、レポートの書き方、データベースソフトを利用した分析などといったスキルを身につけましょう。受講決定者には、ゼミの先輩からゼミ活動のイロハを早速学んでもらいます。

履修上の留意点

日本経済史に興味がある学生を歓迎します。同時に、ゼミという組織の形成に積極的に参加し、そのなかで自分を成長させようという強い意志と根性、仲間を思いやる心を持った学生を歓迎します。時間にルーズな方、約束を守れない方は御遠慮下さい。

成績評価の方法

平常点。

教科書

受講決定直後のガイダンスや第一回目のゼミで話し合った上で決定します。

参考書等

必要に応じて随時紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	ひゃく た よし はる 百 田 義 治	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

現代日本の企業が直面するビジネス・マネジメント（経営管理）に関わるテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT 革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。

講義の内容・
授業スケジュール

- 次のようなテーマに取り組みます。
- (1) メガ・コンペティション、グローバル・スタンダードが叫ばれるなかで、日本企業の経営行動はどのように変化しているのか？
 - (2) 企業不祥事がなぜ多発するのか？ その防止（コーポレート・ガバナンス）には何が必要なのか？株価至上主義経営の破綻は何を意味するのか？また、社会的責任投資とは何か？
 - (3) いま、なぜ、能力主義・成果主義なのか？ 終身雇用・年功制はなぜ修正されなければならないのか？ 日本的経営の何を残し、何を変更すべきか？
 - (4) なぜ、企業は海外進出するのか？ 経営が国際化するなかで異文化との共生には何が必要なのか？
 - (5) 企業は環境問題にどのように取り組んでいるのか？
 - (6) 21世紀のビジネス・モデルの特徴は何か？ネットワーク経営とは何か？ などなど

履修上の留意点

経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法

出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書

未定

参考書等

未定

その他

「卒業研究」（4単位）を併設します。

科 専
門 教
育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	福 原 好 喜	経A・商2選	4

講義の内容・
授業スケジュール

〔社会科学方法論研究〕 このゼミナールは経済学の基本となる社会科学方法論に関する基礎的な文献を読むことにしている。昨年は大塚久雄『社会科学の方法』、マックス・ウェーバー『社会科学方法論』、『職業としての学問』、カール・マルクス『経済学の方法』などを読んだ。主観を離れられない個人が如何にして学問の客観性を保証しうるのか？これがゼミの基本テーマである。ゼミはディスカッション方式で行うので何よりも学生の自主的な勉学態度を期待する。ガリ勉である必要はないが、勉学に情熱を持った学生に是非来てほしい。

夏の合宿では、研究会とともに、午後はテニスカゼミのヨットで操縦訓練を行っている。午前勉強、午後スポーツ、夜研究会という日課である。

「よく遊びよく学ぶ」というのが福原ゼミのモットーである。ヨットもテニスも初心者には手ほどきをする。福原ゼミで諸君が学ぶものは別にテキストからだけではない。教師や学生仲間とのつき合いを通して夫々の個性をのびのびと育ててほしいと思っている。

学生に、勉学はもとより、精神的、肉体的訓練も幾分かでも与えることが出来ればと思う。サブゼミとして、専門にとらわれない経済問題全般についての研究会を実施中である。春秋年2回、2・3・4年ゼミ、全メンバーによる駒沢公園一周のマラソン大会とそれに続く合同コンパが恒例行事となっている。3年という歳月はそう長くはない。自分を鍛えることにもっと意欲を持とう。

学生との人間的つきあいを大事にするゼミにしたいと思っている。

(福原ゼミナール十訓)

福原ゼミ生は以下の教えを胸に刻み、その実践を心掛けなければならない

1. 理想を高く掲げ、日々の努力を怠らざること
1. 人格の陶冶を心掛け、心身の鍛錬に努めること
1. すべての生命を慈しみ、無用の殺生をなさざること
1. 社会的貢献に努め、弱者の救済に役立つこと
1. 質素を旨とし、浪費をなさざること
1. 規則正しい生活を心掛け、早朝マラソンを欠かさざること
1. 親の葬儀以外は授業をさぼらざること
1. 隣に優しく、自らには厳しかるべきこと
1. 自らの責務を回避せざること
1. 酒を愛すも、深酒は慎むこと

履修上の留意点

「卒業研究」併設。

成績評価の方法

成績は出席点とレポートでつける。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	ふるさわ こうぞう 古沢 紘造	経A・商2選	4

講義のねらい

2年演習〔アフリカの社会と文化I〕
アフリカを知るおもしろさは、混沌とした世界にあるようだ。生活様式一つを取ってみても狩猟採集、遊牧、農耕というように実に多様だ。こうした異質な社会を理解することによって、私たちのものの見方、考え方を問い直す契機となれば得るものは大きい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①次のテーマについて研究発表を行う。
 - A 多様な人間社会（ライフスタイル）
 - 1 狩猟採集民 2 牧畜民 3 農耕民 4 都市民
 - B 多様な人間関係
 - 1 通過儀礼（大人と子ども） 2 親族（身内とよそ者） 3 経済活動（贈与と交換） 4 宗教と権力（まつりとまつりごと）
- ②アフリカをテーマにしたユニークな雑誌を発行する。
- ③演習をアクティブなものとするため、楽しい企画（アフリカ・フェスティバル、コンサート、映画祭、サッカー大会）にチャレンジする。

成績評価の方法

研究発表、レポート提出、ゼミ活動への参加に基づき総合的に評価する。

その他

「卒業研究」を併設する。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	ほり りゅうじ 堀 龍二	経A・商2選	4

講義のねらい

労務管理論に関する基本的知識の獲得や問題意識の涵養をねらいとしています。とくに現代日本の労務管理はいま大きく変化してきています。従来の労務管理がどのような特徴と構造をもっていたのか、それがなぜいま、どのような方向へ変化してきているのか。こうした問題を考えるのに有用な知識を修得してもらうのが課題です。

講義の内容・授業スケジュール

適当なテキストを用いながら、それを輪読し、また担当を決めて要旨を報告してもらうといった方法で知識を修得するとともに、ゼミとしての共通の認識を養ってもらう。また、基本的な統計資料の利用といった学習スキルの向上も図っていく。後期にはグループを作り、グループごとにテーマを決め、グループ内での下調べをもとにゼミで報告する方法も予定しています。

履修上の留意点

労務管理論に関する基本的知識の修得が主眼とはいえ、ゼミでの私の説明、他の人の報告、そこでの議論において、理解しにくいと感じたことをうやむやにしないで、質問する姿勢を大切にしてほしい。つまり積極的な発言を期待しています。

成績評価の方法

基本的に日頃のゼミへの参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言を中心に評価します。

教科書

現在検討中で、初回ゼミまでに決定します。

その他

夏休みなどを利用して合宿を行う予定です。演習Ⅱ・Ⅲまで引き続き履修した場合には、演習Ⅲ履修時に「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	みぞ て よし かず 溝 手 芳 計	経A・商2選	4

講義のねらい

食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思ひます。演習Iでは、特に、問題のイメージを豊かにすることを重視します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。

履修上の留意点

ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つと決っていません。学生相互の疑問の出し合い、教えあい、意見交換を大切にして下さい。

成績評価の方法

出席状況、レポートと発表の内容・態度、議論への参加状況などを総合的に評価します。

教科書

ゼミ生の希望を聞いて決定します。

参考書等

必要に応じて紹介します。

その他

演習I、演習IIの履修者には、演習IIIで「卒業研究」を併設します。

専
門
教
育

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	みつ おか はく み 光 岡 博 美	経A・商2選	4

講義のねらい

演習Iでは、現代日本の労働問題や社会保障を研究するための準備として、これらの分野に関する基礎的な学習を行うこととします。具体的には、参加者と相談しながらテキストを決定し、毎時間レポーターによる報告と討論を積み重ね、確実にテキストの内容が理解できるように努力します。1年間で、できるだけたくさんのテキストを読んでいく予定です。ゼミ参加者は、毎時間きちんと出席し、同時に、自分自身がどのようなテーマで今後の研究を行っていくのかを考えて下さい。(例えば、「日本の労使関係」、「女性労働問題」、「日本の社会保障・福祉」)なお、春と夏にはゼミ合宿(2泊3日程度)を行います。強制はしませんが、ゼミ内での親睦を深め、3、4年生のゼミ生との交流の場とします。多数の参加を期待します。

履修上の留意点

通常の講義とは違って、演習は参加者自身が協力し、全員の努力で充実したものとなります。教員の話を一方向的に聞くのではなく、全員が発言し、活発な討論を期待します。

成績評価の方法

成績は(1)出席(2)レポーターとしての努力や工夫などを総合的に判断して評価します。通常の講義のような筆記試験は行いません。

教科書

演習参加者の意見や要望を参考にして決めたいと思ひます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	もり おか じん 森 岡 仁	経A・商2選	4

講義のねらい

21世紀を迎えた日本の経済と人口の成長は引き続き低水準にある。社会保障・人口問題研究所の平成14年推計によると、日本の人口は2006年の1億2,800万人をピークに、その後は減少すると予測されている。出生率の低下による影響は多方面に及び、人口高齢化とともに国民の関心は高いが、特に近年では社会保障との関係で出生率の動向が注目されている。

講義の内容・授業スケジュール

この演習では経済人口学の立場から、わが国における人口の少子化や高齢化が経済に対してもつ相互の関係を明らかにする。

履修上の留意点

休まず出席することが演習履修の第一条件である。

成績評価の方法

平常点

教科書

大淵寛『少子化時代の日本経済』、日本放送出版協会。

参考書等

演習の中で適宜紹介する。

その他

「卒業研究」を併設する。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏	経A・商2選	4

講義のねらい

会計とは、企業の経営活動の状況を数字によって表現しようとするもので、その具体的な技術が簿記であり、その背後にある理論が会計学といわれるものである。会計学の領域は大きく財務会計と管理会計に分けられる。本演習では、財務会計の基礎理論を学ぶことを目的とする。財務会計とは、投資者、債権者、税務当局、消費者など、企業外部の利害関係者に対し、会計情報という形で企業の実態を明らかにする外部報告会計である。さらに、このような外部報告会計に信頼性を付与するため、資本金5億円以上または負債総額200億円以上の会社、および有価証券の募集・売出しをしようとする会社または有価証券を上場している会社などに対して、公認会計士または監査法人による会計監査が義務づけられている。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをベースとして、財務会計および監査の領域に属する基礎的な諸問題を取り上げ、解説および学生諸君による報告・討論を行う。必要に応じて簿記の学習（日商簿記検定試験3級程度）を取り入れることもある。1年間の演習の終了時にはレポートの提出を課す予定である。

履修上の留意点

特別な事情がない限り、毎回出席すること。

成績評価の方法

いわゆるゼミであるから出席を重視するが、そのほかに報告内容(レジュメを含む)、レポートなどを考慮に入れて総合的に評価する。

教科書

新井清光著、加古宜士補訂『現代会計学(第7版)』(中央経済社)2,600円

参考書等

演習時に適宜紹介する。

その他

演習Ⅲに「卒業研究」を併設する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	谷敷正光	経A・商2選	4

講義のねらい

テーマ〔日本経済発展史入門〕
2年生の演習は日本経済、日本産業の驚異的成長はいかにして可能だったのか、日本経済の発展過程と経済システムを明らかにしていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕は、戦前・戦後の日本経済発展の理解や事実認識の手助けとして、和田英『富岡日記』、山本茂実『あゝ野麦峠—ある製糸工女哀史』、中村隆英『昭和恐慌と経済政策』、邦光史郎『トヨタ王国』、木下英治『東急王国』などの小説や「あゝ野麦峠」「若き日の豊田佐吉」「生きている昭和史」などの映画、「金融恐慌日本を揺るがす」「乗用車ゼロからの出発」などのビデオを教材として使用して班別課題発表やプレゼンテーションの練習をします。

〔後期〕は、前期に学んだ「題材」にかかわる学術論文を読み進めたり、基礎的文献を教材に日本資本主義の形成期、産業資本確立期、独占資本主義確立期を中心に日本経済の発展過程や経済システムを班別課題発表やプレゼンテーションで明らかにしたいと思います。

〔授業以外〕に夏休み、春休みを利用して合宿を行い、集中的研究を行う他、ソフトボール、ボーリング大会、旧跡めぐりなどを行い、ゼミ員の親睦をはかることにしています。

履修上の留意点

4年ゼミまで続けられる人を望んでいます。

成績評価の方法

出席を基本に、常日頃の発表やレポートなどで総合評価します。

教科書

山本弘文『近代日本経済史』（有斐閣）

参考書等

速水融、宮本又郎編『日本経済史（全8巻）』（岩波書店）
『日本歴史大事典（全4巻）』（小学館）

その他

4年ゼミでは、「卒業研究」を開設しますので希望する人は履修することができます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	安元稔	経A・商2選	4

講義のねらい

初めて経済史を勉強する諸君に、「経済史」という学問領域の特色・経済史的なものの見方・経済史の面白さを知ってもらうことがこの演習の主なねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを選び、それぞれ分担して要約・疑問点・興味を持った点を報告してもらいます。学術用語・概念を調べ報告してもらうこともあります。

履修上の留意点

なじみのない学術用語・概念が多く出て来ますので、その都度億劫がらずに図書館で調べることが必要です。

成績評価の方法

日常の勉学態度・出席状況を見て成績を評価します。

教科書

川勝平太『経済史入門』（経済学入門シリーズ）（日経文庫888/F37）860円 ISBN4-532-10888-8

参考書等

適宜指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	山縣弘志 <small>やまがたひろし</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

比較経済論研究の入門

講義の内容・授業スケジュール

専門的学習・研究へ向けての入門的トレーニングを行う。国際的な視野を獲得し、卒業時に各自のテーマで論文作成することを目標とする。2年次においては、(1)社会科学の文献に慣れる、(2)論理的思考を育てる、(3)プレゼンテーションを経験する、(4)問題意識を明確にもつ、(5)世界経済の全体像をイメージできるようにする、(6)国際的な比較の観点を常に意識する、を主な柱として授業を組み立てる。

成績評価の方法

出席、発表、討論への参加を点数化して総合評価する。

教科書

岡沢憲英『スウェーデンの挑戦』
西川潤『世界経済入門』
石弘之『地球環境報告』
暉峻淑子『豊かさとは何か』
以上岩波新書

その他

非喫煙者が望ましい。
「卒業研究」有。

専門教育
科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	吉田敬一 <small>よしただけいいち</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

この演習は日本経済分析の入門を基本課題としています。バブル崩壊後の日本経済は長期にわたって深刻な不況に喘いでいます。90年代の世紀末大不況は単純な循環性の不況ではなく、日本経済の構造とりわけ日本型生産システムの抜本的再編成に基礎を置く「構造転換不況」として把握する必要があります。そこで本演習では、21世紀に入った今日、国際的な観点を含めて、日本経済の問題点がどこにあり、なにが、いかに、なぜ変化しようとしているのか、そしてそれが地域経済と中小企業に対してどのような影響を及ぼしつつあるのかを、ともに考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

講義とは異なり、演習は学生諸君の自主性・主体性が不可欠です。そこで演習生をグループ化し、班単位でレジュメを作成し、報告・議論を進めていきます。また共同研究を通して、演習生各自が自分自身の世界観・社会観(ものの見方・考え方)を確立することを目標として、また各自が個性的なプレゼンテーション能力とリーダーシップを高めることを目指して、演習を運営していきます。

履修上の留意点

受身でゼミに参加するのではなく、積極的に発言し、楽しく有意義なゼミを共に創り上げるという姿勢でチャレンジしてください。なお4年次には卒業研究にチャレンジしてもらいます。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、平常点(レジュメ、報告内容、討論への参加度など)およびレポートなどを中心にして総合的に評価します。

教科書

橋本寿朗『戦後の日本経済』(岩波新書)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	よしの 吉野 紀 <small>おきむ</small>	経A・商2選	4

講義のねらい

総合情報センターの機材を使いながら、金利と利回りの話や、現在価値に割引く考え方を導入点として、成長率、成長モデルなどテーマを徐々に拡大し、自らシミュレーション（模擬実験）を行えるよう指導してゆく。結果はフロッピー・ディスクに保存しておくので、後で自分で自由に拡張してゆくことができるであろう。

成績評価の方法

日常の授業姿勢を評価の基準とする。

参 考 書 等

蓑谷千風彦他『パソコンによる数量分析』（数量経済分析シリーズ第6巻）多賀出版。

そ の 他

「卒業研究」併設。

科目名	担当者名	配当学科	単位
流通経済論	おおぶきかつお 大吹勝男	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

近年ますます大学においても、学問が軽視される風潮にあります。そして生残りをかけ、学生集めのために実学主義・実用主義を売りものにする大学が増加しています。また、大学は学生および社会的要請に答えねばならないという主張のもとに、会社・企業のために大学が存在することを主張し、かつ君たちに会社人間になることを勧めるマスコミや評論家等がいます。そして一方で、学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は入学した君たちのためにあり大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない物事の見方、考え方を学ぶことです。さらには、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。何年かキャリアを積んだビジネスマンから聞くことは、大学時代に学問をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、そして使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に思考する能力を身につけて下さい。そして、社会人として現実に困難な問題に出会った時に、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。母さん、学者の良心はどこまで転落してゆくのでしょうか。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論（物流の基礎理論を含む）および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。そのためには一年間を通して授業に出席することが必要です。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するとおもいます。

科 専 門 教 育 目 録

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目の通りですが、本年度は、これらの項目について講義しながら、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について特に力を入れるとともに、同時にロジステックスについても考え、さらに、サプライチェーンとそのマネジメント（管理）について検討します。また、マーケティングおよびブランドの問題についても検討する予定です。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・商品在庫と保管費用・市場と商品輸送）
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質論・自立化論・卸売排除論・電子商取引（eコマース）
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課すこともあります。また各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。

期末試験は論述形式でおこなう予定。再試験は実施する。

教 科 書

大吹勝男『流通費用の基礎理論』（4月刊行予定）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	いわ した ひろし 岩 下 弘	経A2・3・4選 15以前入学生/経1・2・3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 90年代の小売商業構造 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
 - 1 中小小売商保護政策論 2 流通近代化政策論 3 流通システム化計画論
 - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通 2 80年代流通産業ビジョン 3 90年代流通ビジョン
 - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法 2) 1979年改正法 3) 1991年改正法
 - 5 凍結宣言、要綱及び条例
 - 6 通産省による行政指導=抑制措置
 - 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れ-前川レポート、行革審報告 2) 日米構造問題協議
 - 3) 適正化措置
 - 8 特定商業集積法
 - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
 - 1 大店立地法 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
 - 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策-都市・農村計画法 2) 日曜営業問題-商店法
 - 2 フランス-ロワイエ法
 - 3 ドイツ-土地利用計画
 - 4 アメリカ-ゾーニング規制

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。再試験は実施しない。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
マーケティング	曾我信孝	経A2・3・4選 15以前入学生/商1・2・3・4選必	4

講義のねらい

大規模企業が展開するマーケティング政策の原理を理解してもらい、それらが消費者にどのような影響を与え、経済さらには文化に影響を与えているかも考えてもらうことを狙いとしている。

講義の内容・授業スケジュール

1. マーケティングの問題点
 - ・消費者の価値観とマーケティング支配
 - ・マーケティングと収奪関係
2. 製品政策
 - ・新製品開発が意味するもの（切れない電球は出来ないのか）
 - ・差別化政策、多様化政策、細分化政策（なぜブランドがあるのか）
 - ・ライフサイクルの短縮化（なぜ「モデルチェンジ」をするのか）
3. 価格政策
 - ・価格の概念（価格の内訳は何であろうか）
 - ・価格設定の方法（高級品ほど利益率が高いのはなぜか）
 - ・新製品の価格設定（価格操作による購買意欲の操作を知っていますか）
 - ・再販売価格維持（定価とオープン価格のちがいは何でしょう）
4. チャンネル政策
 - ・流通組織、流通経路（商品はメーカーから消費者までどのように流れていますか）
 - ・販売チャンネル（販売チャンネルを支配する理由は何でしょう）
 - ・チャンネルの支配形態（ディーラーって何ですか）
5. 販売促進政策
 - ・販売員管理（賃金の高低で販売員を管理できますか）
 - ・広告（貴方の潜在意識が広告にさらされているのを知っていますか）
 - ・サービス（現在存在していないようなサービスを思いつきますか）
6. 国際化戦略
 - ・現地化（なぜ日本企業は生産の現地化をする必要があったのか）
 - ・マーケティングの現地化（なぜ現地地でマーケティングを展開する必要があったのか）

科
専
門
教
育
目

履修上の留意点

講義を通じて基礎理論を理解してもらうことはもちろんですが、毎時間2～4度は問題を提起します。学生諸君は、単に講義を聴くだけではなく、積極的に問題意識に取り組む姿勢を持っていただきたい。

成績評価の方法

1. 期末試験を最重視する。期末試験は年間の講義範囲から論述問題を提出する。評価の基準はその内容を十分理解でき、さらに現実の問題意識ができていくかどうかを判断する。したがって、参考文献等の抜書き解答等には厳しい評価となる。
2. 夏休みの課題としてレポートを提出してもらい評価の参考にする。
3. 著しく授業を妨害したものは、評価対象からはずす可能性がある。
4. 再試験は実施する。

教科書

指定なし

参考書等

1. 曾我信孝ほか3名著『現代マーケティングの基線』（同文館）3,000円
2. 曾我信孝『総合商社とマーケティング』（白桃書房）4,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 品 学	いし ざき えつ し 史 石 崎 悦 史	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

現在の商品の進化は激しい。企業と消費の力関係。行政の規制などによって出現するのである。現在の状況を打開していくのは新商品開発であるから、商品の進化がもたらす社会生活の変化を考えてみたい。商品がもたらす問題は商品によって解決するしかない。現実のなかから、新しい商品学の体系を作りだすことを目的としたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期のテーマは商品の競争力であり、社会における商品のあり方が問題となる。後期は商品を使った戦略である。具体的な商品のデザイン、ブランド、規格などをとりあげて、その戦略的な使い方について考えたい。

履修上の留意点

商品学は現実の商品が対象なので、自分の購買・使用経験や商品広告、あるいはアルバイトでの経験を材料にして考えることができるので、生かしてもらいたい。

成績評価の方法

前・後期に筆記試験をおこないます。再試験も実施します。試験の結果で成績評価をします。

教 科 書

石崎悦史『商品知識イノベーション戦略』（同友館）1,600円

参 考 書 等

石崎悦史『商品学と商品戦略』（白桃書房）
 石崎悦史『商品競争力の理論』（白桃書房）
 石崎・橋本『商品学と技術』（白桃書房）
 片岡寛編著『拡大する栄養ドリンク市場』（中央経済社）
 見目洋子『「生活福祉」を実現する市場創造』（中央経済社）

そ の 他

例年受講者が多いので、大教室での講義になるが、勉強をおもしろくする方向性の提示と工夫を考えています。勉強が生きる力になることを期待しています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 史	こ う の 幸 野 やす の り 典	商・経A・経B2・3・4選	4

科 専
目 門
教 教
育 育

講義のねらい

商業史とは、各時代の人間の経済生活のなかでとくに商業活動を取りあげて、その具体的役割や歴史的な変遷を明らかにする学問だといってよいであろう。この場合の経済生活とは、人間が生存のために必要な生活必需品などさまざまな財貨（商品）を獲得し、それらを消費しながら日常生活を繰り返すことである。広義の商業とは、財貨がどこで生産され、どのような経路で生産者から消費者へ運ばれ売られるかに関わることである。

経済の発達した現在では、消費者は必要な消費財をみずから生産せず、第三者が生産した財貨を商品として市場から購入しなければならない。人間の経済生活は市場における商品の売買という取引行為を通して営まれている。そして、商品売買という取引行為が生産活動から独立した場合、商品を購入して再び販売するこの取引行為は生産とは別の独立した職業として専門的に営まれることになる。これが本来の意味での商業で、それを専門に営む者が商人である。

このように、本来の商業は市場における商品の購入と再販売という連続した二つの取引からなっている。しかし、現実商品取引が行なわれる場合には、金融業（信用業務）、通信業（発注・受注業務）、保険業（商品の保全）、運輸業（商品運送業務）、倉庫業（商品の保管）などが商品の売買に付随して行なわれることから、これらも商業の範疇として考えられ、商業史の対象となりうる。外国との商取引である貿易も商業史の重要な一部門である。

このように商業史の対象は多岐にわたるが、本講義では、日本における小売商問題、とくに大正・昭和期の小売商問題に重点をおきたいと思う。それは、今日の小売商問題の源流を探るうえで重要であると考えられるからである。経済史とのかかわりのなかで商業史をみることは当然のことではあるが、小売商問題に限っては社会史や文化史からのアプローチも重要な要素となる。経済的効率のみから小売商問題を理解したり、外国との経済摩擦の解消策としての規制緩和問題に重点を置き解決を計ろうとすれば、地域文化の崩壊や個性の喪失はまぬがれないと考える。

講義の内容・授業スケジュール

I. 商業史の課題と方法（1回）。II. 明治期の商業、1. 近代商業の経済的環境（1回）、2. 近代商業経営の成立（1回）、3. 商業教育の展開（1回）。III. 大正・昭和期の小売問題、1. 小売商の社会経済環境（1回）、2. 商業人口の過剰現象とその定着度（1回）、3. 中小商業者の零細性（1回）、4. 各種小売形態の発展、a. 百貨店①百貨店の発展（2回）②百貨店の植民地、占領地への進出（1回）、b. チェーンストアなどの発展（1回）、c. 小売市場、産業組合（1回）、d. 商店街①商店街の形成（1回）②各地「商店街二関スル調査」の概要（1回）③栗鴨地蔵通商店街、浅草仲見世商店街（1回）④砂町銀座商店街、高円寺純情商店街（1回）5. 中小小売商の経営実態、a. 小売商経営の実際（1回）、b. 小売商問題の発生と社会的認識（1回）、c. 露天商（ヤシ・香具師・てきや）（1回）。6. 中小小売商の社会運動、a. 反百貨店運動（1回）、b. 反産運動・その他の社会運動（1回）。IV. 戦時下の商業、1. 経済統制と商業（1回）2. 企業整備と中小商業者（1回）。V. 戦後の小売商問題、1. 流通革命とスーパー・マーケット（1回）、2. コンビニエンス・ストアの発展（1回）を予定している。

履修上の留意点

とくになし。

成績評価の方法

前期にレポート、後期に試験を実施する。再試験を実施する。

教科書

とくに指定しない。毎回講義にはレジメを用意する予定である。

参考書等

竹林庄太郎『日本中小商業の構造』（有斐閣）1941年。
日本小売業経営史編集委員会『日本小売業経営史』（公開経営指導協会）1967年。
糸園辰雄『日本中小商業の構造』（ミネルヴァ書房）1975年。
藤田貞一郎、宮本又郎、長谷川彰『日本商業史』（有斐閣）1978年。
白澤恵一『地域経済と小売商業』（溪水社）1982年。
鈴木安昭『昭和初期の小売商問題』（日本経済新聞社）1980年。
田中道雄『商店街経営の研究－潮流・変革・展望－』（中央経済社）1995年。
石井寛治『日本流通史』（有斐閣）2003年。
山本武利、西沢保編『百貨店の文化史』（世界思想社）1999年。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロジスティクス	石坂正男 <small>いし ぎか まさ お</small>	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会では、ロジスティクス活動は欠かせないものになっています。私たちの高度な消費社会を深く支えているロジスティクスの機能はどのようなものか、ときおり四半世紀以上前の生活や運輸事情と比較しながら、学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、ロジスティクスの考え方と物流の基本業務について、企業の事例などを交えて理解をすすめるようにします。後期は、ロジスティクス活動が現代社会にどのように展開されているかをいくつかの視点から学びます。

A. ロジスティクスの考え方と物流の基本的機能

- (1・2) ロジスティクス入門
- (3・4) ロジスティクスとは
- (5～7) 物流の基本業務
- (8・9) 荷主と物流事業者
- (10・11) 物流事業をとりまく法律
- (12・13) 物流分野の規制緩和と物流事業の動き

B. ロジスティクスの展開

- (14・15) サプライチェーンマネジメント (SCM)
- (16・17) ロジスティクスにおけるマネジメントシステム
- (18・19) 環境問題とグリーンロジスティクス
- (22・23) ITとロジスティクス
- (24・25) グローバルロジスティクス時代の課題
- (26) まとめ

履修上の留意点

授業の理解を助けるサイトを事前あるいは講義の後に指示します。関連のサイトをみることにより、ロジスティクス活動についての知見を広げるとともに、関連情報の探し方、見方もあわせて学習します。

成績評価の方法

中間のレポートと学年末の定期試験によって評価します。評価には、出席状況を加味します。

教科書

宇野 修著『ロジスティクス品質の創造』(白桃書房) 2003年
野尻俊明編著『流通関係法—商流・物流の基本法規と解説 第2版』(白桃書房) 2003年
講義を補足する資料を適宜配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営管理論	くにしまひろゆき 國島弘行	経A2・3・4選 15以前入学生/商1・2・3・4選	4

講義のねらい

経営管理論では、人間の集団労働に対する計画、組織、指揮、統制などの管理の問題を、主として企業において検討します。

講義では、経営管理の多面的側面を学び、企業の実践的課題の歴史的展開に従って進化してきた具体的内容と現代的課題とを考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ロマン（社会的使命）とそろばん（所有、市場競争、利益）
- 2) 科学的管理の歴史的条件と理論的・技術的構造
- 3) フォード・システムと日本的生産システム
- 4) 職能論的管理論、組織構造論、日本の組織構造
- 5) 人間関係論、モチベーション、労働の人間化
- 6) 企業文化、日本の企業文化、企業倫理
- 7) 近代的管理論と意思決定
- 8) 経営戦略論と環境適応、戦略経営と創発的戦略
- 9) 情報ネットワーク経営、バーチャル企業、価値創造経営

現在、経営管理は、大量生産・販売・廃棄からの転換、グローバル化、情報ネットワーク化のもとで、革新が求められている。経営管理の基本を学ぶなかで、人間生活や市民生活を本当に豊かにする価値創造のための経営革新のあり方を考えていきたい。

成績評価の方法

数回の試験

教科書

國島他『経営革新のアプローチ』（八千代出版）3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
労務管理論	ほり 堀 りゅう 龍 じ 二	経A2・3・4選 15以前入学生/履1・2・3・4履必	4

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理慣行ないし制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進して、その再編・強化を図った。こうして「日本的労務管理」は今まで「良好なパフォーマンス」を示してきた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中高年層を中心に正規従業員の大量リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来の「日本的労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内実を明らかにし、その背景にあるものと今後の展望を探りたい。

専科
教育
目

講義の内容・
授業スケジュール

大略すれば、まず「日本的労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに、職務給、職能給・職能資格制度、人事考課といった賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本的労務管理と能力主義管理の整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定であるが、およその予定は以下のとおりである。

- I. 労務管理論の体系と歴史
 1. 労務管理の目的、機能、対象
 2. 労務管理論の歴史
- II. 戦後日本の労務管理
 1. 電産型賃金体系
 2. 戦後初期の労使関係と労務管理
- III. 高度経済成長期の労務管理
 1. 日本的労務管理の形成と展開
 2. 労使関係の転換
 3. 能力主義管理と年功制
- IV. 現代の動向
 1. 雇用の流動化と雇用形態の多様化
 2. 非正規雇用の拡大と均等処遇
 3. 採用・配置慣行と人事制度
 4. 職能資格制度と人事考課
 5. 賃金制度とその成果主義化
 6. 諸手当、賞与、退職金と企業年金
 7. 労働時間の現状と弾力化
 8. チーム作業方式の特徴
 9. 能力開発と教育訓練とキャリア形成
 10. 「新・日本的経営」と労使関係

成績評価の方法

原則としてレポートと定期試験で評価する。再試験は実施しない。

教科書

黒田兼一ほか著『現代の人事労務管理』（八千代出版）2001年

参考書等

講義中に適宜紹介する。

その他

言うまでもないが、他の受講生の迷惑となる私語などの行為は厳に慎むこと。注意してやめない場合は、以後の受講を認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
企 業 統 治 論	岩 波 文 孝 <small>いわ なみ ふみ たか</small>	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

グローバル化とIT革新など社会・経済的環境が著しく変化しており、企業と経営活動のあり方が問い直され始めています。日本やアメリカにおいても、一連の企業不祥事が表面化し、企業経営や経営者の行動に対するチェックあるいはモニタリングの強化が求められています。

本講義では、トップ・マネジメントの観点から企業の全体構造を捉え、株式会社の発展に伴う会社間ネットワークとトップ・マネジメント機能の考察を通じて、企業の公正かつ効率的な運営システムの構築、すなわち企業統治（コーポレート・ガバナンス）の構築について追究していきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 授業の概要・ガイダンス
- 2 企業統治論の対象
- 3 トップ・マネジメントの構造と機能
- 4 日本におけるトップ・マネジメントの法的形態と機能
- 5 欧米におけるトップ・マネジメントの法的形態と機能
- 6 現代企業の株式所有構造と支配構造
- 7 メインバンク制とガバナンス
- 8 機関投資家とガバナンス
- 9 企業間人的ネットワークとトップ・マネジメント
- 10 企業間ネットワークとガバナンス
- 11 コーポレート・ガバナンスの今後の課題

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

履修上の留意点

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

成績評価の方法

レポートおよび学年末の定期試験により総合的に評価します。

教科書

植竹晃久・仲田正機編著『現代企業の所有・支配管理』（ミネルヴァ書房）1999年。

参考書等

仲田・細井・岩波共著『企業間の人的ネットワーク』（同文館）1997年。
仲田・夏目編著『企業経営革新の新世紀』（同文館）2002年。

その他

随時レジュメ等配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 企 業 論	さくら い とおる 桜 井 徹	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

経営学は大きく企業論と管理論に分かれます。本講義は、もちろん、前者の系譜に属する科目ですが、とくに、現代における企業にとって重要な次の三つの問題領域、すなわち、①米国型コーポレート・ガバナンス（企業統治）の導入の是非をめぐる論争に象徴されるような株式会社の日本的特質とそのあり方、②私企業＝営利企業と対置される公企業や協同組合あるいはNPOなどの非営利企業の存在意義、そして③巨大企業の存在形態とその社会的責任問題を扱います。この3つ問題領域を中心に、論争と実態分析を踏まえて、現代企業のあり方を考え、将来の企業像を模索する素材を提供すること、ここに本講義のねらいがあります。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1・2)企業概念と境界 (3・4)企業の現代企業への転化
(5・6)現代企業の制度的特徴 (7・8)日本の企業発達史
(9・10)株式会社の日本的特質とその変容
(10～13)非営利企業としての公企業と協同組合
(後期) (14・15)企業競争と独占 (16・17)合併・買収と系列化
(18～20)個別企業集団と総合企業集団 (21～22)企業と政府
(23～25)企業の国際化 (26)現代企業の社会的責任

履修上の留意点

可能な限り対話式の授業をおこなうので、議論を好む学生の出席を期待する。また、授業開始後30分を経過して教室に入るとは、特別区別な事情を除きご遠慮願います。

成績評価の方法

成績は、出席回数、数回課される小レポート（200字ないしは400字）の評価と期末試験を総合して決定します。

教科書

小松 章『企業形態論』（第二版）（新生社）2000年

参考書等

増地昭男・佐々木弘編『最新・現代企業論』（八千代出版）2001年
『日本のビッグ・ビジネス』シリーズ（大月書店、第1期・第2期）1990～1997年

科目名	担当者名	配当学科	単 位
財 務 管 理	しら ^{さか} 白坂 ^{とおる} 亨	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

財務管理は企業の資本についての諸問題を研究対象とする学問です。しかも、企業側からすれば、この財務管理はその企業の形態や業種、規模によっても変化します。したがって、学問領域も広く、商法および税法、証券取引法、独占禁止法といった法制度とも密接に関連しています。またその奥も深いものとなっています。

このような状況のもと、財務管理は利益管理（費用管理と収益管理）と資本管理（調達管理と運用管理）の両側面において発生する問題の背景や、要因を解明すべく、企業を取り巻く金融・証券市場の構造解明と役割の認識を深めることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

そのため、本講義においては次にしめす項目を2・3回に分けて検討します。

1. 財務管理論の枠組み
2. 会社制度
3. 財務管理の役割
4. 資金調達の実態－株式資本－
5. 資金調達の実態－借入れ資本－
6. 資金調達の実態－社債資本－
7. 資金調達の実態－自己金融－
8. 配当政策
9. コーポレート・ガバナンス

科 専
門 教
育 目

履修上の留意点

履修するにあたり、学生諸君に望むことはただ一つ、積極的な授業参加です。

成績評価の方法

成績評価は出席、小テスト、レポート等により総合的に評価します。再試験を実施します。

教 科 書

教科書・参考書は開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経 営 学 史	こ ^{さか} 小坂 ^{たか} 隆 ^{ひで} 秀	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ経営管理論の歴史的な展開を中心として、経営学の発展史を跡付けていくことが、この講義の目的です。経営管理の理論は、企業の成長とともに変化し、発展してきた。すなわち、企業はその管理に必要な理論を生み出すことで成長し、その成長によって従来の理論は古いものとなり、新しい理論を必要とするようになる。そして、新しい理論がさらに企業の成長を可能にしていく。このようにして、経営学の発展史が形成されてくる。

前期では、アメリカ企業の革新者を中心にして経営学の発展史を跡付けていく。後期では、企業活動の思想家を中心にしてそれらの理論の発展を跡付けていくことにする。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 発明の天才、製造の革新者、販売の革新者、運輸の革新者、通信の革新者、金融の革新者
- (後期) エフィシエンシーの思想家、オーガニゼーションの思想家、モチベーションの思想家、リーダーシップの思想家、クオリティの思想家、マネジメントの思想家

履修上の留意点

これまでに習った経営学や管理の理論を復習するとともに、これから習うさまざまな管理の理論の基礎としてしっかり身につけることで、経営学の体系が理解できるようになります。

成績評価の方法

学年末試験80%、夏休みのレポート20%、この他に授業中に行う4回の小テストによって点数の上乗せ措置を設けている。

教 科 書

教科書は特に指定しない。

参 考 書 等

参考図書は授業の中でそのつど指示するが、とりあえず
D. レン/R. G. グリーンウッド『現代ビジネスの革新者』（ミネルヴァ書房）と
J. シェレドレイク『経営管理論の時代』（文真堂）を挙げて置く。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
非 営 利 組 織 論	つがもと いちろう 塚 本 一 郎	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

近年、世界的に公共サービス・社会サービス分野において非営利組織（nonprofit organization：以下NPO）の役割に対する期待が大きく高まっている。NPOとは利潤を目的とせず、様々な社会的使命（ミッション）をかかげて、公益のために活動する非営利・非政府の民間組織の総称である。NPOの活動分野は医療・福祉、教育、国際協力、環境保全、まちづくり、職業訓練、経済開発など多岐に渡っているが、従来、行政が主として提供していた公共サービス分野での成長が顕著である。日本ではNPO法（特定非営利活動促進法）や介護保険制度の導入、地方分権改革などが、NPOの発展に拍車をかけている。

本講義は、こうしたNPOについて、政府・企業と区別される特徴や実態、公共サービスや政治経済システムを革新する能力や課題などについて理解を深めてもらうことを目的としている。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前期では、①NPOの特徴に関する理論的説明、②NPOの規模・構造や多様性に関する統計的理論的説明、③NPOと法制・税制、④NPOの国際比較が主要な柱となる。後期においては、より事例を多くして、④NPOと福祉、⑤NPOと国際協力、⑥NPOと行政との協働、⑦NPOと企業との協働、⑧NPOとコミュニティ・ビジネス、⑨NPOをめぐる課題、というテーマで進行することを予定している。しかし、若干の変更もあることをご了承願いたい。初回授業で、より詳細なシラバスを配布する予定である。

履修上の留意点

授業ではレジュメを毎回配布し、わかりやすい授業をこころがけるが、疑問点・質問などあれば活発に発言願いたい。

成績評価の方法

定期試験とレポートの総合点で評価する。

教 科 書

特にないが、授業中に指示することもある。

参 考 書 等

特にないが、授業中に指示することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営情報システム論Ⅰ(前期)	さいとう たかし 齋 藤 隆	商・経A・経B2・3・4選	2

講義のねらい

第4の経営資源として「情報」が挙げられますが、それはなぜでしょうか。今日の企業は高度情報化社会の真っ直中にあり、業種や規模のいかんを問わず、パソコンをはじめとする情報システムを何らかの形で利用しています。場合によっては、情報システムなしでは企業活動が成り立たない企業もあります。本講義では、企業経営における情報システムの役割とその効果的な活用法について、事例を踏まえて習得します。また、その過程を通じて、学生諸君にとっても、高度情報化社会における自身の職業観について考えてみる契機となるようにしたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

「企業経営活動の枠組みと情報システムの優位性」「ビジネス活動を遂行するための情報システム」「意思決定を支援するための情報システム」「企業コラボレーションのための情報システム」「戦略的優位性を創出するための情報システム」、等

履修上の留意点

パソコン中級者以上を想定して講義を進めますので、「基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ」、「情報経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」を履修済みか、同等の能力を有することが求められます。

成績評価の方法

発表や討議などを通じての授業への参画状況、課題の提出状況、提出物の内容、定期テストの成績等を総合して評価します。なお、追・再試験は原則として実施しません。

教科書

特に指定せず、レジメを使用します。

参考書等

その都度、提示します。

その他

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修者の人数を制限する場合があります。初回講義時にパソコン操作の簡単なテストを実施しますので、必ず出席して下さい。初回講義に出席できない学生や質問等がある学生は、saito@rsch.tuis.ac.jp宛メールして下さい。なお、本講義は総合情報センターに登録しないと受講できません。受講希望者は4月に4号館1F自習室にて登録して下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営情報システム論Ⅱ(後期)	さいとう たかし 齋藤 隆	商・経A・経B2・3・4選	2

講義のねらい

前期開講の「経営情報システム論Ⅰ」に引き続いて、企業経営における情報システムの役割とその効果的な活用法について、事例を踏まえて習得します。なお、「ERPの事例紹介」では、本学に導入予定のERPパッケージ（SAP社製「R/3」）を利用してコンピュータ実習を行うことを予定しています。

講義の内容・授業スケジュール

「ERP (Enterprise Resource Planning)」「ERPの事例紹介」「SDLC (System Development Life Cycle)」「BPR (Business Process Reengineering)」「EUC (End User Computing)」「システム監査」「情報化人材」、等

履修上の留意点

「経営情報システム論Ⅰ」を履修していること。また、パソコン中級者以上を想定して講義を進めますので、「基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ」、「情報経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」を履修済か、同等の能力を有することが求められます。

前期に開講される「経営情報システム論Ⅰ」の第一回目の授業に出席し、担当教員より受講許可書を得た上で、履修届に記入して登録してください。

成績評価の方法

発表や討議などを通じての授業への参画状況、課題の提出状況、提出物の内容、定期テストの成績等を総合して評価します。なお、追・再試験は原則として実施しません。

教 科 書

特に指定せず、レジメを使用します。

参 考 書 等

その都度、提示します。

そ の 他

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修者の人数を制限する場合があります。初回講義時にパソコン操作の簡単なテストを実施しますので、必ず出席して下さい。初回講義に出席できない学生や質問等がある学生は、saito@rsch.tuis.ac.jp宛メールして下さい。なお、本講義は総合情報センターに登録しないと受講できません。受講希望者は4月に4号館1F自習室にて登録して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	小栗崇資	経A2・3・4選 13以前入学生/経1・2・3・4選必	4

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験および学年末試験により評価します。また、時々、小テストやレポートも実施し、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので注意して下さい。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論（第2版）』（白桃書房）

参考書等

小栗・熊谷・陣内・村井編著『国際会計基準を考える—変わる会計と経済』（大月書店）

科 専
目 門
教 教
育 育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 監 査 論	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表等規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

講義の内容・
授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、前期は会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度について、後期は監査基準の内容について講義を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。なお、再試験は実施する。

教 科 書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参 考 書 等

財財務会計基準機構監修『企業会計規則集』（税務研究会出版局）

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計情報論	石川純治	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

今日の企業会計は歴史的にみても、これまでにない大きな変革期に直面している。「会計ビッグバン」（会計制度の一大改革）という言葉がそれを象徴している。では、その変革はどこからくるのであろうか。そもそも、会計情報の存立基礎はどこにあるのだろうか。会計情報の性格や役割はこれまでとは異なった方向に進んでいくのであろうか。これまでの利益計算の仕組みは何であり、それは今後、根本的に変わるのであろうか。

本講義では、こうした今日の企業会計と会計情報をとりまく諸問題を、制度と理論の双方から取り上げる。特に、米国でおこったエンロン問題など不正会計疑惑の根っこにあるものや、国際会計基準の世界統合化問題の背後にあるもの、そしてわが国の会計制度史上の画期的事件ともいえる民間の基準設定機関の創設や減損会計の導入問題の背後にあるものなど、さまざまな会計情報をめぐる時事問題もケースとして取り上げ（ホームページに掲載中）、そこにどのような問題が潜んでいるか、その洞察力を得ること（企業会計の政治経済学）を1つの目標にしたい。

講義の内容・授業スケジュール

今日の企業会計のあり方の1つのキーワードは「キャッシュ・フロー」である。そこで、前半の講義では新たな財務諸表の一角を担うようになったキャッシュ・フロー会計情報を取り上げ、その計算の仕組みとキャッシュ・フロー情報の役割、とりわけ企業価値（株主価値）とのかかわりについて学習する。後半の講義では、「会計ビッグバン」のもっとも重要な位置にある「時価会計」を中心にその制度と理論を学習し、あわせて会計情報をめぐる「政治経済学」についても学習する。

〈前半の講義〉

- 1) 全体の講義紹介
- 2) キャッシュ・フロー計算書の作成方法
- 3) 損益計算とキャッシュ・フロー計算
- 4) 3つの財務諸表の動的相互関連
- 5) キャッシュ・フロー革命と企業経営
- 6) エクセルとアカウンティング

〈後半の講義〉

- 1) 時事会計入門
- 2) 金融商品会計の理論と制度
- 3) 現在価値会計の理論と制度
- 4) 無形資産の会計問題
- 5) 資本の会計問題
- 6) 企業会計の政治経済学

履修上の留意点

前半は教科書にそって講義する。解説はOHPを用いる予定。前半の講義の最終回に私のホームページにある4つのデモンストレーションをおこなう予定。後半については会計学の基礎知識をもっていることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験か、レポートを予定している。

教科書

石川純治『キャッシュ・フロー簿記会計論（改訂版）』（森山書店）2,500円

その他

前半の講義では一方的授業を避けるため、まず「何が問題か」そしてそれを「どう解くか」を明確にするため設問を解いてもらい、そのあとで教科書にそって解説するという方式をとる。特に、「系統だって学習する」ことの重要性を強調する。

科 専
門 教
育 目 録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
管 理 会 計 論	いし かわ ゆう じ 石 川 祐 二	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自社の状況を把握し、それに基づいて適切な管理をしていかなければならない。とりわけ、グローバル化が進展し、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、近年、管理会計上の中心的な話題となっている手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会计学総論」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

教 科 書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個々人の成果を反映したテキストとなる。

参 考 書 等

講義において適宜配布する。

そ の 他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原価計算論	すずき かつひろ 鈴木 勝 浩	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

原価計算は「目的」に対する「手段」の体系にほかならないから、原価計算はその目的との関連において理解されなければならない。多くの企業において、原価計算システムは経営情報システムのコアを形成し、経営管理に関連するさまざまな情報ニーズに応えることができるように、システムの構築が考えられるべきである。原価計算システムに対する情報ニーズは、経営環境や経営戦略の変化に応じて絶えず変化する。特にFA化が進んだ今日では、伝統的な原価計算の中にはその有用性が失いつつあるものもある。そこで本講義では、伝統的な原価計算を解説しその問題点を把握した後、原価計算の新しい潮流について話を進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義の内容とスケジュールは概ね以下の通りである。

- I 原価計算の歴史
- II 原価計算総論
- III 財務諸表作成のための原価計算
- IV 経営管理のための原価計算
- V 原価計算の新しい潮流

履修上の留意点

教科書にある計算事例を使いながら講義を進めていくので、当然のことではあるが、教科書は必ず購入すること。

成績評価の方法

出席率及び定期試験の総合評価で行う。
再試験は実施する。

教科書

山田庫平編著『原価計算の基礎知識』（東京経済情報出版）

参考書等

参考文献については必要に応じて紹介する。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
税務会計論	やなぎ ゆうじ 柳 裕 治	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、税務会計論の初学者を対象に、税法の基礎理論および法人企業の課税所得計算理論を体系的に理解することを目的とする。あわせて、租税の時事問題に触れ、租税に関する幅広い知識を修得できるようにしたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

税務会計とは、税法（特に法人税法）の規定に従って課税所得および税額を計算することによって租税債務を確定するための会計であり、法的側面と会計的側面との統合された理論をもつところにその特徴がある。企業会計は、通常、帳簿記入・決算・納税申告という一連の手続きによって完結するが、税法は企業の所得に課税するため、その計算過程において企業会計と密接な関わりをもっている。

そこで本講義では、経済学部¹の学生を対象とした税務会計の概論として、税法の基礎理論から始め、法人が課税所得および税額を計算し、申告し、納税する一連の税務会計手続きについて、企業会計と関連させながら系統的に説明していく。その内容は、税務総論と法人税法が中心となるが、所得税法および消費税法についても触れる。

成績評価の方法

中間試験および学年末試験により評価する。

教科書

柳裕治著『税法会計制度の研究』（森山書店）

参考書等

岸田・矢内・柳・吉村著『現代税法の基礎知識』（ぎょうせい）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 級 簿 記	ふくしま たかし 福 島 隆	商・経A2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は、簿記論での学習内容を基礎にして、株式会社における簿記を学習します。具体的には、株式会社で必要な簿記技法について説明します。株式会社の取引は、その種類および内容とも複雑化しています。そのような複雑化した取引について、理論と技法の両方を理解し、習得することが本講義の目的です。そのため問題演習に重点をおいて講義を進めていきたいと考えています。レベルとしては、日商簿記2級（商業簿記）を想定していますが、必要に応じて3級レベルの復習を行うと同時に、1級の導入部分についても簡単に解説する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、テキストに沿って、次のようなスケジュールを予定しています。なお、ワークブックは課題とし、ある程度の区切りがついたところで確認テストを行う予定です。

(前期)

(1) ガイダンス (2) 現金預金 (3・4) 有価証券 (5) 債権債務 (6・7) 手形 (8) 引当金 (9・10) 商品売買 (11～13) 特殊商品売買取引

(後期)

(14) 固定資産 (15～18) 株式会社会計 (19) 税金 (20・21) 決算 (22・23) 本支店会計 (24) 帳簿組織 (25) 伝票会計 (26) その他の論点

履修上の留意点

簿記は積み重ねが重要であるので、毎回必ず出席して、復習に時間を当てることを希望します。受講生は毎回電卓を持参して下さい。なお、受講生は簿記論またはこれに相当する科目を履修したという前提のもとに、講義を行います。

成績評価の方法

評価は概ね、平常点（出席、課題、確認テスト等）30%、定期試験70%を目安に、総合的に評価します。

教 科 書

『新検定簿記講義2級商業簿記』（中央経済社）680円
『新検定簿記ワークブック2級商業簿記』（中央経済社）680円
この他に必要に応じてプリントを随時配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ会計Ⅰ(前期)	すずき かつひろ 鈴 木 勝 浩	商・経A・経B2・3・4選	2

講義のねらい

今日、コンピュータをはじめとする情報技術の進展及び高度化はめざましく、あらゆる社会活動がその影響をうけている。このような高度情報化の到来に伴って、近年、コンピュータ会計は、企業の規模や業種にかかわらず広く普及している。本講義では、コンピュータを前提とした会計情報システムについて、その現状と問題点を検討したうえで、今後の展開を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

①コンピュータ会計概論 ② 情報処理システム ③ データ通信システム ④ 会計情報とデータベース ⑤ 会計情報とシステム設計 ⑥ 販売管理システムと会計情報 ⑦生産管理システムと会計情報 ⑧ 在庫管理システムと会計情報 ⑨ 原価管理システムと会計情報 ⑩ 財務会計と会計情報 ⑪ コンピュータ会計と内部統制
また、コンピュータ会計Ⅱにおいて表計算ソフトを使用して会計処理システムを作成する予定のため、本講義中に表計算ソフトの演習を取り入れていく。

履修上の留意点

パソコン中級者以上を想定して講義をすすめるため、「基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ」、「情報・経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」等を履修済みか、同等の能力を有することが求められる。また特に会計に関する知識を問わないが、簿記会計に関する基礎的な知識を有していればより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

課題の提出状況と提出物の内容等を総合して評価する。

教 科 書

志村正著『エクセルで学ぶ会計情報の作成と分析』（創成社）

参 考 書 等

講義中に適時指示する。

そ の 他

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがあります。初回講義時にパソコン操作の簡単なテストを行うことがあるので、必ず出席すること。初回講義に出席できない人や質問は、以下のアドレス宛にメール連絡すること。

k2szk@komazawa-u.ac.jp

また本講義は、総合情報センターに登録しないと受講できません。受講者は4月に4号館2F事務室に行き、登録してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ会計Ⅱ(後期)	すずき かつひろ 鈴木 勝 浩	商・経A・経B2・3・4選	2

講義のねらい

今日、高度情報化の到来に伴い、コンピュータ会計は企業の規模及び業種にかかわらず広く普及している。本講義は、従来の手書き会計とコンピュータ会計の相違点を明確にし、リアルタイムで会計情報の入手とその利用が可能である点を解説したうえで、パソコン演習を通じて上記の点を検証していく。まず表計算ソフトを利用して簡単な会計データ処理システムを設計し、その後会計パッケージを利用してその有用性を体感していく。

講義の内容・授業スケジュール

① コンピュータ会計概論 ② 表計算ソフトによる実習(基礎準備) ③ 表計算ソフトによる実習(勘定科目コード及びその他の会計情報コードの設計) ④ 表計算ソフトによる実習(仕訳データの作成) ⑤ 表計算ソフトによる実習(試算表の作成) ⑥ 表計算ソフトによる実習(決算処理) ⑦ 会計パッケージによる実習(概要と基礎準備) ⑧ 会計パッケージによる実習(会計取引の入力) ⑨ 会計パッケージによる実習(日常帳票の作成) ⑩ 会計パッケージによる実習(決算諸表の作成) ⑪ 会計パッケージによる実習(財務分析) ⑫ シミュレーションによる会計情報システムの実習

履修上の留意点

パソコン中級者以上を想定して講義をすすめるため、「基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ」、「情報・経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」履修済か、同等の能力を有することが求められる。

成績評価の方法

課題の提出状況と提出物の内容等を総合して評価する。

教科書

志村正著『エクセルで学ぶ会計情報の作成と分析』(創成社)

その他

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがあります。初回講義時にパソコン操作の簡単なテストを行うことがあるので、必ず出席すること。初回講義に出席できない人や質問は、以下のアドレス宛にメールしてください。

K2szk@komazawa-u.ac.jp

また本講義は、総合情報センターに登録しないと受講できません。受講者は4月に4号館2F事務室に行き、登録してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふるさわこうぞう 古 沢 紘 造	商・経A・経B2・3・4選	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施しない。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
銀行システム論(前期)	さいとう 藤 正 齋 藤 正	商・経A・経B2・3・4選	2

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」及び小泉「構造改革」の下で日本の金融制度は大きく様変わりした。一方では、大手銀行の統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている。他方では、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も依然解消されていない。その影響は、特に地域金融機関において厳しく、地域経済は深刻な衰退状況にある。

不良債権の「最終処理」、ペイオフ解禁への対応、など、銀行を取り巻く状況はきわめて厳しいが、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が強く問われている。

本講義では、現代の銀行が直面している諸問題を銀行の基礎理論に関連づけながら検討し、あるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) まず、講義へのガイダンスとして、1990年代以降、銀行が直面している諸問題を概観し、新聞紙上等でよく見聞きする基本的用語と「銀行論」との関連づけを行なう。
- (2) 講義では銀行の基礎理論の理解を中心に据える。
 - 1) 銀行経営の不振とは対照的に大手消費者金融会社や商工ローン会社(貸金業)は史上最高の収益を達成している。
銀行制度の成立以前からすでに存在していた「金貸し業者」や「高利貸し」と「銀行」の違いがどこにあるのかを考えながら、「銀行」の基本的機能および経済社会(メーカー、流通業、消費者、さらに国家など)との関連を明らかにする。
 - 2) 銀行が一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。しかし、銀行は受け入れた預金をそのまま貸し出すのではなく、「信用創造」という銀行のみに認められた方法で行い、その際「預金通貨」という「マネー」を供給する。このメカニズムを明らかにするとともに、インターネットバンキングや電子マネーなど、エレクトロニクス技術の発展にもとづいた「キャッシュレス社会」の意味について考える。
 - 3) 地域金融機関の再編・淘汰が進む一方、地域経済の「疲弊」が深刻化している。経済発展に果たすべき銀行の役割について考える。

履修上の留意点

理解をさらに深めるために

- 1) 前期科目の「現代産業事情Ⅲ(野村証券提供講座)」
 - 2) 後期科目の「現代銀行事情」
 - 3) 通年科目の「金融論」、
- を併せて履修されることが望ましい。

成績評価の方法

成績は、前期試験(またはレポート)による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。再試験を実施する。

教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。授業は毎回配布するレジメに沿って進める。

参考書等

齊藤正『戦後日本の中小企業金融』(ミネルヴァ書房)
 日本銀行『新版 わが国の金融制度』
 吉田暁『決済システムと銀行・中央銀行』(日本経済評論社)
 建部正義『はじめて学ぶ金融論』(大月書店)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代銀行事情(後期)	さいとう 藤 正 齋 藤 正	商・経A・経B2・3・4選	2

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」及び小泉「構造改革」の下で日本の金融制度は大きく様変わりした。一方では、大手銀行の統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている。他方では、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も依然解消されていない。その影響は、特に地域金融機関において厳しく、地域経済は深刻な衰退状況にある。

不良債権の「最終処理」、ペイオフ解禁への対応、など、銀行を取り巻く状況はきわめて厳しいが、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が強く問われている。

本講義では、戦後の日本経済に果たしてきた銀行の役割を具体的に検証し、今後のあるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は戦後の日本経済に果たした銀行の役割を時期ごとに検証する。

- (1) 「専門的金融機関制度」といわれる戦後日本の金融制度の特徴とそれぞれの専門機関（普通銀行、長期金融機関、中小企業金融専門機関、証券会社、保険会社など）の役割を理解する。
- (2) 時期区分は、おおまかに高度成長期（1974年まで）、低成長・自由化期（1985年まで）、バブル経済期（1990年まで）、グローバル期（1990年代以降）とし、欧米の動向も参考にしながらそれぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されていたのかを紹介する。
- (3) 現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが、80年代後半以降の「バブル経済」と90年代以降の「バブル崩壊」、「グローバル化」である。戦後銀行制度の抜本的改革目指すビッグバン及び小泉「構造改革」を様々な角度から検討しながら望ましい銀行システムのあり方を考える。
- (4) 激しく変容している欧米諸国の金融制度との比較を試みる。

履修上の留意点

理解をさらに深めるために

- 1) 前期科目の「銀行システム論」
 - 2) 前期科目の「現代産業事情 III（野村證券提供講座）」
 - 3) 通年科目の「金融論」
- を併せて履修されることが望ましい。

成績評価の方法

成績は、後期試験による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。再試験を実施する。

教科書

齊藤正『戦後日本の中小企業金融』（ミネルヴァ書房）2003年。
なお、授業は毎回配布するレジメに沿って進める。

参考書等

大橋・小西・齊藤・田村・平沢著『日本のビッグインダストリー6 金融業』（大月書店）
日本銀行『新版 わが国の金融制度』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ビジネス事例研究	ひゃく た よし ほる 百 田 義 治	商・経A2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、「トップ・マネジメント講座」として新設されました。大企業、中小企業、ベンチャー・ビジネスの経営者に、それぞれの企業について、経営について、また人生について、幅広く語ってもらいます。また、個人で活躍する自立した人達や事業型NPOで活躍されている人達も講師として迎えたいと考えています。駒大出身の人達も多く迎えます。そうした人達の話から、諸君は社会人として成長するために必要な貴重なアドバイスや体験や経営知識を学び取ることができるでしょう。また、いろいろな科目の学習に有益な事例が提供されます。ビジネスの世界で活躍する人達の実践的講義から「生きた知識」を学ぶことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

ほぼ2回に1回のペースで講師を迎えて体験的講義を受けます。金融、流通、商社、メーカー、外食、ベンチャー、建設などさまざまな産業の経営者や、職業会計人（公認会計士）、経済ジャーナリストなど自立した職業人を予定しています。詳細は授業開始までに講師の日程が決定次第お知らせします。

履修上の留意点

講師の企業や職業について、予備的講義は行いますが、学生諸君もインターネットや新聞・雑誌など活用し、積極的に予備知識を獲得して参加してください。

成績評価の方法

各講師の話についてレポートを提出してもらいます。それらのレポート評価と学年末の授業全体に関するレポートで総合的に評価します。

教 科 書

必要に応じてレジュメやパンフレットなどを配布します。

参 考 書 等

随時、紹介します。

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ビジネス英会話 I (前期)	し みず きぬ よ 清 水 絹 代	商・経A2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、ビジネスの現場で現在持っている英語運用能力を最大限発揮できるようになることを目標とします。目標を達成するために、履修者が発話している様子をビデオ・カメラで撮影し、それを見て分析する時間を作ります。同時に、シミュレーション・ゲームやスピーチ・コンテストを行ないます。

講義の内容・授業スケジュール

講義1回目……………イントロダクション
講義2回目……………個人目標の設定
講義3～5回目……………ビジネス会話練習&スピーチ・コンテスト
講義6回目……………シミュレーション・ゲーム
講義7～9回目……………ビジネス会話練習&スピーチ・コンテスト
講義10回目……………シミュレーション・ゲーム
講義11～13回目……………ビジネス会話練習&スピーチ・コンテスト
(前期、後期共同様のスケジュールで行ないます)

履修上の留意点

上記講義内容にあわせて、様々な課題が出されます。最終回のスピーチ・コンテストでは、全員、スーツで参加します。遅刻厳禁。携帯電話、PHSの電源は切ること（マナーモードは禁止）。履修希望者は初回講義に必ず出席して下さい。

成績評価の方法

出欠席、参加態度、課題レポート等の提出物、スピーチ・コンテストの内容などを総合的に評価します。欠席は各学期、原則2回まで。体調その他特別な理由で2回以上欠席する可能性がある人は初回講義で必ず申し出て下さい。

教 科 書

初回講義で案内します。

参 考 書 等

初回講義で案内します。

そ の 他

他者との関わりから学ぶことを重視しています。そのため、他の履修者と話したり、互いに評価する時間を作ります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ビジネス英会話Ⅱ(後期)	清水 絹代	商・経A2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、ビジネスの現場で現在持っている英語運用能力を最大限発揮できるようになることを目標とします。目標を達成するために、履修者が発話している様子をビデオ・カメラで撮影し、それを見て分析する時間を作ります。同時に、シミュレーション・ゲームやスピーチ・コンテストを行ないます。

講義の内容・授業スケジュール

講義1回目……………イントロダクション
 講義2回目……………個人目標の設定
 講義3～5回目……………ビジネス会話練習&スピーチ・コンテスト
 講義6回目……………シミュレーション・ゲーム
 講義7～9回目……………ビジネス会話練習&スピーチ・コンテスト
 講義10回目……………シミュレーション・ゲーム
 講義11～13回目……………ビジネス会話練習&スピーチ・コンテスト
 (前期、後期共同様のスケジュールで行ないます)

履修上の留意点

上記講義内容にあわせて、様々な課題が出されます。最終回のスピーチ・コンテストでは、全員、スーツで参加します。遅刻厳禁。携帯電話、PHSの電源は切ること(マナーモードは禁止)。履修希望者は初回講義に必ず出席して下さい。

成績評価の方法

出席、参加態度、課題レポート等の提出物、スピーチ・コンテストの内容などを総合的に評価します。欠席は各学期、原則2回まで。体調その他特別な理由で2回以上欠席する可能性がある人は初回講義で必ず申し出て下さい。

教科書

初回講義で案内します。

参考書等

初回講義で案内します。

その他

他者との関わりから学ぶことを重視しています。そのため、他の履修者と話したり、互いに評価する時間を作ります。

科 専
門 教
育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅱ	浅野 克巳	経A・商3選	4

講義のねらい

演習Ⅰの継続として以下の内容を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代日本経済システムの特徴 2. 日本の企業と産業組織 3. 日本の企業システム
 4. 市場と取引コスト 5. 情報の経済分析 6. ネットワーク外部性 7. 巨大企業の誕生と「収穫過増」の波 8. 技術進歩と研究開発 9. 知的財産権と企業 10. 構造改革と日本経済 11. メインバンクシステムと資本市場 12. 日本企業とコーポレートガバナンス

履修上の留意点

演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習をしておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションも行うので「情報センター」を利用して活用できるようにしておくこと。

成績評価の方法

出席率、授業態度、レポートの内容等を総合して評価する。

教科書

長岡・平尾『産業組織の経済学』日本評論社、1998年。
 ボール・ミルグロム＝ジョン・ロバーツ『組織の経済学』NTT出版、1997年。
 小田切宏之『企業経済学』東洋経済新報社、2000年。

参考書等

内閣府『経済財政白書』。その他の資料については授業の中で指示する。

その他

卒業研究 有

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	阿部 弘	経A・商3選	4

講義のねらい

日本の経済は、いまどうなっているのか、わたしたちの生活はどうなるのだろうか。今年度は、日本経済の問題について考察して行くことにする。

講義の内容・授業スケジュール

- ①井村喜世子『現代日本経済論』（新版）を検討する。
- ②各自のテーマの設定と研究過程・成果の検討。各自の論文はゼミナールの機関誌である『アルファ』に掲載するものとする。
- ③ゼミナールの行事：春・夏の合宿／10月のゼミナール対抗ソフトボール大会／論文発表大会／その他

成績評価の方法

ゼミナールであるから、参加者各自の自立した研究発表が評価の基準になるが、ゼミナールでの議論はもちろん、論文発表大会に参加しないものも単位が取得できない。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	荒木 勝 啓	経A・商3選	4

講義のねらい

経済変動や数理ファイナンスなどのモデルをコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。

講義の内容・授業スケジュール

モデルをマルチメディア・プレゼンテーション可能にするため、全員に最低DTP（デスクトップアプリケーション）の方法を習得させる。すなわち①編集方法（Page Maker、Quark Express）②グラフィックス（Illustrator）③レタッチ・修正（Photoshop）を習得させる。ゼミ生は課題として、2年次後期からDTP検定2種試験にチャレンジする。時間があればLATEXによる組版の初学も行なう。演習ⅡからはExtdを使いシミュレーションモデル構築を行なう。

成績評価の方法

検定試験への挑戦と出席点。

教科書

指定なし。ただし必要な場合指示する。

その他

Macintosh 教場を使う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	ありいゆきお 有井行夫	経A・商3選	4

講義のねらい

現代社会は、企業中心社会です。受験競争や消費競争、夫 or 妻の争奪競争からマイホーム獲得競争にいたるまで、競争社会の中心に実は企業への就職競争が位置しています。企業の内部もサラリーマンの出世競争・生き残り競争です。そして、最後に生き残って経営者に成り上がったサラリーマンにしても、企業自身の業績責任に不断に脅迫されて過労死寸前です。企業自身が、好況のときも不況のときも生き残り競争のただ中にあるのです。企業は、利潤のための利潤、生産のための生産をどこまでも続けていかなければなりません。日本型企业社会に構造変革を迫っている今日のグローバリゼーションも、この傾向をさらに強めるものにほかなりません。サラリーマンからも、経営者からも、株主からも独立して、自己拡大の衝動に駆りたてられて走り続ける企業。国民の豊かさに無縁の「利潤のための利潤」。地球環境や資源の制約にも無関心の「生産のための生産」。——これが現代社会の最大の謎であり、21世紀前半に解決しなければならない現代社会の最大の課題のありかです。

講義の内容・授業スケジュール

前期 有井のプリント、新聞の読み方、川人博『過労死社会と日本』
 夏合宿 野村正実『雇用不安』
 後期 有井のプリント、新聞の読み方（ファイルの作成）、奥村宏『法人資本主義』

履修上の留意点

最大のテキストは現代社会そのものです。新聞を読みこなす力を養います。併せて日本語を読む力、書く力、話す力を鍛えます。

成績評価の方法

ゼミへの積極的参加50%、各種レポートの評価50%。

教科書

川人博『過労死社会と日本』（岩波新書）、野村正実『雇用不安』（岩波新書）

科専門教育
目録

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	いいだやすゆき 飯田泰之	経A・商3選	4

講義のねらい

演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する（つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」）際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標としたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰでの学習内容をふまえつつ、学生の興味に応じてより発展的な内容に取り組んでいく。

履修上の留意点

「経済原論Ⅱミクロ経済学・マクロ経済学」「経済政策」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書

教科書は開講時に協議する。

参考書等

テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	いし かわ じゅん じ 石 川 純 治	経A・商3選	4

講義のねらい

企業会計の制度と理論を学習します。「制度」の基礎にある土台としての「理論」の両者の関係において学習することが基礎にある視点です。社会・経済における「生きた会計」を学習するために、「時事会計」を重視します。したがって、会計の基礎にある社会経済問題への関心が大切で、それとの関連で会計を学習します。会計をとおして世の中の問題に発言できる洞察力を得られればと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

まず財務会計の基本テキストを学習し、その後、中級・上級のテキストへとレベルアップします。中級・上級では財務諸表論、米国会計基準・国際会計基準が学習内容となります。さらに、それらをより高い次元から見通す力を養うため、「時事会計」では新聞・雑誌・小論文の学習を行います。

成績評価の方法

出席・合宿・レポートなどゼミ活動の総合評価。

教科書

財務会計の標準的テキスト（その都度指示します）。

参考書等

『常識「日本の論点」』、『日本の論点2003』（以上、文藝春秋）。その他、必要に応じて指示します。

その他

国家試験に挑戦する意欲ある学生、世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生が歓迎されます。私のプロフィールについては、駒澤大学のHPのトップページ「教員の紹介」から見るができますので参考にしてください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	いし かわ ゆう じ 石 川 祐 二	経A・商3選	4

講義のねらい

企業においては、会計情報が様々な目的を持って利用されている。その情報を生み出すための仕組みは、どのような構造をもっているのだろうか。その構造を探り、それが社会の多様な関係の中で果たす役割を研究する。そのことによって、社会現象を分析する視点の獲得を目指す。

また、テキストの枠に縛られることなく、様々な書籍・データを用いてレジュメを作成し、発表するスキルを養うことも目標である。

講義の内容・授業スケジュール

演習IIでは、特に管理会計に関わる種々の技法を取り上げることとする。とりわけ、近年の管理会計研究上の議論の中心となっている技法に焦点を当てて、その意味を考えたい。さらに、その学習をつうじて、ゼミ生が各自のテーマを見つけだし、深く掘り下げていくための基礎固めをしたい。それにより、卒業研究に向けた足がかりを築くことを目指すものである。

履修上の留意点

積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってもらいたい。また、4年次には「卒業研究」を開設する予定である。

成績評価の方法

特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。

教科書

初回の演習時に指示する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

合宿その他のイベント等については、話し合いで決定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	いわ した ひろし 岩 下 弘	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

3年間のゼミのテーマは流通・流通政策の国際比較である。2年次には日本における流通問題を研究対象にし、3年次では国内の流通政策、4年次では流通政策の国際比較を対象とする。

日本における流通問題としては、大きな問題としてコンビニの光と影、小売商店数の減少、大手小売企業の資本蓄積構造、商店街の空洞化、中心市街地の活性化、海外大手小売企業の日本市場参入、などがある。

たとえば、「ヤオハン」は何故海外に進出し、倒産したのか。「そごう」は何故巨艦主義をとり、その結果何故倒産したのか。「ダイエー」は何故経営の危機に直面しているのか。コンビニは繁栄しているとはどういう意味なのか。商店街がシャッター通りになっているのは何故か。

このように、われわれの生活の周囲で流通をめぐるいろいろな問題が発生しているが、これに対して政府および地方公共団体はどのような政策で対応しているのか。それらが市民生活の質の向上に役立っているのか、を探るのが3年次の課題である。

小売資本の蓄積構造にたいする公共政策の有効性を探る。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの輪読あるいは報告。

履修上の留意点

ゼミは参加することに意味がある、ということを忘れないこと。

成績評価の方法

ゼミ、合宿、コンパ等への出席およびレポートの提出回数により評価。

教 科 書

必要に応じて指定。

参 考 書 等

その都度指示。

そ の 他

卒業研究 有

科 専
門 教
育 目 録

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	岩波文孝	経A・商3選	4

講義のねらい

現代の企業は急速なIT革新の進展や企業活動のグローバル化に伴って、グローバルな事業の再構築を展開しています。近年では、企業合併もタイムラーとクライスラーのようにグローバルなレベルで展開しており、それが業界再編を加速しています。その一方で、わが国では、「バブル経済」崩壊以降の不況下で、経済破綻や不祥事などによる経営の行き詰まりなどの問題も頻出しています。本演習では、コーポレート・ガバナンスと経営システムをテーマとして、現代の企業経営の課題を多面的に検討していきたい。それを通じて、現代の企業経営に関わる問題意識を深めていき、公正・効率的な企業経営システムを追究していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

輪読形式により報告担当者・グループによるレジュメ報告を中心に討論を行います。合宿では、現代の企業経営が抱える諸問題について、討議していきます。

履修上の留意点

ゼミナールは、受講生の主体的な学びの姿勢にもとづいて運営されます。ここでは専門の学習とともに、自らの課題を発見し、問題意識を深めていくという積極的な学習スタイルが求められます。受講の際には企業経営をめぐる諸問題について問題意識を持ちゼミナールに参加してもらいたい。

成績評価の方法

ゼミへの出席、発表内容、積極的な討議への参加などの平常点による総合評価を行います。

教科書

開講時に指定します。

参考書等

必要に応じて指定します。

その他

演習Ⅲ履修時には「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	大石雄爾	経A・商3選	4

講義のねらい

2年次の演習Ⅰでは現実の経済問題について幅広く学んだ。それをふまえて、この演習では市場経済の進歩的側面とそれが抱える問題点について考える。

講義の内容・授業スケジュール

市場経済とは資本主義的商品経済のことである。今では、世界中のほとんどの地域が市場経済に組みこまれている。そのため、私たちがこの世界でより良い暮らしを実現するには、市場の運動法則やその仕組みを正しく理解することが必要となる。

マルクスの『資本論』は、この複雑な仕組みを、一般的なことからより具体的なことがらへと、ナゾ解きにも似た推理でみごと明らかにした。マルクスといっしょにミステリー感覚で考えながら、市場経済の原理や法則を自分のものにしていく。

平常の演習では、『商品の価値と価格』について報告と討論を行ない、1年間かけて読んでいく。合宿では、その応用として、国際経済・経済援助などに関するテキストを用いて学習する。

成績評価の方法

原則として平常点であるが、その中には提出を求めた感想文などの評価も含まれる。

教科書

大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

参考書等

カール・マルクス『資本論』（新日本新書）

その他

「卒業研究」を併設する。
コース制との関連：いずれのコースを履修してもよい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	おおぶきかつお 大吹勝男	経A・商3選	4

講義の内容・
授業スケジュール

『情報化』と現代企業の『物流』。前年度の学習成果をふまえて、日本企業の『物流』についての研究を一層深めることを課題とする。価格及び企業利益への影響は勿論のことですが、特に、労働者・サラリーマンへの影響つまりは消費者に与える影響等々について研究をすすめたいとおもいます。「演習Ⅰ」のテーマより高度な内容とします。

成績評価の方法

学年末のレポートの提出によって成績を評価する。卒業研究も併せて開講する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	おぐりたかし 小栗崇資	経A・商3選	4

講義のねらい

演習Ⅰと同じねらい。演習Ⅱでも引き続き「日本の会計制度と会計ビッグバン」をテーマに学習を進めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

演習Ⅱでは、演習Ⅰに引き続き、現代の財務会計の原理や方法を学習する予定である。テキストを中心にディスカッションを重視してすすめるが、3年生後半には各自が研究テーマをもって学生自身で調査・研究を進めるように指導したい。

履修上の留意点

演習では討論を重視しているので、積極的に参加すること。夏季合宿やコンパ、企業見学などもゼミの大切なイベントとして取り組みたいので、企画力のある意欲的な学生の参加を希望したい。なお、「卒業研究」も開講する予定である。

成績評価の方法

総合的に判断する。①出席状況、②分担報告、③レポート。

教科書

演習の中で指示。

参考書等

演習の中で指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	小 杉 修 二 <small>こすぎ しゅうじ</small>	経A・商3選	4

講義のねらい

本ゼミは地球温暖化問題とその解決策を考える。
森林伐採や化石燃料の使用によって、21世紀末までに最大5.8℃の昇温が起ると予測されているが、これは文明の崩壊の可能性をはらんでいると言える。

我々の文化や経済学というのは豊かさが切望された貧しい時代にできたものである。そして、経済成長はたしかに我々の生活を豊かで便利なものにした。

しかし、どんな経済活動も自然の生命維持システムという土台を離れては存立が不可能であることが今明らかになりつつある。こうした課題の前では、今までの常識、文明、経済学も全面的見直しが必要になるだろう。

この先40～50年は生きるであろう諸君にとってこれらをどうするかは避けて通れない深刻な問題であろう。

暗い展望が描かれそうだが、当ゼミはあくまで明るく楽しい未来を考えるための知識・思考力と学生の交流をつちかうつもりである。

また、時に応じて日本その他を例にとりて、経済成長がこれまでどのようにおきてきたのかを学習する。2～3年次にかけては、環境問題、現代の労働・消費・生活・文化のいろいろな面を学習し、それらと経済成長とのかかわり具合を考える。

成績評価の方法

出席率70%以上を中心にする。

教科書

小宮山宏『地球温暖化問題に答える』（東大出版会）1,800円等を使う。

その他

ビデオを使った授業とデイバイトでメリハリをつけるようにしている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	小 林 正 人 <small>こばやし まさと</small>	経A・商3選	4

講義のねらい

テーマ：「戦後の日本経済と産業発展」

戦後の日本経済の変化や動きを深く知るためには、その中での産業の発展や企業活動の内容について詳しく調べる必要があります。しかも現在、日本の経済システムと産業システムは大転換を迫られており、その詳細な分析が欠かせません。このゼミでは、戦後日本経済の歴史や産業発展の要因について調査し、経済発展において大きな役割をした産業や企業、その産業や企業がかかえている課題などを研究します。下記のウェブサイトの「ゼミのひろば」で、これまでのゼミの活動を見ることができます。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>

講義の内容・授業スケジュール

前期には、一定の文献にもとづいて日本産業の歴史について全般的に調べます。

後期では、個々の産業ないし業界について、ゼミ生ごとやグループごとに調査研究を行います。以上の調査をふまえて、4年生の演習で「卒業研究」（卒業論文のみ）を完成させます。

履修上の留意点

ゼミ生の自発的な発表、発言、調査が基本です。また、ゼミの円滑な運営のためのルールに従うこと。

成績評価の方法

ふだんの発表や発言を基本にして評価します。各期末にレポートを求めるともあります。

参考書等

授業中にゼミ生と相談して決めます。「テキストの候補」を、上記のウェブサイトの「ゼミのひろば」に掲載します。

その他

「卒業研究」（卒業論文のみ）を演習Ⅲで併設

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	<small>さいとう</small> 齊 藤 <small>ただし</small> 正	経A・商3選	4

講義のねらい

「金融大変革と銀行の役割」をテーマに、望ましい金融システムのあり方について考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

金融ビッグバンの展開後、巨大銀行同士の統合や合併、インターネット・バンキング、ソニーやヨーカ堂などによる銀行業務への参入など、金融制度は一大変革の時代を迎えています。他方、行政は不良債権の「最終処理」なくして景気回復はないという理由から、金融機関に不良債権の早期処理をせまっていますが、広範囲に及んでいる「貸し渋り」をさらに押し進め、とくに中小企業や地域経済に深刻な影響を及ぼしています。演習Ⅱでは、わが国における具体的金融問題を素材としながら、望ましい金融制度の再建方向について考えます。

履修上の留意点

日本社会は現在大きな変革期にあり、日本の将来をどのように描くのかという視点が求められています。金融問題を対象としながら、諸君一人一人が独自の視点を獲得されることを望みます。

成績評価の方法

年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

教 科 書

大橋・小西・齊藤・平澤・田村『日本のビッグインダストリー6 金融』大月書店

そ の 他

「卒業研究」を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	<small>しみず</small> 清 水 <small>たかし</small> 卓	経A・商3選	4

講義のねらい

現代ヨーロッパ問題をより体系的にとらえるため、EU諸国の第二次大戦後の経済発展とEU統合の歴史と現状の二つの課題を柱に、グローバル化という名のアメリカナイゼーションに対抗し、アメリカや日本とは異なる、西洋の偉大な知恵の結晶である欧州社会の固有の伝統を基礎に「ヨーロッパ・モデル」を追求しているEUの動向と、我が国の「改革」路線との比較検討を踏まえて検討します。また3年次後半からは就職活動が日程に上ってきますが、教員やゼミの先輩、ゼミ仲間の間で有益な情報交換やアドバイスが得られるように運営します。

講義の内容・
授業スケジュール

専門文献を精読と、各自のテーマ設定準備を行います。

履修上の留意点

演習Ⅰを参照のこと。

成績評価の方法

演習Ⅰを参照のこと。

教 科 書

演習Ⅰを参照のこと。

そ の 他

演習Ⅰを参照のこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	代 田 純 <small>しろ た じゅん</small>	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

代田ゼミでは金融について学習し、研究します。日本の金融が中心ですが、海外の金融の動向や日本との比較についても学習します。

講義の内容・授業スケジュール

4～7月においては、金融の入門書によって、金融の基礎を学ぶ。夏合宿を経て、9～12月には金融の現状分析へと進む。3回生12月には卒業論文のテーマ設定をしてもらう。

履修上の留意点

金融の基礎知識がない人も歓迎します。ただし毎回出席することが前提です。

成績評価の方法

まず出席が基本です。さらにゼミでの発表、質問など発言によって日常点で評価します。

教 科 書

ゼミ生と話しあって決めますが、去年は『ベーシック金融入門』（日経文庫）を前期に使用しました。

参 考 書 等

適宜紹介します。

そ の 他

全国学生証券ゼミナール大会などの参加も検討します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	鈴 木 伸 枝 <small>すず き のぶ え</small>	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックスについて「どういう問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。

講義の内容・授業スケジュール

三年生のゼミでは、公共経済学のテキストの輪読を中心にします。毎回、輪読の報告担当者にはレジュメを用意してもらいます。また、学年末には自分でトピックを選んでレポートを提出してもらいます。

コンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。

履修上の留意点

ゼミは勉強の場だけでなく、人前で自分の意見を言えるよう訓練したり、同じゼミの仲間と協力して何かを達成することを通じて人間的に成長する場でもあります。引っ込み思案にならず、常に積極的な態度で参加してください。

成績評価の方法

出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。

教 科 書

受講者と相談して決定します。

そ の 他

ゼミ中は禁煙とします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	瀬戸岡 紘 <small>せと おが ひろし</small>	経A・商3選	4

講義のねらい

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応して、経済、社会、経営、文化を分析し、自分の意見をもてる人間を養成すること、また、そういう時代を生きぬく社会的正義感をもった人間を養成することがねらいです。何を検討の対象としてとりあげるかは、受講者の希望により決定します。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカの大学（なかでもシカゴ大学大学院）の演習の方式を大胆に採用したゼミです。前半期は思考に強くなるための方法、デジタル時代の学習と研究の方法、学ぶ者の社会的責任などを、ゼミ生との対話のなかで提示します。後半期は、それらを各自の関心あるテーマに実際に活用しながら、経済学の基礎学力も高める活動を共同でおこない、学習の成果を確かなものにします。ゼミで身につけた能力を後輩のゼミ生を指導するという形で活用してみる場としてサブゼミが、また、それらの能力を検証する場として日本学生経済ゼミナールの東京大会、全国大会への参加が、さらに、インターネットや遠隔授業をとおしてアメリカの学生との交流をつうじた学習がおこなわれます。工場見学など多彩なイベントもゼミ生が自主的に企画実行しています。

成績評価の方法

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は当人のやる気です。

教科書

随時、有益な文献を紹介します。

その他

ゼミでは、社会の第一線で活躍している人を招いて「出前ゼミ」をときどき実施しています。このゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問い合わせたりすることのほか、下記のホームページにアクセスしてください。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~setooka/>

科専門教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	曽我 信孝 <small>そ が のぶ たか</small>	経A・商3選	4

講義のねらい

実際に企業がどのようなマーケティングを展開しているかを分析し、それらの政策がどのように評価できるのか。さらにそれらの政策に内在する問題点を指摘できる能力を育成することにならうを置いている。

講義の内容・授業スケジュール

前期にマーケティングの応用に関する文献を講読しながら、夏合宿までに問題意識とその解決方法の予備作業をしてもらう。夏合宿で、その結果を報告してもらい、検証する。後期にそれを論文にってもらう。その論文は論文集として発行する。11月末に他学年との合同ディベート大会を開催する。

成績評価の方法

出席状況（合宿参加も含む）、発表要旨（レジュメ）、ゼミ行事への取り組みなどで総合評価する。論文集への参加は重視する。

教科書

春合宿時に決定する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

「卒業研究」を併設する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	鄭 章 淵 <small>ちよん ちやん よん</small>	経A・商3選	4

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことです。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジアNIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）、ASEAN3（タイ、マレーシア、インドネシア）、中国、その他と続く発展の様は、しばしば「雁行形態的発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく現状において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰで身につけた基礎知識を土台に、さらに東アジア経済に関する知識を深めるため、次の文献を輪読してもらいます。

今井宏・高安健一・板東達郎・三島一夫〔共著〕『テキストブック21世紀アジア経済』（勁草書房）2003年 2,800円＋税

また、夏期休暇にゼミ合宿を予定しています。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。

成績評価の方法

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。

そ の 他

4年次に「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	徳永俊明	経A・商3選	4

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国（発展途上諸国：第3世界）の国際関係とそこでの人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済の中で人間と人間の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさと貧困、そして彼らのたたかひについての検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさと貧困を考えるのです。

春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは？ 自由とは？ 愛するとは？ 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりがみんなの意見を参考にして考えを深めます。

ゼミ最大のイベントは、これも全学年そろっての東南アジアへの研修旅行（自由参加）。これまでフィリピン・ベトナム・インドなど11か国へ行きました。いわゆる「観光旅行」ではなく、人々と交流し、人々の生活とその向上への努力や文化などを見聞することで、アジアの人々を知り、私たち自身の生活と考え方を再検討します。この旅で、私たちの頭のなかの〈世界〉は一挙に広がり、深くなります。

第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点

何よりも〈考える〉努力が大切です。〈考える〉努力を惜しまない諸君を求めます。

成績評価の方法

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

参考書等

討論のための資料・〈考える〉ための材料は、学生諸君と相談しながら用意してすすめます。

その他

〈考える〉努力の成果を「卒業研究」としてまとめます。（希望者のみ）

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	友松憲彦	経A・商3選	4

講義のねらい

この演習は西洋社会経済史の研究を課題にしています。3年次にはヨーロッパやアメリカ経済史の基本文献を講読し、経済史の基礎理論や概念について学びます。

また、自分が設定したテーマについて研究を進め、卒業研究のための基礎づくりをします。

履修上の留意点

「経済史」「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。

成績評価の方法

①年度末のレポート②平常点（レジュメ、報告、討論の状態）③出席で評価。

その他

卒業研究を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	なか すみ みつ あき 中 濟 光 昭	経A・商3選	4

講義のねらい

演習Ⅰの内容を前提に、具体的なテーマを研究していきます。インターネットマーケティング、ネットワークを活用した流通システム、サプライチェーンマネジメント、デジタル情報の著作権問題、電子決済といった経営・経済のテーマに加えコンピュータに興味のある学生は、システム設計実習やホームページデザイン実習などの情報系のテーマを扱います。就職のための個別指導や合宿、学外の研究発表、展示会見学、インターンシップ参加など、様々な活動を通じて、社会人として必要なことを学びます。この演習の成果は、情報産業を始めとする様々な業種への就職に結びつきます。

講義の内容・授業スケジュール

担当者のシステムエンジニア時代の経験を活かした指導を行います。
 ・文献の輪講（レジュメ作成）
 ・レポート発表
 ・各自設定したテーマについてレジュメ作成、発表

履修上の留意点

・演習Ⅱでは、後輩の指導や就職のための準備など、様々な活動が要求されます。もちろん合宿、課外イベント、サブゼミは、原則として出席していただきます。資格取得の自主ゼミも皆さんの希望によって実施しています。積極的なゼミ活動を期待しています。追加募集は若干名を受け入れます（編入学・転部生が主な対象）。
 ・メールを読む、ワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。

成績評価の方法

出席と課題提出、夏季合宿、学年末に行う発表とレポート、ゼミ運営上の雑務、イベントへの参加、資格取得を総合評価します。

教 科 書

別途指示

参 考 書 等

別途指示

そ の 他

ゼミはパソコン教場を使用しますので、本ゼミを受講したい人は、総合情報センターへ利用登録を行う必要があります。演習Ⅲでは、卒業研究（論文及び作品）を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	はし の とも こ 橋 野 知 子	経A・商3選	4

講義のねらい

〈近現代日本経済史の研究〉演習Ⅰで得た基本的知識をふまえて、戦前・戦後日本の経済発展を多様な角度から視て議論します。日本経済が発展する一方で、さまざまな問題が発生してきました。同時代人はこれをどう考えたのか、そして私たちはどう考えるのかを議論します。卒業研究を併設します。

講義の内容・授業スケジュール

文献の輪読を通じて理解を深める一方で、テーマや産業別に編成されたグループでの共同研究を進めます。後期からは卒業研究を見据えて、個人の研究報告をしてもらいます。

履修上の留意点

演習Ⅰの「履修上の留意点」を参照のこと。

成績評価の方法

平常点。

教 科 書

第一回日のゼミナールで話し合います。

参 考 書 等

必要に応じて随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	ひゃく た よし はる 百 田 義 治	経A・商3選	4

講義のねらい

現代日本の企業が直面するビジネス・マネジメント（経営管理）に関わるテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰの継続です。個別・グループ別に決定したテーマについて取り組みます。

履修上の留意点

経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法

出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書

未定

参考書等

未定

その他

「卒業研究」（4単位）を併設します。

科 専
門 教
目 育

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	ふく はら よし のぶ 福 原 好 喜	経A・商3選	4

講義の内容・授業スケジュール

〔ウェーバーとマルクス研究〕
このゼミナールではカール・マルクスの『資本論』やマックス・ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』の輪読を行う。専門の研究会以外に週1回自由テーマの読書会を持っている。合宿、コンパ、マラソン大会とゼミの行事は多彩であるが、そんな中から真の友人を得、自分なりの勉学態度を身につけてくれればと思っている。若干名募集。

履修上の留意点

「卒業研究」併設。

成績評価の方法

成績は出席点とレポートでつける。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	ふる さわ こう そう 古 沢 紘 造	経A・商3選	4

講義のねらい

3年演習〔アフリカの社会と文化Ⅱ〕
アフリカに関心を置いた卒業作品の制作に着手する。作品の形態は、個人の好みに合わせ、ルポ、エッセイ、評論など自由に選択する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①卒業作品について数回の間発表を行う
- ②アフリカをテーマにしたユニークな雑誌を発行する。
- ③アフリカに関連した企画の主要な担い手となる。

成績評価の方法

作品中間発表、レポート提出、ゼミ活動への参加に基づき評価する。

その他

「卒業研究」を併設する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	ほり 堀 りょう 龍 じ 二	経A・商3選	4

講義のねらい

わが国企業の労務管理はいま大きな変化のうねりのなかにあります。雇用、賃金、教育・訓練、昇進・昇格、労働時間、福利厚生だけでなく、労務管理のほとんどの領域で、かつて日本の労務管理と特徴づけられた制度や慣行が改廃されつつあります。新しい方向を示すキーワードは、多様化、弾力化（フレキシビリティ）、成果主義、個別主義などです。現在進行中の制度や慣行の改廃は、どうやら地殻変動のような本質的部分を含むように思われます。それらがどのような背景から生じているのか、どこに向かおうとしているのか、こうした問題を念頭におきながら、現代労務管理の動向を大局的・客観的に捉えることがねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ生にワーキンググループを作ってもらう。現代労務管理の変容を①雇用、②賃金、③労働時間、④教育訓練・能力開発、⑤福利厚生などの領域ごとに大別して、各グループが1つの領域を担当し、具体的なテーマを決めて報告し、全員で議論するという形式で進める予定です。時間がとればサブゼミも設けて、本ゼミの準備にあてたい。

履修上の留意点

グループメンバーがお互いに協力して調べものをするといったゼミの楽しみを味わってほしい。また全員が自由な意見をいえる雰囲気大切にしたい。

成績評価の方法

基本的に日頃のゼミへの参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言を中心に評価します。

その他

皆さんは学生時代の終わりに就職活動を通じて企業の労務管理と直面することになります。演習を通じて、皆さんと働き方について語りあいたいと思っています。なお演習Ⅲ履修時には「卒業研究」を併設します。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	みぞ て よし かず 溝 手 芳 計	経A・商3選	4

講義のねらい

食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思えます。演習Ⅱでは、これらの問題に関する代表的な見解を見ていきます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。

履修上の留意点

ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つと決っていません。学生相互の疑問の出し合い、教えあい、意見交換を大切にしてください。

成績評価の方法

出席状況、レポートと発表の内容・態度、議論への参加状況などを総合的に評価します。

教科書

ゼミ生の希望を聞いて決定します。

参考書等

必要に応じて紹介します。

その他

演習Ⅰ、演習Ⅱの履修者には、演習Ⅲで「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	みつおか ぼくみ 光岡博美	経A・商3選	4

講義のねらい

演習Ⅰの勉強を前提として、各人のテーマをさらに深く研究していくことを目標とします。参加者は自分の研究テーマを登録し、順次報告してもらいます。各人の報告は討論に付し、担当教員がコメント、今後の研究についてのアドバイスをを行います。また、研究テーマが近接している場合にはテーマ別のグループによる共同研究を組織し、グループ別の発表会なども予定しています。参加者はこの1年間の勉強にもとづいて、次年度のゼミ論文に取り組んでもらいたい。なお、春と夏にはゼミ合宿（2泊3日程度）を行います。強制はしませんが、ゼミ生での親睦を深め、2、4年生との交流の場とします。多数の参加を期待します。

成績評価の方法

(1) 出席は当然のことですが(2) 自分の研究テーマをどれだけ深くほりさげ研究に努力を払ったのかという点を重視します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	みょうせ まさはる 明瀬政治	経A・商3選	4

講義のねらい

この演習は3年次生を対象とし、副表題を「財政学」とする。近代経済学の理論的枠組みを取り入れたかたちでの財政理論はこれまでの経済現象を解明するための有力な理論体系を含んでいた。そしてその応用としての経済安定化のための財政政策は重要な経済政策の一つであった。しかし経済社会の発展とともに今や、それらの財政思想および財政理論の限界が明らかになりつつあり、現在では新しいかたちの接近がいくつも試みられるようになっている。ここでは従来の財政思想の限界を分析するなかから、今後の財政理論の展開の可能性を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

公共財政の現代的課題を理解し、検討判断する能力を養うために現代財政を論じたテキストを使用する。輪読形式の精読により内容に対するゼミ生の共通理解を得て検討し、できるだけ多く進む。

履修上の留意点

「財政学」、「財政政策」、「地方財政論」、「マクロ経済学」、「国民所得論」、「行政法」等の関連科目の履修が望ましい。

成績評価の方法

平常点により評価する。

教科書

最初の授業で指定する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	もり おか じん 森 岡 仁	経A・商3選	4

講義のねらい

現在世界の人口は60億を超え、増加速度は衰えたとはいえ、開発途上地域を中心になお増加を続けている。しかし、先進諸国では低出生率に伴う少子高齢化問題に悩み、日本も例外ではない。

講義の内容・授業スケジュール

3年次の演習では、これら相反する人口問題を抱える世界の人口を取り上げ、それが社会的にどのような問題を具体的に生み出しているのか議論してみたい。

履修上の留意点

休まず出席することが演習履修の第一条件である。

成績評価の方法

平常点。

教 科 書

濱英彦・河野稠果編『世界の人口問題』（大明堂）

参 考 書 等

演習の中で適宜紹介する。

そ の 他

「卒業研究」を併設する。
4年演習
4年次生は追加募集しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏	経A・商3選	4

講義のねらい

財務会計は、企業をとりまく利害関係者の利害調整およびその意思決定に貢献することを目的として発展してきた。さらに、財務会計によってもたらされる情報に信頼性を付与するために会計監査が行われている。したがって、財務会計と会計監査には密接なつながりがあり、財務会計の知識なくして会計監査を深く理解することはできない。本演習においては、財務会計および監査の領域に属する諸問題を、学生相互間の討論を中心として研究していく。

講義の内容・授業スケジュール

まずテキストを用いて財務会計の理論を習得し、その後に監査論の学習に進む。これらの学習は、次年度における卒業研究の基礎となるものである。

履修上の留意点

特別な事情がない限り、毎回出席すること。明るく楽しいゼミにしたいと思うので、自主的にゼミを運営できるような、積極的かつ協調の精神に富んだ諸君の参加を期待している。

成績評価の方法

いわゆるゼミであるから出席を重視するが、そのほかにゼミにおける報告（レジュメを含む）・発言内容やゼミ活動に対する取り組みなどを考慮に入れて総合的に評価する。

教 科 書

最初の演習時に指示する。

参 考 書 等

演習時に適宜紹介する。

そ の 他

演習Ⅲに「卒業研究」を併設する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	谷 敷 正 光 や しき ただ みつ	経A・商3選	4

講義のねらい

テーマ〔日本経済の発展と高度工業化社会の研究〕
3年ゼミは、戦後の日本経済の発展過程と各時期における発展要因、構造的特質を明らかにし、明治以降西欧以外の諸国で日本だけが独立を維持し、高度工業国に脱皮しえたかを解明するとともに、戦後50余年間の日本型経済システムの形成と破綻の過程を基礎文献や学術論文を使って明らかにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕は、戦後の日本経済を中心に、経済復興期、高度成長期、経済構造の転換期、安定成長期、バブル経済期のそれぞれの推進要因と各段階の構造的特質を明らかにしたいと思います。

〔後期〕は、空前の大好況と「経済大国」が破綻し、戦後の日本経済を支えてきた日本型経済システムが破綻していった過程を考察します。これらの考察は、班別課題発表、プレゼンテーションを通じて明らかにします。

〔授業以外〕にも集中的研究とゼミ員相互の親睦をはかるために合宿を行います。

成績評価の方法

出席を基本に、常日頃の発表やレポートなどで総合評価します。

教科書

橋本寿朗『戦後の日本経済』（岩波書店）
佐和隆光『平成不況の政治経済学』（中公新書）

参考書等

紫垣和夫『昭和の歴史（全10巻）』（小学館）
速水融、宮本又郎『日本経済史（全8巻）』（岩波書店）

その他

4年ゼミでは、「卒業研究」を開設しますので、希望する人は履修することができます。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	安 元 稔 やす もと みのる	経A・商3選	4

講義のねらい

われわれが現在生活している産業社会は、18世紀後半にイギリスで始まった産業革命に端を発しています。今年度の演習Ⅱでは、18-19世紀のイギリス経済の特質をさまざまな角度から見て行きます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの要約・疑問点・興味を持った点の報告、関連する学術用語・概念等の調査・報告を中心に演習を進めます。

履修上の留意点

学部の講義「経済史」を受講することが望ましい。

成績評価の方法

日常の勉学態度・出席状況を見て成績を評価します。

教科書

第1回目のゼミナールの際、指示します。

参考書等

適宜指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	やまがなひろし 山 縣 弘 志	経A・商3選	4

講義のねらい	比較経済論の専門的学習・研究
講義の内容・授業スケジュール	現代世界のリアリティをどうとらえるかは経済学の重要な責務となっている。テクノロジーの発展が生み出すヴァーチュアリティと現実とのギャップをいかに埋めるか、わたし達の知恵が問われているといえる。20世紀に顕在化した課題——環境、戦争、福祉、民族、競争と平等、これらとどう取り組むべきか。市場主義の限界は明らかであり、他方で「20世紀社会主義」も対案となりえなかった。ヨーロッパ、ロシアの経験に学び、比較経済論の視点から、これらの問題を考えていきたい。後期は自主研究の発表の形で授業を進める。
成績評価の方法	出席、発表、討論への参加を点数化して総合評価する。
教科書	相談の上決める。
その他	非喫煙者が望ましい。 「卒業研究」有。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	よしだけいいち 吉 田 敬 一	経A・商3選	4

講義のねらい	この演習は日本経済の構造転換問題を主要産業別に研究し、産業システムおよび企業システムの変容の実態を理解することを目的としています。また共同研究を通じて、4年次の卒業研究にチャレンジするテーマをつかむことも3年次の重要な課題となります。
講義の内容・授業スケジュール	講義とは異なり、演習は学生諸君の自主性・主体性が必要不可欠です。そこで演習生をグループ化し、班単位でレジュメを作成し、報告・議論を進めていきます。また共同研究を通して、演習生各自が自分自身の世界観・社会観(ものの見方・考え方)を確立することを目標として、また各自が個性的なプレゼンテーション能力とリーダーシップを高めることを目指して、演習を運営していきます。
履修上の留意点	受身でゼミに参加するのではなく、積極的に発言し、楽しく有意義なゼミを共に創り上げるという姿勢でチャレンジしてください。なお4年次には卒業研究にチャレンジしてもらいます。
成績評価の方法	成績評価は、出席状況、平常点(レジュメ、報告内容、討論への参加度など)およびレポートなどを中心にして総合的に評価します。
教科書	第1回目の演習の時間に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	よしの吉野 <small>おきむ</small> 紀	経A・商3選	4

講義のねらい

経済状況を「かなり」とか「非常に」といった形容詞を用いて言い表わすのではなく、「数量」や「尺度」を用いることでより客観的に提示することが、私の手法であると、かつてケネーが表明していたが、そうした考え方に軸足を置きつつも、規範的 (normative) な経済の論理を生かすか否かは、良くも悪くも、生身の人間の、教育で育まれたかあるいは伝統として社会全体に受け継がれてきたかの思想(身体に染みついた考え方であり、容易に変革しえない部分)に依存する。

日本社会の底流にあるこうした部分との接点にも目を向けてゆくことにしよう。

成績評価の方法

H常の授業にとり組む姿勢を評価の基準に置く。

教科書

開講時に指示する。

その他

「卒業研究」併設。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名	配当学科	単位
ビジネスインターンシップ	おぐり <small>たかし</small> 小栗 <small>よしだ</small> 崇資・ <small>けいち</small> 吉田 敬一	商3選	4

講義のねらい

「ビジネスインターンシップ」は皆さんに企業や団体での現場研修を受けてもらい、そうした就業体験を通じて、活きた経済・経営の動向を理解し、より高度な専門学習への意欲を高めることをねらいとしたユニークな科目です。受講生の自覚と責任がきびしく要求されますが、そうしたハードルを越えることで貴重な体験学習をすることができます。研修先は、中小企業が中心ですが、そのほかにも商店、生協、NGO・NPO、自治体、農家など多様な体験のできる場を予定しています。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 前期では 教室での授業を通じて、インターンシップのための素養や基礎知識を修得し、最低限必要とされる準備トレーニングを行います。次のような点を目標にしています。
- ・インターンシップの目標とプログラムについての理解
 - ・仕事のルールとビジネスマナーの修得
 - ・自己分析トレーニングと各自の目標・計画の設定
 - ・インターンシップ先についての研究
 - ・インターンシップ先の確定と研修計画の相談
- (2) 実際の研修は夏休み期間に実施されます。8月末ないしは9月初めに約2週間の研修を行います。
- (3) 後期は、研修についてのレポート作成を行います。またレポートにもとづく発表会も予定しています。

履修上の留意点

- 次の点を必ず確認して履修してください。
- (1) 無責任な受講はやめましょう。インターンシップは多くの企業・団体のご協力によって行われます。無責任な受講は、研修先に多大なご迷惑をかけることとなりますので、注意してください。
- (2) 前期授業に必ず出席すること。欠席が続いたり教員の指示に従わない場合は、受講を認めないことがありますし、インターンシップを中止することがあります。その場合は単位となりませんので、了解してください。
- (3) 研修の際の経費 (交通費や被服費等) は受講生の自己負担となりますので、了解しておいてください。あくまで研修ですので、勤務報酬も出ません。

成績評価の方法

基本的には研修後のレポートによって成績評価しますが、研修先の評価や受講態度・出席点なども参考にして判断します。

教科書

特になし。前期授業では随時プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
インターンシップ	あさの 浅野 かつみ 克巳	経A3選	4

講義のねらい

インターンシップとは、学生が、在学中に、企業や各種団体などで〈就業（現場）体験〉をすることです。インターンシップによって、実社会＝現場の実態を知り、自らの専攻分野や関心分野についての具体的な知識を豊富にし、適性を的確に判断しながら、職業の選択や人生設計における主体性と問題解決能力の強化を図ろうとするものです。大学での普段の学習方式とは異なる〈体験学習〉で得たものはきっと一つの貴重な生きた知識になるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

- ・～4月——演習（Ⅱ）担当教員・受け入れ先・本人の3者の間で実施についての基本的な合意
- ・4月——履修登録
- ・7月——事前研修
- ・8～9月上旬——就業（現場）体験（2週間程度）
- ・9月——事後研修（レポート作成など）

履修上の留意点

- ① インターンシップでは、「3者」の間の確実な信頼関係の構築が大前提になります。したがって、受け入れ予定先の判断などで実施できなくなる場合もあります。
- ② スケジュールのうちとくに就業（現場）体験は、受け入れ先の都合で時期・期間が当初の予定と変わることがあります。

成績評価の方法

受け入れ先からの報告と事後研修で提出するレポートなどで評価します。

教科書

事前研修・事後研修に必要な資料などを配付します。
また、受け入れ先から必要な資料・文献などが配付されることもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
インターンシップ	あべ ひろし 阿部 弘	経A3選	2

講義のねらい

インターンシップとは、学生が、在学中に、企業や各種団体などで〈就業（現場）体験〉をすることです。インターンシップによって、実社会＝現場の実態を知り、自らの専攻分野や関心分野についての具体的な知識を豊富にし、適性を的確に判断しながら、職業の選択や人生設計における主体性と問題解決能力の強化を図ろうとするものです。大学での普段の学習方式とは異なる〈体験学習〉で得たものはきっと一つの貴重な生きた知識になるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

- ・～4月——演習（Ⅱ）担当教員・受け入れ先・本人の3者の間で実施についての基本的な合意
- ・4月——履修登録
- ・7月——事前研修
- ・8～9月上旬——就業（現場）体験（2週間程度）
- ・9月——事後研修（レポート作成など）

履修上の留意点

- ① インターンシップでは、「3者」の間の確実な信頼関係の構築が大前提になります。したがって、受け入れ予定先の判断などで実施できなくなる場合もあります。
- ② スケジュールのうちとくに就業（現場）体験は、受け入れ先の都合で時期・期間が当初の予定と変わることがあります。

成績評価の方法

受け入れ先からの報告と事後研修で提出するレポートなどで評価します。

教科書

事前研修・事後研修に必要な資料などを配付します。
また、受け入れ先から必要な資料・文献などが配付されることもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
インターンシップ	瀬戸岡 紘 <small>せとおか ひろし</small>	経A3選	2

講義のねらい

就職するまえに企業や各種団体で就業体験をすること（インターンシップ）は、アメリカやヨーロッパの学生たちのあいだでは7割ほどにもおよびます。社会にでるまえに社会を体験し、社会人としての自覚を高めることの重要性は、わが国でも急速に認められるようになっていきます。その要請にこたえつつ、将来の職業選択の能力をやしなうことが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

年度初めには、受講生、担当教員、受け入れ先の3者で基本的な合意をします。そのうえで、前期授業期間中に事前研修をします。主として夏休みを利用して就業体験をします。その後は、レポートの作成など、事後研修をします。
条件がゆるせば、ひとりの学生が複数の企業や団体で何回も就業体験をすることもできるようになります。

履修上の留意点

受け入れ先の企業や団体からの信頼がなければインターンシップはなりたちません。その点でしっかりした自律の精神をもっていることが期待されます。

成績評価の方法

事前研修、事後研修でのレポートのほか、受け入れ先からの報告によって評価します。

教科書

事前研修、事後研修で、必要な資料などを配布します。受け入れ先から資料・文献などが配布されることもあります。

科
専
門
教
育
目
録

科目名	担当者名	配当学科	単位
インターンシップ	徳永 俊明 <small>とくなが としあき</small>	経A3選	2

講義のねらい

インターンシップとは、学生が、在学中に、企業や各種団体などで〈就業（現場）体験〉をすることです。インターンシップによって、実社会＝現場の実態を知り、自らの専攻分野や関心分野についての具体的な知識を豊富にし、適性を的確に判断しながら、職業の選択や人生設計における主体性と問題解決能力の強化を図ろうとするものです。大学での普段の学習方式とは異なる〈体験学習〉で得たものはきっと一つの貴重な生きた知識になるはずですよ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・～4月——演習（Ⅱ）担当教員・受け入れ先・本人の3者の間で実施についての基本的な合意
- ・4月——履修登録
- ・7月——事前研修
- ・8～9月上旬——就業（現場）体験（2週間程度）
- ・9月——事後研修（レポート作成など）

履修上の留意点

- ① インターンシップでは、「3者」の間の確実な信頼関係の構築が大前提になります。したがって、受け入れ予定先の判断などで実施できなくなる場合もあります。
- ② スケジュールのうちとくに就業（現場）体験は、受け入れ先の都合で時期・期間が当初の予定と変わることがあります。

成績評価の方法

受け入れ先からの報告と事後研修で提出するレポートなどで評価します。

教科書

事前研修・事後研修で必要な資料などを配付します。
また、受け入れ先から必要な資料・文献などが配付されることもあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インターンシップ	とも まつ よし ひこ 友 松 憲 彦	経A3選	2

講義のねらい

インターンシップとは、学生が在学中に企業や各種団体で就業体験し、単位認定をする科目です。これによって実社会（現場）の実態を知り、自らの専攻分野や関心領域についての知識を豊富にしながら、大学で学んだ理論や知識を活かした実践的な能力を身につけます。それは将来の職業選択や、人生設計における主体性と問題解決能力の強化にもつながります。

講義の内容・授業スケジュール

企業や各種の団体や組織で2週間程度の就業体験をします。

成績評価の方法

受け入れ先からの報告、事後研修で提出するレポート等で評価します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代産業事情Ⅲ(前期)	しろ た じゆん 代 田 純	経A・商3・4選	2

講義のねらい

野村證券株式会社の提供による本講座は、「資本市場の役割と証券投資」をテーマとし、野村證券および野村総合研究所の現役スタッフによって前期13回で講義される。講義では、証券市場に密接に関連する経済情報の捉え方からスタートし、株式や、債券、投資信託などの基礎を解説した後、資産運用とライフプランニング、資本市場と投資家心理などの実践的課題に接近し、最後にはベンチャービジネスにも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス
- 2 経済情報の捉え方
- 3 経済成長と金融資本市場について
- 4 証券投資のリスク・リターンについて
- 5 株式市場の役割と投資の基礎知識について
- 6 債券市場の役割と投資の基礎知識について
- 7 投資信託の役割とその仕組みについて
- 8 ポートフォリオ・マネジメントについて
- 9 市場のグローバル化と証券投資について
- 10 資産運用とライフプランニング
- 11 資本市場における投資家心理について
- 12 個人投資家と証券ビジネスについて
- 13 ベンチャービジネスとIPOについて

履修上の留意点

遅刻、途中退室は認めない。講師の都合でテーマが変更されることもある。

成績評価の方法

定期試験による。再試験はない。但し、レポート提出者には加点する。

教 科 書

毎回、講義資料が配布される。指定参考書として、代田純『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済新報社）2002年を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 III	あさの かつみ 浅野 克巳	経A・商4選	4

講義のねらい 演習Ⅱの継続として以下の内容を検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 現代日本経済システムの特徴 2. 日本の企業と産業組織 3. 日本の企業システム
4. 市場と取引コスト 5. 情報の経済分析 6. ネットワーク外部性 7. 巨大企業の誕生
と「収穫逦増」の波 8. 技術進歩と研究開発 9. 知的財産権と企業 10. 構造改革と日本
経済 11. メインバンクシステムと資本市場 12. 日本企業とコーポレートガバナンス

履修上の留意点

演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習をしておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションも行うので「情報センター」を利用して活用できるようにしておくこと。

成績評価の方法

出席率、授業態度、レポートの内容等を総合して評価する。

教 科 書

長岡・平尾『産業組織の経済学』（日本評論社）1998年
ポール・ミルグロム＝ジョン・ロバーツ『組織の経済学』（NTT 出版）1997年
小田切宏之『企業経済学』（東洋経済新報社）2000年

参 考 書 等

内閣府『経済財政白書』その他の資料については授業の中で指示する。

そ の 他

卒業研究 有

科 専
門 教
育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 III	あべ ひろし 阿部 弘	経A・商4選	4

講義のねらい 日本の経済は、いまどうなっているのか、わたしたちの生活はどうなるのだろうか。今年度は、日本経済の問題について考察して行くことにする。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①井村喜世子『現代日本経済論』（新版）を検討する。
- ②各自のテーマの設定と研究過程・成果の検討。各自の論文はゼミナールの機関誌である『アルファ』に掲載するものとする。
- ③ゼミナールの行事：春・夏の合宿、10月のゼミナール対抗ソフトボール大会／論文発表大会／その他

成績評価の方法

- ①ゼミナールであるから、参加者各自の自立した研究発表が評価の基準になるが、ゼミナールでの議論はもちろん、論文発表大会に参加しないものも単位が取得できない。
- ②卒業研究
「卒業研究」に関しては、通常のゼミナール論文とは別の4単位になる研究であるから、これに関しては経済学部で定めてある様式に載って、定められた期日に仕上げるものとする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	あら き よし ひろ 荒 木 勝 啓	経A・商4選	4

講義のねらい

経済変動や数理ファイナンスなどのモデルをコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。

講義の内容・授業スケジュール

4年生は経済変動モデルや数理ファイナンスモデルを構築していく。昨年度は回帰分析モデル、移動平均モデルを使い株式の売買シミュレーションを行なった。

成績評価の方法

オリジナルモデルの作成がすなわち卒業作品を仕上げること。

その他

C言語やコンピュータシミュレーションの実際をマスターした学生は、就職の際に圧倒的に希望の会社、職種につくことができるというのが実情である。DTPの技能についても同様である。本ゼミとは、そうしたプロフェッショナルな技能を身に付けた上で、その技術をもとにはじめてオリジナルな自己表現をすることができるという現実を知る場であると心得よ。

専科
教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	いい だ やす ゆき 飯 田 泰 之	経A・商4選	4

講義のねらい

演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する（つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」）際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標としたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰ・Ⅱでの学習内容を継続的に発展させ、卒業論文またはゼミ論文の形で4年間の学習成果をまとめることを最終目標とする。

履修上の留意点

「経済原論Ⅱミクロ経済学・マクロ経済学」「経済政策」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書

教科書は開講時に協議する。

参考書等

テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	いし かわ じゅん し 治 石 川 純 治	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

企業会計の制度と理論を学習します。「制度」の基礎にある土台としての「理論」の両者の関係において学習することが基礎にある視点です。社会・経済における「生きた会計」を学習するために、「時事会計」を重視します。したがって、会計の基礎にある社会経済問題への関心が大切で、それとの関連で会計を学習します。会計をとおして世の中の問題に発言できる洞察力を得られればと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

中級・上級のテキストの学習と卒論指導。

成績評価の方法

これまでのゼミ活動の総合評価と卒業論文。

教 科 書

その都度指示します。

参 考 書 等

その都度指示します。

科 専
目 門
教 教
育 育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	いし かわ ゆう じ 二 石 川 祐 二	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

企業においては、会計情報が利用される場合、それによって様々な目的が果たされる。その目的と会計上の手法との関係を探ることで、会計が社会的な諸関係の中でいかなる意味を持つものであるのかを明らかにしたい。そのことによって、社会現象のもつ意味を考えるための視点を養うことに努めたい。

具体的には、「卒業研究」の論文作成に取り組むことで、社会現象を分析するための視点を身につけてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅲでは、ゼミ生各自が研究テーマに関する調査・分析を進め、それを基に「卒業研究」を作成する。

履修上の留意点

積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってほしい。また、「卒業研究」を開設する。

成績評価の方法

特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。

教 科 書

特に指定しない。ただし、各自の研究に必要な書籍を利用すること。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

そ の 他

合宿その他のイベント等については、話し合いで決定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	いわ した ひろし 岩 下 弘	経A・商4選	4

講義のねらい

3年間のゼミのテーマは流通・流通政策の国際比較である。2年次には日本における流通問題を研究対象にし、3年次では国内の流通政策、4年次では流通政策の国際比較を対象とする。多国籍化している大手小売資本の企業行動＝経営戦略とそれに対する海外諸国の公共政策を、日本の政策と比較しながら検討する。
小売資本に対する公共政策の国際比較

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読あるいは報告。卒論は別に指導。

履修上の留意点

ゼミは参加することに意味がある、ということをお忘れしないこと。

成績評価の方法

ゼミ、合宿、コンパ等への出席およびレポートの提出回数により評価。

教科書

必要に応じて指定。

参考書等

その都度指示。

その他

卒業研究 有

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	いわ なみ ふみ たか 岩 波 文 孝	経A・商4選	4

講義のねらい

現代の企業は急速なIT革新の進展や企業活動のグローバル化に伴って、グローバルな事業の再構築を展開しています。近年では、企業合併もタイムラーとクライスラーのようにグローバルなレベルで展開しており、それが業界再編を加速しています。その一方で、わが国では、「バブル経済」崩壊以降の不況下で、経営破綻、不法融資、企業経営上の不祥事などによる経営の行き詰まりなどの問題も続出しています。本演習では、コーポレート・ガバナンスと経営システムをテーマとして、現代企業経営における戦略展開の課題を多面的に検討するとともに、企業経営のあり方、すなわち公正・効率的な経営システムの構築に関連してコーポレート・ガバナンスの構造について検討していきたい。これらを通じて、現代の企業経営の課題と展望を追究していきます。

講義の内容・授業スケジュール

各ゼミ生の「ゼミ論文」あるいは「卒業研究」報告を中心に討論し、「ゼミ論文」・「卒業研究」の作成に取り組みます。
合宿では、各ゼミ生のゼミ論文・卒業研究テーマの報告とともに、現代の企業経営が抱える諸問題について討議していきます。

履修上の留意点

ゼミナールは、受講生の主体的な学びの姿勢にもとづいて運営されます。ここでは専門の学習とともに、自らの課題を発見し、問題意識を深めていくという積極的な学習スタイルが求められます。受講の際には企業経営をめぐる諸問題について問題意識を持ちゼミナールに参加してもらいたい。

成績評価の方法

ゼミへの出席、発表内容、積極的な討議への参加など平常点による総合評価を行います。

教科書

開講時に指定します。

参考書等

必要に応じて指定します。

その他

「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	おおいしゆうじ 大石雄爾	経A・商4選	4

講義のねらい

2年次・3年次のゼミ活動・学習の成果をゼミ論文（卒業研究）としてまとめること、そのための準備と執筆が中心となる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は各自、就職活動に専念し、自分の性格や能力に合った、やりがいのある就職先を確保するべく努力する。

後期にはいと、卒業研究のためのレジュメを作成し、執筆にとりかかる。提出された論文は、ゼミ活動とともに長く思い出に残るよう『経済学ゼミ論集』にまとめられる。

成績評価の方法

原則として平常点であるが、「卒業研究」が提出されない場合には、演習Ⅲの単位も取り消しとなることもある。

その他

「卒業研究」を併設する。
コース制との関連：いずれのコースを履修してもよい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	おおぶきかつお 大吹勝男	経A・商4選	4

講義の内容・授業スケジュール

現代日本企業の物流に係わる諸問題をテーマとして論文を作成することを課題とする。「演習Ⅱ」のテーマより高度な内容とする。

成績評価の方法

ゼミ論文の提出によって成績を評価する。「卒業研究」も併せて開講する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	おぐりたかし 小栗崇資	経A・商4選	4

講義のねらい

新規募集せず。

講義の内容・授業スケジュール

各自の研究テーマについて調査・研究を進め、卒業研究に結実するように指導したい。

成績評価の方法

総合的に判断する。①出席状況、②分担報告、③レポート。

教科書

演習の中で指示。

参考書等

演習の中で指示。

科 専
門 教
育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	小 ^{すぎ} 杉 ^{しゅう} 修 ^じ 二	経A・商4選	4

講義のねらい

問題の解決学習をする予定である。人類が工業文明の成果をひきつぎながら、衣食住の需要を満たし、なおかつ、楽しく暮らせる社会について考えられないかどうか検討してみよう。
ゼミは学生のレポートと討論が中心になるが、その実現は学生諸君の熱意に頼るところが大きい。最近、本ゼミで重視しているのは、対立する正反対の意見を素材とするディベートである。これは仮想討論ではあるが、こうした経験を通じて、自分の意見を表明したり、他の意見とぶつかり合う訓練として役立つことを期待している。諸君の意欲的な参加を待つ。

成績評価の方法

出席率70%以上を中心とする。

そ の 他

「卒業研究」を併設する。

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	小 ^{はやし} 林 ^{まさ} 正 ^と 人	経A・商4選	4

講義のねらい

テーマ：「戦後の日本経済と産業発展」
このゼミでは「卒業研究」（卒業論文のみ）の作成を指導します。
3年生までのゼミでの調査や研究をふまえて、各ゼミ生が自発的に研究したい産業ないし業種についてテーマを決め（一般的な産業問題、あるいは生活経済の問題でもよい）、その特徴、歴史、課題や問題点などを卒業論文にまとめます。これにより各ゼミ生が、4年間の経済学部での学習と研究を集大成します。

講義の内容・
授業スケジュール

「卒業論文の提出までに必要な段階」として、文献研究発表、参考文献一覧の提出、論文の予定目次と題名の発表、卒論本文の中間発表、指導教員による最終稿の予備審査などがあります。
審査を通った論文は、卒業論文集（仮称『現代産業学生論集2002』）として編集し、印刷、製本します。したがって、卒業論文の最終稿はワープロにより一定の書式に従って提出します。具体的には下記のウェブサイトの「ゼミのひろば」に掲示します。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>

履修上の留意点

ゼミの円滑な運営のためのルールに従うこと。

成績評価の方法

上記の「卒業論文の提出までに必要な段階」を踏んだかどうかを評価します。

参 考 書 等

各ゼミ生が選んだ文献以外に、全体に必要な参考文献があれば、授業中にゼミ生と相談して決めます。

そ の 他

「卒業研究」（卒業論文のみ）を併設。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 Ⅲ	さいとう 藤 正 齊 藤 正	経A・商4選	4

講義のねらい

演習Ⅰ・Ⅱの集大成としてゼミナール論文の作成をめざします。テーマは自由ですが、第1回目の授業までにテーマを確定してもらいます。

講義の内容・授業スケジュール

前期は就職活動等で全員が揃うことは難しいですが、就職情報を交流したり、新聞記事を題材に議論するのが慣例となっています。就職活動を通じて社会への関心が深まったり、勉学への新たな意欲が湧いてくるケースも少なくなく、飛躍的に成長できる時期でもあります。後期はゼミ論の執筆に向けて、報告・議論を積み重ねていきます。

履修上の留意点

4年生は学生時代の締めくくりの年です。勉学面でも、生活面でも社会人への備えが求められます。

成績評価の方法

年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

そ の 他

「卒業研究」を併設します。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 Ⅲ	しみず たかし 清 水 卓	経A・商4選	4

講義のねらい

自分が決めたテーマでゼミ論文あるいは「卒業研究」を作成するのが課題です。一生の思い出になるよう、大学時代の学習の総まとめとして真剣に取り組んでもらいたいと思います。

履修上の留意点

演習Ⅰを参照のこと。

成績評価の方法

演習Ⅰを参照のこと。

教 科 書

演習Ⅰを参照のこと。

そ の 他

演習Ⅰを参照のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 Ⅲ	しろ た じゅん 代 田 純	経A・商4選	4

講義のねらい

金融についての研究

講義の内容・授業スケジュール

就職活動と両立させて、卒論完成をめざす。

成績評価の方法

卒業論文の提出、内容で評価する。

教 科 書

特に決めない。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	鈴 木 伸 枝 <small>すずき のぶえ</small>	経A・商4選	4

講義のねらい

公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックについて「どういう問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。

講義の内容・授業スケジュール

公共経済学のテキストの輪読を中心とします。毎回、輪読の報告担当者にはレジュメを用意してもらいます。また、学年末には自分でトピックを選んでレポートを提出してもらいます。コンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。

履修上の留意点

ゼミは勉強の場だけでなく、人前で自分の意見を言えるよう訓練したり、同じゼミの仲間と協力して何かを達成することを通じて人間的に成長する場でもあります。引込み思案にならず、常に積極的な態度で参加してください。

成績評価の方法

出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。

教 科 書

受講者と相談して決定します。

そ の 他

ゼミ中は禁煙とします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	瀬 戸 岡 紘 <small>せとおか ひろし</small>	経A・商4選	4

講義のねらい

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応して、経済、社会、経営、文化など各自の学習と研究の成果を卒業論文にまとめます。何をテーマにとりあげるかは、各自の希望で決定します。現代経済過程の成功例、失敗例どちらも最も豊富にもっているアメリカの経験を参照するところから、意外な結論をひきだせるなら卒論は成功といえましょう。

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文の検討と完成が年間の最大の課題です。各自の論文の構想は、ゼミ生全体からのコメントを受けることでねりあげられます。他方、各ゼミ生は他人のテーマに関与することで耳学問としての幅広い知識と教養を得ることができます。また数百人におよぶ当ゼミ卒業生との交流をつうじて、就職・進学・留学の準備をします。そのほか、日本学生経済ゼミナルへの後輩の参加を後援したり、インターネットや遠隔授業をつうじた海外の学生との交流をリードしたり、工場見学などゼミの各種イベントにスーパーバイザーとして後輩を支援します。

成績評価の方法

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は当人のやる気です。

参 考 書 等

卒業論文の作成に必要なあらゆる文献が参考書になりますが、それは個々人で異なります。

そ の 他

このゼミは、卒業生のほか、外部の人も参加・協力してくれることの多いゼミです。このゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問いあわせたりすることのほか、下記のホームページにアクセスしてください。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~setooka/>

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	曾 我 信 孝	経A・商4選	4

講義のねらい

現在社会で必要としているマーケティング戦略、あるいはその技法の検証能力、さらに自ら製品開発や広告などの企画をするための発想力を身に付けてもらうことを狙いとしている。

講義の内容・授業スケジュール

ホットなテーマに沿った文献を選び、議論を中心とした授業にする。マーケティングに関する重大な時事があれば、それを議題にすることもある。後期のディベート大会では、幹事学年として後輩の指導にもあたってもらう。

成績評価の方法

出席状況（合宿参加も含む）、発表要旨（レジュメ）、ゼミ行事への取り組みなどで総合評価する。

教科書

春合宿時に決定する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

「卒業研究」を併設する。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	鄭 章 淵	経A・商4選	4

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことです。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジアNIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）、ASEAN3（タイ、マレーシア、インドネシア）、中国、その他と続く発展の様は、しばしば「雁行形態的発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく現状において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰ・Ⅱでの学習を基礎に「卒業研究」の作成をします。ゼミ生各自のテーマに従い個別指導を行います。

成績評価の方法

出席率、卒業研究の内容を参考に評価します。

その他

「卒業研究」を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	とくながとしあき 徳 永 俊 明	経A・商4選	4

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国（発展途上諸国：第3世界）の国際関係と其中での人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済の中での人間と人間の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさと貧困、そして彼らのたたかについて検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさと貧困を考えるのです。

春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは？ 自由とは？ 愛するとは？ 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりがみんなの意見を参考にして考えを深めます。

ゼミ最大のイベントは、これも全学年そろっての東南アジアへの研修旅行（自由参加）。これまでフィリピン・ベトナム・インドなど11か国へ行きました。いわゆる「観光旅行」ではなく、人々と交流し、人々の生活とその向上への努力や文化などを見聞することで、アジアの人々を知り、私たち自身の生活と考え方を再検討します。この旅で、私たちの頭のなかの〈世界〉は一挙に広がり、深くなります。

第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点

何よりも〈考える〉努力が大切です。〈考える〉努力を惜しまない諸君を求めます。

成績評価の方法

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

参 考 書 等

討論のための資料・〈考える〉ための材料は、学生諸君と相談しながら用意してすすめます。

そ の 他

〈考える〉努力の成果を「卒業研究」としてまとめます。（希望者のみ）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	ともまつよしひこ 友 松 憲 彦	経A・商4選	4

講義のねらい

演習Ⅱ（3年）で開始した研究を継続発展させ、卒業研究に結実させていきます。

履修上の留意点

「経済史」、「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。

成績評価の方法

①年度末のレポート②平常点（レジュメ、報告、討論の状態）③出席で評価。

そ の 他

卒業研究を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 Ⅲ	なか すみ みつ あき 中 濟 光 昭	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

進路指導と卒業論文の作成を行います。就職のための個別指導や合宿、学外の研究発表、展示会見学など、様々な活動を通じて、社会人として必要なことを学びます。この演習の成果は、情報産業を始めとする様々な業種への就職に結びつきます。

講義の内容・授業スケジュール

就職活動と並行して、
 ・研究計画書作成、論題の提出
 ・レジュメ作成、レポーティング、発表
 を行います。

履修上の留意点

・合宿、課外イベント、サブゼミは、原則として出席していただきたいと思います。資格取得の自主ゼミも皆さんの希望によって実施しています。積極的なゼミ活動を期待しています。
 ・追加募集は致しません。
 ・メールを読む、ワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。

成績評価の方法

出席と課題提出、夏季合宿、学年末に行う発表とレポート、ゼミ運営上の雑務、イベントへの参加、資格取得を総合評価します。

教科書

別途指示

参考書等

別途指示

その他

ゼミはパソコン教場を使用しますので、本ゼミを受講したい人は、総合情報センターへ利用登録を行う必要があります。卒業研究（論文及び作品）を併設します。

科 専
門 教
育

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 Ⅲ	はし の とも こ 橋 野 知 子	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

〈近現代日本経済史の研究〉演習Ⅲでは、演習Ⅰ、Ⅱで学んだことの集大成としての卒業研究を完成させることを目標とします。対象が日本経済であれば、時期は戦前・戦後を問いません。就職活動で得た経験やさまざまな知見を卒業研究作成に生かして下さい。なお、四年次からの新規参加は原則として認めていません。卒業研究を併設します。

講義の内容・授業スケジュール

前期のはじめは輪読や時事問題のチェックを中心とします。ゼミナリストには、①前期、②夏合宿、③秋学期にわたって最低4～5回の卒業研究の報告を義務とします。卒業研究は『経済発展論集』として発行されます。

履修上の留意点

就職活動期もゼミを開講します。

成績評価の方法

平常点、研究報告の内容、卒業研究の水準。

教科書

演習Ⅱ終了時にゼミナリストと話し合ってから決定します。

参考書等

必要に応じて随時紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	ひゃく た よし ほる 百 田 義 治	経 A・商 4 選	4

講義のねらい	現代日本の企業が直面するビジネス・マネジメント（経営管理）に関わるテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT 革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。
講義の内容・授業スケジュール	演習Ⅰ・Ⅱの継続です。各人のテーマについて「卒業研究」に取り組みます。
履修上の留意点	経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。
成績評価の方法	出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。
教 科 書	未定
参 考 書 等	未定
そ の 他	「卒業研究」（4単位）を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	ふく ほら よし のぶ 福 原 好 喜	経 A・商 4 選	4

履修上の留意点	原則として4年生の募集は行わない。
成績評価の方法	成績は出席点とレポートでつける。
参 考 書 等	福原好喜『総理に忠告す——日本経済危機水域に入れり——』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	ふる さわ こう ぞう 古 沢 紘 造	経 A・商 4 選	4

講義のねらい	4年演習〔アフリカの社会と文化Ⅲ〕卒業作品を完成する。
講義の内容・授業スケジュール	①卒業作品について2回の中間発表会と、公开发表会を行う。同時に作品の展示会を開催する。 ②アフリカをテーマにしたユニークな雑誌を発行する。 ③アフリカに関連した企画のサポーター役を務める。
成績評価の方法	作品発表、ゼミ活動への参加に基づき総合的に評価する。
そ の 他	「卒業研究」を併設する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	堀 龍二	経A・商4選	4

講義のねらい

演習ⅠとⅡの履修を前提にし、その集大成として各自が興味あるテーマに関して論文ないし本格的レポートを作成することを目指す。テーマは広く労働に関連する問題が望ましい。

講義の内容・授業スケジュール

各自のテーマに沿って、調べたことや纏めたことを、逐次報告してもらい、全員で討論・アドバイスをする形式で進める。あわせて、問題意識の深め方、情報収集の仕方・整理、論理的な記述の方法、レポートや論文の作法なども身に付けていくことにする。

履修上の留意点

興味をもった問題の検討をまとめるという作業は考えることそのものである。そうした作業は必ずや役に立つ。

成績評価の方法

ゼミでの積極的な姿勢、レポート・論文への取り組みと成果で評価します。

教科書

ゼミ生と話し合って決定します。

参考書等

適宜指示します。

その他

「卒業研究」を併設します。

科専門教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	松 尾 孝 一	経A・商4選	4

講義のねらい

ある時期までは賞賛の対象ですらあった日本の雇用システムは、バブル崩壊後の長期不況やグローバル化の波の中でその解体が叫ばれてきている。しかし、このシステムの何がどこまで解体しているのか、しうるのかについては、必ずしも明確にはされていない面がある。その意味で本演習では、いたずらに時論に流れぬよう注意しながら、日本の雇用・人事管理・労使関係などについての基礎的知識と近年のその変化の動向について学んでいくこととする。また、労働経済を中心に経済理論の基礎的な知識の復習・習得にも努める。それらを踏まえながら、各自の問題関心に従った卒論作成も進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、下記テキスト（予定）を輪読していくとともに、随時卒論の中間報告を行う。後期は、卒論の完成に向けて各自の卒論の中間報告を行う。

履修上の留意点

ゼミの中で輪読できる文献数は限られていることもあり、ゼミの関連文献や卒論関連の文献についての積極的な自学自習を望みます。

成績評価の方法

出席・発表内容・討論への参加の度合いで評価します。卒論はそれ自体の内容を評価します。なお、就職活動を理由とした過度の欠席は、認めないことを原則とします。

教科書

樋口美雄『人事経済学』（生産性出版）2001年
仁田道夫『変化のなかの雇用システム』（東京大学出版会）2003年

参考書等

佐藤博樹・藤村博之・八代充史『新しい人事労務管理（新版）』（有斐閣）2003年
小池和男『仕事の経済学（第2版）』（東洋経済新報社）1999年
熊沢 誠『能力主義と企業社会』（岩波新書）1997年
宮本光晴『日本の雇用をどう守るか』（PHP新書）1999年

その他

新規募集はしない。卒業研究を併設する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	みづてよし 溝手芳計	経A・商4選	4

講義のねらい

食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思ひます。演習Ⅲでは、ゼミ生自身の考えを整理し、表現する力の取得を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。

履修上の留意点

ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つと決っていません。学生相互の疑問の出し合い、教えあい、意見交換を大切にしてください。“みんな違ってみんないい”でいきましょう。

成績評価の方法

出席状況、レポートと発表の内容・態度、議論への参加状況などを総合的に評価します。

教科書

ゼミ生の希望を聞いて決定します。

参考書等

必要に応じて紹介します。

その他

「卒業研究」を併設します。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	みつおか 光岡博美	経A・商4選	4

講義のねらい

演習Ⅰ、Ⅱの勉強をもとに、総仕上げとしてのゼミ論文を完成させることが演習Ⅲの最大の目的です。ゼミ論文については、その内容はもとより、論文としての形式や体裁についても指導します。なお、「卒業研究」を併設します。ゼミ論文の完成の直前の時期には合宿（2泊3日程度）を行い、また、ゼミ論文の発表会の場とします。ゼミでの勉強の総仕上げとしての意味をもつ合宿です。全員参加を原則とします。

成績評価の方法

ゼミ論文の完成度によって評価します。ゼミ論文未提出者は単位を認定しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	みよう せ まさ はる 明 瀬 政 治	経A・商4選	4

講義のねらい

この演習は4年次生を対象とし、副表題を「財政学」とする。構造改善に向けての財政出動、規制緩和等、新聞・学術誌等のマスコミでとりあげられる公共財政の現代的課題を理解検討する能力を養い、事柄に対し自分の意見がもてるような訓練を行う。原則として全員に「卒業研究」の論文を作ってもらうことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期は学術誌、「日本経済新聞」等の公共財政に関する現代の論調を材料に理解力を高める訓練をする。「卒業研究」を課しているため、夏休み以降の後期は順番を決めて中間報告の発表を求め、論文作成の指導を行う。

履修上の留意点

「財政学」、「財政政策」、「地方財政論」、「マクロ経済学」、「国民所得論」、「行政法」等の関連科目の履修が望ましい。

成績評価の方法

平常点により評価する。「卒業研究」については提出論文を点数評価する。

教科書

最初の授業で指定する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

この演習は「卒業研究」を併設する。できあがった「卒業研究」は通常の授業時間とは別に報告発表の機会を設ける。報告発表は12月にゼミ生全員参加のもと一人約45分程度で、2日間を組む予定である。

科 専
門 教
育

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	もり おか じん 森 岡 仁	経A・商4選	4

講義のねらい

現在世界の人口は60億を超え、増加速度は衰えたとはいえ、開発途上地域を中心になお増加を続けている。しかし、先進諸国では低出生率に伴う少子高齢化問題に悩み、日本も例外ではない。

講義の内容・授業スケジュール

3年次の演習では、これら相反する人口問題を抱える世界の人口を取り上げ、それが社会経済的にどのような問題を具体的に生み出しているのか議論してみたい。

履修上の留意点

休まず出席することが演習履修の第一条件である。

成績評価の方法

平常点

教科書

濱英彦・河野稠果編『世界の人口問題』（大明堂）

参考書等

演習の中で適宜紹介する。

その他

「卒業研究」を併設する。
4年演習
4年次生は追加募集しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

本演習は「卒業研究」(卒業論文)の研究報告を中心に行う。卒業論文のテーマは演習Ⅰおよび演習Ⅱにおいて習得した財務会計および監査の知識にもとづき、これらの領域から各人が自由に決定することを原則とする。

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文の報告は、テーマの選定、章立ての決定、内容の報告の順に進める。

履修上の留意点

特別な事情がない限り、毎回出席すること。なお、原則として4年生の新規募集は行わない。

成績評価の方法

最終的な卒業論文の内容はもとより、その作成過程における報告内容(レジュメを含む)、さらにはゼミ活動に対する取り組みなどを考慮に入れて総合的に評価する。

教科書

原則として使用しない。

参考書等

演習時に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	や し た だ みつ 谷 敷 正 光	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

テーマ「教育経済の研究」
4年ゼミは、産業人の育成に大きな影響を与えた近代教育の発展を日本経済の構造分析、日本経済の発展との関連において各自が自由に論題を設定して研究し、ゼミ論文を完成することになっています。

講義の内容・授業スケジュール

〔4年ゼミ〕は、就職活動で欠席する人も多数いるので、ディスカッションが難しくなります。したがって文献を使って、人材養成の基礎をなす教育が日本経済の発展と不可分の関係においておし進められてきた過程を検証したいと思います。

〔卒業研究〕は、2年生からゼミで研究してきた集大成として各自が自由に論題を設定し、論文の作成をすすめます。詳細は3年ゼミで説明します。

研究の基礎資料は提供できるものは提供しますが、足りない所はインターネットを利用したり、図書館で資料収集をします。

成績評価の方法

基本的には出席、平常でのゼミ活動状況と完成したゼミ卒業論文で評価します。

教科書

尾崎ムゲン『日本の教育改革－産業化社会を育てた130年』(中央公論新社)

参考書等

その都度、各自の論題によってお知らせします。

その他

4年ゼミでは、「卒業研究」を開設しますので、希望する人は履修することができます。「卒業研究」の進め方は3年ゼミの終りに具体的に説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	やすもと 安元 稔	経A・商4選	4

講義のねらい

ヨーロッパ経済史の基礎知識を具体的な経済史分析の中で応用することがこの演習のねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

「ゼミ論」の報告・質疑応答という形で演習を進めます。

履修上の留意点

原則として規定枚数の「ゼミ論」の提出が義務付けられています。

成績評価の方法

日常の勉学態度・「ゼミ論」で評価します。
※「卒業研究」を認めます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	やまがた ひろし 山縣弘志	経A・商4選	4

科 専
門 教
育

講義のねらい

比較経済論の専門的学習・研究を進め、論文作成をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

3年次から継続。就職活動に取り組みながら、各自の自主研究の発表を行ない、論文の形にまとめていく。

成績評価の方法

出席、発表、討論参加を総合評価する。

そ の 他

「卒業研究」有。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	よし た けい いち 吉田敬一	経A・商4選	4

講義のねらい

この演習では大学生生活の総決算として各自の問題意識を踏まえて、卒業研究の作成を行ないます。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅲでは、これまでの共同研究を踏まえて、卒業研究の作成に向かって、個別指導の形で演習を行ないます。

履修上の留意点

演習Ⅲは卒業研究の作成を中心課題としているため、少なくとも演習Ⅱをすでに履修していることが前提となります。

成績評価の方法

出席状況、平常点（卒業研究作成指導への対応姿勢など）、卒業研究の内容を中心にして総合的に評価します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	よしの <small>おさむ</small> 吉 野 紀	経A・商4選	4

講義のねらい

基本的な方向は演習Ⅱの延長線上にある。変わりゆくものは事実であり、変わらぬものは美を与えるが、もし演習Ⅱに比べて色彩にいろどりが加わるとすれば、この真実と美の実像をより豊富に示すことにあるかもしれない。

成績評価の方法

日常の授業姿勢を評価の基準とする。

教 科 書

開講時に指示する。

専
門
教
育
目

Ⅲ 他学部履修科目

他学部
履修科目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P.653)

履修科目
他学部

Ⅲ. 他学部履修科目

西洋思想史	〈柴野博子〉	437
日本民俗学	〈谷口貢〉	437
時事英語	〈サンダース, L. P.〉	438
地理思想史	〈吉田敏弘〉	438
地形学	〈小池一之〉	439
人口地理学	〈江崎雄治〉	440
文化地理学	〈小田匡保〉	440
応用地理学	〈高木正博〉	441
現代地理学特論	〈休講〉	
日本史特講Ⅶ〔近代〕	〈熊本史雄〉	441
考古学特講Ⅲ〔日本石器時代〕	〈設楽博己〉	442
西洋文化史	〈石田恵子〉	442
哲学史	〈山口祐弘〉	443
産業・職業社会学	〈山田信行〉	443
マス・コミュニケーション論	〈休講〉	
社会福祉発達史	〈林千代〉	444
行政法各論	〈金子昇平〉	444
比較憲法	〈西修〉	445
相続法	〈竹中智香〉	446
西洋法制史	〈北野かほる〉	447
英米法	〈北野かほる〉	448
ヨーロッパ政治論(1)	〈若松邦弘〉	449
ヨーロッパ政治論(2)	〈若松邦弘〉	449
国際政治学	〈小堀訓男〉	450
ヨーロッパ政治史	〈浦田早苗〉	450
地方自治法	〈富井幸雄〉	451
比較政治学	〈木暮健太郎〉	452
現代国家論	〈大塚桂〉	453
比較憲法	〈休講〉	
国際経営論	〈茂垣広志〉	454
経営分析論	〈片桐伸夫〉	455
経営情報論	〈高井徹雄〉	456
情報理論	〈西村和夫〉	457
経営統計	〈長国強〉	458
医療経済学	〈休講〉	
異文化コミュニケーション	〈奥原淳子〉	459
女性史	〈高嶋めぐみ〉	459
文化概論	〈菌部幹生・井上優・佐藤憲昭・内藤寿子・藤田和美〉	460
メディアと表現	〈松田直行〉	460
時事英語	〈岡本誠〉	461

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋思想史	柴野博子	経A・商・経B	4

講義のねらい

西洋思想の流れをたどりながら、より良く生きるための話題を提供したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、まず、古代(ギリシア、ローマ)と中世(キリスト教)の思想を概観し(4・5月)、その後、カントとショーペンハウアーをとりあげる(6・7月)。
後期は、現代哲学の一つである生(レーベン)の哲学を中心に、ニーチェ(9・10月)、ベルクソン、デイルタイ(11・12月)の思想を見てゆきたい。

成績評価の方法

年2回の筆記試験またはレポートによって評価します。

教科書

久保陽一・河谷淳『原典による哲学の歴史』(公論社)3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本民俗学	谷口貢	経A・商・経B	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく、「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』(吉川弘文館)

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語	サンダース, L. P.	経A・商・経B	4

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア（ドキュメンタリーフィルム、TV ニュース、雑誌、タブロイドなど）で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。
media studies のメソッドで行う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教科書

教科書は使用せずプリントを配布する。

その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理思想史	よしだ としひろ 吉田 敏 弘	経A・商・経B	4

講義のねらい

担当者は、地理思想史という分野を、場所や地域、景観、世界（宇宙）などの生活空間に関する知識や認識をめぐる社会思想史と捉えている。したがって地理思想史研究の実践においては、古今東西のさまざまな社会における地理思想の特質を明らかにするとともに、それらの時代的・地域的な比較を通じて、普遍性や類型的把握を試みることも重要な課題となる。

本講義における主たる着眼点は、「生活空間、生活世界の図的表現」である。人類は太古以来、世界や地域、場所に関する知識をグラフィックに表現してきた。いわゆる「地図」はそのひとつのジャンルであるが、それ以外にもさまざまな絵画的表現や抽象化された模式図的表現があり、これらもまた地理思想史の対象となる。これらの図は、それぞれの社会における地理思想の一端を示す重要な資料であるが、従来の地図史や風景面史の知見に依存するのみでなく、新たな問題設定と分析方法の導入によって、地理思想史独自の知見を構築したい。また、もう一つの着眼点を「日本と西洋の出会い」におき、戦国時代以来の東西の地理思想の衝突と融和、そして近代以後における西洋の地理思想・アカデミズム地理学の導入に関する諸問題にも論及したい。

講義の内容・授業スケジュール

配布資料・Powerpoint を用いて、講述方式で講義をすすめる。まず、地理思想史研究の全体的な枠組みに関して講述したのち、前期では、絵画における「遠近法」をキーワードとして、古今東西の景観表現を比較検討し、絵画と地図との関係を考察する。後期では、「地図の記号学」をキーワードとして、さまざまな古地図を事例に、そこに表現されたメッセージの読解を試み、宇宙や世界、国家や地域などの多様なイメージの形成と普及、革新について考察する。

履修上の留意点

講義時にさまざまな問いかけを行うので、つねに自ら考え、これに積極的に応えてゆくことが望まれる。

成績評価の方法

年度末レポートにより採点する。

教科書

特に指定しないが、随時指示する文献を読んでゆくことが望ましい。

参考書等

京都大学文学部地理学教室編『地理の思想』（地人書房）
織田武雄『地図の歴史』（講談社）
織田武雄『古地図の世界』（講談社）
葛川絵図研究会『絵図のコスモロジー』上・下（地人書房）
小山・下坂・吉田編『中世荘園絵図大成』（河出書房新社）
水津一郎『近代地理学の開拓者たち』（地人書房）
野沢秀樹『フランス地理学の群像』（地人書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
地形学	小池一之 ^{いけ かず ゆき}	経A・商・経B	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く排出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：

前期

地形学の成り立ち、地表を変化させる種々の営力と地形の分類、
地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形）

後期

種々の河成地形、組織地形、海水の働きと地形、地球内部の力によって形成される地形（火山地形など）、地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しないが、時に応じて簡単なテストや課題を課す。

教科書

貝塚爽平著（1998）『発達史地形学』（東京大学出版会）3,400円＋税

参考書等

貝塚爽平・小池一之ほか編（1985）『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,500円＋税

小池一之ほか訳（1984）『一般地質学2』（東京大学出版会）3,400円＋税

その他

授業は講義形式で最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

他
履修
科目
部

科目名	担当者名	配当学科	単位
人口地理学	江崎雄治	経A・商・経B	4

講義のねらい

人口現象が社会問題として表出する際には、少子化、高齢化、過密・過疎といった形をとるが、これらの理解のためには、出生、死亡、移動に関する概念や諸指標を理解する必要がある。前期ではこれらに関する基礎的な学習をもとに、日本の人口問題に関する様々な論点について理解を深める。また、地域の人口問題を扱う際には、人口の地域分布変動にもっとも大きな影響を与える地域間の人口移動についての理解が不可欠である。そこで後期では、戦後日本における人口移動の動向を学ぶとともに、移動発生と社会経済的諸要因との関連性について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

〔人口分析の基礎〕人口学的方程式、人口構造の把握(性比、年齢構造)

〔少子化問題と出生の分析〕出生の指標(合計特殊出生率)、出生率の低下とその要因

〔人口高齢化と死亡の分析〕死亡の指標(生命表、平均寿命)、人口高齢化とその要因

(後期)

〔人口移動の概念とデータ〕人口移動の概念、人口移動データとその特徴

〔日本国内の人口移動〕戦後日本の人口移動の概観、地方圏と大都市圏の間の人口移動

〔日本人の居住地移動〕地方圏出身者の居住地移動プロセス、Uターン移動とその要因

〔将来人口の推計〕将来人口推計の理論、コーホート変化率法による人口推計の実際

履修上の留意点

あらゆる地域において、現在の人口ピラミッドの形は将来の地域人口のあり方を大きく規定する。例えば郊外のニュータウンにおいては今後急激な高齢化が不可避である。このような地域人口変化のメカニズムを本講義を通じて理解して欲しい。

成績評価の方法

授業時間内に複数回の試験を実施し、その結果に基づき成績評価を行う。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時間内に適宜提示する。

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化地理学	小田匡保	経A・商・経B	4

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 信仰圏
5. 宗教集落・宗教都市
6. 巡礼・社寺参詣
7. 墓地

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート、試験によって行なう。レポートの提出は必須で、レポートが受理されない場合は、単位も認定されない。

教科書

使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用地理学	たかぎ まさひろ 高木 正博	経A・商・経B	4

講義のねらい

この科目は地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水利学などの成果をふまえつつ、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域(地域)における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあいを、水災害・水資源・河川環境などの視点から講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学的に講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利水・災害・河川環境などの視点からそれぞれの河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について考える。年間の授業内容は下記の通り予定している。

1. 河川と関連学問分野
2. 河川流域の水収支
3. 日本の河川流況特性
4. 河成平野の地形分類と防災
5. 河道治水から流域治水へ
6. 水防の再構築
7. ダムと森林
8. 日本の水利用
9. 農業用水の利用と問題点
10. 渇水とは…
11. 水資源の有効利用
12. 農業用水を考える
13. 多摩川における水利権の変遷
14. 地域用水と環境用水
15. 河川環境など

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加算する。

教科書

授業時間にプリントを配布する。

参考書等

配布プリントをとおし随時紹介する。

その他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅶ (近代)	くまもと ふみお 熊本 史雄	経A・商・経B	4

講義のねらい

第一次大戦から第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約締結に至るまでの日本外交につき史料を交えて講述し、その外交方針の根底に潜む思想を解明する。戦前期の外交については、対外機構の改変問題も関連づけながら当該期日本外交の中心であった対中関係を考察しつつ、日本が如何なる途を模索し最終的には戦争に進んでいったのかを検討する。戦後期の外交については、占領下において、当時の外務省さらには戦後日本の政治指導者として大きな役割を担った吉田茂が如何にして日本再生の途を模索したかを、条約締結交渉とその準備過程を通じて検証する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：第一次大戦と日本／「新外交」の模索／対中文化政策への視線／ワシントン体制の成立と対米英関係／満州事変から日中戦争へ／日米交渉と太平洋戦争
後期：終戦工作／占領の開始／「自主外交」の模索／平和条約締結の準備／サンフランシスコ平和会議／安保条約と行政協定

履修上の留意点

史料の講読を通じて外交政策の決定過程を追体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

成績評価の方法

前・後期2回の定期試験の成績、および出席状況で評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

基本的に講義形式で進め、必要に応じてレジュメと史料を適宜配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学特講Ⅲ 〔日本石器時代〕	したらひろみ 設楽博己	経A・商・経B	4

講義のねらい

考古学の年代論 弥生時代が500年さかのほるのではないか、という新聞記事は記憶に新しい。でもなぜなのか、知っている人は少ないだろう。日本に前期・中期旧石器時代があったという詐欺に、日本考古学がまんまとだまされてしまったのはなぜか。年代には相対年代と絶対年代がある。考古学独自の年代決定方法は相対年代の決定にとくに有効であるが、歴史学の基礎になる実年代を求めていくには自然科学的手法の助けを借りなくてはならない。考古学により実年代がどのように決められてきたのか、現在の年代論の到達点と問題点をさぐるとともに、AMS法という高精度な炭素14年代測定法によって純粋考古学の年代観が大きく揺さぶられている状況を紹介し、これからの考古年代論のあるべき姿をともに考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期 ①AMS法による高精度編年とはなにか ②考古学的手法による年代決定法
③自然科学的方法による各種の年代測定 ④前期・旧石器捏造問題と年代論
後期 ①縄文時代の土器編年と実年代 ②弥生時代の実年代を論じる ③古墳時代の始まりと邪馬台国問題 ④考古学と年代論

履修上の留意点

考古学の基礎は年代論にあるので、しっかりと講義を聞いてほしい。講義中の私語厳禁。真剣に聞いている者の迷惑になる者は退席を願うので要注意。

成績評価の方法

年度末の試験による評価。

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋文化史	いしだけいこ 石田恵子	経A・商・経B	4

講義のねらい

東洋に対する西洋文化のルーツをたどっていくと、ギリシャ・ローマの地中海世界を経て、古代西アジア地域の文化にまでたどっていくことが出来る。特に西アジアに起源する印章文化の展開を柱として、それにまつわる古代オリエントの歴史、印章の種類、役割の多様性などを紹介しつつ、ヨーロッパ世界に伝えられていった指輪型印章や封ロウをルネサンス時代まで追ひ、今日まで残る印章の意義を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期はメソポタミアで誕生したスタンプ印章の使用開始から円筒印章の登場、メソポタミアに栄えた円筒印章の変遷、その素材と技術、メソポタミア周辺の印章文化も紹介する。後期は書写材料・文字の変遷による円筒印章の終焉とスタンプ印章の復活、ギリシア・ローマ世界、ビザンチン・イスラム世界、中世ヨーロッパ及びそれ以降の印章及び印章に関わる文化を概観する。

履修上の留意点

広く興味を持って本や展覧会など見るようにすること。

成績評価の方法

出席点と課題レポート

教科書

特になし

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学史	山口祐弘	経A・商・経B	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉ええた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

成績評価の方法

定期試験は行なわない。小論文を課し、評価する。平常点も加味する。

参考書等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
産業・職業社会学	山田信行	経A・商	4

講義のねらい

“労使関係”をキ概念として、産業社会学を体系的・概論的に講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2部から構成される。第1部（前期）では、産業（・職業）社会学の主要な分野について日本での事例について紹介しながら概説する。

第2部（後期）では、“グローバル化”をポイントにして労使関係の歴史比較分析を行う。具体的な講義プランは、以下のとおり。

- 第1部 現代日本の産業・労働・職業
1. 産業（・職業）社会学の対象・方法・課題
 2. 労使関係とはどんな関係なのか
 3. 賃金・雇用・労働者
 4. 労働者の統制と参加
 5. 労働組合と労働運動
 6. 技術革新と技能の変化
 7. 国家と労使関係
 8. 変容する産業・労働・職業の世界
- 第2部 労使関係の国際比較
1. グローバリゼーションと労使関係
 2. インダストリアルイズムと多元的資本主義発展
 3. アメリカ合州国と不自由労働
 4. 資本・賃労働の国際化と日本的労使関係
 5. 周辺社会マレーシアの労使関係と資本主義発展
 6. 労使関係と社会変動・再論

履修上の留意点

必修科目ではないので、自覚的な参加を希望する。

成績評価の方法

主として、学年末試験による。

教科書

山田信行『労使関係の歴史社会学』（ミネルヴァ書房）

参考書等

適宜、指示する。

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉発達史	はやし 林 ちよ 代	経A・商・経B	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。

特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。きわめて日本の特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教科書

特に無い。

参考書等

その都度紹介する予定である。

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法各論	かね 金子 しょう 昇 平	経A・商・経B	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない、新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。

講義は、行政紛争解決の手法として、行政救済法を、主要内容として行う。そこで具体的に、どのような国家賠償事件、行政事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて解明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

行政法の基本的な原理や原則に対する、再学習をし、総論と各論とのリンケージを確認しながら講義を行う。

- (1) 国家補償（国家賠償法、損失補償）
- (2) 行政上の苦情処理
- (3) 行政上の不服申立（行政不服審査法）
- (4) 行政訴訟（行政事件訴訟法）

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』（学陽書房）

その他

塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ・Ⅱ』第四版（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 憲 法	にし 西 おさむ 修	経A・商・経B	4

講義のねらい

比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるという点で非常に大きな効用をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。

講義の内容・
授業スケジュール

おおむね以下の内容になる。①比較憲法とは（研究の意義、比較の対象、方法、限界など）②主要諸国の憲法（アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など）の概要、③アジアおよび発展途上国の憲法（韓国、北朝鮮、タイ、イスラム圏）の概要、④項目別の比較（平和主義、人権条項、有事対処、憲法改正など）。

履修上の留意点

①開講時にシラバスを配付するか、KOMSY に詳細を記載するので、よく読んでおくこと
②日本国憲法との関連で問題意識をもつこと ③私語は絶対に慎むこと ④途中からの入退室はしないこと。

成績評価の方法

①出席・レポート 30点 ②前期試験 30点 ③後期試験 40点。

教 科 書

年度内に作成の予定だが、コピーなどを配付する。

参 考 書 等

- ①西修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年。とくにPART3「世界の憲法はこうなっている！」
- ②アルバート・ブラウスタイン著、西修訳『棋界の憲法—その生成と発展—』（成文堂）1994年
- ③西修著『憲法体系類型的研究』（成文堂）1997年

そ の 他

授業中に試験をする可能性があるので、注意すること。

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
相 続 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	経A・商・経B	4

講義のねらい

民法典第五編「相続法」は第4編「親族法」と大きくリンクしていることから、前期に親族法を概説したうえで、後期で相続法の説明に入ります。親族法は、われわれにとって最も身近な家族生活を規制する法律であり、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的变化、さらには少子化・超高齢化、女性の社会進出といったさまざまな社会の動向に影響を受けています。社会の変化に伴って生じてきた問題に対して、親族法がどのように対応しているかを、具体的な裁判例の紹介も交えながら、検討していきます。一方、後期に取り上げる相続法も、第二次大戦の敗戦後、戦前の家督相続が庶子均分共同相続へと変遷し、さらに近年、遺言制度の利用も増加するなど、著しく変化している分野です。本講義では、こうした変遷の内容とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

[前期]

- (1) 家族法と財産法の相違と家族法の特徴、欧米家族法との比較とわが国の家族法の特徴
- (2) 氏と戸籍、親族
- (3・4) 婚姻：婚約、婚姻成立の要件
- (5・6) 婚姻：婚姻の効果、夫婦財産制
- (7) 婚姻解消
- (8・9) 親子：実親子関係
- (10・11) 親子：養親子関係
- (12) 後見・保佐・補助、扶養

[後期]

- (1) わが国の相続法の変遷とその背景
- (2) 相続人
- (3～5) 相続の効力：相続財産の範囲
- (6) 相続の効力：相続分
- (7) 相続の効力：遺産の共有
- (8・9) 相続の効力：遺産分割、相続回復請求権
- (10) 相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在
- (11・12) 遺言と遺留分

他履修科目
学部

履修上の留意点

身近な問題を取り上げる分野とはいえ、難解なテクニカルタームが多用されています。講義を受ける際には、教科書の該当部分を読んだうえで、分からない文言を調べておくことが望まれます。

成績評価の方法

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

教 科 書

有斐閣双書『民法 (8) 親族 [第4版増補版]』(有斐閣) 1,600円
有斐閣双書『民法 (9) 相続 [第4版増補版]』(有斐閣) 1,600円

参 考 書 等

六法
久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選 [第5版]』(有斐閣) 2,200円
『法律学小辞典』(有斐閣) 4,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	またの 北 野 かほる	経A・商・経B	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

他学部
履修科目

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英米法	きたの 北野かほる	経A・商・経B	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 法系
 - 第1節 近代法の法系
 - (1) 西洋近代法 (2) 二大法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系
 - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
 - 第2節 イギリス法の特徴
 - (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴
 - 第3節 英米法の分類
 - (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴
 - 第2節 法観念の社会性
 - (1) 法の観念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利
 - 第3節 法思考の実務性
 - (1) 総論 (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
 - 第1節 判例法
 - (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察
 - 第2節 判例法の理論
 - (1) 外枠 (2) 内実 (3) 先例性の判断
 - 第3節 制定法の解釈
 - (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な分離解釈の理論

他履修科目
学部

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(1) (前期)	わか まつ くに ひろ 若 松 邦 弘	経A・商・経B	2

講義のねらい

市場と国家の対立、民主主義の保証と統治の改善、国際統合の進展など、西ヨーロッパの諸国が今日抱える政治上の課題を理解するために重要な枠組みについて概説的な講義を行います。各国の相違というより地域の共通性、個別の事象というより基底の構造を明らかにすることに重点を置きます。

講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックを順に各1～2回の講義で扱います。
①ヨーロッパ政治をみる視点、②歴史的背景、③イデオロギーと政党グループ、④対外関係、⑤西欧における国際統合、⑥西欧の民主主義

履修上の留意点

現代政治は現実の問題であるため、新聞、国際ニュース、インターネットのニュースサイト等により、最新の国際ニュースに触れておくことが望まれます。参考書を随時紹介しますので、それらを含めた関係分野の文献を自発的に検索し、授業外での学習を進めることを期待します。また、高校の「世界史」の知識を前提に授業を進めますので、自信のない人は復習しておいてください。

成績評価の方法

学期末試験の結果を成績とします。

教科書

とくに指定しません。

参考書等

授業内で各トピックごとに参考書を紹介します。

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(2) (後期)	わか まつ くに ひろ 若 松 邦 弘	経A・商・経B	2

講義のねらい

議会政治の祖国であり、日本の政治制度にも大きな影響を与えてきたイギリスの政治をとりあげ、そのしくみを理解するために基礎となる見方を概説します。幅広く関心をもってもらうため、現代のイギリスを中心に講義を進めていきますが、表面的な知識の寄せ集めではなく、その裏にあるイギリス政治・社会の構造を理解してもらえよう期待しています。

講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックを順に各1～2回の講義で扱います。
①「連合王国」の構成、②自由主義の歴史、③立憲体制、④議会、⑤行政機構、⑥政党制と選挙制度、⑦第二次大戦後の政治史

履修上の留意点

新聞、国際ニュース、インターネットのニュースサイト等により、最新のニュースに触れておくことが望まれます。また、参考書を随時紹介しますので、それらを含めた関係分野の文献を自発的に検索し、授業外での学習を進めることを期待します。

成績評価の方法

学期末試験の結果を成績とします。

教科書

とくに指定しません。

参考書等

授業内で各トピックごとに参考書を紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際政治学	こぼりのりお 小堀訓男	経A・商・経B	4

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に教回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ヨーロッパ政治史	うらたきなえ 浦田早苗	経A・商・経B	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

年5〜6回となる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した4間から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	経A・商・経B	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）2,000円

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
 なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 政 治 学	こ ぐれ けん たろう 木 暮 健 太 郎	経A・商・経B	4

講義のねらい

本講義の目的は、20世紀に発展をとげた比較政治学の諸理論を中心に考察を行い、各国の政治の類似点や相違点を明らかにするための視座を提供することである。それぞれの理論の解説を通じて、比較政治学のさまざまな理論が、現実政治を考察する上でいかに適応可能なのかという点についても言及する。政党システムや政治システムに関する代表的な理論から、討論型民主主義や電子民主主義といった近年の新しい理論まで、幅広くとり上げる。

前期（4～7月）は、比較政治学の基本的な前提について考察した後、政党システムをめぐる理論を中心に講義を進める。後期（9月～1月）は、現代世界の民主主義理論を中心に講義を進める。後期後半では、比較政治学と国際関係との関連性についても言及する。

講義の内容・
授業スケジュール

（前期）（1～2）イントロダクション。（3～9）政党システムと政党システムの規定要因。（10～12）政党システムの変化といくつかの事例。（13）前期まとめ。

（後期）（14～17）現代民主主義の基礎理論。（18～19）現代民主主義のタイプ。（20～22）新しい民主主義理論。（23～25）民主化と国際関係。（26）後期まとめ。

履修上の留意点

関連する他の科目と併せて履修することが望ましい。また、この科目に関連する情報を新聞やニュース、インターネットなどを通じて日常的に収集し、理解を深める努力を求めたい。

成績評価の方法

定期試験およびレポートの評価を総合して判断する。前期もしくは後期のいずれかを筆記試験とし、もう一方の学期をレポートとするような形態を考えている。

教 科 書

岩崎正洋『政党システムの理論』（東海大学出版会）2,800円

参 考 書 等

河野勝・岩崎正洋編『アクセス比較政治』（日本経済評論社）2,500円

そ の 他

講義形式を中心とする。

他履修
学部
科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代国家論	おおつか 大塚 かつら 桂	経A・商・経B	4

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 国家論の課題
2. 幕末政治過程
3. 幕末政治思想（水戸学、国学）
4. 公議政体論
5. 太政官制・内閣官制
6. 大日本帝国憲法
7. 法典整備・司法制度
8. 統帥権・戒嚴（令）
9. 地方官官制
10. 自由民権運動
11. 帝国議会
12. 財政制度
13. 教育勅語
14. 国家神道
15. 社会主義運動
16. 大正デモクラシー
17. 天皇機関説
18. 天皇制ファシズム
19. 統制経済
20. まとめ

成績評価の方法

- 受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。
- A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。
レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。
- B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。
※なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教科書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3,300円

参考書等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

他
履修
科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 経 営 論	茂 垣 広 志 <small>も が き ひろ し</small>	経A・商・経B	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・
授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

他履修
学部
科目

履修上の留意点

教科書を用いて講義を進めるため、授業に教科書を携帯のこと。

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教 科 書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参 考 書 等

必要に応じて指示する。

そ の 他

プロジェクターを用いて講義形式で授業を進行する。また、必要に応じて資料を配布する。この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 分 析 論	かたぎり のぶ お 片 桐 伸 夫	経A・商・経B	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

- 皆さんが将来を託そうとする会社は、
- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

- *レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」
：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

- *テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教 科 書

開講時、指示します。

参 考 書 等

随時、紹介します。

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営情報論	高井 徹雄 <small>たが い てつ お</small>	経A・商・経B	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関するシステムの観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムの的なものの方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史の変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化I、II、III類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミクス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教科書

教科書は指定せず、授業の各テーマに沿って適宜プリントを配布する。

参考書等

本講義のテーマに関わりの深い参考書として、高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円を推奨しておく。

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 理 論	にしむら かにわ 西 村 和 夫	経A・商・経B	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C.E.Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報を記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしします。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の中間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査桁(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

他学部
履修科目

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクタとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕→ 経営情報論

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営統計	ながこ きょう 長 国 強	経A・商・経B	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・
授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。
 経営統計について：経営統計の役割、基礎概念
 統計特性値：平均、分散、正規分布
 市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理
 経営時系列：傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測
 経営指数：物価指数、数量指数
 統計的意思決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。
 この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
異文化コミュニケーション	おく ばら じゅん こ 奥 原 淳 子	経A・商・経B	4

講義のねらい

目的は「外へ目を向けること、そして同時に内を知ること」です。「外」と「内」は、それぞれ「外国」に対する「日本」であり、「他」に対する「自己」でもあります。

近年、国際化が進み、異なる文化を背景とした人との交流が盛んになってきました。しかも、私たちが接する対象は、国籍、年齢、文化背景、ステータスなど実に多様化しています。このような状況下にあつて、今後必要となってくるのは、「異なる文化を理解し、受容すること」であり、同時に、「自己の文化を理解し、発信すること」だと言えます。

しかし、理解すること、受容すること、そして、発信することは容易なことではありません。それらについて、一つ一つ考えていきたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール

以下の点について考えていきます。

- ・「日本人」とはだれか。
- ・「コミュニケーション」とは何か。
- ・それぞれの状況での自分（相手）の態度はどのような価値判断に根ざしているのか。
- ・非言語コミュニケーションは国によってどう違うのか。
- ・異なる文化背景を持った者同士は共生していくことができるのか。また、そのためにはどうしたらいいのか。

また、上記の内容を探ると同時に、自分の意見を持つこと、それを論理的に伝えること、そして、レポートを書くこと等についてその方策を提示していきます。

履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとります。具体的には、多くの文献を読むこと、グループでの意見交換や考察、発表などが授業の中心的な活動となります。従つて、受身でなく、自ら積極的に学ぶ姿勢を持って授業に臨むことを期待します。

成績評価の方法

出席(毎回とります)・提出物・発表・試験・レポート

教科書

開講時指示します。

参考書等

開講時指示します。

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
女性史	たか しま 高 嶋 めぐみ	経A・商・経B	4

講義のねらい

日本古代・中世・近世・近代・現代の家族・婚姻の具体像を探りながら女性の生き方を考える。また新聞などの記事・統計をもとに、現在わきあがっている女性周辺のさまざまな問題について考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

時代を①原始古代②中世③近世④近代⑤現代に分け、各時代の社会、家族、そして女性の社会的地位の変遷などについて実態面および法的側面などから講述していく。

履修上の留意点

講義に集中すること。他人を思いやり、迷惑をかけること。

成績評価の方法

総合評価 (①出席、受講の状況②レポートまたは試験)

教科書

特に指定はしない。

参考書等

講義内容と関連して、適宜指示する予定。

その他

ビデオ・OHP など適宜使用する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化概論	<small>そのへ</small> 菌部 幹生・井上 優 <small>きとう</small> 佐藤 憲昭・内藤 寿子 <small>ふじた</small> 藤田 和美	経A・商・経B	4

講義のねらい

「タブー」(taboo) を共通のテーマとして、下記のような日程と担当者によって、それぞれの専門とする立場からアプローチがなされる。

講義の内容・授業スケジュール

以下に示す日程にしたがって授業を進める。講義の内容をはじめとするその他の詳しいことからは、各担当者により指示があるのでそれにしなうこと。

本年度の日程と内容は以下の通りである。

◎4月14日(水) オリエンテーション

① 文学とタブー 《4/21、4/28、5/12、5/19、5/26、6/2(6回)》

② タブーと宗教 《6/9、6/16、6/23、6/30、7/7、7/14(6回)》

③ メディアとタブー 《9/22、9/29、10/6、10/13、10/20、10/27(6回)》

⑥ 慣習のタブー 《11/10、11/17、11/24、12/1、12/8(5回)》

◎12月15日 まとめ

◎1月8日 レポート提出(資料室)

菌部幹生
井上 優
佐藤憲昭
内藤寿子
藤田和美
菌部幹生

履修上の留意点

最初の授業時(4/14)にオリエンテーションを行うので、受講者は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポート及び出席状況等により評価する。

教科書

各担当者より指示する。

参考書等

各担当者より指示する。

他学
履修
科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
メディアと表現	<small>まつ</small> 松 田 直 行 <small>だ</small> <small>なお</small> <small>ゆき</small>	経A・商・経B	4

講義のねらい

マルチメディア社会における多様な表現形態の全体像を俯瞰するとともに、実際の表現現場における仕事の具体性に触れることによって、メディアと表現の現在を多角的に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

担当者からのガイダンスと総論の講義のあと、現在様々なメディアと表現にかかわる分野で、実際に仕事をされている方々を毎回ゲストとしてお招きし、現場の具体的な状況についてのお話をうかがう特殊形態授業となる。ゲストのスケジュールは初回の授業で発表するが、1人1回から3回で交代し、テレビ局、広告代理店、出版社、通信会社、映画・演劇・音楽関係、俳優ほか、できる限り多様な職種の方々をお招きしたい。

履修上の留意点

受講希望者が教場の定員を越える場合は、他学部履修生については抽選とすることもある。初回の授業でガイダンスと受講生の確認を行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法

学年末の定期試験期間中に提出していただくレポートによって採点する。それ以外に、適宜提出していただく小レポートにより、出席を確認する。

教科書

指定しない。

参考書等

教場で適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語 (前期)	おがもと まこと 岡 本 誠	経A・商・経B	4

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でしいて言えば“Current English”ということになろうか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分を lead という。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞や Newsweek などの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalese に親しみ、新聞英語ぐらいは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表。小テスト。出席情況。

教 科 書

特定の教科書は使用しない。

参 考 書 等

『時事英語講座』(研究社)

他
学
部
履
修
科
目

履修科目
他学部

IV 「日本語」・「日本事情」科目

「日本事情」
「日本語」

IV. 日本語・日本事情科目 (対象：外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

日	本	語	I	〈佐野典子〉	467
日	本	語	I	〈多田羅哲子〉	467
日	本	語	II	〈佐野典子〉	467
日	本	語	II	〈多田羅哲子〉	468
日	本	語	III	〈多田羅哲子〉	468
日	本	語	III	〈湯村礼子〉	469
日	本	語	IV	〈石川守〉	469
日	本	語	IV	〈湯村礼子〉	469
日	本	語	V	〈石川守〉	470
日	本	語	V	〈多田羅哲子〉	470
日	本	語	VI	〈石川守〉	471
日	本	語	VI	〈多田羅哲子〉	471

《日本事情科目》

日本事情 I	〔地理〕	(前期)	〈高橋健太郎〉	472
日本事情 II	〔自然〕	(前期)	〈清水善和〉	472
日本事情 III	〔歴史〕	(後期)	〈浅倉直美〉	473
日本事情 IV	〔思想〕	(前期)	〈赤羽由規子〉	473
日本事情 V	〔社会〕	(後期)	〈川本勝〉	474
日本事情 VI	〔政治・法律〕	(後期)	〈三竹直哉〉	474
日本事情 VII	〔文学〕	(後期)	〈近衛典子〉	475
日本事情 VIII	〔文化・芸術〕	(後期)	〈赤羽由規子〉	475
日本事情 IX	〔経済〕	(前期)	〈吉田敬一〉	476
日本事情 X	〔経営〕	(前期)	〈永田智則〉	476



「日本事情」
「日本語」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	佐野典子	経A・商	2

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	多田羅哲子	経A・商	2

講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。
漢字の正確な読み、語彙の様々な意味・使い方、表現等を知ること、日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- ・まず常用漢字を基本とした語句の読み方を覚え、様々な使い方を知る。
- ・それらを使った例文を通してかたい文章を読むことにも慣れる。
- ・また用例から助詞・機能語・慣用表現・文法等の復習もする。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、小テスト）および期末テスト等で総合的に評価する。

教科書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文科系教科の概論・入門書・新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

日本語
日本事情

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 II	佐野典子	経A・商	2

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、前期は、日本の映画を中心に、日本語を勉強する。後期は、同じテーマを持った、外国の映画との、比較を通して、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 II	たたらあきこ 多田羅 哲 子	経A・商	2

講義のねらい

- 話すことを中心に日本語の運用能力を養う。
- ・教室活動を通して正しく適切な表現を用いて言いたいことが自由に話せるようになることを目指す。
 - ・発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
 - ・短時間で文章が書けるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・説明、意見・提案などのスピーチ、その内容について質疑応答・意見交換・討論、ディベートなどを行う。
- ・テープで自分が話した日本語を聞く。
- ・話の内容、感想、意見などを限られた時間内で文章にまとめる。

履修上の留意点

授業活動が大切なので毎時間出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

必要に応じてコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 III	たたらあきこ 多田羅 哲 子	経A・商	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- 話題になっていることについて日本語で聞き取り、その内容や自分の考えを口頭および文章での的確に表現できるようになることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・今話題になっているテーマについてビデオを使って内容を把握し、必要に応じて細部まで理解する。
- ・その内容を口頭で説明したり自分の考えを述べたり討論したりする。
- ・また、書き言葉でも表現する。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加し毎時間提出物を出すこと。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ	湯村礼子	経A・商	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、意見を持ち、発表・説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読む。読んだ後に、意見を出し合い、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。後期は、各自分担を決めて、調べたり資料を収集したりして発表を行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

テスト（漢字・語彙テストなど）、小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の話の聴き方、授業態度など）を総合的に評価する。

教科書

授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ	石川守	経A・商	2

講義のねらい

日本の多くのことわざのもとになっている「いろはかるた」を使って日本語の中上級の文法・表現・文法・アクセントなどを勉強していく。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「ぬ」から行っていくことにする。

1. 「盗人の昼寝」
2. 「糠に釘」
3. 「瑠璃も玻璃も照らせば光る」
4. 「類をもって集まる」
5. 「老いては子に従う」

履修上の留意点

受身の立場ではなく、できるだけ発言することが望ましい。

成績評価の方法

授業へのとりくみ（出席と授業への参加態度）と期末試験等で総合的に評価する。評価の比率は、50：50ほど。

教科書

授業中にプリントを配布する。

参考書等

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ	湯村礼子	経A・商	2

講義のねらい

書くことを中心に授業を進める。大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義、そして実践し、原稿用紙に書く。書いたものを再度見なおす。

履修上の留意点

講義・授業中の活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文（5回程度）
授業活動（発言、授業態度、提出物など）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 V	いし かわ まもる 石 川 守	経 A・商	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、自作プリントを使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、呼称からはじめ、指示詞、場所関係の表現、形容詞・形容動詞、テンスとアスペクト、依頼、などの順で進んでいく。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は、基礎的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでほしい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度・態度など＝質問への答え）の二つで評価する。比率は50：50ぐらいである。

教科書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参考書等

特になし

その他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行なっていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 V	た たら あき こ 多田羅 哲子	経 A・商	2

講義のねらい

来日後間もない人を対象に、日本で生活する上で必要な基本的日本語を中心に、総合的に学習する。

講義の内容・授業スケジュール

初中級レベルからスタートし、話すことを中心に進める。また、聞く、必要に応じて読み・書き（漢字）も練習する。

履修上の留意点

出席して、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点を中心に判断する。

教科書

後日、授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	石川 守 <small>いし かわ まもる</small>	経A・商	2

講義のねらい

日本語 V で学習した基礎文法の残りを学習していく。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語 V で学習した内容は引き続き、更にその残りの文法と中上級全般とのかかわりを中心に講義を進めていく。

主たる項目は以下の通りである。

- ・目的の表現
- ・試みの表現
- ・条件の表現 「と」「たら」「なら」
- ・原因・理由の表現
- ・逆接の表現
- ・依頼の表現
- ・使役の表現と用法
- ・受身の表現
- ・自動詞と他動詞
- ・使役の受身
- ・～てしまうの用法

その他

順番は必ずしも上の通りとはならない。

履修上の留意点

授業は学生への質問という形をとって進めていくので、積極的に発言すること。

成績評価の方法

期末試験の成績と平常点（出席。授業態度＝授業への参加度）、比率は50：50ほど。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

随時、教室で指示する。

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>	経A・商	2

講義のねらい

- ・読解能力を向上させる。
- ・文章を読むことを通して、文法や適切な表現・語彙の使い方を確かめ、表現力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・さまざまな種類の文章を、自分で調べながら読んでいく。
- ・そこに出てくる表現、語彙の使い方、文法などを確かめ、必要なものについてはより適切に使えるよう練習する。

履修上の留意点

出席するだけでなく、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点と筆記試験

教科書

プリント配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅰ(前期) 〔地理〕	たがはしけんたろう 高橋 健太郎	経A・商	2

講義のねらい

空間的側面と関連づけて、人々の生活や地域社会の仕組みと変化について考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

日本の文化や人々の生活、地域社会の取り組みについて、主に以下の項目について検討する予定である。◇日本の地域性、◇農山村の生活と地域振興、◇都市の構造、◇観光開発、◇地図と地名。

また、日本の地域的な特徴についての理解を深めてもらうために、統計資料の計算や地図作りなどの作業も取り入れる。

履修上の留意点

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。

成績評価の方法

頻繁に教場で作成してもらう小レポートと学期末の筆記試験で評価。

教科書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅱ(前期) 〔自然〕	しみずよしかず 清水 善和	経A・商	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3)自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や自然保護のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・授業スケジュール

第Ⅰ章 位置

1. 国土の範囲 2. 行政区分 3. 位置の特徴

第Ⅱ章 気候

1. 気候帯 2. 日本近海の海流 3. 気候の特徴 4. 気団と季節 5. 気象観測
6. 気候と文化

第Ⅲ章 地質・地形

1. 弧状列島 2. 変動の歴史 3. 多様な地形 4. 火山 5. 地震

第Ⅳ章 生物

1. 気候帯と植生帯 2. 生物多様性 3. 生物地理区 4. 里山の生物 5. 帰化生物

第Ⅴ章 自然保護の諸制度

1. レッドデータブック 2. 国内の法律 3. 国際条約

成績評価の方法

レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

教科書

講義のアウトラインを記したweb版教科書(清水執筆)を紹介する。

参考書等

web版教科書で分野ごとの参考書を紹介する。

その他

必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する。漢字にはできるだけ読みがなをつける。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅲ(後期) 〔歴史〕	浅倉直美	経A・商	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶにあたって、とくに日本史上の大変革期である16世紀から17世紀前半を取り上げ、テーマを設けて、日本の諸事情および朝鮮半島・中国大陸と日本との関係について考えていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 京と江戸
- (2) 織田信長と室町幕府の滅亡
- (3) 豊臣秀吉と天下一統
- (4) 城
- (5) 中世後期の文化
- (6) 古文書
- (7) 徳川家康と江戸幕府
- (8) 環日本海と鎖国
- (9) 江戸の本店と長屋
- (10) 江戸の町人文化 など

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートを提出してもらいます。

教科書

随時プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅳ(前期) 〔思想〕	赤羽由規子	経A・商	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。
民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅴ(後期) 〔社会〕	かわもと まさる 川 本 勝	経A・商	2

講義のねらい

日本社会にはどのような特質があるかを考えてみたい。情報化が進展し日本社会は変貌している。それにともない、日本人の人間関係、社会的行動、社会生活も変化してきている。それらの様相と問題点を検討してみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 変貌する日本の社会－都市化社会、高度情報社会の出現－
2. 生活環境の変容と生活行動－情報環境の変容と情報行動を中心として－
3. 新しい時代の人間関係と社会生活
4. まとめ－日本社会の特徴とは何か－

履修上の留意点

講義内容に関連する社会事象を見つけて発表してもらいます。さまざまな社会問題等に関心を持つよう心がけ、積極的に参加、発言することが望まれる。

成績評価の方法

授業時間内での発表等の平常点とレポートのよって評価する。

参 考 書 等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅵ(後期) 〔政治・法律〕	み たけ なお や 三 竹 直 哉	経A・商	2

講義のねらい

この授業は、留学生のみなさんとともに、日本の政治について、楽しく考える授業です。

講義の内容・
授業スケジュール

授業の内容は、最初の回に、履修するみなさんにアンケートをとり、みなさんが、日本政治のどういう点に興味や疑問をもっていて、どういうことを授業でディスカッションしたいかを把握してから決めます。

人数にもよりますが、みなさん自身で、日本の政治について、調べてきてもらったり、発表してもらったりすることもあります。

履修上の留意点

辞書を使いながらでよいので、日本語で新聞を読めること、また、日本語で政治についてディスカッションできることを前提条件とします。

また、日頃から、日本の新聞やテレビで、日本の政治についての情報に接していることも条件とします。

成績評価の方法

平常点（発言点など）と期末試験を総合して素点を出します。

教 科 書

今のところ使う予定はありません。

参 考 書 等

適宜、授業中に紹介します。

そ の 他

たくさん発言してください。
最新情報は、下記のホームページで確認してください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅶ (後期) 〔文学〕	この え のり こ 近 衛 典 子	経 A・商	2

講義のねらい

本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、問題発見能力の涵養と、日本文学・日本語に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

日本文学作品を読み進めながら、年中行事、日本の美意識の変遷、文学と絵画の関係など、幅広く日本文化のあり方を考える。各自がテーマを選定し、調査研究して発表する、という方法で授業を進める。

履修上の留意点

受身でなく積極的な姿勢で臨むこと。第1回日にオリエンテーションを行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・授業態度

教科書

その都度指示する。

参考書等

その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅷ (後期) 〔文化・芸術〕	あか ば ゆき こ 赤 羽 由 規 子	経 A・商	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

日本語
日本事情

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅹ(前期) 〔経済〕	よしだ けい いち 吉田 敬一	経A・商	2

講義のねらい

第2次世界大戦に破れ、廃墟の中から経済復興に挑戦し、80年代には「Japan as No.1」と称されるに至った経済発展の秘密を、できるだけ分かりやすく説明し、留学生諸君が母国に帰った後で役に立つ経済的知識を身につけてもらうことが、この講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- I 日本経済入門の入門
- II 戦後日本の高度経済成長の秘密
- III 経済大国日本とバブル景気
- IV 空洞化問題に苦しむ日本
- V 21世紀の日本経済の課題

履修上の留意点

難しい経済学の子習・復習は必要ありませんが、日々の経済動向に対する鋭い感受性を磨くことが必要です。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

定期試験とレポートで評価します。再・追試験は実施しません。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。必要に応じてプリント資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅹ(前期) 〔経営〕	なが た とも のり 永田 智則	経A・商	2

講義のねらい

いかなる国も海外との交易を遮断して経済を発展させることはできません。この視点から本講義では、日本の貿易に焦点をあて、東アジア経済の変貌と日本経済について概説します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 日本経済と国際貿易、
2. 為替変動と日本経済、
3. 東アジア経済の発展と日本の貿易構造、

履修上の留意点

授業では講義に関連する世界の出来事を取り上げ、ディスカッションの場を設けます。活発に発言し積極的に授業に参加することを期待しています。

成績評価の方法

課題レポートを参考に、授業への出席を重視して平常点で評価します。

教科書

教材は、プリントを配布します。

参考書等

適宜紹介します。

経済学科フレックスB

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間〈皆川広義〉	485
仏教と人間〔再クラス〕	
仏教と人間〈熊本英人〉	486
仏教と人間〔再クラス〕	
仏教と人間〔再クラス〕〈松本史朗〉	486
仏教と人間〔再クラス〕〈四津谷孝道〉	487

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	みながわ ひろよし 皆川 広 義	経B1必	4
仏教と人間〔再クラス〕		全学科2・3・4年	

講義のねらい

仏教の開祖・釈尊（おしゃかさま）の生涯と教えを学ぶことによって、現代に生きる私たちの人間としての道を学んでゆきたい。

釈尊は、約2500年まえ、インドのヒマラヤ南麓にあった釈迦国の皇太子として生まれた。彼は、青年時代までは幸せな人生を歩んでいたが、ある日身近にいる人々の老病死の苦悩をみて、自分もいつかはあのような一大事に直面することを自覚させられた。

釈尊は、その生死の苦悩から解脱して、安心と生きがいを求めて、沙門という宗教者になられた。沙門は、樹下石上に生活し、三衣一鉢しか所有しないで、道を求める宗教者であった。彼は幸いにも六年の修行の後に、菩提樹下で座禅瞑想中に悟りを得て、生死の苦悩からの解脱道を発見せられた。人間が、なんのために生まれ、成長し、そして老い、病にたおれ、死してゆくのかという人生の目的をも悟られたのである。

釈尊は、悟りを得てから45年間、八十歳で亡くなられるまで、自分が悟り発見した生死の苦悩からの解脱道と人生の目的とを、多くの苦悩に打ちひしがれている人々に伝道されたのである。

本学は、曹洞宗がこの釈尊の教えにもとづいて設立した大学であり、この『仏教と人間』の講義を通して、各自がおのれの間としての道を学びとっていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、人間と宗教について、社会学、心理学、宗教学、仏教などをふまえて、わかりやすく語りたい。

次に、釈尊の生涯と教えを考察し、彼の宗教の成立とその教えへの世界へのひろがりについて述べる。

結びに、仏教の教えを通して、私たちがなんのために生まれ、成長し、老病死してゆくのか、つまり、人生の目的について、各自が自分の問題として明らかにできるようにしてゆきたい。

I 人間と宗教

- 1 現代人の意識と行動
- 2 世界の宗教状況
- 3 我国の宗教と問題点
- 4 有所得の宗教と無所得の宗教
- 5 人間存在の有限性 生老病死

II 仏教 仏教の開祖 釈尊の生涯と教え

- 1 釈尊の国インドと時代
- 2 誕生と成長
- 3 出家求道 沙門の道
- 4 菩提樹下の悟り 自己の真実 生命
- 5 初めての説法 釈尊の教え ①縁起説 ②血諦説
- 6 45年の伝道
- 7 沙羅双樹下の入滅
- 8 弟子たちによる仏教の誕生
- 9 釈尊仏教の世界へのひろがり

III 人生の目的

私たちは、なんのために生まれ、成長し、老い、病にたおれ、そして死してゆくのか。

履修上の留意点

積極的に聴講し、学習することを希望する。

宗教教育科目の「仏教と人間」は、本学がほこりうる講座であり、この授業を通して他大学ではなかなかなし得ない人間の陶冶と人格の完成をなしとげて、豊かな人生をつくりだしていただきたい。

成績評価の方法

聴講態度（出席率など）、レポート、年度末の定期試験などによって、総合的に評価する。

参考書等

奈良康明『仏教と人間』（東京書籍）1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	くまもと せいじん 熊本英人	経B1必	4
仏教と人間〔再クラス〕		全学科2・3・4年	

講義のねらい

仏教の教えと歴史を知ることによって、自分にとって宗教とは何かを考える。

講義の内容・授業スケジュール

仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。ブッダの伝記や仏教史上の事件、人物などのなかから、現代につながる話題を取り上げて解説していく。
日本人は、なぜ宗教に無関心なのか。実は、意識していないだけで、日常生活の中で宗教的要素に囲まれて生きている。仏教を学ぶことによって、宗教に対する無関心、無自覚の持つ問題を考えてもらいたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	まつもと しろう 松本史朗	経B2・3・4年	4

講義のねらい

本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、仏教成立以前のインド思想から始めて、仏教の開祖である釈尊の思想、さらに大乘仏教の教典の思想、及び、日本仏教の思想の説明へと進みたい。

成績評価の方法

年度末の試験によって、成績を評価する。

教科書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	よつや 四津谷 孝 とう 道	経B2・3・4年	4

講義のねらい

受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見い出してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業においては、仏教が現代社会の諸問題に対して如何に関わっているかをできるだけわかりやすく説明してゆきたい。まず、仏教というものを「文明の発展」という脈絡の中で理解し、更に他の宗教、特にキリスト教やイスラム教等との比較の中でその宗教としての特色を浮き彫りにする。そして、現代社会の諸問題、特に「死」を巡る様々な問題に仏教をはじめとする諸宗教がどのように対処しているかについて検討を加えてゆきたい。その他、「環境問題と仏教」、「仏教にみられる女性差別」等のテーマも扱ってみたい。

履修上の留意点

授業において、小作文を書いてもらうことがある。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

特になし。必要な資料等は、授業において随時配付する。

参考書等

授業において随時指示する。

宗教教育

2. 教養教育科目

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックス A の頁を参照してください。(→P. 25)

教養教育

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

宗教学〔聖と俗〕	菅原 壽清	493
宗教学〔比較宗教文化〕	田中 かの子	494
文学〔日本文学「古典」〕	田中 伸作	494
文学〔日本文学「近代」〕	保明 陽子	495
歴史学(1)〔日本近代史〕	林 彰	495
歴史学(2)〔中国史概観〕	小林 惣八	496
歴史学(3)〔アジア史概観〕	小林 惣八	496
哲学〔西洋思想の源流〕	河谷 淳	496
哲学〔近代の人間観と世界観〕	伊古田 理	497
哲学〔現代文明と人間〕	鈴木 聡	497
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	伊古田 理	498
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	麻生 享志	498
倫理学〔現代と倫理〕	古田 知章	499
倫理学〔人生と倫理〕	末木 恭彦	500
教育の思想	伊藤 茂樹	500
教育と社会	伊藤 茂樹	501
発達と学習の心理学	川田 三夫	502
カリキュラムと学習	川田 三夫	503

(2) 社会分野

法学・憲法〔法と権利〕	鶏 徳啓登	504
法学・憲法〔法と社会生活〕	長谷川 日出世	504
社会科学論〔社会認識の思想〕	枝松 正行	505
経済学〔現代経済と人間〕	明瀬 政治	506
社会学〔現代社会を考える〕	呉 炳三	507
社会学〔現代文化を考える〕	橋 爪 敏	507
統計学〔社会現象の統計的決定〕	新行内 康慈	508
文化人類学〔文化と人間〕	川上 新二	509
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	杉井 純一	510
政治学〔政治システムと政治参加〕	清滝 仁志	511
政治学〔国際社会と日本〕	山村 恒雄	512

(3) 自然分野

心理学 (1)〔ヒューマン・ウォッチング〕	鈴木 順一	513
心理学 (2)〔人間関係を考える〕	鈴木 順一	514
生物学〔生態と進化〕	清水 善和	515
生物学〔生物と環境〕	中村 敏枝	516
コンピュータ基礎(1)(3)〔コンピュータと情報〕	澤口 隆平	517
コンピュータ基礎(2)(4)〔コンピュータと情報〕	上原 隆平	518
地球科学〔地球環境の現在・過去・未来〕	山縣 毅	519
地球科学〔変動帯としての日本列島〕	藤井 享	520
自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕	篠原 正雄	521
自然環境論〔環境と保全〕	山縣 毅	522
情報数 学〔情報と論理〕	小沢 誠	522

教養教育

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 〔聖と俗〕	菅原 壽清 <small>すが わら とし きよ</small>	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「聖と俗」というテーマで、人びとの暮らしと宗教について、その宗教的営みを宗教人類学の視点からとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、前半は宗教学・宗教人類学についての基礎的な講義を、後半はこれまで私が調査してきた東南アジアや中国雲南などにおける人々の暮らしや宗教（スライド使用）を事例としながら聖と俗の問題、さらには日本人の生死観、宗教と現代社会との関わりなどについても考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

〈宗教人類学入門〉

- 1、宗教と宗教人類学（宗教をとらえる視点）
- 2、宗教人類学の研究領域（多様なアプローチ）

〈宗教の多様性〉

- 3、さまざまな宗教形態（その多様な形態）
- 4、宗教の分類方法（現代の分類方法）

〈聖なるコスモロジー〉

- 5、聖と俗
- 6、東南アジア・中国雲南の人びとの暮らしと宗教
- 7、シャーマニズム
- 8、日本人の生死観

成績評価の方法

試験+出席点+レポート点（詳細は、講義の時説明）

教科書

指定なし。

参考書等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

その他

ビデオ・スライドなども使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 〔比較宗教文化〕	たなかのこ 田 中 かの子	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

「～教」という名称に慣れていると、あたかもそれが視えない壁をなして他宗教との境界をつくっているかのように思えてくる。けれども諸宗教のおこなわれている現地に行ってみると、そこには「～教徒」である以前の、「人間」として限りある生命（いのち）をまっとうするための様々な生き方がみられ、宗教の多様性よりもはるかに個性豊かで、意外性に富んでいる。宗教文化は、そのような「人間」の諸相を信仰生活によりまとめあげるものであるが、共に生きる信仰の異なる人々との交流をとおして伝播する思想の影響力は測りがたく、実際の「～教」というのは、世界地図では表示できない範囲と次元において展開してゆくものである。本講は、このように融通性のある宗教観にもとづき、世界の主要な宗教文化を誤解や偏見を廃した正しい観点から理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

現代世界に生きつづける諸宗教のなかから、講義担当者自身の現地調査と人々との交流経験をともなうゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教を選び、それぞれの歴史・思想・文化、および、相互の歴史的連関について解説する。その予備知識として、前期の初めには、比較宗教学の基本的立場、宗教多元主義の問題点、諸宗教を比較する方法などを講ずる。

履修上の留意点

生きた諸宗教の実相を垣間見るため、祈りの声や聖歌（録音テープ）を聴き、スライドを鑑賞することを重視する。

成績評価の方法

出席状況、夏休みのレポート（B5版に収まる短文のなかで自己表現できるような課題）、各自の創意工夫を「答え」とする論述式の学年末試験（たんなる答案であるにとどまらず、在学中の貴重な時間を費やした一つの作品となるような問いをたてる予定）。

教科書

田中かの子著『比較宗教学—「いのち」の探求』（北樹出版）2004年

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 〔日本文学「古典」〕	たなかしんさく 田 中 伸 作	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

『平家物語』は軍記物語の代表として知られるが、そこには平家一門をとりまく人々のドラマが実に生き生きと描かれている。その内容・叙述において『平家物語』は非常に中世らしい文学の一つと言えるだろう。この作品を読むことで、古典文学に親しみ、中世における文学のあり方を考えることを目的とする。
また、史実が文学に取り込まれたとき、どういう世界として描かれるのかという歴史文学としての側面も考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

『平家物語』の代表的な句を読み、内容と特色を把握する。また、関連する史料を紹介し、時代背景や文化史的問題も追及する。

成績評価の方法

定期試験の成績による評価。出席状況も重視する。

教科書

『平家物語抄』（おうふう）

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 〔日本文学「近代」〕	ほ 保 明 陽 子 あき よう こ	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

明治期以降における日本の「近代化」を、「文学」という切り口で考える。これまで日本という国は、西欧の「近代化」に多大な影響を受けてきた。しかし昨今の風潮は、その流れを端に押しやる勢いがある。そこで、これまでの過去の歴史的経緯を考慮しつつも、近代社会において文化後進国ゆえの、曖昧かつ複雑な構造をもつ日本独自の「近代化」を、文学的視座から改めてとらえ直す。主に、啓蒙色の強い明治三十年代の文学的素材をもとに、現代社会の背景をかいま見る。

講義の内容・授業スケジュール

文学作品に現れた「英雄」「恋愛」「家」「武士道」「宗教」「癒し」「救い」といった様々なテーマは、作品の古今にかかわらず、現代社会を個人レベルで読み解く鍵である。このような日常にある「文学」的なものという身近な視点から、敢えて通俗性という枠組をとおして、そこに潜む「社会」の様相をかいま見る。近年話題になっている現代作家の作品と、明治時代の文学作品を比較しながら、そこにある「文学」とは何かを探索するが、具体的な作品についてはそのテーマごとに適宜講義において明らかにする。

履修上の留意点

この講義では、みなさんと共に年間を通して、文学作品について本格的に考えることになる。授業に出席することで新しい考え方を探索し、そして実際に本を読み、そこで獲得した考察の成果を表現することが望まれる。

成績評価の方法

毎回の授業を通して話題になるテーマについて、その都度みなさんが考察してきたことが、不定期に課されるレポート提出という形で問われ、その提出状況と内容が成績に反映される。

教科書

畑有三・山田有策・長野隆『作品で綴る近代文学史』（双文社出版）2,000円
随時プリントも配布する。

参考書等

適宜講義で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (1) 〔日本近代史〕	はやし 林 彰 あきら 彰	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

幕末から明治・大正時代にかけての歴史的な流れを、思想・思潮を中心に政治社会の動向をふまえて概観していく予定である。西欧から輸入された近代思想が日本でどのように浸透し、知識人・民衆がどう受容し、在来の伝統的な思想といかに対立・錯綜・混在していくのか。それらを人物・ジャーナリズムなどを中心にみていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、幕末から明治・大正・昭和前期の、いわゆる近代史の概説をこころみる。後期には、人物・メディアを中心に具体的に近代の思想の流れをおっていく。とくに、体制側の思想と運動、反体制側の思想と運動に留意しながらみていく。

成績評価の方法

レポートと定期試験。

参考書等

講義中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (2) 〔中国史概観〕	小林 惣八 <small>こばやし そう はち</small>	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい	中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晋南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。
成績評価の方法	前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。 詳細は追って指示する。
教科書	特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。
その他	出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (3) 〔アジア史概観〕	小林 惣八 <small>こばやし そう はち</small>	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい	ユーラシア大陸の歴史の歩みは、中国を中心に北アジア、中央アジア、西南アジア、東南アジア、インドが相互に影響しあいながら進展していく。本講義では、中国の歩みを多角的にとらえ、時に周辺諸民族の歩みにも触れながらこれらを通観するものである。
成績評価の方法	前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。 詳細は追って指示する。
教科書	特別定めないが、アジア史の概説書や図表を座右において聞くことを望む。
その他	出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔西洋思想の源流〕	河谷 淳 <small>かわ 谷 あつし</small>	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい	この授業ではギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主要なテーマとして取り上げることで「考える」ということがどのような営みなのかを一緒に考えることにしたい。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流に対応するものであり、それぞれは知と信という対立のもとに理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続と同時に連続性という側面も併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。
--------	---

講義の内容・授業スケジュール	講義では次のような内容を取り扱う。 前期：（1）ギリシア哲学（ソクラテス以前の哲学・ソクラテスにおける「無知の自覚」・プラトンのイデア論・アリストテレスによるイデア論批判） 後期：（2）キリスト教哲学（信仰と合理性・神の存在証明・普遍論争） （3）近代哲学（大陸合理論とイギリス経験論、カント哲学）
----------------	--

履修上の留意点	授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。
成績評価の方法	中間・期末試験（それぞれ40点満点）と夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。
教科書	『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	伊古田 まさる いこた まさる	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

現代文明の形成にあたって中核をなした思想である、近代ヨーロッパ思想を紹介し、その問題点をさぐる。今年度は、特に「真理（ホントであること）」について検討する。近代において、「真理」の概念がどのように形成され、現代文明を考えるうえでどのような意義と問題点をもっているかを解説する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ヨーロッパ思想の源流である古代ギリシャ哲学、キリスト教思想について、必要などころをおさえ、そのうえで近代以降の思想の発展を解説する、という方針をとる。

成績評価の方法

夏期中間試験と冬期定期試験の成績を素点とし、100点満点での素点に対する失点の一定割合を、夏期レポート課題によりリカバーする。

教科書

久保他編『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔現代文明と人間〕	鈴木 さとる すずき さとる	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

本講義では、イギリス経験論・プラグマティズム・現象学・生の哲学・分析哲学などにおける素材の中で厳選されたものを叩き台として、一つの問題をとことん考え抜くという態度を学生諸君が身につけるための機会を提供したいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

以下の素材のうちのいくつかを叩き台として講義を進める予定である。

1. ヒュームの因果論
2. 演繹
3. 帰納
4. 仮説形成
5. グルーのパラドクス
6. 懐疑的パラドクス
7. ニューカムのパラドクス
8. 囚人のディレンマ
9. 言語哲学

履修上の留意点

毎回の出席が要求される。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

その他

本講義は、講義→小テスト（チュートリアル）→前回の講義の復習→小テストの解説→…という形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	いこた まさる 伊古田 理	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。

具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

①古典的三段論法 ②公理系I～命題論理 ③公理系II～述語論理 ④コンピュータと論理

成績評価の方法

年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。

詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教科書

野矢茂樹著『論理学』（東京大学出版会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	あさ お なが し 麻 生 享 志	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものと考えるか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで(1)論理とは何かを考え、(2)変化する論理学の各内容についての知識を持ち、(3)日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

論理の本性、真理論、パラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題を考えています。

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなし、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

教科書

なし。

参考書等

多数。講義内にて詳細に説明します。

その他

講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 〔現代と倫理〕	ふる古 たち田 ともあき 知 章	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、現代において倫理というものが分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、われわれは、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知らなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きるわれわれの向かうべき方向も見えてくる。そして、この見通しの上に立ってこそ、個々の領域での倫理観も意義あるものとなると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

〔前期〕倫理的原理についての検討

1. 倫理学における問題の所在 —倫理的であること—
2. 古代ギリシアにおける様々な倫理思想
3. 中世における宗教的倫理観
4. ルネサンスと宗教改革 —個としての人間—

〔後期〕

- I. 倫理的原理についての検討（前期の続き）
 - 近・現代における倫理思想 —主体性と自由の問題—
- II. 応用倫理学の諸問題への基礎的な検討
 1. 生命の尊厳
 2. 人間の環境との関係
 3. 情報と倫理

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 〔人生と倫理〕	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

人は一人では生きることができない。生きることは、必然的に人と人の関わりの場に身を置かねばならない。人倫の中に生きるのである。人は、また、「よく」生きることを求める。ここに、どう生きるのが「よく」生きることか、また、それがどうして「よく」生きることになるのかという問題が生じる。これらは、「倫理学」の主要な内容をなす。本講義は、我々が生きることの「倫理」性に自覚を深めることを目的として、その参考となるように先人の「倫理」をめぐる諸説を紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、特に環境との関わりに問題をしぼる。又、参考とする先人は、東洋（特に中国・日本）に限り、東洋の伝説的な思想が現代に於ていかに役立つかを課題としたい。教科書は、国際シンポジウム「東洋の伝統的環境思想の現代的意義」の報告論文集である。講義は、教科書に収める論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進みながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとる（板書を書き写すだけでなく口頭説明も的確に要をとらえ記録すること）

成績評価の方法

中間試験と学年末試験、レポートに出席態度を加味して判断する。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参考書等

講義中に適宜に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想（前期）	い どう しげ き 伊 藤 茂 樹	経B・経A 2選 12以降入学生/商 2選	2

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
・近代社会と教育
・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 と 社 会 (後 期)	伊 藤 茂 樹 <small>いとう しげき</small>	経B・経A 2選 12以降入学生/商2選	2

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。

- ・現代の教育問題
- ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教 科 書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学(前期)	かわ だ かつ お 川 田 三 夫	経B・経A 2選 12以降入学生/商2選	2

講義のねらい

- 1) 子供の成長・発達の概要を理解する。
- 2) 学習心理学の基本的な事項を理解する。
- 3) 発達に影響を与える広義の環境の問題について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達や学習をめぐる現状と問題点
- 2) 発達や学習の理論、乳児期・幼児期の発達の特徴と留意点
- 3) 児童期の発達の特徴と留意点
- 4) 青年期の発達の特徴と留意点
- 5) 青年後期・成人期の発達の特徴と留意点
- 6) 人格の発達と問題点
- 7) 社会性の発達と問題点
- 8) 情緒や性意識の発達と問題点
- 9) 交友・対人関係の発達と問題点
- 10) 若者文化や社会風俗の歴史的変遷と現状の問題点
- 11) 青少年の非行等の問題行動
- 12) 人格障害、情緒障害、神経症的な問題行動等
- 13) 学校生活をめぐる諸問題
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようになっている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験（論述、レポート）を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教 科 書

ない。

参 考 書 等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

そ の 他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
この科目は、平成11年度までに「教育心理学」「青年心理学」の単位を取得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
カリキュラムと学習(後期)	かわ だ みつ お 川 田 三 夫	12以降入学生/経B 2選	2
		12以降入学生/経A・商2選	

講義のねらい

- 1) 教授-学習課程に関わる基本的な事項を学習する。
- 2) 教育目標、教育課程を中心に学習活動の効果的な展開について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達と学習(教育)をめぐる現状と問題点
- 2) 発達と学習
- 3) 学習理論の基本と応用
- 4) 教育学・教育心理学の基本と応用
- 5) 教育理論や方法の歴史的変遷、現状と課題
- 6) 教育目標
- 7) 教育課程(学校教育の基本について)
- 8) 教授-学習過程(学習指導、学級集団、生徒指導)
- 9) 教育評価の歴史的変遷、現状と課題
- 10) 学習指導要領(改訂の歴史、『学校教育法』、『学校教育法施行規則』等)
- 11) 総合的学習、職業教育、生涯学習、障害児教育
- 12) 学校、教師、生徒の諸問題(授業時間、教科書、教科書検定、等)
- 13) その他(教員養成、教員採用の問題、教育制度・教育行政等の問題、等)
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようになっている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験(論述、レポート)を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教 科 書

ない。

参 考 書 等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

そ の 他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
この科目は、前期に「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕	い 鶏 とく 徳 ひろ 啓 とう 登	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 法の概論は次の内容を中心として行う。
①法の意義 ②法発生の背景 ③法とその近辺の社会規範 ④法の種別と解釈 ⑤法の適用
- 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
①民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。
②憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。
③国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	は せ が わ ひ で よ 世 長谷川 日出世	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 論 〔社会認識の思想〕	えだ まつ まさ ゆき 枝 松 正 行	経B・経A選	4
		12以降入学生/商選	

講義のねらい

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手としてつねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。グローバルトリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期であるが、社会科学こそは歴史科学であると同時に未来科学なのであり、社会の変化・生成・発展法則の先見とリスクの回避には大きな責任がある。

講義ではマルクス経済学、ヴェーバー社会学、ドラッカー経営学などに学びつつ、現代の社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブな持続可能社会への移行を展望する。

講義の内容・ 授業スケジュール

上記のような社会科学的視座を基礎として、これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や日本「構造改革」の歴史的な性格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

履修上の留意点

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材をとりいれておくこと。

成績評価の方法

前・後期の中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

教科書

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

参考書等

大塚久雄著『社会科学の方法』（岩波新書）など。

その他

毎回授業の冒頭でカードによる前回授業時の学生諸君の質問・意見・要望を紹介し、出来るだけ授業内容に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 〔現代経済と人間〕	みょう せ まさ ぼる 明 瀬 政 治	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

本講義は、理論体系を近代経済学に依拠し、私たちがその中で日々生活している現代の市場経済の仕組み・機能をできるかぎり平易に解説し、結果として受講生諸氏の「経済を見る目」を培うことをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

受講生にとっては、本講義を単に教養科目の一つとしての経済学と考えている人もいれば、これをさらに本格的な経済学へ向かう導入部と理解している人もいると思います。講義を進めるにあたり、前者に対しては「教養は身につけてこそ教養」と考えて、単なる「知識」の習得ではなく現実の生活の中で生かせる「知恵」となるよう工夫しています。つまり、テクニカルタームの解説に墮することなく、具象から学問のコアを浮かび上がらせる手法を採っています。

また、この講義は、それ自体、完結した現代経済学への入門を企図していますので、平易な表現の中に押さえるべき主要事項はきっちりと盛り込んでいます。したがって、「経済原論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得論」、「財政政策」のような、経済学部で開講されているもっと上級レベルの科目への橋渡し役を意図しています。

上記の趣旨から、ここではテクニカルタームによるテーマの羅列は致しません。講義に臨んで、私の信条らしきものを掲げておきます。

- ① 難しいことを、あーそうか、と言わせたい
- ② きょうは「経済学」か、と言わせたい

そして、

- ③ 結構おもしろい（じゃん）、と言わせるぞ

成績評価の方法

成績は、学期末に行う試験を中心に評価しますが、予告有りで業間チェック（クイズ）を行い、平常点として考慮します。

教 科 書

『クミコの経済学ノート』

参 考 書 等

基本事項を整理しておきたい受講生、もっと本格的に学びたい受講生には、下記の図書を推薦します。

- 幸村千佳良 著『経済学事始』（多賀出版）
 伊藤 元重 著『入門経済学』（日本評論社）
 林 俊彦 著『需要と供給の世界』（日本評論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕	お 呉 びよん さん 炳 三	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

社会学は個人、集団、社会などを対象とし、その分野は、「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「文化」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家族生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
- (2) 経済のグローバルイゼーションにともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
- (3) 社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」「性」「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー（社会的な性）」の問題を考える。
- (4) 若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のよように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

開講時に説明する。

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社）2,500円

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代文化を考える〕	はし づめ さとし 橋 爪 敏	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通して「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題－文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等－を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	しんきょうち こうじ 新行内 康 慈	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 統計学の概要 (2) 度数分布表とヒストグラム (3) 基本統計量
(4) 確率の定義 (5) 場合の数 (6) 和事象・積事象の確率
(7) 演習 (8) 確率変数と確率分布 (9) 平均・分散と期待値
(10) 確率変数と標準化 (11) 正規分布表問題 (12) 演習 (13) まとめ
- (後期) (14) 母集団と標本 (15) 点推定と区間推定
(16・17) 正規母集団の区間推定 (18) 仮説検定
(19・20) 正規母集団の検定 (21) 推定・検定の応用 (22) 演習
(23) 散布図と相関係数 (24) 回帰分析 (25) 回帰分析の応用
(26) まとめ

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

適時指定します。

その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 人 類 学 〔文化と人間〕	かわ 川 かみ 上 しん 新 じ 二	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

文化人類学とは「文化」を通じて人間を研究する学問です。ここでいう「文化」とは、私たちの誰もが身につけている生活様式や慣習をいいます。地球上のさまざまな地域にはさまざまな生活様式をもった人々が暮らしています。それら数多くの生活様式の中には、私たちから見ると「変だな」と感じるものや、私たちと「似ているな」と見えるものがあるかもしれません。ところで「変だな」とか「似ている」と感じるのは私たちの規準から見てのことであり、相手から見れば私たちの生活様式の方が「変だ」と思われるかもしれません。自分の文化を規準にして相手の文化を見てしまうと、もうそのときから相手を誤解してしまうことが始まります。私たちから見れば「変だ」と見える文化も、それが存在しているのには相応の理由があるかもしれません。文化人類学では、さまざまな文化の客観的理解を通じて相手すなわち人間を理解しようと努めます。文化の異なる相手を正しく理解しようとするための学問ともいえるでしょう。この講義では、前期では文化人類学の特色や方法について紹介し、後期では特に韓国の文化を中心にその他の地域の文化と比較しながら異文化理解の視点を養うことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

前期(1)文化人類学とは、(2~3)人類学の範囲・形質人類学、考古学、(4~5)言語学、(6~7)人間と動物の違い、(8~9)「文化」とは、(10~11)異文化理解について、(12~13)文化人類学の歴史・方法について。

後期(1)韓国の婚姻規定(誰と結婚できるか)、(2~3)韓国の親族組織(どこまでが近いシンセキか)、(4~6)死後結婚(なぜ死んだ人を結婚させるのか)、(7~9)巫女になる(なぜ霊は憑依するのか)、(10~12)祖先を祀る(なぜ祖先を祀るのか)、(13)まとめ。

成績評価の方法

試験の結果と提出物の内容、授業出席の姿勢などを総合して成績評価を行ないます。

教科書

教科書は特に指定しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔諸民族とコスモロジー〕	すぎ 杉 い 井 じゅん 純 いち 一	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 1. 文化人類学とは何か
 2. 文化人類学の歩み (1)
 3. 文化人類学の歩み (2)
 4. 文化とコミュニケーション
 5. 環境と人間 (1) 狩猟採集民
 6. 環境と人間 (2) 牧畜民
 7. 環境と人間 (3) 農耕民
 8. ジェンダー
 9. セクシュアリティ
 10. 婚姻の形態
 11. 家族の多様性
 12. 親族と社会
- II 民族とコスモロジー
 1. 呪術と宗教
 2. アニミズム
 3. シャーマニズム
 4. シンクレティズム
 5. 儀礼の構造
 6. コスモロジー
 7. 神話
 8. 政治組織
 9. 民族とエスニシティ
 10. 民族紛争と戦争
 11. 開発と文化
 12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート (20%)、期末試験 (60%)、平常点 (20%) で評価します。

教科書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円
 山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円
 佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社) 2,200円

その他

できるだけ、ビデオを利用します (年に4~5回程度)。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 (1) 〔政治システムと政治参加〕	きよ たき ひと し 清 滝 仁 志	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

この講義では、グローバル化を中心課題において、社会の変化を政治学の観点から学んでいきます。皆さんの生きている時代は今までになく将来が見えない状況となっています。たとえば「定年まで同じ会社にいる」「土地は値上がりする」「銀行はつぶれない」など以前における社会常識の多くが通用せず、この状況は、ほとんど誰もが経験していません。

講義では、この社会変化を考察しながら、将来自分がどのような知的態度をもって対応すべきか、を解明する手がかりとなるような内容をめざします。授業を通じ、自分で未来を切り開くための知識と知的習慣を身につけ、どのように自分が能力を磨き、何をしたいのかを考えることを期待しています。

講義の内容・授業スケジュール

詳細は初回の授業で説明

- 1 グローバル社会における諸問題
 - (1) グローバル化の時代—市場と国家の新たな関係—
 - (2) 市場経済の展開—「大きな政府」から「小さな政府」へ—
- 2 日本における「構造改革」の推進
 - (1) グローバル化と日本—日本型経済システムとその限界—
 - (2) 日本の政治と「構造改革」
- 3 政治制度の比較考察
 - (1) 選挙制度と日本の政党政治
 - (2) アメリカ大統領制の考察
- 4 日本における政策課題
 - (1) 福祉国家の形成と動揺
 - (2) 地方分権と地方自治
 - (3) 日本農業の変革と国際化

履修上の留意点

この講義では次のことをおこないます。

- 1 身近な時事問題を取り上げ、そのポイントの解説
- 2 授業の冒頭で皆さんの質問に答え、復習
- 3 授業中、文章の表現能力を身につけるための練習
さらに公務員試験等に対応できるように配慮します。

成績評価の方法

定期試験を中心としますが、レポート、出席状況を勘案。講義を通じて、いかに力をつけたか、を評価します。

教科書

文献は講義・HPを通じて随時紹介します。

参考書等

毎回、レジュメと資料を配布します。レジュメはHPを通じても入手可。

その他

講義を受け身に聴くのではなく、取り上げた話題を自発的・積極的に考えていくことを期待します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治学 〔国際社会と日本〕	やまむらつねお 山 村 恒 雄	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 地球的問題群
- 4 第二次世界大戦後の国際政治の変容
- 5 冷戦と核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本をめぐる諸問題

履修上の留意点

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。

成績評価の方法

夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

授業中、随時指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (1) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	すずき じゅんいち 鈴 木 順 一	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方向的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強すること）ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩みだすようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。ヒューマン・ウォッチング（人間観察）の対象は、他者の行動ばかりではない。自己の内面の動きや行動を観察することでも、深い人間理解が得られるのである。

講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

〔前期〕 (1)学習とは？ 授業方針 (2)心とは何か (3)性格検査による自己理解 (4)パーソナリティ理論 (5)精神分析的人格理論 (6)グループ形成とエンカウンター (8)コミュニケーションの促進 (8)感覚・知覚・認知 (9)自己認知 (10~11)カウンセリングの理論と技法 (11~12)発達の心理

〔後期〕 (13)心の病と心理療法 (14)交流分析による自己理解 (15)自他肯定の人間関係 (16~17)学習理論と行動療法 (18)relaxation法 (19~22)社会的行動

履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席を取ります。欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

出席点と平常の小試験・小レポート・グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

教科書

中村昭之編著『心理学概説』（八千代出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (2) 〔人間関係を考える〕	すずき じゅんいち 鈴木 順 一	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受身のバケツの学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方向的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強すること）ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩みだすようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

〔前期〕 (1)学習とは？ 授業方針 (2)心とは何か (3)性格検査による自己理解 (4)パーソナリティ理論 (5)精神分析的人格理論 (6)グループ形成とエンカウンター (8)コミュニケーションの促進 (8)対人関係の心理 (9~10)カウンセリングの理論と技法 (11)生涯発達の心理 (12)親子関係の心理

〔後期〕 (13)青年の心理 (14)交流分析による自己理解 (15)自己肯定の人間関係 (16~17)学習理論と行動療法 (18)relaxation法 (19)職場の人間関係 (20)恋愛と結婚の心理 (21)流行とマス・コミュニケーション (22)社会病理と犯罪

履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協学習習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに白筆で出席を取ります。欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

出席点と平常の小試験・小レポート・グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

教科書

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学―体験をとおして学ぶ心理学―』（福村出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生態と進化〕	清水 善和 <small>しみず よしかず</small>	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後に関連と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この複雑、多様な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発 (4) 大量絶滅 (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計 (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比 (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 個体群生態学－産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K淘汰 (3) 食う・食われる関係 (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化) (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム (4) 進化論批判
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸 (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環 (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯 (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
 - (1) 里山の生物 (2) 都市と生物 (3) 帰化種の侵入

教養教育

成績評価の方法

試験、レポート、出席を勘案して評価する。

教科書

受講者には清水が執筆したweb版教科書(無料ダウンロード可)を紹介する。

参考書等

章ごとに適宜紹介する。

その他

講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生物と環境〕	なかむらとしえ 村 敏 枝	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至っている。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ、ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題を取りあげる。地球温暖化についてその背後にある社会・経済問題も視野にいれながら考察したい。

講義の内容・
授業スケジュール

- (前期) (1-5) 地球の歴史と生命の期限
(6-13) 生態系のしくみ
(後期) (14-21) 生物の生活-植物群落の遷移・動物の生殖行動
(22-26) 地球温暖化-生態系に与える影響・代替エネルギー

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

赤堀他著『生物学-地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円

参考書等

授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(1)(3) 〔コンピュータと情報〕 (前期)(後期)	さわ ぐち たかし 澤 口 隆	経B選	2

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop および Adobe Illustrator を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

初心者を対象とするので予備知識は必要としない。最低限、Windows の基本操作はマスターしているほうが望ましい。授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(2)(4) 〔コンピュータと情報〕 (前期)(後期)	う え ば ら り ゅ う へ い 上 原 隆 平	経B選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやったらいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

成績評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

村井純著『インターネット』(岩波新書416) 630円および村井純著『インターネットⅡ』(岩波新書571) 640円

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 球 科 学 〔地球環境の現在・過去・未来〕	やま がた たけし 山 縣 教 師	経 B 選	4
		12以降入学生/商選	

講義のねらい

現在、地球温暖化、海水準の上昇、オゾン層の破壊などの地球規模の自然環境の変化が、21世紀の大きな問題として捉えられています。これらの問題に対処する手段、特に自然環境がどのように過去、将来において変化し、それが何に起因するかを推定・予測する手段の一つとして地球科学があります。本講義では、地球科学による過去の環境（古環境）の推定・復元方法を、地球環境の変遷を創生期から現在までたどりながら、理解してもらうことを目標としています。

また、私たちが住んでいる関東地方の古環境の復元も、いくつかの地域を例に取りながら解説していきます。受講者にとって、自分の居住地域と共にグローバルな自然環境についても考える契機になることを期待します。

講義の内容・授業スケジュール

前半に地球科学の概説を行い、後半に地球環境の変遷、関東地方の地質について講義をしていきます。

1. 地球の内部構造と地質変動
2. 地球の環境変遷
3. 関東地方の地質
 - ・関東平野の断層と地震
 - ・房総・三浦半島の地質－付加テクトニクス－
 - ・伊豆大島、箱根の火山活動
 - ・関東山地の地質
 - ・関東平野の地下表層部の地質

成績評価の方法

期末試験で評価します。

教科書

特に定めない。

参考書等

『最新 図表地学』（浜島書店）ISBN 4 - 8343 - 4002 - 3 C7344

その他

OHP、スライド等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 球 科 学 〔変動帯としての日本列島〕	ふし 藤 井 すすむ 享	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

地球科学は、地形、岩石、地質、火山、地震、重力など地球に関するさまざまな現象を研究する分野であるが、地殻の変動や地形・地質の形成史を究明することが特に重要である。日本列島はユーラシア大陸と太平洋に挟まれており、島弧-海溝系（海溝を伴う弧状列島）の変動帯である。日本列島付近は4種類のプレートが衝突しあっており、火山活動、地震が多発、地形の起伏が大きく地質構造も複雑である。したがって、日本列島は世界でも第一級の変動帯といって過言ではない。

日本列島は火山活動や地震の頻発する自然条件下にあるため、否応なしにそれらに遭遇することも止むを得ない。したがって、これらの自然現象を正しく理解し、日頃から関心を抱くとともにその対策を講じることが重要である。本講義は、以下のような変動地形と日本列島の地形の由来を十分理解できるように展開したいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

授業は地図を多用して、世界で最も活動的な変動帯としての日本列島の地形を多角的に扱ってみたい。主な内容とスケジュールは次のとおりである。

- ① 地球上の変動帯とプレートテクトニクス
- ② 島弧-海溝系の変動帯と日本列島
- ③ 島弧と火山帯
- ④ 本州中部の地形とフォッサマグナ
- ⑤ 第四紀の地殻変動と変動地形
- ⑥ 関東平野の地形と造盆地運動
- ⑦ 中部地方の傾動運動
- ⑧ 西南日本弧の曲動地形
- ⑨ 日本列島の活断層
- ⑩ 日本列島の巨大地震と変動地形
- ⑪ 火山活動と火山地形
- ⑫ 最終氷期と後氷期の日本列島

スケジュールは前期：①～⑤、後期：⑥～⑫を予定

履修上の留意点

「地球科学」は、地球の内部や地表で行われる自然現象を扱うために、地図を多用する。そのため、「地図帳」（高校で使用したもので可）を準備すること。また、講義ノートをとることは重要。地図やその他の図を書くことが多いので、色鉛筆（12色）を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

貝塚爽平著『日本の地形-特質と由来』（岩波新書）1977年
貝塚爽平著『発達史地形学』（東大出版）1998年

そ の 他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔宇宙から見た地球環境〕	篠原まさお しのはらまさお	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち宇宙の視点から地球の自然環境について講義します。

太陽系の惑星の一つである地球の自然環境は46億年の太陽系の歩みの結果形成されてきました。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にあります。また、過去30年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきました。その成果をふまえて、「地球環境」とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを中心に上げます。

日常生活でのある行為が「地球に優しい」のか逆に「地球を傷つける」のかという判断は立場により、また時代により異なります。環境問題は「健康法」と似ていて、仕組みもわかっていないうちに、効果も立証されていない手段でともかく対処しなければいけないという場合もあります。その結果、認識が少し進むと「善」と「悪」が入れ替わることも起こります。表面だけを見ると、環境に確かなものは何もないかのように思われてきます。

この講義を通して個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宇宙と地球
宇宙の中の地球 宇宙の起源と進化 太陽系と地球の起源
2. 宇宙と地球環境
太陽 地球磁気圏 海と大気 生命 地球環境の進化
3. 地球環境の変動
宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動
4. 地球環境問題
オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題
5. 宇宙と地球の未来
文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI (地球外文明探査)

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

石田恵一著『宇宙と地球環境』（成山堂書店）1,600円

参考書等

小宮山宏著『地球持続の技術』（岩波新書）660円
その他、講義の中で適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔環境と保全〕	やまがた 山 縣 たいし 毅	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気の酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

期末試験で評価します。

教科書

特に定めない。

参考書等

講義の中で紹介します。

その他

OHP、スライド等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	おぎわ 小 沢 まこと 誠	経B・経A選 12以降入学生/商選	4

講義のねらい

情報科学における離散数学の概要を知ること为目标とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、離散集合と述語・対応と写像・帰納法とアルゴリズム・離散関係を学ぶ。
後期は、離散グラフ・木グラフ・離散代数系・形式言語を学ぶ。
時間があれば、有限順序集合と束・ブール関数・デジタル論理回路・ブール代数についても学びたい。

履修上の留意点

毎回必ず出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の期末試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

小倉久和『情報の基礎離散数学』(近代科学社) 2,500円

参考書等

情報数学として扱われる数学は多岐にわたる為、上記の教科書に記載の参考図書を参照されたい。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

3. 外 国 語 科 目

外
国
語

3 . 外国語科目

[英 語]

英語 I A	〈岩 永 祥 恵〉	527
英語 I A	〈山 縣 裕	527
英語 I A	〈杉 本 誠	528
英語 I A	〈町 田 成 男	528
英会話 I	〈永 野 光 一	528
英語 L L I	〈ラッセル, S. J.〉	529
英語 I B	〈林 明 人	530
英語 I B	〈岸 本 茂 和	530
英語 I B	〈濱 口 真 木	530
英語 I B	〈林 明 人	531
英語 I A・I B [再クラス]	〈丸 小 哲 雄	531
英語 I A・I B [再クラス]	〈伊勢村 定 雄	531
英語 I A・I B [再クラス]	〈山 縣 裕	532
英語 I A・I B [再クラス]	〈荻 野 一 成	532
英語 I A・I B [再クラス]	〈本 間 俊 一	532
英語 I A・I B [再クラス]	〈伊勢村 定 雄	532
英語 II A	〈吉 川 直 澄	533
英語 II A	〈大 渕 利 春	533
英語 II A	〈北 村 弘 文	534
英語 II B	〈町 田 成 男	535
英語 II B	〈山 縣 裕	535
英語 II A・II B [再クラス]	〈大 渕 利 春	535
英語 II A・II B [再クラス]	〈山 縣 裕	536
英語 II A・II B [再クラス]	〈高 見 陽 子	536
英語 II A・II B [再クラス]	〈澤 田 真 弓	536
英語 II A・II B [再クラス]	〈萩 原 輝	537

[ド イ ツ 語]

ドイツ語 I A	〈清 水 修	538
ドイツ語 I B	〈篠 原 敏 昭	538
ドイツ語 I A・I B [再クラス]	〈百 濟 勇	539
ドイツ語 II A	〈清 水 修	539
ドイツ語 II B	〈篠 原 敏 昭	540
ドイツ語 II A・II B [再クラス]	〈百 濟 勇	540

[フ ラ ン ス 語]

フランス語 I A	〈八 木 明 美	541
フランス語 I B	〈木 下 雄 介	541
フランス語 I A・I B [再クラス]	〈前 田 祝 一	541
フランス語 II A	〈八 木 明 美	542
フランス語 II B	〈木 下 雄 介	542
フランス語 II A・II B [再クラス]	〈前 田 祝 一	542

[中 国 語]

中国語 I A・I B	〈秋元 翼・王 聡	543
-------------	-----------	-----

中国語ⅠA・ⅠB	〈塩旗伸一郎・上原かおり〉	543
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈大久保明男〉	544
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈曹泰和〉	544
中国語ⅡA	〈秋元翼〉	544
中国語ⅡA	〈東映全〉	545
中国語ⅡB	〈王聡〉	545
中国語ⅡB	〈上原かおり〉	545
中国語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈弘兼加奈子〉	546

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA	〈亀山晃一〉	547
スペイン語ⅠB	〈中山直次〉	547
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈栗林ゆき絵〉	548
スペイン語ⅡA	〈亀山晃一〉	548
スペイン語ⅡB	〈中山直次〉	549
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈栗林ゆき絵〉	549

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA・ⅠB	〈廣田英靖〉	550
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈杉山秀子〉	550
ロシア語ⅡA	〈廣田英靖〉	551
ロシア語ⅡB	〈廣田英靖〉	551
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈杉山秀子〉	551

《選択科目》

英会話Ⅱ	〈永野光一〉	552
英語LLⅡ	〈加藤佐和子〉	553

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基本表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	いわ ^{なが} 岩 永 ^{よし} 祥 恵	経 B 1 年	2

講義のねらい

本講義では作文力の育成を目指す。会話表現を中心に大学生の日常生活において使用頻度が高いと考えられる多様な表現を習得し、発展的にパラグラフライティングの基礎につなげていくことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

ライティングのテキストを使用し、基礎を固める。年間のスケジュールのうち中心となるのは以下のようなプロセスとなる。各ユニットはまず核となるスキットを理解し、次に文法事項を含めた表現のポイントを習得する。その後それらを使った和文英訳を試みる。以上であるが、後期以降はパラグラフライティングの導入を取り入れて、展開のある表現力を高める。

履修上の留意点

毎回の授業への積極的な参加。辞書を持参すること。ほぼ毎週課題を課す予定である。

成績評価の方法

出席、予習、課題提出、試験等を総合的に判断して評価する。

教科書

根間弘海他 *Enjoy Expressing Yourself* (金星堂) 1,900円

参考書等

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	やま ^{がた} 山 縣 ^{ゆたか} 裕	経 B 1 年	2

講義のねらい

日常会話・日常表現の修得に力点をおく。

成績評価の方法

出席・定期試験などから総合的に評価する。

教科書

宍戸 真、Bruce Allen 著『アメリカ西海岸へ行こう』(成美堂) 1,700円 ISBN4-7919-4051-2

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	<small>すぎもとまこと</small> 杉 本 誠	経B1年	2

講義のねらい

新聞という人間生活のあらゆる面を取り扱う媒体をわたしたちの日常生活の情報源として活用することに視点を置いて、時事英語、特に新聞英語やメディア英語への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は容易に、しかも楽しく英字新聞が読めることを重視し、旅行、環境、健康、スポーツなどの日常生活に密接な関わりのある記事を取り上げる。後期は、政治、経済、文化、社会生活などの記事をできるだけ多く読み、大意を把握し、読む速度をあげるようにする。内容把握、語法、リスニング、英訳などの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけることを目的とする。

履修上の留意点

速読で進むので、かならず毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法

前・後期定期試験、レポート、小テスト、出席率などを総合して評価する。

教 科 書

『イギリスを探る』（南雲堂）1,800円 ISBN4-523-17452-0

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔基礎英語特別クラス〕	<small>まちだしげお</small> 町 田 成 男	経B1年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。文章表現の場合、センテンスからパラグラフへ、また、会話表現の場合、日常の基本表現からダイアログをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストにしたがって読みすすめることを原則とする。

履修上の留意点

テキストと辞書は忘れずに持参すること。

成績評価の方法

出席＋発表＋試験の総合評価とする。

教 科 書

検討中のため、第1回の授業時に、オリエンテーションの中で発表する。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	<small>ながのこういち</small> 永 野 光 一	経B1年	2

講義のねらい

英会話の基礎的な力を養成。

講義の内容・授業スケジュール

Q&A やペア・ワーク、グループ・ワーク、ロール・プレイなどを通して英語を聞く・話すことに慣れていきます。会話表現の学習やスピーチ・ライティングと発表も行います。

履修上の留意点

授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。

成績評価の方法

出席と授業中の学習活動への積極的な参加を重視。スピーチ・ライティングと発表の成績を入れて総合的に評価。

教 科 書

初回授業時に指定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	ラッセル, S.J.	経B1年	2

講義のねらい

English LL I is for students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to check students' listening comprehension and to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to listen to and speak English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good English dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a challenging listening and speaking tests in the middle and end of the course.

教 科 書

Alive Jives (Published by Nan'Un - Do Japan)
ISBN4 - 523 - 17400 - 8

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	はやし 林 明 人	経B1年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

各ユニットが、1～2ページの本文と練習問題で構成されているテキストを読みます。あらかじめ皆さんに試訳を提出してもらい、それをうい質問をしながら授業を進めます。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、試訳、出席の総合評価。

教 科 書

『アメリカの背景を読む』(金星堂) ISBN4-7647-3786-8 C1082
『ロングマンアクティブ・スタディ英英辞典』(南雲堂フェニックス)

そ の 他

木曜日・6時限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	きし 岸 本 茂 和	経B1年	2

講義のねらい

英文を読みときながら、文法上の問題点を復習しかつ学習してゆく。

講義の内容・ 授業スケジュール

一年間でテキストのすべてを仕上げることを最大の目標にしたい。

履修上の留意点

授業には英和辞典をかならずもってこること。

成績評価の方法

試験は前期・後期の2回。全授業日数の3分の1以上欠席のばあい「不可」とする。

教 科 書

『エンジョイ・イングリッシュ』(朝日出版社) 1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	はま 濱 口 真 木	経B1年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎に、英語の読解力と表現力の一層の向上を目指す。また、必要に応じてリスニングを取り入れながら英語の読解力の向上をはかる。

講義の内容・ 授業スケジュール

テキストを読みすすめていく。また、英語雑誌などからのプリントを配布し、英語を正確に読み取る練習をする。必要に応じて小テストを行う。

履修上の留意点

授業は平常点を重視するので、予習をして授業に参加してもらいたい。

成績評価の方法

出席や発表などの平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)の総合評価とする。

教 科 書

『The British Today イギリス人の生活と文化』(成美堂) 1,600円 ISBN4-7919-4047-4

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔基礎英語特別クラス〕	はやし 林 明人	経B1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

簡単な読み物を使用しながら、英文の構造を学び、さらに自ら英文を書けるようになることを目的とします。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、発表、小テスト、出席の総合評価。

教科書

『構文から学ぶやさしい日常英語』（南雲堂）ISBN4-523-17440-7

その他

木曜日・7時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	まるこ 丸小哲雄	経B2・3・4年	2

講義のねらい

インターネットの普及にともない、英語を書くことの必要性が増大しています。それに対応するために思考力と論理的表現力を高め、書くことの鍛錬のために読むことも目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

リスニング・テキストで総理解をして、ライティング・テキストで自己表現できるように発信型の能力を涵養してゆきます。レポート提出もあります。

成績評価の方法

出席、平常テスト、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

ライティング・テキスト：コミュニケーションのための英文法・英作文（英宝社）
リスニング・サブテキスト：12 Great Hit Songs: Listening Workbook（英宝社）

参考書等

参考書：参考書を随時指示し、日常言語プリントや時事英語ニュースのコピーも適宜配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	いせむら 伊勢村定雄	経B2・3・4年	2

講義のねらい

実際のE-mailを通して、英語の基礎と日米の考え方の違い等にふれる。

講義の内容・
授業スケジュール

進め方は特に変わったやり方はしないが、音読なども取り入れつつ英語の音と内容把握をめざす。

1課を2～3時間で進む。

履修上の留意点

予習必要！辞書持参のこと！

成績評価の方法

年2回のペーパーテスト及び授業態度。

教科書

伊勢村定雄、John Hulgin『英文Eメール：リーディング・プラクティス』（北栄堂書店）1,600円

その他

水曜日・6時限

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	山 縣 裕 <small>やまがた ゆたか</small>	経B2・3・4年	2

講義のねらい 日常会話・日常表現の修得に力点を置く。

成績評価の方法 出席・定期試験などから総合的に評価する。

教科書 矢野 真、Bruce Allen 著『アメリカ西海岸へ行こう』（成美堂）1,700円
ISBN4-7919-4051-2

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	荻野 一成 <small>おぎの かず しげ</small>	経B2・3・4年	2

講義のねらい 高校卒程度の文法力で読める英文を読み、正確に情報を読みとる訓練をする。

成績評価の方法 平常授業時の出席はもちろんのこと、授業への積極的な参加姿勢が評価の重要なポイントとなる。欠席が全体の3分の1を超えた場合は失格となる。レポート、小テスト等。

教科書 テキスト・教材については、開講時に指示する。辞書は必携。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	本間 俊一 <small>ほんま とし かず</small>	経B2・3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール 教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法 前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書 『愛の諸相』（朝日出版社） 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	伊勢村 定雄 <small>いせむら きたお</small>	経B2・3・4年	2

講義のねらい アメリカン・ストーリーを通して、アメリカ英語を学ぶ。及び英語の基礎や辞書のひき方にもふれる。

講義の内容・授業スケジュール 音読と訳読を交互に混えて進めるが、演習形式という授業形態上、受講者は全員参加することになる。1課を2～3時間で進む。

履修上の留意点 予習必要！辞書持参のこと！

成績評価の方法 年2回のペーパーテスト及び授業態度。

教科書 Erich Segal『ある愛の詩』（英光社）1,800円

その他 水曜日・7時限

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段落から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	吉川直澄 <small>きつ かわ なお ずみ</small>	経B2年	2

講義のねらい

英語 I A を基礎として、より高度な英語運用能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な基本表現を復習しつつ、英語での自己表現を拡大させる。前期は、主に音声を通じて、目から覚えられていた英語表現が“運用可能”となっているかどうか確認してゆく。後期は、前期の目標を継承しつつ、可能な限りプレゼンテーションを学生諸君にしてみよう。

履修上の留意点

とにかく繰り返し練習すること。付属のCDは聞くだけでなく、声に出して練習するためにある。練習する場合には、英語のリズムとイントネーションを極力“模倣”するように心掛けること。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、授業内提出物、プレゼンテーション、前期試験もしくは夏休みレポート、後期末試験を総合して評価する。なお、欠席と遅刻の回数についての問い合わせには一切応じない。

教科書

『スコアアップをめざす語い中心の TOEIC 総合講座：基礎編』(松柏社) 1,700円 ISBN4-88198-533-7

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	大瀨利春 <small>おお ぶち とし はる</small>	経B2年	2

講義のねらい

英語 I A の内容を発展させ、より高度の英作文力をつけることを狙いとする。また、リスニング力向上のための訓練も行う。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストの問題を解き、同時にリスニングの小テストを行う。

履修上の留意点

予習を必ず行って下さい。また、辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

平常点50%、前、後期試験50%で評価します。平常点は出席率、発表の内容などから総合的に評価します。

教科書

The Road from Writing to Speaking (成美堂) 1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	きたむらひろふみ 北村弘文	経B2年	2

講義のねらい

英語 (A) の授業であるから、特に英語で自由に発信できる力を養うことを目指すは言うまでもないことですが、一年中文法作文の内容の授業では話題性を欠き、味気ないので、テキストには総合教材使用します。

成績評価の方法

定期試験 (前・後期) の成績以外に、授業中の発表、レポート、出席状況などを勘案して評価します。

教 科 書

YOUNG POP CULTURES (郁文堂) 1,751円

なお、テキストの目次は以下の通り (参考までに)

CHAPTER 1	COLLEGE LIFE (A)	1
CHAPTER 2	COLLEGE LIFE (B)	6
CHAPTER 3	SPORTS (A)	11
CHAPTER 4	SPORTS (B)	16
CHAPTER 5	DATING (A)	21
CHAPTER 6	DATING (B)	26
CHAPTER 7	DRINKING (A)	31
CHAPTER 8	DRINKING (B)	36
CHAPTER 9	CARS (A)	41
CHAPTER 10	CARS (B)	46
CHAPTER 11	FAMILY RELATIONS (A)	51
CHAPTER 12	FAMILY RELATIONS (B)	56
CHAPTER 13	GUNS (A)	61
CHAPTER 14	GUNS (B)	66
CHAPTER 15	GIFT - GIVING (A)	71
CHAPTER 16	GIFT - GIVING (B)	76
CHAPTER 17	FASHION (A)	81
CHAPTER 18	FASHION (B)	86
CHAPTER 19	PUBLIC MANNERS (A)	91
CHAPTER 20	PUBLIC MANNERS (B)	96
CHAPTER 21	THE ELDERLY (A)	101
CHAPTER 22	THE ELDERLY (B)	106
CHAPTER 23	CAREERS (A)	111
CHAPTER 24	CAREERS (B)	116

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading：I Bを基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	まち だ しげ お 町 田 成 男	経B 2年	2

講義のねらい

I Bを基礎として、さらに多くの文章が読めるように、大意の把握を心がけ、読む速度をあげる。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学ぶ。

講義の内容・ 授業スケジュール

テキストにしたがって読みすすめることを原則とする。

履修上の留意点

テキストと辞書は忘れずに持参すること。

成績評価の方法

出席＋発表＋試験の総合評価とする。

教 科 書

検討中のため、第1回の授業の時に、オリエンテーションの中で発表する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	やま がた しげ 山 縣 裕	経B 2年	2

講義のねらい

日常会話・日常表現の修得に力点をおく。

成績評価の方法

出席・定期試験などから総合的に評価する。

教 科 書

WM. B. ホワイト、松居 司著『現代アメリカ英語の運用』（南雲堂）1,700円
ISBN4-523-17096-7

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A ・ II B 〔再クラス〕	おお ぶち とし はる 大 瀧 利 春	経B 3・4年	2

講義のねらい

総合的な英語力（リスニング、スピーキング、ライティング、リーディング）の向上を目指す。

講義の内容・ 授業スケジュール

テキスト中心にすすめますが、ライティング力をつけるための問題もプリントで行います。リスニングの小テストも行います。

履修上の留意点

毎回しっかりと予習を行い、辞書を携帯するようにして下さい。

成績評価の方法

平常点50%、前、後期試験50%で評価します。平常点は出席率、発表の内容などから総合的に評価します。

教 科 書

Broadening Your Cultural Horizons（成美堂）1,700円

外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	やまがた ゆたか 山 縣 裕	経B3・4年	2

講義のねらい 日常会話・日常表現の修得に力点をおく。

成績評価の方法 出席・定期試験などから総合的に評価する。

教科書 WM.B. ホワイト、松居 司著『現代アメリカ英語の運用』（南雲堂）1,700円
ISBN4-523-17096-7

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	たかみ ようこ 高 見 陽 子	経B3・4年	2

講義のねらい 重要な情報を漏らさず大意を把握しながら、英文をより速く読む力をつけることを主な目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 音読やリスニングを通して英語のリズムに慣れることと、精読とは異なる「理解しながら読む」方法に慣れること、この二点を軸に英文を読みこなすための基礎的な練習をします。また、文法や構文についての基本事項を確認し、その知識をもとに英語で書いたり話したりする練習も取り入れます。

履修上の留意点 辞書を毎回必ず持参すること。

成績評価の方法 全授業回数の3分の2以上の出席が必要です。前・後期試験の結果をベースに、授業中の取り組み方や発言を重視した平常点と、小テスト・レポート等の課題を加味して、総合的に評価します。

教科書 テキストについては、第一回目の授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	さわ だ まゆみ 澤 田 真 弓	経B3・4年	2

講義のねらい 簡単な英語表現を学び、リスニングやライティングの能力を総合的に伸ばすことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 毎時間さまざまな英語表現を学び、暗記してもらいます。

履修上の留意点 積極的に授業に参加することが望ましい。単語の意味調べは必ずやっておくこと。

成績評価の方法 出席回数、発表や提出物、前期後期試験の結果を総合的に判断して評価します。

教科書 木村ゆみ、Margaret Yamaguchi 著『知っておきたい英語表現』（開文社出版）900円
ISBN4-87571-538-2 C1382

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A ・ II B 〔再クラス〕	はぎ わら てる 菫 原 輝	経 B 3 ・ 4 年	2

講義のねらい

自由英作文を作る能力の修得を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は“Happiness” “Money” “work” について、後期は“Love and Hate” “Humor and Laughter” について学ぶ。

履修上の留意点

教科書、英和・和英辞典を毎時間持参すること。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、授業態度、試験の結果等の総合評価。

教 科 書

Jim Knudsen 著『名句で英語を学ぶ』（南雲堂）1,957円

〔ドイツ語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	しみず おさむ 清水 修	経B1年	2

講義のねらい

ドイツ語でのコミュニケーションのために必要な文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語でコミュニケーションするためには何が重要で、何が重要でないかを明確に示しながら授業を進めていきます。

また、ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということを考えて、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。

そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。

履修上の留意点

必ずしも教科書に沿った授業はしません。また、常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進度は予測できません。

したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補うのが原則ですが、自分で解決できないときは必ず教師に相談するようにしてください。

成績評価の方法

普段の授業への参加と貢献、および年に2回実施する予定の試験等で総合的に判断します。

教科書

早川東三『完全ドイツ文法 (改訂版)』(朝日出版社)

参考書等

ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』(三修社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	しの はら とし あき 篠原 敏昭	経B1年	2

講義のねらい

発音や文法、簡単な文章など、ドイツ語の基礎的な知識の習得を目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないます。ドイツ人の生活や考え方などもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。

履修上の留意点

欠かさず出席すること、予習・課題をやってこること、辞書を必ずもってくることを。

成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になるでしょう。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。

教科書

『ベルリン・キャンパスライフ』(朝日出版社) 2300円

参考書等

授業の中で指示します。

その他

CDをつかった授業をおこなう予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	もも づみ いさむ 百 濟 勇	経B2・3・4年	2

講義のねらい

自分が客員研究員をしている「ベルリン・ドイツ経済研究所」(DIW)のドイツ人の経済専攻院生は勿論のこと、フランス、ロシアなどの学生・院生は、明白な問題意識をもって勉強をしていると同時に、それに必要な外国語学修得が前提となっていることだ。そうした学習方法を学ぶ必要がある。

講義の内容・
授業スケジュール

受講生は経済学部、法学部、経営学部の2年、3年、4年である。それ故に諸君が、ヨーロッパ経済を学習対象とする場合には、ドイツ語の履修が不可欠だ。その修得には、まず徹底して声をだして読むことだ。経済学部、経営学部及び法学部の学生を対象としている授業であるが、ドイツの新聞の文化・政治・経済記事なども、テキストとして使用する。

履修上の留意点

ドイツ人が英国訪問をした際の「ドイツ人の為の英語会話」をテキストを使うので、毎回の授業出席が前提になる。そしてこうした学習方法は、結果として英会話も力がつくだろう。熱心な学生の受講を希望する。

成績評価の方法

前期、後期の定期試験は行わないが、毎時間、一人一人回数当てでの徹底した口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

日本で作成した教科書は使わず、その都度、既に指摘したプリントを配布する。その際に初年度で使用したドイツ辞書、ドイツ語教科書を持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA	し みず おさむ 清 水 修	経B2年	2

講義のねらい

ドイツ語でのコミュニケーション能力の養成をめざします。基本的な会話能力と、辞書の助けを借りて簡単な文章が読めるようになるのが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

最初は特に、基礎的な能力の復習に力を入れます。受講者の習熟度、意欲に合わせて授業を進めていきます。

履修上の留意点

ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて批判的に考えるということです。受講者には自分自身の意見を持つこと、主体的に考えるという態度を期待します。

成績評価の方法

主に平常点で評価します。

教科書

プリントを用意します。

参考書等

授業中に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II B	しの はら とし あき 篠 原 敏 昭	経B 2年	2

講義のねらい

ドイツ語 IA・IB で習った基礎的なことがらをもとに、少し進んだレベルのドイツ語の文章が理解できるようになることをめざします。あわせてより進んだレベルの文法項目の学習もおこないます。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないますが、ドイツの風土、ドイツ人の考え方、行動スタイルなどもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。

履修上の留意点

予習をやってくること、欠かさず出席すること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になります。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。

教 科 書

『CD 付きドイツ語万華鏡』（三修社）2,500円

参 考 書 等

授業の中で指示します。

そ の 他

CDをつかった授業をおこなう予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II A ・ II B 〔再クラス〕	もも ずみ いきも 百 済 勇	経B 3・4年	2

講義のねらい

受講生は経済学部、法学部、経営学部の3年、4年次生である。それ故に諸君が、ヨーロッパ経済を学習対象とする場合には、ドイツ語の履修が不可欠だ。その修得には、まず徹底して声をだして読むことだ。経済学部、法学部、経営学部の学生を対象としている授業故に、ドイツの新聞の政治・経済記事なども、テキストとして使用する。

履修上の留意点

ドイツ人が英国訪問をした際の「ドイツ人の為の英語会話」をテキストを使うので、毎回の授業出席が前提になる。そしてこうした学習方法は、結果として英会話も力がつくだろう。熱心な学生の受講を希望する。

成績評価の方法

前期、後期の定期試験は行わないが、毎時間、一人一人数回当ての徹底した口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教 科 書

日本で作成した教科書は使わず、その都度、既に指摘したプリントを配布する。その際に初年度で使用したドイツ辞書、ドイツ語教科書を持参すること。

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A	やぎ あけみ 八木 明美	経B1年	2

講義のねらい

初めてフランス語を学ぶ学生を対象に、フランス語の初級文法の説明と演習を行う。日常語は理解でき、辞書を使用すれば簡単な文章なら読めるようにしたい。出席を欠かさないこと。積極的に授業に参加すること。予習・復習、特に復習を欠かさないこと。

成績評価の方法

期末に行う試験ほかに、レポート、小テスト、授業中の積極性なども考慮して評価する。

教科書

斉藤昌三著『新版ル・フランセ』（白水社）1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B	きの した ゆうすけ 木 下 雄 介	経B1年	2

講義のねらい

フランス語の基本文法を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね教科書の章立てにそって授業を進める。

履修上の留意点

初めて学ぶ外国語である以上、予習復習が必要なことは言うまでもない。その反面、扱うのは初歩的な事項ばかりであるから、地道な努力を怠らなければ、マスターするのはさほど困難ではない。学生諸君の努力に期待するゆえである。

成績評価の方法

前期末・学年末試験の成績に平常点を加味して採点する。かならず予習をして出席すること。

教科書

『新・ゆっくりいそげフランス語』（CD付き）（芸林書房）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A・I B 〔再クラス〕	まえ だ のりかず 前 田 祝 一	経B2・3・4年	2

講義のねらい

初めてフランス語を学習するものとして、ABCの基礎から開始します。

講義の内容・授業スケジュール

練習問題をくりかえし教室で実践して、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

履修上の留意点

毎週の授業が、その前までの学習成果の上に立っての新しい項目の勉強ですから、決して欠席しないこと。欠席を重ねると取り残されてしまいますから、御用心。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績評価をしますが、出席状況や教室での課題の消化状況にも配慮します。

教科書

斉藤昌三編『ル・フランセ・ファシル』（白水社）1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	八木明美	経B2年	2

講義のねらい

初級文法をひととおり学習した者を対象にさらに文法学習を通してフランス語を理解することを目的として授業をすすめる。
出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

成績評価の方法

出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

教科書

『ル・フランセ』（白水社）1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB	木下雄介	経B2年	2

講義のねらい

1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

平易な文章で書かれた童話をテキストに用いる。

履修上の留意点

予習復習が必要なことは言うまでもない。テキスト中のすべての単語について、意味ばかりでなく、品詞・用法を確認して授業にのぞむこと。

成績評価の方法

平常点を重視し、前期末・学年末の試験成績を加味して採点する。かならず予習をして出席すること。

教科書

安東次男編注『仔象のババール』（第三書房）825円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	前田祝一	経B3・4年	2

講義のねらい

中級フランス語ですが、初級の後半部分を重点的に復習しつつ、平易な物語を少しずつ読み進めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

学生の側が主体的に授業参加できるように、工夫しましょう。

履修上の留意点

フランス語ⅠA・ⅠBの単位未修者は自分で参考書などを求めて、勉強するよう努めて下さい。

成績評価の方法

成績は基本的には、前・後期のペーパー・テストで評価しますが、出席状況や課題にも配慮します。

教科書

数江編『合本・愉快的なコント』（第三書房）1,100円

中 国 語

中国語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB

(P.136) 参照

【辞書について】

(P.136) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 Ⅰ A	あきもと たすく 秋 元 翼	経B1年	2
中 国 語 Ⅰ B	おうすう ともみ 王 聡		

講義の内容・
授業スケジュール

前期はピンイン（中国式ローマ字表記）で中国語の音節の発音を学んだ後、簡単な文型の学習に入る。後期もひきつづき発音訓練をしながら、初級文法の知識をつみ重ねる。文法事項はプリントで補充することもある。

履修上の留意点

4分の3以上の出席を要する。初級は特に発音が大事なので、中国人教師の正しい発音をよく聞き、大きな声で練習してほしい。学んだ文型を用いての会話練習も積極的姿勢で臨むように。

成績評価の方法

平常の学習態度・到達度を重視し、各期末の試験と合わせて評価する。

教 科 書

尹景春・竹島毅著『《新版》中国語はじめの一步』（白水社）2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 Ⅰ A	しお ばた しんいちろう 塩 旗 伸一郎	経B1年	2
中 国 語 Ⅰ B	うえ はら かおり 上 原 かおり		

講義のねらい

中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や文化的表現、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解し、私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすこと。

講義の内容・
授業スケジュール

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の相当部分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

履修上の留意点

中国語ⅡB（金曜第7時限、上原先生）と連動するので、セット履修のこと。
なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-欠席点。前・後期とも欠席3回を超えると1回につき10点ずつ減点する。

教 科 書

相原・陳・飯田『恋する莎莎』（朝日出版社）2,500円

外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	おおくぼ あき お 大久保 明 男	経B2・3・4年	2

講義のねらい 正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成をめざす。

履修上の留意点 毎回予習、復習が必要。

成績評価の方法 出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書 塚本慶一監修・劉顕著『新版 一年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	そう たい わ 曹 泰 和	経B2・3・4年	2

講義のねらい バリエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。

履修上の留意点 元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法 テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

教科書 相原茂・陳淑梅・飯田敦子『恋する莎莎』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	あき もと たすく 秋 元 翼	経B2年	2

講義の内容・授業スケジュール 中国語の初級を学び終った学生が対象だが、初級の文法を再確認しながら、無理なくやさしい読み物が読める能力を身に付けることを目標にする。内容は、日本語でも使われている成語の由来などがあり、興味深いものである。

履修上の留意点 出席重視、4分の3以上の出席を要する。予習・復習をすること。音声面も重視するので授業中の音読の時には大きな声を出してほしい。

成績評価の方法 平常の学習態度・到達度を重視し、各期末の試験と合わせて評価する。

教科書 讃井唯允著『着実にまなぶ中国語 初級～中級編』（朝日出版社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	あずま 東 せい 映 ぜん 全	経B2年	2

講義のねらい

本講座は一年生で習得したAとBを基礎として、拼音を復習しながら、音読を再確認し、さらに短文を作る能力を高める。それからテキストを通じて、中国の風俗習慣をより多く理解することを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの文法的解説及び初級文法を復習しながら、本文の読みと日本語の翻訳を中心に授業を進める。読みと翻訳については、時に受講生を指名し、正確な発音ができているかどうかを重視する。

履修上の留意点

出席重視、時間厳守、また事前予習することが大切である。

成績評価の方法

出席・授業態度そして試験等総合的に評価する。

教科書

斎藤道彦等共著『中国に行こう』（神保出版）1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	おう 王 そう 聡	経B2年	2

講義のねらい

発音の復習や簡単な日常会話の学習と並行しながら、文法の基礎事項を順次学んでいく。中国語のヒアリングと会話の能力を高めることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期：発音の復習。実際に使われる基本表現の習得。基礎文法の解説。
後期：日常会話と基礎文法の習得を中心にし、発音の復習も念頭に。

履修上の留意点

予習を済ませてあることを前提に授業をする。

成績評価の方法

最終評価は平常点・中間テスト・期末テストの3つの成績で構成する。欠席時間数が授業時間数の4分の1を超えた者は試験を受けられない。

教科書

三瀨正道他『たのしく話そう中国語』（朝日出版社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	うえ 原 ほん かわり かおり	経B2年	2

講義のねらい

一年次に学んだ文法事項を基に、日常生活に必要な会話力・文章力を高めることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書を使用し、通年で教科書を終えるペースで授業を進めます。

履修上の留意点

中国語Ⅰの単位取得者にあわせて教科書を選んでいきます。

成績評価の方法

年間4回以上のテスト（前後期末試験を含む）と出席率で総合評価します。

教科書

壘燕・遠藤光暁『話す中国語 北京篇2』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	ひろかね かなこ 弘 兼 加奈子	経B3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

めざましい発展をとげている現在の中国を「住宅の話」「結婚の話」等の十二の項目に分けて授業を行なう。

翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

三瀧正道・楊光俊 新訂版『現代中国 走馬看花』（朝日出版社）2,000円

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	経B1年	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	なか やま なお じ 中 山 直 次	経B1年	2

講義のねらい

スペイン語文法の概要を、体系的にかつ能率良く修得することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、スペイン語文法の基礎事項を説明した後、理解を深めるために練習問題を解く。ただし、最初の数回は、集中的に発音練習を行う。なお、文法の学習では、授業がやや単調になることが避けられないと思われるので、あらかじめ了解しておいて欲しい。

履修上の留意点

体系的な文法学習のためには毎回の学習事項を漏れなく積み重ねていくことが重要なので、なるべく欠席しないようにして欲しい。また、当然ながら、毎回予習をして授業に臨んで欲しい。

成績評価の方法

授業中の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とする（いわゆる学期未定期試験は行わない）。

教科書

中山著『やさしいスペイン語』（白水社）

参考書等

辞書：宮城他編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書：中山著『初級スペイン語』（白水社）
特に上掲書でなくてもよいが、辞書の他に手頃な自習参考書も一冊利用することを勧めたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	栗林 ゆき絵 <small>くりばやし え</small>	経B2・3・4年	2

講義のねらい	基本的な文法事項を整理して、スペイン語のことばのしくみを学習する。
講義の内容・授業スケジュール	授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。随時、課題、小テストを実施。
履修上の留意点	指示された課題は必ずやってくること。
成績評価の方法	平常点（出席、課題）6割以上、試験（小テストおよび前後期末）6割以上で合格とする。出席が6割に満たない者には単位を与えない。
教科書	堀田英夫『現代感覚でおぼえるスペイン語のエッセンス』（朝日出版社）1,900円
参考書等	『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館） *辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するように。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	亀山 晃一 <small>かめ やま こういち</small>	経B2年	2

講義のねらい	基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。
履修上の留意点	決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。
成績評価の方法	数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。
教科書	開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	なか やま なお し 中山直次	経B2年	2

講義のねらい

辞書が一冊あれば、スペイン語の文献を何とか読解できるようになることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回、場面別の対話分を訳読する。次いで、そこから抽出した文法事項を説明し、関連した応用表現を演習する。なお文法については、テキスト形（変化形）から辞書形（基本形）を復元する作業に重点をおいて説明するなどしながら、読解力の増進を図りたい。

履修上の留意点

毎時間、必ず予習をして授業に臨んで欲しい。

成績評価の方法

授業中の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とする（いわゆる学期末定期試験は行わない）。

教科書

中山著『トーレス一家の人たちと』（芸林書房）

参考書等

辞書・参考書等は、現在持っているもので十分間に合うと思う。ただし、辞書は小型の携帯用だけではやや物足りなくなるので、その場合は、『現代スペイン語辞典』（白水社）・『西和中辞典』（小学館）・『新スペイン語辞典』（研究社）などのうちいずれか一冊を補充して欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	くり ばやし え 栗林ゆき絵	経B3・4年	2

講義のねらい

本年度は会話表現の習得に重点をおく。動詞の活用形を学びながら、基本表現の応用の仕方を理解し、それをういて様々なニュアンスの文を作ることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

活用・文法事項の確認→応用作文、会話表現の説明→応用作文、を交互に行う。

履修上の留意点

辞書（和西つきが望ましい）は授業中に使用するので必ず持ってくる。基本表現は口について出るよう発音練習を繰り返してほしい。

成績評価の方法

出席日数が6割に満たないものは、試験の採点を行わない。小テスト、前後期の試験を合わせて60%以上とることが単位取得の最低条件。

教科書

木村琢也『スペインへのパスポート』（同学社）

参考書等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
* 辞書を所有しない者は上記の辞書を購入するように。

〔ロシア語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	経B1年	2
ロシア語 I B			

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	すぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子	経B2・3・4年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に重点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円＋税

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡA	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	経B2年	2

講義のねらい

ロシア語IAで学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文（関係代名詞、形動詞、副動詞など）をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。

授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、またWindowsで日本語ワープロソフトWordを用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡB	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	経B2年	2

講義のねらい

ロシア語IBで学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。

授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドット（小話）や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	すぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子	経B3・4年	2

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

1年次に使用した教科書と文法表。

その他

プリント配布。教場にて指示します。

英 会 話 II

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL[®]のスコアー450点、TOEIC[®]のスコアー500点程度です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	なが の こう いち 永 野 光 一	経B選	2

講義のねらい

中級レベルの英会話力を養成。前年度、英会話Iを終了していることが望ましい。

講義の内容・授業スケジュール

Q&A やペア・ワーク、グループ・ワーク、ロール・プレイなどを通して英語を聞く・話す力に更にもがきをかけていきます。会話表現の学習やスピーチ・ライティングと発表も行います。

履修上の留意点

授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。

成績評価の方法

出席と授業中の学習活動への積極的な参加を重視。スピーチ・ライティングと発表の成績を入れて総合的に評価。

教 科 書

初回授業時に指定。

英 語 L L II

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階のPC教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。TOEFL®で450点、TOEIC®500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	加 藤 佐 和 子 <small>かとう まわこ</small>	経B選	2

講義のねらい

コミュニケーション向上と TOEIC®のスコアアップを中心にリスニングを強化する。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業は、前半と後半に分けて行う。前半は、動詞のユーズージを中心としたテキストをレッスン1ずつ進む。後半は、TOEIC®の練習問題のテキストを毎回 Unit1ずつ進む。また、最新の海外の話題・ニュースのリスニングも随時行う。毎回小テストを行う。

履修上の留意点

各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。

成績評価の方法

平常点（小テストを含む）50%
まとめテスト50%

教 科 書

English 20（英進社）
5-Minute Quizzes for the TOEIC Test（マクミラン・ランゲージハウス）

外
国
語

4. 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

保健体育科目時間表

(於：本校体育館)

	月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日	
6 時 限	※大石	ニュースポーツ			※村松	卓球	鈴木	健康・スポーツ論*
	秋田	バドミントン			高橋	空手道		
	山口	室内球技			三幣	バドミントン		
7 時 限	※秋田	バドミントン	田中	健康・スポーツ論*	※高橋	空手道		
	大石	ニュースポーツ			村松	卓球		
	山口	室内球技			三幣	バドミントン		

※は、科目の担当当事者

*時間表で教場を確認のこと。

4 . 保健体育科目

健康・スポーツ論 (前期)	〈鈴木 淳平〉	559
健康・スポーツ論 (前期)	〈田中 佳孝〉	560
健康・スポーツ実習 (卓球)	〈村松 誠〉	561
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	〈三幣 晴三・秋田 浩一〉	562
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈山口 良博〉	563
健康・スポーツ実習 (空手道)	〈高橋 俊介〉	564
健康・スポーツ実習 (ニュースポーツ)	〈大石 武士〉	565
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎/応用)	〈休 講〉	
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用)	〈休 講〉	
生涯スポーツ演習 (シーズン前期) (ゴルフ)	〈森本 葵 他〉	566
生涯スポーツ演習 (シーズン後期) (スキー・スノーボード)	〈鈴木 淳平 他〉	567

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論(前期)	すずき じゅん べい 鈴 木 淳 平	経B1選必	2
健康・スポーツ論(再クラス)(前期)		経B2・3・4年	

講義のねらい

健康としての具備すべき条件(13項目)の追求と、それに深くかかわる体育、スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：体育の発生と今日までの各々の時代的変遷と併せて古代体育の目的と現代の体育の具体的目標について。
- 2 時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を人間以外の動物の寿命等を例として認識させる。
- 3 時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時限目：スポーツと体力の関係について
- 5 時限目：運動能力発達の原理
- 6 時限目：運動能力の領域
- 7 時限目：運動能力の構造
- 8 時限目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時限目：総合体力の定義と要素
- 10 時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ生涯について
- 11 時限目：／
- 12 時限目：トレーニング理論全般
- 13 時限目：／
- 14 時限目：／
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法

成績評価は学期末の筆記試験による。

教 科 書

不要

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論(前期)	たなかよし 田中佳孝	経B1選必	2
健康・スポーツ論(再クラス)(前期)		経B2・3・4年	

講義のねらい

煩雑な現代社会の中で、人間が健康を維持しながら日常生活を営む為には安定した栄養摂取、十分な休養(睡眠)と適度な運動が必要である。これら三つは全て不可欠なものであるが、この講義では殊に栄養の観点から健康に係る諸問題を識り、より積極的な健康維持の為の栄養学的方法を学び、ストレスの多い現代社会生活に対抗できる食生活や健康な学生生活を送る為の栄養学をビタミンを中心に学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 人間に必要な栄養素
- 2 戦前・戦後に於ける栄養不足の違いについて
ビタミンとは
- 3 ビタミンの生理作用と薬理作用について
- 4 ビタミン欠乏症について
潜在性ビタミン欠乏症と自律神経失調症について
- 5~7 主なビタミンの働きについて
A、B群、C、D、E、K、U等
- 8~10 健康な学生生活を送る為のビタミン
○飲酒
○喫煙
○スポーツ
○外食、甘党
○ダイエット
○妊娠
- 11~12 健康を保つ食べ物
- 13 筆記試験

履修上の留意点

1. 遅刻は認めない。
2. 授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

成績評価の方法

2/3以上の出席をした者に対し筆記試験を行ない、優~不可の評価を行なう。出席回数不足した者は不合格とする。

参 考 書 等

『健康科学ライブラリー』1、4、7、8、9巻(大修館)
『0歳からのビタミンバイブル』／『貝原益軒の養生訓』／『サーロインステーキ症候群』
『食事療法』／『新健康になるシリーズ』(女子栄養大学)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	むら まつ まこと 村 松 誠	経B1選必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(卓球)		経B2・3・4年	

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境、特にフレックスB学生に対して、例え少ない時間であっても、卓球を通じて体を動かすことを主なねらいとしたい。特に卓球は瞬時の動きを必要とするから、意識的に敏捷な動きを課したい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、目標の説明
- 2 時限目：ラケットの種類の特徴、ラケットの握り方、ラケットとボールを使った遊び
- 3 時限目：サービス、レシーブ、フォアハンドドライブ
- 4 時限目：サービス、フォアハンドドライブ、スマッシュ
- 5 時限目：サービス、バックハンド
- 6 時限目：サービスレシーブ、バックハンド
- 7 時限目：総合練習
- 8 時限目：総合練習 シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目： 〃
- 11時限目： 〃
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目： 〃
- 14時限目： 〃
- 15時限目：まとめ、テスト

成績評価の方法

出席を重視する。

教科書

服装は運動着、体育館用シューズ。
用具は全て貸与する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	みゆき 三幣 ほるみ 晴三・秋田 あきた こういち 浩一	経B1選必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(バドミントン)		経B2・3・4年	

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 3 時限目：スマッシュの基本技術/ネット際のプレー技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目：同 第2日目
- 7 時限目：同 第3日目
- 8 時限目：同 第4日目
- 9 時限目：同 第5日目
- 10 時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11 時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12 時限目：同 第2日目
- 13 時限目：同 第3日目
- 14 時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15 時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

成績評価の方法

服装：一般的な運動服装
シューズ：運動靴 (体育館用として中履きのシューズを使用すること)

教 科 書

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

バドミントンラケット・シャトルコックは大学で用意する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	やまぐちよしひろ 山 口 良 博	経B1選必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)		経B2・3・4年	

講義のねらい

バスケットボール、バレーボールを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム (1次リーグ)
4時限目：ハーフコート3対2、ゲーム (1次リーグ)
5時限目：ハーフコート4対3、ゲーム (1・2次リーグ)
6時限目：ハーフコート3対3、ゲーム (2次リーグ)
7～9時限目：ゲーム (2次リーグ)
(バレーボール)
10時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
11時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
12時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
13～15時限目：ゲーム (トーナメント)

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

そ の 他

種日の内容については、第1回目の授業時に決定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たか はし しゅん すけ 高 橋 俊 介	経B1選必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(空手道)		経B2・3・4年	

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) ゴルフ	もりもと まさる 森 本 葵 他	経B選	2

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月10日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月17日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 7月23日(金) 13:00~16:00 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月6日(月) 実技:12:50~17:20 打撃練習
講義:10:40~12:10 17:30~18:00 《ゴルフスイングの基本》
※注意:1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月7日(火) 実技:13:30~16:30 打撃練習
講義:19:00~21:00 《ゴルフのマナーやエチケット》
 - 3日目 9月8日(水) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義:19:00~21:00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》
 - 4日目 9月9日(木) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義:19:00~21:00 《ラウンドの反省と総括》
 - 5日目 9月10日(金) 実技:9:00~12:00 ラウンド

履修上の留意点

- 生涯スポーツ演習 シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。
- 1) 実習日程: 9月6日(月)~9月10日(金)の3泊5日(現地集合解散)
 - 2) 場 所: ①宿 泊 ホテル安比グランド 電話0195-73-6400 FAX0195-73-5025
岩手県岩手郡松尾村安比高原
②練習場 玉山ゴルフクラブ 電話019-683-3100 FAX019-683-3100
③コース 安比高原ゴルフクラブ 電話0195-73-5311 FAX0195-73-5044
 - 3) 定 員: 40名
 - 4) 集合解散: 現地(ホテル安比グランド)
※希望者多数であれば、格安なバスの利用も可能です。詳細については、オリエンテーションにおいて説明します。
 - 5) 受講料: 39,500円(左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間: 5月24日(月)~6月5日(土)
 - 6) 服装・用具
 - ① 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - ② ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - ③ グローブは、必ず各自で用意すること。
 ※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。成績は、講義・実技の出席状況、講義・実技テスト、実習参加態度等、総合的に評価される。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) スキー・スノーボード	すず き じゅん ぺい 他 鈴木 淳平 他	経B選	2

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月10日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月17日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 12月20日(月) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目 2月14日(月)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 2月15日(火)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 2月16日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 2月17日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 2月18日(金)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習 シーズン後期・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成17年2月14日(月)~2月18日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 30名
スノーボード 20名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：5月24日(月)~6月5日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1~3年生の追試験と重なっているのに特に注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

保健体育

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

経 済 学 科 フ レ ッ ク ス B

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックスAの頁を参照してください。(→P.279)

專科
專門
教育
目

Ⅱ. 専門教育科目

※印の科目については、経済学科フレックスAの頁を参照してください。

基礎ゼミ	〈小杉修二〉	575
基礎ゼミ	〈小林正人〉	575
基礎ゼミ	〈石川祐二〉	576
基礎ゼミ	〈溝手芳計〉	576
基礎ゼミ	〈岩波文孝〉	577
基礎ゼミ	〈有井行夫〉	577
経済学入門	〈溝手芳計〉	578
経済学入門	〈有井行夫〉	578
経済学概説	〈森田成也〉	579
キャリア・デザイン	〈前期：徳永俊明・後期：竹下睿騏〉	580
経済理論ⅠA・資本の原理	〈有井行夫〉	581
経済理論ⅠB・経済システムの原理	〈休講〉	
経済原論Ⅱ・ミクロ経済学	〈小野哲司〉	581
経済原論Ⅱ・マクロ経済学	〈休講〉	
経済学史	〈福原好喜〉	582
経済数学	〈休講〉	
価格理論	〈荒木勝啓〉	583
国民所得論	〈吉野紀〉	584
計量経済学	〈休講〉	
統計原論	〈休講〉	
景気循環論	〈休講〉	
現代資本主義論	〈長島誠一〉	585
社会思想史	〈阿部弘〉	586
経済史	〈休講〉	
日本経済史	〈休講〉	
西洋経済史	〈友松憲彦〉	587
経済政策	〈休講〉	
農業政策	〈休講〉	
工業政策	〈休講〉	
経済地理	〈休講〉	
中小企業論	〈休講〉	
環境経済論	〈休講〉	
公共経済学	〈休講〉	
財政学	〈半谷俊彦〉	588
財政政策	〈休講〉	
地方財政論	〈篠原章〉	588
金融論	〈休講〉	
国際金融論	〈休講〉	
社会政策	〈光岡博美〉	589
人口論	〈休講〉	
教育経済論	〈谷敷正光〉	590
労働経済論	〈休講〉	
日本経済論	〈休講〉	
国際経済論	〈休講〉	
アジア経済論	〈鄭章淵〉	592

中国経済論	〈休講〉	
アメリカ経済論	〈休講〉	
ヨーロッパ経済論	〈休講〉	
EU統合論	〈休講〉	
現代西欧経済論	〈休講〉	
ロシア・東欧経済論	〈山縣弘志〉	593
情報・経済ネットワーク論	〈休講〉	
プログラミング論	〈濱本和彦〉	594
情報処理論	〈岩瀬弘和〉	595
※応用情報処理Ⅰ	〈岩瀬弘和〉	(329)
※応用情報処理Ⅱ	〈岩瀬弘和〉	(329)
※商学総論	〈大吹勝男〉	596
※経営学総論	〈百田義治〉	597
※企業論基礎	〈劉永鵠〉	(300)
※会計学総論	〈石川純治〉	597
※簿記論	〈鈴木勝浩〉	598
※ファインダンス基礎	〈須藤時仁〉	(300)
貿易実務	〈荒畑治雄〉	598
通関実務	〈荒畑治雄〉	599
憲法	〈内田真利子〉	599
民法第一部	〈織田晃子〉	600
民法第二部	〈河野弘矩〉	601
商法第一部	〈川口幸美〉	602
商法第二部	〈島原宏明〉	602
経済法	〈荒井登志夫〉	603
労働法	〈藤本茂〉	604
行政法	〈塩入みほも〉	605
国際法	〈王志安〉	606
社会保障法	〈原田啓一郎〉	607
保険・海商法	〈加瀬幸喜〉	608
商法総則・商行為法	〈関口雅夫〉	608
税法Ⅰ	〈奥村正郎〉	609
税法Ⅱ	〈奥村正郎〉	609
※原書講読Ⅰ・Ⅱ	〈岩波文孝〉	(338)
※原書講読Ⅰ・Ⅱ	〈小杉修二〉	(340)
※原書講読Ⅰ・Ⅱ	〈鈴木伸枝〉	(338)
※原書講読Ⅰ・Ⅱ	〈鄭章淵〉	(340)
※原書講読Ⅰ・Ⅱ	〈福原好喜〉	(339)
※原書講読Ⅰ・Ⅱ	〈溝手芳計〉	(339)
※原書講読Ⅰ・Ⅱ	〈山縣弘志〉	(340)
現代経済事情Ⅰ〔女性とビジネス〕	〈奥谷京子〉	610
現代経済事情Ⅱ〔日本の中小企業とアジア経済〕	〈高田好章〉	611
現代経済事情Ⅲ〔福祉ビジネス〕	〈田村一〉	612
現代経済事情Ⅳ〔情報通信最前線〕	〈西岡洋子〉	613
現代産業事情Ⅰ	〈阿部弘〉	614
現代産業事情Ⅱ	〈休講〉	
会計資格特別演習	〈鈴木勝浩〉	615
情報資格特別演習Ⅰ	〈永井勇〉	616
情報資格特別演習Ⅱ	〈井川俊実〉	617

教員試験特別演習	〈谷敷正光〉	618
※流通経済論	〈大吹勝男〉	(365)
商業政策	〈岩下弘〉	619
マーケティング	〈休講〉	
商品学	〈休講〉	
交通業史	〈休講〉	
消費経済論	〈川島美保〉	620
※口ビジネス	〈石坂正男〉	(370)
経営管理論	〈休講〉	
労務管理論	〈休講〉	
経営戦略論	〈田淵泰男〉	621
企業統治論	〈岩波文孝〉	622
※現代企業論	〈桜井徹〉	(374)
財務管理	〈休講〉	
経営学	〈休講〉	
※非営利組織論	〈塚本一郎〉	(376)
※経営情報システム論Ⅰ	〈斎藤隆〉	(377)
※経営情報システム論Ⅱ	〈斎藤隆〉	(378)
財務会計論	〈休講〉	
会計監査論	〈森田佳宏〉	623
会計情報論	〈石川純治〉	624
管理会計論	〈休講〉	
原価計算論	〈休講〉	
税務会計論	〈高木克巳〉	625
経営分析	〈渡邊智〉	626
上級簿記	〈福嶋隆〉	626
※コンピュータ会計Ⅰ	〈鈴木勝浩〉	(385)
※コンピュータ会計Ⅱ	〈鈴木勝浩〉	(386)
貿易論	〈休講〉	
銀行論	〈齊藤正〉	627
※銀行システム論	〈齊藤正〉	(388)
※現代銀行事情	〈齊藤正〉	(389)
証券市場論	〈休講〉	
保険論	〈休講〉	
ビジネス事例研究	〈百田義治〉	628
ビジネス英会話Ⅰ	〈清水絹代〉	628
ビジネス英会話Ⅱ	〈清水絹代〉	629
インターンシップ	〈浅野克巳〉	629
インターンシップ	〈瀬戸岡紘〉	630
現代産業事情Ⅲ	〈代田純〉	630
演習Ⅰ	〈阿部弘〉	631
演習Ⅰ	〈大吹勝男〉	631
演習Ⅰ・Ⅱ	〈百田義治〉	632
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	〈荒木勝啓〉	632
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	〈飯田泰之〉	633
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	〈岩波文孝〉	634
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	〈小栗崇資〉	634
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	〈齊藤正〉	635

演習	I	・	II	・	III	〈清	水		卓	636
演習	I	・	II	・	III	〈代	田		純	636
演習	I	・	II	・	III	〈鈴	木	伸	枝	637
演習	I	・	II	・	III	〈曾	我	信	孝	637
演習	I	・	II	・	III	〈鄭		章	淵	638
演習	I	・	II	・	III	〈德	永	俊	明	639
演習	I	・	II	・	III	〈友	松	憲	彦	640
演習	I	・	II	・	III	〈中	濟	光	昭	641
演習	I	・	II	・	III	〈福	原	好	喜	642
演習	I	・	II	・	III	〈溝	手	芳	計	643
演習	I	・	II	・	III	〈森	田	佳	宏	643
演習	I	・	II	・	III	〈谷	敷	正	光	644
演習	I	・	II	・	III	〈山	縣	弘	志	645
演習	I	・	II	・	III	〈吉	田	敬	一	645
演習	II					〈大	石	雄	爾	646
演習	II	・	III			〈阿	部		弘	646
演習	II	・	III			〈石	川	祐	二	647
演習	II	・	III			〈大	吹	勝	男	647
演習	III					〈百	田	義	治	648
演習	III					〈岩	下		弘	648

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎ゼミ（前期）	小杉修二	経B1選	2

講義のねらい

私たちの生きている現代社会は、豊かな社会、グローバル化、デジタル・エコノミー、IT革命等さまざまな特徴づけられています。産業革命以来の人類と経済の歩みを振り返ることによって、私たちが現在立っている場所を確かめていくことによって経済学を学ぶ準備をします。

講義の内容・授業スケジュール

ビデオ、新聞記事、雑誌論文等を用いて“経済成長”について、そのさまざまな側面を学びます。文章のまとめ方、要約のし方、自分の意見の発表のし方、本や雑誌の調べ方についても勉強します。

履修上の留意点

もの事をよく理解するには他人の話を聞くだけでなく、自分で首尾一貫した話をしてみる、話し切る、といった経験が必要です。前向きに取り組みましょう。

成績評価の方法

出席とゼミでの勉学意欲・努力を総合評価します。

教科書

特に定めません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎ゼミ（前期）	小林正人	経B1選	2

講義のねらい

経済学部で学ぶための基礎的能力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール

新聞記事、雑誌論文、社会科学に関連した新書などを素材にして討論する。詳細は最初のゼミで相談する。

履修上の留意点

欠席するときは事前または事後に、欠席理由を明記した欠席届を提出する。

成績評価の方法

出席を重視。

教科書

なし

参考書等

授業中に紹介

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎ゼミ (前期)	いしかわ ゆうじ 石川 祐二	経B1選	2

講義のねらい

「大学で学ぶ」とは、どういうことなのか？ 高校までとは異なり、自主的に様々な課題に取り組まなければならない。しかし、そのような課題に取り組むためには、それに応じた方法・技術が必要となる。そのような方法・技術を駆使した上で、初めて専門的な知識を獲得することができるのである。そこで、この基礎ゼミでは、勉強のための方法・技術を身につけることが第一の目標となる。

また、より高度な経済に関する知識を得るためには、その基礎となる知識の獲得が欠かせない。そこで、経済に関する基礎知識を得ることが、第二の目標となる。

これらの目標を達成し、その後の大学生活における自主的な学習に結びつけてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

基礎的な経済の問題を題材としながら、データの集め方、分析の方法、レポートの作成、発表といった基本スキルを実践的に学んでいく。経済の知識獲得と基本スキルの獲得とは、同時並行的に行われる。必要に応じて、新聞などを用いながら、時事的な話題にも触れることにする。

履修上の留意点

ゼミという少人数制の形式であるため、毎回出席することが基本となる。また、大教場での講義とは異なるので、積極的に質問・意見を述べることを望ましい。

成績評価の方法

出席状況と、レポート・発表を総合して判断する。

教科書

初回のゼミにおいて指示する。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎ゼミ (前期)	みずて よしかず 溝手 芳計	経B1選	2

講義のねらい

高校までの学習と大学での学習は共通点もありますが、異なることがたくさんあります。高校まではどちらかといえば「教わる」ことが多かったと思いますが、主体的に「学ぶ」ことが特に大切になります。そのためには、課題や問題を発見したり、情報や知識を集めて解決の道筋を考えていくことが必要です。また、個人学習だけでなく、よりよい答えを求めてほかの人と議論する力も大切になります。

この科目は、大学での学生生活を有意義に送るために必要な学習姿勢や学習スキルを獲得するのを、援助することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

細部は、状況に応じて変更するかもしれませんが、つぎのような項目を取り上げる予定です。

- ・ことばで自分を表現しよう (自己紹介、プレゼンテーション)
- ・短い文章を読んでみよう (タイトル探し、内容紹介)
- ・情報を探してみよう (新聞記事探し、図書館見学)
- ・情報を整理してみよう (要約メモ作成)
- ・分かったことをことばで説明してみよう (レジュメ作成、プレゼンテーション)
- ・質問しよう、意見を言ってみよう (問題提起、批判)
- ・文章の組立を考えよう (文章の構成)
- ・文章で説明しよう (簡単なレポート作成)

履修上の留意点

単にことばで覚えたり意味を理解したりするだけではなく、実際にやってみることを重視します。

成績評価の方法

出席や授業中の取り組み等を総合的に評価します。再試験はありません。

教科書

特に定めません。必要な教材は、コピーを配布します。

参考書等

木下是雄『レポートの組立方』(ちくま学芸文庫)

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎ゼミ (前期)	いわ なみ ふみ たか 岩 波 文 孝	経B1選	2

講義のねらい

大学で経済学を学ぶ目的や経済学の学び方を少人数のゼミナール形式で学習します。基礎ゼミでの学習を通じて受身的な学習から能動的な学習への転換を目指していきます。この基礎ゼミでは、経済学の中でも企業経営を題材に取り上げ、経済学を学ぶ意義について学生の皆さんと議論していきたいと考えています。また、図書館の利用・活用の仕方や情報センターの利用の仕方など経済学を学ぶための情報収集・活用方法も習得していきます。

講義の内容・授業スケジュール

新聞や雑誌記事を教材として、現代の経済問題や企業経営の新動向を取り上げ、受講生が社会的な問題を発見し、興味・関心を深められるようディスカッションを中心に授業を進めていきます。

履修上の留意点

現代社会の諸事情や企業経営に興味・関心を持って受講してもらいたい。

成績評価の方法

授業への出席、発表、レポートの内容など平常点で評価します。(試験は行いません。)

教科書

随時プリントを配布します。

参考書等

随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎ゼミ (前期)	あり い ゆき お 有 井 行 夫	経B1選	2

講義のねらい

皆さんは、新聞を読んでいますか。もちろん！？ スポーツ欄とテレビ番組欄をね！ まあ、そう言わないで、新聞を手にとってじっくりながめてみましょう。ページ数がかなりあって意外に重いですね。最初のページは、本日の主要記事。連続もの特集欄もありますね。ページをめくっていくと、国内政治、国際政治経済、経済とつづいて、教育、家庭、女性、文化、科学技術、それから株価のページ、スポーツ、地域のページがあって、交通事故犯罪欄や社会欄、そしてテレビ番組表で締めくくり。大事なものがおちているって？ そう、広告欄は重要ですね。週刊誌の広告もね。難しい学術書のようにとっつきにくくはないけれど結構内容があるでしょう。これが教科書です。大学生をばかにするない、ですって？ いや、マジな話。新聞に始まり、新聞に終わる。現実社会に始まり、現実社会に終わる。これが経済学をふくむ社会科学の中身なのです。諸々の学術書は、新聞を読んでわからなかったことをわかるように解きあかしたもので、そう考えてもらってさしつかえありません。当基礎ゼミの目標は、新聞になじむこと、です。

講義の内容・授業スケジュール

毎週、授業に当日の朝日新聞を持参してください。それから自分の関心をもった記事について感想と意見を数行用意してきてください。何もわからないよ～、だって。いや、独断と偏見でいいのです。理解があって意見をもつのではなく、実は、意見があって理解が進む、のです。ゼミの仲間に自分の意見を堂々と説明する練習をしましょう。最後に、私の独断と偏見を開陳。

履修上の留意点

用意できなくてもゼミに出席しましょう。

成績評価の方法

成績は平常点。出席点8割です。

教科書

当口の朝日新聞 (私は朝日からレポートをもらっていません、念のため)

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学入門(後期)	みづ 溝 手 芳 計	経B1選	2

講義のねらい

①経済学を初めて学ぶ学生の皆さんに、経済学とはどんな学問か、経済学を学ぶとどんなことが分かるようになるのかを知ってもらおう。②経済学の専門科目を学習するに当たって知ってほしい経済学の基礎の基礎にあたる基本的知識を説明する。これらふたつを目標として授業をおこないます。もし、経済学とは価格や所得、失業率など数値化できる事柄だけを扱う学問だと思っている人がいたら、そんなことはありません。地球環境問題だって、食品の安全性問題だって、消費者問題だって、経済学に関わる重要なテーマです。一緒に考えてみませんか。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代社会が直面する諸問題と経済学(4回程度)
2. 日本経済の歩みと今(4回程度)
3. 市場経済の仕組み(4回程度)

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は小試験と定期試験を基本とします。再試験は行いません。

教科書

指定しません。必要な教材はプリントして配布します。

参考書等

- ・石弘之『地球環境報告II』(岩波新書)
- ・内橋克人『共生の大地』(岩波新書)
- ・神野直彦『地域再生の経済学』(中公新書)
- ・暉峻淑子『豊かさとは何か』(岩波新書)

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学入門(後期)	あり い ゆき お 有 井 行 夫	経B1選	2

講義のねらい

皆さんは、高校までに、政治経済のほか、日本史、世界史、地理など、現実の社会経済にかかわるいくつかの科目を学んできたはずです。そこでは教科書を理解し記憶する努力を重ねてきたことでしょう。

こうした努力によって獲得した知識は、それ自体、有意義なものです。ところがよく考えてみると、現実の社会、現実の経済を学んでいくさいの本当の唯一の教科書は、私たちが生きているこの社会そのもの、この生きた経済そのものです。

教科書に記載されている知識の体系は、実は、貧困や生活の格差、景気変動、インフレ、国際的衝突など、現実の生きた経済現象が私たちに投げかけている問題について、先人たちが解きあかしてきた背景理解の到達点なのです。経済学をいきいきと学ぶための大前提は、現実の社会・経済が私たちに投げかけている問題そのものを、共有することです。

講義の内容・授業スケジュール

以上の目的に合致した最高の教材は「今日の新聞」です。果たして、「今日」という日になが起きるのかわかりませんが、「今日の新聞」の主要記事について、背後の問題を明らかにします。予想されるテーマは、イラク戦争の政治経済学、グローバル化、中国とインド、EU、日本の構造改革、景気の動向、雇用問題、商業、金融問題、経済と政治、企業中心社会の改革、環境問題、科学技術、自由主義と社会主義、20世紀の評価、等々。

履修上の留意点

とにかく出席してください。

成績評価の方法

平常点、つまり、授業への出席と簡単なレポートで評価します。

教科書

経済学教育学会編『経済学ガイドブック』(青木書店)2,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 概 説	もり た せい や 森 田 成 也	16入学生/経B1選	4
		15以前入学生/経B1必	

講義のねらい

経済学は、生活や仕事にとって最も重要な領域を理論的に解明しようとするものです。経済学は決して、難しいカタカナ用語や数式が飛び交う世界だけではありません。労働と生活に密着し、人々がより人間らしい生活と労働を実現していくために必要不可欠なものです。しかしながら、この学問は同時に、自然科学などと違って、経済を論じるその人の立場によって大きく左右されるものでもあります。普通の生活者や働く人々の視線で経済を見ていくことが重要です。

講義ではまず、前期で、基本的な経済学の基礎理論を講義し、資本主義経済の基礎的な運動法則を学びます（多少、後期にくい込む可能性あり）。後期では、それをふまえて実際に日本のいくつかの経済現象を具体的に理論に照らし合わせて検討し、どこまでが一般理論で説明ができ、どこからが特殊な日本的な条件によって説明されるべきなのかを学んでいきたいと思えます。

講義の内容・ 授業スケジュール

（前期）基礎的な経済理論を学ぶ

(1)はじめに (2,3)商品・貨幣 (4,5,6)資本と剰余価値 (7)貨金 (8,9)資本の蓄積
(10,11)利潤と利潤率 (12,13)利子生み資本と株式資本 (14,15)独占資本、国家、外国貿易
(16)世界市場と帝国主義 (17)19世紀資本主義と20世紀資本主義

（後期）日本経済の基本構造を学ぶ

(18,19)戦前の日本と戦後日本経済の出発 (20,21)現在の日本の基本形を作り出した高度経済成長
(22,23)企業社会の形成と日本的働き方の確立 (24)低成長期以降の企業社会の肥大化
(25)企業社会と女性 (26)クルマ社会日本 (27,28)経済大国日本とバブル経済
(29,30)長期不況と構造改革下の日本経済 (31)日本経済の未来

履修上の留意点

ノートをこまめにとってください。試験にも役立ちます。

成績評価の方法

学年末の試験が中心です。

教 科 書

とくにありません。

参 考 書 等

松石勝彦『現代経済入門』（青木書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
キャリア・デザイン	前期：徳永 俊明 後期：竹下 睿駿	経B・経A1・2選 12以降入学生/商1・2選	4

講義のねらい

【前期】講義「キャリア・デザイン」——「キャリア」とは、組織の一員として自分の能力を発揮し、自分自身の人生を生きていくことを意味します。自分らしい生き方を実現するためには、どのような知識・技能を身につければよいか考え、実践することが「キャリア・デザイン」（人生設計）です。21世紀の生涯学習社会において個人が自立するためには、職業人として、家族やコミュニティの一員として、遊びや学びの主体として、自分の能力を生かし、「キャリア・アップ」や「キャリア・チェンジ」を行うことが重要になります。

この講義では、個性的創造的キャリア形成のために自ら考え、判断し、意思決定をしていくうえで必要な基礎能力を身につけてもらいたいと思います。

【後期】ゲスト講師による「キャリア・デザイン（人生設計）論」——後期は、広く各分野で生きる人々をゲスト講師として迎え、さまざまな「キャリア」=それぞれの方の労働・生活・人生の喜怒哀楽の実際を紹介・評価してもらいます。各講師の個性あふれる「人生」の姿はきつと大きなヒントになるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】1. 21世紀はどんな時代・社会になるのか？——生涯学習社会と「キャリア・デザイン」

2. ライフサイクルと職業生活——就職と就労の意味について

3. 企業による雇用システムの変化と「就職戦線超氷河期」への対応——学業と就職準備活動の両立

4. 「キャリア・デザイン」と大学の役割——学問を学び、多様な人びとと交流することの意義

5. 大学生活をどのように過ごすか？——進路選択（職探し）は自分探しである。

【後期】各ゲストの講義は1回づつです。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

前期・後期各50点満点として、合算して100点満点とします。

【前期】記述形式の試験を行います。出席点と試験の結果を総合して評価します。

【後期】毎回の出席と期末のレポートによる評価を予定していますが、履修人数や講義の展開の状況などによって変更されることもあります。

教科書

【前期】教科書は使用しません。講義のつど参考書を紹介します。

【後期】教科書・参考書とも、特にありません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済理論ⅠA・資本の原理	あり い ゆき お 有 井 行 夫	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

経済のエネルギーとは、水力や火力、電力、原子力など自然力一般ではなく、人間自身のエネルギー、すなわち労働力です。地中における諸資源の地質学的生成、原生林や大気の生成など、人間エネルギーの関与しない自然的生成は経済関係を構成しません。経済システムとは、人間自身のエネルギーを組織しバランスよく発揮させている仕組みなのです。そして今日の経済システムは、かぎりない利潤追求を活動動機とする企業の商品生産にもとづいて実現されています。

さて、企業のかぎりない利潤追求を意味づけているのは、利潤の再投資運動、すなわちお金を産むお金の運動です。この運動のことを資本といいますが、資本こそは、現代の経済システムの編成原理です。経済理論ⅠAは、資本の存在と意味について、経済活動の原点から掘り下げます。なお、経済理論ⅠBは、資本の意義の理解を前提して資本による社会的諸制度の意味づけをとらえるⅠAの発展コースです。また、経済理論Ⅱの系列（ミクロ経済学、マクロ経済学）は、おなじく現代経済システムの構造を原理的に考察しますが、経済理論Ⅰ系列とはアプローチの方法がちがいます。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1-4)第1章=経済学の対象と方法(経済理論ⅠAの「3つの精神」)。(5-8)第2章=市場経済。(9-13)第3章=資本と増殖。
(後期) (14-20)第4章=価格と利潤。(21-26)第5章=資本の再生産と蓄積。

履修上の留意点

骨格的内容の理解に時間を集中します。卒業年次生について、「再試験」を実施します。

成績評価の方法

成績評価は、アンダーラインしたテキスト箇所のみから出題した実力試験によります。

教科書

平井ほか『経済原論』(有斐閣)1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学	お の てっ し 小 野 哲 司	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

この授業ではミクロ経済学の初歩的な講義を行う。1年生も受講する授業なので、経済学の知識がゼロでも理解できるように、最も基本的なところから話を進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

経済分析の基本である需要曲線と供給曲線の性質およびその変化、需要と供給の均衡についてまず理解してもらう。その後消費者余剰分析、独占均衡との比較、外部性の考慮など、均衡分析の応用を講義する。以下のような内容を予定している。

- | | |
|--|--|
| 1. 消費と需要(4~5月)
消費者行動と需要
需要曲線の性質
需要曲線の移動 | 4. 生産の社会的利益(6~7月)
消費者余剰
生産者余剰
余剰分析の応用 |
| 2. 生産と供給(5~6月)
企業行動と費用
費用と供給曲線
供給曲線の移動 | 5. 独占(9~10月)
競争と不完全競争
独占と完全競争の比較
寡占とゲーム理論 |
| 3. 需要と供給の均衡(6月)
競争と市場の均衡
経済状況の変化と価格の変化 | 6. 外部性(11~12月)
私的費用と社会的費用
外部不経済と課税・補助金 |

成績評価の方法

基本的に試験による。学年末試験1回のみか、中間試験も実施するかは未定。中間試験を行う場合は1か月前位までに予告する。

教科書

授業時にプリントを配布するので、教科書使用の予定はない。参考書などは授業の中で言及する。

科専門
教育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 史	ふくはら よしのが 福 原 好 喜	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

学問としての経済学の成立は、近代ブルジョア社会の生誕と軌を一にしている。例えばイギリスの重商主義、フランスの重農主義、ドイツの歴史学派、そして又イギリスの古典学派などの経済諸理論は、一方では世界資本主義の発展段階に、そして他方ではその国民経済の編成過程によって色濃く規定されている。経済学の歴史を単に経済学者による経済理論の受容、継承の歴史としてではなく、近代ブルジョア社会の成立、並びにその変容の過程の中で捉えようと思う。近代における経済学の成立・体系化の歩みを、近代資本主義の成立並びに確立過程の中に位置づけるというのが私の基本的視角である。講義は重商主義段階からマルクス経済学の成立までを包括する。経済学の歴史とはまさしく近代ブルジョア社会の自己認識の歴史に他ならない。かかる観点から、学生諸君に経済学及び経済学史に対する心底からの興味を喚起できればと思っている。授業ははじめに近代ヨーロッパの生成史を英、仏、独について概括し、後半で各国経済学の成立史を講義する。

履修上の留意点

出席点を40点つけるので不真面目な人はとらないでほしい。大人数の授業となるので、私語居眠りは厳禁、ひどい場合は退場願う。授業は学生の興味ある具体的な話から始める。

成績評価の方法

出席もせず単位がほしいなどという不屈きな学生がいるので出席を頻繁にとる。テストも厳格につけるつもりなので、それでもという熱意のある学生のみとってほしい。前期レポート、後期試験。再試実施。

そ の 他

一部で横道の話の方が面白いという風評があるが、学生の次元で経済学の話をしよという意図であって、本人には少し不本意な評価である。授業には全力投球する。PHS禁止。履修者多数で授業の混乱が予想される場合、履修者の制限をする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
価格理論	あらきよしひろ 荒木勝啓	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/経2・3・4選	4

講義のねらい

授業のあらまし：価格理論の目的は、経済の中でマイクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することにある。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノ・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されるかもしれない。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやマイクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出される as if パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる「経済」現象は生じないのである。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始め、水に価値が生まれはじめる。

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといってもよい。従って講義のかなりの部分がそのために準備と練習にあてられると思ってい

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、偏微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR 曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 消費曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノ・ナッシュ均衡
- (21) クールノ・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。再試験実施。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国民所得論	よしの 吉野 紀	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/術2・3・4選	4

講義のねらい

為替レートや株価はなぜ減価したり、高騰するのか。失業率は何故に上昇するのか。物価の変動はどのような影響を我々の生活に及ぼすのか。これらはいずれもマクロ経済学の主要な課題である。

失業率5.4%といえは実数にして300万人余の労働力人口が失業していることを意味する。特定の個人が就業しているか失業しているかは、その個人のスキル（能力）などによるところが大きく、国民経済全体の失業率とは直接の関係はない。しかし、後者は国民経済全体の景況状態の良い指標ともなる。

この授業では総体的な国民経済の動きを説明することが主題となる。個々人の日常的な経済活動の意志決定は受動的に大きな影響を受けるが、能動的に影響を及ぼすことを直感的にも経験的にも把握することは難しい。したがって、マクロ経済の仕組みを理解するには豊かな想像力と鋭い推理力が求められる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成13年日本経済の循環図」（配布資料）
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷敏 『入門マクロ経済学』（日本評論社）第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第9章
4. 「金融政策、財政政策」……………4回
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP出版）第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミクス（上）』（第6版）（多賀出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代資本主義論	ながしませいいち 長島誠一	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/第2・3・4選	4

講義のねらい

第2次大戦以後の資本主義を国家独占資本主義と規定し、その概念・構造・循環・発展について、戦後の日本資本主義を説明しながら考察する。人間の解放（自立した個の連帯）視点から企業と市場の社会（資本主義社会）を批判的に解明する。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に沿って以下の順序で講義する。

- (a) 戦後復興
- (b) 戦後資本主義と日本の資本体制
- (c) 戦後日本資本主義の社会体制
- (d) 戦後日本資本主義の循環と発展
- (e) 高度成長期の景気循環
- (f) スタグフレーション下の景気循環
- (g) バブルの形成と景気循環
- (h) バブル崩壊後の景気循環
- (i) 日本資本主義の構造変化と構造危機
- (j) 日本社会の構造改革
- (k) 21世紀の社会主義像

履修上の留意点

教室になるべく出ること。教科書を用意すること。歴史としての現代に関心を持ってほしい。

成績評価の方法

前期（夏休み中）に臨時試験。後期に定期（教場）試験。成績は前・後期の総合判断による。

教科書

長島誠一著『戦後の日本資本主義』（桜井書店）2001年、本体3,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会思想史	あべ ひろし 阿部 弘	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	4

講義のねらい

「経済学」という科学は、人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持ちます。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしています。

この講義では「経済学」の成立と「市民社会」との関係の明らかになることを目標にしていますが、「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた、「帝王学」的な政治・経済政策論に求められるから、最初にその実態を、東洋社会の「経世済民論」とインド・ヨーロッパの農業政策技術や重商主義的な政策論の展開に観ていくことにします。第2部として近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」、およびその後に登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察します。そのうえで、現代社会にあって、「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

年間の講義は次の構成となります。

第1部：「経世済民」という考え方

第1章：古代中国での「経世済民」思想

第2章：インド・ヨーロッパ的帝王学

第3章：日本における輸入学問としての「経世済民論」

第2部：ヨーロッパ社会での「経済学」の形成過程

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開
－マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程

第3章：マルクスの経済学体系

成績評価の方法

- 「成績評価」は年間4回のレポートの作成で行います。
レポートは5月・7月・10～11月・12月におこないます。したがって「定期テスト」は行いません。
年4回のレポートを行うのは、講義形式のばあいには評価を年1回のテストで行いますと、となく受講生の皆さんと講師との交通がみられなくなるからです。
レポートの形式は、5月の第1回目は講師が受講生全体に共通なテーマを設定し、第2回以後は作成されたそれぞれのレポートからのテーマをも設定します。
- 上記のように年間4回のレポートを皆さんとともに実施していくのですから、回数が少なくてもよいとか、1回だけレポートを密かに作成して「送りつけ」てきたり、私のポストに投げ入れたりしても、評価が悪くなるだけですから注意してください。
- 「評価」はレポートで行いますので、「定期試験」および「追試験」とか「再試験」は行いません。

教科書

阿部弘『労働と所有』（八千代出版）3,200円＋税

その他

受講生と講師が「レポート」外で連絡し得るようにするために、講師の住所を下に記しておきます。

阿部弘：〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204 TEL03-3976-7984

研究室：第2研究館5F No.2538 TEL03-3418-9360

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 経 済 史	とも まつ よし ひこ 友 松 憲 彦	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は15・6世紀以降の近代ヨーロッパと北アメリカの経済発展の歴史について説明しますが、中心となるのは産業革命（工業化）の問題です。

現在、世界経済の3極を成すのは、EUとして政治経済的統合を進める「ヨーロッパ」、アメリカ合衆国を核とする「北アメリカ」、そして近年成長めざましい日本を中心とする「東アジア」です。これらの地域は、いずれも工業化（産業革命）に成功したか、あるいは成功しつつあるという共通の歴史的経験をもっています。

工業化とはなにか、それはどのようにして起り、経済や社会をいかに変化させたのか。この講義では世界最初の工業化に成功したヨーロッパ（とりわけイギリス）の事例を中心に説明します。さらに、ヨーロッパの工業化は他の地域にいかなる影響を与え、世界経済をどう変容させたのか、工業化がもたらした光だけでなく影にも注目します。

近代の西洋資本主義の歴史をたどることによって、現在の世界経済の成立過程と、それが抱える諸問題を理解するうえでの手がかりを得ることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 講義のねらい
2. 前近代の経済 - 封建制の構造 -
 - (1) 農村と農業
 - (2) 都市と商工業
3. 産業革命への道 - 資本主義の成長 -
 - (1) 「封建制の危機」と資本主義の誕生
 - (2) 農村工業の成長
 - (3) 海外市場の発達
 - (4) 国内市場の発達
4. イギリス産業革命（工業化） - 資本主義の確立 -
 - (1) 産業革命の原因
 - (2) 産業革命の過程
 - (3) 産業革命の結果
 - (4) 経済・社会問題の改革
5. 後発国の工業化 - 世界資本主義の形成 -
 - (1) イギリス経済と世界経済
 - (2) 後発国の工業化
6. 近代の経済 - 資本主義の変質 -
 - (1) 「大不況」と経済構造変化
 - (2) 国際経済
 - (3) 帝国主義と植民地
7. 現代の経済

成績評価の方法

期末試験、授業中の小レポートに出席状態を加味する。再試験は実施。

教科書

とくに指定しないが毎回資料を配布する。

参考書等

岡田泰男編著『西洋経済史』（八千代出版）
 長岡・太田・宮本編著『世界経済史入門』（ミネルヴァ書房）
 加勢田博編『概説西洋経済史』（昭和堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
財政学	はんやとしひこ 半谷俊彦	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

政府（国や地方自治体）の経済的役割は市場経済を補完することであり、これには①資源の効率的配分、②富と所得の再分配、③経済の安定化がある。この授業では、こうした目的を達成するためには、政府がどのように制度を持ち、どのように行動すべきであるのかを、主にお金の集め方と使い方という観点から学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期は政府が持つ経済手段（財政制度）を学ぶ。
1. 予算制度（政府によるお金の管理）
 2. 政府支出（政府によるお金の使い方）
 3. 租税制度（政府によるお金の集め方）
 4. 財政調整（国と地方自治体の間の任務と財源の分け方）
- 後期は政府の経済活動（財政政策）を学ぶ。
1. 資源の効率的配分（政府による財・サービスの供給）
 2. 富と所得の再分配（所得格差の縮小）
 3. 経済の安定化（景気変動の抑制、経済成長の促進）

履修上の留意点

財政学は、政府の活動を通じて私たち国民の生活を向上させるにはどうすべきかを考える学問である。授業では原理・原則を中心に学習を進めるが、そうした理論は実際の政治状況との関連の中で始めて意味を持つ。日頃から新聞に目を通し、現在は何が問題となっているかを知っておくことが望まれる。

成績評価の方法

原則として前期末および学年末の試験により評価するが、出席状況も加味する。

教科書

里中恆志・八巻節夫編『新財政学（改訂版）』（文眞堂）2002年

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方財政論	しのはらあきら 篠原章	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/経2・3・4選	4

講義のねらい

地方財政の枠組みを理解するとともに、地方財政の基本問題を分析するための基礎的な手法を学ぶことを主眼とする。時事問題なども、折に触れて取り上げる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

- 年間を通じて以下の項目を講義する予定である。
- [基礎編]（主として前期）
1. 地方財政論を学ぶということ
 2. 地方公共支出の役割
 3. 地方公共支出の現状
 4. 地方公共支出と公共財供給
 5. 租税体系と地方税
 6. 地方税制度の歴史と現状
 7. 負担と受益
 8. 地方債の基礎知識
- [応用編]（主として後期）
1. 分権と集権
 2. 地方財政調整の実態
 3. ケーススタディ：沖縄問題と地方分権
 4. 地方財政と地域開発
 5. 地方財政制度の国際比較
 6. ケーススタディ：高齢化と地方財政
 7. ケーススタディ：「東京」の社会経済学

履修上の留意点

初学者を対象としたコースだが、財政学の知識があれば、より深く理解することができる。したがって財政学の履修経験があるか、財政学を履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

学期末の筆記試験と授業時の課題（レポート）等によって総合評価する。再試験実施。

教科書

片桐昭泰・兼村高文・星野泉共編著『地方財政論』（税務経理協会刊）2,800円（本体価格）

参考書等

参考書・参考文献・資料等は随時指示する。

その他

テキスト・参考書以外に、新聞等の時事的な資料やビデオ資料等もしばしば利用する予定である。質問等については電子メール（akirashinohara@ma2.justnet.ne.jp）でも受けつける。また、篠原ホームページ（<http://www.daito.ac.jp/~akirashi/>）にも講義関連の情報を掲示するので活用してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会政策	みつ 光 がおが はく み 博 美	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上のべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。但し、受講者が多い場合は実施できない場合もある。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育経済論	やしきただみつ 谷 敷 正 光	経B・経A1・2・3・4選	4
		12以降入学生/術2・3・4選	

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、2000年に向けて一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の経済と教育の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育

- (1) 日本の産業化とリテラシー・識字率
- (2) 日本の経済成長と教育
- (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
- (4) レーガン大統領の経済と教育 1 「危機に立つ国家」(一部ビデオ)
- (5) レーガン大統領の経済と教育 2 「国家は応える」(一部ビデオ)
- (6) ブッシュ大統領の経済と教育 1 「全米教育サミット」(一部ビデオ)
- (7) ブッシュ大統領の経済と教育 2 「2000年のアメリカ」(一部ビデオ)
- (8) クリントン大統領の経済と教育 「アメリカ教育法」(一部ビデオ)
- (9) サッチャー首相の経済と教育 「教育改革法」(一部ビデオ)
- (10) ブレア首相の経済と教育 「福祉のニューティールとオプティングアウト」(一部ビデオ)

2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策

- (11) 学制時代における経済と教育 1 富国強兵・殖産興業 (映画)
- (12) 学制時代における経済と教育 2 学制公布と「行政管理学校」
- (13) 教育令時代における経済と教育 1 工場払下と産業の勃興 (一部ビデオ)
- (14) 教育令時代における経済と教育 2 教育令公布と実業補習学校・徒弟学校
- (15) 学校令時代における経済と教育 1 産業革命と紡績業の発展 (一部ビデオ)
- (16) 学校令時代における経済と教育 2 学校令公布と実業教育・「機業地学校」
- (17) 実業学校令時代における経済と教育 1 重工業の発展と資本主義の確立 (一部ビデオ)
- (18) 実業学校令時代における経済と教育 2 実業学校令公布と「委託教育」「工場内学校」

3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策

- (19) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法公布 (一部ビデオ)
- (20) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (21) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (22) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (23) 高度成長終焉後の経済発展と教育

履修上の留意点

- ① 年間5～6回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のためビデオ・映画を使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- ① 授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ② 再試験を実施する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間40～50枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参 考 書 等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。

小林泰宏『アメリカで進む教育改革』（朝日新聞社）

森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）

G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）

舟場正富『ブレアのイギリス』（PHP新書）

ブライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』（エイデル）

A・グリーン、J・ハリスン『英国病』（新評論社）

楫西光速『日本資本主義発達史－産業資本の成立と発展－』（有斐閣）

猪木武徳『学校と工場』（読売新聞社）

三好信浩『日本の女性と産業教育－近代産業社会における女性の役割－』（東信堂）

天野郁夫『教育と近代化』（玉川大学出版部）

沼口博『学校教育と経済発展』（学文社）

その他は講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アジア経済論	ちよん 鄭 ちやん 章 よん 淵	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界経済の動向にも注意を払いたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 経済発展の前史
 - (1) 植民地経済の概要
 - (2) 戦後経済発展の初期条件
2. アジアNIEsの経済発展
 - (1) アジアNIEsの範疇と経済発展の特徴
※NIEsの用語説明、経済開発戦略の特徴、産業の特徴
 - (2) 開発独裁体制の成立
※韓国の事例、その他の開発独裁
 - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN諸国の経済発展
 - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
 - (2) ASEANの歴史
 - (3) 日本企業の進出状況

〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
 - (1) アジアNIEs論
 - (2) 東アジア経済発展論
6. アジアにおける地域経済協力
 - (1) APECの発展過程
 - (2) ASEANの自由化過程
 - (3) その他の中小規模経済圏
7. アジア経済の現状
 - (1) アジア通貨危機の発生とその影響
 - (2) その他の諸問題…環境問題 etc.
 - (3) 日本とアジアとの関係の展望

成績評価の方法

前期および夏期の2回のレポートと学年末の定期試験で総合的に評価する。試験の際に自筆のノートを参照にしてもらうので、講義中ノートをよくとってもらいたい。再試験を実施する。

教科書

特に定めませんが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健 著・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やまがたひろし 山 縣 弘 志	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/備2・3・4選	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに答えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からベレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ベレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。再試験実施。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
プログラミング論	ほまもと かずひこ 濱本和彦	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	4

講義のねらい

現在の社会においてコンピュータはあらゆる分野で使用されており、その重要性は非常に高い。それに伴いソフトウェアの機能強化が必要とされており、ソフトウェアの開発におけるプログラミング技術の重要性はますます高くなっている。またコンピュータの使用環境もスタンドアロンからインターネットなどのネットワーク上での利用へと変化し、それに伴って供給されるソフトウェアを記述するプログラミング言語も変化している。

本講義ではまず、ソフトウェア開発におけるプログラミング技術の位置づけを明らかにするために、ソフトウェア工学の基礎について講義する。次にプログラミング技法とプログラミング言語について講義する。プログラミング言語としてはC言語とJavaを扱い、実際にソフトウェアを作成しながら包括的なプログラミング技術、ソフトウェア開発について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ソフトウェア工学の基礎とプログラミング技法（構造化やオブジェクト指向）について講義する。次に、プログラミング言語について実際に演習（ソフトウェア作成）を交えながら講義する。言語としてはC言語とJavaを扱う。前期にC言語、後期にJavaを扱う予定である。C言語は基本情報技術者試験レベルを目標として、各種データ構造からポインタ、関数、構造体、ファイル操作まで講義する。Javaでは、主に、インターネットのWWW上でプログラムを発信するためのJavaアプレットについて講義する。いずれも実際に演習を行い、「アルゴリズムの作成」、「流れ図の作成」、「コーディング」、「コンパイル」、「実行」、「デバッグ」、というソフトウェア開発の流れを学習する。

履修上の留意点

できるだけコンピュータの初心者に対しても理解しやすいように講義を行うが、各自の予習復習が理解のためには必要である。なお、メールによる出席調査、課題提出を行うため、履修予定学生は大学のメールアドレスの取得手続きを行っておくこと。なお、最初の数回の講義においてプログラミングの実習のためのコンピュータの操作方法について説明するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

講義中に出す課題、長期休暇中に課すレポート、および中間試験、期末試験により評価する。なお、再試験を実施する。

教科書

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

講義中に指定する。

その他

講義は実際にコンピュータの画面をプロジェクタで見せながら行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 論	岩 瀬 弘 和 <small>いわせひろかず</small>	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

高度情報化社会といわれている現代社会において、コンピュータグラフィックス（CG）は様々なところで利用されており、今後、インターネットにおける技術向上やコンピュータの家庭内への普及とともに、CGを作成したり鑑賞する機会が急速に増大するものと予想される。

この講義では、CGの概要から始まり、CG作成のための基本的な理論を学習していく。その際、既存のCG作成ソフトを使用しながらその技術を習得するとともに、CG理論の理解を深めていく。さらに、現在CGが応用されている分野を知り、今後どのようにCGが活用され、発展していくのかについて議論する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- ・コンピュータグラフィックスとその展開
 - ・2次元CGの作成と変換理論の習得
 - ・3次元図形の表示技術（投影方法と透視変換、陰線処理と陰面処理など）
 - ・自由曲線の種類とその理論（ベジエ曲線、Bスプライン曲線など）
 - ・自由曲面の種類とその理論（ベジエ曲面、Bスプライン曲面など）
 - ・3次元モデリングの実際、コンピュータアニメーションなど
- 上記の理論を学習するとともに、Photoshop、VRML、Java Scriptなどの使用方法についても習得する。

履修上の留意点

パソコン使用経験者が望ましい。

成績評価の方法

出席状況および提出課題にて評価する。

教科書

配布資料。

参考書等

田中成典、小林孝史（編）『VRMLの達人』（森北出版）
黒瀬能幸『3次元図形処理工学』（共立出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 学 総 論	お お ぐ き かつ お 大 吹 勝 男	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

近年ますます大学において、学問が軽視される風潮にあります。そして生残りをかけ、学生集めのために実学主義・実用主義を売りものにする大学が増加しています。大学は学生および社会的要請に答えねばならないという主張のもとに、会社・企業のために大学が存在することを主張し、かつ君たちに会社人間になることを勧めるマスコミや評論家等がいます。そして一方で、学問に背を向け、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は入学した君たちのためにあり大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を学ぶことです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役立たないもの、これらを学ぶのが大学です。何年かキャリアを積んだビジネスマンから聞くことは、大学時代に学問をしておくべきであったということです。諸君も、過労死か過労自殺をすることなく、そして使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に思考する能力を身につけて下さい。そして、社会人として現実に困難な問題に出会った時に、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。母さん、学者の良心はどこまで転落してゆくのでしょうか。本講義では現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論（物流の基礎理論を含む）および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。そのためには一年間を通して授業に出席することが必要です。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するとおもいます。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目の通りですが、本年度は、これらの項目について講義しながら、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について特に力を入れるとともに、同時にロジステックスについても考え、さらに、サイプライチェーンとそのマネジメント（管理）について検討します。また、マーケティングおよびブランドの問題についても検討する予定です。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程 商品在庫と保管費用・市場と商品輸送）
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質論・自立化論・卸売排除論・電子商取引（eコマース）
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確認、一層の理解を深める手段とします。

期末試験は論述形式でおこなう。再試験は実施する。

教 科 書

大吹勝男『流通費用の基礎理論』（4月刊行予定）

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営学総論	ひゃく た よし はら 百田義治	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、大学に入学して初めて経営学を学ぶ学生を対象に、できるだけやさしくその体系と内容を解説することを目的としています。

20世紀の科学として生成・発展した経営学は、21世紀を迎えて、ますます進展するグローバル化と情報技術革新のなかで、大きく変容しています。この講義では、できるだけこのような新しい経営現象を素材として、経営学の考え方や分析の仕方を理解できるようにします。もちろん、これまでの経営学の理論や企業経営の歴史的發展を学ばなければ、新しい経営現象を深く理解することはできません。楽しく講義しますが、学生諸君も積極的に取り組む姿勢を大切にして参加してください。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経営学（マネジメント）とは何か？
- II. 経営学100年の歴史から学ぶ（1）—効率性追求の歴史的發展—
1. 科学的管理法 2. フォード・システム 3. トヨタ・システム
- III. 経営学100年の歴史から学ぶ（2）—人間性追求の歴史的發展—
1. 人間関係論 2. 行動科学的管理論 3. 人的資源管理論
- IV. 経営組織における官僚制と民主制
- V. 経営環境と経営戦略
- VI. 企業の社会性と組織間関係
- VII. 国際経営の進展と経営組織
- VIII. 企業倫理と組織文化
- IX. 21世紀のビジネス・モデル

履修上の留意点

新聞を読み、テレビのニュース・報道特集などをみて、企業の経営・管理問題に関心を持って授業に参加して欲しい。現代の企業経営を巡る話題に関連づけて講義を進めます。

成績評価の方法

学年末試験およびレポートによって評価します。授業スケジュールにある項目ごとの小レポートも成績評価に加えます。

教科書

稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』（ミネルヴァ書房）近刊。

参考書等

新書・文庫を中心に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計学総論	いし かわ じゅん し 石川純治	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

会計学の基礎知識および会計情報の役割について学習する。後半の授業では前半の知識の上に立って、さらに企業活動の重要な記録計算システムのモデルと、そのバリエーションとしての革新的記録計算システムを学習する。

講義の内容・授業スケジュール

前半は簿記の基礎知識をとおして会計全体の基礎を学習する。後半では会計情報と経営・経済とのかわりについて教科書の演習問題にそって学習する。

履修上の留意点

前半も後半もいずれも教科書にそって講義するので事前に購入しておくこと。

成績評価の方法

小テストと定期試験による。

教科書

加古・渡部『新検定簿記講義3級』（中央経済社）648円
石川純治『経営情報と簿記システム（3訂版）』（森山書店）2,500円

その他

一方的授業を避けるため、まず「何が問題か」そしてそれを「どう解くか」を明確にするため設問を解いてもらい、そのあとで教科書にそって解説するという方式をとる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記論	すずき かつ ひろ 鈴木 勝 浩	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

簿記は、企業の経済活動を貨幣価値的に把握し、一定の記帳原理に基づいて記録・計算する方法である。現在企業ではコンピュータによる会計処理が主流となっているが、その基本には複式簿記の原理があり、マニュアル方式による簿記と何の変わりもない。また簿記は会計関連科目を学ぶ上で基礎的前提となるものであるため、初めて会計を学ぶ学生を考慮に入れ、複式簿記の原理をわかりやすく解説を行っていく。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、まず簿記の歴史と複式簿記の原理を解説した後、日商簿記検定3級程度の知識を得るべく、簿記一巡の手続きに従い、記帳演習を取り入れながら個別事項を学習していく。また現在の実務状況を勘案し、コンピュータ環境下における簿記会計の在り方についても触れていきたい。

履修上の留意点

簿記はその性格上、知識の積み重ねが必要であるためなるべく欠席しないこと。また簿記は一定のルールさえ習得してしまえばその後の理解は容易である。したがって講義のスタートを大事にしたいと考えており、学生諸君もそのつもりでいて欲しい。

成績評価の方法

出席率及び定期試験の総合評価で行う。
再試験は実施する。

教科書

新井清光『入門簿記』中央経済社

参考書等

『要点整理 日商簿記検定練習問題集3級』（一橋出版）

その他

講義の際には、電卓を持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
貿易実務（前期）	あら はた はろ お 荒 畑 治 雄	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	2

講義のねらい

貿易実務の体系は、海外市場にどのような態度で臨むかといった貿易取引の戦略設定から構築する必要がある。取扱う商品も買手側の需要を重視し、さらに、メーカーは海外に自らの拠点を設置して、供給拠点を顧客に接近させて自社に有利な取引を展開させることが必要となる。

貿易取引における情報伝達が電子的に行われるようになってきた。電子商取引が普及してくると、貿易取引の形態や手続きが変化してくるようになる。

本講義では、こうした貿易取引の現状と問題点を把握し、新しい取引の方向性について説明を行い、貿易実務に関する知識を高めていく。

講義の内容・授業スケジュール

- (1・2) 貿易戦略の設定
- (3~6) 引合いから売買契約成立までの実務
- (7~8) 契約成立に伴う実務（売手の義務・買手の義務）
- (9) 通関手続き、貨物の積出し・荷受け
- (11~12) 電子商取引
- (13) クレーム

履修上の留意点

貿易取引の仕組みを理解するために積極的に授業に参加し、日常ビジネスに関する書物を読むことが必要である。

成績評価の方法

授業態度、期末試験の成績。

教科書

プリントを配布。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
通関実務（後期）	あら 荒 畑 治 雄	経B・経A1・2・3・4選 12以繰入学生/商2・3・4選	2

講義のねらい

税関は税務行政、通関行政を担当している。前者は、国の財源調達の手段としての財政関税、関税を賦課することにより国内産業を保護する機能、後者は、一国の経済、公序良俗、保険衛生上重要な役割を果たしている。

輸出入通関手続きには、多くの場合、国家試験である通関士試験に合格した通関士が通関手続きを代行している。

本講において、将来通関士を目指す人に必要な知識を修得せしめ、通関実務の理解を深めていくように解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|----------------|--------------------|
| (1) 通関業務の定義 | (2) 輸出の定義・輸入の定義 |
| (3) 納税義務者 | (4～5) 関税の納期限と納付・徴収 |
| (6) 保税制度 | (7) 輸出入通関 |
| (8) 申告納税における特例 | (9) 課税価格 |
| (10) 減免税制度 | (11) 関税率表 |
| (12) 関税暫定措置法 | (13) 電子情報処理組織 |

履修上の留意点

貿易は秩序正しく行われる時は国の経済発展に大きく貢献するが、不正な手段のもとに行われると経済活動を阻害する。国際協調の時代を迎えて、関税政策の重要性は高まり、税関の果たす役割も重要なものとなっている。

このような点をよく理解し、税関の仕組みや機能について十分理解を深めていくことが大切である。

成績評価の方法

授業に積極的に参加する態度・期末試験の成績。

教科書

後日指示する。

参考書等

参考書、その他の資料については授業時間に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
憲法	うち 内 田 真 利 子	経B・経A1・2・3・4選 12以繰入学生/商2・3・4選	4

講義のねらい

市民と公権力との関係、個人と集団との関係、少数者と多数者との関係において、憲法の存在意義を再確認すること。受講者が、自分自身に関わる問題として憲法に興味を持つためのきっかけにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

政治の動向、社会的な事件、受講者にとっての身近な関心事などを題材に選び、「憲法」の視点から問題点の整理および検討を行う。具体的なテーマは、現実社会の変化に応じて、また受講者からの要望に応じて、適宜選択していく。網らする領域は幅広い、というよりほとんど制限がないと言ってもよい。あくまでも一例を以下に挙げる。環境、平和、象徴（日の丸・君が代・天皇制）、家族と法、子どもの人権、職場における人権、医療と人権、性愛の自由、外国人の人権、宗教と人権、犯罪と法、報道と人権、表現の自由、性差別……。

履修上の留意点

授業に毎週出席できることが履修の最低条件。また、単に教室に来るだけではなく、主体的に授業に参加できる人にも受講してほしい。

成績評価の方法

通常授業時間中に年数回、テストを行う。このテストのほか、授業中の発言、授業後の質問、自主提出レポート等についても成績評価の対象とする。

教科書

授業で指示する。ここでは、参考のため、昨年度のテキストを紹介しておく。川人博編著「テキストブック現代の人権 [第二版]」（日本評論社）

参考書等

六法（出版社、サイズは問わない）、少なくとも日本国憲法の全条文。

その他

追試は行わない。やむをえない理由によりテストを欠席した場合、レポート提出をもってテスト受験に替えることを認める。

科 専
門 教
育 目 録

科目名	担当者名	配当学科	単 位
民法一部	お だ て る 織 田 晃 子	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	4

講義のねらい

このクラスは民法及び民法1が講義の対象とされている。そこで、民法総則を中心に行うが、具体的には取引行為、特に契約を通して必要があれば物権にもふれながら、下記の講義内容を進める。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 権利の主体
 - (1) 自然人
 - ①権利能力 ②意思能力、行為能力 ③不在者、失踪宣言
 - (2) 法人
 - ①法人の意義・本質 ②法人格否認の法理 ③権利能力なき社団・財団
 - ④法人設立とその能力 ⑤法人の不法行為責任
- 2 権利の客体
 - (1) 物の概念 (2) 不動産と動産 (3) 主物と従物 (4) 元物と果実
- 3 権利の変動
 - (1) 法律行為 (2) 意思表示 (3) 代理 (4) 無効及び取消 (5) 条件及び期限、期間 (6) 時効

履修上の留意点

六法は必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績による。再試験を実施する。

教科書

河野弘矩著改訂版『民法総則講義』（八千代出版）3,100円＋税

参考書等

コンパクト六法（岩波）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法 二 部	ここのひらの 河野弘矩	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/満2・3・4選	4

講義のねらい

債権法とは、形式的には民法第三編債権の規定の総体（399条～724条）をいい、実質的には債権関係を規律する法規の全体を意味している。債権法は、物権法と共に市民生活のうち財産関係を規律する法規であり、主として財貨の移動関係を定めた法律といえよう。

債権法 債権総論 第一章 総則－債権の目的、効力、多数当事者の債権、債権譲渡、債権の消滅の5節から構成されている（399条～548条）

債権法 各論 第二章 契約（549条～696条）
第三章 事務管理（697条～702条）
第四章 不当利得（703条～708条）
第五章 不法行為（709条～794条）

講学上、債権法第一章総則を債権総論といい、第二章以降を債権各論と呼んでいる。

本講義は、上記の第一章の債権総則を対象とする。債権総則は、実質上契約から生ずる債権を念頭においた規定と解される場合が多いことから、講義のなかでは契約の例示を多く登場させ、極力具体的事例を以て抽象的理論を説明するようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行は、債権法の規定の順序に従い、以下の通り行う。

- (1) 債権の意義及びその性質
- (2) 債権の目的
- (3) 債権の種類（特定債権、種類債権、金銭債権、利息債権、選択債権、任意債権）
- (4) 債権の効力（自然債務、強制履行、債務不履行、第三者による債権侵害、責任財産の保全、他）
- (5) 多数当事者の債権関係（連帯債務、保証債務）
- (6) 債権関係の移転（債権譲渡、債務の引受、契約上の地位の譲渡）
- (7) 債権の消滅（弁済、代物弁済、供託、相殺、更改、免除、混同）

履修上の留意点

必ず続けて受講すること。講義には、六法全書を必ず持参すること。

講義についての質問は、毎回講義終了後質問を受けることは当然であるが、その他前期と後期の授業最終日に質問を受ける時間を設ける予定です。

成績評価の方法

期末試験により評価する。出席点を加味するか否かは今後検討したい。

教科書

教科書は、『民法（5）債権総論』（有斐閣双書）を使用する。

参考書については、授業のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
商法一部	かわぐちゆきみ 川口幸美	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	4

講義のねらい

商法は企業の組織や活動および利害関係者を規制する法である。本講義では、このうち株式会社を中心に取り上げ、その構造につき基礎的な理解を得ることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 総論
 - ①会社の目的と権利能力 ②法人格否認の法理
- 2 設立
 - ①会社の設立と発起人の権限
- 3 株式
 - ①株式の種類と転換 ②株式の権利とその流通 ③株式の消却・併合・分割
- 4 機関
 - ①株主総会 ②取締役・取締役会 ③監査役・監査役会 ④委員会等設置会社 ⑤その他
- 5 計算
- 6 資金調達（新株発行と社債）
- 7 企業の再編（営業譲渡、合併、分割、株式交換・株式移転）

履修上の留意点

教科書と六法（平成16年度版）を持参。

成績評価の方法

期末試験の成績による。再試験実施。

教科書

神田秀樹『会社法（第4版補正版）』（弘文堂）

参考書等

適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
商法二部	しまはらひろあき 島原宏明	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	4

講義のねらい

現代の経済社会における企業間の取引では、手形や小切手等の有価証券が数多く使用されている。中でも手形と小切手は典型的な有価証券であって、その流通に関する法規制の多くは商法上の他の有価証券にも及んでいる。したがってその体系の理解は有価証券全般を理解する上で不可欠なものである。また、手形や小切手は金銭債権と結び付いた証券であるため、これに関する法体系は債権法の一部として把握され、民法の債権総論と密接な関係にある。

講義の内容・授業スケジュール

手形法は第一編が替手形と第二編が約束手形の二編から成り立っており、為替手形についての規定の多くを約束手形に準用するという構成になっている。ただし、わが国においては為替手形がほとんど用いられていないという現実があり、また為替手形に比べて約束手形の方が仕組みが単純であるため、条文の順序とは一致しないが講義では約束手形を中心に説明を行い、適宜為替手形、及び為替手形と基本的な仕組みを同じくする小切手についての説明を付け加えていくという形をとる。

なお、企業活動に関わったことのない学生諸君には手形や小切手の世界は現実感が乏しく興味が起こりにくいため、なるべく具体的な判例を示して解説をしていくつもりである。

成績評価の方法

成績評価は期末試験による。

教科書

島原宏明『手形法学への誘い』（八千代出版）2,500円

参考書等

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 法	あら い 井 と し お 荒 井 登 志 夫	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	4

講義のねらい

規制緩和・グローバル化の下で独占禁止法を中心とする経済法の分野はいよいよ重要性を増し、近年、相次いで法改正等が行われています。本講では、独占禁止法、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①実体経済の動きや歴史的視点をバックに、②規定の意味内容を平易に解説するとともに、③抽象的な規定の適用実態を理解できるよう具体的な適用事例を挙げて説明する計画です。

講義の内容・
授業スケジュール

〔前期〕(1~3)前史、全体像・基本的概念 (4~5)私的独占 (6~10)不当な取引制限等(価格カルテル・人札談合、事業者団体カルテル、官製談合防止法、課徴金) (11~13)不公正な取引方法・前半
〔後期〕(14~16)不公正な取引方法・後半(景品表示法・下請法) (17~18)第四章規定(株式所有・合併・持株会社) (19)寡占問題(独占的状态・価格の同調的引上げ) (20~23)公正取引委員会、手続規定・措置体系 (24~25)国際的環境(海外独禁法、国際的協定) (26)まとめ

成績評価の方法

学期末試験の結果と前期末の受講者の提出物の内容に基づいて行います。問題作成及び成績評価に当たっては、講義に出席し実態的な理解を深めた方が有利になるよう配慮します。

教 科 書

舟田正之・根岸哲『独占禁止法概説』(有斐閣)3,600円
なお、適宜プリントを配付し、法改正情報、事例研究の参考となるようにします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
労働法	ふじもと しげる 藤本 茂	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/備2・3・4選	4

講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラ、成果主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。現在は、変動期にあります。

労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この変動期において、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、解雇法制や男女雇用平等などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進め、その基礎的知識を身につけることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、行います。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つことはNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

憲法、民法、社会保障法、社会政策は、近接科目であるので、ぜひ履修してください。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、出席、レポートなどとともに、総合的に評価します。追・再試験は実施します。

教科書

ベーシック労働法（浜村彰ほか著・有斐閣）か労働法（浅倉むつ子ほか著・有斐閣）のうち1冊は用意してください。受講者は必ず1冊は用意してください。

参考書等

第1回目の授業で、プリントをして紹介します。

六法は、最新のもの（法律改正があるので特に注意）。そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を挙げながら、授業を進めます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
行政法	しほ い 塩 入 みほも	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	4

講義のねらい

存在する法の約9割は行政法です。この講義では、その行政法の基本的な仕組と理論一般について学びます。行政法は、民法や刑法、憲法等の他の法分野とは異なって、学生レベルではあまり日常生活に直接関連がないと感じられがちですが、例えば交通取締・治安等に関わる警察権行使の適法/違法や国家賠償請求の可否など、実は知っておくと便利なきことがたくさんあります。また、政治を学ぶ上では、やはり行政法の知識を備え、日本の統治構造を支えている法的事態を知ることが重要でしょう。それを学ぶのが当講義の狙いです。

講義の内容・
授業スケジュール

内容としては、まず総則——行政法学の基本原則、諸概念、諸制度等に関する基礎論——を説明し、次に、行政作用論——行政の各種行為形式とその法的性質(法的拘束力の有無など)、行政上の強制措置・制裁、行政捜査など——について講義していきます。

履修上の留意点

行政法を初めて学習する者でもその基礎知識を一年間で習得できるよう、判例・通説を引用しながら、出来るだけ解り易く且つ簡潔に説明していくつもりです。特に公務員や行政書士等の国家試験を目指している学生のために、出題頻度の高い問題は都度指摘します。

成績評価の方法

試験は学年末試験のみ。成績評価は、学年末試験の結果と平常点(不定期に確認する出欠)の総合判断により行ないます。

教科書

特定の教科書は使用しません。但し、オリジナルノートが作れるように毎回丁寧に板書します。

参考書等

最初の講義の際に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際法	おうしあん 王 志 安	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	4

講義のねらい

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規制、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

履修上の留意点

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのばすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意思をしっかりと修得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版(上)(東信堂)2002年 2,800円

参考書等

松田幹夫編著『現代国際法』(八千代出版)1997年 2,700円
市販されている国際条約集

その他

授業はすべて power point を使って講義方式で行い、適宜に参考資料を配付する。power point で使われる簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 保 障 法	原 田 啓 一 郎 <small>はら だ けいいちろう</small>	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日の社会保障制度が本格的に構築されたのは、第二次世界大戦後であったこともあり、社会保障法学が本格的な法学の一研究領域として認知されたのはごく最近である。社会保障は、第一義的には国民の生活保障を目的とする制度であり、その重要性は私たちの日常生活において無視し得ないものになっている。本講義では、社会保障法の基礎と個別制度の特質・内容の理解を通して、社会保障の法的理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 社会保障とその特質
- II 社会保障法の理論と課題
- III 年金制度——国民年金，厚生年金，企業年金
- IV 社会手当制度
- V 医療保障制度——国民健康保険，健康保険
- VI 労災保険制度
- VII 雇用保険制度
- VIII 社会福祉制度
- IX 公的扶助制度

履修上の留意点

社会保障の法政策論は、同担当者による「社会政策」で詳細に取り扱う。

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教 科 書

教科書は講義開講時に指定する。
指定する教科書と併せて、佐藤進ほか編『社会保障判例百選〔第3版〕』（有斐閣，2000年）をそろえること。
六法は、『社会保障関係法規集』（労働新聞社）を必ず携帯すること。

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

履修にあたっては、憲法、行政法、民法、労働法、社会政策、法哲学などの科目を既修若しくは本科目と平行履修していることが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 險 ・ 海 商 法	加 ^か 瀬 ^せ 幸 ^{こう} 喜 ^き	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

保険契約法および海商法の基礎的知識を修得することがこの講義の目的です。
 まず、保険法についてですが、私たちは、火災、自動車事故や病気といった様々な危険に囲まれて生活しています。これらの危険を予防・軽減することは可能ですが、それらをすべて除去することは不可能です。ここに保険制度が必要な理由があります。保険は、共通する危険をもつ者達があらかじめ掛け金を拠出し、その掛け金を損害を被った者の損害填補に充てる制度です。このように、保険制度は私たちにとって有用なものです。他面、これは濫用されるおそれの高いものでもあります。少額の保険料で多額の保険金を取得することが可能だからです。近年、しばしば新聞などで報道されている保険金殺人事件がこれの代表的なものです。この講義では、保険制度のもつこれら2つの側面を法的視点から解明しようと考えております。
 次に、海商法ですが、海商法は船舶を手段とする海上企業活動に関する法です。船舶というと、時代遅れの交通手段に思われますが、物品の運送については依然として主役の地位にあります。また、海商法は、歴史的にいうとその起源を中世の慣習法に求めることができます。そのため、この分野には独特の制度がみられます。この講義では、海上運送契約法を中心に概説する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、保険制度の仕組み、損害保険の法的仕組みを解説します。後期では、火災保険、自動車保険、生命保険を解説し、次いで海商法を概説します。

履修上の留意点

債権法の基礎的知識を習得していることが望ましいです。特に、経済学部^部の学生は民法の基礎知識が不可欠です。

成績評価の方法

成績は、学年末試験の結果で判定します。試験は持ち込み不可で行います。出席は、7～8回とる予定です。これは、成績評価の際に加点事由とします。

教 科 書

山野嘉朗・山田泰彦編著『現代保険・海商法30講第6版』（中央経済社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 法 総 則 ・ 商 行 為 法	関 ^{せき} 口 ^{ぐち} 雅 ^{まさ} 夫 ^お	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

実質的な商法は、①商法総則、②会社、③商行為法、④保険・海商法及び⑤手形・小切手法よりなる。民法が人の一般的な生活関係を規律する法というならば、商法は、営利を目的とする人（商人・企業）の営利を目的とする生活関係を規律する法である。本講義は、①商法総則とそれに密接に関連する③商行為法を研究の対象にしている。商法総則における基本概念は商人概念で、「商行為を行うことを業とする者」を言う（商4条1項）。商行為法における基本概念は、商行為概念（商501条・502条）で、絶対的商行為と営業的商行為よりなる。本講義は、まず商人概念と商行為概念の異別を把握させることにより、商法の民法との違いを正確に理解させるものとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は商法総則を講義し、後期は商行為法を講義する。
 前期は、商法第1篇総則の（1章）法例、（2章）商人、（3章）商業登記、（4章）商号、（5章）商業帳簿、（7章）商業使用人と（8章）代理商を研究する。
 後期は、商法第3篇商行為の（1章）総則、（2章）売買、（3章）交互計算、（4章）匿名組合、（5章）仲立営業、（6章）問屋営業、（7章）運送取扱営業、（8章）運送営業と（9章）寄託を研究する。

履修上の留意点

商法の研究は、正確に基本概念をマスターすることから始まります。予習・復習を心がけることが望まれます。

成績評価の方法

学年末試験の成績を持って評価いたします。教科書をよく読み、基礎的な問題を正確に把握することががのぞまれます。

教 科 書

『現代商法（総則・商行為）（現代法学双書9）』（八千代出版）2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
税法 I (前期)	おくむらまさろう 奥村正郎	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	2

講義のねらい

本講義は、我々の身近な法律である税法について、その基礎的な理論と計算方法の習得を目的とする。また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にしたい。本年度は、税法 I (前期) で個人を納税義務者とする相続税を中心に講義、計算演習を行う。相続税は、平成15年度、シャープ勧告以来の大きな改正があり、今後この新しい制度がどのように推移していくのか関心が寄せられている。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1. 相続税の意義 | 8. 贈与税の課税原因と納税義務者、課税財産 |
| 2. 納税義務者 | 9. 生前贈与と相続時精算課税制度 |
| 3. 相続税の課税財産 | 10. 贈与税の課税価格と税額計算 |
| 4. 相続税の課税価格 | 11. 相続税・贈与税の財産評価(1) |
| 5. 相続税額の計算(1) | 12. 相続税・贈与税の財産評価(2) |
| 6. 相続税額の計算(2) | 13. その他 |
| 7. 相続税額の計算(3) | |

履修上の留意点

簿記の知識は必須ではないが、なければ簿記(3級レベル)の講義も履修することを勧める。

成績評価の方法

出席、期末試験により評価する。再試験は実施する。

教科書

小池正明『知っておきたい相続税の常識』(税務経理協会)

参考書等

授業を進める中で適宜紹介する。

その他

計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用することがあるので持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
税法 II (後期)	おくむらまさろう 奥村正郎	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	2

講義のねらい

本講義は、我々の身近な法律である税法について、その基礎的な理論と計算方法の習得を目的とする。また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にしたい。本年度の税法 II (後期) では、個人を納税義務者とする所得税を中心に講義、計算演習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 所得の概念 | 8. 各種所得金額の計算(4) |
| 2. 納税義務者 | 9. 所得控除及び税額の計算(1) |
| 3. 課税所得の範囲等 | 10. 所得控除及び税額の計算(2) |
| 4. 各種所得の種類 | 11. 所得控除及び税額の計算(3) |
| 5. 各種所得金額の計算(1) | 12. 申告、納付 |
| 6. 各種所得金額の計算(2) | 13. 源泉徴収、その他 |
| 7. 各種所得金額の計算(3) | |

履修上の留意点

簿記の知識がある方がよいが、なければ簿記(3級レベル)の講義も履修することを勧める。

成績評価の方法

出席、期末試験により評価する。再試験は実施する。

教科書

高柳昌代『知っておきたい所得税の常識』(税務経理協会)

参考書等

授業を進める中で適宜紹介する。

その他

計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用することがあるので毎回持参のこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代経済事情 I (前期) 〔女性とビジネス〕	おく たに きょう 子 奥 谷 京 子	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	2

講義のねらい

既存の大企業も倒産する現在、顧客のニーズを汲み取り、時代の変化に対応した事業こそ、生き残っています。その1つが女性起業家のビジネスでしょう。本科目では女性起業家の実践例を参考にしながら、地域の社会的な課題とその解決方法を考察すると共に、実践へのステップになることを期待します。グループワークやディスカッションも行い、「考えること」に重点を置きます。

講義の内容・授業スケジュール

(1・2)働き方・生き方、起業の意味を考える (3・4)女性起業家の事例を聞く
(5)頑張っている若者起業家を紹介 (6~9)グループワークと発表
(10~12)開業するのに必要な知識を得る (13)まとめ

履修上の留意点

将来自分で独立開業してみたい、前向きに将来のことを考えたいという受講生を強く希望します。きっと女性起業家の体験談は参考になるでしょう。また、グループワークでは積極的に意見を言い合い、受講生同士の交流も深めていただきたいです。講義を聴く形式だけではないことは予めお伝えしておきます。

成績評価の方法

学期末にこの講義を受けてのテストを行います。また、毎回講義を聴いてのミニレポートを提出し、出席の確認とします。評価は、講義中の参加度合い、そしてミニレポートや期末試験の内容で「自分の考えをしっかりと述べているか」を重視します。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

奥谷京子『ひろうもらうつくる お金をかけない起業法』(アドア出版) 1,680円
片岡勝『儲けはあとからついてくる』(日本経済新聞社) 1,470円
片岡勝『資金0でも独立開業できる本』(ダイヤモンド社) 1,575円

そ の 他

大学に入ってから何をやってきたかが、卒業後、社会人になったときに大きく影響します。この講義を受ける・受けないに関わらず、是非在学中にいろんな経験を通して、個性に磨きをかけて下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代経済事情Ⅱ(前期) 〔日本の中小企業とアジア経済〕	たか だ よし あき 高 田 好 章	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	2

講義のねらい

日本の経済の国際化は、アジア、特に東アジア地域を中心に、輸出入から技術移転・直接投資さらに海外進出にすすみ、その波は中小企業をも巻き込んでいます。それは、資本のあり方だけでなく、技術のあり方、経営のあり方、労働のあり方、生活のあり方を大きく変貌させてきます。そのような視点から、中小企業とアジアを一緒に考えましょう。

講義の内容・授業スケジュール

以下のテーマを軸に、時事的問題に関連させながら講義いたします。◇日本経済の国際化と海外展開 ◇海外進出と地場産業、産業空洞化 ◇グローバル化と東アジア地域 ◇東南アジアの中小企業の視点から ◇技術移転と経済の自立化 ◇海外展開と労働問題 ◇東アジア広域化と地域の不均等発展 ◇経済の国際化と国際分業 ◇国際的ネットワークと中小企業の経営戦略 ◇日本における競争と共生、アジアとの共存

履修上の留意点

授業中の質問は大歓迎。専門用語、時事用語等、わからない言葉はその場で解決しましょう。複雑な問題は講義後も考えて、次回に質問するか、メールで問い合わせてください。

成績評価の方法

成績評価はレポートによりますので、追試験・再試験は行いません。受講中に提出されたレポート・感想文・質問文等は評価に加味します。

教科書

教科書は特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。出来れば、以下を読んで下さい。

鈴木茂・大西広・井内尚樹編『中小企業とアジア』(昭和堂)3,000円

参考書等

参考文献等は講義の中で、随時紹介いたします。

その他

図や表などの具体的な資料を紹介しながら、講義をすすめます。また、受講生からの講義テーマに関するレポート、感想文、質問文(以上メールでも可)は大いに歓迎します。時にはそれらを取り上げながら、双方向の授業を念願しています。E-mail: ytakada@komazawa.com

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代経済事情Ⅲ(後期) 〔福祉ビジネス〕	たむら 田村 はじめ 一	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	2

講義のねらい

我国における「福祉サービス」の提供システムは、少子高齢社会の進展に伴ってその在り様を大きく変容しつつある。これまで行政が主体となって、公的財源を用いて提供されてきた各種福祉サービスは、量的、質的に飛躍的に増大してきており、財政的な面も念頭に入れつつ、質の高いサービスをいかに安定的に提供していくかが重要な課題となってきている。その先駆をなしたのが「介護保険」制度の施行であるが、先駆といわれる点のひとつに、それまで行政が直接であったり、社会福祉法人等の非営利団体であったサービスの担い手として、民間営利企業の参入が認められた点がある。ここに「福祉ビジネス」が明確な定義をもって存在することになったのであるが、必ずしも市場原理一辺倒で展開されるのではなく、市場、企業と行政や市民の活動がからんだ複雑な経済問題が存在している。

国家財政的にも大きな比重を占める「福祉サービス」提供システムの再構築に向けての動向、課題がどこにあるのか、今後の展望をどう描けるのか、考えていきたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール

次のようなテーマで、今何が議論されているのかを講義します。

- ・「福祉サービスコスト」－国家予算と地方分権－
- ・「社会福祉基礎構造改革」の目指すもの
- ・高齢者保健福祉施策の展開－介護保険制度の中で生じた新たな動き－
- ・障害者保健福祉施策の課題
- ・経済不況と低所得者福祉対策の現状
- ・ITの活用
- ・福祉マンパワーの養成確保
- ・地域福祉ネットワーク推進
- ・「福祉ビジネス」の今後の展望

成績評価の方法

レポート。適時の感想文の提出もお願いしたいと考えています。

教科書

なし。その時点において講義内容にもっともタイムリーな独自作成資料を使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代経済事情Ⅳ(後期) 〔情報通信最前線〕	にしおか ようこ 西岡 洋子	総B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	2

講義のねらい

デジタル技術の発達とともに、情報通信産業は大きく変貌を遂げています。情報通信メディアは固定電話、携帯電話、放送、インターネットなど多岐にわたっていますが、その特性により、提供されるサービス、ビジネス展開、社会的意味、また、それに対する政策も異なります。本講義では、情報通信産業を概観するとともに、個別のメディアごとにその市場がどのような特徴を持っているか、また、どのような方向に向かおうとしているかを理解することを目標とします。

講義の内容・ 授業スケジュール

- (1・2) 情報通信産業の構造、情報通信産業の特徴
- (3・4) 携帯電話の発達
- (5・6) インターネットの登場とブロードバンド・サービス
- (7・8) IP電話、通信市場の構造変化
- (9・10) 放送のデジタル化 I・II
- (11) 日本の情報通信産業政策
- (12) 海外の放送通信産業動向
- (13) まとめ

成績評価の方法

学期末の筆記試験を基本として評価を行います。なお、授業の出欠状況も参考とします。

教科書

『情報通信白書』(総務省)
(<http://www.johotsusintokei.soumu.go.jp/whitepaper/ja/cover/index.htm>)

参考書等

㈱情報通信総合研究所編『情報通信ハンドブック2004年版』(NTT出版)
㈱情報通信総合研究所編『情報通信アウトブック2004』(㈱情報通信総合研究所)
ほか、適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代産業事情 I (後期)	あ べ ひろし 阿 部 弘	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	2

講義のねらい

職業／identity, manifest
 たとえば‘残業’。日本の会社に就職する以上、切っても切れないサービス残業との関係、アルバイトで時給で働いている学生さんにとって、一見「無給」で働く、‘サービス残業’は永遠のテーマでしょう。ところが、そのサービス残業の本当の動機や意味といった基本的なことがらについては、意外なほど正しく解明されていないのも現状。そんな働くことの基礎知識から新たな時代の職業 Identity のありかたまで、みなさんと一緒に探求していきます。

人々の労働の価値観について、もの創りをしている人やサービス労働に従事している人、経営・管理労働から一般労働、それをとりまくジェンダー、それぞれの立場に立った労働観を、経験を踏まえて講義していただきます。アメリカの企業で働いていた経験を持つ人や焼きものという日本の伝統産業社会の中で仕事をしている人、さらに医療現場で働く人という多彩なスタッフで授業をしていきます。

また、受講生の皆さんがこれから出る社会、職業選択や就職活動、そこでのさまざまな労働の価値観について明らかにしていきたいと思えます。いままで知らなかったサービス残業の基礎知識から起業家になる方法論まで、働く現場で直接に役にたつ実践的授業、このようなことがこの講座のもつ意義になります。

講義の内容・授業スケジュール

課題をいくつか設定して、それに関して各講師から問題を指摘してもらいます。そしてその問題提起に対して受講生のみなさんにレポート等を作成してもらう方法をとります。

日本は伝統的に以心伝心、つまり行間を読む文化を大切にしてきました。しかし、国際化がますます進む今後、「個人」として自分の意見を論理的に主張できるようになることが大切だと思います。そのことを実践するために自分独自の意見を相手の立場になって発言することをトレーニングするダイアログ形式も盛り込む予定です。

変化を恐れず、常に新しい授業のありかたを学生のみなさんと創造していく、インタラクティブな未来型授業を目指します。

履修上の留意点

課題および問題提起の連続性が要求されるために、出席が重んじられます。

成績評価の方法

評価はレポートを中心にします。したがって定期試験およびそれに伴う追・再試などはありません。

そ の 他

講義担当者の住所などを次に記しておきます。
 〒179-0072
 練馬区光が丘 6-1-4-204
 Tel.03-3976-7984
 研究室：第2研究棟 No.2538 Tel.03-3418-9360

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計資格特別演習	すずき かつひろ 鈴 木 勝 浩	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は、税理士試験の法人税法について、基礎的な理論及び計算方法を理解した上で、できる限り受験可能なレベルの知識の習得を目指すものである。法人税は、企業会計において算出された決算利益を基礎に、税務上の調整を行って求められた課税所得に対して課せられる。したがって法人税法は企業会計と有機的に結びついており、その理解には企業会計の理論や会計処理を習熟していることが必要とされる。本講義では、企業会計の理論に関連付けながら、法人税法について理解を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず課税所得と法人税の算定に至るまでの流れを、特に別表1及び4を利用して体系的に理解をしていく。その後、課税所得算定に必要な個別調整事項を対象に詳細な解説を行うと共に、具体的な計算問題を通じて理解を深めていく。また税理士試験は計算に加えて理論も出題されるため、計算の根底にある税法上の理論的裏付けを条文に照らし合わせながら確認していく。また法人税法は計算問題のウエートが高いため、計算演習を多く取り入れながらより確実な知識を求めていきたい。授業スケジュールについては、受講生の理解を考慮しながら柔軟に対処していく予定である。

履修上の留意点

本講義を履修するに当たっては、特に株式会社に関する会計理論を理解していることが必要であり、日商簿記2級の商業簿記（工業簿記の知識は不要）程度の知識を有していることが望ましい。積み上げ方式により講義を進めていくので、できるだけ欠席しないこと。

成績評価の方法

出席率と講義中の演習で評価する。

教科書

渡辺淑夫著『法人税法の要点整理〔平成15年受験用〕』（中央経済社）
『法人税法 個別問題集〔平成15年度版〕』（TAC 出版）

参考書等

必要に応じて指示する

その他

法人税法は税理士試験の中でも特にボリュームの多い科目であり、かつ複雑難解であるといわれているため、資格取得に対して高い目的意識をもって講義に参加してほしい。また疑問点については遠慮せずに積極的に質問をして早期に解決すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報資格特別演習Ⅰ	なが い 永井 勇	経B・経A1・2・3・4選	4
		12以降入学生/商2・3・4選	

講義のねらい

本講座は経済産業省「基本情報技術者試験」受験を希望する学生への対策講座です。同時に、情報処理技術（IT）の基礎的な知識・学力の習得を目的としています。当試験の合格を目指す学生はもとより、現在の社会で必要不可欠なITの基礎を学びたい学生が対象です。

「基本情報技術者」の資格はソフトウェア開発技術者、さらにはシステムアナリストなどの上級の情報関連技術者をめざすための登竜門の資格です。情報関連企業に限らず、金融期間、商社に至るまで、就職活動には非常に有利な資格となります。

講義の内容・授業スケジュール

前期では午前問題基礎対策講座として、主に午前問題のコンピュータサイエンス基礎とハードウェア／ソフトウェア基礎に力を入れて学習します。

後期では午後問題対策講座として、特にアルゴリズムの基礎の習得に力を入れ、その後に午後問題を中心に演習を行います。

前後期ともに講義に加え、最新の午前午後問題を中心に演習を実施します。またコンピュータを利用したオンラインテストも適時併用します。

【前期】午前問題基礎対策講座の日安

第1回	ガイダンス		〔講義／演習〕
第2～3回	コンピュータ概論		〔講義／演習〕
第4～5回	コンピュータの基礎理論	その1	〔講義／演習〕
第6～8回	コンピュータの基礎理論	その2	〔講義／演習〕
第9～11回	ハードウェアの基礎		〔講義／演習〕
第12～13回	ソフトウェアの基礎		〔講義／演習〕

【後期】午後問題対策講座の日安

第1回	アルゴリズムの表現法		〔講義／演習〕
第2～3回	基礎的なアルゴリズム		〔講義／演習〕
第4～6回	代表的なアルゴリズム		〔講義／演習〕
第7回	データ構造		〔講義／演習〕
第8～10回	プログラム設計と内部設計		〔講義／演習〕
第11～12回	総合演習		〔演習〕

（上記スケジュールは状況により変更することがあります）

履修上の留意点

「基本情報技術者試験」は、午後の問題においてCOBOL、C言語、CASL、JAVA等の言語のうち少なくとも1ヶを習得していることが前提です。そのため高等学校等で何らかの言語を経験している学生以外は、「プログラミング論」の単位を修得していることが望ましい。また情報資格特別演習Ⅱを同時履修している事が望ましい。

成績評価の方法

定期試験では、基本情報技術者試験の過去の問題から抜粋した模試を実施し、評価します。また講義への出席率も評価の対象となります。

教科書

『コンピュータシステムの基礎』（翔アイテック）4,000円（予想値段）

参考書等

・基本情報技術者試験の過去の問題を適時に配布

その他

基本情報技術者試験の合格やITに興味のある人が望ましく、またパソコンを使用した講義があるため、履修制限を行なう場合もあります。

情報資格特別演習Ⅱは来期以降に履修することもできますが、内容的に本講座と補っているため、同時履修することをお勧めします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報資格特別演習Ⅱ	井川俊実	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	4

講義のねらい

パソコンの普及により、誰でもがコンピュータを仕事や趣味に利用する時代になっています。「初級システムアドミニストレータ試験」は、コンピュータ（パソコン）を道具として利用し、事務作業の効率化を推進する人のためにできた国家試験であり、この試験に合格することは就職にも有利になります。

本講座は「初級システムアドミニストレータ試験」の合格を目指す人は勿論ですが、「基本情報技術者試験」受験でも必要になる「ネットワーク」、「データベース」、「システム開発」の分野も取り上げますので、その合格を目指す人も履修することが望めます。

講義の内容・授業スケジュール

前期では主に午前問題対策中心に、後期では主に午後問題対策中心に学習します。講義で説明を行い、演習で講義の内容を確認して身に付ける形で進めていきます。

また、10月上旬に情報処理技術者試験受験に向けた直前対策を実施します。

【前期】午前問題対策中心に以下の目安で行います。

- 第1回 ガイダンス
- 第2～4回 利用者から見たハードウェア/ソフトウェア
システム構成、補助記憶装置とインタフェース、入出力装置、OSの機能など
- 第5～7回 ネットワーク
LANとWAN、プロトコル、ネットワーク機器と通信回線
クライアントサーバシステム、インターネットなど
- 第8～9回 表計算
- 第10～12回 データベース
関係データベース、正規化、SQLなど
- 第13回 システム分析
業務モデル、データの分析、問題解決技法など

【後期】午後問題対策中心に以下の目安で行います。

- 第1～2回 システム設計
システムの種類と開発、テストと品質評価など
- 第3～4回 システム運用
運用資源管理、障害管理、セキュリティ管理など
- 第5～6回 本試験直前対策
小テストと解答・解説
- 第7～8回 表計算応用（午後対策）
- 第9～10回 データベース応用（午後対策）
- 第11～12回 ネットワーク応用（午後対策）

（上記スケジュールは状況により変更することがあります）

履修上の留意点

本講座は主に「初級システムアドミニストレータ試験」を受験する人向けの講座であるので、ハードウェアやソフトウェアについてはコンピュータの利用者側の視点で講義を行います。コンピュータの基礎理論をじっくり学習するには、情報資格特別演習Ⅰの同時履修が望まれます。

成績評価の方法

主に初級システムアドミニストレータ試験の過去問題を使用したテスト及び講義への出席率によって評価します。

教科書

『初級システム徹底研究』（日本経済新聞社）1,580円（予想価格）

参考書等

テキストを補足する資料を適時配布します。

その他

初級システムアドミニストレータ試験の合格を目指す人は勿論ですが、パソコンを利用する上でもっと知識を深めたいと望んでいる人にもお勧めできる講座です。
なお、本講座は応募人数によっては履修制限を行う場合があります。

科 専
門 教
育 目 録

科目名	担当者名	配当学科	単位
教員試験特別演習	やしきただみつ 谷 敷 正 光	経B・経A1・2・3・4選	4
		12以降入学生/商2・3・4選	

講義のねらい

この講義は、教員採用試験を目指して努力している人に、教師としての資質・力量の形成と教員試験に必要な基礎学力を育成することを主眼としている。

近年、教員採用試験はより優れた、魅力ある教師を求めて選考試験も多様化・高度化し、筆記試験のみならず、面接、論作文、実技試験その他全般にわたって、さまざまな工夫がなされている。

そこで、本講は「君は、今なぜ教師を目指すのか」「どんな教師になりたいのか」「どんな教育をしたいのか」といった教師をめざすのに不可欠な教育理念の形成をはじめとして、教職教養、一般教養、専門教養の学習方法、面接・論作文演習などの試験対策、模擬授業実践、先輩教師との交流、学校見学、ボランティア活動などさまざまな活動を通して将来の教師としての資質・力量の涵養につとめたい。教職を目指す人ならば学部、学科を問わないので、いっしょに勉強し、教員志望者の夢を叶えたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

1. 教育の意義
2. 教師の資質と役割
3. 教員試験の心構えと学習計画
4. 西洋教育史の要点整理と問題演習
5. 日本教育史の要点整理と問題演習
6. 教育法規の要点整理と問題演習
7. 教育心理の要点整理と問題演習
8. 教育原理の要点整理と問題演習
9. 同和教育の要点整理と問題演習
10. 道徳教育の要点整理と問題演習
11. 学習指導要領の要点整理と問題演習
12. 一般教養の取り組み法
13. 専門教養の取り組み法
14. 集団討論の実際（演習）
15. 個人面接の実際（演習）
16. 集団面接の実際（演習）
17. 教育論作文演習
18. 模擬授業の実際（演習）
19. 総合問題演習
20. 学校見学
21. ボランティア活動

履修上の留意点

講義問題演習、討論などさまざまな活動を行うので、出席を重視する。

成績評価の方法

授業中実施する小テスト、討論の内容、小論文などを参考にすが、基本的には真剣さ、真面目さ＝出席状況なども加味して総合的に評価するので、追・再試験は実施しない。

教科書

必要に応じて講義教材としてプリントを配布するので、教科書は使用しない。

参考書等

- ①『教育小六法』（学陽書房、三省堂など）
- ②小学校、中学校、高等学校の学習指導要領

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	いわ した ひろし 岩 下 弘	経B2・3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 90年代の小売商業構造
 - 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
 - 1 中小小売商保護政策論
 - 2 流通近代化政策論
 - 3 流通システム化計画論
 - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通
 - 2 80年代流通産業ビジョン
 - 3 90年代流通ビジョン
 - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法 2) 1979年改正法
 - 3) 1991年改正法
 - 5 凍結宣言、要綱及び条例
 - 6 通産省による行政指導 = 抑制措置
 - 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れ - 前川レポート、行革審報告
 - 2) 日米構造問題協議 3) 適正化措置
 - 8 特定商業集積法
 - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
 - 1 大店立地法
 - 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
 - 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策 - 都市・農村計画法
 - 2) 日曜営業問題 - 商店法
 - 2 フランス - ロワイエ法
 - 3 ドイツ - 土地利用計画
 - 4 アメリカ - ゴーニング規制

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。再試験は実施しない。

教科書

指定しない。

参考書等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
消費経済論	かわしまみほ 川島美保	経B・経A2・3・4選 12以降入学生/備2・3・4選	4

講義のねらい

「消費経済論」という学科目の理解は必ずしも一様ではない。ここでは労働力再生産領域＝消費生活領域の経済学と捉え、消費経済論の対象を消費行動や物やサービスの購買に関わる問題に限定せず、世帯における消費過程の内実をも視野に入れ、消費生活上の諸問題を検討する。今日の経済のグローバル化、情報化、少子・高齢化等の進展は消費構造に転換を迫るものであるが、21世紀の消費生活をめぐる諸課題を考える。

講義の内容・授業スケジュール

1. 消費経済研究の対象と方法
2. 消費経済研究の動向 (2回)
3. 戦後の消費生活の歩み (3回)
4. 勤労者の生活構造と家計
5. 家計調査の歴史と家計分析の方法 (2回)
6. 現代の家計構造の特徴
7. 企業社会の変容と生涯家計収支
8. 諸階層の家計と消費生活課題 (2回)
9. 戦後の消費者問題・消費者政策の変遷 (4回)
10. 情報化と消費生活 (2回)
11. カード化社会と消費者問題 (2回)
12. 無償労働と地域通貨
13. 生活福祉環境の変化と消費生活 (2回)
14. 持続可能な消費と新しいライフスタイル

履修上の留意点

日頃、消費生活に関わる問題に関心を持つこと。再試験実施。

成績評価の方法

レポートと出席状況で総合的に評価する。

教科書

伊藤セツ・川島美保編著『新版消費生活経済学』(光生館) 2,100円

参考書等

授業中に紹介する。適宜プリント資料を配布する。

その他

授業の方法：講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 戦 略 論	た ぶ ち や す お 田 淵 泰 男	経B・経A2・3・4選 12以降入学生/経2・3・4選	4

講義のねらい

企業をとりまく経営環境が、ダイナミックに変化している現代、経営戦略の優劣いかに、企業の栄枯盛衰に重大な影響をもつようになっていきます。企業がそうした環境に、いかにうまく適応すべきかを考える経営戦略は、現代企業にとっても最も重要なものであるとともに、現代経営学における中心的な研究分野の1つになっています。

この講義では、これまでの経営戦略論の展開をふまえ、経済学部で経営戦略論を学ぶ皆さんにとって是非必要な重要論点にかんする知識を提供し、それらの考え方の理解をはかることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

経営戦略論のつぎのような主要分野について、それぞれの理論を事例ないしフィールドリサーチによる最近の実例などをまじえて解説します。

- ・経営戦略論への招待
戦略とは何か、経営戦略とは何か、経営戦略論の発展過程と概念の構築、経営戦略の体系。
- ・企業が生存していくために選択・決定すべき「企業戦略としての事業領域（ドメイン）の定義
- ・企業が成長戦略のなかで新しい製品・市場をめざして複数の事業分野に経営資源を展開していく「多角化戦略」
- ・多角化した企業が経営資源をどのような製品事業へ選択的に重点配分すべきかを考える「事業ポートフォリオ戦略」
- ・競合企業に対して競争上の優位な地位を獲得するための「競争戦略」
- ・その他

機能分野別の戦略（研究・技術開発戦略など）、経営戦略と組織、最新の経営戦略論の動向などについて、授業時間数の配分を考慮して取り扱います。

履修上の留意点

企業行動の論理を探求しようとする意欲をもって、その機会を常日頃意識的にさまざまな視点からとらえようとする姿勢が大切です。

成績評価の方法

期末試験により評価します。出席は加点対象とします。ただし、受講者の学習意欲や出席状況を参考にして、レポートを加点対象とした総合評価とすることがあります。再試験を実施します。

教科書

開講時に説明します。

参考書等

適宜紹介します。

その他

毎回、プロジェクター（パワーポイント）を利用します。図表を多用するとき、詳細な説明を要するときはプリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
企業統治論	いわ なみ ふみ たか 岩 波 文 孝	経B・経A2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	4

講義のねらい

グローバル化とIT革新など社会・経済的環境が著しく変化しており、企業と経営活動のあり方が問い直され始めています。日本やアメリカにおいても、一連の企業不祥事が表面化し、企業経営や経営者の行動に対するチェックあるいはモニタリングの強化が求められています。

本講義では、トップ・マネジメントの観点から企業の全体構造を捉え、株式会社の発展に伴う会社間ネットワークとトップ・マネジメント機能の考察を通じて、企業の公正かつ効率的な運営システムの構築、すなわち企業統治（コーポレート・ガバナンス）の構築について追究していきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 授業の概要・ガイダンス
- 2 企業統治論の対象
- 3 トップ・マネジメントの構造と機能
- 4 日本におけるトップ・マネジメントの法的形態と機能
- 5 欧米におけるトップ・マネジメントの法的形態と機能
- 6 現代企業の株式所有構造と支配構造
- 7 メインバンク制とガバナンス
- 8 機関投資家とガバナンス
- 9 企業間人的ネットワークとトップ・マネジメント
- 10 企業間ネットワークとガバナンス
- 11 コーポレート・ガバナンスの今後の課題

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

履修上の留意点

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

成績評価の方法

レポートおよび学年末の定期試験により総合的に評価します。

教科書

植竹晃久・仲田正機編著『現代企業の所有・支配管理』（ミネルヴァ書房）1999年

参考書等

仲田・細井・岩波共著『企業間の人的ネットワーク』（同文館）1997年
仲田・夏目編著『企業経営革新の新世紀』（同文館）2002年

その他

随時レジュメ等配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	もり 森 た よし 田 佳 ひろ 宏	経B・経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	4

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表等規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

講義の内容・授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、前期は会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度について、後期は監査基準の内容について講義を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。なお、再試験は実施する。

教科書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参考書等

財財務会計基準機構監修『企業会計規則集』（税務研究会出版局）

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計情報論	いし かわ じゅん し 石 川 純 治	経B・経A2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	4

講義のねらい

今日の企業会計は歴史的にみても、これまでにない大きな変革期に直面している。「会計ビッグバン」(会計制度の一大改革)という言葉がそれを象徴している。では、その変革はどこからくるのであろうか。そもそも、会計情報の存立基礎はどこにあるのだろうか。会計情報の性格や役割はこれまでとは異なった方向に進んでいくのであろうか。これまでの利益計算の仕組みは何であり、それは今後、根本的に変わるものであろうか。

本講義では、こうした今日の企業会計と会計情報をとりまく諸問題を、制度と理論の双方から取り上げる。特に、米国でおこったエンロン問題など不正会計疑惑の根っこにあるものや、国際会計基準の世界統合化問題の背後にあるもの、そしてわが国の会計制度史上の画期的事件ともいえる民間の基準設定機関の創設や減損会計の導入問題の背後にあるものなど、さまざまな会計情報をめぐる時事問題もケースとして取り上げ(ホームページに掲載中)、そこにどのような問題が潜んでいるか、その洞察力を得ること(企業会計の政治経済学)を1つの目標にしたい。

講義の内容・授業スケジュール

今日の企業会計のあり方の1つのキーワードは「キャッシュ・フロー」である。そこで、前半の講義では新たな財務諸表の一角を担うようになったキャッシュ・フロー会計情報を取り上げ、その計算の仕組みとキャッシュ・フロー情報の役割り、とりわけ企業価値(株主価値)とのかかわりについて学習する。

後半の講義では、「会計ビッグバン」のもっとも重要な位置にある「時価会計」を中心にその制度と理論を学習し、あわせて会計情報をめぐる「政治経済学」についても学習する。

(前半の講義)

- 1) 全体の講義紹介
- 2) キャッシュ・フロー計算書の作成方法
- 3) 損益計算とキャッシュ・フロー計算
- 4) 3つの財務諸表の動的相互関連
- 5) キャッシュ・フロー革命と企業経営
- 6) エクセルとアカウンティング

(後半の講義)

- 1) 時事会計入門
- 2) 金融商品会計の理論と制度
- 3) 現在価値会計の理論と制度
- 4) 無形資産の会計問題
- 5) 資本の会計問題
- 6) 企業会計の政治経済学

履修上の留意点

前半は教科書にそって講義する。解説はOHPを用いる予定。前半の講義の最終回に私のホームページにある4つのデモンストレーションをおこなう予定。後半については会計学の基礎知識をもっていることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験か、レポートを予定している。

教科書

石川純治『キャッシュ・フロー簿記会計論(改訂版)』(森山書店)2,500円

その他

前半の講義では一方的授業を避けるため、まず「何が問題か」そしてそれを「どう解くか」を明確にするため設問を解いてもらい、そのあとで教科書にそって解説するという方式をとる。特に、「系統だつて学習する」ことの重要性を強調する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
税務会計論	高木 克己	経B・経A 2・3・4選 12以降入学生/備2・3・4選	4

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営分析	わた 渡 <small>なべ</small> 智 <small>さとし</small>	経B・経A2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	4

講義のねらい

企業は財務諸表を開示することによって、財政状態や経営成績などの会計情報を広く一般に伝えています。しかし、財務諸表の見方を知らなければ、そのような情報を把握することはできません。経営分析とは、分析対象となる企業の財務諸表や必要な資料を収集し、それを正確に分析し、当該企業がどのような状態にあるのか判断するものです。この講義では、経営分析に関する基本的な知識を身に付け、自ら簡単な分析を行うことができるようにすることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1)ガイダンス (2・3)財務諸表 (4～6)収益性 (7～9)効率性 (10～12)安全性 (13)まとめ
(後期) (14～16)損益分岐点 (17～19)生産性 (20～22)成長性 (23～25)分析の実施 (26)まとめ

履修上の留意点

口頃から企業に関心を持つと良いでしょう。また、財務諸表や資料を収集する労力を惜しまないことも必要だと思います。

成績評価の方法

出席状況、学習意欲、提出物および試験の結果などから総合的に判断して評価します。

教科書

必要な資料があれば配布します。教科書は開講時に指示します。

参考書等

参考書等は開講時に紹介します。

その他

授業の方法は講義形式です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級簿記	ふく しま <small>なかし</small> 福 島 隆	経B2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は、簿記論での学習内容を基礎にして、株式会社における簿記を学習します。具体的には、株式会社で必要な簿記技法について説明します。株式会社の取引は、その種類および内容とも複雑化しています。そのような複雑化した取引について、理論と技法の両方を理解し、習得することが本講義の目的です。そのため問題演習に重点をおいて講義を進めていきたいと考えています。レベルとしては、日商簿記2級(商業簿記)を想定していますが、必要に応じて3級レベルの復習を行うと同時に、1級の導入部分についても簡単に解説する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、テキストに沿って、次のようなスケジュールを予定しています。なお、ワークブックは課題とし、ある程度の区切りがついたところで確認テストを行う予定です。

(前期)
(1)ガイダンス (2)現金預金 (3・4)有価証券 (5)債権債務 (6・7)手形 (8)引当金 (9・10)商品売買 (11～13)特殊商品売買取引
(後期)
(14)固定資産 (15～18)株式会社会計 (19)税金 (20・21)決算 (22・23)本支店会計 (24)帳簿組織 (25)伝票会計 (26)その他の論点

履修上の留意点

簿記は積み重ねが重要であるので、毎回必ず出席して、復習に時間を当てることを希望します。受講生は毎回電卓を持参して下さい。なお、受講生は簿記論またはこれに相当する科目を履修したという前提のもとに、講義を行います。

成績評価の方法

評価は概ね、平常点(出席、課題、確認テスト等)30%、定期試験70%を目安に、総合的に評価します。

教科書

『新検定簿記講義2級商業簿記』(中央経済社)680円
『新検定簿記ワークブック2級商業簿記』(中央経済社)680円
この他に必要に応じてプリントを随時配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
銀行論	齊藤 正	経B・経A2・3・4選 12以降入学生/需2・3・4選	4

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」及び小泉「構造改革」の下で日本の金融制度は大きく様変わりした。一方では、大手銀行の統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている。他方では、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も依然解消されていない。その影響は、特に地域金融機関において厳しく、地域経済は深刻な衰退状況にある。

不良債権の「最終処理」、ペイオフ解禁への対応、など、銀行を取り巻く状況はきわめて厳しいが、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が強く問われている。

本講義では、現代の銀行が直面している諸問題を銀行の基礎理論に関連づけながら検討し、あるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) まず、講義へのガイダンスとして、1990年代以降、銀行が直面している諸問題を概観し、新聞紙上等でよく見聞きする基本的用語と「銀行論」との関連づけを行なう。
- (2) 前期は銀行の基礎理論の理解を中心に据える。
 - 1) 銀行経営の不振とは対照的に大手消費者金融会社や商工ローン会社（貸金業）は史上最高の収益を達成している。
銀行制度の成立以前からすでに存在していた「金貸し業者」や「高利貸し」と「銀行」の違いがどこにあるのかを考えながら、「銀行」の基本的機能および経済社会（メーカー、流通業、消費者、さらに国家など）との関連を明らかにする。
 - 2) 銀行が一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。しかし、銀行は受け入れた預金をそのまま貸し出すのではなく、「信用創造」という銀行のみ認められた方法で行い、その際「預金通貨」という「マネー」を供給する。このメカニズムを明らかにするとともに、インターネットバンキングや電子マネーなど、エレクトロニクス技術の発展にもとづいた「キャッシュレス社会」の意味について考える。
- (3) 後期では戦後の日本経済に果たした銀行の役割を時期ごとに検証する。
 - 1) 「専門的金融機関制度」といわれる戦後日本の金融制度の特徴とそれぞれの専門機関（普通銀行、長期金融機関、中小企業金融専門機関、証券会社、保険会社など）の役割を理解する。
 - 2) 時期区分は、おおまかに高度成長期（1974年まで）、低成長・自由化期（1985年まで）、バブル経済期（1990年まで）、グローバル期（1990年代以降）とし、欧米の動向も参考にしながらそれぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されていたのかを紹介する。
 - 3) 現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが、80年代後半以降の「バブル経済」と90年代以降の「バブル崩壊」、「グローバル化」である。戦後銀行制度の抜本的改革目指すビッグバン及び小泉「構造改革」を様々な角度から検討しながら望ましい銀行システムのあり方を考える。

履修上の留意点

理解をさらに深めるために

- 1) 前期科目の「現代産業事情 III（野村證券提供講座）」
- 2) 通年科目の「金融論」、併せて履修されることが望ましい。

成績評価の方法

成績は、定期試験（またはレポート）による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。再試験を実施する。

教科書

齊藤正『戦後日本の中小企業金融』（ミネルヴァ書房）2003年。
なお、授業は毎回配布するレジメに沿って進める。

参考書等

大橋・小西・齊藤・田村・平沢著『日本のビッグインダストリー6 金融業』（大月書店）
日本銀行『新版 わが国の金融制度』
建部正義『はじめて学ぶ金融論』（大月書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ビジネス事例研究	ひゃく た よし はる 百 田 義 治	経B2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、「トップ・マネジメント講座」として新設されました。大企業、中小企業、ベンチャー・ビジネスの経営者に、それぞれの企業について、経営について、また人生について、幅広く語ってもらいます。また、個人で活躍する自立した人達や事業型NPOで活躍されている人達も講師として迎えたいと考えています。駒大出身の人達も多く迎えます。そうした人達の話から、諸君は社会人として成長するために必要な貴重なアドバイスや体験や経営知識を学び取ることができるでしょう。また、いろいろな科目の学習に有益な事例が提供されます。ビジネスの世界で活躍する人達の実践的講義から「生きた知識」を学ぶことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

ほぼ2回に1回のペースで講師を迎えて体験的講義を受けます。金融、流通、商社、メーカー、外食、ベンチャー、建設などさまざまな産業の経営者や、職業会計人（公認会計士）、経済ジャーナリストなど自立した職業人を予定しています。詳細は授業開始までに講師の日程が決定次第お知らせします。

履修上の留意点

講師の企業や職業について、予備的講義は行いますが、学生諸君もインターネットや新聞・雑誌など活用し、積極的に予備知識を獲得して参加してください。

成績評価の方法

各講師の話についてレポートを提出してもらいます。それらのレポート評価と学年末の授業全体に関するレポートで総合的に評価します。

教 科 書

必要に応じてレジメやパンフレットなどを配布します。

参 考 書 等

随時、紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ビジネス英会話 I (前期)	し みづ きぬ よ 清 水 絹 代	経B2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、ビジネスの現場で現在持っている英語運用能力を最大限発揮できるようになることを目標とします。目標を達成するために、履修者が発話している様子をビデオ・カメラで撮影し、それを見て分析する時間を作ります。同時に、シミュレーション・ゲームやスピーチ・コンテストを行ないます。

講義の内容・授業スケジュール

講義1回目……………イントロダクション
 講義2回目……………個人目標の設定
 講義3～5回目……………ビジネス会話練習&スピーチ・コンテスト
 講義6回目……………シミュレーション・ゲーム
 講義7～9回目……………ビジネス会話練習&スピーチ・コンテスト
 講義10回目……………シミュレーション・ゲーム
 講義11～13回目……………ビジネス会話練習&スピーチ・コンテスト
 (前期、後期共同様のスケジュールで行ないます)

履修上の留意点

上記講義内容にあわせて、様々な課題が出されます。最終回のスピーチ・コンテストでは、全員、スーツで参加します。遅刻厳禁。携帯電話、PHSの電源は切ること（マナーモードは禁止）。履修希望者は初回講義に必ず出席して下さい。

成績評価の方法

出欠席、参加態度、課題レポート等の提出物、スピーチ・コンテストの内容などを総合的に評価します。欠席は各学期、原則2回まで。体調その他特別な理由で2回以上欠席する可能性がある人は初回講義で必ず申し出て下さい。

教 科 書

初回講義で案内します。

参 考 書 等

初回講義で案内します。

そ の 他

他者との関わりから学ぶことを重視しています。そのため、他の履修者と話したり、互いに評価する時間を作ります。

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ビジネス英会話Ⅱ(後期)	清水 絹代	経B2・3・4選	2

講義のねらい	本講義では、ビジネスの現場で現在持っている英語運用能力を最大限発揮できるようになることを目標とします。目標を達成するために、履修者が発話している様子をビデオ・カメラで撮影し、それを見て分析する時間を作ります。同時に、シミュレーション・ゲームやスピーチ・コンテストを行ないます。
講義の内容・授業スケジュール	講義1回目……………イントロダクション 講義2回目……………個人目標の設定 講義3～5回目……………ビジネス会話練習&スピーチ・コンテスト 講義6回目……………シミュレーション・ゲーム 講義7～9回目……………ビジネス会話練習&スピーチ・コンテスト 講義10回目……………シミュレーション・ゲーム 講義11～13回目……………ビジネス会話練習&スピーチ・コンテスト (前期、後期共同様のスケジュールで行ないます)
履修上の留意点	上記講義内容にあわせて、様々な課題が出されます。最終回のスピーチ・コンテストでは、全員、スーツで参加します。遅刻厳禁。携帯電話、PHSの電源は切ること(マナーモードは禁止)。履修希望者は初回講義に必ず出席して下さい。
成績評価の方法	出欠席、参加態度、課題レポート等の提出物、スピーチ・コンテストの内容などを総合的に評価します。欠席は各学期、原則2回まで。体調その他特別な理由で2回以上欠席する可能性がある人は初回講義で必ず申し出て下さい。
教科書	初回講義で案内します。
参考書等	初回講義で案内します。
その他	他者との関わりから学ぶことを重視しています。そのため、他の履修者と話したり、互いに評価する時間を作ります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インターンシップ	浅野 克巳	経B3選	2

講義のねらい	インターンシップとは、学生が、在学中に、企業や各種団体などで〈就業(現場)体験〉をすることです。インターンシップによって、実社会＝現場の実態を知り、自らの専攻分野や関心分野についての具体的な知識を豊富にし、適性を的確に判断しながら、職業の選択や人生設計における主体性と問題解決能力の強化を図ろうとするものです。大学での普段の学習方式とは異なる〈体験学習〉で得たものはきっと一つの貴重な生きた知識になるはずです。
講義の内容・授業スケジュール	・～4月——演習(Ⅱ)担当教員・受け入れ先・本人の3者間で実施についての基本的な合意 ・4月——履修登録 ・7月——事前研修 ・8～9月上旬——就業(現場)体験(2週間程度) ・9月——事後研修(レポート作成など)
履修上の留意点	① インターンシップでは、「3者」の間の確実な信頼関係の構築が大前提になります。したがって、受け入れ予定先の判断などで実施できなくなる場合もあります。 ② スケジュールのうちとくに就業(現場)体験は、受け入れ先の都合で時期・期間が当初の予定と変わることがあります。
成績評価の方法	受け入れ先からの報告と事後研修で提出するレポートなどで評価します。
教科書	事前研修・事後研修に必要な資料などを配付します。 また、受け入れ先から必要な資料・文献などが配付されることもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
インターンシップ	瀬戸岡 紘 <small>せとわか ひろし</small>	経B3選	2

講義のねらい

就職するまえに企業や各種団体に就業体験をすること（インターンシップ）は、アメリカやヨーロッパの学生たちのあいだでは7割ほどにもおよびます。社会にでるまえに社会を体験し、社会人としての自覚を高めることの重要性は、わが国でも急速に認められるようになっていきます。その要請にこたえつつ、将来の職業選択の能力をやしなうことが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

年度初めには、受講生、担当教員、受け入れ先の3者で基本的な合意をします。そのうえで、前期授業期間中に事前研修をします。主として夏休みを利用して就業体験をします。その後は、レポートの作成など、事後研修をします。
条件がゆるせば、ひとりの学生が複数の企業や団体に何回も就業体験をすることもできるようになります。

履修上の留意点

受け入れ先の企業や団体からの信頼がなければインターンシップはなりたちません。その点でしっかりした自律の精神をもっていることが期待されます。

成績評価の方法

事前研修、事後研修でのレポートのほか、受け入れ先からの報告によって評価します。

教科書

事前研修、事後研修で、必要な資料などを配布します。受け入れ先から資料・文献などが配布されることもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代産業事情Ⅲ（前期）	代田 純 <small>しろ た じゅん</small>	経B3・4選	2

講義のねらい

野村證券株式会社の提供による本講座は、「資本市場の役割と証券投資」をテーマとし、野村證券および野村総合研究所の現役スタッフによって前期13回で講義される。講義では、証券市場に密接に関連する経済情報の捉え方からスタートし、株式や、債券、投資信託などの基礎を解説した後、資産運用とライフプランニング、資本市場と投資家心理などの実践的課題に接近し、最後にはベンチャービジネスにも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス
- 2 経済情報の捉え方
- 3 経済成長と金融資本市場について
- 4 証券投資のリスク・リターンについて
- 5 株式市場の役割と投資の基礎知識について
- 6 債券市場の役割と投資の基礎知識について
- 7 投資信託の役割とその仕組みについて
- 8 ポートフォリオ・マネジメントについて
- 9 市場のグローバル化と証券投資について
- 10 資産運用とライフプランニング
- 11 資本市場における投資家心理について
- 12 個人投資家と証券ビジネスについて
- 13 ベンチャービジネスとIPOについて

履修上の留意点

遅刻、途中退室は認めない。講師の都合でテーマが変更されることもある。

成績評価の方法

定期試験による。再試験はない。但し、レポート提出者には加点する。

教科書

毎回、講義資料が配布される。指定参考書として、代田純『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済新報社）2002年を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	阿部弘 <small>あべひろし</small>	経B2選	4

講義の内容・
授業スケジュール

経済学の基礎を、次の本を読むなかで、深めて行きます。
 文献：池上惇『文化経済学のすすめ』（丸善ライブラリー）
 演習参加者は、上記テーマとは別に、各自がゼミナールの論文を書きます。その論文はゼミナールの機関誌『アビール』に掲載します。

履修上の留意点

なお、演習Ⅱ・Ⅲの「講義内容」に行事などが記されていますので参照してください。

成績評価の方法

ゼミナールですので、ゼミナールへの参加はもちろん、ゼミナール論文の報告会への参加がない場合には、単位にはなりません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	大吹勝男 <small>おおがきかつお</small>	経B2選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代企業の物流管理、マーケティング戦略における物流、ロジスティクス・マネジメント、そしてサプライチェーン・マネジメントと物流、等々うんざりするほどカタカナの用語がでてきましたが、諸君は、どれだけ知っていますか？

ゼミの仲間と一緒に勉強し、考えていきましょう、そして卒業時には、単なる知識の習得だけでなく、それを生かすことのできる科学的な思考能力を身につけた人間になっていることを期待します。また、つぎの詩に共感できる学生を歓迎します。

私が両手をひろげても／お空はちっとも飛べないが／飛べる小鳥は私のやうに／地面を速く走れない。

私がからだをゆすっても／きれいな音はでないけど／あの鳴る鈴は私のやうに／たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私／みんなちがって、みんないい。

（金子みすゞ作）

成績評価の方法

平常点によるが、ときには感想文の提出がある。あとは諸君の勉強次第です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	ひゃく た よし はる 百 田 義 治	経B 2選	4
演習 II		経B 3選	

講義のねらい

現代日本の企業が直面するビジネス・マネジメント（経営管理）に関わるテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。

講義の内容・授業スケジュール

- 次のようなテーマに取り組みます。
- (1) メガ・コンペティション、グローバル・スタンダードが叫ばれるなかで、日本企業の経営行動はどのように変化しているのか？
 - (2) 企業不祥事がなぜ多発するのか？ その防止（コーポレート・ガバナンス）には何が必要なのか？ 株主至上主義経営の破綻は何を意味するのか？ 企業の社会的責任とは何か？
 - (3) いま、なぜ、能力主義・成果主義なのか？ 終身雇用・年功制はなぜ修正されなければならないのか？ 日本的経営の何を残し、何を変革すべきか？
 - (4) なぜ、企業は海外進出するのか？ 経営が国際化するなかで異文化との共生には何が必要なのか？
 - (5) 企業は環境問題にどのように取り組んでいるのか？
 - (6) 21世紀型ビジネス・モデルの特徴とは何か？ ネットワーク経営とは何か？ などなど

履修上の留意点

経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法

出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書

未定

参考書等

未定

その他

「課題研究」を行います。「ビジネス・マネジメント」専修課程の認定を行います。専修課程認定のための系統的学習に必要な科目は、経営学総論、経営学史、経営管理論、労務管理論、経営戦略論、財務管理論、演習などです。
企業経営に関心を抱き、学習意欲が旺盛で、演習 I、II、III を継続して履修できる学生の参加を希望します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	あらかき よし ひろ 荒 木 勝 啓	経B 2選	4
演習 II		経B 3選	
演習 III		経B 4選	

講義のねらい

EXTDを使い、回帰、非線形回帰、移動平均までを行なうソフトを開発し、それをもとに経済予測の基礎を研究する。EXTDはプログラミング言語のC言語をさらに簡単にした開発環境ソフトである。既成のソフトを与えられて使うのではなく、自分で自分好みのソフトを作りたいと考えている人にはEXTDは世界中で最も易しい開発環境ソフトのうちの1つであろう。パソコンやプログラミングをしたことのない者でもキーボードのブラインドタッチから指導するので問題ない。

成績評価の方法

成績評価は出席点 + (実データをもとにした予測研究) で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	いい だ やす ゆき 飯 田 泰 之	経B2選	4
演 習 II		経B3選	
演 習 III		経B4選	

講義のねらい

演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する（つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」）際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標とした。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- ・経済学以外の本を使ってのレジュメ作成・発表演習
- ・Word,Excelの基本操作に関する講義
- ・経済の基本書を使ってそれまでのゼミの内容を生かした発表

夏期合宿

- ・ディベート大会

後期

- ・ネットを利用した情報収集の講習と統計の基礎知識
- ・金融政策・産業政策・産業組織・金融工学のいずれかの本を輪読

履修上の留意点

「経済原論Ⅱ ミクロ経済学・マクロ経済学」「経済政策」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書

教科書は開講時に協議する。

参考書等

テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

その他

経済学やパソコンの利用など基本知識のレベルには受講生ごとにばらつきがあると思うが、皆の希望を聞いた上で補充したいと思う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	いわ なみ ふみ たか 岩 波 文 孝	経B 2選	4
演習 II		経B 3選	
演習 III		経B 4選	

講義のねらい

近年の急速な IT 革新の進展や企業活動のグローバル化など企業をめぐるビジネス環境は複雑・多様化しており、経営破たん・不祥事など問題も発生しています。ここでは、コーポレート・ガバナンスと経営システムをテーマとして、企業経営の仕組みを理解していくとともに、企業経営に関する興味・関心を深め、公正・効率的な経営システムの追求を目指していきます。

講義の内容・授業スケジュール

輪読形式により報告担当者・グループによるレジュメ報告を中心に討論を行います。合宿では、現代の企業経営が抱える諸問題について、討議していきます。

履修上の留意点

ゼミナールは、受講生の主体的な学びの姿勢にもとづいて運営されます。ここでは専門の学習へ向けて、自らの課題を発見し、問題意識を深めていくという積極的な学習スタイルが求められます。受講の際には企業経営に関する興味・関心を持ちゼミナールに参加してもらいたい。

成績評価の方法

ゼミへの出席、発表内容、積極的な討議への参加などの平常点による総合評価を行います。

教科書

開講時に指定します。

参考書等

必要に応じて指定します。

その他

「課題研究」を併設します。
専修課程「マネジメント・システム」を認定します。
系統学習に必要な科目は、経営学総論、経営管理論、労務管理論、企業統治論、演習などです。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	お ぐり たか し 小 栗 崇 資	経B 2選	4
演習 II		経B 3選	
演習 III		経B 4選	

講義のねらい

日本の企業会計制度は今、大きな転換期にさしかかっている。グローバル化の影響による会計制度の大改革は会計ビッグバンと呼ばれるが、計算構造の面でもディスクロージャーの面でもこれまでの財務会計の枠組みや原理・方法は大きく変容しつつある。会計の学習者にとっては、従来のような勉強だけでは変化についていくことができないので大変やっかいであるが、発想を変えれば、現代経済のなかでの会計の役割や仕組みを研究するチャンスである。演習では「日本の会計制度と会計ビッグバン」をテーマに学習を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習では、まず企業会計の基礎を理解したうえで、現代の財務会計の原理や方法を学習する予定である。経営分析の基礎についてもあわせて学習し応用能力を付けるようにしたい。テキストを中心にディスカッションを重視してすすめるが、一方で、会計は基礎からの技術的積み上げが重要なので、受講者の状況を見て、日商簿記検定2級、3級を取得できるように指導したい。

履修上の留意点

演習では討論を重視しているので、積極的に参加すること。企画力のある意欲的な学生の参加を希望したい。なお、「課題研究」も開講する予定である。

成績評価の方法

総合的に判断する。①出席状況、②分担報告、③レポート。

教科書

演習の中で指示。

参考書等

演習の中で指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	さいとう 藤 正 さいとう 藤 正	経 B 2 選	4
演 習 II		経 B 3 選	
演 習 III		経 B 4 選	

講義のねらい

「日本経済の構造改革の方向」をテーマとし、日本の「何を」「どのように」改革すべきなのかを主に新聞・雑誌記事を素材にしながら考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

世界経済は「大競争時代」といわれる激しい変化の時代がありますが、それは一方では、ソ連・東欧型社会主義の崩壊によって「市場経済化」が急速に拡大したこと、他方では、情報通信技術の発展によって産業構造や経済取引のあり方が大きく変化していることに由来しています。

そうしたなかで、日本経済はバブル経済崩壊後の不況をいまだ克服できておらず、企業のリストラによって勤労者の労働条件（就業機会、賃金、労働時間）がますます厳しくなっています。戦後50年あまりにわたって展開され、世界から「脅威」とも目されてきた「日本的経営」のあり方が、根本的に問われているのです。「6大改革」に代表されるさまざまな改革論議が飛び交うゆえんです。

履修上の留意点

ゼミナールは少人数であり、討論を通じて具体的な問題についての理解を深めたり、議論の仕方を学ぶところに意義がありますので、積極的な諸君の参加を求めます。そして、議論を通じて諸君が自らの「見解」を獲得することを大いに期待します。

成績評価の方法

年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

参 考 書 等

日本経済新聞社『経済新語辞典』：毎年新版が発行されており、新聞記事を理解するために役立ちます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	し 清 みず たかし 水 卓	経 B 2 選	4
演 習 II		経 B 3 選	
演 習 III		経 B 4 選	

講義のねらい

フレックス A のゼミと全く同じように運営します。当ゼミは、ヨーロッパ経済を中心テーマとしたゼミです。とはいっても、ヨーロッパは大きくて懐の深い社会ですから、ゼミ参加者の問題関心も毎年実に様々で、欧州憲法制定、中東欧の加盟問題、欧州連合 (EU) の統一通貨ユーロ、北欧諸国の福祉社会など興味はつきません。ですから、3年間をかけて、現代の経済社会を見る目を、基礎から徐々にレベルアップしていけるように運営しています。卒業時点で自分の得意分野でしっかり自己表現できるようになることを目指します。

担当教員は、様々な最新情報や、資料の所在、文献の紹介などを行います。ゼミの中心は参加者学生の自由な話し合いです。参加者の色々な個性が触れ合って、学びの楽しさを実感できる場にしたいと思います。

今後数年で EU に参加してくる中・東欧諸国、構成メンバー国数の増加に対応しての EU 自体の機構改革、EU 憲法制定への動きなど、現在のヨーロッパの様々な動きの意味について考えていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール

演習 I では、ヨーロッパ経済と EU についての基礎的文献・資料をじっくりと学びます。自分なりの考えを分かりやすく他のメンバーに伝えられるようになるために、要旨を発表する形式で行います。見学 (昨年は日本銀行、貨幣博物館) などの行事を行ったり、春と夏には、楽しい合宿をやります。

履修上の留意点

「よく学びよく遊べ」をモットーにしたいと思っています。何事につけ前向きに取り組もうとする姿勢がほしいですね。

それと、昨年から、基礎的学力を充実させるため、ゼミ生には漢字検定の資格、英検、TO-FLE[®]、TOEIC[®]の資格に挑戦するように呼びかけています。

成績評価の方法

平常授業や合宿への参加や、研究発表への取組を評価して成績を決めます。

教 科 書

田中、長部、久保、岩田『現代ヨーロッパ経済』、有斐閣、2,500円

参 考 書 等

参考書は授業で紹介します。

そ の 他

「課題研究」併設。
ヨーロッパ経済論 専修課程。
ヨーロッパ経済論、清水演習 I・II・III、理論経済学 IA・IB、国際経済論、日本経済論

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	しる た じゅん 代 田 純	経 B 2 選	4
演 習 II		経 B 3 選	
演 習 III		経 B 4 選	

講義のねらい

金融についての研究

講義の内容・授業スケジュール

就職活動と両立させて、卒論完成をめざす。

履修上の留意点

毎回、出席すること。

成績評価の方法

出席、発言によって評価する。

教 科 書

特に決めない。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	すずき のぶ 枝 伸 鈴 木 伸 枝	経B2選	4
演習Ⅱ		経B3選	
演習Ⅲ		経B4選	

講義のねらい

公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックについて「どういう問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。

講義の内容・授業スケジュール

公共経済学のテキストの輪読を中心にします。毎回、輪読の報告担当者にはレジュメを用意してもらいます。また、学年末には自分でトピックを選んでレポートを提出してもらいます。コンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。

履修上の留意点

ゼミは勉強の場だけでなく、人前で自分の意見を言えるよう訓練したり、同じゼミの仲間と協力して何かを達成することを通じて人間的に成長する場でもあります。引っ込み思案にならず、常に積極的な態度で参加してください。

成績評価の方法

出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。

教科書

受講者と相談して決定します。

その他

ゼミ中は禁煙とします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	そ が のぶ たか 曾 我 信 孝	経B2選	4
演習Ⅱ		経B3選	
演習Ⅲ		経B4選	

講義のねらい

前期でマーケティングに関する基礎学力を、後期でマーケティング戦略、あるいはその技法の検証能力、さらに自ら製品開発や広告などの企画をするための発想力を身に付けてもらうことを狙いにしている。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主に文献講読と議論に中心を置く。夏合宿で受講生個別の研究テーマの検証方法について議論をする。後期はディベート大会向けのためのグループ研究を主体にする。並行して夏合宿の成果をレポートもしくは論文にもらう。

成績評価の方法

出席状況（合宿参加も含む）、発表要旨（レジュメ）、ゼミ行事への取り組みなどで総合評価する。

教科書

春合宿時に決定する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

専修課程を認定する『マーケティング戦略論』
 [系統学習に必要な科目] 演習Ⅰ、演習Ⅱ、演習Ⅲ、マーケティング、商学関連科目、経営学関連科目、会計学関連科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	ちよん 鄭 ちやん 章 よん 淵	経B 2選	4
演 習 II		経B 3選	
演 習 III		経B 4選	

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に戦後（第二次世界大戦）東アジア経済の発展過程に関する知識を身につけてもらうことです。ここでいう東アジアとは、北東アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭にアジア NIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）ASEAN3（タイ、マレーシア、インドネシア）中国その他と続く発展の様は、しばしば「雁行形態の発展」と称されてきました。ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく現状において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

下記の文献を輪読してもらいます。具体的には、予め報告分担を決め、報告者は各自が作成したレジュメに基づいて報告してもらいます。

また、夏期休暇にゼミ合宿を予定しています。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。

成績評価の方法

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。

教 科 書

大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円＋税

参 考 書 等

「課題研究」を併設します。
アジア経済論専修課程：系統学習に必要な科目
アジア経済論、演習Ⅱ・Ⅲ、国際経済論、中国経済論、日本経済論、国際金融論、アメリカ経済論

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	とく <small>なが</small> とし <small>あき</small> 徳 永 俊 明	経B2選	4
演習Ⅱ		経B3選	
演習Ⅲ		経B4選	

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国（発展途上諸国：第3世界）の国際関係とそこでの人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済の中で人間と人間の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさと貧困、そして彼らのたかひについての検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさと貧困を考えるのです。

春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは？ 自由とは？ 愛するとは？ 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりがみんなの意見を参考にして考えを深めます。

ゼミ最大のイベントは、これも全学年そろっての東南アジアへの研修旅行（自由参加）。これまでフィリピン・ベトナム・インドなど11か国へ行きました。いわゆる「観光旅行」ではなく、人々と交流し、人々の生活とその向上への努力や文化などを見聞することで、アジアの人々を知り、私たち自身の生活と考え方を再検討します。この旅で、私たちの頭のなかの〈世界〉は一挙に広がり、深くなります。

第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点

何よりも〈考える〉努力を求めます。

成績評価の方法

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

参考書等

討論のための資料を使ってすすめます。

その他

〈考える〉努力の成果を「課題研究」としてまとめます。（希望者のみ）

〈現代国際経済〉専修課程認定に必要な科目——国際経済論、貿易論、アジア経済論、中国経済論、日本経済論

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	ともまつ よし ひこ 友 松 憲 彦	経B 2選	4
演 習 II		経B 3選	
演 習 III		経B 4選	

講義のねらい

この演習は経済史の入門を課題としています。現在経済はどのように生まれ、いかなる特徴や問題を持ち、今後どの方向に変化していくのか、経済史はこうした問題を人類の過去の経済活動の軌跡を研究することによって明らかにする学問です。経済史という学問の課題と方法の理解につとめます。

講義の内容・授業スケジュール

この演習は西洋社会経済史の研究をおこないます。まず資本主義といわれる近代社会の経済システムが歴史的にどのように誕生し発展してきたのかを学びます。それを前提にして、今年度は「流通の歴史」をテーマに研究します。わたしたちの生活はさまざまな財やサービスを生産し、それを消費することによって成り立っています。この生産と消費を結びつける行為が流通（商品の購入と販売）であり、流通業がそれを担っています。歴史的にみると小売業はマーケットやフェア、行商人から固定店舗に移行し、さらに近代にはデパート、チェーン・ストア、コンビニなどの新しい業態を生みだしました。「流通の歴史」を近代資本主義の発達と関連させながら研究します。

また、各自が4年次の課題研究にむけて自由に設定したテーマについて研究を進めていきます。

成績評価の方法

①年度末のレポート②平常点（レジュメ、報告、討論の状態）、③出席で評価。

そ の 他

課題研究を実施。
社会経済史専修課程

演習Ⅰ、演習Ⅱ、演習Ⅲ、経済史、西洋経済史、日本経済史、商業史、社会思想史、経済学史

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	なか すみ みつ あき 中 濟 光 昭	経 B 2 選	4
演 習 II		経 B 3 選	
演 習 III		経 B 4 選	

講義のねらい

経済を情報の観点から研究していきます。具体的なテーマとしては、インターネットマーケティング、ネットワークを活用した流通システム、サプライチェーンマネジメント、デジタル情報の著作権問題、電子決済があります。コンピュータに興味のある学生は、システム設計実習やホームページデザイン実習などをテーマとしています。このゼミでは、パソコンを活用した情報リテラシー向上のための演習を行います。この演習の成果は、社会人には、新たなキャリアに、これから就職する学生には、情報産業を始めとする様々な業種への就職に結びつきます。

講義の内容・授業スケジュール

- ・テーマの決め方、資料の探し方、レポートの書き方・実習、発表の仕方
- ・各自設定したテーマについてレジュメ作成、発表

履修上の留意点

- ・メールを読む、ワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。今、ワープロが出来なくても、身につけたいという意欲のある人は歓迎します。

成績評価の方法

出席と課題提出、中間発表、総合発表とレポートを総合評価します。

教科書

別途指示

参考書等

別途指示

その他

ゼミはパソコン教場を使用しますので、本ゼミを受講したい人は、総合情報センターへ利用登録を行う必要があります。

[情報デザイン論] 専修課程

系統学習に必要な科目 演習 I・II・III、情報経済ネットワーク論、基礎情報処理 I・II、応用情報処理 I・II、コンピュータ会計 I・II、経営情報システム論 I・II、プログラミング論、論理学、科学史、統計学、情報数学、コンピュータ基礎・応用、情報資格特別演習 I・II、経営情報論、情報理論

専修課程を選択する学生への注意・要望 基本情報技術者試験合格を目標に取り組んでください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	福原好喜 <small>ふくばら よし のぶ</small>	経B2選	4
演習Ⅱ		経B3選	
演習Ⅲ		経B4選	

講義の内容・
授業スケジュール

(社会科学方法論研究)

このゼミナールは経済学の基本となる社会科学方法論に関する基礎的な文献を読むことになっている。昨年は大塚久雄『社会科学の方法』、マックス・ウェーバー『社会科学方法論』、『職業としての学問』、カール・マルクス『経済学の方法』などを読んだ。主観を離れられない個人が如何にして学問の客観性を保証しうるのか？これがゼミの基本テーマである。ゼミはディスカッション方式で行うので何よりも学生の自主的な勉学態度を期待する。ガリ勉である必要はないが、勉学に情熱を持った学生に是非来てほしい。

夏の合宿では、研究会とともに、午後はテニスカゼミのヨットで操縦訓練を行っている。午前勉強、午後スポーツ、夜研究会という日課である。

「よく遊ぶよく学ぶ」というのが福原ゼミのモットーである。ヨットもテニスも初心者には手ほどきをする。福原ゼミで諸君が学ぶものは別にテキストからだけではない。教師や学生仲間とのつき合いを通して夫々の個性をのびのびと育ててほしいと思っている。

学生に、勉学はもとより、精神的、肉体的訓練も幾分かでも与えることが出来ればと思う。サブゼミとして、専門にとられない経済問題全般についての研究会を実施中である。春秋年2回、2・3・4年ゼミ、全メンバーによる駒沢公園一週のマラソン大会とそれに続く合同コンパが恒例行事となっている。3年という歳月はそう長くはない。自分を鍛えることにもっと意欲を持とう。

学生との人間的つきあいを大事にするゼミにしたいと思っている。

(福原ゼミナール十訓)

福原ゼミ生は以下の教えを胸に刻み、その実践を心掛けなければならない

1. 理想を高く掲げ、日々の努力を怠らざること
1. 人格の陶冶を心掛け、心身の鍛練に努めること
1. すべての生命を慈しみ、無用の殺生をなさざること
1. 社会的貢献に努め、弱者の救済に役立つこと
1. 質素を旨とし、浪費をなさざること
1. 規則正しい生活を心掛け、早朝マラソンを欠かさざること
1. 親の葬儀以外は授業をさぼらざること
1. 隣に優しく、自らには厳しかるべきこと
1. 自らの責務を回避せざること
1. 酒を愛すも、深酒は慎むこと

履修上の留意点

「課題研究」併設。

成績評価の方法

成績は出席点とレポートでつける。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	みぞ て よし かず 溝 手 芳 計	経B 2選	4
演 習 II		経B 3選	
演 習 III		経B 4選	

講義のねらい

食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。

履修上の留意点

ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つと決っていません。学生相互の疑問の出し合い、教えあい、意見交換を大切にしてください。

成績評価の方法

出席状況、レポートと発表の内容・態度、議論への参加状況などを総合的に評価します。

教科書

ゼミ生の希望を聞いて決定します。

参考書等

必要に応じて紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏	経B 2選	4
演 習 II		経B 3選	
演 習 III		経B 4選	

講義のねらい

会計とは、企業の経営活動の状況を数字によって表現しようとするもので、その具体的な技術が簿記であり、その背後にある理論が会計学といわれるものである。したがって、簿記と会計学とは表裏の関係にある。会計学の領域は、大きく財務会計と管理会計とに分けられる。本演習では、財務会計の基礎理論を学ぶことを目的とする。財務会計とは、投資家、債権者、税務当局、消費者など、企業外部の利害関係者に対し、会計情報という形で企業の実態を明らかにする外部報告会計である。

さらに、このような外部報告会計に信頼性を付与するため、資本金5億円以上または負債総額200億円以上の会社、および有価証券の募集・売出しをしようとする会社または有価証券を上場している会社などに対して、公認会計士または監査法人による会計監査が義務づけられている。こうした会計監査も、主として財務会計の領域に属するものである。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをベースとして、財務会計(会計監査を含む)に関する基礎的な諸問題を取り上げ、解説および学生諸君による報告・討論を行う。

履修上の留意点

特別な事情がない限り、毎回必ず出席すること。

成績評価の方法

いわゆるゼミであるから出席を重視するが、そのほかにレジュメや報告の内容等により、総合的に評価する。

教科書

最初の演習時に指示する。

参考書等

演習時に適宜紹介する。

その他

演習IIおよび演習IIIに「課題研究」を併設する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	やしきただみつ 谷 敷 正 光	経B2選	4
演習Ⅱ		経B3選	
演習Ⅲ		経B4選	

講義のねらい

2年生の演習は日本経済、日本産業の驚異的成長はいかにして可能だったのか、日本経済の発展過程と経済システムを明らかにしていきたいと思います。

演習ⅡⅢテーマ〔日本経済の発展と高度工業化社会の研究〕

3・4年の演習は、戦後の日本経済の発展過程と各時期における発展要因と構造的特質を明らかにし、明治以降西欧以外の諸国で日本だけが独立を維持し、高度工業国に脱皮しえたかを解明するとともに、戦後50余年間の日本型経済システムの形成と破綻の過程を基礎文献や学術論文を使って明らかにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰ

〔前期〕は、戦前・戦後の日本経済発展の理解や事実認識の手助けとして、和田英『富岡日記』、山本茂実『あゝ野麦峠—ある製糸工女哀史』、中村隆英『昭和恐慌と経済政策』、邦光史郎『トヨタ王国』、木下英治『東急王国』などの小説や「あゝ野麦峠」「若き日の豊田佐吉」「生きている昭和史」などの映画、「金融恐慌日本を揺るがす」「乗用車ゼロからの出発」などのビデオを教材として使用して班別課題発表やプレゼンテーションの練習をします。

〔後期〕は、前期に学んだ「題材」にかかわる学術論文を読み進めたり、基礎的文献を教材に日本資本主義の形成期、産業資本確立期、独占資本主義確立期を中心に日本経済の発展過程や経済システムを班別課題発表やプレゼンテーションで明らかにします。

履修上の留意点

4年ゼミまで続けられる人を望んでいます。

成績評価の方法

出席を基本に、常日頃の発表や論文などで総合評価します。

教科書

演習Ⅰ：山本弘文『近代日本経済史』（有斐閣）

参考書等

『日本歴史大事典（全4巻）』（小学館）

その他

- ①4年ゼミでは、「課題研究」を開設しますので、希望する人は履修することができます。
②教育経済研究 専修課程を開設しますので、以下の科目の中から5科目履修して下さい。

系統学習に必要な科目は、

演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 教育経済論 日本経済論 日本経済史 近代経済学
国民所得論 社会政策 労働経済論 人口論 経済政策 財政政策
マーケティング 商業史 中小企業論 景気循環論の中から選択履修

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	やまがたひろし 山縣弘志	経B2選	4
演習Ⅱ		経B3選	
演習Ⅲ		経B4選	

講義のねらい

比較経済論

講義の内容・授業スケジュール

テクノロジーの発展が生み出すヴァーチュアリティと現実（リアリティ）とのギャップをいかに埋めるか、わたし達の知恵が問われている。20世紀に顕在化してはまだ未解決の課題——環境、戦争、福祉、民族、競争と平等、これらとどう取り組むべきか。市場主義の限界は明らかであり、他方で「20世紀社会主義」も対案となりえなかった。ヨーロッパ、ロシアの経験に学び、比較経済論の視点から、これらの問題を考えていきたい。

2年次生は入門の文献、3年次生は専門の文献、4年次生は自主研究のそれぞれ発表によって授業を進める。

成績評価の方法

出席、発表、討論への参加を総合評価する。

教科書

相談の上決める。

その他

非喫煙者が望ましい。

「課題研究」有。

〔比較経済論〕専修課程

系統学習に必要な科目 ロシア・東欧経済論 ヨーロッパ経済論 アジア経済論 日本経済論 国際経済論 アメリカ経済論 貿易論 中国経済論

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	よしだけいいち 吉田敬一	経B2選	4
演習Ⅱ		経B3選	
演習Ⅲ		経B4選	

講義のねらい

この演習は日本経済分析の入門を基本課題としています。バブル崩壊後の日本経済は長期にわたって深刻な不況に喘いでいます。90年代の世紀末大不況は単純な循環性の不況ではなく、日本経済の構造とりわけ日本型生産システムの抜本的再編成に基礎を置く「構造転換不況」として把握する必要があります。そこで本演習では、21世紀に入った今日、国際的な観点を含めて、日本経済の問題点がどこにあり、なにが、いかに、なぜ変化しようとしているのか、そしてそれが地域経済と中小企業に対してどのような影響を及ぼしつつあるのかを、ともに考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

講義とは異なり、演習は学生諸君の自主性・主体性が必要不可欠です。また共同研究を通して、演習生各自が自分自身の世界観・社会観（ものの見方・考え方）を確立することを目標として、また各自が個性的なプレゼンテーション能力とリーダーシップを高めることを目指して、演習を運営していきます。

履修上の留意点

受身でゼミに参加するのではなく、積極的に発言し、楽しく有意義なゼミを共に創り上げるという姿勢でチャレンジしてください。なお4年次には課題研究にチャレンジしてもらいます。

成績評価の方法

出席状況、平常点（レジュメ、報告内容、討論への参加度など）およびレポートなどを中心にして総合的に評価します。

教科書

橋本寿朗『戦後の日本経済』（岩波新書）

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	おおいしゆうじ 大石雄爾	経B3選	4

講義のねらい

21世紀を迎えた現在、日本経済は今なお90年代から続いた不況を脱け出していない。この深刻で長びく不況は、バブル経済がなぜ生じ、そしてなぜはじけたのか、というナゾを解くことなしには理解できない。このゼミでは、バブル経済とその後の不況局面を研究することをおとして、日本経済の特質と今後のあり方について考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

この演習では、森岡孝二他『日本経済の選択』をテキストとして、バブル経済の発生とその崩壊の理由をはじめ、日本経済がかかえる根本問題について学んでいく。また、地球環境の保護、高齢化社会のあり方、日本が多くの国に行なっている開発援助など、特に今日重要となっている問題についても立ち入って学習する。

平常の演習では、主としてテキストを中心に報告と討論を行ないつつ内容の理解につとめ、合宿において現代の興味ある経済問題について検討していく。

成績評価の方法

原則として平常点であるが、その中には提出を求めた感想文などの評価も含まれる。

教科書

森岡孝二『日本経済の選択』（桜井書店）

参考書等

大西広他『政治経済学』（大月書店）

その他

「課題研究」併設。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	あべひろし 阿部弘	経B3選	4
演習Ⅲ		経B4選	

講義のねらい

この演習では、日本経済についての構造を把握するための研究を行なっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

演習参加者は、上記のテーマ以外に各自のゼミナール論文を書きます。この論文は、ゼミナールの機関誌『アピール』に掲載します。

ゼミナールの行事としては、

- * 春・夏の合宿（ゼミⅠ・Ⅱ・Ⅲ）
- * 10月のソフトボール大会（ゼミナール対抗）
- * 11月末～12月初にかけてのゼミナール論文発表会（ゼミⅠ・Ⅱ・Ⅲ）
- * その他、コンパも企画されています。

成績評価の方法

評価は、ゼミナールへの参加はもちろん、ゼミナール論文の報告会への参加をしない場合には単位にはなりません。

その他

課題研究は、卒業年次生に限ります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	いし <small>かわ</small> 石川 <small>ゆう</small> 祐二	経B3選	4
演習Ⅲ		経B4選	

講義のねらい

企業においては、会計情報が様々な目的を持って利用されている。その情報を生み出すための仕組みは、どのような構造をもっているのだろうか。その構造を探り、それが社会の多様な関係の中で果たす役割を研究する。そのことによって、社会現象を分析する視点の獲得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

この演習では、特に管理会計に関わる種々の技法を取り上げることとする。とりわけ、近年の管理会計研究上の議論の中心となっている技法に焦点を当てて、その意味を考えたい。また、「課題研究」の作成を中心として、レポート作成・発表などを行うこととする。

履修上の留意点

積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってほしい。なお、「課題研究」を併設する。

成績評価の方法

特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。

教科書

初回の演習時に指示する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	おお <small>がき</small> 大吹 <small>かつ</small> 勝男	経B3選	4
演習Ⅲ		経B4選	

講義のねらい

情報化と現代企業の物流。現在、製造業、商社、卸売業から小売業まで、物流の合理化が叫ばれている。そして「世間」はIT革命とやりにウカレ、ノボせているが、その革命によって、企業間の電子商取引・eコマースだけではなく、消費者と企業間でもeコマースがひろがり、インターネット上での買物が日常化し、消費者のライフスタイルが一変し、また産業活動や産業構造が変化するという。そうなると、従来の商業や物流そしてそこで働く人々にどのような影響を及ぼすのかを研究しなければならない。そこで現代企業の経営戦略において重要性を増している「物流」と「情報経済化」を中心テーマとしながらこれに関連して卸売業、百貨店、スーパー、デスカウント・ストア、一般小売商、総合商社等々の今後の動向についても学習する。卒業時には、学問をした人間として、いかなる困難な問題にあってもきちっと解決することのできる科学的な思考能力を身につけた人間になっていることを期待します。また、次の詩に共感できる学生を歓迎します。

私が両手をひろげても／お空はちっとも飛べないが／飛べる小鳥は私のやうに／地面を速く走れない。

私がかからだをゆすっても／きれいな音はでないけど／あの鳴る鈴は私のやうに／たくさんの唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、／みんなちがって、みんないい。(金子みすゞ作)

成績評価の方法

学年末のレポートの提出によって成績を評価する。

その他

課題研究も併せて開講する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	ひゃく た よし ほん 百 田 義 治	経B4選	4

講義のねらい

現代日本の企業が直面するビジネス・マネジメント（経営管理）に関わるテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。

講義の内容・授業スケジュール

- 次のようなテーマに取り組みます。
- (1) メガ・コンペティション、グローバル・スタンダードが叫ばれるなかで、日本企業の経営行動はどのように変化しているのか？
 - (2) 企業不祥事がなぜ多発するのか？ その防止（コーポレート・ガバナンス）には何が必要なのか？ 株主至上主義経営の破綻は何を意味するのか？ 企業の社会的責任とは何か？
 - (3) いま、なぜ、能力主義・成果主義なのか？ 終身雇用・年功制はなぜ修正されなければならないのか？ 日本的経営の何を残し、何を変革すべきか？
 - (4) なぜ、企業は海外進出するのか？ 経営が国際化するなかで異文化との共生には何が必要なのか？
 - (5) 企業は環境問題にどのように取り組んでいるのか？
 - (6) 21世紀型ビジネス・モデルの特徴は何か？ ネットワーク経営とは何か？ などなど

履修上の留意点

経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法

出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書

未定

参考書等

未定

その他

「課題研究」を行います。「ビジネス・マネジメント」専修課程の認定を行います。専修課程認定のための系統的学習に必要な科目は、経営学総論、経営学史、経営管理論、労務管理論、経営戦略論、財務管理論、演習などです。
企業経営に関心を抱き、学習意欲が旺盛で、演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを継続して履修できる学生の参加を希望します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	いわ した ひろし 岩 下 弘	経B4選	4

講義のねらい

ゼミでは流通政策を中心に流通分野（流通論、マーケティング、中小企業論等）についての研究を行う。

講義の内容・授業スケジュール

具体的な内容は開講時に相談して決める。

履修上の留意点

第1回目のゼミ時に名簿、資料等を作成するので必ず出席すること。なお、第1回目に欠席の者は原則としてその後のゼミへの参加を認めない。基本的に無断欠席は認めない。

成績評価の方法

演習の成績評価は出席状況、ゼミへの貢献度、研究状況等を合わせて総合的に行うが、課題研究の成績評価は提出された論文の内容に限定して行う。

Ⅲ 他学部履修科目

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックス A の頁を参照してください。(→P.437)

Ⅲ. 他学部履修科目

国際紛争解決法	〈王志安〉	653
法思想史	〈高橋洋城〉	654
日本法制史	〈茂野隆晴〉	655
西洋法制史	〈休講〉	
国際関係論	〈南山淳〉	656
地方自治法	〈富井幸雄〉	657
倒産処理法	〈雨宮眞也〉	657
了メリ力経営学	〈宮城徹〉	658
経営組織論	〈日野健太〉	659
公益企業論	〈園田哲男〉	660

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際紛争解決法	おうしあん 王 志 安	経A・商・経B	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。powerpointで講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002 2,000円

参考書等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のみとめ報告を求めることもある。

板書のかわりに、powerpointを利用した講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法思想史	高橋洋城 <small>たがはしひろき</small>	経A・商・経B	4

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということが自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

- [1] 簡単に講義の意義・注意事項などについての説明したのち、プラトン思想の背景として、ソフィストとソクラテスの問題について概観する。
- [2] プラトンの法思想：『国家』を中心にその意義を検討する。
- [3] アリストテレスの法思想：まずアリストテレス哲学の基礎理論を形相質料論を中心に紹介する。その後、『ニコマコス倫理学』『政治学』等を題材として、正義論、政治体制論を中心に検討する。
- [4] ローマ法の思想史的意義：現代に至るまでヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたローマ法上の諸概念、思考方法について概説的な紹介を行なう。
- [5] キリスト教の法思想への影響を概念的に考察する。
- [6] 中世自然法論：トマス・アキナスの思想をとりあげ、古典的自然法論への理解を深める。また後半では、唯名論思想と近代的世界像への転換についても言及する。
- [7] 社会契約説総論とホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心にホッブズの議論を紹介し、またその現代的意義について考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に、ホッブズとの比較を念頭に置きつつ考察を行なう。
- [9] ロックの所有権論に関連させつつ、同時に所有権論史全般について考察する。
- [10] ルソーの法思想：題材としては『社会契約論』『不平等起源論』が中心になる。
- [11] カントの哲学と法思想：法理論におけるカント思想の重要性を論じ、さらに現代のカント主義的理論の展開をとりあげる。

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。それ以外に課題レポート等を設定する可能性もあるが、その場合は自由提出課題とし加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

- 法思想史に関する概説書の例として
- ・二島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。
 - ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。
- 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつと指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本法制史	しげの たかはる 茂野隆晴	経A・商・経B	4

講義のねらい

基礎法学の一つとしての法制史は、文字通り、法学教育における史学である。私の担当する「日本法制史」は日本国民の法生活の歴史的考察を行うものである。年間の通史の授業は時代区分に基づいて行うのがふつうである。近年では、近現代史のもつ重要性も強調されるようになってきているので、講義ではそうしたことにも配慮しつつも、本年は国初から近世までの4期の法制の特色を主に講述し、最後に『家』制度を行いたい。

年間の講義を受講することによって、日本の法文化への愛着が深まったといわれるようになればと思う。

講義の内容・授業スケジュール

序 日本法制史を学ぶにあたって

- I 日本法制史とは
- II 基礎法学のなかの法制史
- III 日本法制史の時代区分
- IV 日本法制史教育の沿革

第1章 上古（氏族法時代）

- (1) 総説 (2) 氏族制度 (3) 法の始源 (4) 法の分化

第2章 中古（律令法時代）

- (1) 総説 (2) 律令法

第3章 中世（武家法時代前期）

- (1) 法の系統 (2) 分国法〔国法〕 (3) 起請文

第4章 近世（武家法時代後期）

- (1) 織豊二氏の法令 (2) 徳川幕府の法令

終りに 『家』制度と現代の法意識

履修上の留意点

史資料に則して行う授業ですのでテキストは必ず揃えて欲しい。また、授業中の私語は当然ながら厳禁ゆえ、守れない者があれば直接にも指摘することになろう。

成績評価の方法

年間1度の定期試験と出席点によって評価する。

教科書

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（芦書房）2,300円

参考書等

大久保治男・茂野隆晴共著『日本法制史』（高文堂出版社）3,000円。このほかにも、場合によりプリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 関 係 論	みなみ やま あつし 南 山 淳	経A・商・経B	4

講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した国際社会は、戦争による世界秩序の崩壊と新たな世界秩序の創造というサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきている。他方冷戦構造の崩壊、グローバリゼーションの拡大、米国における同時多発テロ、イラク戦争等に象徴されるように、近年の国際関係は激しく変動し、複雑化の一途をたどっている。

本講義の目的は、伝統的な国家間関係とトランスナショナルな関係が相互に影響を与え合う現代国際関係の全体像を構造的に理解することにある。構造的な理解とは、近代から現代にいたる国際関係のダイナミズムのなかで、持続する領域と変容する領域を画定していく作業に他ならない。そのためには、歴史と理論を別々に考えるのではなく、共通の視角を設定して理解することが不可欠である。現実の国際構造の変動とともに学問としての国際関係論のあり方も大きく変化しており、できるだけ最新の研究動向とカレントな問題を関連させながら、講義を進めていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、主権国家、国際的アナキー、権力政治、安全保障、相互依存など、国際関係論の基本概念の理解と主要理論の解説に重点をおき、後期は、国際組織、地域紛争、グローバル経済、地球環境問題、ジェンダーなど、現代国際関係の諸問題を近年の（特に理論的な）研究動向と併せてとりあげる予定である。

履修上の留意点

政治経済、国際関係史、時事問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

成績評価の方法

学期末試験およびレポートにより評価する。

教 科 書

南山淳著「国際安全保障の系譜学—現代国際関係理論と権力／知—」（国際書院）
進藤榮一著『現代国際関係学—歴史・思想・理論—』（有斐閣）

参 考 書 等

国際関係論を体系的に学習するうえで必要な文献リストを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	経A・商・経B	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房） 2,000円

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倒産処理法	あめ みや まさ や 雨 宮 眞 也	経A・商・経B	4

講義のねらい

主として、破産法についての基礎理論と現行法の解釈論を中心に講義する。関連して会社更生法、民事再生法についても講義し、わが国の倒産処理体制の総合的理解が得られるよう講義する。

法理論は社会現象をリードするとともに、社会現象はまた法理論をリードする。両者の相互関係をふまえつつ、学生諸君の法的思考力の向上に努めたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の構成に従って、順次講義を進める。

履修上の留意点

破産法は、法律のつぼと云われるように、実体法、手続法、刑事法から構成され、民法、商法、労働法等々を、いかに修正するかの学問でもある。破産法の学習を通して、学生諸君が実体法と手続法を総合して理解する力を養うことを期待する。

成績評価の方法

定期試験の成績により評価する。

教科書

山本和彦著『倒産処理法入門』（有斐閣）

参考書等

霜島甲一著『倒産法体系』（勁草書房）

その他

授業は講義方式となるが、受講生の数によっては、ゼミ方式を取り入れることもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 営 学	みやぎ 城 徹	経A・商・経B	4

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当る場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

〈2004年度『アメリカ経営学』授業計画〉

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力 (パワー) (8)
- IV 戦略 (特に提携、グループ、ファミリー) (4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル-エージェント理論 (2)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参 考 書 等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1997
 - 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
 - 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
 - 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998
 - 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
 - 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997
 - 7 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2000（A. Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998）
 - 8 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999（A. Picot u. a., Organisation. Eine ökonomische Perspektive, Schaffer - Poeschel, 1997）
- ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介してゆく。

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営組織論	日の野健太	経A・商・経B	4

講義のねらい

組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織を分析できるようになることを目的とする。そのため、この講義では、組織論で扱われる基本概念を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うミクロ組織論に大別される。ここでは、ミクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、何回かケースを取り上げる。また、学年末の数回は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるように配慮する。

講義の対象は以下の通り（番号と講義の回数は対応しない。また必要に応じて順序を入れ替えることがある。）。

- (1) 組織論における組織観と人間観
- (2) モチベーション
- (3) 組織文化
- (4) リーダーシップ
- (5) 組織の環境適応
- (6) 戦略と組織構造
- (7) 情報処理の理論
- (8) 知識創造理論
- (9) 資源依存モデル
- (10) まとめ

履修上の留意点

特に、前提となる特別の知識は必要としないが、自分の所属する組織や見聞する組織を思い浮かべながら学習すると理解が深まるであろう。また、授業中質問することがあるが、そんなに難しいことを訊くつもりはないので、大きな声で答えてほしい。

成績評価の方法

前期授業の最終回にテストを行う。このテストのウエイトが30%程度、学年末の定期テストのウエイトが70%程度。大まかには、この二つが成績を決める。前期のテストを欠席するのは、即不可ではないが、致命的である。

授業中に小テストを行ったり、講義の内容に対してフィードバックを得るために出席をとることがあるが、必要に応じて成績評価に加味する。

教科書

金井壽宏『経営組織』（日経文庫）

参考書等

桑田・田尾『組織論』（有斐閣）
 大月・藤田・奥村『組織のイメージと理論』（創成社）
 田尾『モチベーション入門』（日経文庫）
 経営学辞典の類、例えば、二神編著『ビジネス・経営学辞典』（中央経済社）などもなにかと重宝である。

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
公益企業論	その 園 だ てつ お 田 哲 男	経A・商	4

講義のねらい

公益企業論の主要内容は、企業規制に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規制と区別された意味における公益企業規制である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が、本来、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規制が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のすすめ方としては、前期は、公益企業概念の発達と、その問題点および公益企業概念の再検討を行なう。後期は、公益企業における持株会社の形成（前期と後期）および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。

履修上の留意点

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意思決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学ぶ意思のある学生だけが履修してくれることを望む。

成績評価の方法

成績評価は、單元ごとに小テストやレポートを課し、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しい評価を行なうつもりである。

教科書

園田哲男著『企業論』（八千代出版）2,800円
適宜プリントの配布を行う。

その他

この科目は、再試験を実施しません。